YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

平成23年版（2010.1—12）

独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所
Independent Administrative Institution
NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES, TOKYO
13－43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたものです。昭和11(1936)年に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行されて以来、この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されるなど組織の改組、名称の変更が行なわれたなかにあっても変わることなく受けつがれてきました。

平成23年版となる本書は、その第68冊目となり、平成22年(2010年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集しています。

文化財の保存と活用は、文化財そのものの保存とともに、その価値と意義を人から人へ、時代や国境を越えて伝えていく営為なくしてはなしとげられません。そのための資料の蓄積と調査研究、および成果の公開が継続的に行われることが求められます。

この『日本美術年鑑』は、そうした研究の基礎資料の一つとして、長年にわたり編集され続けて参りました。さらに近年の情報化に伴い、同年鑑に基づくデータベースのウェブ上での公開にも積極的に努めております。文化財に関わる過去と現在と未来をつなぐ資料集成としての本年鑑が、今後とも広く活用されることを望んでいます。

この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公私立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成25年2月

独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所

所長　亀井伸雄

凡　　例

1　本年鑑は、平成22(2010)年の１月から12月に至る美術界の主要な出来事を記載した。

2　本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。

3　本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。書、写真、マンガ、建築はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。

4　人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。

5　「美術展覧会」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の３つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分をこえた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術および近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される公募を原則とする主要な展覧会を指す。

6　「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られる情報も参照して記載している。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を(　)内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。

7　「美術展覧会図録所載文献」の欄は、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、美術文献目録の始めに凡例を付したので参照されたい。

8　刊行物の名称は一部略称とした。略称については、74頁の一覧を参照されたい。

9　採録データの原典に付されているルビは、当該文字の直後に〔　〕を付して記した。ルビの平仮名、片仮名の別は原典に従った。

10　本年鑑は、塩谷純(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、田中淳(同部部長)、山梨絵美子(同部副部長)、綿田稔(同部文化財アーカイブズ研究室長)、津田徹英(同部文化形成研究室長)、小林達朗(同部主任研究員)、皿井舞(同部主任研究員)、河合大介(同部研究補佐員)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については、企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の執筆に当たっては、江村知子(当研究所文化遺産国際協力センター)、木川りか(当研究所保存修復科学センター)、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、橘川英規(当研究所企画情報部特別研究員)、友田正彦(当研究所文化遺産国際協力センター)、中村明子(当研究所企画情報部特別研究員)の協力を得るとともに、齊藤孝正(文化庁)、島谷弘幸(東京国立博物館)、白井克也(東京国立博物館)、林良彦(奈良文化財研究所)、原田一敏(東京芸術大学大学美術館、当研究所無形文化遺産部客員研究員)、増田玲(東京国立近代美術館)、三浦定俊(文化財虫害研究所、当研究所保存修復科学センター客員研究員)、三上豊(和光大学、当研究所企画情報部客員研究員)、山崎剛(金沢美術工芸大学、当研究所無形文化遺産部客員研究員)の９氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、梅田真代、大内曜、神野祐太、高瀬真弥、瀧川美生、田中純一朗、前田詩織、宮田裕美子、山本由梨の９氏の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

目　　次

序 …… i
凡　　例 …… iii
目　　次 …… iv
平成22(2010)年美術界年史 …… 1
美術展覧会 …… 7
　企　画　展 …… 7
　作　家　展 …… 32
　団　体　展 …… 61
美術文献目録 …… 67
　凡　　例 …… 67
　収録定期刊行物誌名 …… 68
　定期刊行物所載文献 …… 75
　　目　　次 …… 75
　美術展覧会図録所載文献 …… 379
　　企　画　展 …… 379
　　作　家　展 …… 401
　　団　体　展 …… 416
物　故　者 …… 419

平成22（2010）年美術界年史

1　月

○**朝日賞受賞者決定**　2009年度朝日賞（主催：朝日新聞文化財団）の受賞者が1日に決定した。美術関係では建築家の伊東豊雄が「現代建築における空間表現の可能性を広げた業績」により受賞した。

○**毎日芸術賞受賞者決定**　芸術文化における優れた業績を顕彰する毎日芸術賞（主催：毎日新聞社）の第51回目の受賞者が発表され、美術関係では、建築部門で隈研吾（根津美術館の設計に対して）、美術Ⅳ部門（書道）で關正人（東京セントラル美術館での第9回扶桑印社展特別展示、刻印集の刊行に対して）が受賞した。

○**第17回 VOCA 賞受賞者決定**　平面美術の若手作家を奨励する VOCA 賞の第17回目の受賞者は写真作品「内緒話」「ベッド」を制作した三宅砂織に決定した。VOCA 奨励賞は坂本夏子と中谷ミチコ、佳作賞は清川あさみと齋藤芽生、大原美術館賞は齋藤芽生にそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示する VOCA 展2010は3月14日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。

2　月

○**尾形光琳「紅白梅図屏風」金箔使用か**　尾形光琳の代表作とされる「紅白梅図屏風」の金地背景について、所蔵館である MOA 美術館が14日に開いた研究会で、東京理科大学の中井泉教授が金箔の使用の可能性を指摘した。同美術館の依頼により、中井教授が原子の結晶構造をエックス線回折などで測定し、金箔と同一の結晶面を検出したことに基づくもので、2004年に東京文化財研究所が科学調査をふまえて発表し、論議を呼んだ金泥説とは異なる調査結果として、注目を集めた。

○**長谷川等伯展開催**　桃山時代に活躍した絵師長谷川等伯（1539－1610）の没後400年を記念して、その画業の全貌を紹介する「没後400年　長谷川等伯」展が23日から3月22日まで東京国立博物館で開催された。能登で仏画を描いて活躍した初期から、京に上り豊臣秀吉や千利休を後ろ盾に大画面の金碧画を多数描く一方、水墨画の境地を深めた足跡を、第一章「能登の絵仏師・長谷川信春」、第二章「転機のとき－上洛、等伯の誕生」、第三章「等伯をめぐる人々－肖像画－」、第四章「桃山謳歌－金碧画－」、第五章「信仰のあかし－本法寺と等伯－」、第六章「黒の魔術師－水墨画への傾倒－」、第七章「松林図の世界」として「楓図壁貼付け（智積院）」「松林図屏風」などの国宝を含む約80点により跡づけた。同展は京都国立博物館に巡回した（4月10日－5月9日）。

3　月

○**第35回木村伊兵衛写真賞受賞者決定**　写真家木村伊兵衛の業績を記念し、優れた新人写真家に贈られる木村伊兵衛写真賞（主催：朝日新聞社、朝日新聞出版）の第35回目の受賞者は8日、高木こずえ（写真集『MID』『GROUND』に対して）に決定した。

○**新潟市美術館での国宝展示の不許可**　新潟市美術館で4月から開催予定だった「奈良の古寺と仏像」展で、文化庁が9日、中宮寺の菩薩半跏像（国宝）と重要文化財14点の展示を認めない方針を決定した。同美術館では2009年7月に展示作品にカビが発生したのに続き、2010年2月にクモや昆虫が確認されたことがその理由。これを受けて同美術館の北川フラム館長が更迭され、「奈良の古寺と仏像」展は会場を変更して新潟県立近代美術館での開催となった。

○**芸術選奨文部大臣賞受賞者決定**　文化庁は12日、2009年度の芸術選奨文部科学大臣賞と同新人賞の受賞者を発表した。芸術選奨文部科学大臣賞美術部門では、彫刻家の長澤英俊（「長澤英俊展―オーロラの向かう所」に対して）、日本画家の山本直彰（「山本直彰展　帰還する風景」に対して）、メディア芸術部門では東京芸術大学大学院映像研究科長教授の藤幡正樹（「Simultaneous Echoes2009・a "Field－work" in Londonderry」）が受賞。同新人賞美術部門では、写真家の津田直（「果てのレラ」に対して）、評論等の部門では東京文化短期大学教授の岩切信一郎（著作『明治版画史』に対して）が受賞した。

○**日本芸術院賞受賞者決定**　日本芸術院(院長：三浦朱門)は18日、2009年度の芸術院受賞者を発表した。第１部(美術)で山本文彦(洋画、二紀展出品作「樹想」に対して)、第２部(文芸)で栗津則雄(評論・翻訳、文学を中心にした芸術各分野における長年の活動に対して)が恩賜賞・日本芸術院賞を、第１部(美術)で武腰敏昭(工芸、日展出品作「湖畔・彩釉花器」に対して)、樽本樹邨(書、日展出品作「富陽妙庭観董雙成故宅發地得丹鼎」に対して)、北川原温(建築、中村キース・ヘリング美術館に対して)が日本芸術院賞を受賞した。

○**重要文化財指定の答申**　文化審議会(会長：西原鈴子)は19日、伊能忠敬の地図、文書、測量器具など関係資料2,345点(千葉県香取市蔵)と、奈良時代の開墾の状況を記した絵図「越中国射水郡鳴戸村墾田図(麻布)」(奈良国立博物館蔵)を国宝に、日本画家前田青邨が描いた「洞窟の頼朝」(大倉集古館蔵)など計38件を重要文化財に指定するよう川端達夫文部科学相に答申した。同時に美術工芸品１件、岩崎弥太郎の生家「岩崎家住宅主屋」などの建造物139件を登録有形文化財として登録するよう答申した。

○**高松塚壁画劣化の文化庁検討会による報告**　高松塚古墳壁画について劣化原因を調査してきた文化庁の調査検討会(座長：永井順国・政策研究大学院大学客員教授)は24日、報告書を玉井日出夫文化庁長官に提出した。自然的要因に加え同庁の保存対策の不備や監視態勢の欠如など複数の要因を指摘、カビ発生後の対策も後手に回り、さらに被害を拡大させる負の連鎖を招いたと報告した。

○**妹島和世、西沢立衛のプリツカー賞受賞**　建築界のノーベル賞といわれ、優れた建築家に毎年贈られるプリツカー賞受賞者に妹島和世、西沢立衛の両名が選ばれたことを、主催団体の米ハイアット財団が28日発表した。両名は共同の設計事務所SANAA(東京)を通じ、日本や欧米で積み上げてきた実績が評価された。共同作業を通じ、力強く繊細、正確で、建築の目的に沿って利用される建築を実現したことなどが授賞理由。主な共作に熊野古道なかへち美術館(1996年)、金沢21世紀美術館(2004年)など。なお妹島和世は、８月から11月まで開催された第12回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを日本人建築家としては初めて、また女性としても同建築展史上初めて務めた。

○**平成22年度文化庁予算決定**　平成22年度予算案が24日、成立した。文化庁予算は1020億2400万円となり前年度より0.5%、４億8500万円の増額となった。Ⅰ．豊かな文化芸術の創造と人材育成、Ⅱ．我が国のかけがえのない文化財の保存・活用等、Ⅲ．我が国の優れた文化の国内外への発信、の３つを柱とし、Ⅰでは芸術家等の養成・子どもの文化体験の充実に増額が図られ、Ⅱでは近畿２府４県の国宝・重要文化財を対象として設置後30年を経過した消火設備の耐震改修を行う「緊急防災施設耐震改修事業」を新たに開始、Ⅲでは優れた舞台美術・メディア芸術等の戦略的発信に大幅な予算増額が図られた。

４　月

○**第29回土門拳受賞者決定**　前年に優れた成果を挙げた写真家に贈られる土門拳賞の第29回受賞者が鈴木龍一郎に決定した。受賞対象は写真集『RyUlysses　リュリシーズ』(平凡社)で、ジェームズ・ジョイスの『ユリシーズ』に触発され、アイルランドのダブリンをパノラマカメラで精密に再現したことが評価された。

○**三菱一号館美術館開館**　東京・丸の内に明治期の赤レンガ建築を忠実に復元した三菱一号館美術館(館長：高橋明也)が、６日開館した。1968(昭和43)年に老朽化から解体されたイギリス人建築家ジョサイア・コンドルの設計の建築を復元、延べ面積6000㎡、20の展示室からなる。ロートレックのリトグラフやポスター等、約250点のコレクションを持ち、19世紀近代美術を中心に年３～４回の企画展を開く。開館記念展はオルセー美術館との共同企画による「マネとモダン・パリ」展(７月25日まで)で、マネの芸術の全貌を当時のパリが都市として変貌していく様子と結びつけながら、代表作により展覧。続いて開館記念展の第二弾として開催された「三菱が夢見た美術館　岩崎家と三菱ゆかりのコレクション」(８月24日～11月３日)では、三菱を興した岩崎家の文化・芸術との深い関わりを、同家が興した静嘉堂や東洋文庫の名品、および三菱系企業やゆかりの個人が所蔵する作品によって紹介した。

○**重要文化財(建造物)指定の答申**　文化審議会(会長：西原鈴子)は16日、京都市中心部の大規模な町家である杉本家住宅や、有明海の干拓地に築かれた旧玉名干拓施設(熊本県玉名市)など８件を新たに重要文化財に、桜川市真壁伝統的建造物群保存地区(茨城県桜川市)を重要伝統的建造物群保存地区に指定するよう、川端達夫文部科学相に答申した。

○**平城宮跡第一次大極殿の完成**　平城遷都1300年となる2010年に向けて、2001年より奈良市の平城宮跡に復原整備が進められていた第一次大極殿が完成、23日に記念式典が開催された。これまでの調査研究の成果をもとに創建当時の意匠・構造・材料等の復元を目指し、できる限り古代の伝統工法を採用することを基本方針として進められた。内部の四神および十二支の壁画は日本画家の上村淳之が担当。大極殿が復原された平城宮跡は、24日から11月７日まで平城遷都1300年祭のメイン会場となった。

○**国立文化財機構・国立美術館に対する事業仕分け**　民主党の鳩山由紀夫政権による事業仕分けが４月26日、独立行政法人である国立文化財機構と国立美術館を対象に行われた。文化財・美術品の収集をめぐって、「事業規模は拡充」との評価結果を得たものの、国の負担は増えないため民間寄付やコスト縮減等、自助努力を求められる結果となった。これを受けて９月から12月にかけて、日本芸術文化振興会と国立科学博物館も含めて「国立文化施設等に関する検討会」(座長：福原義春・資生堂名誉会長)が開かれ、独立行政法人化後の在り方と今後の運営が討議された。

5　月

○**静岡市美術館開館**　JR静岡駅北口前に新設された葵タワーの３階に１日、静岡市美術館(館長：田中豊稲)が開館した。財団法人静岡市文化振興財団が管理。展示室の広さは３室計1100㎡。３月に閉館した静岡アートギャラリーを前身とし、収蔵品を持たないため常設展は行わず、特定のジャンルに縛られない企画展を事業の柱とする。９月まではワークショップやトークイヴェント等を実施、10月より開館記念展として(Ⅰ)「ポーラ美術館コレクション展　印象派とエコール・ド・パリ」(10月２日～11月28日)、(Ⅱ)「家康と慶喜―徳川家と静岡」展(12月11日～2011年１月30日)、(Ⅲ)「棟方志功　祈りと旅」展(2011年２月11日～３月27日)を開催した。

○**読売あをによし賞受賞者決定**　保存科学・修復の現場で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰する読売あをによし賞(主催：読売新聞社、特別協力：文化財保存修復学会)の第４回目の受賞者として、本賞に油彩や水彩画など近現代絵画の修復に長年携わってきた山領まり、奨励賞に壁苫(すさ)を製造する北野一成、特別賞に出土木製品の優れた保存処理法の開発等に長年取り組んできた元興寺文化財研究所が決定した。

○**史跡・名勝指定の答申**　文化審議会(会長：西原鈴子)は21日、平城宮の東南部で発見・修復された平城宮東院庭園(奈良市)を特別名勝に、幕末の四国連合艦隊下関砲撃事件の舞台となった長州藩下関前田台場跡(山口県下関市)など８件を史跡に、万葉集にも詠まれた和歌の浦など２件を名勝に指定するよう川端達夫文部科学相に答申した。また小川氏庭園(鳥取県倉吉市)など２件を登録記念物、高島市針江・霜降の水辺景観(滋賀県高島市)など２件を重要文化的景観とするよう答申した。

○**オルセー美術館2010「ポスト印象派」展開催**　フランス近代美術のコレクションで知られるオルセー美術館の所蔵品115点によって、19世紀末から20世紀初頭の印象派以降のフランス美術を紹介する「オルセー美術館2010「ポスト印象派」」展が26日から８月16日まで、国立新美術館で開催された。1886年の最後の印象派展から1920年代のナビ派による作品までを、第１章「1886年－最後の印象派」、第２章「スーラと新印象主義」、第３章「セザンヌとセザンヌ主義」、第４章「トゥールーズ＝ロートレック」、第５章「ゴッホとゴーギャン」、第６章「ポン＝タヴェン派」、第７章「ナビ派」、第８章「内面への眼差し」、第９章「アンリ・ルソー」、第10章「装飾の勝利」の構成で編年的に追う大規模な展示となった。オルセー美術館が2010年に大規模改装されるのに伴い、同館の所蔵品115点が一括して海外に貸与されたもの。

7　月

○**「ロボットと美術」展開催**　人型ロボットと美術の関係を跡づける「ロボットと美術　機械×身体のビジュアルイメージ」展が10日から８月29日まで青森県立美術館で開催された。序章「ロボット以前　動く「ひとがた」の夢」でロボットという言葉と概念が生まれる以前の文献資料を紹介し、第一部「戦前　ロボットの誕生と同時代文化」、第二部「戦後Ⅰ　大衆文化の興隆と戦後アートの動向」、第三部「戦後Ⅱ　ロボット・イメージの現在　ロボティクスからアートまで」ではロボットの実物を展示するとともに、絵画をはじめ漫画、アニメーション、玩具にまで及んだロボット・イメージを展観する意欲的な企画となった。同展は静岡県立美術館(９月18日―11月７日)、島根県立石見美術館(11月20日―１月10日)に巡回した。

○**第５回西洋美術振興財団賞受賞者決定**　西洋美術の理解や研究発表などに貢献した展覧会に携わった個人・団体を顕彰する西洋美術振興財団賞の第５回目の受賞者が決定した。個人に贈られる学術賞は河本信治(京都国立近代美術館等で開催の「ウィリアム・ケントリッジ―歩きながら歴史を考える」展企画に対して)、荒屋鋪透(国立新美術館等で開催の「ルノワール　伝統と革新」展監修に対して)が、団体に贈られる文化振興賞は東急文化村(運営するBunkamuraザ・ミュージアムでの「レンピッカ展」等の開催に対して)が受賞した。

○**人間国宝認定の答申**　文化審議会(会長：西原鈴子)は16日、瀬戸黒の加藤孝道、紋紗の土屋順紀、友禅の二塚長生、蒔絵の中野孝一、鍛金の玉川宣夫の５名を新たに重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう川端達夫文部科学相に答申した。紋紗での認定は初めて。これによって人間国宝は芸能、工芸技術の各分野で同数の58名、計116名となった。

○**瀬戸内国際芸術祭2010の開催**　瀬戸内海にある直島、

小豆島など7つの島々とその母港となる香川県・高松港周辺を舞台とした現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2010」が19日から10月31日まで開催された。総合プロデューサーを福武總一郎(財団法人直島福武美術館財団理事長)、綜合ディレクターを北川フラム(アートディレクター)が務め、18の国と地域から75組のアーティストとプロジェクト、16のイヴェントが参加。地域づくりに現代美術を活用する動きの中で、「あいちトリエンナーレ2010」とともに、新たに始められた国際展として衆目を集め、延べ約94万人の動員数を記録した。なお直島では芸術祭の開催に先立って、6月15日に直島福武美術館財団の運営、安藤忠雄の設計による李禹煥美術館が開館している。

○**韓国利川市の石塔返還要望**　東京都港区の大倉集古館が所蔵する五重石塔をめぐり、韓国の市民団体が日韓併合100年を機に返還を求め、かつて石塔があった韓国利川市の趙炳敦市長らが21日、同館を訪れて返還の要望書や10万人を超える署名を手渡した。石塔は高麗時代初期のものと推定、日韓併合後に日本へ移され、1933年には国の重要美術品に認定された。要望に対して館側は、現段階では要望に応じられないとの立場を示した。

8　月

○**橋本平八と北園克衛展開催**　彫刻家橋本平八(1897－1935)とその弟で前衛詩人として頭角を現し、文学、美術を横断する多様な活動を行った北園克衛(本名橋本健吉、1902－1978)の作品が一堂に会する初めての企画として「異色の芸術家兄弟　橋本平八と北園克衛展」が7日から10月11日まで三重県立美術館で開催された。石や木などの自然物に宿る霊的なものを木彫で表した平八と、未来派、ダダ、構成主義などを受容して詩作やデザインを行った克衛の一見対照的な制作が、生まれ育ちと時代の共有、および相互の情報交換と対話に根ざしていることを浮き彫りにする意義深い展観となった。同展は世田谷美術館に巡回した(10月23日－12月12日)。

○**あいちトリエンナーレ2010開催**　愛知エリアを文化芸術面でも日本や世界に貢献する地域とすることを目指して21日から10月31日まで、愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場、名古屋城、オアシス21、中央広小路ビル等、名古屋市を中心とする複数の場所を会場として「あいちトリエンナーレ2010　都市の祝祭」が開催された。2008年3月に発表された基本構想に基づき、同年10月に「美術を中心として現代芸術の動向を国際的な視野に立って紹介すること―先端性」「都市の祝祭としての高揚感を演出すること―祝祭性」「現代美術を基軸にパフォーミング・アートをも積極的に取り込むこと―複合性」を方針とすることが決定。建畠晢を芸術監督に3年間の準備を経て、世界各国から約130組の作家が参加し、ひとつの都市で同時多発的に芸術空間が創出される展観となって注目された。

○**「田中一村　新たなる全貌」展開催**　生前はほぼ無名ながら、歿後にテレビ番組で紹介され一躍脚光を浴びた日本画家田中一村(1908－1977)の回顧展が、21日から9月26日まで千葉市美術館で開催された。奄美大島に在住し、南国特有の動植物を濃密に描いた晩年の作品群に評価が偏りがちだった一村の画業を、初期の作品や資料から検討し再顕彰する企画として注目を集めた。同展は鹿児島市立美術館(10月5日－11月7日)、田中一村美術館(11月14日－12月14日)に巡回した。

○**石上純也のヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞受賞**　イタリアのヴェネツィアで開催された第12回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展の授賞式が28日行われ、建築家の石上純也が企画展示部門で最優秀賞の金獅子賞に選ばれた。カーボンファイバーと糸を素材とする作品で、「超軽量のもので建築の限界を追求した」点が評価された。また建築家の故篠原一男に特別記念金獅子賞が贈られた。

9　月

○**「古陶の譜　中世のやきもの―六古窯とその周辺―」展開催**　中世から現在まで続く窯として知られる瀬戸・常滑・越前・信楽・丹波・備前の六古窯と、近年の調査で明らかになった各地の中世窯の作品を集めた「古陶の譜　中世のやきもの―六古窯とその周辺―」展がMIHO MUSEUMで4日から12月12日まで開催された。戦前に現業として存在している窯の来歴が調査され六古窯が紹介されたことにより古窯への興味が高まり、今日までの発掘によって猿投、美濃・美濃須衛、渥美、湖西、伊賀、加賀、珠州のほか全国約80箇所の中世窯の存在が明らかになった成果を踏まえ、各中世窯の作品約170点を展観。窯によって異なる土、技術、造形の多様性が紹介されるとともに、中世の窯業の広がりを示す充実した展観となった。同展は茨城県陶芸美術館(2011年1月2日―3月21日)、愛知県陶磁資料館(2011年4月2日―5月22日)、福井県陶芸館(2011年5月28日―7月31日)、山口県立萩美術館・浦上記念館(2011年8月13日―9月25日)に巡回した。

○**「栄西と中世博多展」開催**　1168年と1187年に二度宋に渡り、博多に日本最初の禅寺聖福寺を建立した栄西(1141－1215)の生涯と、対外交流の拠点として栄えた中世の博多について国宝、重要文化財を含む152点の

作品資料によって紹介する「栄西と中世博多展」が11日から10月31日まで福岡市博物館で開催された。第一部「栄西の足跡」では風貌、信仰、茶の嗜み、塔頭建立の手腕という視点から栄西に迫り、第二部「聖福寺の創建と中世博多の繁栄」では考古歴史資料や請来美術品など、当時の舶載品によって中世の国際都市博多を浮かび上がらせた。近年、存在が明らかになった栄西史料の研究成果が反映され、充実した展観となった。

○**第22回世界文化賞受賞者発表**　優れた芸術の世界的創造者たちを顕彰する高松宮殿下記念世界文化賞(主催：財団法人日本美術協会)の第22回受賞者が14日発表された。美術関係では、絵画部門でエンリコ・カステラーニ(イタリア)、彫刻部門でレベッカ・ホルン(ドイツ)、建築部門で伊東豊雄が受賞した。

○**ドガ展開催**　印象主義の画家エドガー・ドガの画業を約120点の作品で跡づける「ドガ展」が18日から12月31日まで横浜美術館で開催された。オルセー美術館所蔵品46点を中心に国内外の作品を集め、1「古典主義からの出発」、2「実験と確信の時代」、3「綜合とさらなる展開」の構成で、フランスの造形伝統を踏まえながら近代化の進む時代と向き合い、独自の画風に至った足跡が油彩画、パステル画、彫刻、写真によって示された。

○**「隅田川　江戸が愛した風景」展開催**　東京を流れる隅田川がどのように描かれてきたかを江戸時代から近代まで跡づける「隅田川　江戸が愛した風景」展が22日から11月14日まで東京都江戸東京博物館で開催された。歴史、民俗、考古、美術といった幅広い視点から隅田川と人々の関わりに迫り、約160点の作品をプロローグ「古典から現世へ」、第一章「舟遊びの隅田川」、第二章「隅田川を眺める」、第三章「隅田川の風物詩」、エピローグ「近代への連続と非連続」の構成で展観した。東京スカイツリー建設により隅田川沿いの景観の変化が注目されている中での意義深い企画となった。

10　月

○**「尾張徳川家の名宝―里帰りの名品を含めて」展開催**　尾張徳川家第十九代義親の寄付による伝来品を根幹とする徳川美術館所蔵品に、現在は他所の所蔵となっているが来歴から尾張徳川家伝来品であったことがわかる作品を加え、同家伝来の品々を集めた「尾張徳川家の名宝―里帰りの名品を含めて」展が２日から11月７日まで徳川美術館で開催された。「伝来の名品」、「さまざまな名宝」「里帰りの名品」「新たに加えられた名宝―購入品と寄贈品」の分類で、同家に伝来した武具、刀剣、茶道具、書院飾り、能面・能衣装など290点が展示され、綿密な調査成果が示されるとともに江戸文化の粋をうかがわせる展観となった。

○**「高僧と袈裟」展開催**　無準師範や夢窓疎石など中国、日本の仏教史に名を残す僧侶たちが着用した袈裟を展観し、それらの仏教的、交流史的意味や染織品としての価値などを紹介する「高僧と袈裟」展が９日から11月23日まで京都国立博物館で開催された。第１章「袈裟のはじまり　律衣と糞掃衣」、第２章「天皇家と袈裟」、第３章「鎌倉仏教と袈裟」、第４章「伝法衣にみる東アジア交流Ⅰ」、第５章「道教・神道と袈裟」「６章「伝法衣にみる東アジア交流Ⅱ」第７章「袈裟と名物裂」、第８章「伝法衣にみる東アジア交流Ⅲ」の構成で、袈裟を多角的に見る意欲的な試みとなった。

○**第22回国華賞受賞者決定**　日本・東洋美術に関する優れた研究を対象とする第22回国華賞は、古原宏伸『米芾「画史」註解』(中央公論美術出版)、内藤栄『舎利荘厳美術の研究』(青史出版)に贈られることが決定した。

○**国宝・重要文化財指定の答申**　文化審議会(会長：西原鈴子)は15日、久能山東照宮本殿と石の間、拝殿を国宝に、池上本門寺宝塔など建造物９件を重要文化財に指定するよう高木義明文部科学相に答申した。これで建造物分野の重要文化財は2,374件(うち国宝216件)となった。また江戸期以降の重厚な町家が多数現存する奈良県五條市の約７haを重要伝統的建造物群保存地区に新規選定することも答申した。

○**正倉院宝剣、1250年ぶり確認**　奈良市の東大寺大仏殿内須弥壇から明治時代に出土した国宝の鎮壇具のうち２本の金銀荘大刀が、約1250年間所在が確認されていなった正倉院宝物の大刀「陽寶劔」「陰寶劔」であることが判明し、同寺と元興寺文化財研究所が25日、発表した。保存修理に伴うエックス線調査で、刀身から「陽劔」「陰劔」の象嵌銘文が発見されたことによる。同大刀は光明皇后が大仏に献納した聖武天皇の遺品目録「国家珍宝帳」に「除物」の付箋があり、別の正倉院文書から759(天平宝字３)年に持ち出された記録が残るが、その後の所在は不明だった。

○**文化勲章受章者、文化功労者決定**　政府は26日、2010年度の文化勲章受章者７名と文化功労者17名を決定した。美術関係では、建築家の安藤忠雄、服飾デザイナーの三宅一生が文化勲章受章者に、書家の古谷蒼韻、写真家の細江英公、漫画家の水木しげるが文化功労者に選ばれた。

11　月

○**「歌麿・写楽の仕掛け人　その名は蔦屋重三郎」展開催**　18世紀後半の江戸で、浮世絵の喜多川歌麿・東洲斎写楽、戯作の山東京伝、狂歌の大田南畝らの作品を巧み

に売り出し、江戸文化の最先端を演出・創造した版元、「蔦重」こと蔦屋重三郎の営みを紹介する「歌麿・写楽の仕掛け人　その名は蔦屋重三郎」展が3日から12月19日までサントリー美術館で開催された。江戸吉原の案内書である『吉原細見』等を手がけて経営の安定を図る一方で、人気狂歌師や戯作者の作を次々に刊行してブランド化を図り、さらには葛飾北斎や十返舎一九、曲亭馬琴など新人発掘に力を注いだ名プロデューサーぶりをうかがう企画として注目された。

○**第32回サントリー学芸賞受賞者決定**　サントリー文化財団は10日、第32回サントリー学芸賞受賞者を発表した。美術関係では芸術・文学部門で古田亮『俵屋宗達』(平凡社)が受賞した。

○**第22回倫雅美術奨励賞受賞者決定**　優れた美術評論や美術史の研究を顕彰する倫雅美術奨励賞(主催：公益信託倫雅美術奨励基金)の第22回目の受賞者が発表され、豊田市美術館の天野一夫チーフキュレーター(「近代の東アジアイメージ—日本近代美術はどうアジアを描いてきたか」展に対して)と、宇都宮美術館の前村文博学芸員(「杉浦非水の眼と手」展に対して)が受賞者となった。

○**芸術院新会員決定**　日本芸術院(院長：三浦朱門)は29日、芸術活動に顕著な功績があったとして新たに5名を同院新会員に選出したと発表、日本画家の福王寺一彦、洋画の山本文彦、工芸の武腰敏昭、森野泰明、評論・翻訳の栗津則雄が選ばれた。12月15日付で高木義明文部科学相により発令された。

○**キトラ古墳壁画のはぎ取り終了**　国特別史跡キトラ古墳(奈良県明日香村)の壁画を保存するため、2004年8月に始めたしっくいのはぎ取り作業で、壁画が描かれている可能性のある部分の作業が全て終了したと、文化庁が25日発表した。さらに同庁は辰(東壁)、巳(南壁)、申(西壁)が残存している可能性のある部分をエックス線撮影で調べた結果、壁画は確認できなかったことを翌12月15日に発表、同月24日にははぎ取ったしっくいを覆う泥を当面取り除かないまま保存する方針を、「古墳壁画の保存活用に関する検討会」で決定した。

12　月

○**登録有形文化財登録の答申**　文化審議会(会長：西原鈴子)は10日、華やかな装飾が施された外観を持つ南海電鉄難波駅のターミナルビル「南海ビル」(大阪市)や1940年に建設された鉄道橋「天竜浜名湖鉄道天竜川橋梁」(浜松市)など、28都府県の建造物209件を新たに登録有形文化財にするよう高木義明文部科学相に答申した。これで登録有形文化財は8,348件となった。

○**第18回 VOCA 賞受賞者決定**　平面美術の若手作家を奨励する VOCA 賞の第18回目の受賞者は「或る惑星」を制作した中山玲佳に決定した。VOCA 奨励賞は後藤靖香と森千裕、佳作賞は熊澤未来子と澤田明子、大原美術館賞は上田暁子にそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示する VOCA 展2011は2011年3月14日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。

美術展覧会

企画展

（ア）

アート・アーカイヴ資料展5　アーカイヴの現場　6.4—6.13　慶応義塾大学東館展示スペース

アーキペラゴ／海と島と山を渡る—みるきくあるくフィールドワークショップ—　11.25—11.28　秋吉台国際芸術村

アーティスト・イン・スクール5回　11.11—11.21　川口市立アートギャラリー・アトリア

アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち—　3.3—5.5　国立新美術館
朝日夕刊　3.31　西田健作
産経　3.17　渋沢和彦
東京夕刊　3.12　児島やよい
日経　4.8　平野啓一郎

アート・アニメーション・フェスティバル　2010　貴公子は蝿を引き連れて　7.27—8.1　愛知芸術文化センター
REAR　25　岡田昭憲

アートアワード・ネクスト#1　9.17—9.23　東京美術倶楽部

アートアワードトーキョー丸の内2010　4.29—5.30　行幸地下ギャラリー

アートな年賀状展2010　1.13—1.24　川口市立アートギャラリー・アトリア

アートの今・岡山2010—具象表現の現在〔いま〕—　11.10—11.21　岡山県天神山文化プラザ(高梁市歴史美術館、奈義町現代美術館)

アートの課題—サイレント・ボイス—　多文化社会と新しいアートセンターの活動　10.2—12.12　トーキョーワンダーサイト渋谷
読売夕刊　11.8　(市)

夏休み子ども美術館　アートのぶつブツえん　6.29—8.29　滋賀県立近代美術館

アート発見　びじゅつ探検—家族でみよう10　4.10—6.6　太閤山ランドふるさとギャラリー

アートフィルム・フェスティバル第15回　11.19—12.5　愛知芸術文化センター
AAC　66　T. E.

Art Fair Tokyo 2010［日動画廊］　4.1—4.4　東京国際フォーラム

アートフェア東京2010　4.2—4.4　東京国際フォーラム

アートプログラム青梅2010　循環の体　10.16—12.5　青梅市立美術館／青梅織物工業協同組合施設／都立青梅総合高等学校講堂／吉川英治記念館
ギャラリー*　308　三田晴夫

アール・デコ時代の工芸とデザイン　4.27—6.27　東京国立近代美術館工芸館

藍きもの—美しいはたらき着—　7.10—11.7　アミューズミュージアム

藍染めの表象　10.5—11.7　徳島県立博物館

あいちトリエンナーレ2010　都市の祝祭　8.21—10.31　愛知芸術文化センター／名古屋市美術館／長者町会場／納屋橋会場ほか
AAC　66　小西信之
AAC　67　馬場駿吉
芸術新潮　730
視覚の現場　四季の綻び　7　田原由紀雄
新美術新聞　1229　建畠哲
新美術新聞　1231　南條史生
美術手帖　944　窪田研二
REAR　25　市原研太郎
REAR　25　高橋森彦、安住恭子、亀田恵子、海上宏美、高橋宏幸
REAR　25　長木誠司
REAR　25　尾辻里音
REAR　25　井上隆生
朝日　9.18　西岡一正
東京夕刊　10.12　三沢典丈
毎日夕刊　9.7　岸桂子
読売　9.2　市原尚士

會津八一コレクションの近世書画　11.5—11.30　早稲田大学會津八一記念博物館

アイヌ—美を求める心　7.17—9.5　小樽市総合博物館(川崎市市民ミュージアム、沖縄県立博物館・美術館)

愛のヴィクトリアン・ジュエリー展　華麗なる英国のライフスタイル　1.2—2.21　Bunkamuraザ・ミュージアム(山梨県立美術館、福井県立美術館、広島県立美術館)

葵の会　9.6—9.11　銀座スルガ台画廊

青森のわざ—伝統工芸のいま—　12.11—2.20　青森県立郷土館

青柳芳夫展—失われた時を求めて・少女群像図鑑—　6.26—9.5　サントエ記念21世紀美術館

赤—古代の赤・江戸の紅花　10.16—11.23　福井県立歴史博物館

暁会5回　6.21—6.26　銀座スルガ台画廊

あかり展　9.7—11.20　国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

こころ揺さぶるモノづくり　秋田公立美術工芸短期大学の美術・工芸・デザイン　10.16—11.14　秋田県立近代美術館

秋田の近代に輝く美術家たち　10.2—11.7　秋田県立博物館

秋田の土偶　縄文の記憶　10.20—11.10　北秋田市文化会館

商いの顔　Japanese Design & Culture　7.3—9.5　城陽市歴史民俗資料館

秋山庄太郎写真芸術協会　写友会員展　10.1—12.19　秋山庄太郎写真芸術館

浅井三代と小谷城　江・浅井三姉妹プレ企画2　10.13—11.14　市立長浜城歴史博物館

朝香宮のグランドツアー 12.11—1.16 東京都庭園美術館
浅川伯教・巧が愛した朝鮮美術 6.12—8.15 高麗美術館
麻と毛糸のハイファッション・美しい手仕事展 3.6—7.4 アミューズミュージアム
旭川彫刻フェスタ2010 7.24—10.3 旭川市彫刻美術館／北海道立旭川美術館
新美術新聞 1224 鎌上塁
アジアのかざり—Dynamic Decoration in Asia 7.10—8.15 MIHO MUSEUM
アジアの境界を越えて 10.14—12.7 国立民族学博物館(国立歴史民俗博物館)
歴博 163 福永伸哉
飛鳥の考古学2009 平城遷都1300年祭 1.22—2.28 奈良文化財研究所飛鳥資料館
遊びのなかの色と形展—クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ 7.24—9.12 目黒区美術館
新しい美術の系譜 国立国際美術館(大阪)の名作 平成22年度国立美術館巡回展 8.5—10.3 宮城県美術館(都城市立美術館)
安土桃山・江戸の美—知られざる日本美術の名品—東山庵グループコレクション 9.23—10.24 高岡市美術館
あなたが選んだコレクション名品展 4.10—6.6 高麗美術館
兄青津保寿の刀装具コレクションと弟青津信五のおもちゃコレクション 10.19—11.28 須賀川市立博物館
あの世への想い—日本人はどのように埋葬されてきたか— 7.31—8.29 長野県立歴史館
Abflug 2010—あさくさばしから声がする— 3.5—3.16 マキイマサルファインアーツ
油絵の大阪—商都に生きた絵描きたち— 9.18—11.7 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室
アフリカの仮面と美術—生命と創造の大地— 10.9—11.28 西宮市大谷記念美術館
尼崎モダニズム 10.9—11.14 尼信博物館
尼門跡の茶—宝鏡寺の名宝— 1.7—4.4 茶道資料館
編み・組みの手技—籠・蓑など 1.6—3.22 日本民芸館
新たな国民のたから—文化庁購入文化財展— 9.10—10.17 仙台市博物館
あんで、まいて、竹の大変身—アジアの籃胎漆器・巻胎漆器— 2.25—5.10 石川県輪島漆芸美術館
アントワープ王立美術館コレクション展 ベルギー近代美術の殿堂 アンソールからマグリットへ 2.6—3.28 茨城県近代美術館(ひろしま美術館、島根県立美術館、東京オペラシティアートギャラリー)

(イ)

井伊家伝来茶道具名品選—名物茶器から直弼まで— 9.3—9.28 彦根城博物館
井伊家歴代の刀剣 12.3—12.22 彦根城博物館
e—mit 5 小松ゆか・清水美里・西野入礼・マチダナヲ 12.6—12.11 銀座スルガ台画廊
家康と慶喜—徳川家と静岡展 12.11—1.30 静岡市美術館
家康のまつり—名古屋東照宮祭礼—開府400年 徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念 5.26—7.25 名古屋市蓬左文庫
生きてるぞ! 野宿者が撮った写真展 4.27—5.2 三鷹市美術ギャラリー
東京夕刊 4.30 高橋知子
毎日 4.30 中継汀
いきもの大集合! 美術にみる動植物 7.20—10.9 徴古館
アートリンクとちぎ2010 いきもの探検隊 10.2—11.7 佐野市立吉澤記念美術館
所蔵品による イギリスの版画 1.5—3.28 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)
イグノア・ユア・パースペクティブ10 「IS NEXT PHASE COMING?」 11.20—12.25 児玉画廊(京都)
美術手帖 948 清水穣
画人大名 池田継政 12.1—1.16 林原美術館
石川県立美術館の半世紀の歩み—収集した名品・名作を一挙公開— 4.25—5.16 石川県立美術館
石田三成と湖北 江・浅井三姉妹プレ企画1 石田三成生誕450年記念 9.11—10.11 市立長浜城歴史博物館
伊勢神宮展 2.16—2.22 うすい百貨店
瑞垣 216 丹治正博
伊勢神宮と東海のまつり 第62回式年遷宮記念 4.17—5.30 名古屋市博物館
瑞垣 216 大口裕子
伊勢神宮に捧ぐ近・現代の美 式年遷宮記念神宮美術館所蔵 5.19—5.31 高島屋(日本橋)(高島屋(横浜、大阪))
瑞垣 217 髙橋弘幸
板橋区伝統工芸展11回 巧匠—脈々と受継ぐいにしえの知恵— 1.5—1.31 板橋区立郷土資料館
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展2010 7.10—8.15 板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館、四日市市立博物館、石川県七尾美術館、長島美術館)
一葉記念館 収蔵絵画展 1.5—3.7 台東区立一葉記念館
逸翁が見た海外—海を渡ってきた美術品 7.17—8.22 逸翁美術館
逸翁コレクションにみる 中国陶磁の美—悠久の歴史— 9.18—12.5 逸翁美術館
5つの部屋+ 4.25—6.30 高崎市美術館
出光美術館名品展 日本の美—平安から昭和まで— 7.24—9.5 松本市美術館
伊藤若冲—アナザーワールド— 4.10—5.16 静岡県立美術館(千葉市美術館)

趣味の水墨画　252
新美術新聞　1213　福士雄也
美術手帖　940　編集部

伊藤若冲―アナザーワールド―
5.22―6.27　千葉市美術館
読売　6.17

移動する仏像―有田川町の重要文化財を中心に―　4.24―6.6　和歌山県立博物館

移動美術館展　糸島アートクルーズ福岡県立美術館所蔵品巡回展平成22年度　9.18―10.11　糸島市立志摩歴史資料館

伊能忠敬関係資料―国宝への歩み―
7.6―4.3　伊能忠敬記念館

イノセンス―いのちに向き合うアート　7.17―9.20　栃木県立美術館
芸術新潮　729
朝日夕刊　9.8　西田健作
日経　9.1　宝玉正彦
毎日夕刊　8.24　岸桂子

いのちのかがやき―花鳥画の現在〔いま〕　7.10―8.29　茨城県天心記念五浦美術館

いのりのかたち―祈願の民具と民間信仰―　10.9―12.5　和歌山県立紀伊風土記の丘

いのりのかたち　八十一尊曼荼羅と仏教美術の名品　7.10―8.8　根津美術館

祈りの時代―仏さまの美術―諏訪市の文化財を中心に　4.17―5.16　サンリツ服部美術館

祈りの姿　成田山の仏教絵画・写経を中心に　1.1―2.28　成田山書道美術館

今岡紫雲英グループ墨展と陶展29回　7.7―7.11　練馬区立美術館
美術の窓　326　編集部

いま、御土居がよみがえる　御土居絵図デジタルコンテンツ完成記念
2.6―3.14　京都大学総合博物館

いみありげなしみ　4.20―8.8　東京国立近代美術館
美術手帖　940　粟田大輔
読売夕刊　4.26　（清）

伊予の城めぐり―近世城郭の誕生―
10.6―12.5　愛媛県歴史文化博物館

MOTコレクション　「入口はこちら―なにがみえる？」　7.17―10.3　東京都現代美術館
美術手帖　944　松井みどり
読売夕刊　9.6　（清）

色絵磁器の系譜展　1.5―3.23　敦井美術館

色と墨のいざない―出光美術館コレクション展―　9.11―10.11　滋賀県立近代美術館

彩―鶴澤派から応挙まで―　4.24―6.13　兵庫県立歴史博物館

岩倉使節団・開化への旅―『米欧回覧実記』挿絵銅版画と資料展―
10.2―11.17　久米美術館

岩崎彌太郎―三菱の誕生と岩崎家ゆかりのコレクション―　11.19―1.10　長崎歴史文化博物館

岩手県公会堂アートショウ3回　3rd kokaido art show＋　2.11―2.28　岩手県公会堂／旧石井県令私邸

いわてに残る友情の人形展　4.3―4.25　石神の丘美術館

いわての漆―縄文から現代まで　岩手に伝わる漆の文化―開館30周年記念　10.2―11.7　岩手県立博物館

石神の丘アートウォーク2010　いわての現代美術と出会う、秋。
9.4―10.24　石神の丘美術館／沼宮内大町周辺

岩手の工芸　手仕事展　1.23―1.24　Rin

石見の根付　七田眞コレクションを中心に　4.28―7.19　島根県立石見美術館

陰影礼讃　国立美術館コレクションによる　9.8―10.18　国立新美術館
美術手帖　946　秋元康、堤幸彦談／山内宏泰　構成
美術手帖　946　沢山遼
朝日夕刊　9.22　西田健作
日経　9.29　宝玉正彦
読売　10.7

印象派とエコール・ド・パリ　ポーラ美術館コレクション展　7.2―9.4　横浜美術館（静岡市美術館、名古屋市美術館）

印判手にみる文様　4.13―7.2　国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

（ウ）

ヴィジュアル・ヴォルテージ―スウェーデンのデザインとアートの視点　10.21―11.15　日本科学未来館
産経　11.9

上杉家家臣団　直江兼続生誕450年
9.18―11.23　米沢市上杉博物館

天理ギャラリー140回展　秋成―上田秋成没後二〇〇年によせて―
5.16―6.13　天理ギャラリー

上田秋成　没後200年記念　7.17―8.29　京都国立博物館
朝日夕刊　7.2　長島弘明
読売　8.11　西田朋子

上野さんぽ―浮世絵・版画の所蔵作品から　10.3―10.13　上野の森美術館

上野の森美術館大賞展28回　明日をひらく絵画　4.27―5.9　上野の森美術館（彫刻の森美術館、京都府京都文化博物館、福岡県立美術館）

作家の視展2010　上野の森美術館大賞展受賞者展　9.8―9.14　上野の森美術館

VOCA 2010　現代美術の展望―新しい平面の作家たち　3.14―3.30　上野の森美術館
美術手帖　934　編集部
朝日夕刊　3.24　西田健作
産経　3.24　渋沢和彦

浮世絵☆忠臣蔵―描かれたヒーローたち!?―　11.20―12.19　神奈川県立歴史博物館
毎日夕刊　12.3　岸桂子

浮世絵動物園　8.1―8.26　太田記念美術館

浮世絵入門―広重《東海道五拾三次》一挙公開―開館記念特別展V
5.29―7.11　山種美術館
日経　6.16　小川敦生

浮世絵の死角―イタリア・ボローニャ秘蔵浮世絵名品展　板橋区立美

術館開館30周年記念 2.27—3.28 板橋区立美術館

浮世絵の四季　美術コレクション展1 5.21—7.27 大宮盆栽美術館

浮世絵の版元と出版　水田コレクション展 9.28—10.16 城西国際大学水田美術館

浮世絵版画—武者絵と美人画— 6.5—7.25 和泉市久保惣記念美術館

歌・映画・小説のなかの横浜港 10.9—11.23 横浜みなと博物館

歌麿・写楽の仕掛け人　その名は蔦屋重三郎 11.3—12.19 サントリー美術館
趣味の水墨画 260
朝日 11.2 西田健作
朝日夕刊 11.24 高階秀爾
産経 11.21 黒沢綾子
日経 11.24 宝玉正彦
日経 12.9 平野啓一郎
毎日 12.7 岸桂子
毎日夕刊 12.7 岸桂子

写された若狭—古写真の世界— 10.9—11.7 福井県立若狭歴史民俗資料館

写して伝える—文字と形— 9.7—9.25 大谷大学博物館

うづら会日本画展 2.3—2.9 三越(日本橋)

うつわ—古代の器たち— 12.18—1.30 静岡市立登呂博物館

ウフィツィ美術館自画像コレクション　巨匠たちの「秘めた素顔」1664—2010 9.11—11.14 損保ジャパン東郷青児美術館(国立国際美術館)
朝日夕刊 9.29 小川雪
毎日夕刊 10.7 高階秀爾

馬　アジアを駆けた二千年 7.13—9.5 九州国立博物館

馬のコイン—繁栄のシンボル— 10.2—12.5 馬の博物館

海の見える杜美術館至宝展　The STORY　偉才のコレクター梅本礼暉誉の軌跡 9.5—11.28 海の見える杜美術館
新美術新聞 1231 森議弘

海を想う—海に魅せられた画家たち 6.5—7.11 釧路市立美術館(田辺市立美術館、八幡浜市民ギャラリー、唐津市近代図書館)

瓜生山　春の顔見世 3.29—4.23 ギャルリ・オーブ
瓜生通信 50 竹内義博

漆—近代の作家達Ⅱ 4.12—4.18 竹柳堂

うるしの王国琉球Ⅰ　神に捧げたうるしのうつわ 7.9—10.2 首里城公園管理センター

うるしの王国琉球Ⅱ　ごちそうを盛る　うるしのうつわ 10.3—12.17 首里城公園管理センター

うるしの王国琉球Ⅲ　献上された琉球楽器 12.18—2.9 首里城公園管理センター

漆のチカラ—漆文化の歴史と漆表現の現在— 10.9—11.28 福島県立博物館

漆の美と技を究める—漆芸の巨匠たち— 7.2—8.31 石川県輪島漆芸美術館

ULTRA AWARD 2010 10.23—11.7 art project room ARTZONE
瓜生通信 51 辻諒平

ウルトラマン・アート！　時代と創造　ウルトラマン&ウルトラセブン 9.18—11.28 北海道立旭川美術館(岩手県民会館、鹿児島市立美術館、福井市美術館、茨城県近代美術館、長崎県美術館、埼玉県立近代美術館、高松市美術館)

麗しのうつわ—日本やきもの名品選 1.9—3.22 出光美術館

(エ)

栄光のペルシア展 8.27—2.27 平山郁夫シルクロード美術館

永青文庫の茶入—2010年度調査をふまえて 10.2—12.26 永青文庫

描かれた近代の景観—パノラマ地図にみる都市と観光— 9.5—11.7 堺市博物館

絵図でめぐる川崎　失われた景観をさぐる 7.17—9.5 川崎市市民ミュージアム

絵図に描かれた柏原の村々 3.27—6.20 柏原市立歴史資料館

越後妻有　雪アートプロジェクト2010 2.19—2.21 まつだい農舞台／ミオンなかさと
美術手帖 935 永峰美佳

越中の縄文土器 12.14—3.24 富山県埋蔵文化財センター

江戸絵画への視線—岩佐又兵衛《官女観菊図》重要文化財指定記念— 7.17—9.5 山種美術館
産経 8.10 岸桂子
産経 8.25 黒沢綾子

絵とことばの世界　色彩と文字が織りなすアート 2.27—4.18 富山県立近代美術館

江戸ごよみ—夏から秋へ 9.1—9.20 太田記念美術館

江戸時代の海路の賑わい 7.16—10.30 神戸大学 海事博物館

江戸図の世界 10.23—11.28 港区立港郷土資料館

江戸の彩—珠玉の浮世絵コレクション—　太田記念美術館開館30周年記念 1.3—2.24 太田記念美術館

江戸の英雄　初公開　博覧亭コレクション 1.31—2.28 平木浮世絵美術館 UKIYO—e TOKYO
芸術新潮 723

江戸の歌仙絵—絵本にみる王朝美の変容と創意— 1.8—2.5 国文学研究資料館

江戸の文華—戯作と浮世絵—　目の果報、知の至福 10.13—10.24 アートガーデンかわさき

絵のなかに生きる　中・近世の風俗表現 11.23—12.23 根津美術館

「絵の向こう側」—over the painting— 9.14—9.26 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー
REAR 25 塩津青夏

絵葉書にみる土浦　市制施行70周年記念 10.1—12.26 土浦市立博物館／イトーヨーカドー土浦店

恵比寿映像祭2回　歌をさがして 2.19—2.28 東京都写真美術館／恵比寿ガーデンプレイスセンター広場ほか
朝日夕刊 2.24 大西若人
日経 3.11

小さな紙の美　絵封筒の世界展
7.2—9.26　竹久夢二美術館
朝日夕刊　7.7　米原範彦

絵本の黄金時代　1920～1930年代 子どもたちに託された伝言　9.18—2.6　国立国会図書館国際子ども図書館

（オ）

おいでよ！絵本ミュージアム2010
7.30—8.22　福岡アジア美術館

お稲荷さんの世界　5.1—6.27　府中市郷土の森博物館

扇絵名品展　鴻池コレクション
4.13—5.30　大阪市立美術館

黄金美術　それは、聖なるもののあらわれ　10.9—11.28　ふくやま美術館

王者の華　牡丹　名古屋開府400年 徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念　4.10—5.23　徳川美術館

御歌所〔おうたどころ〕と近代みやび
3.6—4.25　成田山書道美術館

王の埴輪—玉里舟塚古墳の埴輪群—
10.9—12.12　明治大学考古学博物館

近江の城　小川城展　1.9—4.9　滋賀県立安土城考古博物館

お江戸の絵画は大賑わい　館蔵品展
4.3—5.9　板橋区立美術館

琳派展 XIII　お江戸の琳派と狩野派 —板橋区立美術館×細見美術館—
10.2—1.16　細見美術館

大阪に集まった12の名画　大阪市立近代美術館名品展　9.22—10.25　大阪歴史博物館

大阪の20世紀—古写真・出土品などからみた昔のくらし—　1.23—3.22　大阪府立弥生文化博物館

大津　国宝への旅　開館20周年記念企画展　10.9—11.23　大津市歴史博物館

大原美術館名品展　モネ、マティスから濱田庄司まで　2.14—4.4
宇都宮美術館
朝日夕刊　3.24　小川雪

大原 BEST　大原美術館創立80周年記念特別展　9.14—12.5　大原美術館
新美術新聞　1231　柳沢秀行
朝日夕刊　11.17　西田健作

大原孫三郎　日本美術への眼差し
10.30—11.7　大原美術館
新美術新聞　1231　柳沢秀行

オープン・スペース2010　5.15—2.27　NTTインターコミュニケーションセンター（ICC）

大宮政郎展　呼吸する北異のマグマ
7.31—9.5　多摩美術大学美術館

岡倉天心と日本彫刻会—日本木彫の「伝統」と「革新」—　9.10—10.17
小平市平櫛田中彫刻美術館（井原市立田中美術館）

MOA 岡田茂吉賞展17回　6.11—7.12　MOA 美術館
陶説　689　外舘和子

岡本かの子　その母性と母性像
1.21—4.11　川崎市市民ミュージアム

岡本太郎記念現代芸術大賞13回
2.6—4.4　川崎市岡本太郎美術館

岡山・美の回廊　10.8—11.7　岡山県立美術館
趣味の水墨画　258

写真展　小川晴暘と奈良飛鳥園のあゆみ—小川光三・金井杜道・若松保広—平城遷都1300年記念・小川晴暘没後50年　9.18—10.26
奈良県立万葉文化館
新美術新聞　1227　福田道宏

沖縄庶民の装い—明治・大正・昭和の衣の変遷—　5.22—6.6　浦添市美術館

OKINAWA—つなぎとめる記憶のために—　4.17—7.10　原爆の図丸木美術館
読売夕刊　7.5　（清）

沖縄の人間国宝—伝統工芸の粋—
1.16—2.1　浦添市美術館

沖縄マンガ　7.1—8.29　沖縄県立博物館・美術館

お札と写真術展　1.5—3.7　お札と切手の博物館

帯美　9.10—12.6　田中本家博物館

おひなさま　2.16—4.4　愛媛県歴史文化博物館

お守り刀展覧会５回　11.27—12.26
大阪歴史博物館

お水取り　2.6—3.14　奈良国立博物館

おもちゃ絵の世界　鈴木コレクション　10.25—1.28　玉川大学教育博物館

おもてなしの美　宴のしつらい　サントリー美術館所蔵品展　1.27—3.14　サントリー美術館

親子で遊ぶ浮世絵　7.22—8.29　中山道広重美術館

阿蘭陀と NIPPON—レンブラントからシーボルトまで—　日蘭通商400周年記念展　4.24—7.2　たばこと塩の博物館
東京　4.23　谷田有史
東京夕刊　5.11　谷田有史
東京夕刊　5.12　朝日恵子

オランダのアート＆デザイン新言語
10.29—1.30　東京都現代美術館

織部が愛した茶碗—高麗　割高台—
10.9—12.19　畠山記念館

オルセー美術館展2010　ポスト印象派　5.26—8.16　国立新美術館
美術屋・百兵衛　13
産経　7.14　辻仁成 談／黒沢綾子
毎日夕刊　6.9　高階秀爾

オルセー美術館展　パリのアール・ヌーヴォー　—19世紀末の華麗な技と工芸—　4.7—6.13　広島県立美術館

尾張徳川家の雛まつり　2.6—4.4
徳川美術館
目の眼　403　編集部

尾張徳川家の名宝　里帰りの名品を含めて　10.2—11.7　徳川美術館

「おんな」—立ち止まらない女性たち —日本写真家協会創立60周年記念　8.14—8.29　東京都写真美術館

おん祭と春日信仰の美術　12.7—1.16　奈良国立博物館

音容の会　11.22—11.27　サエグサ画廊

（カ）

calm 展　6.24—7.10　MEGUMI OGITA GALLERY
産経　7.14　（和）

海外の日本美術品の修復 5.11—5.23 東京国立博物館

改革と学問に生きた殿様—黒羽藩主大関増業〔ますなり〕— 10.9—11.23 栃木県立博物館

絵画にみる江戸時代のみやぎ—名所と人々— 4.24—6.6 東北歴史博物館

コレクション展Ⅰ 絵画の5つの部屋 3.27—7.4 兵庫県立美術館

カイガのカイキ 4.10—6.13 足利市立美術館

絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から国立国際美術館新築移転5周年記念 1.16—4.4 国立国際美術館
視覚の現場 四季の綻び 4 吉村良夫
朝日夕刊 2.17 西田健作
毎日夕刊 2.18 高階秀爾
読売 2.4 木村未来

絵画の美—絵巻・水墨画・琳派 開館50周年記念名品展Ⅰ 4.3—5.9 五島美術館

甲斐源氏 列島を駆ける武士団 10.9—12.6 山梨県立博物館

開高健とトリスな時代—「人間」らしくやりたいナ— 11.21—1.16 茅ヶ崎市美術館

懐石のうつわ—向付と鉢を中心に—開館45周年記念 1.23—3.22 畠山記念館

開発を見つめた石仏たち—多摩ニュータウン開発と石仏の移動— 3.20—7.5 パルテノン多摩

加越能の美術 縄文から江戸時代までの名宝 9.11—10.24 石川県立歴史博物館

画家のかたち、情熱のかたち—桜井浜江 高島野十郎 田中田鶴子 ラインハルト・サビエ— 7.17—8.29 三鷹市美術ギャラリー

日本の新進作家展 vol. 9 かがやきの瞬間 ニュー・スナップショット 12.11—2.6 東京都写真美術館

輝くわざと美—日本工芸のいま 7.17—9.5 香川県立ミュージアム

香川県美術展覧会75回 6.9—7.11 香川県立ミュージアム／香川県文化会館

香川漆芸—漆の美を極める— 7.24—9.26 香川県文化会館

国宝燕子花図屏風 琳派コレクション一挙公開 4.24—5.23 根津美術館

知識は東アジアの海を渡った—学習院大学コレクションの世界 学習院大学開学60周年記念特別展覧会 1.26—2.1 丸善丸の内本店4階ギャラリー／学習院大学史料館／雑司が谷地域文化創造館
毎日 1.22 田村彰子

鶴翔閣に集った文化人 7.16—8.22 三渓記念館

鹿児島の洋画の系譜—画家の師弟関係と美術史上の功績— 5.18—10.11 鹿児島県歴史資料センター黎明館

The Kasama ルーツと展開 開館10周年記念 4.17—6.20 茨城県陶芸美術館

カシミールショール 変化するペイズリー文様 3.21—5.31 平山郁夫シルクロード美術館

数の美術—数えて楽しむ東アジアの美術— 10.10—11.28 和泉市久保惣記念美術館

型が生みだす、やきものの美—柿右衛門・三田— 6.5—10.3 兵庫陶芸美術館

現代茨城の陶芸展 形と象〔かたち〕 6.23—10.3 茨城県陶芸美術館

かたちのちから 高度成長期の美術篇 大阪市立近代美術館コレクションを中心に 4.29—6.20 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室

語りかける風景 ストラスブール美術館所蔵 4.3—5.9 熊本県立美術館(Bunkamura ザ・ミュージアム、石川県立美術館、岐阜県美術館、秋田市立千秋美術館)

松伯美術館16回公募 花鳥画展 2.10—3.7 松伯美術館／大和文華館

花鳥風月 現代日本画にみる自然の美 2.27—4.11 新潟県立万代島美術館

花鳥風月—日本の美を探る— 4.9—5.23 林原美術館

華椿系の花鳥画 3.27—5.9 田原市博物館

加藤清正と本妙寺の至宝展 9.15—9.21 鶴屋(熊本)

金沢・世界工芸トリエンナーレ1回 5.8—6.20 リファーレ／金沢21世紀美術館
朝日夕刊 6.2 西岡一正

金沢文庫の絵画 神奈川県立金沢文庫80年 2.18—4.18 神奈川県立金沢文庫

金沢文庫発見ものがたり 神奈川県立金沢文庫80年 7.1—8.29 神奈川県立金沢文庫

狩野派と名古屋城四〇〇年 開府四〇〇年記念 4.1—5.5 名古屋城天守閣

歌舞伎と劇場 見る・読む・知る 12.1—12.21 立命館大学アート・リサーチセンター

CAF. ネビュラ展2010 11.10—11.21 埼玉県立近代美術館

鎌倉の至宝—国宝・重要文化財— 4.29—6.6 鎌倉国宝館

全国「かまぼこ板の絵」展覧会16回 7.17—12.5 ギャラリーしろかわ
視覚の現場 四季の綻び 6 浅野幸江

神々のすがた 古事記と近代美術 開館五周年記念Ⅰ 9.17—11.7 島根県立石見美術館

神々のすがた 古代から水木しげるまで 10.8—11.28 島根県立古代出雲歴史博物館

神々の物語が息づくメキシコ—古代文明の記憶—創立80周年記念 4.14—8.9 天理大学付属天理参考館

神と仏 日本の祈りのかたち 6.26—9.26 永青文庫

神の寺・山の寺・里の寺—古代仏教信仰の広がり— 3.20—5.9 上高津貝塚ふるさと歴史の広場

「カメラ毎日」の時代 1.21—4.11 川崎市市民ミュージアム

賀茂斎院と伊勢斎宮　10.9—11.14　斎宮歴史博物館

アミューズランド　トゥモロー2011　カラー・パワー！色って不思議!!　11.19—1.23　北海道立近代美術館

カラー　やきものと色の密かな関係　12.4—3.27　岐阜県現代陶芸美術館

烏山寺町　10.30—11.28　世田谷区立郷土資料館

CULTEX　共通言語としてのテキスタイル—共振する思考—　12.21—1.30　岡山県立美術館

華麗なる縄文—形態〔かたち〕と文様—　9.27—10.31　日本大学文理学部

華麗なる西山宗因　八代が育てた江戸時代の大スター　7.16—8.22　八代市立博物館未来の森ミュージアム

ガレオン船が運んだ友好の夢　日本メキシコ交流400周年記念　1.23—2.28　たばこと塩の博物館

Gallerism 2010　画廊の視点　9.13—9.25　大阪府立現代美術センター

視覚の現場　四季の綻び　7　吉村良夫

川口の新鋭作家展４回　3.4—3.21　川口市立アートギャラリー・アトリア

川崎九淵　よみがえる名人の芸—愛蔵の鼓胴を中心に—50回忌記念　5.22—8.2　早稲田大学演劇博物館

川端康成コレクション展　文豪が愛した美の世界　4.10—6.6　茨城県近代美術館

元興寺禅室　屋根裏探検　10.17—11.13　元興寺文化財研究所

元興寺之七不思議　10.24—11.7　元興寺文化財研究所

韓国の民画と絵本原画—民画と絵本の出会い—　4.3—5.23　西宮市大谷記念美術館

韓国モダンアートの波　釜山市立美術館コレクション展　9.18—11.3　福岡アジア美術館

元三大師良源—比叡山中興の祖—慈恵大師1025年御遠忌記念企画　2.27—4.18　大津市歴史博物館

漢字のはじまり—古代文字の不思議をさぐる—中村不折コレクション　7.17—9.30　台東区立書道博物館

観〔かん〕じる民藝—尾久彰三コレクション—　5.29—7.4　そごう美術館

関東大震災を描く—絵巻・漫画・子どもの絵—　10.22—11.1　神奈川大学常民参考室

（キ）

記憶にのこる・佐賀の美術家たち　佐賀県立美術館コレクションによる　4.29—5.23　佐賀県立美術館

機械捺染　ここにもあった匠の技　8.9—10.1　京都工芸繊維大学美術工芸資料館

菊と椿　八千代の祈り　9.4—10.18　石川県輪島漆芸美術館

兆の会１回　6.14—6.19　銀座スルガ台画廊

紀州徳川家のお姫さま　10.23—11.23　和歌山市立博物館

鬼神と霊—能にみる異界—　5.21—6.15　彦根城博物館

北の縄文世界　土偶からのメッセージ　2.7—2.16　北海道赤れんが庁舎(函館テーオーデパート)

北の彫刻展2010—次代をになう女性たち—　10.2—11.14　札幌彫刻美術館

北村美術館茶の湯の名品と館蔵茶具　6.5—7.25　林原美術館

吉祥天女のすべて　薬師寺大宝蔵殿特別公開　10.5—12.12　薬師寺大宝蔵殿

吉祥のうつわ—中国陶磁にみる祝い寿ぐ文様の世界　1.5—4.18　松岡美術館

帰ってきた江戸絵画　ニューオーリンズ　ギッター・コレクション展　9.11—10.17　松坂屋美術館(千葉市美術館、静岡県立美術館、福島県立美術館、京都府京都文化博物館)

祈祷と占い—中世日本人の信仰—　6.6—6.26　立命館大学アート・リサーチセンター

キトラ古墳壁画「四神」特別公開　飛鳥資料館開館35年　平城遷都1300年祭記念　4.16—6.13　奈良文化財研究所飛鳥資料館

文化財(月刊)　560　加藤真二

きのこアート研究所展　11.3—2.24　広島市現代美術館

芸術新潮　734

奇妙奇天烈!?明治の版画あれこれ　6.5—7.19　神奈川県立歴史博物館

趣味の水墨画　255

木村伊兵衛写真賞35周年記念展　4.17—6.27　川崎市市民ミュージアム

キューバン・グラフィズム　版画とポスターでたどるハバナ宣言50周年　4.24—5.23　多摩美術大学美術館

境界に生きた人々—遺物でたどる北東北のあゆみ—　5.28—7.11　秋田県立博物館(岩手県立博物館、青森県立郷土館)

胸中の山水・魂の書　山水画の名品と禅林の墨蹟　3.13—4.18　根津美術館

新美術新聞　1211　松原茂

京都・安楽寿院と紀州・“あらかわ”—木食応其を支えた僧・覚栄の事績を中心に—　9.18—11.7　和歌山県立博物館

京都オープンスタジオ2010　2.10—2.28　AAS／うんとこスタジオ／桂スタジオ／豆ハウス／ライトスタジオ／凸倉庫／GURA／兼分堂スタジオ

美術手帖　935　沢田眉香子

京都国際舞台芸術祭2010 KYOTO EXPERIMENT　10.28—11.23　京都芸術劇場春秋座／京都芸術劇場 studio21／京都芸術センター／ART CONPLEX 1928／アトリエ劇研／大江能楽堂

瓜生通信　51　山脇益美

SPURT 2010　京都造形芸術大学大学院展　7.16—7.30　ギャルリ・オーブ

瓜生通信　51　北野諒

京都市立芸術大学創立130周年記念展　京都日本画の誕生―巨匠たちの挑戦―　9.25―11.7　京都市美術館
新美術新聞　1226　尾崎眞人

KYOTO 版画2010　日本・ポーランド国際版画展　6.8―6.20　京都市美術館(島根県立美術館)
視覚の現場　四季の綻び　6　吉村良夫

京都美術文化賞受賞記念展22回　1.26―1.31　京都文化博物館
陶説　685　梅田稔

京都を学ぶ　京の寺内町　12.14―2.19　大谷大学博物館

京の闇秀・女流・女性画家―担ったもの／担わされたもの展　7.3―9.5　京都市美術館
美術運動史研究会ニュース　114　山崎明子

玉洲と介石―同時代を生きた紀州の画人―　11.20―1.30　田辺市立美術館

巨匠たちのパレット＆絵画展―新たな魅力と素顔―　1.5―2.21　大分市美術館

巨匠たちのパレットと絵画展　4.3―5.23　八王子市夢美術館
読売夕刊　5.8

巨大掛軸をめぐる文化交流―祈りと暮らしのかたち―　2.21―3.28　九州国立博物館

きらめく☆侍アート　川口コレクション名品選　3.20―5.16　高槻市立しろあと歴史館

きらりハコダテ！お宝漫遊　10.23―1.16　北海道立函館美術館

近現代染色の展開と現在　10.8―11.7　茨城県つくば美術館

近世敦賀の幕開け　吉継の治めた湊町　9.18―11.14　敦賀市立博物館

近世横浜　海岸部の新田開発　9.18―11.3　横浜市歴史博物館

金属芸術の輝き　9.4―12.19　石洞美術館

所蔵作品展　近代工芸の名品　花　2.11―4.18　東京国立近代美術館工芸館

近代との遭遇―世界を見る・日本を創る―　佐賀県立佐賀城本丸歴史館開館5周年記念　1.1―2.14　佐賀県立美術館

近代日本画にみる東西画壇―東京・京都・大阪の画家たち―　7.17―9.26　泉屋博古館分館

近代日本画の至宝展―巨匠画家が描く日本の美―　3.13―5.16　尾道市立美術館

近代日本画　美の系譜　水野美術館コレクションの名品より　8.13―9.12　宮崎県立美術館

近代日本のグラフィックデザイン―大正・昭和のポスターを中心に―　7.12―9.16　京都工芸繊維大学美術工芸資料館

近代日本美術の百花　リニューアル・オープン記念所蔵名品展　4.6―5.9　千葉市美術館

近代の水墨画展　7.12―9.27　敦井美術館

近代の名工たち　作家と盆器の世界　美術コレクション展Ⅱ　8.6―10.13　大宮盆栽美術館

近代の洋画家、創作の眼差し　10.30―1.10　宮内庁三の丸尚蔵館

近代の歴史画と『講談社の絵本』　5.29―7.19　講談社野間記念館

金の卵　学校選抜オールスターデザインショーケース5回　8.26―9.5　AXIS ギャラリー
AXIS　148　神吉弘邦

(ク)

草野心平と石　10.9―1.30　いわき市立草野心平記念文学館

くじらぐもからチックタックまで―小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展―　7.25―8.29　山梨県立美術館／山梨県立文学館

口と足で表現する世界の芸術家たち　5.20―5.23　三菱電機ビルテクノサービス株式会社　教育センター
読売夕刊　6.12

暗がりのあかり　チェコ写真の現在展　6.19―8.8　資生堂ギャラリー
視覚の現場　四季の綻び　6　加須屋明子
朝日夕刊　7.28　西田健作
東京夕刊　7.2　岡部あおみ
毎日夕刊　7.6　岸桂子

グラフィック55の作家たち　シリーズ・日本のグラフィックデザイナー　1.21―4.11　川崎市市民ミュージアム

Graphic art vol. 7 exhibition 2010　2.1―2.6　RECTO VERSO GALLREY

クリティカルデザインラボ展「TECHNOLOGICAL DREAMS」　4.19―4.25　京都造形芸術大学人間館1F 元 D's ギャラリー
瓜生通信　50　赤井佑輔

栗本薫／中島梓展　稀代のストーリーテラー　―書くことは生きること―　7.2―9.26　弥生美術館

ぐるっと花巻再発見！―イーハトーブの先人たち―　11.13―1.16　萬鉄五郎記念美術館／宮沢賢治記念館／宮沢賢治イーハトーブ館／花巻新渡戸記念館／花巻市博物館／東和ふるさと歴史資料館／石鳥谷歴史民俗資料館

GLOBAL ENDS―towards the beginning TOTO ギャラリー・間25周年記念展　11.19―2.26　ギャラリー・間
朝日夕刊　12.8　大西若人

黒川古文化研究所名品展―日本刀・江戸絵画・中国考古文物の精華―　4.17―5.16　黒川古文化研究所

Cross Line　上田博之／赤坂大輔／阿部美乃／遠藤里江子／西村麻希子写真展　12.14―12.23　人形町 VISION'S

MOT コレクション　クロニクル 1947―1963　アンデパンダンの時代　10.29―5.8　東京都現代美術館
朝日夕刊　11.10　西田健作

群馬青年ビエンナーレ2010　7.31―10.11　群馬県立近代美術館

(ケ)

継体大王の時代―百舌鳥・古市古墳

群の終焉と新時代の幕開け―
4.24―6.27　大阪府立近つ飛鳥博物館

芸森の名品　札幌芸術の森美術館開館20周年記念　2.7―4.18　札幌芸術の森美術館

シリーズ戦国　巻の1　激動の佐和山城―群雄割拠の時代―　6.18―7.27　彦根城博物館

シリーズ戦国　巻の2　激動の佐和山城―石田三成の時代―　7.30―8.31　彦根城博物館

月華殿の障壁画／原家の調度　7.15―8.22　三渓記念館

月照寺の至宝―江戸時代の柿本人麿信仰―　6.19―7.7　明石市立文化博物館

源氏絵の世界―桃山時代の王朝美―
2.14―3.22　和泉市久保惣記念美術館

国宝　源氏物語絵巻　開館50周年記念　11.3―11.28　五島美術館

源氏物語と平家物語　特別公開　山口伊太郎作「源氏物語錦織絵巻」
8.1―9.26　林原美術館

現代アートの世界に輝く新星展
3.9―3.25　大阪府立現代美術センター

現代衣裳の源流を探る―ウォルト・イヴニングドレスの復元―　3.13―8.11　杉野学園衣裳博物館

現代茨城作家美術展6回　1.5―1.27　茨城県近代美術館
新美術新聞　1210

現代ガラス　素材との対話　4.17―6.20　北海道立近代美術館

現代中国の美術　中国全国美術展11回受賞優秀作品による　11.13―1.10　福岡アジア美術館

収蔵品展　現代陶芸の表現美　2.2―3.22　とちぎ蔵の街美術館

現代刀の100年―復興と継承―徴古館開館100周年記念　1.1―2.28　神宮徴古館

現代日本画展　11.25―3.28　足立美術館

現代の茶　造形の自由　智美術館大賞展3回　7.31―11.7　菊池寛実記念智美術館
朝日夕刊　10.6　西田健作
日経　9.15　宝玉正彦
毎日夕刊　8.9　岸桂子

現代の中国絵画　山岡コレクション
12.4―2.13　笠岡市立竹喬美術館

現代美術CAT展10回2010　10.5―10.11　グリーンホール相模大野多目的ホール

ゲンダイビジュツ「道〔ドウ〕?」　コレクション展　2.21―3.28　練馬区立美術館
産経　3.3　渋沢和彦

現代木彫の潮流　創造と回帰　9.11―10.17　北海道立近代美術館

現代若者の眼力〔めぢから〕展　1.12―2.27　ビジュアルアーツギャラリー・東京
産経　1.20

建築はどこにあるの?　7つのインスタレーション　4.29―8.8　東京国立近代美術館
AXIS　146　ぽむ企画
美術手帖　939　五十嵐太郎
東京夕刊　6.18　児島やよい
毎日夕刊　5.24　五十嵐太郎
読売　7.15　高野清見

建長寺の観音図―32幅全部見せます!―　6.10―7.11　鎌倉国宝館
新美術新聞　1225　島尾新

2010県展48回　8.7―8.21　兵庫県立美術館

(コ)

郷土の美術をみる・しる・まなぶ vol.2　小石原焼と小鹿田焼
10.9―11.28　福岡県立美術館

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)展　生誕160年・来日120年　10.2―11.14　神奈川近代文学館

小磯良平大賞展9回　11.28―1.30　神戸市立小磯記念美術館(上野の森美術館)

工芸に見る錦繍・初冬の風情　10.23―12.19　遠山記念館付属美術館

考古学ってなに?　4.10―5.23　横浜市歴史博物館

交差する10のエナジー　～×4〔バイフォー〕からの発信～　12.14―12.20　田中八重洲画廊
新美術新聞　1235　安井収蔵

皇室の文庫〔ふみくら〕　書陵部の名品　9.18―10.17　宮内庁三の丸尚蔵館

香水瓶の世界　きらめく装いの美
9.18―11.28　東京都庭園美術館(海の見える杜美術館、いわき市立美術館)
産経　9.15

煌星会展4回　11.29―12.4　銀座スルガ台画廊

高僧と袈裟　10.9―11.23　京都国立博物館

高知の日本画　近現代特集　平成22年度コレクション展1回　3.25―4.17　高知県立美術館

高知の洋画家たち　平成22年度コレクション展2回　10.20―12.23　高知県立美術館

国宝紅白梅図屏風　所蔵名品展
1.1―3.8　MOA美術館

甲府道祖神祭り―江戸時代の甲府城下活性化プロジェクト―　12.15―1.31　山梨県立博物館

神戸で秀吉と出会う旅　6.19―8.1　神戸市立博物館

古河城―水底に沈んだ名城　10.23―11.28　古河歴史博物館

古瓦を追って―前場幸治瓦コレクション―　7.30―9.12　明治大学考古学博物館

国際絵本コンクール受賞画家展
10.1―12.19　安曇野ちひろ美術館

国際ガラス展・金沢2010　8.26―8.31　香林坊大和8階ホール　新美術新聞　1224　武田厚

5つ星デザイナーの饗宴　国際招待ポスター展2回　1.23―3.14　大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室

The Age of micro voyages―極小航海時代―ポルトガル現代美術
6.19―8.1　女子美アートミュージアム

夏休みこども美術館2010　ここはどこ?―アートで行こう。ふしぎの旅―　7.21―9.5　福岡市美術館

こころ　はずむ　えほん　の　せかい　ちひろ美術館コレクション
10.9—11.28　松本市美術館

こころをかたちに—新造形の誕生—
6.18—10.24　京都府立堂本印象美術館

御城下絵図を読み解く　11.8—1.29　徴古館

湖西の風土と遺宝—高島郡を中心に—　1.30—4.4　滋賀県立安土城考古博物館

古代エジプト　神秘のミイラ展—オランダ国立古代博物館コレクション—　9.18—12.5　福島県立美術館

古代カルタゴとローマ—きらめく地中海文明の至宝—　チュニジア世界遺産　1.7—2.2　岩手県民会館
(京都文化博物館、浜松市美術館、宮崎県総合博物館、松坂屋美術館、沖縄県立博物館・美術館、高崎シティギャラリー、岡山市立オリエント美術館)

古代に鋳る—青銅器—　10.23—12.5　堺市立みはら歴史博物館

古代メキシコ・オルメカ文明展—マヤへの道　日本メキシコ交流400周年記念　7.31—9.26　京都府京都文化博物館(古代オリエント博物館、北九州市立いのちのたび博物館、名古屋市博物館、鹿児島県歴史資料センター黎明館)

古代ローマ帝国の遺産　1.6—3.22
愛知県美術館(国立西洋美術館、北海道立近代美術館)
新美術新聞　1204　大島徹也

古代ローマ帝国の遺産　4.10—6.13
青森県立美術館(国立西洋美術館、北海道立近代美術館)
読売　4.28　清岡央

古代ローマの港町オスティア　11.10—11.19　日本大学文理学部

コドモアサヒの時代　11.8—12.18
武蔵野美術大学美術資料図書館

こども工芸館／おとな工芸館　イロ×イロ　7.9—8.29　東京国立近代美術館工芸館

こどものにわ　7.24—10.3　東京都現代美術館
美術手帖　944　松井みどり
毎日　9.9　田村彰子

個の地平4回　8.25—8.31　高島屋(東京)
新美術新聞　1224　土方明司

小林一三の世界展　逸翁美術館の名品を中心に　10.30—11.30　山梨県立美術館

五百羅漢のお寺—天寧寺の歴史と美術—　10.1—10.26　彦根城博物館

湖北ゆかりの刀剣　6.25—7.22　市立長浜城歴史博物館

五味康祐の世界—作家の遺品が語るもの—没後30年　9.5—10.11
練馬区立石神井公園ふるさと文化館

小山冨士夫・小山岑一・塚本快示・塚本満　父子四人展　3.15—3.20
万葉洞　七丁目店

御料車—知られざる美術品—　鉄道博物館開館三周年特別企画展
10.9—1.16　鉄道博物館
毎日　10.6　斎藤正利

コレクション展　Part 1. 朝倉文夫—朝倉彫塑館所蔵—／Part 2. 芸大コレクション—動物を中心に—
4.6—6.6　東京芸術大学大学美術館
東京　4.11　井上幸一

コレクション展　4.8—6.27　神戸ゆかりの美術館

コレクション展　目には見えない確かなこと　9.11—4.10　金沢21世紀美術館

コレクションを極める　2.6—3.28
名古屋市美術館

コレクションを未来へ　根津嘉一郎蒐集品と寄贈作品　8.21—9.26
根津美術館

これは本ではない—ブック・アートの広がり　11.20—1.23　うらわ美術館(福井市美術館)
ギャラリー*　309　三田晴夫
日経　12.8　宝玉正彦

これまでの木版画大賞展4　第14回～第15回　11.13—1.10　川上澄生美術館

“これも自分と認めざるをえない”展

佐藤雅彦ディレクション　7.16—11.3　21_21　DESIGN SIGHT
美術手帖　944　椹木野衣
REAR　25　橋本一径
朝日夕刊　9.1　西田健作
毎日　8.11　永田晶子

欣求浄土　ピュア・ランドを求めて—大倉コレクション　仏教美術名品展—　8.1—9.26　大倉集古館

昆虫の詩人　ファーブル展—『ファーブル昆虫記』の世界—　8.3—9.26　とちぎ蔵の街美術館

こんな人、あんな人—欧米版画に見る人物表現—レンブラントからキキ・スミスまで　8.14—9.26　町田市立国際版画美術館

(サ)

サイコアナリシス：現代オーストリアの眼差し　5.29—8.1　トーキョーワンダーサイト(熊本市現代美術館)

彩色立面図に見る日本の近代建築—銀行・オフィスビルから邸宅まで—　2.20—5.9　神奈川県立歴史博物館

サイバーアーツジャパン—アルスエレクトロニカの30年　2.2—3.22
東京都現代美術館

再発見！クレパス画　身近な画材の可能性　4.24—6.27　うらわ美術館

祭礼に舞う—広島の舞楽・能楽・神楽—　10.1—11.21　広島県立歴史民俗資料館

佐賀城本丸歴史館所蔵名品撰　『錦絵』展　4.23—5.30　佐賀県立佐賀城本丸歴史館

佐賀鍋島藩の彩—新春の華やぎ—
12.17—1.23　佐賀県立佐賀城本丸歴史館

坂本龍馬の時代　幕末明治の土佐の絵師たち　10.31—12.12　高知県立美術館

The Gift　あなたへ、わたしへ
12.4—12.5　ときの忘れもの

佐久市立近代美術館名品展　高崎市制施行110周年記念事業　11.20—1.23　高崎市タワー美術館

ザ・コレクション・ヴィンタートゥール　スイス発―知られざるヨーロピアン・モダンの殿堂　6.13―7.25　宇都宮美術館(兵庫県立美術館、長崎県美術館)
読売　1.1
ザ・コレクション・ヴィンタートゥール　スイス発―知られざるヨーロピアン・モダンの殿堂　8.7―10.11　世田谷美術館(兵庫県立美術館、長崎県美術館)
美術屋・百兵衛　14
産経　9.22　黒沢綾子
毎日夕刊　8.19　高階秀爾
読売　9.9　織作峰子
読売　9.10　横尾忠則
読売　9.11　日比野克彦
挿絵本の世界　きれい、カワイイ、怖い―本と版画のステキな関係　4.10―6.6　町田市立国際版画美術館
Chaosmos '09　作家はつぶやく　2.7―3.22　佐倉市立美術館
芸術新潮　725
朝日夕刊　3.10　田中三蔵
さっぽろ・昭和30年代―美術評論家なかがわ・つかさが見た熱き時代―札幌芸術の森美術館開館20周年記念　10.30―1.30　札幌芸術の森美術館
サッポロ未来展９回　Forum　3.15―3.20　札幌時計台ギャラリー
美術の窓　320　磯部靖
薩摩藩「玉里邸」とその文化　黎明館・鹿児島大学附属図書館合同企画　2.16―5.9　鹿児島県歴史資料センター黎明館
サトエ記念21世紀美術館コレクション展―国内外の芸術家による名品と浮田克躬の大作を中心に―　4.10―6.6　サトエ記念21世紀美術館
ザ・ニュースペーパーズ　11.2―12.5　神田日勝記念美術館
The Human Condition 2010　「A. D. 79　古代ローマの美術」展　3.6―4.3　タグチファインアート
産経　3.17
ザ・風景―変貌する現代の眼　4.24―9.12　名古屋ボストン美術館
さまざまな書のカタチ展　祥洲／東京教室有志による　3.19―3.30　マキイマサルファインアーツ
侍と私　ポートレイトが語る初期写真　5.15―7.25　東京都写真美術館
美術手帖　940　小原真史
爽やかな日本美術―風・流れ・涼の表現　4.1―6.6　大倉集古館
酸化したリアリティー　群馬青年ビエンナーレの作家たち　1.23―3.22　群馬県立近代美術館
三渓と今村甚吉　古美術商への手紙　8.26―9.30　三渓記念館
3331 Presents TOKYO : Part 1　3331グランドオープン記念展　6.26―7.25　アーツ千代田3331
産経　7.21
サンデー・マガジンのDNA―週刊少年漫画誌の50年―　4.29―7.11　高知県立美術館

（シ）

しあわせをひらく扇たち　開館８周年記念展覧会　11.13―1.16　佐野市立吉澤記念美術館
Seeing―６人の作家による写真表現―　11.29―2.10　Fuji Xerox Art Space
信楽生まれの国際陶芸交流展　10.1―11.23　川端倉庫
陶説　695　鈎真一
信楽陶芸トリエンナーレ2010　信楽まちなか芸術祭　10.1―11.23　滋賀県信楽町
四季の彩り　2.11―4.18　メナード美術館
子規の顔　9.1―9.30　子規庵
東京　9.2　丹治早智子
四季の花に遊ぶ鳥―琵琶湖文化館収蔵品から―　12.4―1.23　滋賀県立安土城考古博物館
自己を生かす道―『白樺』群像―文学と美術の源―　開館25周年記念特別展　10.29―12.5　調布市武者小路実篤記念館
獅子舞―ユーラシアから伊那谷へ―　10.16―11.23　飯田市美術博物館
賤ヶ岳合戦と湖北・長浜　4.24―5.30　長浜城歴史博物館
美術コレクション３　静かなる調べ―香川ゆかりの院展作家たち―　1.22―4.4　香川県立ミュージアム
漆芸の未来を拓く―生新の時2010―　5.15―6.27　石川県輪島漆芸美術館
CITY2.0―WEB世代の都市進化論　9.18―10.24　EYE OF GYRE
読売夕刊　10.18　(清)
四天王寺　新春名宝展　聖徳太子像・地蔵菩薩像修理完成記念　1.1―2.14　四天王寺宝物館
渋沢栄一とアルベール・カーン―日仏実業家交流の軌跡―　3.20―5.5　渋沢史料館
ジブリの森のえいが展　土星座へようこそ　5.22―2011.5.22　三鷹の森ジブリ美術館
美術手帖　940　川崎昌平
至宝の仏像　なら仏像館開幕記念　7.21―9.26　奈良国立博物館
日経　7.28　竹田博志
島根の神楽―芸能と祭儀―　2.5―4.4　島根県立古代出雲歴史博物館
市民の愛したもうひとつのヨーロッパ絵画　バロックから近代まで　4.29―5.23　福井県立美術館
「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗　1910年　日韓併合から100年　8.21―10.17　高麗美術館
写真と地図でつづる昭和20～30年代の浅草界隈　5.18―7.19　台東区下町風俗資料館
ジャポニスムとナビ派の版画　4.17―5.23　新潟県立万代島美術館
シャルジャ、砂漠と海の文明交流―アラビアの歴史遺産と文化―　4.24―6.6　石川県立歴史博物館(岡山市立オリエント美術館、新潟市立歴史博物館、天理大学付属天理参考館、横浜ユーラシア文化館)
秀彩展３回　12.23―12.28　すみだリバーサイドホールギャラリー
新美術新聞　1239　(裕)

十二支の考古学—卯— 12.11—1.16 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

重要無形文化財保持団体秀作展18回 日本の伝統美と技の世界 11.11—11.21 鈴鹿市文化会館

珠玉の九州陶磁展—やきもの王国九州の魅力を伝える— 10.2—11.14 佐賀県立九州陶磁文化館

祝祭と祈りのテキスタイル—江戸の幟旗から現代のアートへ— 4.10—6.13 熊本市現代美術館

十回転 9.20—9.25 Key Gallery＆青樺画廊

酒都蒐集家ものがたり 6.12—8.31 辰馬考古資料館

寿齢讃歌—人生のマエストロ—写真展 V 10.1—10.17 茅野市美術館

松花堂昭乗とふるさと八幡の宝物—受けつがれた絵画— 9.16—12.12 八幡市立松花堂美術館

正倉院展62回 10.23—11.11 奈良国立博物館
読売 7.23
読売 8.2
読売 10.22
読売 10.28 梶谷亮治
読売夕刊 10.28 里中満智子
読売夕刊 10.30 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班

縄文土器の静と動—縄文時代中期中葉の土器に見る文様に込められた縄文人の思い— 10.13—12.2 富山県埋蔵文化財センター

縄文のエスプリII 先史飛ノ台とアートの10年 縄文国際コンテンポラリーアート展 7.18—9.12 船橋市飛ノ台史跡公園博物館

縄文のキセキ—半世紀の時を越えて— 10.9—12.5 山形県立博物館

縄文の至宝—世界遺産をめざす15遺跡と土偶— 7.24—9.26 市立函館博物館

城陽を語る100枚の写真 1.30—3.22 城陽市歴史民俗資料館

昭和のおもちゃとマンガの世界 北原照久大コレクション展 4.18—6.21 大阪歴史博物館

書画と工芸 館蔵の名品展 7.3—3.27 承天閣美術館

植物のビーズ「ジュズダマ」と暮らす 12.4—1.16 鹿児島県立博物館

江戸文化シリーズNo.26 諸国畸人伝 9.4—10.11 板橋区立美術館
美術の窓 324 安村敏信
日経 10.4

書誌学展 慶応義塾大学附属研究所斯道文庫開設50年記念事業 11.29—12.4 慶応義塾大学図書館

女子美 心を結ぶ東京画 9.4—9.28 文京シビックセンター
読売 9.18 栗原怜里

2009年度女子美術大学芸術学部卒業制作展 3.13—3.15 女子美術大学 相模原キャンパス

エコール・ド・渋谷NHKアートギャラリー2010 JOINT 女子美術大学大学院生・卒業生作品展 4.20—5.16 NHKふれあいホールギャラリー

Paper Works展 女子美術大学＋アメリカ4美術大学国際交流展 1.7—1.23 女子美ガレリアニケ

2009年度女子美術短期大学部 卒業制作展 3.13—3.15 女子美術大学 杉並キャンパス

女子美スタイル☆最前線 女子美術大学・女子美術大学短期大学部卒業・修了学年選抜学外展 2.10—2.14 BankART Studio NYK

書跡の美—古写経・古筆・墨跡 開館五十周年記念名品展II 5.15—6.20 五島美術館

所蔵品展 10.16—11.28 田原市渥美郷土資料館

書のこころ 6.2—7.14 三渓記念館

書の美 3.1—4.24 早稲田大学會津八一記念博物館

女流陶芸44回 11.17—11.24 京都市美術館
陶説 694 井上隆生

白樺派と漱石 『白樺』創刊100年 4.24—5.30 調布市武者小路実篤記念館

白洲正子 神と仏、自然への祈り生誕100年 10.19—11.21 滋賀県立近代美術館(愛媛県美術館、世田谷美術館)

資料館のあゆみと文理学部の歴史 日本大学文理学部資料館開設5周年記念 12.1—12.20 日本大学文理学部

史料展覧会35回 11.12—11.13 東京大学史料編纂所

シルクロードと東アジアの仏教美術—遥かなる時空〔とき〕をこえて 10.9—11.3 福井県立美術館
美術の窓 325 戸田浩之

シルクロードの華—唐代美術とオリエント絨毯 9.4—11.28 白鶴美術館

シルバージュエリーの美と文化展—アジアの装身具より— 6.10—6.30 ミキモトホール
毎日夕刊 6.21 永田晶子

神宮奉納美術—心とかたち6— 10.14—12.5 神宮美術館

新次元 マンガ表現の現在 8.14—9.26 水戸芸術館現代美術ギャラリー
朝日夕刊 9.15 小川雪
東京夕刊 9.10 三沢典丈

新収蔵資料展—友禅下絵と乾板写真から— 7.12—7.27 立命館大学アート・リサーチセンター

新収蔵品展—歴史系学芸員のオススメ100選— 1.16—2.14 鳥取県立博物館

新収蔵品展平成21年度 2.26—4.18 天童市美術館

新収蔵品展 4.10—5.30 平塚市美術館

新収蔵品展 4.17—6.20 北海道立近代美術館

新収蔵品展 近現代日本陶芸の巨匠たち—板谷波山／文化勲章受章者と人間国宝たち／松井康成— 6.1—9.26 茨城県陶芸美術館

信州ゆかりの天才アーティスト—長野県信濃美術館名品展— 6.6—7.11 長野県信濃美術館

新宿中村屋サロンの美術家たち—生命の芸術表現と思潮— 7.24—8.29 碌山美術館

読売　8.3

収蔵品展　新生栃木市ゆかりの芸術と作品展　12.21—2.3　とちぎ蔵の街美術館

新石器時代から花開いたアジアの樹皮紙 Beaten Bark Paper の美　6.19—7.4　紙の博物館
読売　6.30　岡本公樹

新着・収蔵資料展　11.20—4.10　秋田県立博物館

新・豊川市の文化財展　合併記念特別展　9.25—11.7　豊川市桜ヶ丘ミュージアム

新平成美術展8回　11.15—11.21　赤レンガ倉庫1号館
新美術新聞　1235　(裕)

新耀展8回　6.27—7.3　東京交通会館
美術の窓　326　編集部

親鸞—茨城滞在20年の軌跡—　2.6—3.22　茨城県立歴史館

親鸞展　親鸞聖人750回忌記念企画　4.28—5.10　三越(日本橋)
東京　4.27　今井雅晴

親鸞—その人と生涯—　10.12—11.28　大谷大学博物館

(ス)

画廊50年の軌跡 vol. 3　水景頌　7.1—7.24　不忍画廊

水彩・素描による秀作展　2.22—3.12　フジカワ画廊(東京)

6 femmes　荒木愛・岩本夕佳・小川遥・曽我里美・戸田早紀・平野友紀　8.16—8.21　銀座スルガ台画廊

水都大阪と淀川　新淀川100年　9.18—11.15　大阪歴史博物館

水墨画振興展23回　5.30—6.4　北とぴあ展示ホール
新美術新聞　1222　(元)

On Bathing　水浴考　2.20—4.11　東京国立近代美術館

スウィンギン・ロンドン　50's—60's　—ビートルズたちが輝いていた時代—　5.22—7.4　郡山市立美術館(埼玉県立近代美術館、岡崎市美術博物館)

スカート展[ブブ・ド・ラ・マドレーヌ]　1.23—1.31　art project room ARTZONE
瓜生通信　49　杉谷亜紀

救いのほとけ—観音と地蔵の美術—　10.9—11.23　町田市立国際版画美術館

SQUARE The Collectable 30　1.15—1.26　フリュウ・ギャラリー

すべて見せます。万葉日本画　平城遷都1300年記念　6.4—9.14　奈良県立万葉文化館
新美術新聞　1220　福田道宏

隅田川—江戸が愛した風景—　9.22—11.14　江戸東京博物館
新美術新聞　1227　我妻直美
読売夕刊　9.18　清岡央

すみだ川アートプロジェクト　6.26—7.25　すみだリバーサイドホールギャラリー
産経　7.14　渋沢和彦

住友コレクションの近代洋画　泉屋博古館創立50周年記念　3.6—6.27　泉屋博古館
新美術新聞　1209　川口直宜

住友コレクションの茶道具　泉屋博古館創立50周年記念　4.24—6.20　泉屋博古館分館

住友コレクションの中国美術　泉屋博古館創立50周年記念　9.4—10.17　泉屋博古館

住友コレクションの日本美術　泉屋博古館創立50周年記念　10.23—12.5　泉屋博古館

墨・無限展8回　9.6—9.12　東京銀座画廊
美術の窓　326　編集部

住吉〔すみよっ〕さん　住吉大社1800年の歴史と美術　10.9—11.28　大阪市立美術館

映像をめぐる冒険 vol. 3　3D ヴィジョンズ—新たな表現を求めて—　12.21—2.13　東京都写真美術館

すりもの展　「錦絵・引札・包装紙」—印刷物にみる豊橋の近代—　8.28—10.3　豊橋市美術博物館

(セ)

生存のエシックス　Trouble in Paradise　7.9—8.22　京都国立近代美術館

製版クリエイティブ　1960—70年代の印刷表現—「モナリザ100微笑」を中心に　4.20—7.3　印刷博物館

セーヌの流れに沿って　印象派と日本人画家たちの旅　10.30—12.23　ブリヂストン美術館(ひろしま美術館)
新美術新聞　1232　田所夏子
新美術新聞　1235　大津英敏
朝日夕刊　10.20　小川雪
日経　11.10　宝玉正彦
毎日夕刊　12.9　高階秀爾

世界子ども絵画展—子どもたちから地球へのプレゼント　9.25—10.12　ギャルリ・オーブ
瓜生通信　51　吉田彩

世界中で愛されるリンドグレーンの絵本　7.31—9.26　ふくやま美術館(世田谷文学館、兵庫県立円山川公苑美術館)

魅せます！世界の巨匠展—ルネサンスから現代まで—　4.17—6.20　北海道立函館美術館

世界の更紗　7.6—9.25　文化学園服飾博物館

世界 Bell 訪ねある記—くらしを映す BELL Part. 1—　10.12—11.14　昭和女子大学光葉博物館

世界報道写真展2010　6.12—8.8　東京都写真美術館

世界を変えるデザイン展　5.15—6.13　東京ミッドタウン・デザインハブ
AXIS　147　神吉弘邦

世界を変えるデザイン展　5.28—6.13　AXIS ギャラリー
AXIS　147　神吉弘邦

石洞山人と茶の道具—茶碗・茶釜—　1.24—4.11　石洞美術館
目の眼　403　編集部

世相を映す—ポスターに見る近代ヨーロッパ—　3.23—4.30　京都工芸繊維大学美術工芸資料館

世田谷区民写真展19回　1.5—1.10　世田谷美術館

瀬戸内国際芸術祭2010　アートと海を巡る百日間の冒険　7.19—

10.31　瀬戸内海の７つの島(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島)
視覚の現場　四季の綻び　7　木村未来
新美術新聞　1231　南條史生
東京夕刊　9.7　児島やよい
毎日夕刊　8.5　手塚さや香

瀬戸内の神仏とまじない道具―「大漁エビス」から「イワシの頭」まで―　瀬戸内海歴史民俗資料館コレクション　9.2―12.26　香川県立ミュージアム

瀬戸内海をめぐるテグス船―鳴門一本釣の道具と技をのせて―　瀬戸内海歴史民俗資料館コレクション　4.20―7.11　香川県立ミュージアム

September 2010　9.7―10.16　西村画廊

ぬくもりのあるかたち―芹沢銈介が選んだ木工―　6.5―8.29　静岡市立芹沢銈介美術館

前衛★R70展　9.13―10.2　ギャラリー58
朝日夕刊　9.22　暮沢剛巳
産経　9.29
毎日夕刊　9.27　岸桂子
読売夕刊　9.27　(知)

仙厓展　仙厓さんとおともだち　9.19―11.7　福岡市美術館

千家茶道の継承　裏千家十三代圓能斎鉄中宗室　6.19―9.26　茶道資料館(碧南市藤井達吉美術館)

善光寺　大本願上人展　近世二代と第百二十一世鷹司誓玉上人ゆかりの御品　12.26―1.17　三越(日本橋)

戦国・江戸のひとびと・デキゴト　広島城コレクションで見る！　1.30―3.28　広島城

戦国大名とナンバー２　直江兼続生誕450年　5.29―7.19　米沢市上杉博物館

戦国の琵琶湖〔うみ〕―近江の城の物語―　7.17―9.26　滋賀県立安土城考古博物館

戦国の九州と武雄　後藤貴明・家信の時代　2.13―3.21　武雄市図書館・歴史資料館

戦国の城と馬　4.24―6.6　馬の博物館

戦後フランス映画ポスターの世界　東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵《新外映コレクション》より　1.7―3.28　東京国立近代美術館フィルムセンター
芸術新潮　723

仙台の刀工　安倫　1.1―1.24　塩釜神社博物館

禅寺広寿山の名宝―小倉にひらいた中国文化の華―　10.9―11.28　北九州市立いのちのたび博物館

千年の美　平成の表装展　彩・雨　9.15―9.21　高島屋(日本橋)(高島屋(京都、名古屋、大阪、横浜))

千少庵と蒲生氏郷　4.17―5.30　福島県立博物館

エコール・ド・渋谷NHKアートギャラリー2010　専門学校美術展40回　9.28―12.19　NHKふれあいホールギャラリー

占領期雑誌フォトスvs.現代若者の眼力〔めぢから〕　1.9―2.27　早稲田大学大隈記念タワー125記念展示室／ビジュアルアーツギャラリー・東京
産経　1.20

(ソ)

ELEPHANT TRAVEL BUREAU―象観光プロジェクト―　9.10―11.3　象の鼻テラス

造形のチカラ　cera―mix part II　8.21―8.29　ギャラリー目黒陶芸館
REAR　25　村山閑

MOTアニュアル2010　装飾　2.6―4.11　東京都現代美術館
芸術新潮　724
陶説　687　井上隆生
美術手帖　936　岩渕貞哉
朝日夕刊　3.17　大西若人
産経　2.17　渋沢和彦
東京夕刊　3.12　児島やよい
日経　3.17　宝玉正彦
日経夕刊　2.17　(敦)
毎日夕刊　3.2　岸桂子

創造　味岡伸太郎／伊藤誠／島州一／多田正美／松下誠子　10.16―12.19　双ギャラリー

雑兵物語の世界　3.20―5.9　埼玉県立歴史と民俗の博物館

相馬駒焼展　1.23―3.14　南相馬市博物館

ちひろ美術館コレクション展　素材であそぶ　7.14―9.12　ちひろ美術館(東京)

卒業設計日本一展2010　10.19―11.6　ギャラリー・間

染と織―藍・木綿―　5.1―6.27　葛城市歴史博物館

それぞれの明治維新―新時代の日本と土佐―　10.8―1.10　土佐山内家宝物資料館

損保ジャパン美術財団選抜奨励展29回　3.13―4.4　損保ジャパン東郷青児美術館
新美術新聞　1211

(タ)

大紙芝居展　よみがえる昭和の街頭文化　7.24―9.5　横浜市歴史博物館

コレクション２　体感ミュージアム　7.3―9.26　神戸ゆかりの美術館

大遣唐使展　平城遷都1300年記念　4.3―6.20　奈良国立博物館
新美術新聞　1213　稲本泰生
読売　1.1
読売　5.5　早川保夫

大昆虫博　日本人と虫たちの深く長い歴史　6.22―9.5　江戸東京博物館

太子町の歴史探検　わが町の歴史を楽しもう!!　7.17―9.5　太子町立歴史資料館

大正イマジュリィの世界　デザインとイラストレーションのモダーンズ　11.30―1.23　渋谷区立松涛美術館
芸術新潮　733

大丹波―豪族たちの栄華―　10.2―11.23　京都府立丹後郷土資料館

大唐皇帝陵展　平城遷都1300年記念　4.24―6.20　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

日経　5.5　竹田博志

大名古屋城展　名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念　7.31—9.26　徳川美術館

大日山35号墳の埴輪群像—全国巡回展を終えて—　4.13—6.27　和歌山県立紀伊風土記の丘

多賀城・太宰府と古代の都　9.4—10.24　東北歴史博物館

国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開6回　10.30—11.7　国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設

宝塚歌劇の写真展　春日野八千代を中心に　10.13—12.5　阪急学園池田文庫

大宰府　その栄華と軌跡　九州歴史資料館開館記念　11.21—1.16　九州歴史資料館

多田等観—チベットにかけた生涯—生誕120年記念　6.12—7.11　花巻市博物館

立原杏所とその師友　10.9—11.23　茨城県立歴史館

脱臼　10.2—10.29　island
美術手帖　947　北出智恵子

田中本家のおひなさま　2.5—4.19　田中本家博物館

旅人たちの挑戦—収蔵品セレクション展—　6.18—7.19　高岡市美術館

『真っ白でいるよりも』　多摩美術大学大学院　日本画・版画展　9.8—9.20　佐藤美術館

Print Composition 2010　多摩美術大学版画の40年　10.23—11.21　多摩美術大学美術館

誕生！中国文明　7.6—9.5　東京国立博物館(九州国立博物館、奈良国立博物館)
読売　1.1
読売夕刊　7.7　森田睦
読売夕刊　7.9　森田睦
読売夕刊　7.10　森田睦
読売夕刊　8.21

丹波美術大賞展5回　12.4—12.19　丹波市立植野記念美術館

ダンボールの博物館　見て・ふれて・楽しもう！　4.24—5.30　愛媛県歴史文化博物館

(チ)

知覚の扉　1.9—3.28　豊田市美術館

知覚の扉2　あいちアートの森　豊田プロジェクト　2.20—3.14　豊田市美術館／喜楽亭

竹生島宝厳寺の歴史と寺宝　武将たちの信仰と伝来の絵画・書跡　4.24—5.30　長浜城歴史博物館

FORGE—千葉大学美術科出身5人展—　8.2—8.7　銀座スルガ台画廊

日本の美・発見3　茶 Tea—喫茶のたのしみ　4.3—6.6　出光美術館

今日庵文庫　茶書にみる茶の湯の歴史　4.17—6.13　茶道資料館

茶事をめぐって　現代工芸への視点　9.15—11.23　東京国立近代美術館工芸館
朝日夕刊　10.6　西田健作
毎日夕刊　9.21　岸桂子

茶道具の精華　開館五十周年記念名品展Ⅳ　8.28—10.24　五島美術館

茶陶の道—天目と呉州赤絵—　11.13—12.23　出光美術館

茶ノ湯釜にみる朽ちの美　9.3—12.23　大西清右衛門美術館

茶の湯　新春の宴　1.7—3.22　楽美術館

茶の湯の美—数寄のかたちと意匠—　4.10—6.20　畠山記念館

茶の湯の美—茶道具にみる伝統と創造—　11.18—12.26　香川県立ミュージアム

茶の湯の文明開化—茶人玄々斎の生涯と奥殿藩松平家—　9.11—11.7　岡崎市美術博物館

茶の湯の名品　東京国立博物館蔵広田不孤斎コレクション　10.9—11.28　茶道資料館

茶の湯のものづくりと世界のわざ—千家十職×みんぱく—　7.23—9.20　島根県立古代出雲歴史博物館

中国古陶磁の精華　6.5—7.11　姫路市書写の里・美術工芸館

静嘉堂の東洋陶磁 Part I　中国陶磁名品展　9.25—12.5　静嘉堂文庫美術館

中国・日本のやきもの—土器から茶器まで—　12.11—1.30　和泉市久保惣記念美術館

中国の玉とガラス—玉の美とガラスの色彩—　8.7—9.20　和泉市久保惣記念美術館

中国美術館所蔵　中国の扇面画　6.8—6.27　渋谷区立松涛美術館
趣味の水墨画　255
新美術新聞　1216　味岡義人

中国の小さなやきもの—美は掌中に在り—　6.5—7.25　細見美術館

中国文化への憧憬〔あこがれ〕—近世絵画の文人世界に遊ぶ—　3.13—5.30　堺市博物館

中国明清　帖・巻子展　日本書作院50回記念企画　2.5—2.16　国立新美術館

古陶の譜　中世のやきもの—六古窯とその周辺—　9.4—12.12　MIHO MUSEUM(茨城県陶芸美術館、愛知県陶磁資料館、福井県陶芸館、山口県立萩美術館・浦上記念館)

駐日米国大使公邸展覧会　時を越えた繋がり：日本のアーティストとアメリカ　4.2—9.30　駐日米国大使公邸
産経　4.22　長戸雅子

彫刻・立体・オブジェ—あるいは彫刻的なるもの　4.23—5.8　ギャラリー川船

みんなで学ぶ　朝鮮・韓国の歴史と思想　10.23—12.23　高麗美術館

朝鮮古陶磁の精華—高麗・李朝のやきもの　10.9—11.28　姫路市書写の里・美術工芸館

朝鮮陶磁—柳宗悦没後50年記念　4.1—6.27　日本民芸館
新美術新聞　1216　杉山享司

朝鮮　虎展　1.9—2.14　高麗美術館

朝鮮の壺　高麗美術館コレクション名品展　2.10—4.4　高麗美術館

チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展　2.2—4.11　江戸東京博物館(山梨県立博物館)
産経　2.2

産経　2.9
産経　2.11
産経　2.12
産経　3.18
産経　3.19

（ツ）

つくば大学の美術家たち　4.27—5.9　鹿追町民ホール
つくりかたから見る美術—コレクション徹底解剖！—　6.26—9.5　群馬県立館林美術館
つくる、えがく、しるす—歴史からの贈り物—　4.24—6.15　栃木県立博物館
つながる／つなげる　愛媛ゆかりの芸術家たち　県民総合文化祭協賛事業　10.9—11.28　愛媛県美術館
椿会展2010　4.10—6.13　資生堂ギャラリー
毎日夕刊　4.27　岸桂子
つぶやきははばたく　5.7—5.18　マキイマサルファインアーツ
国宝鶴岡八幡宮古神宝　9.9—10.11　鎌倉国宝館

（テ）

出会えます。あなたの愛する風景　11.16—12.23　静岡県立美術館
dislocate　9.25—11.13　アーツ千代田3331
美術館に行こう！　ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方　7.17—9.12　茨城県近代美術館
TEXTILE CONNECTION—WOVEN COSMOS—プレ展　10.5—10.10　Gallery　青藍
TEXTILE CONNECTION—WOVEN COSMOS—　10.19—11.7　東京芸術大学大学美術館陳列館
産経　10.26
テキスタイルの形と色　織る・編む・ひろがる　12.21—1.30　岡山県立美術館
DESIGN ふたつの時代　60s vs 00s　D—8 ジャパンデザインミュージアム構想1回　9.17—9.28　ミキモトホール
手探りのドローイング　Drawing in the Dark　8.14—10.17　東京国立近代美術館
LOVE! Handmade　手しごと刺繍展　11.11—4.3　アミューズミュージアム
デジタル・オイル・ペインティング展—油画描画シミュレータを使って—　東京芸術大学＋東京工業大学　1.6—1.20　東京芸術大学大学美術館
鉄心斎文庫　短冊文華展　10.4—11.12　国文学研究資料館
手でみる彫刻展　2.20—4.18　秋田県立近代美術館
天狗推参！　9.25—10.31　神奈川県立歴史博物館
読売　10.20　前田恭二
伝統美と匠の世界　新作日本刀・刀職技術展覧会1回　6.13—7.25　大倉集古館
伝来の茶道具　6.17—9.6　田中本家博物館
展覧会ポスターにみるアートの世界—ピカソからウォーホルまで—　11.12—12.26　香川県立ミュージアム

（ト）

GLASS WORKS 2010　東京ガラス工芸研究所卒業・修了制作展　2.26—3.7　アートガーデンかわさき
東京芸術大学卒業・修了作品展58回　1.29—2.3　東京都美術館／東京芸術大学大学美術館／Bank-ART Studio NYK
東京芸術大学大学院美術研究科博士審査展　12.12—12.24　東京芸術大学大学美術館
東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室研究報告発表　4.25—4.29　シンワアートミュージアム
ShinPA!!!!　東京芸術大学デザイン科描画系　2.20—5.18　おぶせミュージアム
東京芸術大学日本画第二研究室　素描展　11.15—11.29　東京芸術大学大学美術館陳列館
東京国立博物館里帰り展　9.15—10.17　松山市考古館／松山市中島総合文化センター
東京五美術大学連合卒業・修了制作展33回　東京造形大学・日本大学芸術学部・武蔵野美術大学・多摩美術大学・女子美術大学　2.18—2.28　国立新美術館
東京サテライト2010　2.15—2.21　ギャラリーくぼた
東京サテライト・ファイナル2010　11.16—11.22　山脇ギャラリー
東京スカイツリーを描く絵画展　10.6—10.11　東京芸術大学大学美術館陳列館
東京タワーについて　アート・マネジメント講座2009展示系ワークショップ関連企画　1.9—1.11　慶応義塾大学東館展示スペース
東京展31回　7.6—7.17　ギャラリーくぼた
道教の美術　不老長寿を夢みる魅惑の世界　1.23—3.22　長崎歴史文化博物館
東京復興—カラーで見る昭和20年代東京の軌跡—　8.4—9.26　江戸東京博物館
毎日夕刊　8.30　栗原俊雄
陶芸の美—日本・中国・朝鮮　開館五十周年記念名品展 III　6.26—8.8　五島美術館
洞穴遺跡の考古学　7.16—9.20　地底の森ミュージアム
陶磁器ふたつの愉楽　観るやきもの・使ううつわ　1.9—2.28　根津美術館
東寺名宝展—弘法大師の書とゆかりの名品—　3.20—5.25　東寺宝物館
東寺名宝展—国宝十二天屏風と密教工芸—　9.20—11.25　東寺宝物館
唐招提寺　金堂荘厳展—平成の大修理・よみがえる天平の彩り—　12.4—1.30　多摩美術大学美術館
東大寺—近現代の名品　光明皇后1250年御遠忌記念　11.10—11.23

高島屋(日本橋)
読売　11.10　高野清見

東大寺大仏—天平の至宝—光明皇后1250年御遠忌記念　10.8—12.12　東京国立博物館
読売　1.1　楊逸
読売　7.23
読売　10.2　金子啓明
読売　10.28　梶谷亮治
読売　11.9　籔内佐斗司
読売　11.10　里中満智子
読売夕刊　11.2

銅鐸の中の動物たち　7.10—8.30　荒神谷博物館

等伯をめぐる画家たち　長谷川等伯没後400年記念・開館15周年記念　4.24—5.30　石川県七尾美術館
芸術新潮　723

東北画は可能か？其ノ二—仙台編—　9.28—10.10　artroom Enoma ギャラリー*　307　小金沢智

東北芸術工科大学卒業・修了研究・制作　2.9—2.14　東北芸術工科大学／悠創館

東北芸術工科大学卒業・修了展[東京展]　3.26—4.3　東京都美術館

perché—東北芸術工科大学院洋画3人展—　7.19—7.24　銀座スルガ台画廊

刻—東北芸術工科大学版画3人展—　7.26—7.31　銀座スルガ台画廊

陶俑の美　10.6—12.23　松岡美術館

棟梁—堂宮大工の世界—　竹中大工道具館開館25周年記念巡回展　6.16—7.23　ギャラリーA⁴(JRタワープラニスホール、竹中大工道具館、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館)

時の宙づり—生と死のあわいで　4.3—8.20 IZU PHOTO MUSEUM
REAR　25　門林岳史

時の遊園地　4.24—9.12　名古屋ボストン美術館

トキ舞う空へ—鳥と人の文化史—　7.17—8.31　石川県立歴史博物館

徳川家康の遺愛品　江戸を開いた天下人　4.14—6.20　三井記念美術館

徳川御三卿　10.5—11.14　江戸東京博物館

徳川将軍家と加賀藩—姫君たちの輝き—　9.23—11.3　石川県立歴史博物館

徳島県立近代美術館名品ベスト100　10.9—12.26　徳島県立近代美術館

徳島藩主蜂須賀家　歴代肖像画の世界　8.21—10.17　徳島市立徳島城博物館

土佐の国主—長宗我部氏と山内氏の三〇〇年—　7.9—9.30　土佐山内家宝物資料館

豊島郡の村絵図　10.22—12.12　豊島区立郷土資料館

独起会展21回　6.28—7.3　銀座スルガ台画廊

利根運河三十六景—運河をめぐる、ひと・もの・こと—　10.9—12.6　野田市郷土博物館

殿様、ECOを考える—自然へのまなざし—　5.29—7.25　徳川美術館

DOMANI・明日展2010　未来を担う美術家たち　文化庁芸術家在外研修の成果　12.11—1.23　国立新美術館

Toyota Art Competition—とよた美術展2010　2.6—2.28　豊田市美術館
REAR　24　河田亜也子

虎・獅子・ライオン—日本美術に見る勇猛美のイメージ　7.17—9.5　宮内庁三の丸尚蔵館

トラ！トラ！トラ！　1.8—1.19　マキイマサルファインアーツ

東京アートミーティング　トランスフォーメーション　10.29—1.30　東京都現代美術館
美術手帖　948　千葉雅也
毎日夕刊　12.16　三田晴夫

トリエンナーレまくらざき9回風の芸術展　8.1—9.26　枕崎市文化資料センター南溟館

トルストイ没後百年記念展　5.1—5.31　昭和女子大学光葉博物館

(ナ)

長崎奉行所　龍馬伝館　1.9—1.10　長崎歴史文化博物館

中山道板橋宿と加賀藩下屋敷　板橋区・金沢市友好交流都市協定記念　2.11—3.22　板橋区立郷土資料館

長野県工芸展30回記念　9.29—10.3　長野市ホクト文化ホール
陶説　693　外舘和子

信州の歴史遺産Ⅳ—長野県宝と歴史館のお宝—　12.11—2.27　長野県立歴史館

長浜曳山祭　まつりを支えた人々—絵師と太夫—　3.23—4.22　市立長浜城歴史博物館

ながめる　まなざす　5.14—7.13　UPフィールドギャラリー
産経　5.17

名古屋タイムズの見た名古屋—昭和21～39年—　11.20—12.19　名古屋市博物館

那須のゆりがね—産金の歴史—　9.18—11.23　栃木県立なす風土記の丘資料館

なつかしのこま遊び—姫路こまと全国のこま—　7.17—8.31　姫路市書写の里・美術工芸館

何が聞こえる？　音の見えるアートの世界　9.1—10.17　遠山記念館付属美術館

鍋島家の雛祭り　加賀前田家からの里帰り　2.20—3.28　徴古館(財団法人鍋島報效会)

ナポリ・宮廷と美　カポディモンテ美術館　6.26—9.26　国立西洋美術館(京都府京都文化博物館)
産経　8.18　渋沢和彦
東京　6.8　中野京子
東京夕刊　7.1　渡辺晋輔
東京夕刊　7.2　池上英洋
東京夕刊　7.5　越川倫明
東京夕刊　7.6　土屋淳二
東京夕刊　7.7　森田義之
東京夕刊　8.27　宮下規久朗 談／三沢典丈
東京夕刊　8.30　高橋睦郎
東京夕刊　9.2　大岡玲
日経　8.3

奈良時代の匠たち—大寺建立の考古学— 10.2—11.21 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

奈良の古寺と仏像—會津八一のうたにのせて— 4.24—6.6 新潟県立近代美術館
日経 2.20

奈良の古寺と仏像—會津八一のうたにのせて— 7.7—9.20 三井記念美術館
日経 7.20 籔内佐斗司／滝田栄／柴門ふみ／佐伯俊源
日経 8.14 廣瀬郁美／富田律之聞き手

奈良の古寺と仏像—會津八一のうたにのせて— 11.20—12.19 奈良県立美術館
日経 12.11

成合 春日神社と金龍寺 シリーズ高槻の村と町Ⅱ 1.4—2.28 高槻市立しろあと歴史館

南宋の青磁 宙〔そら〕をうつすうつわ 根津美術館創立70周年記念 10.9—11.14 根津美術館
日経夕刊 11.8 小川敦生

(ニ)

肉筆浮世絵の美—氏家浮世絵コレクション— 1.4—2.14 鎌倉国宝館

錦絵に見るパロディーと食—錦絵をもっと楽しむ— 10.5—11.30 食の文化ライブラリー

錦絵の美—歌川国貞・歌川広重の世界— 6.12—8.8 静嘉堂文庫美術館

21世紀の伝統工芸—世界の眼—東日本伝統工芸展50回記念 12.5—12.24 MOA美術館
陶説 695 外舘和子

21世紀の目展15回 目—それぞれのかたち 12.15—12.21 高島屋(京都)
新美術新聞 1235 畠中光享

25年目の贈りもの—コロー、ルノワールから郷土の美術家まで— 4.17—7.4 福島県立美術館

20世紀イタリア美術展 ふくやま美術館コレクションによる—未来派、デ・キリコからトランスアヴァングァルディアまで— 7.30—9.5 高岡市美術館

20世紀西洋版画の展開 キュビスムからシュルレアリスムそして抽象へ 6.5—9.5 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)

20世紀の人間像 すべての写真はポートレイトである 10.9—12.5 東京都写真美術館

20世紀の人間像 徳島県立近代美術館所蔵名品展 4.23—5.30 八代市立博物館未来の森ミュージアム

20世紀の人間像 徳島県立近代美術館所蔵名品展 6.8—7.19 碧南市藤井達吉現代美術館

20世紀美術への招待状—ピカソ、シャガールから横山大観、竹内栖鳳まで—富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵作品による 7.16—8.22 岐阜県美術館

2000年代の日本の絵本展 2000—2009 5.14—7.13 安曇野ちひろ美術館(ちひろ美術館(東京))

日韓交流エコアート展 エコアートネットワーク山梨 2.26—3.4 山梨県立美術館

日光×会津 小杉放菴と喜多方美術倶楽部の人びと 4.17—5.30 小杉放菴記念日光美術館

日光市所蔵の工芸と版画 9.18—10.17 小杉放菴記念日光美術館

ニッポンの油絵 魅力再発見！ 1.24—3.22 栃木県立美術館

JAALA 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ交流美術展17回 7.10—7.19 川崎市市民ミュージアム

日本画 Bestアーティスト4 開館40周年記念 6.1—8.31 足立美術館
美術屋・百兵衛 14

日本学士院受賞100周年記念展—日本の学術とともに— 10.5—10.24 日本学士院会館

日本画動物園 7.3—9.12 石正美術館

日本画と洋画のはざまで 開館1周年記念 9.11—11.7 山種美術館

「日本画」の現在—現代画家9人の競演— 2.11—3.28 青梅市立美術館

日本画の新旗手たち展 岡村桂三郎・河嶋淳司・斉藤典彦・千住博 1.7—1.16 銀座スルガ台画廊

「日本画」の前衛 1938—1949 9.3—10.17 京都国立近代美術館(東京国立近代美術館、広島県立美術館)
読売 10.7 木村未来

日本近代陶芸のあゆみ 岐阜県現代陶芸美術館所蔵 4.24—6.20 姫路市立美術館

日本近代の青春 創作版画の名品 9.18—10.24 和歌山県立近代美術館(宇都宮美術館)

日本近代洋画への道—山岡コレクションを中心に—写実の衝撃！めざめるニッポンの油絵 6.18—8.18 北海道立帯広美術館

—日本人に愛され続けてきた—現代美術の流れ展 8.22—9.23 ギャラリー白石／アートギャラリー天心
ギャラリー* 306

日本人を魅了した中国美術 3.6—6.6 白鶴美術館

日本赤十字社アートコレクション特別展 —平和への願いをこめて— 4.2—4.23 ミキモトホール
美術の窓 321

日本大学芸術学部デザイン学科卒業制作選抜展・造形芸術専攻修了展 2.6—2.26 日本大学お茶の水キャンパス アートプラザ

日本伝統漆芸展27回 1.29—2.21 石川県輪島漆芸美術館

日本陶磁協会賞受賞作家展51回 2.4—2.20 和光ホール(銀座)
陶説 686 唐澤昌宏

日本人形の美 伝統から近代まで—浅原コレクションの世界 1.2—1.31 そごう美術館

日本の海洋画展25回 現代日本画壇の海洋画を一堂に集めて 8.22—8.31 東京芸術劇場(北九州市立美術館本館)

日本の型染　小紋　中形　型友禅など　10.15—12.18　文化学園服飾博物館

日本の活字のつくりかた—本木昌造による活字のつくりかた—　10.2—1.16　印刷博物館

日本の染—絞り・型・筒描—　7.6—9.5　日本民芸館

日本の美術運動　館蔵品展　5.15—6.27　板橋区立美術館
朝日夕刊　6.23　小川雪
毎日夕刊　6.3　岸桂子

日本のやきもの　12.4—2.5　早稲田大学會津八一記念博物館

「日本のわざと美」展—重要無形文化財とそれを支える人々—　11.3—12.5　山口県立萩美術館・浦上記念館

日本発☆子どもの本、海を渡る　2.20—9.5　国立国会図書館国際子ども図書館

外交史料に見る　日本万国博覧会への道　7.5—10.29　外務省外交史料館

日本美術院の画家たち—横山大観から平山郁夫まで—　11.13—12.26　山種美術館

日本美術のヴィーナス—浮世絵と近代美人画—　7.31—9.12　出光美術館
朝日夕刊　9.3　小川雪
毎日夕刊　8.10　岸桂子
読売　8.12

細見美術館アートキャンパス2010—日本美術の見方　京都〔みやこ〕編—　7.31—9.26　細見美術館

日本民芸館展平成22年度—新作工芸公募展—　12.11—12.23　日本民芸館

NEW DIRECTION#2 TRANS—PLe-X　9.3—9.26　トーキョーワンダーサイト本郷
瓜生通信　51　橋本優香子
美術手帖　945　千葉雅也

庭　作家の小宇宙　2.20—4.11　東京国立近代美術館

人間国宝と古陶—対峙する眼と手　9.18—11.21　茨城県陶芸美術館

(ヌ)

布のこころ—受け継がれる母の想いとくらしの美—　1.2—2.21　北九州市立いのちのたび博物館

(ノ)

能面に見る女性表現—女面の成立と変遷—　10.6—11.21　国立能楽堂

能面・能装束展　大倉コレクション　1.2—3.14　大倉集古館

能面の心・装束の華　物語をうつす姿　6.5—7.4　根津美術館

not equal　8.20—8.31　マキイマサルファインアーツ

(ハ)

Heart Art in TOKYO 2009　エイズチャリティー美術展12回　1.21—2.1　国立新美術館

ハイチ絵画展　カリブ海の詩情と芸術　10.9—12.5　とちぎ蔵の街美術館

バウハウス・テイスト　バウハウス・キッチン　9.18—12.12　パナソニック電工汐留ミュージアム

現在形の陶芸　萩大賞展2010　山口県総合芸術文化祭4回参加　12.18—1.16　山口県立萩美術館・浦上記念館

白隠・遂翁・東嶺　10.2—11.27　早稲田大学會津八一記念博物館

白隠禅師禅画墨蹟展　貳　9.15—11.14　瑞巌寺宝物館

白磁を飾る青—朝鮮時代の青花　4.13—3.21　九州国立博物館

旗本御家人2　幕臣たちの実像　4.3—4.22　国立公文書館

博物図譜とデジタルアーカイブ1　武蔵野美術大学美術館・図書館新棟落成記念　6.21—8.7　武蔵野美術大学美術資料図書館

博物図譜とデジタルアーカイブ2　武蔵野美術大学美術館・図書館新棟落成記念　8.23—10.25　武蔵野美術大学美術資料図書館

幕末　京都をめぐる雄藩と高槻—黒船来航から鳥羽・伏見の戦いまで—　10.2—11.28　高槻市立しろあと歴史館

幕末長崎古写真展　龍馬と彦馬　維新のまなざし　4.10—5.31　長崎歴史文化博物館

幕末の探検家松浦武四郎と一畳敷展　12.2—2.19　INAXギャラリー大阪(INAXギャラリー名古屋、INAXギャラリー1)

幕末の動乱と瀬戸内海　10.15—11.23　広島県立歴史博物館

幕末・明治の超絶技巧　世界を驚嘆させた金属工芸—清水三年坂美術館コレクションを中心に　10.16—12.12　泉屋博古館分館(佐野美術館、大阪歴史博物館、岡山県立博物館)
日経　11.17　小川敦生

幕末明治の美術—土佐　人と時代—　2.1—4.11　土佐山内家宝物資料館

箱根寄木　アール・デコ　ラリックに先駆けた和の工芸　開館5周年記念企画展　4.17—11.23　箱根ラリック美術館
毎日夕刊　6.10　永田晶子

BASARA　8.4—8.7　スパイラルガーデン
美術手帖　945

婆娑羅—祝宴の器　東アジア現代陶芸作家交流展　「現在形の陶芸　萩大賞展2010」関連行事　12.18—1.16　山口県立萩美術館・浦上記念館

長谷寺縁起絵巻　10.8—11.29　長谷寺宝物館

甦る至宝—長谷寺什宝30撰—長谷寺宝物館30周年企画　4.10—5.31　長谷寺宝物館

蜂須賀三代　正勝・家政・至鎮—二五万石の礎—　10.23—11.28　徳島市立徳島城博物館

発掘された日本列島＆香川の発掘最前線　11.27—12.23　香川県立ミュージアム

国宝初音の調度　名古屋開府400年徳川美術館開館75周年記念特別展　11.13—12.12　徳川美術館

初春を寿ぐ　1.8—1.31　遠山記念

館付属美術館
はないばら　秘められた美へ　1.13—1.24　千葉市民ギャラリーいなげ／旧神谷伝兵衛別荘
花とともに—日本美術の500年　室町時代から現代まで—　4.23—5.31　島根県立石見美術館
新美術新聞　1215　椋木賢治
花の華　館蔵美術工芸品展　3.20—5.9　町田市立博物館
花ひらく個性、作家の時代—大正・昭和初期の美術工芸—　3.30—7.4　宮内庁三の丸尚蔵館
華やぎの装い　鴻池コレクション展　7.14—8.30　大阪歴史博物館
ハプニング　PLUG & PLAYS　3.30—5.5　辰野美術館
林原美術館の国宝と重要文化財　10.3—11.23　林原美術館
林芙美子と東京放浪　「放浪記」刊行80年　11.23—1.10　江戸東京博物館
原口文庫　2.27—5.23　熊本県立装飾古墳館
バラミタ陶芸大賞展5回　6.1—7.30　バラミタミュージアム
陶説　690　井上隆生
パラモデルの世界はプラモデル　6.26—8.1　西宮市大谷記念美術館
美術手帖　944　天野一夫
パリと日本人　6.29—9.26　大川美術館
パリに咲いた古伊万里の華　日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念　7.17—10.3　MOA美術館
新美術新聞　1222　河野泰典
N＋N展2010　春の嵐：日芸美術出身の若手作家たちの今　4.3—4.14　練馬区立美術館
春の人形展　幕末・宮廷の雅　1.9—4.3　宝鏡寺門跡
目の眼　403　編集部
春の万葉日本画展　1.7—4.11　奈良県立万葉文化館
春の妝い　1.9—3.14　泉屋博古館分館
バルビゾンからの贈りもの—至高なる風景の輝き　府中市美術館開館10周年記念　9.17—11.23　府中市美術館
朝日夕刊　10.20　小川雪
パレスチナの民族衣装　1.26—3.14　文化学園服飾博物館
パレットと絵画の展覧会　描くひみつ、画家のすがお　10.9—11.7　明石市立文化博物館
版画に描かれた暮らしと風景　3.13—5.9　昭和館
読売　4.22
バンクス植物図譜2—ICU図書館新収蔵資料より—　1.12—3.19　国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
ハンブルク浮世絵コレクション展　日独交流150周年記念　10.1—11.28　太田記念美術館(福岡市美術館、相国寺承天閣美術館)
日経　10.17

(ヒ)

ひいな—かわいい人形たち—　2.27—4.11　たつの市立龍野歴史文化資料館
東の牛伏寺　西の若澤寺—古代に創建された松本平の二つの寺院—　9.18—11.7　長野県立歴史館
ひかり　いろ　かたち　愛知県美術館移動美術館平成21年度　2.20—3.28　豊橋市美術博物館
光—歌会始御題によせて—　2.17—3.22　神宮美術館
現代茨城の陶芸展　光をはなつ—釉と金彩　10.6—1.23　茨城県陶芸美術館
国宝・彦根屏風　4.16—5.18　彦根城博物館
ビジネス文明開化—印刷物でみる経済活動の近代化—　1.19—4.18　印刷博物館
美術コレクション名品選　開館記念　3.28—5.5　大宮盆栽美術館
美術の地上戦　over tone II　12.7—12.18　神奈川県民ホールギャラリー
ギャラリー*　309　永曽郁夫
美術の中の動物たち　7.24—8.29　尼崎市総合文化センター
美術の森—女性作家たちの冒険　韮崎大村美術館コレクション　2.13—3.28　浜松市秋野不矩美術館
飛翔する輪島の漆芸作家たち16回全国展入選作品　10.22—1.10　石川県輪島漆芸美術館
美人の化粧術—姫君からモダンガールまで—ポーラ・コレクション　2.16—4.4　愛媛県歴史文化博物館
美づくし—書画・工芸と型染—　3.20—5.30　遠山記念館付属美術館
備中漆の美—復興と現在—　10.22—12.5　高梁市成羽美術館
「筆飛将軍」林閬苑—異色の唐画師—　2.24—4.5　大阪歴史博物館
書道界　244
秀吉　越中出陣—「佐々攻め」と富山城　富山市郷土博物館リニューアル開館5周年　9.11—11.14　富山市郷土博物館
秀吉への挑戦　10.9—11.14　大阪城天守閣
ひと／HITO　所蔵作品にみる人間のかたち　11.13—1.16　神奈川県立近代美術館(鎌倉)
「人」を描く—情景から造形へ—　12.3—5.29　京都府立堂本印象美術館
ひな人形　2.19—4.4　鎌倉国宝館
ひな人形と初凧展　2.19—3.22　田原市博物館
ひな人形の世界　2.6—4.11　徳島市立徳島城博物館
雛の世界　2.6—3.14　遠山記念館付属美術館
美のおもちゃ箱　河野保雄のコレクション　4.17—5.16　郡山市立美術館
HINOKI ANNUAL 2009—2010　11.8—11.13　ギャラリー檜
美の精髄　愛知県美術館の名品300　11.26—1.23　愛知県美術館
美のふるさと　秋田県立近代美術館名品展　4.17—5.16　福島県立美術館
美の予感2010—現代の器—　9.1—9.7　高島屋(日本橋)(高島屋(大

阪、京都、名古屋、新宿))
陶説　692　唐澤昌宏

浄土へのいざない—平等院の美
2.11—5.9　薩摩伝承館

屏風—近世の絵画—　5.6—5.29
早稲田大学會津八一記念博物館

屏風絵を読む　4.17—6.20　徳島市立徳島城博物館

日本の美・発見4　屏風の世界　その変遷と展開　6.12—7.25　出光美術館
新美術新聞　1219　出光佐千子
読売　6.22　黒田泰三

ひろがるアート—現代美術入門編—
10.23—12.19　三重県立美術館
新美術新聞　1234　石崎勝基

広重「名所江戸百景」の世界　4.1—5.26　太田記念美術館

廣島から広島　ドームが見つめ続けた街展　8.5—9.20　広島県立美術館

(フ)

ファッション奇譚—服飾〔モード〕に属する危険〔スキャンダラス〕な小選集〔アンソロジー〕—　4.15—6.27　神戸ファッション美術館
朝日夕刊　6.16　小川雪

ファン・デ・ナゴヤ2010 On The Planet —私たちはこの惑星で生きてゆく—　1.27—2.7　名古屋市民ギャラリー(矢田)
REAR　24　日沖隆

フィギュアの系譜　土偶から海洋堂まで　7.10—9.26　京都国際マンガミュージアム(兵庫県立歴史博物館)

風光の煌き—日本・中国・ヨーロッパ　3.12—6.13　京都府立堂本印象美術館

風土展32回　9.13—9.19　東京セントラル美術館
美術の窓　326　高山淳

FACES　9.2—10.31　1223現代絵画
産経　9.15　(渋)

フォトシティさがみはら10回　受賞作写真展　10.8—10.25　相模原市民ギャラリー

フォトシティさがみはら10回　歴代受賞作写真展　10.28—11.15
相模原市民ギャラリー

福岡県美術展覧会66回　平成22年度　9.7—10.3　福岡県立美術館(大牟田文化会館、宗像ユリックス、北九州市立美術館、サルビアパーク)

福岡市美術展44回　3.16—3.28
福岡市美術館

20世紀検証シリーズNo.2　福沢一郎絵画研究所　進め！日本のシュルレアリスム　11.20—1.10　板橋区立美術館
朝日夕刊　12.15　西田健作
産経　11.24
毎日夕刊　11.30　岸桂子

福づくし　新春を祝う浮世絵と盆器美術コレクション展3　12.11—1.12　大宮盆栽美術館

福を呼ぶ小絵馬展　1.6—3.22　姫路市書写の里・美術工芸館

武家と玄関　虎の美術　9.25—11.7
名古屋城天守閣

武家の都　鎌倉の茶　4.22—6.27
神奈川県立金沢文庫

武家文化の耀き—静嘉堂の古刀と工芸　4.10—5.30　静嘉堂文庫美術館

不在に忍び寄る—イランと向かい合って—　5.19—6.12　東京画廊＋BTAP
毎日夕刊　5.31　岸桂子

ふしぎな縄文土器　10.10—11.14
大田区立郷土博物館

ふしぎ…!?謎解き美術館　8.28—1.19　北海道立帯広美術館

不思議の国のアリス展　ルイス・キャロルのお伽の世界　10.13—10.25　三越(日本橋)

富士山縁起の世界—赫夜姫〔かぐやひめ〕・愛鷹〔あしたか〕・犬飼—
3.13—5.16　富士市立博物館

「富士と桜」展—画狂人と中島千波の世界　10.8—11.23　北斎館
毎日　10.7　岸桂子

武士の華・刀装具　金属工芸の小宇宙　10.16—11.14　黒川古文化研究所

富士を仰ぐ。—重要文化財『古谿荘』竣工100年記念　1.16—3.7　講談社野間記念館

不折コレクション、ベストセレクション。　台東区立書道博物館開館10周年記念　10.9—12.23　台東区立書道博物館

ふたつの飛鳥の終末期古墳　河内飛鳥と大和飛鳥　1.23—3.14　大阪府立近つ飛鳥博物館

ふたつの霞ヶ浦—カワをわたった人・モノ・情報　10.30—12.12　土浦市立博物館

2つの美術山脈　修猷館と明善に集まった美術家たち　2.5—3.14
福岡県立美術館

フタのある形　Part II　4.24—5.30
ギャラリーヴォイス
陶説　689　井上隆生

館蔵　仏教美術名品展　9.15—10.24
九州国立博物館

仏像修理100年　7.21—9.26　奈良国立博物館
日経　7.28　竹田博志

仏像入門—ミホトケをヒモトケ！—
7.15—9.5　鎌倉国宝館

仏像のみかた　神奈川県立金沢文庫80年　9.2—11.23　神奈川県立金沢文庫

仏典大図解　11.27—1.16　神奈川県立金沢文庫

風土記の丘地内発掘速報展　平成21年度　3.24—5.10　島根県立八雲立つ風土記の丘資料館

プライマリー・フィールドII　絵画の現在—七つの〈場〉との対話
12.4—1.23　神奈川県立近代美術館(葉山)
美術手帖　949　沢山遼

flyingCity展—生物機械ターミナル
12.3—1.23　象の鼻テラス

MOTコレクション　Plastic Memories—いまを照らす方法　4.17—6.27　東京都現代美術館
美術手帖　940　栗田大輔

Black and White　7.30—8.10　マキイマサルファインアーツ

ふらっとアニメーション　9.4—9.12　文化フォーラム春日井・ギ

ャラリー
REAR　25　越後谷卓司

ブラティスラヴァ世界絵本原画展―世界の絵本がやってきた　7.17―8.29　平塚市美術館(千葉市美術館、飯田市美術博物館、飯田市川本喜八郎人形美術館、足利市立美術館、うらわ美術館)

フランダースの光　ベルギーの美しき村を描いて　9.4―10.24　Bunkamura ザ・ミュージアム(姫路市立美術館、奥田元宋・小由女美術館)
毎日　9.3　岸桂子
毎日　9.23
毎日　10.8　川俣享子

ふるさとの海のものがたり―見つけよう！瀬戸内海の魅力―　7.13―8.31　香川県立ミュージアム

風炉を楽しむ　3.12―6.27　大西清右衛門美術館

文化人・芸能人の多才な美術2010 地球環境保護と文化財救済活動支援のチャリティー企画　5.24―5.27　衆議院憲政記念館(トキハ本店、ながの東急百貨店、山形屋)

文化庁メディア芸術祭13回受賞作品展　2.3―2.14　国立新美術館
美術手帖　935　藤田千彩
朝日夕刊　2.10

文京ゆかりの名優・花柳章太郎―その人と芸―　10.16―11.28　文京ふるさと歴史館

文人と書斎　9.12―12.12　澄懐堂美術館

文星芸術大学卒業・修了制作展　2.6―2.11　東京都美術館、文星芸術大学

（へ）

平城京発掘―ここまでわかった奈良の都―　平城遷都1300年記念　2.6―3.22　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

平成の「生まれ出づる悩み」2010　10.9―10.24　北海道開拓記念館(木田金次郎美術館)

特別公開　平成の玉虫厨子／併催・漆工の名品　中国の堆朱と日本の人間国宝　2.7―3.28　林原美術館

HEKINAN から　それぞれのスピリッツ展２　5.18―5.30　碧南市藤井達吉現代美術館

碧南市藤井達吉現代美術館　新収蔵品展　3.27―5.9　碧南市藤井達吉現代美術館

ベルギー絵本作家展　11.1―1.19　北海道立帯広美術館(佐倉市立美術館、呉市立美術館、姫路市立美術館)

ペルシアの宝物―至高のガラスと銀の世界―　9.22―11.7　岡山市立オリエント美術館

へるんさんの秘めごと　小泉八雲生誕160年記念・来日120年記念　6.26―9.5　熊本市現代美術館
日経夕刊　8.24　田村広済

変革のとき　桃山　名古屋開府400年記念　9.25―11.7　名古屋市博物館

変貌する作家たち展―Born May・彼らの過去と現在―　5.9―5.14　ギャルリー志門

変容する場　Between Scrap and Build　現代美術と宮島　9.23―3.21　牡蠣祝

（ホ）

「豊饒なる埃及」絵画展　石版画にみる十九世紀エジプトの風俗と習慣　エジプト学者プリス・ダヴェンヌが描いたナイル流域の人びと　3.24―5.28　東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

豊年満作！農耕図のナゾを解け!!―房総の四季耕作図と農具絵図―　10.9―11.23　千葉県立房総のむら

国宝法隆寺「金堂壁画・山中羅漢図」復原推定模写展　復原者：松田真平　7.26―8.1　法隆寺画廊

ポーラ美術館の日本画　3.13―9.5　ポーラ美術館
趣味の水墨画　253
産経　4.25
日経　6.22

ポーラミュージアムアネックス展 2010　祝祭　2.12―4.25　ポーラミュージアム　アネックス
産経　4.7

ポーランドの絵本画家たち　3.2―5.9　ちひろ美術館(東京)

ポーランドの至宝　レンブラントと珠玉の王室コレクション　8.29―9.26　東京富士美術館(サントリーミュージアム[天保山]、北九州市立美術館分館、広島県立美術館)
視覚の現場　四季の綻び　7　加須屋明子
読売　9.9

ホキ美術館開館記念特別展　11.3―5.22　ホキ美術館
新美術新聞　1233　森本草介／野田弘志／島村信之／中山忠彦／石黒賢一郎

北斎とその時代　生誕250周年記念　6.1―7.25　太田記念美術館
東京夕刊　7.16　中村英樹
日経　6.16　小川敦生

北斎漫画　江戸伝承版木を摺る　生誕250年　4.23―5.30　岐阜市歴史博物館(北海道立文学館、富山県水墨美術館、郡山市立美術館)

江戸伝承版木による　北斎漫画と冨嶽三十六景展　天才絵師葛飾北斎250年記念　9.25―11.3　富山県水墨美術館

誇り高きデザイン　鍋島　8.11―10.11　サントリー美術館
読売　8.11

星新一展　4.29―6.27　世田谷文学館
美術手帖　940　栗原裕一郎

墓誌銘にみる楷書の美　中村不折コレクション　5.18―7.11　台東区立書道博物館
毎日　6.24　桐山正寿

ポスター劇場〔シアター〕　4.16―8.18　北海道立帯広美術館

ポストフォッシル　未来のデザイン発掘　4.24―6.27　21_21 DESIGN SIGHT
毎日夕刊　5.31　永田晶子

ポストン美術館展　西洋絵画の巨匠たち　4.17―6.20　森アーツセンターギャラリー

美術屋・百兵衛　13
毎日夕刊　6.9　高階秀爾

ボストン美術館浮世絵名品展　錦絵の黄金時代―清長、歌麿、写楽　8.14―9.26　神戸市立博物館(名古屋ボストン美術館、山種美術館、千葉市美術館、仙台市博物館)
日経　8.15

細川家の至宝―珠玉の永青文庫コレクション―　4.20―6.6　東京国立博物館(京都国立博物館、九州国立博物館)
趣味の水墨画　253
産経　4.25
東京夕刊　4.23　藤田一人

細川家の明治・大正　3.20―6.20　永青文庫

細川サイエンス―殿様の好奇心―　1.9―3.14　永青文庫

北海道の美術　北の自然と人々　7.3―10.17　北海道立近代美術館

北海道立体表現展 '10　5.15―6.27　札幌彫刻美術館(北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館)

ポップ・アート　1960's―2000's　9.11―10.17　横須賀美術館

北方神獣　9.7―10.24　札幌芸術の森美術館

仏の美―仏教美術コレクションから　2.4―3.7　香川県立ミュージアム

ほとばしるエネルギー　横浜市民ギャラリーをかけぬけたアヴァンギャルドたち―1960～80年代を中心に―　3.2―3.23　横浜市民ギャラリー

ボルゲーゼ美術館展　1.16―4.4　東京都美術館
新美術新聞　1205　中原淳行
日経　3.24　竹田博志
読売　2.25

本陣被仰付〔おおせつけらる〕―名画が伝える旧家の文化　10.9―11.23　荒神谷博物館／松江市宍道蒐古館／手錢記念館

ポンペイ展　世界遺産古代ローマ文明の奇跡　3.20―6.13　横浜美術館(福岡市博物館、名古屋市博物館、新潟県立近代美術館、仙台市博物館)
読売　4.28　清岡央

本丸 de 水族館　7.23―8.29　佐賀県立佐賀城本丸歴史館

本を彩る美の歴史　本をめぐる〈雅の世界〉と〈優美の世界〉　10.2―11.7　ひろしま美術館

（マ）

マイセン　西洋磁器の誕生　開窯300年　10.2―12.19　大倉集古館

マイ・フェイバリット―とある美術の検索目録／所蔵作品から　3.24―5.5　京都国立近代美術館
読売　4.15　木村未来

前田寛治大賞8回　写実表現の現在　8.18―8.24　高島屋(日本橋)(倉吉博物館)

マガジンカバーの世界展　ロートレック、ミュシャ、ビアズリー…　4.17―6.27　川崎市市民ミュージアム

マコトフジムラ vs 若手作家　5.18―7.11　佐藤美術館
日経　6.23　宝玉正彦

政宗の宴―三の丸跡の茶と食　4.16―6.13　地底の森ミュージアム

MASK　仮面の考古学　7.17―9.12　大阪府立弥生文化博物館

MASKS　仮の面〔おもて〕　7.6―8.15　千葉市美術館

待合掛―茶会への誘い　春夏秋冬―　4.17―5.30　細見美術館

まち、いえ　再発見　アート・マネジメント講座2010リサーチ・ワークショップ関連企画　12.3―12.5　慶応義塾大学東館展示スペース

所蔵水彩・素描展―松方コレクションとその後　2.23―5.30　国立西洋美術館

マッキアイオーリ　イタリアの印象派　1.16―3.14　東京都庭園美術館(ふくやま美術館)
朝日夕刊　2.17　高階秀爾
日経　2.10　小川敦生
毎日夕刊　2.8　岸桂子
読売夕刊　1.20　井関正昭

マディソン・アベニューの履歴書―時代をつくった男と女　7.30―10.3　アド・ミュージアム東京

まばゆい、がらんどう　1.6―1.20　東京芸術大学大学美術館

幻の名窯　南宋修内司官窯　8.7―11.28　大阪市立東洋陶磁美術館
美術手帖　944　清水穣
日経夕刊　11.8　小川敦生

丸平代々の雛人形　1.5―4.3　丸平文庫

丸平の長刀鉾と祇園祭　7.10―7.16　丸平文庫

（ミ）

みぃ～つけた！三重の遺跡　新出土品　12.11―1.16　斎宮歴史博物館

『ミクロサロン60』東京画廊＋BTAP 60周年記念展　12.4―12.25　東京画廊＋BTAP
読売夕刊　12.13　(市)

湖の国の名宝展―最澄がつないだ近江と太宰府―　6.11―9.5　九州国立博物館
滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要27　藤田励夫
滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要27　井上ひろ美

水の器―手のひらから地球まで　3.25―6.22　国立民族学博物館

水の考古学―人と水との関わりの歴史―　7.13―9.12　和歌山県立紀伊風土記の丘

水の表現展―大観・栖鳳から現代作家まで―　11.19―12.19　豊川市桜ヶ丘ミュージアム

三井家のおひなさま　新規寄贈品展示　伊皿子三井家のひな人形・室町三井家のやきもの　2.16―4.4　三井記念美術館
目の眼　403　編集部

三菱が夢見た美術館　岩崎家と三菱ゆかりのコレクション　8.24―11.3　三菱一号館美術館
趣味の水墨画　257
日経　10.18

埼玉県障害者アートフェスティバル2回　みつめあい　12.7―12.12　埼玉県立近代美術館

水戸の風2010　水戸市芸術祭
5.30—6.27　水戸芸術館現代美術ギャラリー

ミニサイズのエキジビション—新作と双ギャラリーのコレクションによる—　1.9—2.7　SOH GALLERY K3

峯山藩主京極氏と峯山藩の世界
10.21—11.28　京丹後市立丹後古代の里資料館

美濃の白隠　12.11—2.2　美濃加茂市民ミュージアム(早稲田大学大隈記念タワー125記念室)

MIHO GRANDAMA Arte della Luca
3.13—6.6　MIHO MUSEUM
新美術新聞　1211　金子直樹

夏休みこどもびじゅつかん　ミマクル・ミラクル　7.17—9.5　府中市美術館

M・4・W　宮崎—四つの風　宮崎発のアートシーンを探る　5.1—6.6　宮崎県立美術館

雅の意匠—かぐやの婚礼調度と雛道具—　2.20—4.11　細見美術館

ミュージアム・サミット　美の競演—三遠南信交流展—　9.11—10.11　飯田市美術博物館

京都妙心寺　禅の至宝と九州・琉球開山無相大師650年遠諱記念
1.1—2.28　九州国立博物館

未来へつなぐ花鳥画　過去16回の松伯美術館花鳥画公募展を振り返る　8.3—9.20　松伯美術館(武蔵野市立吉祥寺美術館)

デザインの時代、アートの息吹　桑沢デザイン研究所＋東京造形大学SO＋ZO展「未来をひらく造形の過去と現在　1960s→」　11.13—11.28　Bunkamura ザ・ミュージアム／桑沢デザイン研究所
朝日夕刊　11.25　安部美香子

見るまえに跳べ　3331 Arts Chiyoda開館記念　3.14—4.11　アーツ千代田3331

魅惑の万華鏡　7.11—9.7　高崎市美術館

みんなが見たい優品パート7—中村不折コレクションから—　1.5—3.7　台東区立書道博物館

明末の浪漫派　2.28—6.6　澄懐堂美術館

(ム)

武蔵野美術大学卒業・修了制作展平成21年度　1.29—2.1　武蔵野美術大学鷹の台キャンパス

武蔵野美術大学80周年記念大学院修了展 '09—ムサパチ—　2.21—2.26　東京都美術館

2—305!!　ムサビ助手展　9.6—12.18　武蔵野美術大学鷹の台キャンパス

胸さわぎの夏休み　イチハラ×やなぎ×ヤノベ×小沢＝∞、美術館で熱くなれ！　7.17—8.29　福島県立美術館

室町最後の将軍—足利義昭と織田信長—　10.16—11.14　滋賀県立安土城考古博物館

室町三井家の名品　卯花墻と箱根松の茶屋　12.3—1.29　三井記念美術館

(メ)

名画パレード展　新たなる感動—美の饗宴　岐阜県美術館コレクション　7.10—9.5　富山県立近代美術館

名所江戸百景展　12.4—12.19　深川江戸資料館
読売　12.3　竹井陽平

名所江戸百景—追憶の情景—　9.30—11.28　中山道広重美術館

館蔵　名刀展　美とこころ　2.20—3.28　五島美術館

茶の湯を楽しむ3　名品でたどる室町から桃山の茶　9.14—11.7　九州国立博物館

メキシコの美術と民衆の世界　7.6—9.5　北海道立釧路芸術館

META II　展　絵画の広さ！深さ！豊かさ！　2.16—2.28　神奈川県民ホールギャラリー

META X 2010　8.4—8.30　高島屋(日本橋)
産経　8.18

メッセージ　アート新世代から　とやま現代作家シリーズ　9.18—11.23　富山県立近代美術館

メナード美術館コレクション名作展—アートなひととき　9.16—12.23　メナード美術館

Memento mori　葬送のかたち
12.11—6.30　印旛郡市文化財センター

(モ)

国宝　毛利家の至宝　11.1—10.24　毛利博物館
美術屋・百兵衛　15

文字とアートの素敵な関係　1.23—4.11　北海道立函館美術館

文字の造形　6.5—7.31　遠山記念館付属美術館

「MOSHA」　3.23—4.3　art data bank

物語の絵画　10.9—11.28　新潟県立万代島美術館

物語の誕生—絵巻を読む—　9.5—11.14　香川県立ミュージアム

物からモノへ　モノ学・感覚価値研究会　展覧会　1.16—1.31　京都大学総合博物館
あいだ　172　稲賀繁美

モノクローム　双ギャラリーコレクションより　7.22—8.8　SOH GALLERY K3

(ヤ)

現代茨城の陶芸展　やきものとモチーフ—わたしを「動かす」もの—
2.17—4.11　茨城県陶芸美術館

やきものの現在　土から成るかたち—VI　2.20—3.28　ギャラリーヴォイス
陶説　686　井上隆生
REAR　24　村山閑

薬師如来と十二神将—いやしのみほとけたち—　10.16—11.23　鎌倉国宝館

やしろとまつり—社殿は何を伝えるのか—　12.1—1.14　国学院大学伝統文化リサーチセンター資料館

八代城主松井家の名宝—珠玉の松井文庫コレクション—　10.8—11.14　八代市立博物館未来の森ミュージアム

谷根千界隈の文学と挿絵展 4.2—6.27 弥生美術館
芸術新潮 726
病をいやす—くすり・まじない・神だのみ— 3.27—5.5 岩手県立博物館
山内家伝来の美術工芸品 10.1—11.29 土佐山内家宝物資料館
邪馬台国 九州と近畿 10.9—12.12 大阪府立弥生文化博物館(九州国立博物館)
大和文華館の日本絵画 開館50周年記念名品展I 10.2—12.26 大和文華館
趣味の水墨画 259
戦国時代の守護 山名氏の城と戦い 4.23—6.27 兵庫県立考古博物館
やわらかな風景 テキスタイル・アート特集 4.24—7.4 群馬県立近代美術館
ヤング・ポートフォリオ展2009年度 3.13—5.30 清里フォトアートミュージアム

(ユ)

湯浅喜代治考古コレクション—夢を追った七十年— 10.9—11.28 松戸市立博物館
遊牧世界の造形—人と暮らす動物たち— 5.22—9.5 横浜ユーラシア文化館
遊 more ユーモア展—見えるもの見えないもの— 10.6—11.7 川口市立アートギャラリー・アトリア
ユニークな造形美術—古代の焼物から— 10.1—11.13 天理ギャラリー

(ヨ)

洋画のキラキラ 6.26—8.1 秋田県立近代美術館
ARK 60 山本
洋画名品展 4.12—6.29 敦井美術館
ようこそ魔法の美術館 親子で楽しむ光のアート 7.16—8.31 大分市美術館
栄西と中世博多 福岡市博物館開館20周年記念・NHK福岡放送局開局80周年記念 対外交流史05 9.11—10.31 福岡市博物館
読売夕刊 9.13 末木文美士
国宝・曜変天目と付藻茄子—茶道具名品展— 2.6—3.22 静嘉堂文庫美術館
陽明文庫・国宝展—近衛家1000年の至宝— 10.3—11.14 筆の里工房
ヨーロピアン・モード—18世紀から現代まで— 4.14—6.12 文化学園服飾博物館
米沢藩のお抱え絵師—目賀多家— 1.30—3.7 米沢市上杉博物館
甦る島津の遺宝—かごしまの美とこころ— 9.23—11.3 鹿児島県歴史資料センター黎明館
シリーズ戦国 巻の3 よみがえる関ヶ原合戦—関ヶ原合戦図を読む— 10.29—11.30 彦根城博物館
四大浮世絵師展—写楽・歌麿・北斎・広重—中右コレクション 4.21—5.26 島根県立美術館
4大陸100人の絵本画家たち ちひろ美術館コレクション展 3.1—5.11 安曇野ちひろ美術館

(ラ)

頼杏坪とその時代—文人代官が見た江戸時代— 4.23—6.13 広島県立歴史民俗資料館
ラヴズ・ボディ—生と性を巡る表現 10.2—12.5 東京都写真美術館
美術手帖 946 松井みどり
朝日夕刊 10.20 西田健作
東京夕刊 10.29 児島やよい
日経 11.11 平野啓一郎
毎日夕刊 11.2 岸桂子
読売 10.21 前田恭二
らくらくフェスティバル 4.28—5.8 ギャラリーRAKU
瓜生通信 50 市村茉梨
ラファエル前派からウィリアム・モリスへ 9.11—10.24 いわき市立美術館(横須賀美術館、美術館「えき」KYOTO)
「REALITY LAB—再生・再創造」展 11.16—12.26 21_21 DESIGN SIGHT
朝日夕刊 12.8 高橋牧子

(リ)

LIAISON—Enishi— 伊奈英次／斉藤芽生／瀬川剛／西ノ宮佳代／吉澤美香 12.4—12.24 ギャラリー・アートアンリミテッド
LIVING & DESIGN すまいのリノベーション 9.29—10.2 インテックス大阪
AXIS 148 上條昌宏
リフレクション—映像が見せる"もうひとつの世界" 2.6—5.9 水戸芸術館現代美術ギャラリー
美術手帖 937 毛利嘉孝
収蔵品展—琉球八景・琉球交易港図屏風を中心に— 5.2—5.16 浦添市美術館
龍馬伝 2010年NHK大河ドラマ 4.27—6.6 江戸東京博物館(京都府京都文化博物館、高知県立歴史民俗資料館、長崎歴史文化博物館)
龍馬の見た江戸—幕末の風景— 3.2—3.26 太田記念美術館
りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった— 9.18—11.28 群馬県立館林美術館
涼を愉しむ—書画・茶器・懐石道具— 7.31—9.20 畠山記念館
臨春閣と聴秋閣 4.22—5.31 三渓記念館
臨春閣の替え襖／雨のころ 6.3—7.13 三渓記念館
臨春閣の障壁画／月—絵画と楽器 8.26—9.29 三渓記念館
臨春閣の障壁画と調度・花鳥画 4.21—6.1 三渓記念館
臨春閣の障壁画／松と菊 10.1—11.10 三渓記念館
京都細見美術館 琳派・若冲と雅の世界 4.9—5.16 富山県水墨美術館(北海道立函館美術館、大丸ミュージアムKOBE、北九州市立美術館)

(レ)

麗子登場!!—名画100年・美の競演 神奈川県立近代美術館×兵庫県立美術館 6.15—7.19 兵庫県立美術館

ヨーロッパ貴族の至宝 レースとレース・グラス展 時代を越えた王侯貴族のレースへの想い 4.23—11.3 箱根ガラスの森美術館
毎日 4.29 望月一夫

歴史と文化を救う 7.22—9.28 国立民族学博物館

歴の会展 11.8—11.13 銀座スルガ台画廊

レゾナンス 共鳴 人と響き合うアート 4.3—6.20 サントリーミュージアム[天保山]
美術手帖 937 門林岳史
読売夕刊 6.7 (市)

レプリカ展—復元された資料から探る— 10.15—12.5 地底の森ミュージアム

(ロ)

ローマ追想…19世紀写真と旅 Rome 1840—1870 : Travelogues and Photography 5.20—6.27 京都国立近代美術館

六本木クロッシング2010 芸術は可能か?—明日に挑む日本のアート— 3.20—7.4 森美術館
芸術新潮 725
産経 4.7 渋沢和彦
東京夕刊 4.9 内田真由美
日経 5.28 宝玉正彦
毎日夕刊 5.11 岸桂子
読売 4.15 高野清見

ロボットと美術 機械×身体のビジュアルイメージ 9.18—11.7 静岡県立美術館(青森県立美術館、島根県立石見美術館)
日経 10.13 宝玉正彦

浪漫「きんから」の世界 1.12—1.17 東京芸術劇場

(ワ)

ワイルドコンビネーション展 多摩美術大学卒の作家による日本画7人展 8.23—8.28 銀座スルガ台画廊

わがまちからの富士山 富士・沼津・三島3市博物館共同企画展14回 7.17—9.26 沼津市明治史料館

ふるさとの牧水・再発見! 歌人若山牧水 2.6—3.22 宮崎県総合博物館

和ガラス 粋なうつわ、遊びのかたち 3.27—5.23 サントリー美術館
日経 4.19

わくわくミュージアム—ちょっと不思議で楽しい"やきもの" 6.26—9.10 滋賀県立陶芸の森陶芸館

和書のさまざま—書誌学入門— 4.15—6.18 国文学研究資料館

私を見て! ヌードのポートレイト 7.31—10.3 東京都写真美術館
毎日夕刊 9.7 岸桂子

和の美術—久保惣コレクションの国宝・重文— 4.10—5.23 和泉市久保惣記念美術館

ワンダーシニア30展 現代日本の画家が描く、それぞれの昭和、平成 2.13—4.11 横須賀美術館
新美術新聞 1207 冨田康子
朝日夕刊 3.24 田中三蔵
毎日夕刊 3.4

作家展

(ア)

靉嘔 AY—O 1950s—2010展 開館20周年記念 4.23—5.23 茨城県つくば美術館
朝日夕刊 5.12 小川雪

相笠昌義 日常生活 損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞記念 1.9—2.21 損保ジャパン東郷青児美術館
読売夕刊 2.8 (清)

会田誠×天明屋尚×山口晃 4.24—8.8 高橋コレクション日比谷

会田誠展 「絵バカ」 5.6—6.5 ミヅマアートギャラリー
美術手帖 939 椹木野衣
朝日夕刊 5.19 西田健作
産経 5.19 渋沢和彦
読売夕刊 5.31 (清)

藍田正雄の江戸小紋 極小美の世界 1.30—3.22 高崎市タワー美術館

相原求一朗〈北の十名山〉 1.5—3.28 川越市立美術館
新美術新聞 1206 折井貴恵

相原康宏 此世 5.7—5.18 マキイマサルファインアーツ

青木恵美子展—静かな始まり— 9.20—9.25 ガレリアグラフィカbis

青木敏郎展 2010 10.13—10.19 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪、岐阜、名古屋、横浜))

青木陵子展 ワイルドフラワーのたね 7.1—8.23 オン・サンデーズ地下1階ギャラリー
産経 7.7 (和)

青島三郎展 情の美 10.9—10.18 旧平櫛田中邸

○△□展2010[青葉益輝] 1.18—2.19 クリエイションギャラリーG8
毎日夕刊 1.25 永田晶子

複合回路 第五回 青山悟 11.13—12.18 ギャラリーαM
美術手帖 948 保坂健二朗

三人展—それぞれの人物像—赤井正人・中畔千嘉・横山哲則 9.13—9.18 銀座スルガ台画廊

アカガワキンジ展《sometime? somewhere?》 12.6—12.13 東京工業大学世界文明センター

赤木美日個展 12.10—12.18 ぎゃらりぃ朋

赤坂寿々子の一人二役展Ⅱ 4.16—4.21 ギャラリーりゅう
毎日 4.17 小泉大士

10DAYS SELECTION 吉村熊象展/赤坂有芽展 8.2—8.28 INAXギャラリー2

Fujio AKATSUKA BY GASBOOK [赤塚不二夫] 4.23—5.23 Ciaopanic(原宿)
日経夕刊 5.17 諸岡良宣

赤塚不二夫展 ギャグで駆け抜けた72年 10.22—12.5 天童市美術館(秋田市立千秋美術館、島根県

立美術館)

赤塚祐二展 4.1—4.17 ガレリアフィナルテ
REAR 24 千葉真智子

赤羽末吉展1—絵本は舞台だ!—生誕100年 5.12—7.11 ちひろ美術館(東京)
芸術新潮 727

赤羽末吉展2 生誕100年 7.16—9.28 安曇野ちひろ美術館

ニューアート展2010 描く 手と眼の快 赤羽史亮/石山朔 9.30—10.19 横浜市民ギャラリー

赤堀尚展 11.3—11.9 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪))

秋野不矩・梶原緋佐子・北沢映月三人展 10.9—11.14 浜松市秋野不矩美術館
日経 11.3 窪田直子

秋山祐徳太子展 "高貴骨走" 5.28—6.27 アイショウミウラアーツ
朝日夕刊 6.23 西田健作
産経 6.16
毎日夕刊 6.17 岸桂子

秋山玲子創作展 昔に想いを馳せて—手づくりのミニ針箱と人形たち— 4.24—5.30 台東区立一葉記念館

秋吉かずき個展 「アナログ」 4.2—4.13 マキイマサルファインアーツ
産経 4.7 (知)

秋吉風人「口説き文句は持ってない」 3.13—4.3 TARO NASU
美術手帖 937 森啓輔

浅井忠と京都 1900年—1907年 3.15—4.30 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
日経 4.8

浅井忠が選んだフランス陶磁—明治35年購入の図案科標本より— 10.12—12.24 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

彫刻・朝倉響子展 1.25—2.21 上野の森美術館
産経 2.3

麻田征弥個展 9.20—9.25 銀座スルガ台画廊

浅田政志写真展 Tsu Family Land 4.17—5.30 三重県立美術館

○△□展2010[浅葉克己] 1.18—2.19 クリエイションギャラリーG8
毎日夕刊 1.25 永田晶子

デザインの港2。 浅葉克己展。 7.7—7.22 神奈川県民ホールギャラリー

浅見貴子+平体文枝 2.15—3.12 GALLERY TERASHITA
芸術新潮 724

浅見千鶴個展 6.7—6.12 銀座スルガ台画廊

発見2 味岡伸太郎×島州一×松下誠子 双ギャラリー25周年記念 11.20—12.19 SOH GALLERY K3

デイヴィッド・アジャイ展 OUTPUT 7.8—9.18 ギャラリー・間
産経 7.25 篠原知存
毎日夕刊 8.9 永田晶子

armored pine 鎧松—東信展 2.27—3.17 ポーラミュージアム アネックス
産経 3.3 (知)
読売夕刊 3.6

平成21年度収蔵品展3期1部 麻生三郎と世田谷の作家たち 1.5—4.9 世田谷美術館

麻生三郎展 11.9—12.19 東京国立近代美術館(京都国立近代美術館、愛知県美術館)
新美術新聞 1234 大谷省吾
東京夕刊 12.3 藤田一人
毎日夕刊 11.30 岸桂子

麻生三郎 回顧40年代—90年代 11.19—12.11 南天子画廊

彫刻家エル・アナツイのアフリカアートと文化をめぐる旅 9.16—12.7 国立民族学博物館(神奈川県立近代美術館(葉山)、鶴岡アートフォーラム、埼玉県立近代美術館)
読売 10.21 木村未来

安部朱美創作人形展「昭和の家族」きずな 11.20—12.17 江戸東京博物館

阿部貞夫—彫波の世界 4.17—6.20 北海道立近代美術館

天野太郎の建築展 あるべきようは 5.11—5.23 東京芸術大学大学美術館陳列館

網谷義郎の「人」—静かなる素描とともに— 1.3—3.28 大川美術館
朝日夕刊 3.3 大西若人

原三渓の絵画「清風—竹」/三渓ゆかりの作家「竹—荒井寛方」 6.3—7.13 三渓記念館

新井コー児展 11.1—11.6 なびす画廊

荒井龍男展 Part3 7.9—7.24 ギャラリー川船

新井夏希個展「Black/White 2」 10.26—10.31 TAMBOURIN GALLERY
美術手帖 946 椹木野衣

荒井良二 スキマの国の美術館 7.10—9.5 うらわ美術館

死なないための葬送—荒川修作初期作品展 4.17—6.27 国立国際美術館
美術手帖 940 椹木野衣
REAR 24 平林恵
朝日夕刊 6.9 田中三蔵
日経夕刊 6.15 小川敦生
毎日夕刊 5.18 三田晴夫

荒川修作+マドリン・ギンズ:天命反転プロジェクト 5.10—6.25 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

荒川修作 「砂の器」修復報告+養老天明反転地ドローイング展 7.6—8.7 ギャラリー・アートアンリミテッド
毎日夕刊 7.20 岸桂子
読売夕刊 7.12 (清)

ART TODAY 2010 荒川修作+マドリン・ギンズ 「意味のメカニズム」完全版127点 10.9—11.23 セゾン現代美術館
朝日夕刊 11.17 暮沢剛巳

荒木経惟・舟越桂「至上ノ愛像」 1.9—4.4 高橋コレクション日比谷
美術手帖 936 秋元康、勝間和代 談/山内宏泰 構成

荒木経惟展 センチメンタルな旅 春の旅 6.11—7.18 RAT HOLE

GALLERY
産経　7.8　重松明子
有馬かおる「natural freedom」 9.3—10.9　ZENSHI
REAR　25　千葉雅也
有元利夫展　天空の音楽　没後25年 7.3—9.5　東京都庭園美術館(郡山市立美術館)
産経　7.7　渋沢和彦
東京夕刊　7.30　宮下規久朗
日経　7.24　小川敦生
ジョセフ・アルバース—フォーミュレーション・アーティキュレーション— 4.24—5.23　多摩美術大学美術館
安西大展—'86—花— 7.30—10.5　おぶせミュージアム
アンソール版画展　生誕150年[ジェームス・アンソール] 3.13—4.11　姫路市立美術館
安藤陽子展—ポートレイト　静かな光— 9.1—9.28　INAXギャラリー2
毎日夕刊　9.7　岸桂子
安野光雅のすうがく絵本展 7.17—8.22　教文館9Fウェンライトホール
産経　7.25

(イ)

猪倉高志展　かげを纏うかたち 4.10—4.24　中長小西
陶説　687　唐澤昌宏
池内晶子 6.3—6.27　gallery　21 yo—j
池添彰展　Repeater/リピーター 7.3—8.7　サナギファインアーツ
産経　8.4　(和)
池田龍雄—アヴァンギャルドの軌跡 6.19—7.19　山梨県立美術館(福岡県立美術館)
新美術新聞　1219　太田智子
朝日夕刊　7.7　西田健作
毎日夕刊　7.13　岸桂子
読売　7.8　市原尚士
池田龍雄—アヴァンギャルドの軌跡 10.9—1.10　川崎市岡本太郎美術館(福岡県立美術館)
日経　10.20　小川敦生
可能性への挑戦　池田満寿夫の版画　京都国立近代美術館所蔵M&Yコレクション 4.29—6.27　富山県立近代美術館
平面を極める　いろとかたち：池田満寿夫の挑戦 11.27—6.29　池田満寿夫美術館
池田学展「焦点」 12.8—1.15　ミヅマアートギャラリー
芸術新潮　734
朝日　12.14　西田健作
池田亮司「Ryoji Ikeda」 11.11—12.25　ギャラリー小柳
美術手帖　949　飯田高誉
探索者　石井厚生　退職記念展—諸材料専攻卒業生と共に— 6.2—6.23　多摩美術大学美術館/多摩美術大学図書館アーケードギャラリー/多摩美術大学彫刻棟ギャラリー
顔魂—KAODAMA—in　京都街中スクエア[石井竜也] 7.1—8.31　京都街中エリア11か所
瓜生通信　51　石原悠資
石版画の開拓者　石井鼎湖　知られざる明治美術 10.30—11.27　城西国際大学水田美術館
石井博康展 10.25—11.6　ギャラリー58
ギャラリー*　308　ワシオ・トシヒコ
石上純也展　建築はどこまで小さく、あるいは、どこまで大きくひろがっていくのだろうか？ 8.24—10.17　資生堂ギャラリー
芸術新潮　730
美術手帖　945　椹木野衣
日経　10.14　平野啓一郎
日経夕刊　10.4　窪田直子
石上純也—建築のあたらしい大きさ 9.18—12.26　豊田市美術館
新美術新聞　1233　能勢陽子
美術手帖　946　松井みどり
REAR　25　南後由和
日経夕刊　10.4　窪田直子
警視庁カメラマンが撮った昭和モダンの情景　石川光陽写真展 12.7—3.21　東京ステーションギャラリー
石塚沙矢香展—かけらはただよひ— 10.9—10.28　INAXギャラリー2
高瀬省三・石橋聖肖展 11.9—12.23　平塚市美術館
SickeTel　キュピキュピと石橋義正 7.18　—11.3　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
日経夕刊　8.24　田村広済
石原祥嗣展 9.1—9.7　三越(福岡)
陶説　692　福島建治
石本正　聖母を描く 1.2—3.28　石正美術館
石元泰博写真展 10.9—11.7　水戸芸術館現代美術ギャラリー
朝日夕刊　10.27　西田健作
日経　10.20　小川敦生
ニューアート展2010　描く　手と眼の快　赤羽史亮/石山朔 9.30—10.19　横浜市民ギャラリー
AASレジデンスプロジェクト2009　泉太郎 1.16—1.31　アサヒ・アートスクエア
美術手帖　935　籔前知子
泉太郎　こねる 11.2—11.27　神奈川県民ホールギャラリー
美術手帖　947　椹木野衣
毎日夕刊　11.9　岸桂子
磯江毅展　スペイン・リアリズムの密度 9.18—11.7　平塚市美術館
新美術新聞　1230　諏訪敦　談
朝日夕刊　10.27　西田健作
毎日夕刊　10.26　岸桂子
板原摩紀展「collect」 1.9—1.24　ノキロアートネット
陶説　684　梅田稔
板谷波山の系譜　東陶会にみる関東の陶芸 7.7—7.22　神奈川県民ホールギャラリー
市川孝典　mur mur 1.15—2.6　フォイル・ギャラリー
芸術新潮　723
市川孝展 7.31—8.8　季の雲ギャラリー
陶説　692　鈎真一
市野栄樹展—深く、昏く、濁らず— 11.8—11.20　名古屋画廊
一原有徳・多面体　地球の部品掌の中にあり 4.17—6.20　北海道立

近代美術館
イチハラヒロコ展　プレイルーム。 7.4—9.8　高知県立美術館
一色ちか子展 6.12—7.4　SOH GALLERY K3
伊東深水とゆかりの画家たち　開館10周年記念 7.7—9.14　上原近代美術館
伊藤福紫—渡伊30年記念展— 3.18—4.30　ベイスギャラリー(日本橋)
発見1　伊藤誠×多田正美　双ギャラリー25周年展 10.16—11.14　SOH GALLERY K3
現代能面・狂言面三人展　高津紘一・伊藤通彦・岩崎久人 5.8—6.4　玉川大学教育博物館
伊藤行子展—かつて生命は海から— 10.25—10.30　なびす画廊
宇治山哲平　糸園和三郎　賛歌 8.24—9.26　大分県立芸術会館
稲垣考二展　表面描写からタブローへ　開館35周年記念 4.1—6.29　池田20世紀美術館
朝日夕刊　6.16　田中三蔵
稲垣仲静の周辺—小さな名作たち—国画創作協会を中心にして 5.15—6.13　星野画廊(京都)
稲垣仲静・稔次郎兄弟展—夭折の日本画家、型絵染の人間国宝 5.18—6.27　京都国立近代美術館(笠岡市立竹喬美術館)
日経夕刊　6.8　田村広済
稲垣仲静・稔次郎兄弟展—夭折の日本画家、型絵染の人間国宝 9.14—10.24　練馬区立美術館(笠岡市立竹喬美術館)
趣味の水墨画　258
産経　10.19　渋沢和彦
毎日夕刊　10.12　岸桂子
心の風景—ふるさとを見つめつづけて　乾太の眼差— 10.16—12.5　たつの市立龍野歴史文化資料館
triot　乾露予・庄内千恵・西尾早苗 12.20—12.25　銀座スルガ台画廊
井上喜齋展　千歳放光　平城遷都1300年祭記念 10.24—11.19　奈良県立万葉文化館
井上光太郎展　エンドロール・ガーデン 11.26—12.25　SANAGI FINE ARTS
ギャラリー*　310　小金沢智
はじまり、はじまり！井上悟展 5.25—7.11　笠間日動美術館
新美術新聞　1219　寺田和幸
井上悟展—にんげんもよう— 6.23—7.2　日動画廊
新美術新聞　1219　寺田和幸
井上なぎさ鍛金展 4.9—4.17　ギャラリー田中
スティルライフ／CENTER EAST＋井上雅人 11.17—11.28　ギャラリーRAKU
瓜生通信　51　藤本亜希
井上雅之展 4.5—4.24　ギャルリー東京ユマニテ
陶説　687　井上隆生
朝日夕刊　4.21　田中三蔵
毎日夕刊　4.13　岸桂子
観月会2010—六角堂展　井上雅之展— 10.26—11.23　五浦六角堂
陶説　694　外舘和子
猪熊弦一郎展　いのくまさん 4.10—7.4　東京オペラシティアートギャラリー
日経　6.11　宝玉正彦
毎日夕刊　6.1　岸桂子
海を越えた香川のアーティストたち　猪熊弦一郎・川島猛・イサムノグチの作品を中心に 9.11—11.7　香川県立ミュージアム
伊庭靖子個展 11.20—1.16　MA2 Gallery
ギャラリー*　309　名古屋覚
伊部年彦展　「ふり返るといる　ふり返るといない」　クレパス小品 3.29—4.24　南天子画廊
読売夕刊　4.5
2010今井信吾ドローイング展 4.26—5.1　銀座井上画廊
新美術新聞　1214　林紀一郎
「キューブ」今井伸治作品展 11.25—12.6　あるびいの銀花ギャラリー
十四代今泉今右衛門展 2.24—3.2　高島屋(名古屋)
陶説　686　井上隆盛
日本、そしてその美しさ　今里隆建築作品写真展 7.3—9.5　小林古径記念美術館
今田敬一の眼—北の風土と美術　自然と美術を愛した『北海道美術史』の著者 2.20—4.11　北海道立近代美術館
今津景展　フラッシュ 5.22—6.19　山本現代
産経　6.2　(和)
今村哲個展　「いない」 2.13—3.21　MORI YU GALLERY KYOTO
REAR　24　金井直
伊村俊見展 4.10—5.9　ギャラリーなうふ
REAR　24　佐野素子
入江明日香展 11.15—11.27　シロタ画廊
入江英三展—風・空・雲— 9.20—9.29　ドゥ〈doux〉画廊
『100かいだてのいえ』のひみつ　岩井俊雄が子どもたちと作る絵本と遊びの世界展 12.23—2.20　武蔵野市立吉祥寺美術館
岩倉壽 2.20—3.28　笠岡市立竹喬美術館
岩合光昭写真展 3.13—4.11　たばこと塩の博物館
地球の宝石　岩合光昭写真展×B.T. グリーヴ 6.5—8.29　笠間日動美術館
ねこ　岩合光昭写真展 8.7—10.11　秋田県立近代美術館
ARK　60　木村
ちひろ・母のまなざし[いわさきちひろ] 3.1—5.11　安曇野ちひろ美術館
ちひろと金子みすゞ 3.2—5.9　ちひろ美術館(東京)
ちひろの雨 5.12—7.11　ちひろ美術館(東京)
ちひろ・野の花のささやき 5.14—7.13　安曇野ちひろ美術館
ちひろ・51歳の挑戦 7.14—9.12　ちひろ美術館(東京)
ちひろ・色の世界 7.16—9.28　安曇野ちひろ美術館
わたしが選んだ　いわさきちひろ展—こどもたちへのまなざし— 7.24—8.29　ひろしま美術館

ちひろ・秋のいろどり 9.15—11.14 ちひろ美術館(東京)

ちひろの昭和—なつかしの日々 10.1—12.19 安曇野ちひろ美術館

ちひろとちひろが愛した画家たち 11.17—1.30 ちひろ美術館(東京)

現代能面・狂言面三人展 高津紘一・伊藤通彦・岩崎久人 5.8—6.4 玉川大学教育博物館

岩澤重夫展 金閣寺客殿障壁画完成記念 9.8—9.20 高島屋(京都)
新美術新聞 1225 内山武夫

岩澤重夫展 金閣寺客殿障壁画完成記念 10.20—11.1 高島屋(日本橋)
日経 10.19

岩堀洸明個展 滅菌パックエゴイスト 11.26—12.7 マキイマサルファインアーツ

岩本和子展—冥漠— 5.10—5.15 銀座スルガ台画廊

(ウ)

ペーター・フィッシュリ ダヴィッド・ヴァイス 9.18—12.25 金沢21世紀美術館
美術手帖 946 野田吉郎
読売 11.11 高野清見

上田順平個展 パート2:「カンゲン」 4.13—5.1 イムラアートギャラリー
陶説 687 外舘和子

浜口陽三・植田正治二人展—夢の向こうがわ— 7.3—9.26 ミュゼ浜口陽三

植田正治写真展—写真とボク— 12.18—1.23 埼玉県立近代美術館(郡山市立美術館)

しがらきやき—直方の茶陶 春斎の壺—[上田直方] 9.18—12.12 滋賀県立陶芸の森陶芸館

上野彦馬と内田九一の写真でめぐる幕末明治の日本 5.15—6.6 尼崎市総合文化センター

「彦馬が見た西南戦争」—古写真に見る西南戦争の記録—[上野彦馬] 8.3—8.29 JCIIフォトサロン
毎日 8.23 小泉大士

植葉香澄 陶 2.20—2.28 祇をん小西
陶説 687 鈎真一

上村淳之展—鳥たちに魅せられて— 3.21—5.16 松伯美術館

うつくしの屏風で味わう三代—日本の美再発見—[上村淳之] 5.28—7.25 松伯美術館

上村松園 珠玉の決定版 9.7—10.17 東京国立近代美術館(京都国立近代美術館)
趣味の水墨画 257
新美術新聞 1225 鶴見香織
朝日夕刊 9.22 西田健作
毎日夕刊 9.16 高階秀爾

うつくしの屏風で味わう三代—日本の美再発見—[上村松篁] 5.28—7.25 松伯美術館

万葉に遊ぶ—上村松篁の描いた万葉世界を中心に 10.5—12.12 松伯美術館

冬の世界—自然に導かれた花鳥画家松篁・淳之— 12.21—1.30 松伯美術館

Chopping Bord[エリカ・ヴェルズッティ] 4.18—5.23 MISAKO&ROSEN
読売夕刊 5.17 (清)

Robert Waters "MAN"[ロバート・ウォーターズ] 7.14—8.14 ミヅマ・アクション
芸術新潮 729

魚住剛個展 12.13—12.28 art space kimura ASK?

魚住誠一写真展 ブロムオイルの美学 1920's—1930's 2.7—3.14 渋谷区立松涛美術館

潮隆雄 タピスリー近作展 1990—2010 9.25—11.7 田辺市立美術館
視覚の現場 四季の綻び 7 三谷渉

意図的な偶然 牛島光太郎 4.24—5.16 三菱地所アルティアム(福岡)

牛島憲之展 4.6—4.28 フジカワ画廊(東京)

原三渓の書画「秋の調べ」/三渓ゆかりの作家「牛田雞村」 10.1—11.10 三渓記念館

宇治山哲平 糸園和三郎 賛歌 8.24—9.26 大分県立芸術会館

薄田東仙 刻字の世界 6.5—7.19 弥彦の丘美術館
毎日夕刊 7.1 桐山正寿

全明玉・薄田東仙 韓日書芸術招待二人展 韓国文化院四谷庁舎開院1周年記念 10.18—10.23 韓国文化院ギャラリーMI
毎日夕刊 10.21 桐山正寿

歌川国芳 奇と笑いの木版画 3.20—5.9 府中市美術館
日経 3.31 宝玉正彦
毎日夕刊 4.20 岸桂子

上野彦馬と内田九一の写真でめぐる幕末明治の日本 5.15—6.6 尼崎市総合文化センター

宇野亜喜良展 9.18—11.3 刈谷市美術館
毎日夕刊 10.19 岸桂子

DEADSPACE[梅田哲也] 8.1—11.7 art project room ARTZONE
瓜生通信 51 伊藤良平

浦田正夫の世界展 茨城ゆかりの日本画家 6.12—7.11 茨城県近代美術館

上瀧浩一 作陶展 11.3—11.9 柿傳ギャラリー
陶説 694 唐澤昌宏

(エ)

特集展示「瑛九」 石井コレクション 3.2—3.14 筑波大学アートスペース

エキレキリエブルアート展 色のシンフォニー 7.13—8.1 渋谷区立松涛美術館

ウィリアム・エグルストン:パリ—京都 6.5—8.22 原美術館
AXIS 147 暮沢剛巳
朝日夕刊 7.14 西田健作
産経 6.16
東京夕刊 6.15 (典)
毎日夕刊 6.28 岸桂子
読売 8.12 前田恭二

ウィリアム・エグルストン:21st Century 7.2—8.4 SCAI THE

BATHHOUSE
朝日夕刊　7.14　西田健作

榎木孝明　水彩紀行　9.25—10.31
富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

榎倉康二の「点展」　3.29—4.23　横田茂ギャラリー

榎倉康二　'90s Print Works and Painting　10.2—10.16　島田画廊

榎倉冴香　Pink Ashtray　11.27—1.22　SPROUT

海老塚耕一　ドローイング—103日の航海にて感受した世界から
4.26—5.8　ギャラリーQ

海老塚耕一展　9.13—10.2　養清堂画廊

海老原喜之助の意志を継ぐもの
4.1—5.9　鹿児島市立美術館

江見絹子展　11.13—12.19　姫路市立美術館

エル・グレコ《聖母戴冠》特別展示　プラド美術館所蔵　開館5周年記念　4.24—10.24　長崎県美術館
朝日夕刊　5.19　高階秀爾

遠藤俊治　シンプルライフ　5.15—5.30　アートスペースNAF
REAR　24　今野綾花

遠藤利克　空洞説・2010 AKIYAMA
5.12—6.12　秋山画廊
朝日夕刊　6.2　田中三蔵

遠藤利克展—欲動⇔空洞　8.17—9.5　ヒルサイドフォーラム
美術手帖　945　中原佑介
産経　9.1　(渋)
東京夕刊　8.20　中村英樹

(オ)

薄氷　及川聡子展　2.27—3.7　数寄和(数寄和大津)

レスポワール展44回　2010年新人選抜　大川心平個展　2.22—2.27
銀座スルガ台画廊

人と自然の共生　大隈武夫展　3.16—3.22　佐賀県立美術館
新美術新聞　1210　松本誠一

人間国宝　刀匠大隈俊平遺作展
5.15—5.23　太田市学習文化センター

大崎のぶゆき展　"Portraits of mirror"　1.9—1.31　STANDING PINE—cube
REAR　24　田中由紀子

芸術家の家　大沢昌助と父三之助
10.31—12.23　練馬区立美術館
新美術新聞　1234　上山陽子

大沢拓也展　4.2—4.4　東京国際フォーラム(ギャラリー広岡美術)

みづゑのきらめき—中川八郎、大下藤次郎と近代日本の水彩画—
2.20—3.22　愛媛県美術館

O JUN展「O JUNの山」　3.24—4.24　ミヅマアートギャラリー
美術手帖　937　成相肇
産経　4.14　渋沢和彦
毎日夕刊　4.6　岸桂子

大城清太　天描画展—心己一点—
10.9—10.17　浦添市美術館

太田公典　染付展　6.26—7.2　柿傳ギャラリー
陶説　690　外舘和子

太田大八とえほんの仲間たち　こどもの本と歩んだ60年　4.24—6.20
秋田県立近代美術館
ARK　60　梶尾

太田秀隆　作陶40年の歩み展　4.6—4.11　福岡県立美術館
陶説　687　福島建治

鉄斎と蓮月[大田垣蓮月]　1.8—3.14　鉄斎美術館

大竹司展　「VINYL」　1.9—2.6　山本現代
産経　1.20　(和)

大津英敏挿絵展　新聞連載小説　堺屋太一著「三人の二代目」　7.14—7.20　高島屋(東京)
新美術新聞　1221　堺屋太一

大友良英　アンサンブルズ2010—共振　11.30—1.16　水戸芸術館現代美術ギャラリー

リチャード・オードリッチ展　1.18—2.21　MISAKO&ROSEN
産経　2.3　(和)

新しい過去"NEW PAST"[大西伸明]
10.1—10.30　MA 2　Gallery ギャラリー*　308　小金沢智
毎日夕刊　10.26　岸桂子

大沼映夫展　11.17—11.23　三越(日本橋)
新美術新聞　1233　本江邦夫

大野麥風と大日本魚類画集　2.6—3.7　姫路市立美術館
趣味の水墨画　250

見つめる　野田弘志　大野廣子　諏訪敦　4.17—5.30　川口市立アートギャラリー・アトリア

大原壽彦展　8.30—9.4　銀座スルガ台画廊

アニメーションの先駆者大藤信郎
6.29—9.9　東京国立近代美術館フィルムセンター

アートサイト府中2010　いきるちから[大巻伸嗣]　12.2—3.6　府中市美術館

大村次郷写真展　西アジア、祈りの風景　1.8—3.30　国立民族学博物館

大森暁生展　disclosure　4.21—5.3
高島屋(新宿)
産経　4.28　(和)

受贈記念　大森運夫展　7.22—8.7
豊川市桜ヶ丘ミュージアム
新美術新聞　1226　森田靖久

大家泰仁展　3.8—3.20　なびす画廊

孤高の日本画家　大山魯牛　2.24—4.4　群馬県立館林美術館
趣味の水墨画　251

栃木の南画2　大山魯牛　足利市立美術館コレクションによる　10.23—12.12　小杉放菴記念日光美術館

岡孝博展　9.6—9.11　なびす画廊

岡崎和郎　補遺としての写真　2.15—3.12　横田茂ギャラリー

岡崎和郎展　補遺の庭　9.11—11.3
神奈川県立近代美術館(鎌倉)
読売夕刊　10.25　(清)

小笠原美環　「ひかりかげ」　11.25—2.6　1223現代絵画
読売夕刊　12.27　(市)

岡田敦　『ataraxia』　3.10—3.31
NADiff a/p/a/r/t
産経　3.16

尾形一郎　尾形優写真展　ウルトラバロック　6.1—6.12　ときの忘れもの
産経　6.9　(和)

岡田菊惠　画業60年のあゆみ—色彩と空間—　8.17—10.3　渋谷区立松涛美術館
新美術新聞　1223　宝木範義

萩焼　岡田泰　作陶展　12.7—12.13　そごう(広島)
陶説　695　唐澤昌宏

尾形一郎　尾形優写真展　ウルトラバロック　6.1—6.12　ときの忘れもの
産経　6.9　(和)

岡村吉右衛門　蝦夷絵から十二星座まで　1.16—2.28　多摩美術大学美術館

岡村桂三郎展　3.8—3.27　コバヤシ画廊
産経　3.17　(和)

shiseido art egg 4回　岡本純一　2.5—2.28　資生堂ギャラリー

太郎の祭り[岡本太郎]　7.17—9.20　川崎市岡本太郎美術館

小川芋銭と珊瑚会の画家たち　4.9—5.23　愛知県美術館
趣味の水墨画　253

小川待子×田嶋悦子—豊饒の水　受贈受託記念　4.3—9.5　岐阜県現代陶芸美術館

小川待子展　7.6—7.16　阿曾美術
毎日夕刊　7.13　岸桂子

彫刻家荻原守衛　新宿角筈アトリエ荻原守衛没後100年記念　4.22—5.23　碌山美術館

明治の彫塑　ラグーザと荻原碌山　10.23—12.5　東京芸術大学大学美術館
芸術新潮　732
朝日夕刊　11.24　西田健作
東京夕刊　11.19　宮下規久朗
日経夕刊　11.30　小川敦生
毎日夕刊　11.16　岸桂子

人物画と風景画の巨匠　高山辰雄と奥田元宋展　4.2—5.9　奥田元宋・小由女美術館
新美術新聞　1213　野地耕一郎

奥田仁—生命の彩り—　2.19—3.22　岡山市デジタルミュージアム

奥谷博自選展—愛と生命の刻を描く—開館35周年記念　10.7—1.11　池田20世紀美術館
新美術新聞　1229　市川政憲
新美術新聞　1234　土方明司

長谷寺　うつろいゆく美　奥西賀男パステル画展　12.3—12.27　長谷寺宝物館

奥原晴湖展　奥原晴湖画室繍水草堂移築記念　3.20—5.5　古河歴史博物館

田崎草雲と奥原晴湖　特別企画展　11.20—1.23　草雲美術館
趣味の水墨画　261

小熊秀雄展2　精神の暁をめざして交錯する光と影　豊島区新収蔵作品　3.4—3.28　熊谷守一美術館

奥村土牛　生誕120年　4.3—5.23　山種美術館
新美術新聞　1212　松尾敏男

奥村博美展　7.13—7.25　ギャラリーマロニエ／ギャラリーにしかわ
陶説　690　梅田稔

奥山民枝　油彩画展　いのちを描く　1.16—5.5　なかた美術館
新美術新聞　1209　国近有佑子

小倉遊亀展　とうとう絵かきになってしまった　没後10年　2.18—4.4　兵庫県立美術館(宇都宮美術館)
趣味の水墨画　251
新美術新聞　1207　飯尾由貴子

無垢の眼2　尾崎文彦の元気　5.6—5.29　早稲田大学會津八一記念博物館

公開制作50　小沢剛「できるかな2010」　7.17—11.23　府中市美術館

押井守と映像の魔術師たち　7.16—9.5　八王子市夢美術館

小谷元彦展　幽体の知覚　11.27—2.27　森美術館
ギャラリー*　310　名古屋覚
美術手帖　948　沢山遼

落合多武展　スパイと失敗とその登場について　5.22—8.8　ワタリウム美術館
産経　7.28　渋沢和彦
毎日夕刊　7.12　城戸朱理
読売　7.29　(前)

ローズオニール　キューピー展　誕生100年　8.3—9.5　宇都宮美術館

小野竹喬展　生誕120年　3.2—4.11　東京国立近代美術館(大阪市立美術館、笠岡市立竹喬美術館)
日経　4.1
毎日　4.3　澤木政輝
毎日夕刊　3.30　岸桂子

オノデラユキ　写真の迷宮〔ラビリンス〕へ　7.27—9.26　東京都写真美術館
朝日夕刊　9.1　西田健作
産経　8.25　篠原知存
日経　8.11　小川敦生
毎日夕刊　8.3　岸桂子

(カ)

カオス*ラウンジ2010 in　高橋コレクション日比谷　4.10—4.18　高橋コレクション日比谷
美術手帖　937　DR. BT

【新しい】カオス*ラウンジ【自然】in　高橋コレクション日比谷　12.4—12.19　高橋コレクション日比谷
美術手帖　948　椹木野衣

加賀谷武　シリーズ・ふるさとの群星 Vol. 8　6.19—8.31　太閤山ランドふるさとギャラリー

柿本幸造回顧展&絵本原画11人展　4.15—4.28　佐藤美術館
毎日　4.22　木村葉子

角田光代個展　「予定日はジミー・ペイジ」の原画展　12.10—12.15　HB GALLERY
芸術新潮　734

隠崎隆一・陶展　双　sou　3.31—4.6　三越(日本橋)
陶説　689　外舘和子

虎・とら・TORA　隠崎隆一展　Zoi　イノチ・ノ・カタチ　10.31—11.7　現代陶芸寛土里
陶説　693　唐澤昌宏

葛西薫1968　1.20—2.6　ギャルリ・オーブ
瓜生通信　49　楠本高大

笠井麻衣子　Fundamental Training　8.14—8.28　YUKA CONTEMPORARY
産経　8.25　(渋)

氷河期の森レリーフ展　笠原由起子　メタモルフォーゼ―場の記憶―
12.19―1.16　地底の森ミュージアム

風祭竜二　切画の世界展　5.26―6.1　丸善丸の内本店4階ギャラリー
読売　5.25

秋野不矩・梶原緋佐子・北沢映月　三人展　10.9―11.14　浜松市秋野不矩美術館
日経　11.3　窪田直子

片岡昌展　超次元アートと『ひょうたん島』　7.1―10.5　池田20世紀美術館

世界のおもしろカップ&片岡朱央の石ころアート展　4.17―6.27　北海道立釧路芸術館

片岡球子　札幌芸術の森美術館開館20周年記念　4.24―5.30　札幌芸術の森美術館(北海道立旭川美術館)

片岡鶴太郎展　画業15周年　4.10―4.19　三越(日本橋)

コレクション展3　写真家・片山攝三の眼　芸術家の肖像を中心に
12.4―1.23　福岡県立美術館

堅山南風展　没後30年　10.16―11.28　茨城県天心記念五浦美術館
新美術新聞　1232　稲葉睦子

大北斎大揃　北斎生誕250年記念［葛飾北斎］　6.29―9.26　日本浮世絵博物館

大北斎展2　生誕250年記念　9.28―12.26　日本浮世絵博物館

加藤泉　SOUL UNION　ペインティング　3.12―4.17　アラタニウラノ
毎日夕刊　4.6　岸桂子

加藤泉　SOUL UNION　彫刻　4.23―5.22　アラタニウラノ
朝日夕刊　4.7　田中三蔵
産経　5.5　渋沢和彦

加藤泉　日々に問う　9.18―1.30　彫刻の森美術館
芸術新潮　732
産経　10.26　渋沢和彦

加藤孝造展　人間国宝　9.18―10.19　ギャラリーヴォイス
REAR　25　大長智広

加藤隆明個展　10.11―10.16　なびす画廊

加藤土師萌―最期の大作　4.3―9.5　岐阜県現代陶芸美術館
陶説　688　井上隆生

加藤正嘉展　10.16―11.14　なうふ現代
REAR　25　広江泰孝

加藤豊　彫刻展　1.27―2.2　三越(日本橋)
新美術新聞　1206　江口健

金島桂華の世界―華鴿大塚美術館所蔵品より　10.29―11.28　京都府立堂本印象美術館

金氏徹平　Recent Works "Post―Something"　1.16―2.27　SHU-GOARTS
美術手帖　934　林央子

コレクション展2　美術の中のかたち―手で見る造形　金氏徹平展　Ghost in the Museum　7.17―11.7　兵庫県立美術館

金子奈央展　華身〈Keshin〉　9.22―10.5　三越(銀座)
ギャラリー*　307　名古屋覚

金子久雄個展　9.27―10.2　銀座スルガ台画廊

虎・とら・TORA　金重有邦展　ヒダスキにて　火襷にて　HIDASUKIにて　10.17―10.24　現代陶芸寛土里
陶説　693　唐澤昌宏

加納光於　《鳥影―遮るものの変容》
12.6―12.25　ギャルリー東京ユマニテ
美術手帖　948　野田吉郎
毎日夕刊　12.14　岸桂子

アニッシュ・カプーア　4.27―6.19　SCAI THE BATHHOUSE
美術手帖　939　円城塔
産経　6.9　(和)
読売夕刊　5.24　(市)

鏑木清方一門と近代美人画展　9.4―10.24　講談社野間記念館

下保昭展　現代山水の美　富山県水墨美術館開館10周年記念　1.22―3.14　富山県水墨美術館
趣味の水墨画　250
新美術新聞　1207　鈴木博喬

神山明展　2.1―2.20　ギャルリー東京ユマニテ
朝日夕刊　2.3　田中三蔵

レスポワール展44回　2010年新人選抜　亀岡里美個展　2.15―2.20　銀座スルガ台画廊

前衛下着道　鴨居羊子とその時代
4.17―7.4　川崎市岡本太郎美術館
朝日夕刊　6.16　小川雪
毎日夕刊　6.29　岸桂子

鴨居玲　終わらない旅　没後25年
4.10―6.13　河口湖美術館(そごう美術館、北九州市立美術館・分館)

鴨居玲　没後25年　12.4―3.13　笠間日動美術館
美術屋・百兵衛　16

加守田章二と栗木達介　現代陶芸の鬼才　10.12―12.20　敦井美術館

エミール・ガレの生きた時代　近代生活のエレガンス　4.17―5.30　目黒区美術館

エミール・ガレの陶芸　日本への憧れ　9.17―11.14　八王子市夢美術館

河井寛次郎　生誕120年記念　9.14―11.23　日本民芸館(豊田市民芸館)

河井寛次郎　生誕120年記念　9.23―11.7　島根県立美術館(富山県水墨美術館)

川合玉堂+現代日本画展　自然を愛した日本画家の饗宴　7.18―8.29　刈谷市美術館
趣味の水墨画　256

川井健司展　人間迷路　10.1―11.28　ONO MEMORIAL

中平四郎―師・川上邦世とともに　群馬県大泉町に生まれた木彫家
12.11―4.3　群馬県立館林美術館

文明開化の川上澄生―澄生が描く明治への想い―　1.16―4.4　川上澄生美術館

古今東西をあそぶ　川上澄生：木版画の世界―栃木県立美術館所蔵品による　3.13―5.9　世田谷美術館(栃木県立美術館)

新美術新聞　1214　入江観
日経　4.14　宝玉正彦

南蛮好みの川上澄生—みれば見るほどめづらしいものばかり—　4.9—6.6　川上澄生美術館

川上澄生《初夏の風》　4.29—5.30　川上澄生美術館

川上澄生　詩歌と版画の世界—我は今　詩情を絵画に托す—生誕115周年記念特別企画　6.11—9.5　川上澄生美術館

黒船・ペリーの世界—黒船館の川上澄生コレクション—川上澄生生誕115周年記念　9.10—11.7　川上澄生美術館

川上澄生　創造の軌跡—スケッチが木版画になるまで—　11.13—1.10　川上澄生美術館

川上力三展　11.30—12.12　ギャラリーマロニエ
陶説　695　梅田稔

川喜田半泥子のすべて　2.11—3.22　そごう美術館
日経　2.24　竹田博志

川北ゆう—ゆらぎのあと　景色をそそぐ—　7.2—7.28　INAXギャラリー2

川越悟　9.2—9.26　gallery　21 yo—j

川島清新作版画展　蝕・シルバーホール　6.7—6.26　ギャルリー東京ユマニテ

川島清　水量VI　11.1—11.27　ギャルリー東京ユマニテ

川島慶樹展　in my studio　6.27—8.1　奈義町現代美術館

海を越えた香川のアーティストたち　猪熊弦一郎・川島猛・イサムノグチの作品を中心に　9.11—11.7　香川県立ミュージアム

川尻潤作陶展　挑発する日本美　12.4—12.12　ぎゃらりぃ思文閣

虎・とら・TORA　川瀬忍展—滄浪—　10.3—10.11　現代陶芸寛土里
陶説　693　唐澤昌宏

旅の版画家　川瀬巴水—大正・昭和の懐かしい風景—　5.25—7.3　城西国際大学水田美術館

仕掛けの絵師—鬼才・河鍋暁斎　没後120年記念　9.4—10.11　佐野美術館
趣味の水墨画　257

川埜龍三展　異形の胎動　10.23—11.28　笠岡市立竹喬美術館

川端健太郎展　4.23—5.9　陶林春窯
REAR　24　井上隆生

川端龍子名作展　龍子とロマン主義—神話・伝説の絵画化—　9.18—12.15　大田区立龍子記念館

「KO. TO. TA. MA—呼吸する文字—」展[川邊えり子]　1.2—1.17　ポーラミュージアム　アネックス
産経　1.17　(知)

川見俊　7.28—10.3　東京オペラシティアートギャラリー
芸術新潮　729

川本喜八郎人形展　4.29—6.6　吉川英治記念館
毎日　5.20　浅野翔太郎

川和千鶴水彩画展　猫魚姫たちのトロピカル・ワールド　6.18—6.25　世界堂画廊(新宿)

アイラン・カン—内なる本棚　2.20—5.9　ヴァンジ彫刻庭園美術館
朝日夕刊　4.14　西田健作
毎日夕刊　3.15　三田晴夫

Ryan Gander "I'm an Aurefilian"[ライアン・ガンダー]　1.26—2.27　TARO NASU
美術手帖　935　松井みどり

A Whole Hole G—Tokyo2010 TARO NASU[ライアン・ガンダー]　1.30—1.31　森アーツセンターギャラリー
美術手帖　935　松井みどり

カンディンスキーと青騎士　レンバッハハウス美術館所蔵　11.23—2.6　三菱一号館美術館(愛知県美術館、兵庫県立美術館、山口県立美術館)
新美術新聞　1235　杉山菜穂子
朝日夕刊　12.15　西田健作
日経　12.1　小川敦生
毎日夕刊　12.28　岸桂子

菅野美榮展—WATAGE—　12.7—12.24　Gallery jy
芸術新潮　734

(キ)

サンドロ・キア展「夢見る田園」　1.20—2.6　ギャルリ・オーブ
瓜生通信　49　前川美希

菊地武彦・湯村光　亀裂の奥に…　10.22—10.30　土火現代美術[DOKA Contemporary Arts]

岸澤武雄回顧展　鋳金に明日の美を求めて—川口ゆかりの工芸作家　3.23—3.28　川口市立アートギャラリー・アトリア

岸田夏子展　刻・今守る豊かな地球　3.17—3.23　三越(日本橋)
新美術新聞　1210　光田ゆり

画家岸田劉生の軌跡—油彩画・装丁画・水彩画などを中心に—　6.27—9.12　神戸市立小磯記念美術館

北大路魯山人展　9.4—11.28　笠間日動美術館

北川博邦"袁古展"　公然猥拙物陳列　3.30—4.4　鳩居堂画廊
毎日夕刊　4.1　桐山正寿

北川宏人—New Work 2010—　6.12—6.30　Yoshiaki Inoue Gallery
陶説　689　唐澤昌宏

秋野不矩・梶原緋佐子・北沢映月三人展　10.9—11.14　浜松市秋野不矩美術館
日経　11.3　窪田直子

橋本平八と北園克衛展　異色の芸術家兄弟　8.7—10.11　三重県立美術館
日経夕刊　9.21　舘野真治
毎日夕刊　9.21　岸桂子
読売　9.28　高野清見

橋本平八と北園克衛展　異色の芸術家兄弟　10.23—12.12　世田谷美術館
視覚の現場　四季の綻び　7　酒井忠康
美術手帖　947　野田吉郎
東京　11.16　佐藤友美

変成態—リアルな現代の物質性 VOL. 7　鬼頭健吾　1.16—2.13　ギャラリーαM
朝日夕刊　2.10　大西若人

城戸保展　8.23—9.4　ギャルリー東京ユマニテ

REAR　25　西村智弘

絹谷幸二　退任記念　生命の軌跡 ars vita esta vita ars esta　1.5—1.19　東京芸術大学大学美術館
産経　1.6　渋沢和彦
日経　1.13　宝玉正彦

アートサイト府中2010　いきるちから[木下晋]　12.2—3.6　府中市美術館

Kim Jyung WooK＋Chun Sung Myung 二人展　「Inside Out」[キム・ジュンウク]　11.27—12.22　unseal contemporary
芸術新潮　734

濱田庄司とその系列　その二　島岡達三・金城次郎・木村一郎・船木研兒　9.4—12.19　石洞美術館

木村忠太の世界　原一雄コレクション—魂の印象派　2.28—4.17　高崎市美術館

キムラ・グラフィック《ルビ》展[木村恒久]　3.29—4.10　ヴァニラ画廊
毎日夕刊　3.30

木村鐵雄回顧展　画業65年のあゆみ　5.15—7.4　掛川市二の丸美術館
新美術新聞　1216　栗田和道

木村巳奈子・中村譲司　陶二人展　3.2—3.11　ギャラリーにしかわ
陶説　686　梅田稔

ガジ・ギャスディン展　9.20—10.2　みゆき画廊
ギャラリー*　307　小川英晴

QP　個 OYKOTOKYOYKOT 展　5.16—6.22　THE LAST GALLERY
美術手帖　927　岩淵貞哉

SickeTel　キュピキュピと石橋義正　7.18—11.3　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
日経夕刊　8.24　田村広済

芸術台湾：蘇孟鴻、許唐瑋２人展　11.18—12.17　芸文サロン
読売夕刊　12.6　(清)

清川泰次と1950—60年代のアメリカ　4.1—7.25　清川泰次記念ギャラリー(世田谷美術館成城分館)

清野晃代展　10.25—10.30　銀座スルガ台画廊

清水九兵衛展—幾何学性と有機性—　10.18—10.30　名古屋画廊

桐谷逸夫個展　1.27—2.19　PAM—a
読売　2.10

世界の街を描く　桐谷逸夫展　12.5—12.25　ギャラリー根津七弥
読売　12.1

スティーブン・ギル　Coming up for Air　8.20—9.26　G／Pgallery
東京夕刊　9.10　岡部あおみ

濱田庄司とその系列　その二　島岡達三・金城次郎・木村一郎・船木研兒　9.4—12.19　石洞美術館

金城実展　闘いの美学—沖縄、島の土から　8.6—8.21　GALLERY MAKI
東京夕刊　8.11

金城龍太展　自然の中に息づく光りと影の100年　9.10—9.12　浦添市美術館

荒川修作＋マドリン・ギンズ：天命反転プロジェクト　5.10—6.25
京都工芸繊維大学美術工芸資料館

ART TODAY 2010　荒川修作＋マドリン・ギンズ　「意味のメカニズム」完全版127点　10.9—11.23
セゾン現代美術館
朝日夕刊　11.17　暮沢剛巳

(ク)

ロベール・クートラス展　10.10—10.30　Gallery SU
芸術新潮　732

釘町一恵展　11.29—12.4　なびす画廊

Santiago Cucullu 展《八日間　The Eight Days》　7.18—7.25　東京工業大学世界文明センター

草乃しずか日本刺繍展—雪月花—雪に待ちて、月に想い、花を唄う　4.7—4.19　高島屋(横浜)

草間彌生展　ワタシというナニモノかへの問い　9.18—11.7　武蔵野市立吉祥寺美術館

立ち現れる空間　久野利博展　1.26—3.28　碧南市哲学たいけん村無我苑・瞑想画廊
REAR　24　土生和彦

Untitled 2010 February[久野利博]　2.6—3.7　廻船問屋瀧田家
REAR　24　土生和彦

久保晃展　1950—2010　10.18—10.30　番画廊(大阪)

極東ドローイング　パリ、東京、ベルリン、コーク、久保田弘成の５年間　1.8—1.19　マキイマサルファインアーツ

久保利陽子展　9.13—9.18　なびす画廊

熊坂兌子展　10.20—11.23　現代彫刻美術館
産経　11.16

熊田千佳慕展　日本のプチファーブル　8.4—8.16　高島屋(横浜)
美術屋・百兵衛　13

熊田千佳慕展　細密画家　プチファーブル—自然は愛するからこそ美しい—　11.14—12.26　高崎市美術館

倉地比沙支展—elegance—　10.13—10.27　伽藍洞ギャラリー
REAR　25　村田真宏

久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学校の教え子たち展　8.18—9.20　久米美術館

加守田章二と栗木達介　現代陶芸の鬼才　10.12—12.20　敦井美術館

クリスチャン　道　two sculptures　8.23—9.17　横田茂ギャラリー

クリストとジャンヌ＝クロード展　2.13—4.6　21_21　DESIGN SIGHT
朝日夕刊　3.17　大西若人
産経　2.24　渋沢和彦
日経　3.11　平野啓一郎
毎日夕刊　3.10　岸桂子
読売　3.4　高野清見

ネイチャー・センス展　吉岡徳仁、篠田太郎、栗林隆　7.24—11.7　森美術館
美術手帖　944　野田吉郎
産経　9.29　渋沢和彦
日経　11.2
毎日夕刊　8.23　永田晶子

日本のむかし話展「アメリカ生まれの桃太郎」ディック・クルーガー　10.21—10.26　大崎ウエストギャ

ラリー
芸術新潮　732
プッシュピン・パラダイム[ミルトン・グレイザー]　9.2—9.28　ギンザ・グラフィックギャラリー
読売夕刊　9.13　(市)
黒崎俊雄展 UGOUGO　6.26—8.29　平塚市美術館
黒澤明生誕100年記念画コンテ展 映画に捧ぐ　9.4—10.11　東京都写真美術館
産経　9.12　渋沢和彦
生誕百年　映画監督　黒澤明　9.17—12.26　東京国立近代美術館フィルムセンター
日経　9.14　槙田寿文
黒沢典子展　5.31—6.5　銀座スルガ台画廊
「表層空間」　山本健史×黒田薫　9.20—9.25　ギャルリー志門
黒田克正展 "Critical Point Of Memory"　3.1—3.20　ギャルリー東京ユマニテ
赤外線の眼で見る《昔語り》[黒田清輝]　2.25—7.10　黒田記念館
近代日本洋画の巨匠　黒田清輝展　7.17—8.29　岩手県立美術館
久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学校の教え子たち展　8.18—9.20　久米美術館
マーク・グロッチャン　10.15—11.21　Kaikai Kiki Gallery
美術手帖　946　大森利克
黒宮菜菜展—流彩の幻景—　4.1—4.27　INAX ギャラリー2
芸術新潮　726
桑久保徹　海の話し　画家の話し　8.7—9.26　トーキョーワンダーサイト渋谷
美術手帖　945　野田吉郎
産経　9.8　渋沢和彦
毎日夕刊　8.17　岸桂子
プッシュピン・パラダイム[シーモア・クワスト]　9.2—9.28　ギンザ・グラフィックギャラリー
読売夕刊　9.13　(市)
桑田卓郎展　11.27—12.25　小山登美夫ギャラリー
芸術新潮　734
桑原正彦展　とても甘い菓子　2.20—3.27　小山登美夫ギャラリー
産経　3.10　(和)
静けさのなかから：桑山忠明　4.24—5.30　名古屋市美術館
REAR　24　黒岩恭介
REAR　25　萬木康博
読売夕刊　5.10　(市)
待つ土　庭師安諸定男×画家郡司宏　6.1—6.12　羽黒洞

(ケ)

ウィリアム・ケントリッジ—歩きながら歴史を考える　そしてドローイングは動き始めた……　1.2—2.14　東京国立近代美術館
朝日夕刊　1.13　西田健作
日経夕刊　2.2　小川敦生
読売　1.28　前田恭二
見目陽一・木口木版の世界—昆虫たちの饗宴—　9.10—11.7　川上澄生美術館

(コ)

小池誠　VOICE OF LIFE　4.24—5.2　キング堂ギャラリー(銀座スルガ台画廊)
小泉淳作展　平城遷都1300年　光明皇后1250年御遠忌　東大寺本坊襖絵完成記念　9.8—9.27　高島屋(日本橋)
日経　9.11
読売　9.23
小泉淳作展　平城遷都1300年　光明皇后1250年御遠忌　東大寺本坊襖絵完成記念　10.14—10.25　高島屋(横浜)
日経　10.17
小泉千代個展　10.1—10.9　NICHE GALLERY
ギャラリー*　307　ワシオ・トシヒコ
小泉明郎展「A LOVE SUPREME 至上の愛」　2.12—2.28　ギャラリー RAKU
瓜生通信　49　伊藤良平
小磯良平作品選1—油彩—／異郷に魅せられて　4.9—6.20　神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選2—油彩、素描、装丁原画—　6.27—9.12　神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選3　9.18—11.23　神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選4—油彩—　11.28—1.30　神戸市立小磯記念美術館
小出卓二展　赤い港の色彩　10.2—1.30　神戸ゆかりの美術館
小出ナオキ展—Maternity Leave—　8.21—9.18　小山登美夫ギャラリー
陶説　696　鈎真一
弘雲仏画の心　日中友好仏教書画展　11.12—11.23　承天閣美術館
合田佐和子展　3.1—3.20　ギャラリー椿
毎日夕刊　3.11　岸桂子
甲田洋二展　武蔵野美術大学教授退任記念　11.11—12.9　武蔵野美術大学12号館地下展示室
ギャラリー*　309　ワシオ・トシヒコ
河野里沙展 "eternal flower"　7.31—8.28　バンビナートギャラリー
産経　8.11　(和)
ジョゼフ・コーネル×高橋睦郎　箱宇宙を讃えて　4.10—7.19　川村記念美術館
美術手帖　943　野田吉郎
東京夕刊　4.16　三沢典丈
日経　6.26
毎日夕刊　6.1　岸桂子
リチャード・ゴーマンII—Richard Gorman, Paintings and Prints　9.11—10.24　三鷹市美術ギャラリー、足利市立美術館
古賀春江の全貌　新しい神話がはじまる。　7.3—9.5　石橋美術館
視覚の現場　四季の綻び　6　速水豊
毎日夕刊　7.15　高階秀爾
読売　8.31　白石知子
古賀春江の全貌　新しい神話がはじまる。　9.18—11.23　神奈川県立近代美術館(葉山)
産経　11.2　渋沢和彦
東京夕刊　11.12　高橋睦郎
児島聖写真展　eye trap, 3rd　6.18

—6.29　マキイマサルファインアーツ

小清水漸個展—雪のひま—　1.23—2.20　東京画廊＋BTAP
読売夕刊　2.15　(前)

日光×会津　小杉放菴と喜多方美術倶楽部の人びと　4.17—5.30　小杉放菴記念日光美術館

小杉放菴の自然へのいつくしみ　6.5—7.19　小杉放菴記念日光美術館

小鷹拓郎　ポテトと河童とラブレター　8.18—8.29　Art Center On-going
美術手帖　944　成相肇

児玉成弘展　郷土在住作家展4 2010　6.17—7.8　大分市美術館

ゴッホ展　没後120年　10.1—12.20　国立新美術館(九州国立博物館、名古屋市美術館)
美術屋・百兵衛　15
毎日夕刊　11.30　岸桂子
読売　10.21　前田恭二

レスポワール展44回　2010年新人選抜　後藤秀聖個展　1.25—1.30　銀座スルガ台画廊

小峠丹山茶陶展　9.15—9.21　高島屋(日本橋)(高島屋(京都、名古屋、大阪、横浜))

小西潤個展　plastic circle　11.26—12.3　いそがや i・スペース
芸術新潮　733

小西千穂個展　1.18—1.23　銀座スルガ台画廊

小西保文展　人間愛を描く—庶民の日常性に注ぐ温かく深いまなざし—　10.19—11.14　富岡市立妙義ふるさと美術館
新美術新聞　1230　太田垣實

ハンス・コパー展—20世紀陶芸の革新—　3.13—6.17　滋賀県立陶芸の森陶芸館(兵庫陶芸美術館、岩手県立美術館、静岡市美術館)
朝日夕刊　5.12　西田健作

ハンス・コパー展—20世紀陶芸の革新—　6.26—9.5　パナソニック電工汐留ミュージアム(兵庫陶芸美術館、岩手県立美術館、静岡市美術館)
毎日夕刊　7.20　岸桂子

ハンス・コパー展—20世紀陶芸の革新—　9.18—11.23　岐阜県現代陶芸美術館(兵庫陶芸美術館、岩手県立美術館、静岡市美術館)
REAR　25　野村幸弘

小畠鼎子展　青龍社とともに歩んだ女性画家　5.29—7.4　武蔵野市立吉祥寺美術館

小林華織　核　3.30—4.24
MEGUMI OGITA GALLERY
芸術新潮　726

原三渓の絵画「夏の漁」／三渓ゆかりの作家「小林古径」　7.15—8.22　三渓記念館

人物画の魅力—古径作品をとおして　9.23—12.12　小林古径記念美術館

板橋区伝統工芸展12回　回顧展—仏師舟谷喜雲、小紋染め師小林茂徳、彫金師田中照行の世界—　12.18—1.30　板橋区立郷土資料館

田園画人　小林巣居人の世界　土とともに、水とともに　1.2—2.14　茨城県天心記念五浦美術館

小林孝亘　夏の月　4.27—6.5　西村画廊
芸術新潮　727
日経　5.12　宝玉正彦
毎日夕刊　5.25　岸桂子

小林正人　LOVE もっとひどい絵！美しい絵　愛を口にする以上　9.18—10.23　SHUGOARTS
毎日夕刊　10.13　三田晴夫

小林悠児展　9.4—9.18　ギャラリー椿
ギャラリー*　307　小川英晴

小林亮介個展　「展開する風景」　5.17—5.29　ガリレアフィナルテ
REAR　25　森本悟郎

ミニチュアの世界—小林礫斎と手のひらの宇宙—　1.30—3.28　兵庫県立歴史博物館

小林礫斉　手のひらの中の美—技を極めた繊巧美術—　11.20—2.27　たばこと塩の博物館

小堀四郎と鴎外の娘　ひと筋の道　9.15—1.10　世田谷美術館

紅心　小堀宗慶展　創作と審美眼の世界　6.5—7.11　目黒区美術館

銅版画の巨匠　駒井哲郎展　4.15—5.16　大分市美術館

駒井哲郎作品展—闇と光のあわいに　福原コレクション　生誕90周年　10.26—12.19　資生堂ギャラリー／資生堂アートハウス
日経　12.17
読売　11.18　高野清見

小室翠雲(1874—1945)展—館林に生まれ近代南画の大家に—　4.24—6.6　群馬県立館林美術館
趣味の水墨画　254
朝日夕刊　5.26　田中三蔵

古茂田家五人　美と表現の世界—松山ゆかりの古茂田家の五人が表現する戦前、戦後そして今—[古茂田守介／美津子／杏子／公雄／不二]　10.20—11.28　セキ美術館

小森南展"KASABUTA STRIP"　6.4—6.19　unseal contemporary
芸術新潮　728

クーノ・ゴンシオア「レイト・ペインティングス」　6.26—7.24　タグチファインアート
芸術新潮　729

近藤竜男展　1.12—1.30　ギャルリー東京ユマニテ
芸術新潮　723

(サ)

斎藤永良個展　4.26—5.1　銀座スルガ台画廊

塩田コレクション受贈記念　斎藤清と近代版画　4.3—5.30　笠岡市立竹喬美術館

斎藤美奈子展　5.17—5.29　ギャラリー川船
産経　5.26　(和)

齋藤芽生　IMMORALVILLE／密愛村　4.19—5.22　ギャラリー・アートアンリミテッド

工房集　斎藤裕一・佐々木省伍二人展　描くことの根源性にむけて　2.19—3.2　マキイマサルファインアーツ

九室の風を浴び　山口長男・斎藤義重・吉原治良と、髙橋節郎展

7.17—8.29　安曇野高橋節郎記念美術館
新美術新聞　1222　佐野順子

斎藤与里—郷土を愛した日本近代洋画の先駆者—没後50周年　新・加須市誕生記念　10.23—12.12
サトエ記念21世紀美術館
美術の窓　328　瀧悌三

すきなものをすきなように　坂井範一展　1.30—3.22　美濃加茂市民ミュージアム
REAR　24　廣江泰孝

坂井眞理子1980s／2010　風の呼吸 WIND BREATHING　9.6—10.2
アートギャラリー環

坂下広吉個展　ギルガメッシュからイシュタルの世界へ　11.10—11.21　中村順二美術館

相良裕介個展　7.2—7.13　マキイマサルファインアーツ

桜井寛展　3.1—3.6　国立新美術館
新美術新聞　1209　松樹路人

笹岡了一　新潟市新津美術館より　11.9—1.23　中村研一記念小金井市立はけの森美術館

佐々木耕成展「全肯定／OK. PERFECT. YES.」　3331 Arts Chiyoda 開館記念　4.23—5.23　アーツ千代田3331
朝日夕刊　5.12　田中三蔵

工房集　斎藤裕一・佐々木省伍二人展　描くことの根源性にむけて　2.19—3.2　マキイマサルファインアーツ

佐々木文代展　10.20—10.25　ギャラリーおかりや
陶説　694　外舘和子

佐々木誠展　祖形—ヒトガタ—　10.11—10.23　羽黒洞

笹島喜平展　拓刷りの版画家　6.11—8.1　川上澄生美術館

笹山忠保展　6.15—7.11　ギャラリーなかむら
陶説　690　鈎真一

ヴィルヘルム・サスナル　16mm films　4.2—6.6　RAT HOLE GALLERY
視覚の現場　四季の綻び　5　加須屋明子

佐竹徳展　開館記念　10.1—11.14　瀬戸内市立美術館

佐藤功個展　12.13—12.18　銀座スルガ台画廊

レスポワール展44回　2010年新人選抜　佐藤央育展　5.3—5.8　銀座スルガ台画廊

佐藤克久展　はじまりのつづき／つづきのそれから　6.15—9.25
See Saw gallery＋café
REAR　25　中西博之

佐藤杏子展—識閾—　9.11—10.24
いわき市立美術館

佐藤晃一　デザインと俳句　7.11—9.7　高崎市美術館

佐藤紫煙　幻の花鳥画—新潟・大正時代の豪商別邸に残る板戸絵—　9.18—11.7　一関市博物館
視覚の現場　四季の綻び　7　大衡彩織

黄甲冑記　佐藤正和重孝彫刻展　8.18—8.24　高島屋（横浜）

祈りのひかり　佐藤隆良が描く新生鎌倉水墨八景と仏教伝来　2.6—3.15　長谷寺宝物館

佐藤多持展（水芭蕉曼陀羅）　9.1—9.8　画廊岳

宮城県美術館　佐藤忠良記念館所蔵佐藤忠良展　4.17—6.6　川越市立美術館
新美術新聞　1215　星野清一

写真家ベンジャミン・リーの見た彫刻家佐藤忠良　7.4—12.23　宮城県美術館

ある造形家の足跡：佐藤忠良展　彫刻から素描・絵本原画まで：1940—2009—宮城県美術館所蔵品を中心に　12.23—3.6　世田谷美術館
新美術新聞　1239　小金沢智

日本近代洋画の名品選　特集展示　佐藤哲三生誕100年　4.10—5.30
神奈川県立近代美術館（鎌倉）

佐藤秀明写真展　里川　5.12—5.24
ペンタックスフォーラム
読売　5.13

佐東恵展—虹彩の断層—　2.1—2.24　INAX ギャラリー2

佐野ぬい展—110の夜（Nuit）を越えて—　10.6—10.12　高島屋（東京）
新美術新聞　1228　南嶌宏

カレン・サリカ展　舞い降りた北欧の天使たち　1.27—3.22　久米美術館

わたしのニキ　Yoko から Niki へのオマージュ［ニキ・ド・サンファル］　7.1—8.31　ニキ美術館
毎日夕刊　8.3

（シ）

彫刻家の庭　椎木静寧　3.4—3.28
gallery　21　yo—j

ジャンルー・シーフ写真展　Unseen & Best works　3.27—5.16
東京都写真美術館
産経　4.28

ホルモン　しえなたばさ　4.16—4.27　マキイマサルファインアーツ

重松あゆみ展　12.13—12.25　ギャラリー白
陶説　696　外舘和子

宍戸濤雲展　4.1—4.30　清宗根付館

ネイチャー・センス展　吉岡徳仁、篠田太郎、栗林隆　7.24—11.7
森美術館
美術手帖　944　野田吉郎
産経　9.29　渋沢和彦
日経　11.2
毎日夕刊　8.23　永田晶子

江戸の粋・明治の技　柴田是真の漆×絵　エドソンコレクション初帰国！　6.25—8.22　富山県水墨美術館
日経　8.19

柴田節郎　陶展　7.24—8.1　ギャラリー芽楽
陶説　691　井上隆生

柴田敏雄　1997年シカゴ現代美術館での25点　10.4—11.6　ギャラリー・アートアンリミテッド

柴宮忠徳—孤高の原風景—　9.27—10.25　辰野美術館

島州一展　5.8—5.30　SOH GALLERY K3

発見2　味岡伸太郎×島州一×松下

誠子　双ギャラリー25周年記念　11.20—12.19　SOH GALLERY K 3

濱田庄司とその系列　その二　島岡達三・金城次郎・木村一郎・船木研兒　9.4—12.19　石洞美術館

島田文雄展—うるわしき彩磁・青白磁—　7.10—9.26　佐野市立吉澤記念美術館

島村光展「壺」　12.17—12.21　しぶや黒田陶苑
陶説　696　花里麻理

清水真由美　錬込陶展　10.30—11.9　EN陶REZ
陶説　693　梅田稔

志村博がシルクスクリーンと映像で綴る　遥かなるグランチェスター・メドー　ケンブリッジ大学創立800周年記念　4.6—5.23　渋谷区立松涛美術館

下平千夏—IMPLOSION POINT—　12.4—12.25　INAXギャラリー2
芸術新潮　734

原三渓の書画「新緑のころ」／三渓ゆかりの作家「新緑のころ—下村観山」　4.21—6.1　三渓記念館

ベン・シャーン　ライナー・M・リルケ『マルテの手記』より　8.23—11.5　Fuji Xerox Art Space

シャガール版画展—《死せる魂》と《サーカス》—　4.10—5.16　いわき市立美術館

シャガール　ロシア・アヴァンギャルドとの出会い　7.3—10.11　東京芸術大学大学美術館(福岡市美術館)
朝日夕刊　8.25　高階秀爾
毎日夕刊　8.10
日経　7.21　宝玉正彦

シュウゾウ・アヅチ・ガリバー　EX—SIGN　滋賀県立近代美術館開館25周年記念　2.27—4.11
滋賀県立近代美術館
美術手帖　936　門林岳史
REAR　24　坂上しのぶ
日経　4.5
読売　3.4　木村未来

十文字美信　「劇顔」と「FACES」　9.18—10.17　多摩美術大学美術館

ジュディ・オング倩玉　木版画の世界展　1.2—2.14　福岡アジア美術館

Toter Raum Tokio, 2010(死の部屋)［グレゴール・シュナイダー］　10.12—11.27　ワコウ・ワークス・オブ・アート
読売夕刊　11.1　(市)

ラルフ・シュライフォーゲル　8.4—8.28　ギンザ・グラフィック・ギャラリー
芸術新潮　730

庄漫　版画展—光陰の道標—　6.14—6.21　ギャラリー・しらみず美術

庄司達　空間の航行　8.24—10.3
碧南市藤井達吉現代美術館
REAR　25　高橋秀治

祥洲の墨の世界2010「十字路—Crossroads—」　3.19—3.30　マキイマサルファインアーツ

triot　乾露予・庄内千恵・西尾早苗　12.20—12.25　銀座スルガ台画廊

全明玉・薄田東仙　韓日書芸術招待二人展　韓国文化院四谷庁舎開院1周年記念　10.18—10.23　韓国文化院ギャラリーMI
毎日夕刊　10.21　桐山正寿

建築家白井晟一　精神と空間　9.11—11.3　群馬県立近代美術館

白子勝之個展　6.4—6.27　eN arts
美術手帖　940　清水穣

白瀧幾之助展　没後50年　9.11—10.25　姫路市立美術館

『ア・ライフ・イン・アート』　フランソワーズ・ジロー回顧展　3.4—3.30　シャネル・ネクサス・ホール
美術手帖　935　藤森愛実
産経　3.10　渋沢和彦
日経　3.25

花の女　フランソワーズ・ジロー　ピカソ、マティスとともに　4.3—5.30　笠間日動美術館

レスポワール展44回　2010年新人選抜　新生加奈個展　3.29—4.3
銀座スルガ台画廊

新庄貞嗣　作陶展　6.30—7.6　三越(福岡)
陶説　690　福島建治

神農巌　陶展　3.10—3.16　岡山天満屋
陶説　686　外舘和子

(ス)

末松正樹　ペルピニアン展　2.8—2.20　ギャラリー川船

菅久展　郷土在住作家展IV 2010　5.21—6.11　大分市美術館

菅野圭介展　色彩は夢を見よ　4.24—6.13　横須賀美術館(一宮市三岸節子記念美術館、三浦美術館、東御市梅野記念絵画館・ふれあい館)

スガノサカエの図画展　ハローエブリバディ！　11.20—1.10　十和田市現代美術館

ようの美　指物師　菅原伸一展　9.18—9.26　ぎゃらりぃ思文閣

杉浦慶太展—農村の意匠—　9.4—10.3　奈義町現代美術館

杉浦大和展　4.26—5.1　なびす画廊

田原の美術　杉浦正美展—幻想と創造の世界—　5.15—7.4　田原市博物館／田原市渥美郷土資料館

杉浦康益展　陶の佇まい　1.15—3.12　ギャラリーA[4]
朝日夕刊　2.3　田中三蔵
産経　2.10　(和)

杉野宣雄—押し花20年のあゆみ—　12.22—12.26　三越(日本橋)

杉本博司　アートの起源　科学、建築、歴史、宗教　11.21—2.20
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(呉市立美術館、川越市立美術館)
日経　12.15　小川敦生

杉本吉武B2ポスター展　5.1—7.4
石神の丘美術館

杉山功個展　神居　SANTUARIO　7.21—8.28　東京画廊+BTAP

あるコレクターの眼—S氏コレクション　鈴木治の泥象とうつわ　7.3—8.29　茨城県陶芸美術館
朝日夕刊　8.4　西田健作

流旅転生　鈴木藏の志野　11.20—3.21　菊池寛実記念智美術館

陶説　695　外舘和子
朝日夕刊　12.8　外舘和子

鈴木勝之　日本、インド、シルクロード　旅の心象画展　7.19—7.24　銀座井上画廊
美術の窓　324　高山淳

鈴木清写真展　百の階梯、千の来歴　10.29—12.19　東京国立近代美術館
芸術新潮　733
美術手帖　947　飯沢耕太郎
毎日夕刊　11.29　岸桂子
読売夕刊　11.15　(前)

双曲線　鈴木健二　土屋貴哉　10.28—11.7　switch point
REAR　25　藤田六郎

ギャラリー・アリア開廊十周年記念　鈴木五郎展　4.8—4.18　ギャラリー・アリア
陶説　687　唐澤昌宏

鈴木省三展　3.1—3.20　ガレリアフィナルテ
REAR　24　宮田徹也

鈴木貴博　「生きろ」　5.17—5.29　ギャラリー現
毎日夕刊　5.25　岸桂子

鈴木基真「World is yours」展　2.27—4.3　Takuro Someya Contemporary Art
芸術新潮　725

ロトチェンコ＋ステパーノワ—ロシア構成主義のまなざし—　4.24—6.20　東京都庭園美術館(滋賀県立近代美術館、宇都宮美術館)
芸術新潮　727
REAR　25　江村公

東北の道を行く　須藤英一写真展　7.17—8.22　石神の丘美術館

須藤康花展　5.5—5.11　すみだリバーサイドホールギャラリー
ギャラリー*　301

センスヨシ　サンニン　デタラメト build[須永健太郎]　9.17—9.28　マキイマサルファインアーツ

澄川喜一彫刻展　10.20—10.26　三越(日本橋)
新美術新聞　1230　福永治
毎日夕刊　10.19　岸桂子

見つめる　野田弘志　大野廣子　諏訪敦　4.17—5.30　川口市立アートギャラリー・アトリア

孫遜　主義之外　1.23—1.31　ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター

（セ）

清宮質文展—遠い日をおもうために　5.28—6.27　倉敷市立美術館
視覚の現場　四季の綻び　6　岸野裕人

関智生展　Real　6.26—7.26　masayoshi suzuki gallery
REAR　25　千葉真智子

彫刻家関野聖雲の道具　3.21—9.26　竹中大工道具館

芹沢銈介の名作　1.5—5.16　静岡市立芹沢銈介美術館

芹沢銈介のブック・デザイン　9.11—12.5　静岡市立芹沢銈介美術館

仙厓—禅とユーモア　生誕260年　9.18—11.3　出光美術館

スティルライフ／CENTER EAST＋井上雅人　11.17—11.28　ギャラリー RAKU
瓜生通信　51　藤本亜希

（ソ）

芸術台湾：蘇孟鴻、許唐瑋２人展　11.18—12.17　芸文サロン
読売夕刊　12.6　(清)

曽根裕展　雪　12.10—2.28　メゾンエルメス８階フォーラム
美術手帖　948　能勢陽子

染谷亜里可展—Monster　5.12—6.9　ケンジタキギャラリー(東京)
毎日夕刊　5.25　岸桂子

shiseido art egg 4回　曽谷朝絵展　1.8—1.31　資生堂ギャラリー
美術の窓　318

（タ）

醍醐イサム個展　4.22—4.27　Gallery　銀座一丁目

TRESOM vol.06　醍醐イサム・平澤重信・ミズテツオ　5.27—6.9　ギャラリー絵夢

醍醐イサム個展　7.15—7.27　紀伊国屋画廊

醍醐イサム個展　9.21—9.30　千駄木画廊

醍醐イサム個展　流界流闇流光　10.22—10.30　ギャルリーパリ

高木こずえ展　MID　2.17—3.12　第一生命南ギャラリー
毎日夕刊　2.23　岸桂子

高木こずえ展　GROUND　2.17—3.15　美術画廊X
毎日夕刊　2.23　岸桂子

高木こずえ写真展　「MID／GROUND」　6.12—8.1　東京工芸大学・写大ギャラリー
東京夕刊　6.25　(典)

高瀬省三・石橋聖肖展　11.9—12.23　平塚市美術館

彫刻　高田博厚展—人の内に在るもの—　10.23—11.28　稲沢市荻須記念美術館

中谷芙二子＋高谷史郎　「CLOUD FOREST」　8.7—10.17　山口情報芸術センター
美術手帖　944　平芳幸浩
美術手帖　946　松井みどり

現代能面・狂言面三人展　高津紘一・伊藤通彦・岩崎久人　5.8—6.4　玉川大学教育博物館

高梨裕理展　6.8—6.27　ATELIER K・ART SPACE
産経　6.16　(和)

高野卯港展　3.30—4.8　ギャラリー枝香庵
産経　3.31

タカハシカオリ展　ミゾグチ、17歳の恋　7.1—7.25　YASUDA ART LINK　1F "Window"
産経　7.20　安岡一成

悠久への回帰—高橋秀　3.5—4.4　岡山県立美術館
日経　3.18

しがらきやき—直方の茶陶　春斎の壺—[高橋春斎]　9.18—12.12　滋賀県立陶芸の森陶芸館

高橋信行　『ふつうの絵』　5.10—6.25　ベイスギャラリー(日本橋)

高橋真琴の夢とロマン　6.4—7.4　八王子市夢美術館

高橋萬年展　絵の仕事　11.20—1.30　秋田県立近代美術館

高橋由一と日本近代洋画への道—山岡コレクションを中心に— 4.1—6.6 とちぎ蔵の街美術館

襲名記念 五代 高橋楽斎 陶芸展 9.8—9.14 三越(日本橋)
陶説 692 森孝一

星野眞吾 高畑郁子 4.5—4.20 羽黒洞

挿絵≒日本画 高畠華宵の大正イマジュリィ 7.24—9.12 小杉放菴記念日光美術館

幻の世界遺産 被爆遺構・旧浦上天主堂の記録 終戦・被爆65周年記念企画[高原至] 9.17—9.26 長崎センタービル
毎日夕刊 9.21 栗原俊雄

高嶺格 Good House, Nice Body—いい家・よい体 4.29—3.21 金沢21世紀美術館

智恵子抄 高村光太郎と智恵子 その愛 4.29—7.11 菊池寛実記念智美術館
産経 6.30 渋沢和彦

高山佳二子—La Mer—交響詩"海" 11.29—12.4 ギャラリー現

人物画と風景画の巨匠 高山辰雄と奥田元宋展 4.2—5.9 奥田元宋・小由女美術館
新美術新聞 1213 野地耕一郎

高山登展 300本の枕木—呼吸する空間 1.23—3.28 宮城県美術館
美術手帖 936 椹木野衣
朝日夕刊 2.25 田中三蔵
日経 3.3 宝玉正彦
毎日夕刊 3.17 岸桂子
読売 2.18 菅原教夫

滝口和男・光石展—ある春の出来事— 4.7—4.18 ギャラリーにしかわ
陶説 687 梅田稔

滝澤水瑠—surround— 3.5—3.16 マキイマサルファインアーツ

瀧田亜子展 4.12—4.24 なびす画廊

瀧田亜子展 11.22—11.27 なびす画廊

さよなら滝平二郎—はるかなるふるさとへ— 11.3—1.10 茨城県近代美術館

複合回路 第一回 田口行弘 4.17—5.26 ギャラリーαM
美術手帖 939 成相肇

大観と栖鳳—東西の日本画— 開館記念特別展III[竹内栖鳳] 2.6—3.28 山種美術館
趣味の水墨画 251
日経 2.17 宝玉正彦

武沢昌子展 anniversary 11.16—11.21 ギャラリーf分の1

dadacha 竹下修司・針生卓治・松浦翼 7.12—7.15 銀座スルガ台画廊

武田厚志展 Nombre—ノンブル— 5.17—6.3 ガーディアン・ガーデン

竹田武史写真展 茶葉古道をゆく 4.15—4.26 コニカミノルタプラザ
毎日 4.17 山田奈緒

武田陽平展「何かを見た、あるいは何かを見るだろう。」 10.23—11.20 SANAGI FINE ARTS
美術手帖 947 小田島等

武田浪×艾沢詳子 9.17—9.26 ART SPACE 感

竹久夢二と大正ロマンの世界展—女性・流行・文化生活にみる新しい波— 1.3—3.28 竹久夢二美術館

竹久夢二展—憧れの欧米への旅— 1.20—2.1 三越(日本橋)

竹久夢二展 志田コレクション 7.3—8.22 川越市立美術館

竹久夢二の震災スケッチ展 9.1—9.11 ギャラリーゆめじ
産経 9.2
産経 9.8

竹村智之 陶芸作品展 9.15—9.21 高島屋(京都)
陶説 694 鈎真一

わさわさ 竹本万亀 万亀切り絵展 1.8—1.13 フリュウ・ギャラリー

竹谷満展 モスキート オブ シーサイド 9.14—10.2 MEGUMI OGITA GALLERY
産経 9.29 (渋)

田崎草雲と奥原晴湖 特別企画展 11.20—1.23 草雲美術館
趣味の水墨画 261

小川待子×田嶋悦子—豊饒の水 受贈受託記念 4.3—9.5 岐阜県現代陶芸美術館
陶説 691 井上隆生

田島秀彦展—ありふれた素晴らしい日々 1.16—2.27 ケンジタキギャラリー(東京)
芸術新潮 724
読売夕刊 2.1 (清)

発見1 伊藤誠×多田正美 双ギャラリー25周年展 10.16—11.14 SOH GALLERY K3

多田由美子展—翻訳—translation 9.13—9.25 ギャラリーなつか

辰野登恵子新作展 11.3—12.26 BLD GALLERY
ギャラリー* 308 名古屋覚
美術手帖 948 三輪健仁

ミュージアムコレクション1 建畠覚造—アトリエの時間 4.16—9.5 世田谷美術館

建畠覚造 アトリエの時間 4.16—9.5 世田谷美術館
新美術新聞 1215 石井幸彦

田中一光ポスター1953—1979 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展II 1.12—2.25 ギンザ・グラフィック・ギャラリー
書道界 243 臼田捷治
朝日夕刊 1.27 西田健作

田中一幸 佇む木々 12.9—12.23 東京芸術大学大学美術館陳列館

田中一村 新たなる全貌 8.21—9.26 千葉市美術館(鹿児島市立美術館、田中一村記念美術館)
国華清話会会報 16 松尾知子
新美術新聞 1228 島尾新
美術手帖 945 清水穣
朝日夕刊 9.8 小川雪
産経 9.15 渋沢和彦
日経 9.8 小川敦生
毎日夕刊 9.14 岸桂子
読売 9.16 高野清見

田中栄作新作展 2.8—2.27 東邦画廊

田中真吾—踪跡— 11.1—11.24 INAX ギャラリー2

ギャラリー* 309 小金沢智

田中真洲回顧展 4.7—4.11 平塚市美術館

田中孝枝展 6.14—6.19 コバヤシ画廊
芸術新潮 728

田中千智「夜のはなし」 7.26—8.7 ギャラリー現
芸術新潮 729

板橋区伝統工芸展12回 回顧展—仏師舟谷喜雲、小紋染め師小林茂徳、彫金師田中照行の世界— 12.18—1.30 板橋区立郷土資料館

田辺小竹展 つながり—無限— 6.9—6.28 美術画廊X(日本橋高島屋6階)
芸術新潮 728

谷口靖展 9.20—9.25 なびす画廊

谷野明夫 作陶展 6.16—6.22 高島屋(京都)
陶説 689 鈎真一

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展 7.17—10.3 東京都現代美術館
産経 9.6 谷口隆一
読売夕刊 9.18

2010コレクション展1 虹をわたる田淵安一 3.20—6.20 福岡県立美術館

田淵行男写真展 知ることとは 愛すること 8.7—9.12 武蔵野市立吉祥寺美術館

—inside—玉野綾子・弓良麻由子二人展 11.26—12.7 マキイマサルファインアーツ

ダムタイプ 5.22—7.4 ICCシアター
毎日夕刊 6.16 三田晴夫

多和圭三 鉄を叩く 6.28—8.22 足利市立美術館(町立久万美術館)
毎日夕刊 7.13 三田晴夫

多和圭三 "Drawings&Prints" 7.16—7.31 Hino gallery

多和圭三 鉄を叩く 11.13—1.9 目黒区美術館(町立久万美術館)
朝日夕刊 12.1 西田健作
東京夕刊 12.17 中村英樹
日経 12.22 宝玉正彦

多和圭三 新作展 12.15—1.22 Hino gallery

丹阿弥丹波子 銅版画展 11.3—11.9 高島屋(日本橋)

(チ)

崔在銀展—アショカの森— 9.11—12.26 原美術館
朝日夕刊 9.29 西田健作
東京夕刊 10.8 中村英樹

Kim Jyung WooK+Chun Sung Myung二人展 「Inside Out」[チェン・スンミュン] 11.27—12.22 unseal contemporary
芸術新潮 734

センスヨシ サンニン デタラメト build[千葉隆弘] 9.17—9.28 マキイマサルファインアーツ

千房輝 STONE ART Light&Stone展 5.28—6.4 スペースオグラ
毎日 5.29 神足俊輔

フセイン・チャラヤン—ファッションにはじまり、そしてファッションへ戻る旅 4.3—6.20 東京都現代美術館
AXIS 146 暮沢剛巳
朝日夕刊 4.28 小川雪
日経 5.13 平野啓一郎
毎日夕刊 4.20 永田晶子

中善寺亮一展 8.30—9.4 なびす画廊

張愛紅・シルクロード・亀茲石窟壁画模写展覧会 東京芸術大学と新疆芸術学院との大学間交流協定を記念して 3.16—3.28 東京芸術大学大学美術館陳列館

曹徳鉉「FLASH BACK」 5.14—6.9 ギャルリ・オーブ
瓜生通信 50 江畑芳

Imagine[Chim↑Pom] 8.7—9.11 無人島プロダクション
読売夕刊 8.16 (市)

(ツ)

芳年 月乃百姿精選[月岡芳年] 3.30—6.27 日本浮世絵博物館

レスポワール展44回 2010年新人選抜 辻久美子個展 2.8—2.13 銀座スルガ台画廊

彫刻家 辻晋堂 生誕100年 11.27—1.10 鳥取県立博物館(神奈川県立近代美術館(鎌倉))

辻清明回顧展 受贈記念 4.3—9.5 岐阜県現代陶芸美術館

陶芸家・辻清明の眼—作品とコレクション—愛知県陶磁資料館コレクション 12.4—1.30 愛知県陶磁資料館(学習院大学史料館、明治大学博物館、仏教大学宗教文化ミュージアム、山口県立萩美術館・浦上記念館)
陶説 695 井上隆生

辻井ますみ個展 10.4—10.9 銀座スルガ台画廊

辻村寿三郎展—清盛無常縁起— 人形作家50周年記念 4.23—5.16 目黒雅叙園百段階段
日経 5.1 小川敦生

津田信夫展 8.7—9.23 佐倉市立美術館

双曲線 鈴木健二 土屋貴哉 10.28—11.7 switch point
REAR 25 藤田六郎

筒井伸輔展 6.12—7.17 ミヅマアートギャラリー
産経 6.23 (和)

HEAVEN 都築響一と巡る社会の窓から見たニッポン 5.22—7.19 広島市現代美術館
美術手帖 943 福住廉
日経 6.28
読売 6.10 市原尚士

堤展子展—香— 11.16—11.28 ギャラリーにしかわ
陶説 694 梅田稔

椿苑展—こけのむすまで— 奈義町町制55周年記念 2.14—3.14 奈義町現代美術館

坪井明日香 陶芸展 11.3—12.26 パラミタミュージアム
陶説 694 井上隆生

(テ)

フェリックス・ティオリエ写真展 いま蘇る19世紀末ピクトリアリズムの写真家 5.22—7.25 世田谷美術館(山梨県立美術館、美術館「えき」KYOTO)

芸術新潮　727
視覚の現場　四季の綻び　6　荒屋鋪透
美術手帖　943　ホンマタカシ
読売　5.28　賀川恭子

できやよい展　「パイナップル」
8.21—9.11　山本現代
産経　9.8　(渋)

勅使河原蒼風と戦後美術　7.6—8.15　千葉市美術館

手塚治虫展　未来と平和のメッセージ　7.10—8.22　浦添市美術館

手塚恒治展　11.3—11.13　羽黒洞

手塚雄二　一瞬と永遠のはざまで
10.23—11.28　そごう美術館(松坂屋美術館)
新美術新聞　1232　川口直宜

黙示録—デューラー／ルドン[アルブレヒト・デューラー]　10.23—12.5　東京芸術大学大学美術館
朝日夕刊　12.1　西田健作

アルブレヒト・デューラー版画・素描展　宗教・肖像・自然　10.26—1.16　国立西洋美術館
朝日夕刊　12.1　西田健作

レスポワール展44回　2010年新人選抜　寺尾佳子個展　3.22—3.27　銀座スルガ台画廊

PLATFORM 2010　寺田真由美—不在の部屋　4.21—5.30　練馬区立美術館

未来指向　寺元博昭　4.16—4.27　マキイマサルファインアーツ

照屋勇賢　ひいおばあさんはUSA
3.14—3.30　上野の森美術館

会田誠×天明屋尚×山口晃　4.24—8.8　高橋コレクション日比谷

(ト)

田原の美術　道家珍彦展—シルクロードと渥美—　1.5—2.14　田原市博物館

東郷青児展　女性礼讃—大正そして昭和を駆けたモダンボーイ—
2.5—3.28　八王子市夢美術館

現代日本画の革新　堂本印象の世界—祈り・生きる・かたち—　9.17—11.23　三之瀬御本陣芸術文化館

「時代の精神展」第1回　ジョナサン・トーゴヴニク写真展　「ルワンダ　ジェノサイドから生まれて」
11.20—12.19　ギャルリ・オーブ
瓜生通信　51　郭潤夏
日経夕刊　11.29

タティアナ・ドール展　REVENTON　4.3—5.1　NANZUKA UNDERGROUND
産経　4.14　(和)
読売夕刊　4.19　(清)

ドガ展　9.18—12.31　横浜美術館
新美術新聞　1226　沼田英子
美術屋・百兵衛　15
毎日夕刊　11.11　高階秀爾
読売　1.1　鹿島茂
読売　10.8　城戸真亜子
読売　10.13　松尾敏男
読売　10.17　荻野アンナ
読売夕刊　9.22　市原尚士
読売夕刊　9.25　市原尚士
読売夕刊　9.28　市原尚士
読売夕刊　10.2　市原尚士
読売夕刊　10.7　市原尚士
読売夕刊　10.21　吉田都 談／市原尚士

鹿沼ゆかりの版画家　富樫金弥展
4.9—6.6　川上澄生美術館

戸川英夫展　9.6—9.18　ガリレアフィナルテ
REAR　25　山本さつき

陶唐津　德澤守俊展　5.7—5.13　柿傳ギャラリー
陶説　689　唐澤昌宏

戸沢佳代子展『光・緑・大地』　12.10—12.23　マキイマサルファインアーツ

戸島華織展　Archaic Eros—古代の愛の神—　11.8—11.13　なびす画廊

奈良・ハノイ悠久の都を紡ぐ—鳥羽美花型染展　10.5—11.10　薬師寺、文廟(ベトナム)、ベトナム国立美術博物館

鉄斎と蓮月[富岡鉄斎]　1.8—3.14　鉄斎美術館

鉄斎の富士　鉄斎美術館開館35周年記念　3.18—4.11　鉄斎美術館

富岡鉄斎展　3.27—5.5　辰馬考古資料館

鉄斎—豊潤の色彩〔いろどり〕—鉄斎美術館開館35周年記念　4.14—5.9　鉄斎美術館

鉄斎—粉本に見る学びの跡—　5.12—8.1　鉄斎美術館

鉄斎—用印のすべて—　9.7—12.12　鉄斎美術館

新世代への視点2010　富田菜摘展「さんざん待たせてごめんなさい」
7.26—8.7　ギャルリー東京ユマニテ
芸術新潮　729
読売夕刊　8.2　(市)

富永剛総写真展　ここ　から　とおく　10.29—11.9　マキイマサルファインアーツ

土門拳の昭和　生誕100年記念写真展　開館15周年記念　7.31—9.26　石川県七尾美術館

戸谷成雄　ミニマルバロックVI
5.8—6.12　SHUGOARTS
朝日夕刊　6.2　田中三蔵
毎日夕刊　5.18　三田晴夫

戸谷成雄展　橋本平八と北園克衛展関連企画　8.7—10.11　三重県立美術館

豊田豊　"ブラジルの大地と不可視"の世界　作家歴50周年記念
9.11—10.11　天童市美術館

豊山彬紘陶展—窯辺諸事無尽—
10.9—11.7　調布市文化会館たづくり

豊山彬紘遺作展　10.21—10.27　京王(聖跡桜ケ丘)

虎尾裕　新作展　9.13—10.2　Hino gallery

ナターリヤ・トルスタヤ絵画展　トルストイ没後100年記念　11.24—12.1　昭和女子大学光葉博物館
毎日　11.25　神足俊輔

(ナ)

内藤定昭展—奈良の旅—　1.7—4.11　奈良県立万葉文化館

内藤ルネ展　"ロマンティック"よ、永遠に　1.27—2.8　大丸ミュージアム(東京)

中平四郎—師・川上邦世とともに

群馬県大泉町に生まれた木彫家　12.11—4.3　群馬県立館林美術館

長江重和展—列なりの美—　10.19—10.30　橋本美術
陶説　694　井上隆生

中江紀洋　時の彼方へ　10.29—1.23　北海道立近代美術館

長尾和展　風土、働く人々への讃歌—新収蔵作品を中心に—　1.4—3.30　神戸ゆかりの美術館

長尾玲子展　すみれとかんじ　6.2—6.14　ギャラリー　ア　ビアント

中上清—新作展—　3.8—3.27　Hino gallery

中川沙綾香展　ラ・コロリスト　4.28—5.2　ジェイトリップアートギャラリー
産経　4.26　篠原知存

美術者　中川宗弥の回廊—原始と図書—　3.25—4.7　青山ブックセンター
毎日　4.3　木村葉子

中川岳二　こてんこ　てん展「あ、うん」　3.30—4.18　ギャラリーMITATE
芸術新潮　726

中川達夫写真展　「地球が宇宙にとけこむとき—北アルプス剱岳の星空—」　12.7—12.26　多摩六都科学館
毎日　12.22　喜浦遊

みづゑのきらめき—中川八郎、大下藤次郎と近代日本の水彩画—　2.20—3.22　愛媛県美術館

三人展—それぞれの人物像—赤井正人・中畔千嘉・横山哲則　9.13—9.18　銀座スルガ台画廊

再興・花ノ木窯　中里隆と五人の若い仲間たち展　6.1—6.5　万葉洞七丁目店

中里斉　モダニズム・ニューヨーク⇔原風景・町田　6.19—8.8　町田市立国際版画美術館

ながさわたかひろ展　“愛”　4.12—4.24　art data bank
美術手帖　937　椹木野衣

長澤英俊　オーロラの向かう所　1.9—3.22　神奈川県立近代美術館(葉山)(川越市立美術館、埼玉県立近代美術館、国立国際美術館、長崎県美術館)
美術手帖　935　秋元康、甘糟りり子 談／山内宏泰 構成

中路融人展　平城遷都1300年記念　10.30—12.24　奈良県立万葉文化館
新美術新聞　1231　大矢鞆音

中島千波の花鳥画の世界展　平成花菖蒲　6.16—6.21　三越(日本橋)(三越(福岡)、三越(松山)、三越(高松))
新美術新聞　1218　草薙奈津子

中島千波の桜屏風展　10.8—12.14　おぶせミュージアム
新美術新聞　1232　宮下真美

中島晴美・森野泰明展—2009年度日本陶磁協会賞・金賞受賞記念—　7.22—7.30　和光並木ホール
陶説　691　唐澤昌宏

CoBrAを超えた太陽の画家　中島由夫展　1.4—2.7　明石市立文化博物館

もーやんえっちゃんえほんだいすき　元永定正・中辻悦子絵本原画展　9.4—10.3　明石市立文化博物館

中辻伸彫刻展　絆に限りなき宇宙を紡ぐ　10.9—11.28　南アルプス市立春仙美術館

永冨恵子　引きこもりから社会へ—ニュースタートの若者たち—　4.6—4.12　新宿ニコンサロン
毎日　4.8　小泉大士

○△□展2010[長友啓典]　1.18—2.19　クリエイションギャラリーG8
毎日夕刊　1.25　永田晶子

中西繁展　「棄てられた街」in沖縄　4.20—4.30　浦添市美術館

中西夏之　背後からの白　10.4—10.29　横田茂ギャラリー
毎日夕刊　10.13　三田晴夫

中西夏之　11.4—11.28　gallery 21　yo—j

長沼基樹展　10.18—10.23　なびす画廊

中野越南展—古今独歩の書家—没後30年　10.23—1.16　北海道立函館美術館

中野淳展　10.11—10.16　文藝春秋画廊
新美術新聞　1229　瀧悌三

中野正貴　東京1990—2010　3.17—4.10　ギャラリー・アートアンリミテッド

中原淳一と『少女の友』の画家たち—内山美樹子・伊藤美和子寄贈作品展—　1.25—2.4　早稲田大学會津八一記念博物館

永原トミヒロ展　3.29—4.10　コバヤシ画廊
読売夕刊　4.5　(清)

中村征夫写真展　世界一の珊瑚礁レディエリオット島・オーストラリア　4.29—5.5　東急(渋谷)
毎日　4.30　百武信幸

中野悟朗　陶展　つちだいく　8.31—9.5　ギャラリー中井
陶説　693　鈎真一

木村巳奈子・中村譲司　陶二人展　3.2—3.11　ギャラリーにしかわ
陶説　686　梅田稔

中村忠二展　6.28—7.15　羽黒洞

タブロオ・マシン　中村宏の絵画と模型　7.25—9.5　練馬区立美術館

中村宏未発表小品展　8.23—9.4　ギャラリー川船

中村不折と明治の書—文豪たちとの交流を中心に—　3.13—5.9　台東区立書道博物館
毎日夕刊　4.26　桐山正寿

中村正義　創造の原景　3.5—5.30　中村正義の美術館

中村正義　山と水の作品展　9.3—11.28　中村正義の美術館

ドキュメント—素描する宮本三郎—1950's写真家・中村立行による　4.1—7.25　宮本三郎記念美術館(世田谷美術館奥沢分館)

中谷芙二子＋高谷史郎「CLOUD FOREST」　8.7—10.17　山口情報芸術センター
美術手帖　944　平芳幸浩
美術手帖　946　松井みどり

レトロ・モダン神戸—中山岩太たちが遺した戦前の神戸　4.17—5.30

兵庫県立美術館

仲山計介展　存在するもの達へ
2.21—4.14　練馬区立美術館

Ornaments[中山ダイスケ]　11.6—12.18　児玉画廊
読売夕刊　11.29　(市)

中山正樹個展　BODY SCALE
11.23—12.11　人形町 VISION'S

存在の美学　伊達市噴火湾文化研究所同人展[永山優子]　4.28—5.4
高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、だて歴史の杜カルチャーセンター)
新美術新聞　1214　南条守

那須由希子展　Past Now Future
9.20—9.25　ギャラリイK

名知聡子展　告白　1.16—2.13　小山登美夫ギャラリー
芸術新潮　723
産経　1.26　渋沢和彦

色彩と躍動感の交響詩　奈知安太郎展　1.5—4.11　萬鉄五郎記念美術館

並河万里写真展　神々の座　出雲
8.27—11.15　島根県立石見美術館

並木スバル作品展　第5回　12.2—12.7　パリオ町田
毎日　12.4　松本惇

奈良美智展　セラミック・ワークス
5.15—6.19　小山登美夫ギャラリー
芸術新潮　727
朝日夕刊　6.9　西田健作
読売夕刊　6.14　(市)

手のなかの空　奈良原一高　1954—2004　7.30—9.13　島根県立美術館(長崎県美術館)
視覚の現場　四季の綻び　7　池上司
毎日夕刊　8.30　手塚さや香

名和晃平　synthesis　9.24—10.30　SCAI THE BATHHOUSE
ギャラリー*　307　三田晴夫
産経　10.19　(渋)

(ニ)

triot　乾露予・庄内千恵・西尾早苗
12.20—12.25　銀座スルガ台画廊

清水公照交流の足跡　丹波木綿　西垣和子の世界　9.4—10.3　姫路市書写の里・美術工芸館

西川勝人　Iconography　11.8—12.3　横田茂ギャラリー

カンブリアのカンブリアたる理由〔わけ〕　西澤伊智朗陶展　8.10—8.15　茨城県つくば美術館
陶説　691　外舘和子

西嶋豊彦—光彩のシルエット—
3.17—3.23　高島屋(京都)(高島屋(日本橋、横浜、名古屋))

西田宣生　UTSUWA展　1.17—1.24　現代陶芸寛土里
陶説　684　唐澤昌宏

西宮正明映像言語展　フィルム粒子とピクセルの共棲　4.1—4.15
キヤノンギャラリーS
東京夕刊　4.16

春の全館イベント　ニナガワ・バロック／エクストリーム[蜷川実花]
4.28—5.30　NADiff a/p/a/r/t
毎日夕刊　5.18　岸桂子

アメリカ抽象絵画の巨匠　バーネット・ニューマン　9.4—12.12　川村記念美術館
美術手帖　945　石川卓磨
朝日夕刊　9.15　西田健作
東京夕刊　10.1　古谷利裕
毎日夕刊　9.9　三田晴夫
読売　11.4　市原尚士

複合回路　第三回　丹羽良徳　7.24—9.11　ギャラリーαM
美術手帖　945　木村絵理子

(ヌ)

額田宣彦—暗順応—　5.17—6.5
ギャルリー東京ユマニテ
REAR　25　嶋崎吉信

テンジン・ヌルブ絵画展　12.4—12.12　ICIクラブ　アースプラザ
読売　12.4　松本由佳

(ネ)

根岸達江展　9.27—10.2　なびす画廊

(ノ)

能島征二の軌跡展　水戸市文化栄誉賞受賞記念　水戸市芸術祭　5.30—6.27　水戸芸術館現代美術ギャラリー
新美術新聞　1217　浅井俊裕

野上祇麿展　記憶の風景　9.11—11.23　太閤山ランドふるさとギャラリー

海を越えた香川のアーティストたち　猪熊弦一郎・川島猛・イサムノグチの作品を中心に　9.11—11.7
香川県立ミュージアム

能島和明日本画展—水ぬるむ—
3.3—3.9　高島屋(日本橋)

見つめる　野田弘志　大野廣子　諏訪敦　4.17—5.30　川口市立アートギャラリー・アトリア

存在の美学　伊達市噴火湾文化研究所同人展[野田弘志]　4.28—5.4
高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、だて歴史の杜カルチャーセンター)
新美術新聞　1214　南条守

もうひとつの場所—野又穫のランドスケープ　7.17—8.29　群馬県立近代美術館
朝日　8.16　大西若人

野村和弘／東島毅　みることをかんがえる　5.29—7.4　いわき市立美術館
毎日夕刊　6.8　岸桂子

高円宮妃殿下絵画展　絵日記[憲仁親王妃久子]　4.29—6.23　カナダ大使館高円宮ギャラリー
毎日　4.29　真鍋光之

話の話—ロシア・アニメーションの巨匠ノルシュテイン&ヤールブソワ　4.10—6.27　神奈川県立近代美術館(葉山)(高知県立美術館、三菱地所アルティアム、足利市立美術館)
東京夕刊　5.28　山村浩二 談／三沢典丈

(ハ)

袴田京太朗展　人と毛布と熊と粘土
9.22—10.11　高島屋(日本橋)
産経　10.5　(渋)

朴寶正展　9.20—9.25　Gallery b.

Tokyo

森に守られた都市アンコール[BAKU斉藤] 7.24—8.8 グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)

羽間直子 宿す 育む 生む—歩く— 5.10—5.15 なびす画廊

"CALL&RESPONSE" 橋本倫+出口王仁三郎 井村常山 鄭惟河 盛宰皇 曹錕 勝男 高井龍運海敬老僧山人 12.6—12.18 なびす画廊

橋本雅邦と門人たち/現代の院展作家たち—当館所蔵品を中心に— 4.24—7.4 佐野市立吉澤記念美術館
趣味の水墨画 254

橋本聡個展「行けない、来てください」 3.27—5.30 アーカス・スタジオ
美術手帖 937 住友文彦

橋本平八と北園克衛展 異色の芸術家兄弟 8.7—10.11 三重県立美術館
日経夕刊 9.21 舘野真治
毎日夕刊 9.21 岸桂子
読売 9.28 高野清見

橋本平八と北園克衛展 異色の芸術家兄弟 10.23—12.12 世田谷美術館
視覚の現場 四季の綻び 7 酒井忠康
美術手帖 947 野田吉郎
東京 11.16 佐藤友美

パスキンとパリを愛した画家たち—北海道立近代美術館コレクションを中心に[ジュール・パスキン] 4.24—6.27 メナード美術館

パスキンとエコール・ド・パリ展 北海道立近代美術館の所蔵品による 7.16—8.22 岡山県立美術館

長谷川等伯 没後四〇〇年 2.23—3.22 東京国立博物館(京都国立博物館)
新美術新聞 1208
美術手帖 936 清水穣
美術手帖 936 山下裕二
美術屋・百兵衛 12
朝日夕刊 3.3 大西若人
日経 3.10 小川敦生
毎日 1.30 岸桂子
毎日 2.22 岸桂子
毎日 3.5 岸桂子
毎日夕刊 3.1 山下裕二

長谷川利行展 12.2—12.22 羽黒洞

みんなのサザエさん展 世田谷文学館会館15周年記念[長谷川町子] 7.17—9.12 世田谷文学館
産経 6.30

屋島[長谷川学] 11.4—11.14 Showcase/MEGUMI OGITA GALLERY
芸術新潮 733

平明・静謐・孤高 長谷川潾二郎展 4.17—6.13 平塚市美術館
朝日夕刊 5.26 田中三蔵
産経 5.26 渋沢和彦
読売 4.29 高野清見

畠山耕治 青銅の箱 9.23—10.24 東京国際フォーラム・エキジビション・スペース

日本画家畠中光享の眼 インド・仏教美術の流伝 6.8—8.8 大谷大学博物館

ジュン・グエン=ハツシバ展「Thank you ありがとう Cámón」 7.28—9.8 ミヅマアートギャラリー
産経 8.18 (渋)
毎日夕刊 8.31 岸桂子
読売夕刊 8.23 (清)
芸術新潮 730

花田洋通展—淡い浮力— 5.18—6.20 奈義町現代美術館

浜口陽三 南桂子展—色彩銅版画の魅惑 2.2—3.30 パラミタミュージアム
東京夕刊 2.9 (寿)

浜口陽三・植田正治二人展—夢の向こうがわ— 7.3—9.26 ミュゼ浜口陽三

メゾチントの冒険2 浜口陽三展 カラーメゾチントの魅力 10.5—12.12 ミュゼ浜口陽三

こびない、さびない、濱田イズム 知られざる濱田庄司—大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション— 4.25—6.27 栃木県立美術館

濱田庄司とその系列 その一 5.1—8.8 石洞美術館

濱田庄司とその系列 その二 島岡達三・金城次郎・木村一郎・船木研児 9.4—12.19 石洞美術館

浜田泰介の世界 8.28—9.23 京都東急ホテルギャラリーkazahana
新美術新聞 1224 太田垣實

浜田知明の世界展 版画と彫刻による哀しみとユーモア 7.10—9.5 神奈川県立近代美術館(葉山)
芸術新潮 729
朝日夕刊 7.28 小川雪
東京夕刊 8.27 藤田一人
毎日夕刊 8.11 岸桂子

HAMADA TORU 濱田享 2.20—3.28 愛媛県美術館
視覚の現場 四季の綻び 5 本浄嘉章

ヘルベルト・ハマック展 6.15—7.31 ケンジタキギャラリー(東京)
読売夕刊 6.28 (市)

濱谷明夫 藍と造形 7.17—9.26 徳島県立近代美術館

複合回路 第二回 早川裕太 6.5—7.10 ギャラリーαM
芸術新潮 728
美術手帖 940 沢山遼

早川良雄—"顔"と"形状"— 1.2—2.14 東京国立近代美術館
朝日夕刊 1.27 西田健作
毎日夕刊 2.9

林鼓浪—画業と生活 7.1—8.15 徳島市立徳島城博物館

林静一展 赤色エレジーから小梅ちゃんまで 7.17—8.29 明石市立文化博物館

複合回路 第四回 羽山まり子 9.25—10.30 ギャラリーαM

速水御舟—茅ヶ崎と御舟— 9.11—10.17 茅ヶ崎市美術館
趣味の水墨画 257

原精一展 湘南と作家 2.16—4.11 平塚市美術館
新美術新聞 1208 勝山滋

あそぶぜ!かいけつゾロリのおたの

しみ大さくせん—原ゆたかとゾロリのなかまたち— 7.16—9.20 姫路文学館

キポス・イホス 庭・響 鉄の響きに耳を澄ます 原田和男 7.3—9.26 横須賀美術館

dadacha 竹下修司・針生卓治・松浦翼 7.12—7.15 銀座スルガ台画廊

エレメント 構造デザイナー セシル・バルモンドの世界 1.16—3.22 東京オペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 2.3 大西若人
日経 2.10 平野啓一郎

変成態—リアルな現代の物質性 VOL.8 半田真規 2.27—3.27 ギャラリーαM
美術手帖 936 古谷利裕

坂東正章 新作彫刻 5.31—6.19 なびす画廊

(ヒ)

骨からの戦世〔イクサユ〕—65年目の沖縄戦 比嘉豊光展 8.11—8.23 佐喜眞美術館
読売 8.19 土屋誠一

母たちの神 比嘉康雄展 11.2—1.5 沖縄県立博物館・美術館
日経 12.31

野村和弘／東島毅 みることをかんがえる 5.29—7.4 いわき市立美術館
毎日夕刊 6.8 岸桂子

東山魁夷館開館20周年記念展Ⅰ 白い馬の見える風景 7.15—9.28 長野県信濃美術館

東山魁夷館開館20周年記念展Ⅱ 信州讃歌 10.1—11.30 長野県信濃美術館

東山魁夷《晩照》《光昏》とその時代 10.30—12.5 市川市東山魁夷記念館

20世紀絵画の巨匠 ピカソ—円熟期の版画展—[パブロ・ピカソ] 4.10—5.9 明石市立文化博物館

「モノ・黒」樋口健彦の仕事2005—2010 12.4—4.10 平塚市美術館

アートサイト府中2010 いきるちから[菱山裕子] 12.2—3.6 府中市美術館

日比野克彦個展 ひとはなぜ絵を描くのか? 10.30—12.13 アーツ千代田3331
読売夕刊 11.22 (清)

マヤ・ヒュイット Stones in Paws 1.26—2.21 プティローブノアー
産経 2.17 (和)

ニコラ・ビュフ タワワップ 1.12—2.13 MEGUMI OGITA GALLERY
芸術新潮 723

ベルナール・ビュフェ展 『木を植えた男』の著者ジャン・ジオノとの出会い 2.11—4.11 目黒区美術館

平澤重信展 2.2—2.9 ギャラリー・しみず
AS 33 御子柴大三

TRESOM vol.06 醍醐イサム・平澤重信・ミズテツオ 5.27—6.9 ギャラリー絵夢

浅見貴子＋平体文枝 2.15—3.12 GALLERY TERASHITA
芸術新潮 724

平野牧子個展 11.15—11.20 銀座スルガ台画廊

平山郁夫展 3.1—4.6 平山郁夫美術館(香川県立ミュージアム)

平山郁夫 最期の風景 3.21—7.12 平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫展 シルクロード—奈良への道 4.17—5.30 奈良県立万葉文化館
新美術新聞 1212 大矢鞆音
新美術新聞 1216 大矢紀

秘蔵の名品アートコレクション16回 平山郁夫—平和への祈り— 8.4—8.29 ホテルオークラ東京 8.5 三沢典丈

鰭崎英朋—明治・大正の挿絵界を生きる—生誕130年記念 1.3—3.28 弥生美術館
毎日夕刊 2.18

存在の美学 伊達市噴火湾文化研究所同人展[廣戸絵美] 4.28—5.4 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、だて歴史の杜カルチャーセンター)
新美術新聞 1214 南条守

(フ)

ヤン・ファーブル×舟越桂 Alternative Humanities—新たなる精神のかたち 4.29—8.31 金沢21世紀美術館
新美術新聞 1217 不動美里
美術手帖 939 平芳幸浩
朝日夕刊 6.9 西岡一正
日経 5.22 小川敦生
日経夕刊 6.8 田村広済
毎日夕刊 6.7 手塚さや香

モニール・ファーマンファーマイアン 11.6—12.11 オオタファインアーツ
芸術新潮 733

ファーガス・フィーリー(Inland) 6.6—7.4 MISAKO&ROSEN
美術手帖 940 小田島等

ペーター・フィッシュリ ダヴィッド・ヴァイス 9.18—12.25 金沢21世紀美術館
美術手帖 946 野田吉郎
読売 11.11 高野清見

ディディエ・フィウザ・フォスティノ Agnosian Fields 8.26—11.23 メゾンエルメス8階フォーラム
芸術新潮 730
日経夕刊 10.4 窪田直子
読売夕刊 8.30 (前)

銅版画の名手 深沢幸雄の軌跡展 6.5—7.11 笠岡市立竹喬美術館(東大阪市民美術センター)

福岡栄展 self—portrait 8.2—8.10 ガリレアフィナルテ REAR 25 浅野泰子

福居伸宏 アステリズム 8.7—9.4 小山登美夫ギャラリー
東京夕刊 8.13 古谷利裕

福島沙由美展 上野の森美術館大賞展26回絵画大賞 2.23—3.4 上野の森美術館

福田繁雄のヴィジュアル・ジャンピング DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展Ⅲ 3.4—3.27 ギンザ・グラフィック・

ギャラリー
朝日夕刊　3.17　西田健作
毎日夕刊　3.15　岸桂子

福田美蘭展—見たことのある見たことのない世界—開館10周年記念特別企画展　10.8—12.5　鹿児島県霧島アートの森
毎日夕刊　11.17　渡辺亮一

福原義春写真展　—私と蘭138—　3.6—3.18　和光並木ホール
朝日夕刊　3.10　西田健作
毎日　3.11　岸桂子

藤井孝次朗展　11.1—11.20　始弘画廊

藤井蓮展　5.5—5.11　松屋(銀座)

藤倉英幸と旅のイメージ　「THE JR Hokkaido」の表紙絵から　1.30—3.22　北海道立文学館

藤崎孝敏展　9.22—10.2　しらみず美術
ギャラリー*　307　小川英晴

藤沢彦二郎展—安らぐ街—　2.12—2.20　ギャラリー・しらみず美術

藤城清治展　光と影　8.28—10.22　教文館9Fウェンライトホール

レスポワール展44回　2010年新人選抜　藤城正晴個展　2.1—2.6　銀座スルガ台画廊

藤田修—深遠なるモノローグ　12.18—4.3　横須賀美術館

藤田嗣治展—東京、ニューヨーク、パリ　所蔵作品を中心に　2.11—4.11　目黒区美術館

レオナール・フジタ　私のアトリエ　4.9—7.11　平野政吉美術館
芸術新潮　727
日経　6.19

藤野一友展　9.7—10.31　福岡市美術館

藤本壮介展　山のような建築　雲のような建築　森のような建築　建築と東京の未来を考える2010　8.14—1.16　ワタリウム美術館
日経夕刊　10.4　窪田直子
読売　9.23　高野清見

藤森兼明展—清麗なる調べ—　4.21—4.27　三越(日本橋)
新美術新聞　1214　武田厚

藤森照信展　諏訪の記憶とフジモリ建築　7.24—8.29　茅野市美術館
読売　8.6　高野清見

藤原裕策　The shadow of dancing　5.28—6.25　第一生命南ギャラリー
芸術新潮　728

濱田庄司とその系列　その二　島岡達三・金城次郎・木村一郎・船木研兒　9.4—12.19　石洞美術館

船木大輔"アートによるアポトーシス"展　2.5—2.16　マキイマサルファインアーツ

荒木経惟・舟越桂「至上ノ愛像」　1.9—4.4　高橋コレクション日比谷
美術手帖　936　秋元康、勝間和代　談／山内宏泰　構成

舟越桂新作展　3.2—4.10　西村画廊
毎日夕刊　3.9　岸桂子
読売夕刊　3.29　(前)

ヤン・ファーブル×舟越桂　Alternative Humanities—新たなる精神のかたち　4.29—8.31　金沢21世紀美術館
新美術新聞　1217　不動美里
美術手帖　939　平芳幸浩
朝日夕刊　6.9　西岡一正
日経　5.22　小川敦生
日経夕刊　6.8　田村広済
毎日夕刊　6.7　手塚さや香

舟越桂　2010　12.11—2.13　熊本市現代美術館
美術の窓　329　編集部

舟越直木展　3.29—4.23　GALLERY TERASHITA
朝日夕刊　4.7　田中三蔵

板橋区伝統工芸展12回　回顧展—仏師舟谷喜雲、小紋染め師小林茂徳、彫金師田中照行の世界—　12.18—1.30　板橋区立郷土資料館

麗しき女性たち　マルティーヌ・フランク写真展　8.26—9.14　シャネル・ネクサス・ホール

フランク・ブランギィン　伝説の英国人画家—松方コレクション誕生の物語　国立西洋美術館開館50周年記念事業　2.23—5.30　国立西洋美術館
芸術新潮　724
朝日夕刊　3.24　小川雪
東京夕刊　3.26　宮下規久朗
毎日夕刊　4.13　岸桂子
読売　1.1
読売　2.18　大屋美那
読売　3.18　新関公子
読売　3.24　祖父江慎
読売夕刊　4.3

ブリューゲル版画の世界　ベルギー王立図書館所蔵　7.17—8.29　Bunkamura ザ・ミュージアム(新潟市美術館、美術館「えき」KYOTO)
産経　8.11
日経　8.4　宝玉正彦
毎日夕刊　7.27　岸桂子
読売　1.1

ゴーゴー・ミッフィー展　ミッフィー誕生55周年記念[ディック・ブルーナ]　10.16—12.5　福岡県立美術館

古家新とゆかりの画家たち　9.18—11.23　神戸市立小磯記念美術館

古屋誠一　メモワール.　5.15—7.19　東京都写真美術館(熊本市現代美術館)
朝日夕刊　6.23　西田健作
産経　6.2　篠原知存
日経　7.5
日経　7.8　平野啓一郎
毎日夕刊　6.15　岸桂子
読売夕刊　6.21　(前)

古屋誠一展　Aus den Fugen　5.21—8.31　ヴァンジ彫刻庭園美術館
朝日夕刊　6.23　西田健作

ARTZONE LOVES FRESH　3.29—4.23　art project room ARTZONE
瓜生通信　50　伊藤良平

吉左衛門X LOUBIGNACの空の下で　樂吉左衛門フランスでの作陶—友人アンドッシュ・プローデルと共に　9.4—3.21　佐川美術館
陶説　695　外舘和子
美術屋・百兵衛　15
朝日夕刊　10.13　外舘和子

(ホ)

世界で一番美しい庭　アンドレ・ボーシャン展　5.29—7.4　福島県立美術館

保志門繁・幸子二人展—五十年の歩み—　6.12—6.20　浦添市美術館

星野眞吾　高畑郁子　4.5—4.20　羽黒洞

細川護熙展　市井の山居　4.22—7.19　メゾンエルメス8階フォーラム
朝日夕刊　5.26
産経　5.12　(知)

細川護熙展　不東庵創作の軌跡　6.2—6.14　三越(日本橋)

ピーターラビットの生みの親　ビアトリクス・ポター　3.5—4.12　島根県立美術館(北海道立旭川美術館、新潟県立万代島美術館、郡山市立美術館、下関市立美術館)

堀研展　〈気〉を描く　9.10—9.20　日動画廊(日動画廊(福岡))
ギャラリー*　307　小川英晴

堀文子展　10.9—11.23　平塚市美術館
新美術新聞　1229　勝山滋

堀内貞明　人間のいる風景　武蔵野美術大学教授退任記念　5.10—5.30　武蔵野美術大学美術資料図書館

堀尾実展　生誕100年記念　1.9—3.28　名古屋市美術館

堀尾実—「匹亜」への日本画—生誕100年　1.26—2.5　名古屋画廊

ダニエル・ポントロー展　6.5—6.20　ギャルリももぐさ
陶説　690　井上隆生

本堀雄二展—紙の断層　透過する仏—　6.1—6.28　INAXギャラリー2
芸術新潮　728
朝日夕刊　6.23　西田健作

レスポワール展44回　2010年新人選抜　本間法子個展　3.8—3.13　銀座スルガ台画廊

(マ)

前田昭博　白瓷の造形　1.9—2.7　アートコートギャラリー
陶説　684　外舘和子

前原冬樹　いろはにほへどちりぬるを　1.8—1.30　YOKOI FINE ART

画廊からの発言新世代への視点2010　馬替夏美　7.27—8.8　gallery　21　yo—j

牧進展　春夏秋冬"自然彩花"—高島屋美術部創設百年記念—　1.20—1.26　高島屋(日本橋)
新美術新聞　1205　瀧悌三

槇文彦展　光、素材、情景　1.21—2.28　ヒルサイドフォーラム
毎日夕刊　2.17　永田晶子

正木康子個展　「たまゆら(くりかえされるもの)」　2.15—2.27　art space kimura ASK?
芸術新潮　724

眞島竜男「北京日記」　11.26—12.25　TARO NASU
美術手帖　948　沢山遼

真島直子展　1.11—1.30　ガレリアフィナルテ
REAR　24　原田光

間島秀徳「水中考」　5.17—6.30　アートギャラリー閑々居
芸術新潮　727

増田敏也展—image—in Kyoto　7.6—7.11　ギャラリーはねうさぎ
陶説　691　山中英之

増田誠—呑舟として描いた墨彩—　10.16—12.13　遊行寺宝物館

桝本佳子展—パノラマ　陶の風景—　1.8—2.2　INAXガレリアセラミカ
陶説　685　唐澤昌宏

桝本佳子展—パノラマ　陶の風景—やきもの新感覚シリーズ83回　6.12—7.4　世界のタイル博物館
REAR　25　堀尾美紀

龍門藍・桝本佳子展「Mélange」　8.6—8.28　イムラアートギャラリー
陶説　691　梅田稔

増山士郎展　Intervention　6.12—7.19　市原市水と彫刻の丘

町田久美　Stories from a Cold Country　12.14—2.5　西村画廊
芸術新潮　734

松井えり菜展　ワンタッチ・タイムマシーーン！　4.3—5.1　山本現代
産経　4.21　(和)

松井如流—書・学一如の生涯—毎日書道展62回特別展示　7.7—8.1　国立新美術館

松井守男　回顧展　7.17—8.22　豊橋市美術博物館

dadacha　竹下修司・針生卓治・松浦翼　7.12—7.15　銀座スルガ台画廊

松浦春菜展　あらゆる透明な幽霊の複合体　6.18—6.29　マキイマサルファインアーツ

松浦寿夫—新作展—　6.21—7.10　なびす画廊

松浦浩之個展「Super Acrylic Skin—Sweet Addiction」　9.1—9.25　東京画廊+BTAP
ギャラリー*　306

松江泰治　「survey of time」　10.23—11.20　TARO NASU
芸術新潮　732

松尾敏男回顧展　画業60年　2.3—2.15　三越(日本橋)
新美術新聞　1206　加藤貞雄

松尾敏男回顧展　画業60年　10.6—11.14　長崎県美術館
新美術新聞　1228　米田耕司

松尾藤代展　窓—瞑想の光と影　9.25—10.9　名古屋画廊

「しあわせの13粒」原画展[まつおかさわこ]　5.4—5.29　和カフェ&ギャラリーみづき
毎日　5.14　江刺正嘉

松下誠子展　INNER—彼女は自分のことで忙しい—　9.4—9.26　SOH GALLERY K3

発見2　味岡伸太郎×島州一×松下誠子　双ギャラリー25周年記念　11.20—12.19　SOH GALLERY K3

春分点・ヒルコ　松下和歌子展　2.5—2.21　深川Labo

松田一聡展　7.5—7.10　銀座スルガ台画廊

松谷武判展—流動—　2.6—3.28

神奈川県立近代美術館(鎌倉)
朝日夕刊　3.3　大西若人
毎日夕刊　2.17　三田晴夫
読売夕刊　3.1　(清)

松永真の Coki Coki[こきこき]フリークス展　12.16—12.25　和光並木ホール
朝日夕刊　12.15

松村浩之展　11.1—11.6　銀座スルガ台画廊

松村有輝／瀕死の彫刻　6.26—7.30　Take Ninagawa
美術手帖　943　籔前知子

松本ヒデオ展　ディテールの連鎖　9.21—10.17　ギャラリーなかむら
陶説　692　梅田稔

松本雄治彫刻展　天地をひらく—豊饒の女神の世界—　5.15—6.13　明石市立文化博物館

松本陽子　Drawings—Regarding Living Beings　5.10—5.29　Hino gallery

松山隼展—今日のお祈り—　1.6—1.29　INAX ギャラリー2

マティス＋ルオー版画展[アンリ・マティス]　7.3—9.5　メナード美術館

まど・みちお　え　てん—ある詩人の100年の軌跡、童謡・抽象画・詩—　8.21—10.3　川崎市市民ミュージアム
毎日　9.19　木村葉子

マネとモダン・パリ　三菱一号館美術館開館記念　4.6—7.25　三菱一号館美術館
東京夕刊　5.7　中村英樹
毎日夕刊　5.11　高階秀爾
読売　1.1　鹿島茂
読売　3.26
読売夕刊　4.9　市原尚士
読売夕刊　4.10　市原尚士
読売夕刊　4.14　市原尚士
読売夕刊　4.15　市原尚士
読売夕刊　4.16　市原尚士

円山応挙—空間の創造　三井記念美術館開館五周年記念　10.9—11.28　三井記念美術館
日経　10.27　宝玉正彦
読売　10.14　前田恭二

丸山直文　透明な足　11.27—12.25　SHUGOARTS
毎日夕刊　12.14　岸桂子
読売夕刊　12.20　(清)

マン・レイ　知られざる創作の秘密　7.14—9.13　国立新美術館(国立国際美術館)
芸術新潮　729
朝日夕刊　7.21　西田健作
産経　8.4　篠原知存
日経　7.18
日経　8.19　平野啓一郎
日経夕刊　8.30　宝玉正彦
毎日夕刊　8.31　岸桂子
読売　9.2　高野清見

(ミ)

三尾公三展　現代へのまなざし　没後10年　11.2—1.30　岐阜県美術館
朝日夕刊　12.22　西岡一正

三上亜希子展　イラストでみる岩泉町釜津田のくらし　10.30—11.28　石神の丘美術館

みかんぐみ佐久島弘法プロジェクト　2.27—3.31　愛知県一色佐久島島内4ヶ所
REAR　24　武藤隆

レスポワール展44回　2010年新人選抜　三木はるな個展　3.15—3.20　銀座スルガ台画廊

日本近代洋画と三岸好太郎 Part 2　9.11—10.24　北海道立三岸好太郎美術館

三岸節子展：心の旅路—満開の桜のもとに　没後10年記念　3.31—4.19　高島屋(大阪)、(高島屋(日本橋)、岡山県立美術館、松坂屋美術館)

三岸節子展　色彩のエスプリ　10.9—11.23　一宮市三岸節子記念美術館

三沢厚彦　アニマルズ　in TOCHIGI　1.24—3.22　栃木県立美術館

TRESOM vol. 06　醍醐イサム・平澤重信・ミズテツオ　5.27—6.9　ギャラリー絵夢

名誉市民　水木しげる展　調布のまちの水木サン　2.6—3.22　調布市文化会館たづくり
産経　3.17

水木しげるとゲゲゲの鬼太郎—妖怪道五十三次—　7.10—9.5　愛媛県歴史文化博物館

水木しげる・妖怪図鑑　7.31—10.3　兵庫県立美術館

ゲゲゲ展　水木しげる米寿記念　8.11—8.23　松屋(銀座)
美術手帖　944　椹木野衣
産経　8.16　三品貴志

水木しげるの世界　ゲゲゲの展覧会　11.26—1.23　八王子市夢美術館

水越武写真展　大地への想い　7.17—8.22　安曇野市豊科近代美術館

水森亜土展—どうしてずっとアドちゃんが好きなの？—　10.1—12.26　弥生美術館

三友周太　1.22—2.2　マキイマサルファインアーツ

花洛の鴻儒　皆川淇園の文人画　10.30—11.13　有斐斎弘道館
視覚の現場　四季の綻び　7　横谷賢一郎

港千尋展　「レヴィ＝ストロースの庭」　5.24—6.19　中京大学アートギャラリーC・スクエア
REAR　25　管啓次郎

南桂子展　まなざしの彼方　1.10—3.28　ミュゼ浜口陽三
東京夕刊　2.9　(寿)

浜口陽三　南桂子展—色彩銅版画の魅惑　2.2—3.30　パラミタミュージアム
東京夕刊　2.9　(寿)

峰岡正裕展　悪行成敗　12.10—12.23　マキイマサルファインアーツ

峯田敏郎展　9.2—9.18　ギャラリー華

三原研展　それから　11.30—12.10　阿曾美術
陶説　695　花里麻理

「刀の芸術」—人間国宝　宮入行平の名刀を中心に—　3.27—6.27　井原市立田中美術館

挿絵画家　宮川春汀展　8.28—10.17　田原市博物館

宮城明展　表皮一体　12.17—12.26
沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

三宅一樹“氣”　4.13—5.1　YOKOI FINE ART
朝日夕刊　4.21　田中三蔵
産経　4.28

三宅一生　「REALITY LAB—再生・再創造」展　11.16—12.26　21_21　DESIGN SIGHT
産経　12.14　黒沢綾子

宮崎健太郎展　10.4—10.9　なびす画廊

2010コレクション展2　くすだま、ころりん　宮崎準之助の庭から
6.26—8.31　福岡県立美術館

宮崎眞弓展—海響〔うみひびき〕III—
10.18—10.23　銀座スルガ台画廊

宮島達男展　「Warp Time with Warp Self」　11.12—12.22　SCAI THE BATHHOUSE
産経　12.7　渋沢和彦

宮田亮平金工展　7.14—7.20　三越(日本橋)
朝日夕刊　7.14　西田健作

ドキュメント—素描する宮本三郎—1950's写真家・中村立行による
4.1—7.25　宮本三郎記念美術館(世田谷美術館奥沢分館)

宮本三郎と連載小説　12.4—3.21
宮本三郎記念美術館(世田谷美術館奥沢分館)

宮本隆司　「1975—2010 Film&Digital」　9.10—10.9　TARO NASU
朝日夕刊　9.29　西田健作

アルフォンス・ミュシャ展　生誕150年記念　5.22—7.4　三鷹市美術ギャラリー(岩手県立美術館、北九州市立美術館、高崎市美術館・高崎市タワー美術館、堺市博物館、いわき市立美術館、金沢21世紀美術館)
産経　6.16

民芸のこころ・新たなる創造へ　型絵染　三代澤本寿　生誕101年展
4.17—6.6　松本市美術館(豊田市民芸館)

『砂丘物語』原画展—画家三芳悌吉が描いた1910年代の新潟市—　三芳悌吉生誕百周年記念　4.24—6.13　新潟市歴史博物館

ミロ展　版画の全貌[ジョアン・ミロ]　8.28—10.24　北海道立帯広美術館

龍人伝説への道　三輪休雪展　9.11—10.24　山口県立萩美術館・浦上記念館
陶説　694　外舘和子

三輪美津子　1985—2009　3.3—5.9　1223現代絵画
REAR　24　金井直

(ム)

ヘンリー・ムア—生命のかたち
7.31—10.17　ブリヂストン美術館
新美術新聞　1223　中村節子
毎日夕刊　10.12　岸桂子
読売　8.26

向井潤吉と民家　4.27—7.25　向井潤吉アトリエ館(世田谷美術館弦巻分館)

向井潤吉展—わかちがたい風景とともに—　4.28—5.10　高島屋(横浜)

ブルーノ・ムナーリ展　アートの楽しい見つけ方　6.26—8.29　横須賀美術館

棟方志功展　カガヤクシゴト—南砺市立福光美術館所蔵作品より—
4.3—5.23　武蔵野市立吉祥寺美術館

ことばの作家　棟方志功展　8.7—9.26　南砺市立福光美術館
日経　8.25　竹田博志

木版画の巨匠　棟方志功　未発表肉筆画展　新収蔵記念　9.2—10.31
パラミタミュージアム
朝日夕刊　10.7　西岡一正

ヴィック・ムニーズ：Pictures of Paper　10.22—11.20　ncal nichido contemporary art
芸術新潮　733
毎日夕刊　11.16　岸桂子

ムラカズユキ展—ろう画の世界(1989—2010)—　7.6—7.16　ギャラリー・しらみず美術

ムラカズユキ展　12.10—12.22　ギャラリー睦

村尾成津展　6.21—7.3　ギャラリーQ
産経　6.30　(和)

静けさのなかから：村上友晴　6.1—7.4　名古屋市美術館
REAR　25　萬木康博

村上友晴　マリア礼拝堂　12.13—1.21　横田茂ギャラリー

村上豊　『小説現代』表紙原画展
10.30—11.28　講談社ショールーム

村上豊展　開館十周年記念　10.30—12.19　講談社野間記念館

「ながめる　まなざす」　DIVISION—2[村越としや]　6.4—6.22
アップフィールドギャラリー
東京夕刊　6.4　古谷利裕

村瀬恭子　Fluttering far away／遠くの羽音　4.10—6.13　豊田市美術館
視覚の現場　四季の綻び　5　金井直
美術手帖　939　清水穣
REAR　24　林洋子

shiseido art egg 4回　村山悟郎展
3.5—3.28　資生堂ギャラリー
芸術新潮　725
産経　3.24

村山知義関係資料—内田昇三コレクション　1.5—4.9　世田谷美術館

(モ)

毛利武彦の軌跡　6.4—7.19　練馬区立美術館
東京　6.22　沢田千秋

simon morley “SIX HALLS”　11.13—12.11　タグチファインアート

茂木綾子展　「Beyond Beyond」
3.7—4.4　MISAKO&ROSEN
産経　3.31　(和)

茂田井武　『ton paris』展　4.27—8.29　大川美術館

本池秀夫　革の世界　7.16—8.30
島根県立石見美術館

もーやんえっちゃんえほんだいすき　元永定正・中辻悦子絵本原画展
9.4—10.3　明石市立文化博物館

建築家　本野精吾展—モダンデザイ

ンの先駆者— 1.18—3.11 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
モネ・ルノワールと印象派・新印象派展[クロード・モネ] 4.25—9.26 松岡美術館
モネとジヴェルニーの画家たち アメリカ印象派の始まり 12.7—2.17 Bunkamuraザ・ミュージアム(北九州市立美術館、岡山県立美術館)
美術屋・百兵衛 16
毎日夕刊 12.21 岸桂子
百瀬寿展 9.11—11.23 岩手県立美術館
森靖展 「好きにならずにいられない」 7.3—7.31 山本現代
産経 7.28 (和)
読売夕刊 7.26 (市)
森庄平展—白磁の船 海の旅人— 5.7—6.1 INAXガレリアセラミカ
芸術新潮 727
有節万古の技術[森有節] 10.30—11.28 朝日町歴史博物館
森洋子展—子どもたちのみる夢— 7.6—7.24 城西国際大学水田美術館
森迫暁夫 中庭住宅(分譲中) 7.31—11.7 札幌芸術の森美術館
ウィリアム・モリス—ステンドグラス・テキスタイル・壁紙デザイン— 9.11—10.31 うらわ美術館
森末由美子—ある日静かに— 3.1—3.29 INAXギャラリー2
中島晴美・森野泰明展—2009年度日本陶磁協会賞・金賞受賞記念— 7.22—7.30 和光並木ホール
陶説 691 唐澤昌宏
森村泰昌 なにものかへのレクイエム 戦場の頂上の芸術 3.11—5.9 東京都写真美術館(豊田市美術館、広島市現代美術館、兵庫県立美術館)
AXIS 145 暮沢剛巳
視覚の現場 四季の綻び 5 吉村良夫
視覚の現場 四季の綻び 6 橋爪節也
美術屋・百兵衛 13
REAR 25 牧野裕二
朝日夕刊 4.16 大西若人
産経 4.21 渋沢和彦
東京夕刊 3.23 石田哲朗
日経 4.7 小川敦生
毎日夕刊 4.7 高階秀爾
森村泰昌 なにものかへのレクイエム 全女優 6.26—9.5 豊田市美術館
森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史 7.17—9.5 高松市美術館(岩手県立美術館、静岡市美術館、北九州市美術館分館、高岡市美術館)
コレクション展3 描かれた人々—男と女 「その他」のチカラ。—森村泰昌の小宇宙— 11.20—3.13 兵庫県立美術館
夢みる家具 森谷延雄の世界 9.3—11.20 INAXギャラリー1
森山大道「津軽」 11.27—12.18 タカ・イシイギャラリー
芸術新潮 734
諸星浩子個展 11.22—11.27 銀座スルガ台画廊

(ヤ)

話の話—ロシア・アニメーションの巨匠ノルシュテイン&ヤールブソワ[フランチェスカ・ヤールブソワ] 4.10—6.27 神奈川県立近代美術館(葉山)(高知県立美術館、三菱地所アルティアム、足利市立美術館)
東京夕刊 5.28 山村浩二 談/三沢典丈
八木明・八木正 垂跡⇄痕跡 11.25—12.11 中長小西
八木良太展 事象そのものへ 4.16—5.29 SNAC
産経 5.19 (和)
矢崎千代二の人物と風景 所蔵品展特集展示 4.10—6.27 横須賀美術館
発泡スチロール立体アート展[矢島公夫] 9.11—9.19 けやきひろば
東京夕刊 8.16 中里宏
安井寿磨子展 3.8—3.20 ギャルリー東京ユマニテ
—calm— 保井智貴、STORE、小野雄紀、ザ・ドキュンカンパニー 6.24—7.10 MEGUMI OGITA GALLERY
毎日夕刊 7.5 岸桂子
保田春彦展 9.13—10.9 南天子画廊
朝日夕刊 10.6 西田健作
毎日夕刊 9.28 岸桂子
読売夕刊 10.4 (市)
保田春彦展 《白い風景》シリーズとクロッキー 9.18—12.26 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)
朝日夕刊 10.6 西田健作
毎日夕刊 9.28 岸桂子
保田春彦展 9.18—12.26 信濃デッサン館槐多庵
毎日夕刊 9.28 岸桂子
安田靫彦展 花を愛でる心 3.13—4.18 ニューオータニ美術館
安田靫彦展 歴史画誕生の軌跡 3.13—4.18 川崎市市民ミュージアム
趣味の水墨画 252
原三渓の絵画「瀟湘八景」/三渓ゆかりの作家「安田靫彦」 8.26—9.29 三渓記念館
イチハラヒロコ展 プレイルーム。[箭内新一] 7.4—9.8 高知県立美術館
柳沢正人展—地の鼓動— 7.16—10.13 成川美術館
新美術新聞 1222 草薙奈津子
柳原睦夫展 11.13—11.28 ギャラリー器館
陶説 695 山中英之
平成22年春の有隣荘特別公開 ヤノベケンジ 幻燈夜会〔ファンタスマゴリア〕 4.28—5.9 大原美術館
美術の窓 322 柳沢秀行
ヤノベケンジ×ウルトラファクトリー「MYTHOS」展 6.19—9.23 入善町下山芸術の森発電所美術館
美術手帖 943 椹木野衣
ヤノベケンジ'レヴィテイション' 11.6—12.4 山本現代
毎日夕刊 11.16 岸桂子

彫刻家　籔内佐斗司展—動き出す彫刻たち—　7.24—9.26　新潟県立万代島美術館
朝日夕刊　9.8　西田健作

「ながめる　まなざす」　DIVISION—2[山方伸]　6.4—6.22　アップフィールドギャラリー
東京夕刊　6.4　古谷利裕

山口藍展　「きゆ」　2.10—3.13　ミヅマアートギャラリー
産経　2.24　(和)

会田誠×天明屋尚×山口晃　4.24—8.8　高橋コレクション日比谷

山口晃展　「いのち丸」　10.27—11.27　ミヅマアートギャラリー
産経　11.9　渋沢和彦
毎日夕刊　11.22　岸桂子

山口晃展　東京旅ノ介　12.28—1.10　三越(銀座)
産経　12.21　猪谷千香
読売　12.30

九室の風を浴び　山口長男・斎藤義重・吉原治良と、髙橋節郎展　7.17—8.29　安曇野高橋節郎記念美術館
新美術新聞　1222　佐野順子

山口蓬春とやまと絵—新興大和絵会時代を中心に—　1.7—3.23　山口蓬春記念館

円融の書　山崎大抱展　独立書展58回企画　1.6—1.18　国立新美術館

放浪の天才画家　山下清展—歩き描いた49年—　12.3—1.23　北海道立釧路芸術館

山城知佳子　"コロスの唄"　12.9—2.19　ビューイングルーム　シンジュク[Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku]

山田真萬展　島が放つ色とカタチ。　9.18—10.3　浦添市美術館

山田展也個展　10.11—10.16　銀座スルガ台画廊

山中現展　夢の領域　2.13—3.22　福島県立美術館

「表層空間」　山本健史×黒田薫　9.20—9.25　ギャルリー志門

山本貞展—名もなき風景—　6.16—6.22　三越(日本橋)
新美術新聞　1218　宝木範義

山本容子の劇場　鏡の国　9.22—9.27　三越(銀座)

コレクション展「山脇佐久子」　10.20—1.10　秋田県立近代美術館
ギャラリー*　311　ワシオ・トシヒコ

山脇佐久子展　果てしなき闇　11.3—1.10　秋田県立近代美術館
産経　11.23

「テオ・ヤンセン展—生命の創造—」物理と芸術が生み出した新しい可能性　12.9—2.14　日本科学未来館
美術手帖　949　秋元康、石橋貴明　談／山内宏泰　構成

(ユ)

モーリス・ユトリロ展　パリを愛した孤独の画家　10.22—12.5　豊橋市美術博物館

—inside—玉野綾子・弓良麻由子二人展　11.26—12.7　マキイマサルファインアーツ

菊地武彦・湯村光　亀裂の奥に…　10.22—10.30　土火現代美術[DOKA Contemporary Arts]

尹貞淑　企画展　4.5—4.17　ギャラリーQ
芸術新潮　726
朝日夕刊　4.14　西田健作

(ヨ)

與語直子「グラナダ」　2.27—3.27　プロジェクトスペースKAN-DADA
REAR　24　山本さつき

横尾忠則　全ポスター　7.13—9.12　国立国際美術館
視覚の現場　四季の綻び　7　安来正博
美術手帖　945　倉林靖
日経　7.22
日経　9.9　平野啓一郎

横尾美美　painting　10.18—11.13　南天子画廊

作家王国　横田尚×渡辺香奈　ウォーターガール　1.17—2.21　高崎市美術館

三人展—それぞれの人物像—赤井正人・中畔千嘉・横山哲則　9.13—9.18　銀座スルガ台画廊

大観と栖鳳—東西の日本画—　開館記念特別展Ⅲ[横山大観]　2.6—3.28　山種美術館
趣味の水墨画　251
日経　2.17　宝玉正彦

横山大観と日本画の巨匠たち　開館40周年記念　3.1—5.31　足立美術館

横山大観展　開館十周年記念　3.13—5.23　講談社野間記念館

「横山光輝ギャラリー」展　4.1—4.29　Echika池袋ギャラリー
産経　4.8

横山裕一　ネオ漫画の全記録:「わたしは時間を描いている」　4.24—6.20　川崎市市民ミュージアム
美術手帖　939　都築潤
産経　5.12　渋沢和彦

ネイチャー・センス展　吉岡徳仁、篠田太郎、栗林隆　7.24—11.7　森美術館
美術手帖　944　野田吉郎
産経　9.29　渋沢和彦
日経　11.2
毎日夕刊　8.23　永田晶子

吉田克朗　Seeing and being seen　7.5—7.30　横田茂ギャラリー

吉田晴弥　Atomic Orchesta　2.14—3.21　ギャラリーM
REAR　24　原沢暁子

吉田幸央　作陶展　3.24—3.30　三越(日本橋)
陶説　686　唐澤昌宏

九室の風を浴び　山口長男・斎藤義重・吉原治良と、髙橋節郎展　7.17—8.29　安曇野高橋節郎記念美術館
新美術新聞　1222　佐野順子

10DAYS SELECTION　吉村熊象展／赤坂有芽展　8.2—8.28　INAXギャラリー2

吉村善実立体展　9.13—9.25　exhibit live & moris gallery

センスヨシ　サンニン　デタラメト build[吉本伊織]　9.17—9.28

マキイマサルファインアーツ

米田和　陶芸展　2.3—2.16　高島屋(日本橋)
陶説　685　外舘和子

米田拓朗写真展　「Lost & Found」　4.6—5.6　photographers' gallery
芸術新潮　726

父が残したメッセージ　米山秀雄×米山公啓親子展　4.14—4.18　鈴木美術画廊
毎日　4.17　明珍美紀

艾沢詳子展—ワックスワーク・版画・ドローイング—　9.11—9.14　ATELIER　るぷぷん

武田浪×艾沢詳子　9.17—9.26　ART SPACE 感

四方田草炎　1.20—2.21　群馬県立館林美術館

萬鉄五郎初期素描—初学入門の人達に—　4.24—11.7　萬鉄五郎記念美術館

(ラ)

吉左衛門X LOUBIGNACの空の下で　樂吉左衛門フランスでの作陶—友人アンドッシュ・プローデルと共に　9.4—3.21　佐川美術館
陶説　695　外舘和子
美術屋・百兵衛　15
朝日夕刊　10.13　外舘和子

明治の彫塑　ラグーザと荻原碌山［ヴィンチェンツォ・ラグーザ］　10.23—12.5　東京芸術大学大学美術館
芸術新潮　732
朝日夕刊　11.24　西田健作
東京夕刊　11.19　宮下規久朗
日経夕刊　11.30　小川敦生
毎日夕刊　11.16　岸桂子

リサ・ラピンスキー「しっしっしっしっし白雪姫」　11.6—12.11　タカ・イシイギャラリー京都
美術手帖　947　清水穣

(リ)

李元淑　版画展　9.13—9.18　シロタ画廊

写真家ベンジャミン・リーの見た彫刻家佐藤忠良　7.4—12.23　宮城県美術館

ルーシー・リー　ウィーン・ロンドン・都市に生きた陶芸家　4.28—6.21　国立新美術館(益子陶芸美術館、MOA美術館、大阪市立東洋陶磁美術館、パラミタミュージアム、山口県立萩美術館・浦上記念館)
新美術新聞　1216　唐澤昌宏
美術手帖　939　渡部千春
朝日夕刊　5.12　西田健作
産経　5.5　(和)
日経　6.5
毎日夕刊　6.2　岸桂子

ゲルハルト・リヒター　New Overpainted Photographs　2.5—3.13　ワコウ・ワークス・オブ・アート
美術手帖　936　大森俊克

龍門藍・桝本佳子展「Mélange」　8.6—8.28　イムラアートギャラリー
陶説　691　梅田稔

(ル)

ジョン・ルーリー展　1.30—5.16　ワタリウム美術館
芸術新潮　724

ルオー財団秘蔵　ユビュ　知られざるルオーの素顔［ジョルジュ・ルオー］　4.10—6.13　パナソニック電工汐留ミュージアム
東京夕刊　5.21　藤原工

マティス＋ルオー版画展　7.3—9.5　メナード美術館

ル・コルビュジェ展　「輝く都市」から「健康都市」を展望する　5.29—7.11　愛媛県美術館

アンリ・ルソー　パリの空の下でルソーとその仲間たち　9.11—3.13　ポーラ美術館

黙示録—デューラー／ルドン［オディロン・ルドン］　10.23—12.5　東京芸術大学大学美術館
朝日夕刊　12.1　西田健作

ルノワール—伝統と革新　1.20—4.5　国立新美術館
美術屋・百兵衛　12
毎日夕刊　1.26　高階秀爾
読売　1.1　鹿島茂
読売　1.28
読売　2.25　結城昌子
読売夕刊　1.26　市原尚士
読売夕刊　1.27　市原尚士
読売夕刊　1.29　市原尚士
読売夕刊　1.30　市原尚士
読売夕刊　3.1　市原尚士
読売夕刊　3.6

モネ・ルノワールと印象派・新印象派展　4.25—9.26　松岡美術館

(レ)

レオナルド・ダ・ヴィンチの医学と芸術展　6.19—7.25　とちぎ蔵の街美術館

美しき挑発　レンピッカ展—本能に生きた伝説の画家　3.6—5.9　Bunkamuraザ・ミュージアム(兵庫県立美術館)
日経　4.16

(ロ)

ファンタスマ　ケイト・ロードの標本室　11.6—12.5　東京大学総合研究博物館小石川分館
芸術新潮　733

マリー・ローランサンの扇　1.26—3.28　川村記念美術館

ノーマン・ロックウェル　オールディーズ・その愛しき素描たち　5.19—7.11　府中市美術館
産経　6.2

ノーマン・ロックウェル展　古き良き、アメリカの心　9.18—11.7　郡山市立美術館

ロトチェンコ＋ステパーノワ—ロシア構成主義のまなざし—　4.24—6.20　東京都庭園美術館(滋賀県立近代美術館、宇都宮美術館)
芸術新潮　727

アレクサンドル・ロトチェンコの写真　11.2—12.26　福岡市美術館

ダニエル・ロバート展　蜻蛉の目—COLORFLY　3.13—4.4　SOH GALLERY K3

榮榮＆映里展　9.25—10.22　MEM
芸術新潮　732
美術手帖　946　編集部
朝日夕刊　10.13　小川雪

毎日夕刊　10.5　岸桂子

(ワ)

アンドリュー・ワイエス展　オルソン・ハウスの物語　丸沼芸術の森所蔵　9.25—12.12　埼玉県立近代美術館(宮城県美術館)

若江漢字展—都市の消息—　5.1—5.27　INAXギャラリー1

若木くるみ　第12回岡本太郎現代芸術賞受賞作家展示　2.3—2.8　岡本太郎記念館
美術手帖　935　椹木野衣

若林奮　Dog Field DRAWING 1980—1992　6.30—7.25　多摩美術大学美術館

PLATFORM 2010　若林砂絵子—平面の空間　4.21—5.30　練馬区立美術館

若松光一郎展—律動する色彩—　11.3—12.15　いわき市立美術館

脇田啓子〈女〉展　4.13—5.9　大阪府立弥生文化博物館

若生のり子展　3.1—3.6　コバヤシ画廊
毎日　3.2　田村彰子

和田的　作陶展—宇宙〔そら〕　6.29—7.5　三越(千葉)
陶説　690　唐澤昌宏

和田誠の仕事　9.11—11.7　たばこと塩の博物館
朝日　10.18　山口宏子

あぜみちの詩　渡辺うめ農民人形展　4.16—5.30　姫路市書写の里・美術工芸館

渡辺華山と師の山水画　1.5—2.14　田原市博物館

渡辺華山と遠州の弟子たち　2.19—3.22　田原市博物館

渡辺華山展　田原市博物館の名品による　6.4—7.11　愛知県美術館
AAC　65　M. Ma

渡辺華山を知る　7.10—8.22　田原市博物館

渡辺華山と小華　8.28—10.17　田原市博物館

作家王国　横田尚×渡辺香奈　ウォーターガール　1.17—2.21　高崎市美術館

現代美術の発見VI　渡辺豪〔白い話黒い話〕　あいちトリエンナーレ2010プレイベント　1.6—3.22　愛知県美術館

渡辺華山と小華〔渡辺小華〕　8.28—10.17　田原市博物館

渡辺聖介個展「exist」　7.2—7.13　マキイマサルファインアーツ

渡辺豊重　鬼と遊ぶ　6.12—8.29　神奈川県立近代美術館(鎌倉)
新美術新聞　1218　岩崎清
産経　6.23　渋沢和彦
読売夕刊　8.9　(清)

わたなべゆう展　11.12—11.28　アサヒ・ギャラリー

青と白の陶展〔渡邉陽子〕　12.9—12.14　山口井筒屋
陶説　695　徳留大輔

王京希個展　植物園II　4.16—4.27　マキイマサルファインアーツ

王舒野個展『時空裸視　実験　2010』〔ワン・シュウイエ〕　11.4—11.27　東京画廊+BTAP
芸術新潮　733

団体展

(ア行)

アート未来展15回　6.23—7.5　国立新美術館
新美術新聞　1223　(克)
美術の窓　324　高山淳

亜細亜現代美術展46回〔亜細亜美術友好会〕　5.30—6.5　シアター1010(郡山市民文化センター)
新美術新聞　1222　(克)
美術の窓　323　高山淳

一期展45回　9.29—10.11　国立新美術館
新美術新聞　1231　(克)
美術の窓　326　高山淳

一陽展56回　9.29—10.11　国立新美術館(阪市立美術館)
新美術新聞　1232　(智)
美術の窓　326　高山淳

一水会展72回　7.13—7.19　愛知県美術館ギャラリー
新美術新聞　1226　(智)
美術の窓　324　高山淳

一線展61回　11.30—12.5　愛知県美術館ギャラリー
新美術新聞　1237　(克)
美術の窓　329　高山淳

一創会展32回　2.28—3.5　東京都美術館
新美術新聞　1213　(元)

旺玄展76回　5.12—5.20　上野の森美術館
新美術新聞　1219　(智)
美術の窓　322　高山淳

(カ行)

近代水墨展27回　10.26—10.31　埼玉県立近代美術館
美術の窓　327　高山淳

近美展37回〔近代日本美術協会〕　11.18—11.23　上野の森美術館
新美術新聞　1236　(裕)
美術の窓　328　磯部靖

近代美術協会展47回　7.20—7.25　埼玉県立近代美術館
新美術新聞　1226　(智)
美術の窓　324　高山淳

群炎展49回〔群炎美術協会〕　11.2—11.7　ノースギャラリー
新美術新聞　1235　(元)

現水展49回〔現代水墨画協会〕　10.2—10.7　上野の森美術館
新美術新聞　1232　(洋)
美術の窓　327　高山淳

現創展36回〔現代創造美術協会〕　12.11—12.13　シアター1010
新美術新聞　1239　(克)
美術の窓　329　磯部靖

現代童画展36回　12.1—12.7　上野の森美術館
新美術新聞　1237　(元)
美術の窓　329　高山淳/磯部靖

現代パステル協会展22回　3.26—4.4　東京都美術館
新美術新聞　1216　(智)
美術の窓　321　高山淳

現展66回〔現代美術家協会〕　5.26—6.7　国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞　1221　(克)
美術の窓　323　高山淳

元陽展41回　10.8—10.14　上野の

森美術館(大阪市立美術館、広島県立美術館)
新美術新聞　1232　(元)
美術の窓　327　高山淳

行動展65回　9.15—9.27　国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、福岡市美術館、米子市立美術館、岡山県天神山文化プラザ)
新美術新聞　1229　(洋)
美術の窓　326　高山淳

光風会展96回　4.14—4.26　国立新美術館
新美術新聞　1218　(智)
美術の窓　321　高山淳

光陽展58回　2.20—2.26　上野の森美術館
新美術新聞　1211　(元)
美術の窓　319　高山淳

国画展41回　11.21—11.27　東京交通会館
美術の窓　328　磯部靖

国展84回　4.28—5.10　国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞　1219　(元)
美術の窓　322　高山淳／小森佳代子／切刀知子

i.m.a展36回[国際現代美術家協会]　8.6—8.13　横浜市民ギャラリーあざみ野
新美術新聞　1227　(元)

日美絵画展11回[国際文化カレッジ]　8.5—8.14　国立新美術館

総合水墨画展15回[国際文化カレッジ]　8.5—8.14　国立新美術館

国際墨画会展10回　6.23—7.5　国立新美術館
新美術新聞　1223　(智)

(サ行)

朔日会展79回　5.18—5.24　東京芸術劇場
美術の窓　323　高山淳

サロン・デ・ボザール展38回　8.11—8.15　京都市美術館

日仏現代国際美術展14回[サロン・ブラン美術協会]　10.14—10.19　大森ベルポートアトリウム
新美術新聞　1232　(克)
美術の窓　327　高山淳

三軌展62回　5.12—5.24　国立新美術館(愛知県美術館、京都市美術館、せんだいメディアテーク、大分県立芸術会館、金沢21世紀美術館、東川町文化ギャラリー)
新美術新聞　1219　(洋)
美術の窓　322　高山淳

示現会展63回　3.31—4.12　国立新美術館(兵庫県立美術館王子分館、北九州市立美術館、熊本県立美術館分館、和歌山県民文化会館県民ギャラリー、徳島県郷土文化館、福井県立美術館、愛知県美術館ギャラリー、岐阜県美術館、山形美術館、京都市美術館、青森市民美術展示館、福岡市美術館、長岡美術センター、石川県立美術館)
新美術新聞　1218　(智)
美術の窓　321　高山淳

写実画壇展38回　4.1—4.7　上野の森美術館
新美術新聞　1217　(元)
美術の窓　321　小森佳代子

秋耕展35回　6.23—7.5　国立新美術館
新美術新聞　1223　(元)

自由美術展74回　9.29—10.11　国立新美術館
新美術新聞　1232　(裕)
美術の窓　326　高山淳

主体展46回　9.26—10.1　上野の森美術館(京都市美術館、愛知県美術館)
新美術新聞　1230　(洋)
美術の窓　326　高山淳

朱葉会展89回　3.26—4.4　東京都美術館
新美術新聞　1216　(智)
美術の窓　321　高山淳

朱葉会秋季選抜展2010　10.5—10.10　銀座アートホール

純展40回[純具象美術協会]　7.18—7.23　上野の森美術館
新美術新聞　1226　(洋)
美術の窓　324　高山淳

春陽展87回　4.14—4.26　国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞　1218　(克)
美術の窓　321　高山淳

女流画家協会展64回　5.26—6.8　上野の森美術館
新美術新聞　1222　(智)
美術の窓　323　高山淳

銀粘土でつくるシルバーアクセサリーコンテスト展11回　6.23—7.5　国立新美術館

新槐樹社展54回　2.3—2.15　国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館)
新美術新聞　1211　(洋)
美術の窓　319　高山淳

新協展53回　10.23—10.29　上野の森美術館
新美術新聞　1233　(元)
美術の窓　327　高山淳

極美展16回[新極美術協会]　8.31—9.5　茨城県つくば美術館
新美術新聞　1230　(克)

新芸術展35回　11.18—11.23　シアター1010
新美術新聞　1236　(克)
美術の窓　328　磯部靖

新構造展82回　9.16—9.24　上野の森美術館
新美術新聞　1231　(克)
美術の窓　326　高山淳

新興展60回　6.22—6.27　京都市美術館
新美術新聞　1222　(智)
美術の窓　324　高山淳

新作家展17回　11.6—11.12　上野の森美術館
新美術新聞　1235　(智)
美術の窓　328　高山淳

新象展53回　6.16—6.20　愛知県美術館ギャラリー
美術の窓　323　高山淳

新世紀展55回　4.1—4.7　横浜赤レンガ倉庫1号館
新美術新聞　1216　(元)
美術の窓　321　高山淳

新制作展74回　9.15—9.27　国立新美術館(広島県立美術館県民ギャラリー、京都市美術館、愛知県芸術文化センター8階ギャラリ)
新美術新聞　1229　(元)

美術の窓　326　高山淳／小森佳代子

晨鳥社展63回　6.1—6.6　京都府立文化芸術会館
美術の窓　323　小森佳代子

新院展42回[新日本美術院]　8.29—9.4　東京交通会館
新美術新聞　1227　(克)
美術の窓　326　高山淳

新日美展34回　10.30—11.5　上野の森美術館
新美術新聞　1234　(裕)
美術の窓　328　高山淳

新美術協会展57回　6.1—6.6　愛知県美術館ギャラリー
新美術新聞　1222　(智)
美術の窓　323　高山淳

新洋画会展32回　5.21—5.27　シアター1010
新美術新聞　1222　(克)

水彩人展12回　11.1—11.7　シンワアートミュージアム
新美術新聞　1235　(智)

水彩連盟展69回　3.31—4.12　国立新美術館
新美術新聞　1218　(洋)
美術の窓　321　高山淳

青枢展37回　6.16—6.21　東京芸術劇場
新美術新聞　1222　(洋)
美術の窓　323　高山淳

雪舟国際美術協会展17回　12.8—12.19　国立新美術館

全国水墨画展17回　8.4—8.16　国立新美術館

全日本水墨画秀作展35回[全国水墨画美術協会]　3.3—3.14　国立新美術館

全日肖展57回　6.22—6.27　茨城県つくば美術館
新美術新聞　1222　(克)

職美展64回[全日本職場美術協議会]　5.1—5.9　横浜赤レンガ倉庫1号館

全日本水墨画展33回　6.22—6.27　東京セントラル美術館
新美術新聞　1226　(智)

全展48回[全日本美術協会]　11.13—11.17　上野の森美術館
新美術新聞　1235　(磯)
美術の窓　328　高山淳／磯部靖

春季創画展36回　2.24—3.1　高島屋(東京)
新美術新聞　1214　(松)

創画展37回　11.2—11.14　京都市美術館(愛知県美術館ギャラリー)
美術の窓　328　高山淳

創画展37回　12.8—12.14　上野の森美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞　1236　(智)

蒼騎展50回　6.23—7.5　国立新美術館
新美術新聞　1223　(裕)
美術の窓　324　高山淳

創型展59回　4.9—4.18　埼玉県立近代美術館
美術の窓　321　高山淳

創元展69回　3.31—4.12　国立新美術館(岡山県天神山文化プラザ、京都市美術館、高松市美術館、大阪市立美術館、クリエート浜松、福岡市美術館)
新美術新聞　1218　(元)
美術の窓　321　高山淳

創彩展30回　6.28—7.4　北とぴあ展示ホール
新美術新聞　1223　(克)

創展44回[創作画人協会]　9.19—9.25　すみだリバーサイドホールギャラリー
新美術新聞　1231　(裕)
美術の窓　326　高山淳

双樹展40回　9.21—9.26　埼玉県立近代美術館
新美術新聞　1231　(元)
美術の窓　326　高山淳

蒼樹展35回　3.14—3.24　東京都美術館
新美術新聞　1213　(洋)
美術の窓　320　高山淳

創造展63回　5.19—5.24　都立産業貿易センター台東館
新美術新聞　1221　(洋)
美術の窓　322　高山淳

(タ行)

第一美術展81回　5.26—6.7　国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、安曇野市豊科近代美術館、京都市美術館)
新美術新聞　1221　(裕)
美術の窓　323　高山淳

大翔展34回　9.17—9.26　シアター1010
新美術新聞　1231　(元)

大調和展49回　3.14—3.24　東京都美術館(広島県立美術館、松本市美術館)
新美術新聞　1213　(智)
美術の窓　320　高山淳

太平洋展106回　5.12—5.24　国立新美術館(愛知県美術館、千葉県立美術館、福岡市美術館、横浜市民ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞　1219　(智)
美術の窓　322　高山淳

大洋展32回　11.18—11.22　東京都立産業貿易センター台東館
新美術新聞　1236　(克)
美術の窓　328　磯部靖

太陽美術展36回　11.7—11.11　シアター1010
新美術新聞　1235　(智)
美術の窓　328　高山淳

たぶろう展45回　6.9—6.21　国立新美術館
新美術新聞　1222　(智)
美術の窓　323　高山淳

地平展12回　8.3—8.8　埼玉県立近代美術館
新美術新聞　1227　(裕)

中美展62回　10.8—10.14　上野の森美術館
新美術新聞　1232　(元)
美術の窓　327　高山淳

等迦展42回　2.3—2.15　国立新美術館
新美術新聞　1211　(克)
美術の窓　319　高山淳

十果会32回　7.7—7.13　高島屋(東京)
新美術新聞　1220　武田厚

東京展36回　7.6—7.17　ギャラリーくぼた
新美術新聞　1226　(元)
美術の窓　324　高山淳

都展46回[東京都民美術展運営会] 9.16—9.19 池袋・ORANGE GALLERY
新美術新聞 1234 (元)

陶芸財団展2010 6.23—7.4 国立新美術館
新美術新聞 1223 (智)

東光展76回 6.9—6.23 上野の森美術館(広島県立美術館、熊本県立美術館分館)
新美術新聞 1222 (智)
美術の窓 323 高山淳

東方展44回 3.14—3.24 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館)
新美術新聞 1213 (元)
美術の窓 320 高山淳

独立展78回 10.13—10.25 国立新美術館(京都市美術館、兵庫県立美術館原田の森ギャラリー、福岡市美術館、愛知県美術館)
新美術新聞 1233 (智)
美術の窓 327 高山淳

土日会展35回 12.8—12.20 国立新美術館
新美術新聞 1237 (洋)
美術の窓 329 高山淳

(ナ行)

21美術展5回 9.28—10.3 東京銀座画廊・美術館
新美術新聞 1231 (克)

春季二科展2010年 3.14—3.24 東京都美術館
新美術新聞 1213 (元)

二科会写真部展58回 9.1—9.13 国立新美術館

二科展95回 9.1—9.13 国立新美術館(新潟県民会館、大阪市立美術館、金沢21世紀美術館、京都市美術館、愛知県美術館、福岡市立美術館、鹿児島県歴史資料センター、熊本県立美術館、広島県立美術館)
新美術新聞 1228 (智)
美術の窓 326 高山淳

春季二紀展10回 3.14—3.24 東京都美術館
新美術新聞 1213 (元)

二紀展64回 10.13—10.25 国立新美術館(愛知県美術館、京都市美術館、福岡市美術館、広島県立美術館)
新美術新聞 1233 (元)
美術の窓 327 高山淳

二元展49回 7.21—7.25 大阪市立美術館
新美術新聞 1227 (元)
美術の窓 324 高山淳

日洋展24回 5.26—6.7 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、岡山県天神山文化プラザ、大阪市立美術館、福岡市美術館)
新美術新聞 1221 (元)
美術の窓 323 高山淳

日輝展35回 9.1—9.7 シアター1010
新美術新聞 1230 (智)

日春展45回 3.31—4.5 松屋(銀座)(大和(新潟)、大丸(心斎橋)、大丸(福岡天神)、松坂屋美術館)
新美術新聞 1215 (智)

日展42回 10.29—12.5 国立新美術館
新美術新聞 1234 (智)/(元)
美術の窓 328 高山淳/小森佳代子

日本画院展70回 9.2—9.7 上野の森美術館
新美術新聞 1228 (元)
美術の窓 326 高山淳

日府展57回[日本画府] 5.17—5.23 ギャラリーくぼた(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1221 (裕)
美術の窓 322 高山淳

JAG展33回[日本芸術家協会] 10.11—10.17 横浜市民ギャラリーあざみ野
新美術新聞 1232 (裕)
美術の窓 327 高山淳

日本現代工芸美術展49回 3.26—4.4 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、岡山市デジタルミュージアム、金沢21世紀美術館市民ギャラリーA、神奈川県立県民ホール、水野美術館、身延町なかとみ現代工芸美術館)
新美術新聞 1216 (克)
美術の窓 321 高山淳/小森佳代子

日本自由画壇展36回 6.9—6.21 国立新美術館
新美術新聞 1222 (智)
美術の窓 323 高山淳

日本自由画壇秋季展 10.12—10.17 東京セントラル美術館
新美術新聞 1232 (智)

日本新工芸展32回 5.12—5.23 国立新美術館(松坂屋美術館、京都市美術館、北九州市立美術館市民ギャラリー)
新美術新聞 1219 (智)
美術の窓 322 小森佳代子

日本新水墨派展35回 11.17—11.23 立川市市民会館
美術の窓 328 磯部靖

日本水彩展98回 7.7—7.13 上野の森美術館(愛知県美術館、福屋(広島)、京都市美術館別館)
新美術新聞 1226 (裕)
美術の窓 324 高山淳

日本水墨院展25回 6.9—6.20 国立新美術館
新美術新聞 1222 (洋)
美術の窓 323 高山淳

日本水墨画展43回 3.14—3.24 東京都美術館

日本水墨画展44回 3.19—3.27 都立産業貿易センター 浜松町館

清興展32回[日本清興美術協会] 12.20—12.25 シアター1010
新美術新聞 1239 (智)
美術の窓 329 磯部靖

国際美術大賞展36回[日本選抜美術家協会] 9.20—9.26
新美術新聞 1231 (智)

国際扇面展31回[日本扇面芸術協会] 3.26—4.4 東京都美術館
新美術新聞 1216 (克)

日中水墨画合同展27回[日本中国水墨交流協会] 2.3—2.15 国立新美術館

日彫展40回 6.23—7.5 国立新美術館(愛知芸術文化センター、富山県民会館美術館)
新美術新聞 1223 (元)

美術の窓　324　小森佳代子

日本南画院展50回　3.17—3.29
国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)
新美術新聞　1214　(洋)
美術の窓　321　高山淳

板院展60回[日本板画院]　6.11—6.19　シアター1010
新美術新聞　1222　(元)
美術の窓　323　高山淳／小森佳代子

日本版画会展51回　11.20—11.28
埼玉会館
新美術新聞　1236　(智)
美術の窓　328　磯部靖

版画展78回[日本版画協会]　3.31—4.18　京都市美術館
新美術新聞　1216　(元)
美術の窓　321　高山淳

春の院展65回[日本美術院]　3.31—4.12　三越(日本橋)
新美術新聞　1215　(松)

院展95回　9.8—9.20　三越(日本橋)(京都市美術館、大丸(心斎橋)、足立美術館、秋田県総合生活文化会館、そごう美術館、天満屋(岡山)、福屋(広島)、富山県民会館美術館、三越(名古屋)、茨城県天心記念五浦美術館、クリエート浜松、北九州市立美術館分館、今井美術館、水野美術館)
新美術新聞　1228　(松)
美術の窓　326　高山淳

日本アンデパンダン展63回　3.17—3.29　国立新美術館
新美術新聞　1215　(元)

日本表現派展54回　12.7—12.12
愛知県美術館ギャラリー(シアター1010)
新美術新聞　1237　(克)
美術の窓　329　高山淳

日象展37回[日本表象美術協会]
12.8—12.20　国立新美術館
新美術新聞　1237　(裕)
美術の窓　329　高山淳

日本文人画府展39回　9.28—10.5
北とぴあ展示ホール
新美術新聞　1232　(洋)
美術の窓　327　高山淳

日本遊印アート協会展19回　5.12—5.16　タワーホール船堀
新美術新聞　1219　(克)

日本和紙絵画展25回　11.25—11.30　上野の森美術館
新美術新聞　1236　(裕)

(ハ行)

白士会展46回　7.21—7.25　愛知県美術館ギャラリー
新美術新聞　1227
美術の窓　324　高山淳

白日会展86回　3.17—3.29　国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、鹿児島県歴史資料センター黎明館、近鉄アート館(大阪))
新美術新聞　1214　(智)
美術の窓　321　高山淳

汎美展　2010　3.3—3.15　国立新美術館

美術文化展70回　3.26—4.4　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、高松市美術館、熊本県立美術館、クリエイト浜松)
新美術新聞　1216　(克)
美術の窓　321　高山淳

从展36回　3.14—3.24　東京都美術館
美術の窓　320　佐久間智香子

風子会展34回　12.3—12.8　すみだリバーサイドホールギャラリー
新美術新聞　1237　(智)

FAA富士美術展28回　4.23—4.29
シアター1010
新美術新聞　1218　(克)
美術の窓　322　高山淳

平泉展22回　1.20—2.1　国立新美術館
新美術新聞　1209　(元)

(マ行)

モダンアート展60回　4.23—4.28
せんだいメディアテーク(愛知県美術館ギャラリー、福岡市美術館、埼玉県立近代美術館)
美術の窓　324　高山淳

モダンアート展60回　7.20—7.25
京都市美術館(愛知県美術館ギャラリー、福岡市美術館、埼玉県立近代美術館))
美術の窓　324　高山淳

(ヤ行)

遙玄展37回　11.30—12.5　タワーホール船堀
新美術新聞　1236　(洋)
美術の窓　329　高山淳／小森佳代子

(ラ行)

立軌展62回　2.3—2.15　国立新美術館
新美術新聞　1211　(智)
美術の窓　319　高山淳

流形展60回　12.15—12.21　上野の森美術館
新美術新聞　1239　(元)

連展37回　9.15—9.19　ギャラリーくぼた
新美術新聞　1230　(克)

美　術　文　献　目　録

凡　　例

1. ここに採録した文献は平成22(2010)年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
2. 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている状況に対応して行ったものである。
3. 「定期刊行物所載文献」の欄は、「近現代美術」、「古美術」に分類し、両分類に関わる記事については、「総説」、「その他」中の各項目に統合して記載した。
4. 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また、古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容を持つものはここに採録した。
5. 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更していることがある。
6. 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の３つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順とし、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に現れるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
7. 「美術展覧会図録所載文献」の欄において、展覧会名と図録名が異なる場合、見出しに展覧会名を記載し、その後ろに(　)で図録名を補った。
8. 号数は主として通巻番号を採用した。なお、757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9.1、３、６は、平成21年９月１日、３日、６日の新聞を示す。
9. 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は§記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は末尾に[ ]で示した。
10. 欧文の分綴については、スペースの都合上、分綴法に従っていない場合がある。

収録定期刊行物誌名　（50音順）

ARK（秋田県立近代美術館）

art_icle

アート・ドキュメンテーション研究

アート・ドキュメンテーション通信

アートペーパー（名古屋市美術館）

あーとらいぶらりー（日本彫刻会）

ARTRAMBLE（兵庫県立美術館）

ARTLET（慶応義塾大学アート・センター）

aica JAPAN（美術評論家連盟）

EYES（東京都写真美術館）

あいだ

愛知県史研究

愛知県美術館研究紀要

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要

愛知県立芸術大学紀要

愛知県立大学日本文化学部論集

愛知県立大学文字文化財研究所年報

青森県立郷土館研究紀要

青山史学（青山学院大学史学研究室）

秋田県立博物館研究報告

秋田県立博物館ニュース

秋田公立美術工芸短期大学紀要

秋田美術（秋田県立近代美術館）

秋麻呂くん通信（秋田城跡調査事務所）

AXIS

Asiage（九州国立博物館）

アジア文化交流研究（関西大学アジア文化交流研究センター）

アジア遊学

葦火（大阪市文化財協会）

アスカディア・古墳の森（大阪府立近つ飛鳥博物館）

明日の東洋学（東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター）

安曇野ちひろ美術館　美術館だより

跡見学園女子大学人文学フォーラム

跡見学園女子大学文学部紀要

aprire（岩手県立美術館）

アマリリス（静岡県立美術館）

アルカディア（岡崎市美術博物館）

あるむぜお（府中市郷土の森博物館）

飯田市美術博物館研究紀要

石川県立美術館だより

石川県立歴史博物館紀要

いすみあ　明治大学大学院教養デザイン研究科紀要

逸翁美術館年報

一寸

五浦論叢（茨城大学五浦美術文化研究所）

出光美術館館報

出光美術館研究紀要

茨城県立歴史館報

茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション学科論集

岩手県立博物館研究報告

岩手県立博物館だより

印度学仏教学研究

浮世絵芸術（日本浮世絵協会）

馬の博物館研究紀要

瓜生通信（京都造形芸術大学）

Ouroboros（東京大学総合研究博物館）

AAC（愛知芸術文化センター）

永青文庫

AS（アート・スクエアの会）

エスプラナード（福岡市美術館）

江戸東京博物館 NEWS

愛媛県美術館年報・研究紀要

愛媛県歴史文化博物館研究紀要

大分県立歴史博物館研究紀要

おおいた歴博（大分県立歴史博物館）

大阪教育大学紀要

大阪城天守閣紀要

大阪成蹊大学芸術学部紀要

大阪大学大学院文学研究科紀要

大阪府教育委員会文化財調査事務所年報

大阪府立近つ飛鳥博物館館報

大阪文化財研究（大阪文化財センター）

大阪歴史博物館研究紀要

大田区立郷土博物館紀要

大谷大学真宗総合研究所研究所報

大津市歴史博物館研究紀要

大妻女子大学紀要

大手前大学史学研究所紀要

おおてみち（滋賀県立安土城考古博物館）

大美和（大神神社）

岡崎市史研究

岡山県立美術館紀要

岡山県立美術館ニュース

岡山市立オリエント美術館研究紀要

岡山大学文学部紀要

岡山びと　岡山市デジタルミュージアム紀要

沖縄県立芸術大学紀要

隠岐の文化財（隠岐の島町教育委員会、海士町教育委員会、西ノ島町教育委員会、知夫村教育委員会）

小樽市総合博物館紀要

お茶の水女子大学人文科学研究

尾道大学芸術文化学部紀要

オリエンテ（古代オリエント博物館）

オリエント（日本オリエント学会）

海港都市研究（神戸大学大学院人文学研究科海港都市研究センター）

海事博物館研究年報

貝塚博物館紀要

香川県埋蔵文化財センター研究紀要

香川県立ミュージアムニュース

学習院大学史料館紀要

学習院大学人文科学論集

学習院大学文学部研究年報

学術研究(早稲田大学教育学部)

学叢(京都国立博物館)

崖山会報

鹿島美術財団年報・別冊

柏原市立歴史資料館館報

春日(春日大社)

ガス燈(大川美術館)

華頂博物館学研究

神奈川県立近代美術館年報

神奈川県立博物館研究報告

神奈川県立歴史博物館だより

かながわの考古学(かながわ考古学財団)

金沢学院大学紀要　文学・美術・社会学編

金沢大学考古学紀要

金沢大学歴史言語文化学系論集

金沢美術工芸大学紀要

金沢文庫研究

鎌倉(鎌倉文化研究会)

鎌倉遺文研究

カリスタ(東京芸術大学美術学部美学研究室)

Cultivate(文化環境研究所)

川崎市市民ミュージアム紀要

関西大学哲学

関西大学博物館紀要

神田日勝記念美術館だより

館報池田文庫

北九州市立自然史・歴史博物館研究報告

北区飛鳥山博物館研究報告

岐阜県博物館調査研究報告

岐阜県ミュージアムひだ研究事業報告

岐阜市歴史博物館博物館だより

木村定三コレクション研究紀要

ギャラリー(月刊)

九州産業大学芸術学会研究報告

九州歴史資料館研究論集

京都国立博物館だより

京都嵯峨芸術大学紀要

京都市美術館ニュース

京都市美術館年報

京都市立芸術大学芸術資料館年報

京都市立芸術大学美術学部研究紀要

京都精華大学紀要

京都大学総合博物館ニュースレター

京都美学美術史学(京都美学美術史学研究会)

京都府立総合資料館だより

共立女子大学文芸学部紀要

きよらさ(浦添市美術館)

金鯱叢書　史学美術史論文集(徳川黎明会)近代画説(明治美術学会)

釧路論集(北海道教育大学釧路校)

熊本県立美術館研究紀要

CLOSET(女子美術大学大学院美術研究科芸術表象ゼミ)

群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

群馬県立女子大学紀要

群馬県立歴史博物館紀要

群馬の森美術館ニュース(群馬県立近代美術館)

慶応義塾大学アート・センター年報

芸術学学報(金沢美術工芸大学芸術学研究室)

芸術学研究(京都造形芸術大学芸術学研究室)

芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

芸術学研究(明治学院大学芸術学会)

芸術新潮

芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)

芸大通信(東京芸術大学)

計量史研究

華厳

研究紀要金沢城研究(石川県金沢城調査研究所)

研究集録(独立書人団)

現代の眼(東京国立近代美術館)

建築雑誌(日本建築学会)

建築史学(建築史学会)

建築ジャーナル

皇学館大学神道博物館館報

皇学館論叢

考古学雑誌

高知県立美術館ニュース

神戸市立博物館研究紀要

神戸市立博物館だより

高麗美術館館報

公立埋文協会報(全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会)

古河歴史博物館年報

国学院雑誌

国学院大学紀要

国語国文(京都大学文学部国語学国文学研究室)

国語と国文学(東京大学国語国文学会)

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館年報

国際日本学(法政大学国際日本学研究所)

国文学解釈と鑑賞

国文学研究資料館紀要

国文学研究資料館調査研究報告

国文研ニューズ(国文学研究資料館)

国立国際美術館ニュース

国立新美術館ニュース

国立西洋美術館研究紀要

国立民族学博物館研究報告

国立民族学博物館調査報告

国立歴史民俗博物館研究報告

古代オリエント博物館紀要

古代文化(古代学協会)

古代文化研究(島根県古代文化センター)

国華

国華清話会会報

古文化研究(黒川古文化研究所)

古文書研究(日本古文書学会)

コリアナ(韓国国際文化協会)

Corridart(横須賀美術館)

斎宮歴史博物館だより

斎宮歴史博物館研究紀要

埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要

埼玉史談(埼玉郷土文化会)

採蓮　千葉市美術館研究紀要

堺市博物館報

佐賀県立博物館・美術館調査研究書

SAZAE 通信(長谷川真知子美術館)

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要

三康文化研究所所報

サントリー美術館ニュース

三の丸尚蔵館年報・紀要

jaic 会報(日本美術情報センター)

史苑(立教大学史学会)

史淵(九州大学大学院人文科学研究院)

Shiodome Museum REVUE(パナソニック電工汐留ミュージアム)

史学雑誌

視覚の現場　四季の綻び

滋賀県教育委員会研究紀要

滋賀県文化財保護協会紀要

滋賀県立安土城考古博物館紀要

滋賀県立近代美術館研究紀要

滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要

子規博だより(松山市立子規記念博物館)

静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要

静岡県立美術館紀要

静岡文化芸術大学研究紀要

史迹と美術

思想

漆芸美術館だより

実践国文学

実践女子学園香雪記念資料館館報

実践女子大学美学美術史学

実践女子大学文芸資料研究所年報

斯道文庫論集

島根県立石見美術館研究紀要

市民と博物館(日立市郷土博物館)

ジャポニスム研究

SHÛ(玉川大学教育博物館)

修士論文・修了作品　研究集録(大東文化大学大学院文学研究科書道学専攻)

趣味の水墨画

首里城研究

純心人文研究(長崎純心大学)

巡礼記研究

城西国際大学日本研究センター紀要

正倉院紀要

上智アジア学(上智大学アジア文化研究所)

聖徳(法隆寺)

常民文化(成城大学常民文化研究会)

続日本紀研究

書芸術研究(筑波大学人間総合科学研究科書研究室)

女子美(女子美術大学)

女子美術大学研究紀要

書道界

書道学論集(大東文化大学大学院書道学専攻院生会)

書道文化(四国大学書道文化学会)

書陵部紀要

史林(京都大学文学部内史学研究会)

絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)

シルクロード研究(創価大学シルクロード研究センター)

塵界(兵庫県立歴史博物館)

新美術新聞

人文(京都大学)

人文学(同志社大学人文学会)

人文学報(京都大学人文科学研究所)

人文研究(神奈川大学人文学会)

人文論究(関西学院大学人文学会)

水声通信

椙山女学園大学研究論集

朱雀(京都府京都文化博物館)

墨

駿台史学

生活と文化(豊島区立郷土資料館)

生活文化研究所年報

成城美学美術史

成城文芸

世田谷美術館紀要

世田谷美術館だより

ゼフュロス(国立西洋美術館)

泉屋博古館紀要

泉石(古河歴史博物館)

仙台市博物館調査研究報告

全文連会報(全国国宝重要文化財所有者連盟)

阡陵(関西大学博物館)

崇城大学芸術学部研究紀要

たいせつな風景(神奈川県立近代美術館)

大日光(日光東照宮)

太陽(別冊)

太陽の地図帖

高梨学術奨励基金年報

竹中大工道具館研究紀要

たばこと塩の博物館年報

田原の文化(田原町文化財調査会)

玉川大学教育博物館紀要

たまのよこやま(東京都埋蔵文化財センター)

たまび(多摩美術大学)

多摩美術大学研究紀要

DALS ニューズレター(死生学)

淡交

地底の森ミュージアム縄文の森広場研究報告

千葉県の文書館

千葉県立中央博物館研究報告

千葉市美術館ニュース C'n

ちひろ美術館・東京＿美術館だより

地方史研究

茶の湯文化学

中国近現代文化研究

朝鮮学報(朝鮮学会)

潮流(下関市立美術館)

筑波大学芸術研究報告

筑波大学先史学・考古学研究

土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報

壺屋焼物博物館紀要

津山弥生の里

デアルテ(九州芸術学会)

帝京大学山梨文化財研究所研究報告

デザインの現場

哲学会誌(学習院大学哲学会)

哲学年報(九州大学大学院人文科学研究院)

帝塚山大学現代生活学部紀要

帝塚山大学考古学研究所研究報告

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

鉄斎研究(鉄斎美術館)

テラス(飯田市美術博物館)

天開図画(山口県立美術館)

天台学報

展覧会だより(奈良県立万葉文化館)

天理参考館報

東海大学紀要教養学部

東京学芸大学紀要

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報

東京芸術大学大学美術館年報

東京芸術大学美術学部紀要

東京芸術大学美術学部論叢

東京国立近代美術館研究紀要

東京国立博物館紀要

東京造形大学研究報

東京大学史料編纂所研究紀要

東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信

東京都江戸東京博物館研究報告

東京都現代美術館年報・研究紀要

東京都写真美術館紀要

東京美術倶楽部

刀剣美術

同志社大学博物館学年報

陶説

道祖神研究

東風西声　九州国立博物館紀要

東方学報京都(京都大学人文科学研究所)

同朋大学仏教文化研究所紀要

東北アジア研究センター叢書

東北芸術工科大学紀要

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報

東北文化研究室紀要

東北歴史博物館研究紀要

東洋学報

東洋史研究

東洋陶磁

東洋陶磁学会会報

東洋文化(東京大学東洋文化研究所)

東洋文庫書報

どおむ(富山県立近代美術館)

遠山記念館だより

常盤山文庫中国陶磁研究会会報

徳島県立博物館ニュース

徳島文理大学文学論叢

図書館情報メディア研究

栃木県埋蔵文化財センターだより

栃木県立博物館研究紀要

とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要

富山考古学研究

富山大学人文学部紀要

豊田市美術館紀要

敦煌写本研究年報

長崎県美術館研究紀要

長野県信濃美術館紀要

長野県立歴史館たより

長野県立歴史館研究紀要

長浜城歴史博物館　博物館だより

名古屋市博物館研究紀要

名古屋市博物館だより

名古屋造形大学紀要

名古屋大学文学部研究論集

奈良学研究(帝塚山短期大学)

奈良教育大学紀要

奈良県立美術館紀要

奈良女子大学文学部研究教育年報

奈良大学紀要

奈良文化財研究所紀要

南山考人(南山考古文化人類学研究会)

南丹市立文化博物館だより

新潟県立近代美術館研究紀要

新潟県立歴史博物館研究紀要

新潟市歴史博物館研究紀要

西アジア考古学

西宮市大谷記念美術館NEWS

西宮市立郷土資料館ニュース

日仏美術学会会報

日光山輪王寺

日展ニュース

日本画像学会誌

日本研究(国際日本文化研究センター)

日本建築学会計画系論文集

日本史研究

日本思想史

日本女子大学紀要　文学部

日本女子大学大学院人間社会研究科紀要

日本女子大学大学院文学研究科紀要

日本大学芸術学部紀要

日本の民芸(日本工芸館)

日本版画協会々報

日本文化史研究(帝塚山大学奈良学総合文化研究所)

日本歴史

人間環境科学

人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)

根津美術館紀要　此君

練馬区立美術館ニュース

年報非文字資料研究(神奈川大学非文字資料研究センター)

野村美術館研究紀要

博物館研究(日本博物館協会)

馬事文化財団年報

発掘物語しずおか(静岡県埋蔵文化財調査研究所)

花巻市博物館研究紀要

林原美術館紀要・年報

玻璃彩　「コロタイプ技術の保存と印刷文化を考える会」会報

版画芸術

美愛眞(調布市武者小路実篤記念館)

美学

美学芸術学(同志社大学美学芸術学研究室)

美学美術史研究論集(名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室)

美学美術史論集(成城大学大学院文学研究科)

美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)

東アジア文化交渉研究(関西大学文化交渉学教育研究拠点)

彦根城博物館研究紀要

彦根城博物館だより

美史研ジャーナル(武蔵野美術大学美学美術史研究室)

美術運動(日本美術会)

美術運動史研究会ニュース

美術京都(中信美術奨励基金)

美術研究(東京文化財研究所)

美術史

美術史学(東北大学)

美術史研究(早稲田大学美術史学会)

美術史論集(神戸大学美術史研究会)

美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室)

美術手帖

美術の窓

美術フォーラム21

美術屋・百兵衛

美のたより(大和文華館)

姫路市立美術館研究紀要

姫路市立美術館だより

非文字資料研究(神奈川大学21世紀 COE プログラム)

百万塔(紙の博物館)

百科(月刊)

氷華(北海道旭川美術館)

兵庫県揖保郡太子町立歴史資料館館報

兵庫県立考古博物館研究紀要

兵庫県立美術館研究紀要

兵庫陶芸美術館研究紀要

平泉文化研究年報(岩手県教育委員会)

美連協ニュース(JAAM 会報)(美術館連絡協議会)

広島県立美術館研究紀要

広島県立歴史博物館ニュース

広島県立歴史博物館研究紀要

広島市立大学芸術学部紀要

フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)

フェリス女学院大学文学部紀要

福井県文書館研究紀要

福岡市博物館研究紀要

福岡市美術館古美術室解説

藤女子大学紀要

府中市郷土の森博物館紀要

府中市美術館研究紀要

府中市美術館だより

ふちゅ～る(静岡市教育委員会)

仏教芸術

仏教史学研究

仏教大学教育学部論集

仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要

仏教大学文学部論集

フラミンゴ(滋賀県立近代美術館)

ブリヂストン美術館・石橋美術館館報

文学(隔月刊)

文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)

文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)

文化財レポート(京都文化財団)

文化史学

文化資源学

文化情報学(同志社大学文化情報学会)

文環研レポート(文化環境研究所)

文星紀要

蓬左(名古屋市蓬左文庫)

鳳翔学叢(平等院)

法政考古学

法政史学

北斎研究

保存科学(東京文化財研究所)

北海道開拓記念館研究紀要

北海道開拓記念館調査報告

北海道開拓の村研究紀要

まいぶん津(津市埋蔵文化財センター)

埋文にいがた(新潟県埋蔵文化調査事業団)

マキエ(ポーラ文化研究所)

待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)

松ヶ岡文庫研究年報

瑞垣(神社司庁)

三田国文

三井美術文化史論集(三井記念美術館)

密教図像

密教文化

港郷土資料館だより

港区立港郷土資料館研究紀要

美濃加茂市民ミュージアム紀要

MIHO MUSEUM 研究紀要

宮崎県総合博物館研究紀要

宮崎県立西都原考古博物館研究紀要

宮崎大学教育文化学部紀要

MUSEUM(東京国立博物館)

MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)

ミュージアム調査研究報告(香川県立ミュージアム)

MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)

MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)

視る(京都国立近代美術館)

milsil(国立科学博物館)

ミルフイユ(せんだいメディアテーク)

美をつくし(大阪市立美術館)

民俗学研究所紀要(成城大学民俗学研究所)

みんぱく(国立民族学博物館)

民博通信(国立民族学博物館)

無形文化遺産研究報告

武蔵野(武蔵野文化協会)

武蔵野美術大学研究紀要

ムゼイオン(立教大学学校・社会教育講座)

明治大学博物館研究報告

明治村だより

明星大学研究紀要

目の眼

杜(東京芸術大学美術学部杜の会)

文部科学広報

山口県文書館研究紀要

山口県立山口博物館研究報告

大和文華(大和文華館)

山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要

山梨県立博物館研究紀要

山梨県立美術館研究紀要

游美(茨城県立近代美術館友の会)

ユリイカ

横須賀市博物館研究報告

横浜市歴史博物館調査研究報告

横浜美術館研究紀要

横浜美術短期大学教育・研究紀要

横山大観記念館館報

REAR

立正史学

龍谷史壇(龍谷大学史学会)

龍谷大学仏教文化研究所紀要

黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

黎明館調査研究報告

歴史遺産研究(東北芸術工科大学歴史遺産学科)

歴史学研究

歴史研究(大阪教育大学)

歴史地理教育

歴史と地理

歴史評論(歴史科学協議会)

歴博(国立歴史民俗博物館)

歴博だより(愛媛県歴史文化博物館)

連盟ニュース(日本美術家連盟)

鹿園雑集　奈良国立博物館研究紀要

碌山美術館報

六所家総合調査だより

和歌山県文化財センター年報

和歌山県立近代美術館ニュース

和歌山県立博物館研究紀要

和歌山市立博物館研究紀要

早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

早稲田大学大学院文学研究科紀要

朝日

朝日夕刊

産経

東京

東京夕刊

日経

日経夕刊

毎日

毎日夕刊

読売

読売夕刊

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に＊を付した。

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	愛知県埋文センター紀要*
いすみあ　明治大学大学院教養デザイン研究科紀要	いすみあ*
大阪府教育委員会文化財調査事務所年報	大阪府教委文化財調査事務所年報*
岡山びと　岡山市デジタルミュージアム紀要	岡山びと*
金沢学院大学紀要　文学・美術・社会学編	金沢学院大学紀要*
北九州市立自然史・歴史博物館研究報告	北九州自然史歴史博報告*
岐阜県ミュージアムひだ研究事業報告	ミュージアムひだ研究報告*
ギャラリー(月刊)	ギャラリー*
金鯱叢書　史学美術史論文集(徳川黎明会)	金鯱叢書*
群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	群馬県埋文調査団研究紀要*
採蓮　千葉市美術館研究紀要	採蓮*
札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要	札幌大谷大学紀要*
静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要	静岡県埋文研紀要*
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	帝塚山大大学院紀要*
東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報	東京芸大保存修復彫刻年報*
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	東大画像史料解析センター通信*
東風西声　九州国立博物館紀要	東風西声*
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報	芹沢銈介美術工芸館年報*
長浜城歴史博物館　博物館だより	長浜城歴博だより*
日本女子大学大学院人間社会研究科紀要	日本女子大学大学院紀要(人)*
根津美術館紀要　此君	此君*
玻璃彩　「コロタイプ技術の保存と印刷文化を考える会」会報	玻璃彩*
百科(月刊)	百科*
仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*
ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	ブリヂストン・石橋美術館報*
文学(隔月刊)	文学*
文化財(月刊)	文化財*
山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	山梨県考古博埋文センター紀要*
鹿園雑集　奈良国立博物館研究紀要	鹿園雑集*
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要	早大會津八一記念博紀要*

目　　次

〔定期刊行物所載文献〕

総　　説……76
美　　学……76
概　　論……77
日本美術史……89
海外美術史(アジア)……91
海外美術史(その他)……91
保存修復……93
情報処理……98
文化財行政……100
美術教育……105
古　美　術……108
総　　記……108
絵　　画……108
図像・文様……121
地図・絵図……122
彫　　塑……123
原始彫刻……128
面　　……128
書　　蹟……128
古文書・古記録……132
金石文など……133
工　　芸……135
宗教工芸……135
武具・馬具類……135
茶道具……136
装身具・化粧具……137
文房具……137
装潢・料紙装飾……137
陶　　磁……137
土　　器……141
瓦　　……142
金　　工……143
鏡　　……144
青銅器……145
刀剣・刀装……145
染織・服飾……146
漆　　工……147
石　　工……148
石　　器……148
木竹工……148
ガラス工……149
その他の工芸・民具……149
建　　築……150
都市・集落……150
宮殿・官衙……151
宗教建造物……152
城　　郭……153
住宅・館……154
茶　　室……154
その他の建造物……155
庭　　園……155
墳　　墓……155
建築部材など……156
建築に付随するその他……156
近現代美術……158
絵　　画……158
漫画・アニメーション……161
版　　画……164
写真・映像……165
彫刻・空間表現……166
工　　芸……167
デザイン……170
建　　築……172
その他のジャンル……177
作　　家……178
日　　本……178
海　　外……306
そ　の　他……342
美術関係者……342
書　　評……348
時　　評……355
美術館・博物館・画廊……358
海外展……376

定期刊行物所載文献

総　説

美　学

凝視の廃位—観光のクリナメンと視覚のアウラ２—	北澤　裕	学術研究	58
鷗外における芸術批評理論としてのハルトマン美学の移植—明治30年東京美術学校での美学講義の分析—	吉田　直子	カリスタ	17
芸術のクラスタ定義の形式	松永　伸司	〃	〃
芸術的自然観と「新精神」『ラントランシジャン』紙におけるアポリネール美術批評への視点(２)	佐藤　文郎	京都嵯峨芸術大学紀要	35
「行動する彫像」の言語記号の「生」・「感性的なるもの」・「他者」—ルソー『エミール』のピュグマリオニズムの美学的射程(１)—	馬場　朗	群馬県立女子大学紀要	31
知覚のテーゼ「絶対映画」の言語性と身体観	江口みなみ	芸術学研究(筑波)	15
ニーチェ哲学における知と美の地平を巡って	岸　貴介	国学院雑誌	1243
レッシングとは何者か	田窪　大介	〃	〃
〈うつし〉の美学—芸術の起源神話—	谷川　渥	〃	〃
『草枕』—典拠を無化するテクスト—	上田　正行	国語と国文学	1038
「草枕」と典拠—レッシング『ラオコーン』との関わりを軸に	神田　祥子	〃	〃
風景の終わり	清水　真木	思　想	1030
ミミクリーの美学—ベンヤミンの自伝的テクスト「ムシメレーレン」と「蝶を追う」について—	川島建太郎	〃	〃
ジョルジュ・バタイユの不定形芸術論—非類似的類似をめぐって	江澤健一郎	水声通信	33
美学から政治へ—ゴットフリート・ベンとアルフレート・ボイムラー—	石田　圭子	東京芸術大学美術学部論叢	6
歴史的生命の表現としての芸術—後期西田哲学にみる自己形成概念の二重性—	櫻井　歓	日本大学芸術学部紀要	52
感性的質の生成構造、または感性史の試み	津上　英輔	美　学	236
悲劇とパトス—アリストテレス『詩学』の「憐れみと畏れを通じての快」をめぐって	三浦　洋	〃	〃
美的特性に関する傾性理論—その美的特性実在論としての可能性を探る	松﨑　俊之	〃	〃
第六十一回美学会全国大会報告		〃	237
ゴットフリート・ベンとアルフレート・ボイムラー—神話的芸術観とナチズム—	石田　圭子		
ブロウにおける「美的意識」—実験美学と発生論的美学から—	郡田　尚子		
将来への帰還、過去への投企—エチエンヌ・スーリオの、創造するノスタルジー—	春木　有亮		
諸感覚の交差点としての嗅覚	宮﨑　薫		
ベルクソン美学における情動と政治的なもの	山内　朋樹		
芸術の力Kraft：ヘルダーの『彫塑』と『人間の魂の認識と感覚について』の分析	吉田　直子		
例会・研究発表会要旨　東部会　平成二二年度第一回例会 大西克禮と超越論的美学—美意識論としての美学とその体系化	大石　昌史	〃	〃
懐かしさとnostalgia：比較美学から感性史へ	津上　英輔	美学美術史論集	18

プラトンにおけるスキアグラフィアの問題	関村　誠	広島市立大学芸術学部紀要	15
ゲルノート・ベーメによる『新しい美学』の構想について―“Aisthetik”としての“Ästhetik”―	沼尻真理子	文星紀要	21
博士論文概要　近代のピュグマリオン　あるいは芸術観察と記述の系譜―ヴィンケルマンからシュレーゲル兄弟まで―	武田　利勝	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
修士論文概要　日本近代文学論における術語（ターム）研究―「妙想」概念の位相―	清水　徹	〃	〃
博士（文学）学位請求論文審査報告要旨　近代のピュグマリオン　あるいは芸術観察と記述の系譜―ヴィンケルマンからシュレーゲル兄弟まで―	武田　利勝	〃	〃

概　論

創立六〇年史編集会議オーラルヒストリー	小久保明浩、佐藤健一郎、渡辺　博志、今井　良朗、北條みぎわ語り手　佐久間保明、石田　順二聞き手	Archive & Archives	1
特集　neoteny japan　高橋コレクション　日本新世代のトップアーティストたち	小笠原	ARK	59
福田淳　「ネット世代に、アートに親しめるようなライフスタイル提案をしたい。」	斉藤　博美	art _ icle	28
特集「批評の場」		aica JAPAN	11
現場から見た“批評の場”	秋元　雄史		
批評倫理についての一提言	五十嵐　卓		
批評の場―「共通善」のモラルに支えられて	漆原美代子		
美術館と批評機能	大坪　健二		
平易な美術評論、批評を望む	加藤　義夫		
美術批評の未来	暮沢　剛巳		
美術史の方法論的批評の一視座	小林　利延		
批評の存在	清水　敏男		
発信しない批評は批評でない？	末永　照和		
メルズーカ砂丘にて―批評が成立しない一作例として―	菅原　猛		
批評［クリティック］と市場［マーケット］	中塚　宏行		
自立批評の場としての会報に向けて―第一号を踏まえる	日夏　露彦		
自問自答	平井　亮一		
無理を承知でひとこと	松本　透		
生（活）と政治／芸術と芸術批評	峯村　敏明		
クリテリア・フッセリアーナ	山本　和弘		
目配りを利かせるとしたら	吉村　良夫		
揺らぐ「批評の場」	ワシオ・トシヒコ		
あいだのすみっこ不定期漫遊連載	稲賀　繁美	あいだ	
第71回　小松清のヴェトナム			168
第76回　物質の裡に精神は宿るか　漱石『夢十夜』の運慶とミケランジェロの詩			175
《連載エッセイ》「日本の表現主義」（1）とりあえず、自己分析	森　仁史	〃	172
《海外の話題》複製の複製はオリジナル？―《ブリロ・ボックス》スキャンダル	編集部	〃	〃
美術批評における最近の非確定的語調について	尾崎信一郎	〃	173
《緊急レポート》民間企業による新たな検閲　ルイ・ヴィトンが引き起こした作品撤去事件	福住　廉	〃	〃
表現の自由とコンテンツとの関係についての一考察	築山　欣央	愛知県立芸術大学紀要	39
インスピレーション		AXIS	
アート　「医学と芸術展：生命（いのち）と愛の未来を探る」	暮沢　剛巳		144

グラフィックTシャツという名の、オンデマンド型メディアの試み—「Tee Party」	深沢　慶太		145
特集　メディスン・アンド・デザイン—未来の医療へ　医療環境への芸術的アプローチ　アーティストと医療研究者による「新たな自己」の模索	岡田　栄造	ＡＸＩＳ	146
古典化するキャラクター　獺妖怪キャラクターの盛衰—日中比較の立場から	増子　和男	アジア遊学	130
日本のアニメーション、アート、そして美術文化	杉本　昌裕	跡見学園女子大学文学部紀要	44
「サイトスペシフィック」から「コミュニティー」へ	川谷　承子	アマリリス	96
表現主義とスピリチュアルなもの—日本の場合	森　仁史	一　寸	41
アーティストは世界を救えるか？第３回世界アーティストサミット ASK2009	毛利　浄香	瓜生通信	49
有彩色透明視における清澄感と対比効果	河合　幸子	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
フィンランドの日本美術展に関わる報告と北斎・広重イメージの流布についての考察— “Hokusai & Hiroshige, On a Journey to Edo”展を中心に—	藤澤　紫	学習院大学文学部研究年報	56
シンポジウム報告		カリスタ	17
〈公共の場〉とは何か—「パブリック・アート」をめぐって	藤原えりみ		
自己表現と公共性の間—アートプロジェクト、美術教育の立ち位置	神野　真吾		
芸術批評とその公共性	林　卓行		
Statement		ギャラリー*	
あいちトリエンナーレ2010　今年８月から約２ヶ月にわたって開催			297
第10回を迎える群馬青年ビエンナーレ			298
NPO法人あーと・わの会発足　美術普及のために一般の人も自由に参加できる開かれた組織に			302
新春特集　画廊が選ぶ　イチオシ注目若手作家2010　40歳以下の若手作家は、90年代の「失われた10年」の中でアートを目指して生きてきた！		〃	297
特集　第17回を迎えるVOCA展2010　V-OCA展を支える企業メセナ		〃	298
Pick-up 日本美術をロシアに紹介する本格的な展覧会が始動「日本の美展」		〃	299
Excitement		〃	
トウキョウミルキーウェイ2010　夏至の夜をキャンドルの灯りが彩る			302
GTS(芸大・台東・墨田)観光アートプロジェクト　東京スカイツリーの下で進行中			303
Art Chat Studio　13　椿原弘也×小川英晴	椿原　弘也 小川　英晴	〃	302
特集　あいちトリエンナーレ2010と名古屋のアートムーブメント		〃	304
特集　作家座談会と小川英晴の作品評論公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)		〃	305
美術公募展を支える企業１　ヤマトロジスティクス			
美術公募展を支える企業２　ホテルアイビス			
春期各団体展受賞作品を観る	小川　英晴		
Special Exhibition		〃	
１　観○光 KANH-IKARI ART EXPO 2010　日本の美とこころ—過・現在・未来—　序破急その二【破】			306
１　台湾現代美術展			308
月刊ギャラリー創刊25周年記念　小川英晴のアート縦横		〃	

No. 1 【企画構成】月刊ギャラリーの発信論	小川　英晴 本多　隆彦		306
No. 2 【企画構成】忘れてはならない作家たち　I　描くということ　現役作家50人の仕事を読み解く	小川　英晴		307
Pick-Up INDIA ART SUMMIT 2011　1月に開催　日本からも２つの画廊が出展		〃	308
特集・徹底討論「ニッポンのアート事情」—アートディーラーの座談会—	池内　　務 廣田登支彦 荒井　裕史 横井　勝利	〃	〃
展覧会予告　京都市美術館コレクション展第１期　円と方　キャンバスのかたち	中谷　至宏	京都市美術館ニュース	199
発表要旨　ヴィデオ試論	太田　純貴	京都美学美術史学	9
ACP　二人であること—対話〔ダイアローグ〕をめぐる独話〔モノローグ〕	北澤　憲昭	CLOSET	3
TOPIC　現実感喪失を認識するために	杉田　　敦	〃	〃
研究小話　スキーと美術３—猪谷六合雄の謎—	谷内　克聡	群馬の森美術館ニュース	139
『ポンピドゥ・センターの彼女たち』展、差異の招喚	カミーユ・モリノー 鈴木杜幾子訳	芸術学研究(明学)	20
究極のゴシックおたく　ホレス・ウォルポールの夢の城を再現	前橋　重二	芸術新潮	723
特集　瀬戸内海　小さな島の大きな宝　５章　アートを探して島めぐり　瀬戸内国際芸術祭2010	編　集　部	〃	729
芸術新潮特別企画　さあ、行こう！「あいちトリエンナーレ2010」へ。		〃	〃
わたし一人の美術時評	藤田　一人	〃	
第２回　役に立つ芸術			730
第４回　“老い”と芸術			732
大特集　いざ鎌倉　武家の都の祈りと美　第三部　横浜開港から戦後まで　異なる古都案内　その三　鎌倉宮—よみがえる宮将軍	木下　直之	〃	731
大戦のはざまに花開いた古典主義ブームを徹底検証	由本みどり	〃	732
特集　われらの庭園　第二部　論考　ナウシカアに導かれて	鈴木　博之	建築雑誌	1605
特集　平城遷都1300年考　第二部　論考１　都市の持続的変容について—ローマと奈良	田中　　純	〃	1611
美術と映像	森下　明彦	国立国際美術館ニュース	179
自画像への視点—「ウフィツィ美術館自画像コレクション」展に寄せて	宮下規久朗	〃	181
遠近法の東西—日本の空間感覚—	佐々木健一	国　　華	1380
文化フォーカス　元気な韓国の創造都市プロジェクト	イ・ソンチョル	コリアナ	17−1
コラム　歴史の風　イメージの史料性	有馬　　学	史学雑誌	119−3
時評１　アートツーリズム—ツマリで感じたこと	島本　　浣	視覚の現場　四季の綻び	4
時評３　日本の現代美術の内向き傾向について	住友　文彦	〃	〃
時評６　六本木アート事情	平井　章一	〃	〃
作家随想１　交信	福田　徳樹	〃	〃
時評２　伝え遺す心—変化する沖縄から—	兒玉絵里子	〃	5
時評５　装飾の力	天野　知香	〃	〃
時評６　臨床美術の独自性	松田　　弘	〃	〃
時評８　「お笑い」を見て「アート」を考える	保坂健二朗	〃	〃
調査研究から３　子供・土・現代アート	竹井　　史	〃	〃
時評２　京阪神・アートフェアーの歴史と現状	中塚　宏行	〃	6
時評６　素人学芸課長の「視覚」考	遠藤　貢治	〃	〃

時評８　「障害とアート」その魅力とあり方と	三嶋　眞人	視覚の現場　四季の綻び	6
時評９　京都東山の昨今	長　洋司	〃	〃
調査研究から５　海外へ流出した日本古美術品	桑原　節子	〃	〃
時評２　非美術的なはなし―近年の美術界の構造化について―	天野　一夫	〃	7
時評４　今日もまたデジャ・ヴュ―大阪アートシーンの涯しない夢魔	熊田　司	〃	〃
シンポジウム報告「ジャポニスム学会30周年記念大会報告」	岡部　昌幸	ジャポニスム研究	30
特集　大地の芸術祭を終えて		女子美	165
１　北川フラム教授インタビュー	北川フラム談		
２　杉田敦教授出展作品『critics coast―批評家の海岸』ディスカッションレポート	北川フラム、長谷　祐子、杉田　敦　談		
新美術時評		新美術新聞	
インスタントラーメンと日本の文化力	島尾　新		1204
「伝統」と「ポストモダン」(上・下)	〃		1213、1216
第５回　「難解時代」以後の「現代の絵画」―「絵画の庭」展と村瀬恭子	光田　ゆり		1217
第７回　「肖像」という地形三影堂シンポジウムにて	〃		1223
第９回　資料と作品のあいだにアーカイブと展示	〃		1229
低下する“プレゼンス”	島尾　新		1219
「この木なんの木」	〃		1234
《年頭に際して》文化振興は経済発展に不可欠	淺木　正勝	〃	1204
PARIS 発	安部　雅延	〃	
名画に登場する子どもたちの心			〃
消えた名品、美術館の監視システム			1218
芸術施設への積極的投資			1235
テーマは「都市の祝祭」―あいちトリエンナーレ2010　概要を発表―出品作家は約70組の予定、現在30作家が決まる		〃	1205
通信 J to A　アジアへ	黒田　雷児	〃	
6　光州市の美術家支援―太っ腹な「創作スタジオ」の理念			〃
7　すっとなくなったものと、ずっとあるもの―変わる都市、続く歴史			1208
8　ネパール―政治的混迷のなかで			1211
11　贈与としてのアート・プロジェクト			1219
15　上海アート・フェア―本当の支配者はだれ？			1230
16　南京でアジア美術館館長フォーラム―議論より儀式がお好き？			1233
17　「アジアのリアリズム」展―さまざまな感慨、大きな衝撃			1235
現在通信　From NEWYORK	富井　玲子	〃	
ユングの『赤の書』			1206
アートのリアリティ番組			1225
アートとグローバル化			1234
人権問題都民講座「女は表現者である。―女性アーティストたちから見えるもの」について―なぜ表現するのか。その先は何か。	田村　鮎美	〃	1210
街角アート	星野　清一	〃	
芸術とは、美術とは			1215
エチカート			1220
夏の風物詩―花火			1223
京都造形芸術大学と東北芸術工科大学が共同運営　「日本文化藝術研究センター」外苑キャンパス開設される		〃	1222

東京美術倶楽部と三岸節子遺族・高輪画廊との著作権を巡る裁判で　鑑定証書裏面添付の図版コピーは「著作権侵害」の判断、東京地裁		〃	1223
絵画鑑定書の添付カラーコピーは著作権侵害にあたらず　三岸節子遺族側との著作権を巡る裁判で		〃	1231
2010日中美術シンポジウム開かれる　'95年以来15年ぶり「美術とグローバリズム？」をテーマに		〃	1234
ディエゴ・ヴァレーリとヴェネツィア表象史	鳥越　輝昭	人文研究	170
EU—Kumamoto Art Drive、「イタリア未来派宣言」から100年／looking for NEW EARTH 展	三枝　泰之	崇城大学芸術学部研究紀要	3
研究報告　ユーロ＝アジア世界を横断する「生命デザイン」	鶴岡　真弓 五十嵐芳子 島　　亨	多摩美術大学研究紀要	24
特集　ポスターで振り返る「茶の湯の展覧会」　展覧会ポスター紹介　ポスターにみる茶の湯展覧会の変遷	中村　修也	淡　　交	795
時間の中の都市	長谷川　章	東京造形大学研究報	別冊9
ダイアログ・イン・ザ・ダーク／視覚遮断状況における知覚と行動について—マルチモーダル・アクセシビリティ・デザインの素養として	栗野　由美	〃	11
Creative Economiesの行方　ASEF(Asia—Europe Foundation)：ASIA—EUROPE Emerging Photographers' Forum 2009 KUALA LUMPURの取り組みと課題	中村　浩美	東京都写真美術館紀要	9
思いつくままに—関西の李朝陶磁コレクター	伊藤郁太郎	陶　　説	686
「アートの再定義」と「社会の変革」—学生参加による障害者アート作品展の授業実践からの考察—	川上　文雄	奈良教育大学紀要	59－1
芸術の自己対象化作用とその問題	渡辺　　文	南山考人	38
フォシヨンとクローバー—美術史と人類学のもうひとつの接点について—	阿部　成樹	日仏美術学会会報	29
教育講座　色彩工学の基礎(I~V)	三宅　洋一	日本画像学会誌	183～187
アートイベントによって顕在化する歴史的市街地の地域資源—「からほりまちアート」を事例として—	上段　貴浩 脇田　祥尚	日本建築学会計画系論文集	658
動物家族画が家族・自己イメージに及ぼす影響	加藤小百合	日本女子大学大学院紀要(人)*	16
新しい国際文化貢献の形を求めて—中近東、北アフリカにおける文化遺産研究、博物館整備、文化遺産保護教育の課題	日高健一郎	博物館研究	503
特集「博物館職員のための行動規範」		〃	505
文化財保存修復学会の行動規範が出来るきっかけとその後の活用	三浦　定俊		
日本考古学協会の倫理綱領規定のきっかけとその後の活用実態から思うこと—博物館倫理規定は何を目指すのか—	黒尾　和久		
第六十一回美学会全国大会報告　シュルレアリスムにおける衣服と身体—切断＝裁断の概念をめぐって—	蘆田　裕史	美　　学	237
例会・研究発表会要旨　西部会　第二七八回研究発表会		〃	〃
芸術の方法とパズルのルール	東田　大志		
「かわいい」の構造	篠原　資明		
現代の美術がいる場所	宮田　徹也	美術運動	137
韓国自然設置美術グループの歴史と活動、その精神—韓国自然美術協会 YATOO(野投)と BAGGAT ART(場外美術)—	キム・ジョンギル ヨ・スンジョン　訳	〃	〃
「医学と芸術」—その狭間にあるものと、周縁にあるもの	山崎　明子	美術運動史研究会ニュース	110
近代の二つの故郷	藤井　素彦	〃	114

デトロイト：アメリカ社会フォーラム2010　社会変革とアートの新たな出会い	後藤　宣代	美術運動史研究会ニュース	115
平成二十一年度西支部例会発表要旨　昭和四年に開催された巴里日本美術展覧会について	永田真岐子	美術史	168
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉〉2010		美術手帖	933
STEP 2　6つのテーマでたどる現代アーティスト案内	保坂健二朗 土屋　誠一 松井みどり 沢山　遼 大森　俊克 難波　祐子		
STEP 3　現代アートのグランドマップ1980—2010 不完全な地図 1980年代から2000年代のアートをめぐって	長谷川祐子		
STEP 3　現代アートのグランドマップ1980—2010 混沌を抜けて進化するもの　人間化する現代美術	松井みどり		
GEISAI TAIWAN＃1 ゼロからのスタート—台湾から芸術革命	岩渕　貞哉	〃	〃
REVIEWS02 清水穣月評第19回「谷間」の制作展に思う事「京都市立芸術大学作品展」ほか	清水　穣	〃	935
REVIEWS04 とてつもない鉱脈「'文化'資源としての〈炭鉱〉」展	北澤　憲昭	〃	〃
SPECIAL FEATURE		〃	937
新世代アーティスト宣言！　PART 3　座談会：2010年代はどこへ向かうのか？	保坂健二朗、 籔前　知子、 粟田　大輔、 沢山　遼 中島　水緒 構成		
六本木クロッシング2010　「芸術は可能か？」はどこで可能か？	福住　廉		
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　瀬戸内国際芸術祭2010開催にあたって　対談＝真鍋武紀＋福武總一郎	真鍋　武紀 福武總一郎	〃	938
Special Interview 田原総一朗と語る「戦争と芸術」		〃	939
田原総一朗と語る「戦争と芸術」	田原総一朗 飯田　高誉 聞き手・文		
田原総一朗と語る「戦争と芸術」After The Interview「近代の超克」について	飯田　高誉		
SPECIAL FEATURE この夏行きたい！アートの旅		〃	940
SETOUCHI GUIDE 1　ARATAとめぐるアートの島々　瀬戸内国際芸術祭へ	市橋　織江		
SETOUCHI GUIDE 3　見どころ作品を一挙紹介！	新川　貴詩 小西智都子		
KAGAWA GUIDE 香川　瀬戸内国際芸術祭と一緒に満喫したいアートスポット	新井　貴詩		
あいちトリエンナーレ2010公式ガイドブック「アートの街」の歩き方　「先端」と「祝祭」と「複合」と	建畠　哲	〃	942
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」		〃	944
column　オープニングトークイベントレポート	石田　純子		
PEOPLE'S VOICE 佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！入來篤史	猪飼　尚司		
PEOPLE'S VOICE 佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！桐山孝司	桐山　孝司		
SPECIAL FEATURE あいちトリエンナーレ2010開幕！「都市の祝祭　Arts and Cities」	白坂　ゆり	〃	〃
神戸ビエンナーレ2011　情報コンテナ1	高橋　賢	〃	〃
INFORMATION VOICE ABRを振り返って	岡田　聡	〃	〃

INFORMATION MOVIE　60年安保をめぐる作家たちの証言	飯田　高誉	〃	〃
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT02 GEISAI/GEISAI TAIWAN	山内　宏泰	〃	945
釜山ビエンナーレ2010　進化の中の生	東谷　隆司 編　集　部	〃	946
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術アートディレクター北川フラム氏　2010年「今年のアート界の動向を考える」	北川フラム	美術の窓	316
視点　満たされない何か	武田　　厚	〃	〃
視点　2010年新春のニューヨークアートシーン(前・後編)	竹澤　雄三	〃	318、319
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　115団体に徹底アンケート　美術団体の目指すところ		〃	320
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 GEISAI＃14　現地レポート　世界のマーケットへの可能性を見いだされた期待の３作家が受賞		〃	〃
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部座談会　若き天才を見逃すな！卒展で見つけた注目の新人アーティスト	編　集　部	〃	321
戊も歩けばbeauに当たる　第九回　アール・ブリュットと自然	竹田　博志	〃	322
座談会　三都と美術—視覚文化論の視点から	鈴木　廣之、中谷　伸生、並木　誠士、原田　平作 出席者 岸　　文和 司会	美術フォーラム21	22
課外授業　美術のお時間８時間目	安井　収蔵	美術屋・百兵衛	12
展覧会へ行こう		〃	〃
03　ラブラブショー			
04　一人快芸術			
新潟文化考　長谷川栄のミューゼオロジィー—豪農の館・大地の芸術祭は愛郷心の証し—	長谷川　栄	〃	13
新潟文化考　越後妻有　アートと里山の融合		〃	〃
徳島文化考　長谷川栄のミューゼオロジィー—野外彫刻とLEDアートで沸騰の徳島—	長谷川　栄	〃	14
美術団体に見る日本美術の現況		〃	〃
瀬戸内国際芸術祭2010		〃	〃
KOBE ART MARCHÉ 2010		〃	〃
福島文化考　長谷川栄のミューゼオロジィー—温故知新、古今の名品と出逢う旅福島—	長谷川　栄	〃	15
ランシエールの芸術論への誘い—『イメージの運命』刊行に寄せて	堀　　潤之	百　　科*	571
アメリカアート事情	後藤トキ子	美連協ニュース	
バーンズ財団が新館建設に着手			105
画廊巡り楽しいニューヨーク			107
ヨーロッパアート事情　人気を集める現代作家の展覧会	今津　京子	〃	106
美術における草案の諸相	宮下規久朗	文　　学*	11−5
平成二十一年度海外展報告　アメリカ合衆国における日本古美術展「侍の芸術」	齊藤　孝正	文 化 財*	558
日本文化の世界における受容—文化庁文化交流使の視点をふまえて—	千　　宗屋	文化情報学	5
「生存のエシックス」への遡及	吉岡　　洋	視　　る	449
そこに生まれるかもしれない事態のために	木幡　和枝	ミルフイユ	2
地球ミュージアム紀行　正倉院の博物館学	五月女賢司	みんぱく	395
モノの崇拝の現在 機関研究　モノの崇拝：所有・収集・表象研究の新展開	竹沢尚一郎	民博通信	130

造り物研究の「現在」共同研究　民俗行事における造り物の多様性	福原　敏男	民博通信	131
なぜ、マス・メディアは展覧会を開催したのか	河原　啓子	武蔵野美術大学研究紀要	40
試論　2	宝木　範義	明星大学研究紀要	18
特集　徳川将軍家・島津家・毛利家　三大名家次期当主によるスペシャル座談会　歴史を遺し、文化を継承し、美を伝えてゆく先	徳川　家広、島津　忠裕、毛利　元栄、談　調所　一郎、司会	目の眼	400
特集２座談会　骨董とインターネットの最前線	編　集　部	〃	405
突飛と天才　8　天才画	春日　武彦	ユリイカ	581
特集　橋本治　『桃尻娘』から『リア家の人々』まで…無限遠の小説家　ひらがな日本史　「再創造」の美術誌	橋本　麻里	〃	582
特集　田辺聖子　失われた時と、土地の名　わんすあぽんなたいむ・いん・おおさか　田辺聖子と華やかなりしモダン大阪をめぐる断想	橋爪　節也	〃	583
特集10年代の日本文化のゆくえ　ポストゼロ年代のサバイバル　シンポジウム10年代の文化の地平	東　浩紀、福嶋　亮大、濱野　智史、黒瀬　陽平、荻上　チキ、渋谷慶一郎	〃	585
美大生のキャリア形成―他者との出会いによる「気づき」	稲垣久美子	横浜美術短期大学教育・研究紀要	5
シルクロード美術展とカタログの歩み	松平美和子	〃	〃
レビュー		ＲＥＡＲ	23
所沢ビエンナーレ美術展「引込線」	保坂健二朗		
I BELIEVE　日本の現代美術	能勢　陽子		
落石計画　第２期／Scattered Seeds「残響」展	薗部　容子		
名古屋市民芸術祭2009　主催事業　景　projection/reflection	都筑　正敏		
あいちトリエンナーレ2010プレイベント　うしろの正面―アーティストたちの誠実な遊戯	三井　知行		
クロスアート２　Artのメリーゴーランド　７人のトップランナー	高橋　綾子		
特集　I♥〔あいち〕トリエンナーレ		〃	24
インタビュー：拝戸雅彦／唐津絵理／笠木日奈子／越後谷卓司　キュレーターが語るあいちトリエンナーレ2010			
インタビュー：長谷川祐子　国際展にホスピタリティーを！			
あいちトリエンナーレ2010　共催事業　「往還」の可能性を求めて　七ツ寺共同スタジオプロジェクトのコンセプト	二村　利之		
あいちトリエンナーレ2010　並行企画「ザ・風景―変貌する現代の眼」「時の遊園地」	井口　智子		
あいちトリエンナーレ存続の方程式―市民性育てるアゴラへ―	井上　昇治		
展示評　失われた朝鮮文化遺産―植民地下での文化財の略奪・流出、そして返還・公開へ―	吉澤　文寿	歴史学研究	866
ツリーの足元芸術でつなげ　芸大、４月から新事業　台東・墨田、作品核に美術館化	杉本　宏	朝日	2.10
ツリー足元４カ所　芸術作品を設置へ　東京芸大、11月公開		〃	6.4
文化変調　第２部　ネットの荒波　中　無料公開作品の価値は　注目集まれば広がる商機		〃	6.21
七つの島　美の遍路道　瀬戸内国際芸術祭が開幕	森本　俊司	〃	7.26

文化変調　第３部「クール競争」上　韓国が狙う「文化のハブ」		〃	7.31
ビエンナーレに35万人　官民で芸術後押し	新谷　祐一		
「経済成長の原動力に」　柳仁村・韓国文化体育観光相に聞く	竹端　直樹		
文化変調　第３部「クール競争」中　中国文化海外へ攻勢　国家発展へ「軟実力」高める　蔡武・中国文化相に聞く	〃	〃	8.2
瀬戸内国際芸術祭　香川　７島　アートで活性	橋本　　卓	〃	8.21
百年企業@栃木　板室温泉大黒屋　旅館業　湯治場に現代美術の異彩	今田　幸伸	〃	9.17
再読こんな時こんな本　有隣堂たまプラーザテラス店高樋純子さんに聞く　美術館を歩く　目に見えぬ本質探しを	伊藤　千尋	〃	10.30
文化変調　崩れゆく「壇」の権威　画壇も文壇も楽壇も　芸術院　嫌気さす逸材も―土産や土下座　会員目指し事前運動		〃	11.24
文化変調　第５部　ゆらぐ権威		〃	
１　多様化する登竜門　新人集う「文学フリマ」「○×審査」			11.27
３　巨匠去り失った頂点　切磋琢磨忘れた団体「足を食べるタコ」			12.4
４　時代とずれ　芸術院　写真やファッション・映画分科なし			12.6
５　権力でなくプロ必要　多様な憧れ生まれる道は	大西　若人		12.7
５　権威たたきつぶす流行に歯止めを　評論家・山崎正和さん	中村真理子聞き手		〃
私の視点　スナップ写真　「撮る自由」いかに守るか	飯沢耕太郎	〃	12.23

ニッポン人・脈・記　仏像日和	湯瀬　里佐	朝日夕刊	
１　大日様だぞさあ大変			1.4
２　お顔あの人にそっくり			1.5
４　泥棒は手を合わせていた			1.7
６　布団まくってなでてみて			1.12
９　お隣さん、地蔵様ですよ			1.15
10　今日も２人じろじろ道中			1.18
「日常／場違い」展　ひそむ違和感　６人の視点で	小川　　雪	〃	1.13
深層新層　デジタル表現も実体化　対アナログの構図崩れる	大西　若人	〃	1.14
「医学と芸術展」「伝えたいこと」の迫力	〃	〃	1.27
アート@仏大使館盛況　旧庁舎を無償提供　「聖域」なく公開／撮影自由／ネットに口コミ	西田　健作	〃	2.10
海外通信		〃	
芸術区を襲う再開発の波　北京　転換期象徴する母胎の消失	多田　麻美		3.31
「改造歴史」展　北京　分岐路だらけの豪華な迷宮	〃		6.30
「ニュー・スピーク」展　ロンドン　奇想天外立体作品が新鮮	菅　　伸子		7.28
「烈日西蔵」展　北京　美化と現実の間のチベット	多田　麻美		9.29
「絶対距離　2010」展　北京　エイズへの理解芸術で深める	〃		12.22
印象派が目白押し　オルセー改修で今年８展　高い人気に胸算用	西田　健作	〃	4.21
彩・美・風　消え去るものと残るもの	高橋　明也	〃	6.16

能面　装束　技の粋 美術館で展示会相次ぐ	米原　範彦	朝日夕刊	6.30
「クール・ジャパン」世界進出　熱狂せず冷笑もせず	三原龍太郎	〃	9.3
仏の２基金現代作家を支援　収集が主 美術館は不要　無料で貸し出し学校や協会で展示	大室　一也	〃	10.13
邂逅　カルチャー時評　中条省平『アラマタ美術誌』の到達点	中条　省平	産　経	4.11
集う　映画「ANPO」トークセッション「どんな未来に生きたいのか」		〃	8.28
無限の“顔”を持つ日本語の豊かさ　「花椿」戦後復刊60周年記念トークイベント	黒沢　綾子	〃	10.17
証券会社がアーティスト支援		〃	11.30
建築廃材で芸術作品 壁を彩る障害者の活動　10年かけ徐々に普及　千葉県内のNPO法人	平松　功嗣	東　京	1.6
地下に広がる“無料美術館”　都内の地下鉄駅にパブリックアート　絵画、書、金属工芸ステンドグラス…　閉塞感解消へ一役		〃	1.14
未来の画伯集まれ さいたま　画家オーディション始動　作品公募→10人選抜→デビュー展確約		〃	〃
六本木ヒルズで美大生　作品前に就職活動　厳しい内定率支援でアート展　学生「一筋の希望の光のよう」	松村　裕子	〃	3.13
活動リアル　ウェブ美術部　都内の中高生　フリーペーパーも制作	小林　由比	〃	4.15
アートで連携　小学校に壁画　明るい学びやインドに贈る 都内ボランティア集団　千代田区で来月報告会	吉田　　薫	〃	4.25
地方仏の価値知って 来月13日にフォーラム　東京国立博物館で　盗難防止の啓発、捜索方法を講演	松村　裕子	〃	5.27
地方仏を守ろう　盗難防止へ大切さ説く 初のフォーラム講演会		〃	6.14
広重の「江戸百景」本に　神保町の望月さん　肖像画含む121点掲載	中山　高志	〃	8.31
私説　論説室から 日韓を行き来する文化財	山本　勇二	〃	11.24
気持ち込めアートで結ぶ　インド　東京現地小学校で始動	吉田　　薫	〃	12.16
科学で開く油絵の新しい形　コンピューター上で立体的画像 東京芸大・東工大が共同開発	稲葉　千寿	東京夕刊	1.19
美術評　「医学と芸術展」　生老病死の問題にメス	宮下規久朗	〃	1.22
日本人は美術好き 09年入場者ランキング１―４位を独占 英専門誌		〃	4.14
コンパス		〃	
美術展に行く理由	（宮）		5.1
二つの国際芸術祭	（た）		9.4
歴博「現代」展その後	（岩）		9.11
和式展示法	（典）		12.18
「文化こそ平和への道」　シンポで文化遺産保護訴え	（淳）	〃	6.8
ロボット演劇は世界初の試み　あいちトリエンナーレ2010	三沢　典丈	〃	7.23
大波小波　クール・ジャパンの勝利	尖閣諸島開発公社理事	〃	9.30
国立５館初の合同展の成果　青柳正規・国立美術館理事長に聞く　異ジャンル組み合わせの面白さ	三沢　典丈	〃	10.22
現代アートで読み解く人類学的テーマ 中沢新一さんに聞く「変身」に挑む	〃	〃	12.10
次の10年へ　未来を読む　地方発エネルギー　人を引き寄せる芸術の力　町ぐるみアートでにぎわい		日　経	1.1
“資料”と“美術”身近に　「医学と芸術」展	宝玉　正彦	〃	2.3

古来の作法親子で研究　朝廷・武家に関する「有職故実」、日本史・国文学の礎	鈴木　眞弓	〃	3.3
日本のモードけん引50年　雑誌「ハイファッション」休刊、人・芸術・文学も奥深く	田口　淑子	〃	3.17
幻獣十選１～10	立川　武蔵	〃	4.8、9、13、15、16、19～23
BASARA十選１～10	天明屋　尚	〃	5.3、4、7、10、11、13、14、17～19
オルセー美術館展2010　きょう開幕　見逃せない名画　あなたの１枚は？　見たい作品電子版で聞きました　モネとゴッホ人気二分	宝玉　正彦	〃	5.26
半歩遅れの読書術　絵本のマニエリスム　迷宮としてのプラハの町	高山　宏	〃	5.30
アートの街に清澄白河変身　ギャラリー集積、商店街とタッグ　若手芸術家を育てる		〃	6.2
絵画の流通業界に激震　鑑定目的の縮小カラーコピーは「著作権侵害」　芸術に絡む利害　ルール作り急務	三宅　伸吾	〃	7.5
文化往来　「美術館にアートを贈る会」寄付集め着々		〃	7.15
瀬戸内の文化に触れる芸術祭　島と海、アートで再生	小川　敦生	〃	8.14
沖縄風土と女性十選１～10	翁長　直樹	〃	8.19、23、24、26、27、30、9.2、3、6、7
美術になった猫十選１～10	竹内　浩一	〃	9.9、10、14、16、17、20、21、23、24、27
どうぶつのかたち十選１～10	岩合　光昭	〃	9.28、30、10.1、4、5、7、8、11、14、15
知られざる切手アート十選１～10	田辺　龍太	〃	10.18、19、21、22、25、26、28、29
アートを支える人々		〃	
上　「見る」から共に創造へ	窪田　直子		11.4
中　個人が収集、作家を応援	富田　律之		11.5
下　展覧会や画廊に新風　美術家、自ら仕掛ける　現場熟知、積極的に企画	小川　敦生		11.6
岩渕・慶大教授に聞く　市民支援の仕組み必要　行政・企業に依存せず	岩渕　潤子 窪田　直子 聞き手	〃	〃
ポスタースタンプ　知られざる大衆広告	河尻　　定	〃	11.11
世界　いまを刻む　パリ芸術家村　パトロンは市　不法占拠は昔　アトリエ安く提供　若い才能を吸引	古谷　茂久	〃	11.21
はてなの芸術十選１～10	長澤　章生	〃	12.10、14、16、17、20、21、23、24、27、28
国際文化フォーラム特集		〃	12.24
東アジアにおける文化の多様性	スリン・ピッスワンカン・ギホン 青木　保 近藤　誠一		
文化観光大国めざす	三輪　嘉六 田中　浩二 王　　軍 ユ・ビョンハ 高田　知仁 ジェームス・トーマス・ユーラック		
芸文余話　文化芸術はなぜ必要か	内田　洋一	日経夕刊	1.9
百貨店、原点に戻り文化再興を　カギは「見る楽しみ」の引力	海野　　弘 白木　緑 聞き手	〃	3.17
日用品でアート　縛り解けた作家　プラスチック玩具で「怪獣」…	小川　敦生	〃	3.29
自由席　アートを面白がる若者たち[六本木アートナイト]	(敦)	〃	4.6
離島に集う		〃	
上　自然はアートだ			4.26
中　観光も伝統も大事に			4.27
「イケてる」仏像若者にブーム　仏教に触れる契機に	みうらじゅん 田村　宏済 聞き手	〃	4.28

美術家と企業が連携商品開発彩るアート	小川　敦生	日経夕刊	5.18
らいふプラス　瀬戸内海　観光でにぎわう集落　現代アート島の人情に花	若杉　朋子	〃	6.26
モノの意義、アートで再考　廃材から「原初」の胎動	小川　敦生 関　優子	〃	7.27
あすへの話題		〃	
北京芸術事情	コシノジュンコ		8.11
芸術の社会的役割	村上陽一郎		9.16
仏像ブームに通じる妖怪への関心　非日常に触れ安らぎ	小松　和彦 小橋　弘之 聞き手	〃	8.25
見えていない自分を見て　意外と無頓着「属性」テーマに展覧会	佐藤　雅彦 小川　敦生 聞き手	〃	9.8
らいふプラス　こんぴらアートの粋　香川・琴平町　新旧競演　応挙や若冲も	野村　浩子	〃	12.15
地域と文化「連帯」進む　企業メセナ協議会、過疎地支援促す	内田　洋一	〃	12.20
キャンパスウォークこれが評判！　バナナ繊維から衣類　多摩美術大　19日から作品展	小泉　大士	毎　日	1.8
質問なるほドリ	岸　桂子	〃	
長谷川等伯展など日本美術が人気の理由は？			2.28
トリエンナーレって何？			6.6
郊外で美術を楽しむベルギー・フランダース地方　田園風景時を超えて　画家にちなんだ町おこしも	〃	〃	6.22
ウィーンで北朝鮮展芸術か政治宣伝か国立美術館提供に批判　来館者「ナチス時代とそっくり」	樋口　直樹	〃	7.26
北海道の旬味わいつつ　日本画鑑賞を立川のホテル　新進気鋭３人が展覧会	斉藤三奈子	〃	9.15
毎日新聞社会事業団賞　伊藤わかなさん肢体不自由児・者の美術展	中継　汀	〃	11.27
日中仏　知的障害者が美術展　町田の川添さん絵を初出品　作品集表紙に選ばれる	浅野翔太郎	〃	12.15
アートの風　１月「オブジェの方へ」展美術へ化けた書物の種々相	三田　晴夫	毎日夕刊	1.13
人間の欲望うずまく美術の裏面史をえぐる　NHK―BShi「贋作の迷宮」	栗原　俊雄	〃	1.15
ワイド視聴室　仏像大好。「奈良の十一面観音めぐり」　まるで実地講義のように	高橋　咲子	〃	1.23
人・模・様　仏大使館で見る現代アート	西川　恵	〃	〃
「あいちトリエンナーレ」21日開幕　24の国・地域から130組参加　愛知で初、テーマは「都市の祝祭」		〃	8.16
北京「芸術区」バブルの縮図　再開発立ち退きに強引な手段	関　泰晴	読　売	3.6
美大生「就活アート展」　きょうから500社の人事担当者招待		〃	3.12
地域をつなぐ創作拠点　アーティストが運営　「地方発」も応援	高野　清見	〃	4.1
旅に出ようよ！　注目観光地４　瀬戸内国際芸術祭　アートも楽しむ島巡り		〃	5.3
デザイン季評　「読書」正反対のアプローチ	生井　英考	〃	5.27
文化外交今こそ強化仏での成功　専門官育成を	渡邊　啓貴	〃	6.14
記者ノート　日本の美術状況　出版形態が示唆	前田　恭二	〃	7.8
瀬戸内国際芸術祭島の自然・歴史　美と一体　18か国・地域から75組	木村　未来	〃	7.29
スカイツリー　芸大生ら作品案　墨田区役所で展示　個性派オブジェで彩り		〃	8.4
印象派当たり年　欧米の大美術館協力で	市原　尚士	〃	8.12

上海万博の文化性 330作品集めた中国のプライド	菅原　教夫	〃	8.14
アウトサイダー・アート　障害者の表現も垣根なく　増える並列的展覧会	前田　恭二	〃	8.23
パリ彩るショーケース　資生堂	宮智　　泉	〃	10.4
歴史フォーラム2010 正倉院と東大寺	杉本　一樹、森本　公誠、さだまさし　内藤　啓史司会	〃	10.10
創造神話　アジア編集者会議　美術の今カネ抜きに語れず	菅原　教夫	〃	10.14
アートで彩る療養空間　芸術系大学と医療・介護施設が連携	梅崎　正直	読売夕刊	2.16
美術検定　「美」の感動伝える力　11月7日全国5会場　申し込み来月29日まで	菅谷　千絵	〃	8.17

日本美術史

その美、“天”に通ず—天皇・美術表現の変遷史	アライ＝ヒロユキ	あいだ	168
連載　戦時下日本の美術家たち	飯野　正仁	〃	
第35、36回　雑誌の戦力化—戦時下に於ける美術誌としての矜持　1、2			168、169
第37回　戦没画学生　1　東京美術学校			170
第38回　戦没画学生　2　京都市立絵画専門学校　京都市立美術工芸学校			171
連載エッセイ　「日本の表現主義」展(2)「近代vs日本」としての表現主義	速水　　豊	〃	173
秋田の美術によせて5—原始美術(2)—	河野　元昭	秋田美術	46
古典化するキャラクター　『少女の友』商品と舞妓キャラクター—〈「だらりの帯」の後姿の舞姫〉の定着	牧野　和夫	アジア遊学	130
山積みされた天神堂—キャラクター消費の文化史—	大門　　哲	石川県立歴史博物館紀要	22
北国版画協会の歩み	本谷　文雄	〃	〃
堺・博覧会の時代	山田　俊幸	一　　寸	43
新・旧刊案内44　救荒植物と自筆本魯庵随筆(2)	青木　　茂	〃	44
「小川芋銭と珊瑚会の画家たち」展　珊瑚会をめぐって	H.　K.	A　A　C	64
平成二十年度博士論文(課程)要旨		大阪大学大学院文学研究科紀要	50
俳句革新運動と造形美術の連関—写生論再考を軸として—	大廣　典子		
「工芸」と「美術」のあいだ　明治中期の京都の産業美術	平光　睦子		
日本葉書会—日露戦争期における絵葉書ブームと水彩画ブームをめぐって	向後恵里子	学術研究	58
中華独立美術協会と一九三〇年代の東京—NOVA美術協会展出品作をめぐって—	呉　　孟晋	学　　叢	32
式場隆三郎と「病的絵画」の終息についての一考察—1930年代末の「前衛性」回避という問題	大内　　郁	カリスタ	17
柏舟社の活動—木村定三コレクションにふれて	上薗　四郎	木村定三コレクション研究紀要	2009年度
展覧会予告　京都市美術館コレクション展第2期　京の閨秀・女流・女性画家—担ったもの／担わされたもの	尾崎　眞人	京都市美術館ニュース	199
展覧会紹介		〃	200
所蔵品展　画家たちのヨーロッパ—浅井忠・太田喜二郎とその系譜—	安河内宏法		
京都市立藝術大学創立130周年記念展　京都日本画の誕生—巨匠たちの挑戦—	尾崎　眞人		
研究発表〈要約〉		近代画説	19
〈来京外国人向け〉の美術工芸品の“輸出”	太田　智己		
古都の近代と京都イメージ	高木　博志		
『萬朝報』の「端書ポンチ」　1917年から1924年までの常連投稿者とその特徴	吉崎　真弓	芸術学研究(筑波)	14

上野の杜の波瀾万丈 第9回　戦中の教官総辞職	吉田千鶴子	芸大通信	20
国華余話(十三)索引(二)	水尾比呂志	国華清話会会報	15
2009年の歴史学界—回顧と展望—		史学雑誌	119－5
日本　古代一〇	佐々木守俊		
日本　中世一〇	内田　啓一		
日本　近世一四	成澤　勝嗣		
日本　近現代一一	桑原　規子		
時評5　「京都　日本画新展」を観賞して	高梨　純次	視覚の現場　四季の綻び	4
ジョルジュ・ド・トレッサンの日本絵画史—やまと絵評価をめぐって—	南　明日香	ジャポニスム研究	30
展覧会評　「『白樺』誕生100年　白樺派の愛した美術」展	鈴木　禎宏	〃	〃
街角アート　銀ぶらとショウ・ウィンドウ	星野　清一	新美術新聞	1228
「池袋モンパルナス」に関する二、三の考察	秋山　伸一	生活と文化	19
明治二八年開催「時代品展覧会」について—最初の日本美術史大展覧会の内容と開催経緯—	越前　俊也	同志社大学博物館学年報	41
特集　近代の東アジアイメージ		豊田市美術館紀要	3
現在、日本近代美術がどうアジアを描いてきたかを問うということ—中央官展における〈朝鮮〉表象を事例として—	千葉　慶		
史料　旧関東州における展覧会制度	江川　佳秀		
ひとり語りの現代美術史　90年代より現在まで	福田久美子	名古屋造形大学紀要	16
「絵画の約束」論争—「印象」から「象徴」に向かう時代のなかで	吉本　弥生	日本研究	41
帝国古蹟取調会と学者たち—〈顕彰〉と〈保存〉の交錯—	齋藤　智志	日本歴史	746
所蔵資料から　『白樺』の美術活動を語る資料	福島さとみ	美愛眞	18
第六十一回美学会全国大会報告　〈家屋装飾術〉考—日伊英間の外交として見た工部美術学校—	河上　眞理	美　学	237
第六十三回全国大会研究発表要旨　近代日本における縄文土器の受容—文様から全体造形への階梯—	鈴木　希帆	美術史	169
欧米における日本の画史・画論の受容について(一、二)	石川千佳子	宮崎大学教育文化学部紀要	22、23
批評　なぜ現在「日本近代美術はどうアジアを描いてきたか」を問うのか　「オリエンタリズム批判」再考・序説	千葉　慶	REAR	23
特集　I♥〔あいち〕トリエンナーレ　戦後名古屋の現代美術史入門		〃	24
第1章　1945～69年　中部の美術水脈	三頭谷鷹史		
第2章　1970～79年　自主的な活動の場に向けて	中村　英樹		
第3章　1980～85年　名古屋市美術館開館前夜：80年代前半、逸脱する場と作家の力	高橋　綾子		
第4章　1986～89年　国際化する名古屋の現代アートシーン—1980年代末を中心に	山脇　一夫		
第5章　1990～99年　地域コンプレックスを超えて：美術館、ギャラリー、そしてオフ・ミュージアムの動向	高橋　綾子		
第6章　2000年～名古屋、現代アート：90年代後半からゼロ年代へ	小西　信之		
鹿児島ゆかりの洋画家たちの師弟関係	肥後　盛秋	黎明館調査研究報告	23
展示評　近代の東アジアイメージ—日本近代美術はどうアジアを描いてきたか—	千葉　慶	歴史学研究	865
芸術家たちの衣服—日本におけるルパシカのイメージ—	喜多　孝臣	早大會津八一記念博紀要*	11
百貨店発隠れた美術史　高島屋貿易部120年、京都の画家と職人のコラボ輸出	広田　孝	日経	8.11

らいふプラス　山里に北斎ミステリー　パトロンの豪商を監視？	小林　明	日経夕刊	9.29
大逆事件と美術　権力への挑戦的な風刺、表現のアナーキー　挫折から豊かに成熟	足立　元	毎日夕刊	4.2
なお続く「具体」検証の動き　欧米で再評価先行、日本で機関誌復刻	平井　章一	〃	7.27

海外美術史(アジア)

「いましかない時間、ここでしかない場所、そして私だけの真実」—中国における近代と前衛	高　銘潞	あいだ	176
中国における現代美術の動向について	小松崎拓男	金沢美術工芸大学紀要	54
通信 J to A　アジアへ	黒田　雷児	新美術新聞	
9　ネパール2　それぞれの「近代」の継承には…			1214
10　眼差しの交差へ—植民地時代の東アジア美術			1216
14　釜山美術の光と影—「地方美術」は可能か			1227
『サライ・アルバム(宮廷詩画帳)』(トプカプ宮殿美術館蔵)に描かれた音楽・舞踏(5)	松本奈穂子 小柴はるみ	東海大学紀要教養学部	40
「貸出借入既済書類綴」所収　英国国際支那美術展覧会関連文書について	芹生　春菜	東京芸術大学大学美術館年報	H20年度
初期万国博覧会に見られる「中国趣味」から「日本趣味」への趨勢について	馮　赫陽	東アジア文化交渉研究	3
特集　アジア美術的〈近代〉		美術フォーラム21	21
アジア美術的〈近代〉	後小路雅弘編集		
第2部　〈コラム2〉都市に生きているアート—バングラデシュ、ダッカの町から	五十嵐理奈		
第2部　東南アジア島嶼部の近代美術　フィリピン、インドネシア、シンガポール、マレーシア	後小路雅弘		
第2部　〈コラム3〉パリ美術の特異性	〃		
第2部　東南アジア大陸部の近代美術　ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ	〃		
第2部　東アジアI　中国・モンゴルの近代美術	ラワンチャイクン寿子 後小路雅弘		
第2部　〈コラム5〉アジアにおけるプロパガンダと美術	後小路雅弘		
第2部　東アジアII　台湾・朝鮮半島の近代美術	ラワンチャイクン寿子 後小路雅弘		

海外美術史(その他)

ギリシア美術史と現代彫刻4　肉体と衣装の造形　—肉体は思想、衣装はそのレトリック—	中山　典夫	あーとらいぶらりー	11
古代イタリア半島における貴金属工芸—技法・形態・用途—	宮永　郁恵	愛知県立芸術大学紀要	39
ロシアの夢1917—1937	千葉真智子	アルカディア	43
ヴァゼッリ礼拝堂の舗床タイル—ルネサンス期のマヨリカ陶芸の一局面—	宮永　郁恵	五浦論叢	17
ペトラルキスムと涙のドゥヴィーズ	徳井　淑子	お茶の水女子大学人文科学研究	6
特集　海港都市国際学術シンポジウム「越境する人々とナショナリズム」17～18世紀におけるオランダ芸術とバルト海空間	朴　泯洙	海港都市研究	5
Maestro di prospettivaの表象と素材について—イタリア・ルネサンスのタルシア(木象嵌)の研究方法にふれて—	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	54
ヴェラール版『変身物語』La Bible des poètes 研究	保井　亜弓	〃	〃
ジャポニズムの一源流　ハプスブルク家コレクションにおけるジャポネズリー	佐野　仁志	京都嵯峨芸術大学紀要	35
研究ノート　《ファン・ロイエン花鳥画》の作者再考	中村　俊春	京都美学美術史学	9

研究発表〈要約〉　一九一〇年日英博覧会における「日本美術」の表象およびイギリスにおける浮世絵版画の受容	板橋　美也	近代画説	19
中世工匠建築家による建築幾何学の実践	藤本　康雄	芸術文化研究	14
「アヴァンギャルド芸術家」初出資料（一八二五）の再検討	塚原　　史	国学院雑誌	1243
資料翻訳　カーレル・ファン・マンデル『絵画書』より（2）	幸福　　輝	国立西洋美術館研究紀要	14
連載　古代ローマの建築（3）	堀　　賀貴	古代文化	579
展覧会・イベントから		視覚の現場　四季の綻び	
1　シャルル豪胆公―最後のブルゴーニュ公の栄光と破滅―	平川　佳世		5
1　聖なるものが現れた　The Sacred Made Real　スペインの絵画と彫刻：一六〇〇―一七〇〇	岡田　裕成		6
『十三世紀フランス語聖書』(Bible française du XIIIe siècle)彩飾写本研究：〈パリ―アッコンの画家〉帰属作品について	駒田亜紀子	実践女子大学美学美術史学	24
シンポジウム報告　国際シンポジウム「知られざる英語圏のジャポニスム」	下田　智子 粂　　和沙	ジャポニスム研究	30
13世紀中部イタリアの「聖女の墓参」の図像について―聖女達の表現を中心に―	小野　迪孝	東海大学紀要教養学部	40
大戦間のチェコにおけるシュルレアリスム運動の展開と特質	神保　京子	東京都写真美術館紀要	9
金の道（七～九）	中野　　徹	陶　　説	683～685
須磨コレクションの調査報告（二）	メルセデス・アゲダ・ビリャール 久々湊直子、諸星　妙　訳	長崎県美術館研究紀要	3
講演会　借用から斬新へ―日本美術が19世紀の芸術家たちに与えたもの	隠岐由紀子	日仏美術学会会報	29
例会発表要旨		〃	〃
第113会例会：20世紀のプリミティヴィスム　プリミティヴィスム再考	稲賀　繁美		
第114回例会　ウェロニカと印章―『グルベンキアン黙示録』の一挿絵をめぐって	木俣　元一		
アンドレ・フェリビアン著「フィリップ・ド・シャンパーニュ伝」……一六二〇―四〇年代における宗教画制作を視点に考える	木村　三郎	日本大学芸術学部紀要	51
アルテ・ポーヴェラと都市空間―1960年代のトリノを例として	池野　絢子	美　　学	236
第六十一回美学会全国大会報告		〃	237
イメージの起源への探求―初期先史学におけるイメージの発見とその「真正性」―	唄　　邦弘		
フランス植民地教育と「黒人芸術」との交差―ジョルジュ・アルディを中心に―	柳沢　史明		
例会・研究発表会要旨　東部会		〃	〃
平成二二年度第一回例会　ジュリオ・カミッロ『模倣論』精読―マニエリスム再検討のための一次資料研究―	足達　　薫		
平成二二年度第二回例会　アンリ・フォシヨンと歴史学の転回	阿部　成樹		
平成二二年度第三回例会　一六世紀前半の北イタリア小宮廷におけるパトロネージ―ベルガモ郊外マルパーガ城のフレスコ画連作と君主称揚プログラム―	鈴木　幸野		
海馬の変容―古代・アンティーコとアントニオ・ロンバルド―	石井　元章	美術史	168
ウィーン、シュテファン大聖堂の建築空間―後期ゴシック建築におけるネット・ヴォールトの造形分析―	岩谷　秋美	〃	〃

平成二十一年度東支部例会発表要旨　ヴェズレー再考—玄関間扉口の諸問題と3Dモデリング—	ダーリング　常田益代	〃	〃
第六十三回全国大会研究発表要旨　帝政末期のロシア美術における日本美術の受容	福間　加容	〃	169
機械仕掛けのタブロー　アルフレット・シャピュイ／エドゥアール・ジェリ	田中　正之　解説・翻訳	美術史論叢	26
ウフィツィ美術館自画像コレクション関連の資料から	浦　一章	〃	〃
アントニオ・パッツィ自画像コレクションの実態—ウフィツィ美術館自画像コレクション形成史との関係で—	小佐野重利	〃	〃
『ビーブル・モラリゼ』における場面の選択について—レイアウトと改変された聖書物語—	村山いくみ	文化資源学	8
《バイユーのタピストリー》の色彩に関する覚書	小野寺玲子	横浜美術短期大学教育・研究紀要	5
ボストン美術館展　西洋絵画の巨匠たち　時代や国超えた巨匠たち　47人の80点、テーマ別に	高木　友絵	朝　日	2.9
古代メキシコ・オルメカ文明展—マヤへの道　謎深き母なる文明	奥山　敦	〃	10.3
美の扉　私は何者？　終わりなき対話　ウフィツィ美術館「自画像コレクション」画家の系譜後世へ	黒沢　綾子	産　経	10.17
ナポリが抱える「光と闇」　ナポリ・宮廷と美　カポディモンテ美術館展　ルネサンスからバロックまで		東　京	3.1
「レンバッハハウス美術館所蔵　カンディンスキーと青騎士」色彩とフォルムの表現	高橋　明也　杉山奈穂子	〃	11.22
オルセー美術館展2010		日　経	
夢描いたポスト印象派　自らの内面見つめ全身全霊ささげる	窪田　直子		5.20
ポスト印象派とジャポニスム　色彩や構図、浮世絵がヒント　日本の美から高み目指す	馬渕　明子		〃
傍流の系譜脈々と	宝玉　正彦		〃
こう楽しむ　水—近代化の象徴　新時代導く水の情景　色の交響　踊るカンバス	小川　敦生		6.5
こう楽しむ　人物画—にじむ内面性　世紀末生きる姿に脚光　あふれ出る親愛の情	窪田　直子		6.19
こう楽しむ　夢—はばたく想像　楽園への礼賛　漂う神秘性　歴史画よみがえる幻想	〃		7.3
ゴッホ巡礼　日本人の足跡　終焉の地で芳名録発見、多くの文化人の名記す	尾本　圭子	〃	5.26
発掘続くエジプトの神殿遺跡　クレオパトラどこに眠る…	和田　浩明	毎　日	7.3
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」　芸術家の情熱今に　来月4日東京・渋谷で開幕　Bunkamuraザ・ミュージアム	岸　桂子	〃	8.4
古代ローマ優雅な日々　ポンペイ展	浅香　正　談　鷲見　一郎	読売夕刊	3.17

保存修復

鎌倉別館収蔵庫の空気環境調査と考察	伊藤　由美	神奈川県立近代美術館年報	2008年度
平成21年度金沢学院大学「公開講座」　第III部美術文化学部「公開講座」　C部：文化財学科主催　テーマ：「文化財の保護と活用」	湯山賢一他	金沢学院大学紀要*	8
日本海海域における水中文化遺産調査概報—平成21年度—	佐々木達夫　ほか	金沢大学考古学紀要	31
放射性炭素年代測定のための液体シンチレーション計測の改善II	木庭　元晴　米田　文孝　影山　陽子　佐藤　ふみ	関西大学博物館紀要	16
国宝高山寺石水院部材の年輪年代測定	光谷　拓実	〃	〃
研究ノート　土器に付着した白色物質の推定に関する予察	加藤　和歳	九州歴史資料館研究論集	35

慶応義塾所蔵作品調査・保存活動		慶応義塾大学アート・センター年報	17
作品研究　長谷川利行《カフェ・パウリスタ》収蔵の経緯と修復・分析の報告	保坂健二朗	現代の眼	584
2010年日本建築学会賞(技術)　国宝・唐招提寺金堂の保存修理における構造解析を中心とした科学的手法の展開	長瀬　正 佐分利和宏 楠　寿博 今西　良男	建築雑誌	1607
特集　エフェメラ(ephemera)―短命な建築媒体を後世に―		〃	1610
第二部〈課題〉在来の媒体はどう生き残るか　論考3　媒体を短命にする要因	青木　睦		
第四部〈展望〉千年先を見て　事例1　環境を整える―包材開発の現場から	神谷　修治		
第四部〈展望〉千年先を見て　事例2　寿命を延ばす―修復の現場から	安田　智子		
第四部〈展望〉千年先を見て　座談会　短命な建築媒体を後世に	竺　覚暁、 松岡　資明、 中谷　礼仁、 後藤　治 山口　俊浩、 森本　英裕 聞き手		
特集　平城遷都1300年考　第一部　論考4　庚戌国恥100年を迎えたソウルにおける建造物の復元と修復	禹　東善 金 玟淑 訳	〃	1611
赤外線デジタルカメラによる木簡調査法	中川　正人	滋賀県文化財保護協会紀要	23
博物館活動における修復事業の支援―地域連携のモデルケースとして―	井上ひろ美	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	26
修理報告　紙本着色若衆図　岩佐勝重筆一幅	藤本　淳三	〃	〃
金属製遺物に付随する乾燥木材の樹種同定―刀剣類の柄と鞘の用材選択―	西尾太加二	静岡県埋文研究紀要*	16
《武蔵野図屏風》修理報告		静岡県立美術館紀要	25
特集：御後絵の復元		首里城研究	12
「御後絵」復元の意義	高良　倉吉		
「御後絵」復元事業の経過報告	福島　清		
「御後絵」復元事業の経過報告「御後絵」復元事業の経過報告―	上江洲安亨		
琉球絵画および関連作品の彩色材料調査	早川　泰弘 吉田　直人 佐野　千絵 三浦　定俊		
御後絵のモノクロ乾板写真から色を読み取る試みについて	吉田　直人		
中国絵画に用いられている彩色材料	三浦　定俊		
講演録：琉球絵画の顔料分析について	三浦　定俊 吉田　直人 佐野　千絵		
正倉院における空気汚染調査―そのあゆみと最近の調査の結果―	成瀬　正和 中村　力也	正倉院紀要	32
年次報告	成瀬　正和 ほか	〃	〃
天平建築の修理と復元	鈴木　嘉吉	絲綢之路	62
ダルヴェルジン・テパ出土　王族塑像の修復	犬竹　和	シルクロード研究	6
添付資料　ウズベキスタン出土塑像のXRF・XRD分析結果	早川　泰弘	〃	〃
ダルヴェルジン・テパ出土壁画の保存	アクマル・ウルマソフ ユリヤ・シュチ	〃	〃
兵庫県立歴史博物館蔵の国宝浄土寺浄土堂保存古材の年輪年代調査	光谷　拓実 菅澤　茂	塵　界	21
X線CTを利用した殷周青銅器の構造解析(I)―館蔵爵・罍の調査―	今津　節生 ほか	泉屋博古館紀要	26
本殿・拝殿の保存修理事業について	小林冨士夫	全文連会報	77
開館十周年記念　特集・多摩美術大学美術館　唐招提寺金堂荘厳展―平成の大修理・よみがえる天平の彩り		たまび	55
資料の保存と修復―アジアの資料保存を再考する―	坂本　勇	千葉県の文書館	15

動向　史料利用・保存問題　シンポジウム「地域の史料保存と人材育成―その現状と課題―」参加記	佐藤正三郎	地方史研究	343
動向　文化財保存問題　「十条冨士塚」の保全をめぐって	中山　学	〃	347
ガッラ・プラチディア廟モザイク壁画保存修復調査（２）	工藤　晴也	東京芸術大学美術学部紀要	47
エパネチニコフ工房作「機密の晩餐」イコン修復報告	田中智恵子 木島　隆康 宮田　順一	〃	〃
文化財に影響を与える木材揮発成分の効果的な除去方法開発の試みII―ベイスギを対象に―	及川　規	東北歴史博物館研究紀要	11
資料紹介　屋代遺跡群出土土器における化学分析の試行	水沢　教子	長野県立歴史館研究紀要	16
研究報告　黒塚古墳出土鉄製遺物の保存修理	高妻　洋成 降幡　順子 脇谷章一郎 肥塚　隆保	奈良文化財研究所紀要	2010
高御座の「外観をイメージできる実物大模型」	小野　健吉 加藤　真二 箱崎　和久	〃	〃
近年の輪王寺指定建造物修理の概要報告	浅尾　和年	日光山輪王寺	78
寺宝修理報告		〃	78、79
関野克の登呂遺跡住居復原案の形成過程と「復元」の基本方針	青柳　憲昌	日本建築学会計画系論文集	654
シリーズ　新自由主義時代の博物館と文化財　歴史資料ネットワークによる水損史料救出活動について―2009年台風９号への対応を中心に―	松下　正和	日本史研究	575
第９回研究会講演　法隆寺金堂壁画の保存とコロタイプ版複製	有賀　祥隆	玻璃彩*	8
解説コロタイプ10　コロタイプの画像保存性について		〃	9
博物館資料から見た小袖―展示・修復・復元に関する諸問題―	河上　繁樹	美学論究	25
平成二十一年度東支部例会発表要旨　正倉院宝物の保存と研究	成瀬　正和	美術史	168
紙の保存と湿度	辻本　直彦	百万塔	136
ずいひつ　繊維分析の思い出	宍倉　佐敏	〃	〃
江戸時代後期の兵庫県内産やきものの胎土分析について	三辻　利一 仁尾　一人	兵庫陶芸美術館研究紀要	5
年輪年代法による法隆寺西院伽藍の総合的年代調査	光谷　拓実 大河内隆之	仏教芸術	308
特集　平城遷都一三〇〇年　大極殿の復原事業	島田　敏男	文化財*	556
特集　伝統的建造物群保存地区―この10年、これからの10年		〃	559
伝建地区制度における調査と保存計画	上野　勝久		
伝建地区における修理と修景	宮本　雅明		
がんばる職人・建築士―日田市豆田町伝統的建造物群保存地区―	今村　華子		
キトラ古墳に関する保存・活用事業の進捗状況について	文化庁古墳壁画室	〃	560
新選定物件に関する寄稿論文　真壁の町並みと保存運動	寺崎　大貴	〃	562
口絵解説　高松塚古墳壁画の現状と修理記録	宇田川滋正	〃	563
特集　高松塚古墳壁画の劣化原因調査		〃	〃
座談会　高松塚古墳壁画の劣化原因調査を終えて―未来へ向けて―	永井　順國 北田　正弘 三輪　嘉六 関　義清		
発掘調査からみた壁画の保存環境	松村　恵司 廣瀬　覚		
コラム　地震被害へのアプローチ―墳丘地盤の動的解析―	三村　衛		
環境調査の概要	石崎　武志 鉾井　修一 小椋　大輔		
生物調査の概要	木川　りか		
材料調査の概要	肥塚　隆保 高妻　洋成		
壁画修理の現状	川野邊　渉		
連載　文化財を記録する		〃	
35　高松塚・キトラ古墳壁画の修理記録	山本　記子 小笠原具子 亀井　亮子		563
36　美術工芸編　考古資料の記録―実測図・拓本・写真―	豊島　直博		564

39　発掘調査の記録手法が変わる―『発掘調査のてびき』に見る40年の変化―	水ノ江和同		567
表紙解説　国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設修理作業室における劣化原因調査の様子―白虎周辺の観察―	建石　徹	文化財*	563
特集　古代ガラスと考古科学　コラム　天然ガラスを用いた文化財・文化財研究	〃	〃	566
文化財建造物保存修理の現場から　知恩院本堂(御影堂)及び集会堂ほか二棟		文化財レポート	23
「国宝平等院鳳凰堂内西面扉絵日想観」の学術的復元模写による保存に関する研究	荒木　恵信	鳳翔学叢	6
平等院鳳凰堂西面扉絵「日想観図」の図像と彩色に関する科学調査	早川　泰弘 城野　誠治	〃	〃
平院鳳凰堂扉絵修理報告等	馬場　良治	〃	〃
平等院鳳凰堂ベンガラ系塗料の耐光性に関する研究Ⅱ　新たなベンガラ系塗料の耐光性試験と鐘楼での屋外暴露試験	稲葉　政満 ほか	〃	〃
文化財公開施設等におけるATP拭き取り調査の活用について	間渕　創 木川　りか 佐野　千絵	保存科学	49
国宝伴大納言絵巻の蛍光X線分析	早川　泰弘 城野　誠治 黒田　泰三	〃	〃
初期の日光社寺建造物に使用された赤色塗料材料に関する調査	北野　信彦 本多　貴之 佐藤　則武	〃	〃
土質遺構露出展示保存のための基礎的研究―土中水のポテンシャル制御による遺構安定化の試み―	脇谷草一郎 高妻　洋成 肥塚　隆保	〃	〃
高松塚古墳石室内・取合部および養生等で使用された樹脂等材料のかび抵抗性試験	木川　りか ほか	〃	〃
過去の高松塚古墳石室内の温湿度変動解析		〃	〃
(2)―墳丘部表面の植生等の変化が石室内温度変動に与える影響―	小椋　大輔 鉾井　修一 李　永輝 石崎　武志		
(3)―吸放熱パネルへの送水温度および入室が石室内温湿度変動に与える影響―	〃		
高松塚古墳墳丘部の動的解析	三村　衛 長屋　淳一 石崎　武志	〃	〃
発光ダイオードを光源とした赤外線撮影について	吉田　直人	〃	〃
文化財のX線透過撮影時における照射条件評価法の開発	犬塚　将英	〃	〃
伊藤若冲『動植綵絵』に見られる青色材料	早川　泰弘 太田　彩	〃	〃
文化財保存のための保管空間に影響するガス放散体の簡易試験法	呂　俊民 佐野　千絵	〃	〃
Foxingから分離された真菌ならびにfoxing要因菌の色と蛍光スペクトルに関する考察	吉川也志保 吉田　直人 木川　りか	〃	〃
重要文化財及び史跡熊野磨崖仏における磨崖仏表面のクリーニング	森井　順之 川野邊　渉 柏谷　博之	〃	〃
輪王寺本堂の虫害破損について	原田　正彦 ほか	〃	〃
日光山輪王寺本堂におけるオオナガシバンムシの発生状況に関する調査について	小峰　幸夫 ほか	〃	〃
穿孔抵抗測定法を用いた文化財建造物の構造部材の虫害評価に関する一考察(第2報)―日光輪王寺における虫害を事例として―	藤井　義久 ほか	〃	〃
X線CTによる被害材の調査と虫害の活動検出への応用	鳥越　俊行 ほか	〃	〃
デジタル画像撮影による高松塚古墳壁画表面状態の調査	吉田　直人 ほか	〃	〃
高松塚古墳石室内より分離された主要な微生物のギ酸・酢酸生成能	佐野　千絵 西島美由紀 喜友名朝彦 立里　臨 杉山　純多	〃	〃
高松塚古墳壁画修理施設における生物対策について	木川　りか ほか	〃	〃

高松塚古墳・キトラ古墳石室内の微生物分離株のアルコール系殺菌剤資化性試験	木川　りか 佐野　千絵 喜友名朝彦 立里　臨 杉山　純多	〃	〃
高松塚古墳石室および周辺部由来カビの薬剤に対する馴化	高鳥　浩介 久米田裕子 木川　りか 佐野　千絵	〃	〃
高松塚古墳石室および周辺部由来カビの温度帯による生理的性状—発育性および色調変化—	高鳥　浩介 高鳥美奈子 久米田裕子 木川　りか 佐野　千絵	〃	〃
キトラ古墳の微生物調査結果と微生物対策について(2009)	木川　りか ほか	〃	〃
タジキスタン国立古代博物館が所蔵するソグディアナ出土壁画の保存修復—カライ・カフカハ遺跡出土壁画 KH７—１の事例—	松岡　秋子 島津　美子 邊牟木尚美 影山　悦子 山内　和也	〃	〃
唐代節愍太子墓過洞に描かれた人物像壁画の彩色材料と制作技法に関する調査	佐藤　香子 ほか	〃	〃
展示公開施設の館内環境調査報告—平成20年度—	吉田　直人 佐野　千絵 石崎　武志	〃	〃
新編仏法大明録の修理について—平成の大修理—	半田　昌規	松ヶ岡文庫研究年報	24
野尻町東麓石窟仏における視覚効果について	池田　朋生 橋本　英俊	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	6
民俗資料の保存を考える　共同研究　民俗資料保存論の構築と素材に応じた保存処理法の開発	日髙　真吾	民博通信	129
染織技術の記録・保護への取り組み—製織・製糸・縫製を中心に—	深津　裕子	無形文化遺産研究報告	4
日本史のひろば		歴史と地理	
平城宮跡検証・保存のはじまり—戦前	馬場　基		635
平城京史跡整備のあゆみ—史跡指定範囲の拡大	〃		637
平城宮跡史跡整備の展開	田中　哲雄		640
調査報告　法隆寺金堂所在釈迦三尊像および薬師如来像台座(下座板絵)の光学調査	岩田　茂樹 ほか	鹿園雑集*	12
修理報告　奈良国立博物館所蔵　平治元年銘銅製経筒の修理について	石川　恵美	〃	〃
重要文化財		和歌山県文化財センター年報	2009
旧中筋家住宅の保存修理	御船　達雄		
金剛三昧院客殿及び台所ほか１基の保存修理	結城　啓司		
鈴木家住宅の保存修理	多井　忠嗣		
旧中筋家住宅内塀・通用門の復元	御船　達雄	〃	〃
県指定文化財　旧小早川梅吉氏住宅の保存修理(紀伊風土記の丘民家等修繕)	多井　忠嗣	〃	〃
列島ニュース　国宝の「唐門」修復へ　日光東照宮	服部　肇	朝　日	3.17
be report　サイエンス　展示と保護両立させる新技術	斎藤　義浩	〃	3.27
世界発2010　ハイチ絵画を救え　美術館倒壊、１万4000点被災	平山　亜理	〃	4.15
バーミヤン進む修復　破壊遺跡、日本隊訪問10回	望月　洋嗣	〃	7.22
「最後の審判」劣化危機　システィーナ礼拝堂対策へ本腰	南島　信也	〃	10.8
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる１　モアイ救出イチかバチか	筒井　次郎	朝日夕刊	4.16
四神が呼んでいる—古墳壁画に挑む１、２	大脇　和明 渡　義人 天野　幸弘	〃	5.10、11
ブッダの顔　壁画に発見　世界遺産バーミヤン　破壊逃れる	小川　雪	〃	12.16
明治丸修復　見えぬ針路　大学法人化で予算難	岡村　淳司	東　京	9.15
古代壁画　鮮やか複写　質感リアル　特許を取得　宮廻教授研究室	沢田　佳孝	〃	9.17
横浜松坂屋外壁は残った　愛知で活躍、建築家デザイン「テラコッタ」「INAX」博物館保存へ	荒井　六貴	東京夕刊	7.10

長谷川等伯の襖絵32面複製が完成　京都・円徳院で公開		東京夕刊	10.6
放射線　バーミヤン渓谷	松浦晃一郎	〃	12.4
文化往来　作風とともに絵の具を変えたルノワール		日　経	1.26
科学的分析で文化財再考　変わる絵巻解釈・覆る書き手	松岡　資明	〃	11.9
らいふプラス　名古屋開府400年、よみがえる徳川の栄華　本丸御殿復元現場で体感	松下　太郎	日経夕刊	1.23
正倉院に眠る薬物　科学的分析で解明「厚朴」の不明の原料、クルミ科植物の皮	永山　悦子	毎　日	7.20
高松塚古墳壁画劣化の調査結果	白石太一郎	読　売	4.14
読売あをによし賞　特別賞　財団法人元興寺文化財研究所		〃	5.12
文化財に巣くうアライグマ　神社や寺に傷　捕獲に手焼く	片山　圭子	〃	8.15
出来たて平等院　CGで鮮やか再現		読売夕刊	4.17

情報処理

人文系資料を対象とした大学図書館・大学博物館連携	安達　匠	アート・ドキュメンテーション研究	17
社会的ネットワークを重視した人名典拠情報の構築―戦前期の写真師を対象とする人名典拠を中心として―	研谷　紀夫	〃	〃
在伊日本美術資料情報公開の現状と課題―イタリア文化財デジタル化政策の中で―	齊藤　ちせ	〃	〃
報告『国立西洋美術館展覧会総覧　1960―2009』について―展覧会レファレンス・ツール作成の試み	川口　雅子	〃	〃
BHAをめぐるゲティの葛藤と、救済決定までの長い道のり	白鳥真理子	アート・ドキュメンテーション通信	86
件名付与の新たな試み：カタログ・レゾネと美術館図書館	川口　雅子	〃	87
デジタルアーカイブサロン番外編2　東京藝術大学附属図書館訪問期	中村　暢子	〃	〃
建築アーカイブ：世界から取り残された日本	山名　善之	ARTLET	34
特集＝アートにおける〈オーラル・ヒストリー〉とは？		あいだ	170
1　日本美術オーラル・ヒストリー・アーカイヴと美術史料の将来	加治屋健司		
2　インタヴュー再考―シンポジウム「オーラル・アート・ヒストリーの可能性」を探るために	加藤　瑞穂		
3　あいだのすみっこ不定期漫遊連載　第72回　聴き書きは何をめざすのか？―「オーラル・アート・ヒストリーの可能性」2009年11月14日／国立国際美術館	稲賀　繁美		
これからのアーキビスト養成の課題についての一考察：アメリカの現状をふまえて	森本　祥子	学習院大学文学部研究年報	56
特集　Click point をさがせ!!アートサイト探訪		ギャラリー*	301
2010年度総合博物館特別展研究資源アーカイブ公開記念「石舞台古墳発掘の記録」に寄せて	岩崎奈緒子	京都大学総合博物館ニュースレター	24
展示紹介　御土居絵図デジタルコンテンツ	〃	〃	〃
TOPIC　アーカイヴ的表現としてのCLOSET	沼下　桂子	CLOSET	3
土方巽アーカイヴの10年 II―アーカイヴ・モデルの構築へ	森下　隆	慶応義塾大学アート・センター年報	17
特集　エフェメラ(ephemera)―短命な建築媒体を後世に―		建築雑誌	1610
第一部〈現状〉当事者による取組み　論考　蒐集の対象とするために必要な要件―建築アーカイブから見えてくるもの	松隈　洋		

第三部〈展開〉市場価値の開拓　聞取り１　企画展への取組みによって映し出される建築アーカイブにおける課題と展望	南條　史生、前田　尚武　山口　俊浩　聞き手		
第三部〈展開〉市場価値の開拓　事例１　資料集成としての蓄積と発信	グラハム・ヤング　牧尾　晴喜　訳		
第四部〈展望〉千年先を見て　聞取り　蓄積と国益	髙山　正也　山口　俊浩　聞き手		
日本語美術書誌・資料の英文化（第９回）文献の題名（２）―「あわや探しそこねた」経験談	富井　玲子	jaic 会 報	19
時評７　シンポジウム「オーラル・アート・ヒストリーの可能性」をふりかえる	池上　裕子	視覚の現場　四季の綻び	5
『近代日本美術事典』雅号音読み五十音順索引　見出し個人名索引を含む	澁谷　朋恵	女子美術大学研究紀要	40
青谷上寺地遺跡出土遺物データベースについて	鳥取県埋蔵文化財センター	公立埋文協会報	44
研究報告　20世紀ポスターコレクションのアーカイブ作成・公開に関する研究（２）	山本　政幸	多摩美術大学研究紀要	24
史料紹介と研究　絵画史料・歴史図像学と高精細デジタル画像―「中近世風俗画の高精細デジタル画像化と絵画史料学的研究」―	黒田日出男　佐多　芳彦	東大画像史料解析センター通信*	50
新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵作品データベースの作成について	佐藤　克己	新潟県立近代美術館研究紀要	9
動向　土器実測図データベースにおける類似検索	長谷川修一　梅津　信幸	西アジア考古学	11
虎ノ門だより		博物館研究	
文化遺産オンラインと地方博物館	藤原　妃敏		500
文化遺産オンラインとその作品登録システムについて	丸川　雄三		501
平成二十一年度東支部例会発表要旨　日本刀の表面形態に関する画像データベースの作成―五ヶ国の名工の短刀にみる―	渡邉　妙子	美 術 史	168
視点　フォーラム「日本のアート・ドキュメンテーション―二十年の達成MLA連携の現状、課題、そして将来」を終えて	水谷　長志	美術の窓	318
『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂共同研究　「四脚」？「背の白い黒牛」??　オリジナル版『絵引』における「間違い」とマルチ言語版の編纂	君　　康道	非文字資料研究	23
連載　文化財を記録する34　美術工芸品編　歴史資料の記録―資料の多様性と的確な記録の作成―	岡部　幹彦	文 化 財*	562
歴史民俗資料台帳作成とデータベース構築の試み　シルバー人材センターとの共働による基礎的自治体保管文化財資料整理の実績から	森　　朋久	MUSE-OLOGIST	25
建築アーカイブ巡り　東大でシンポ　資料脅かす市場経済	大西　若人	朝　　日	3.23
洛中洛外図を映像化　東京国立博物館　中世の京、鮮明に	小川　　雪	朝日夕刊	1.27
池田家伝来能装束データベース完成　岡山・林原美術館	〃	〃	3.18
文化往来		日　　経	
NHKの映像・音声資料、学術研究に活用へ			2.6
文化往来　公文書館デジタルアーカイブの検索容易に			3.30
デジタル人文学　新事実探しだす　歴史・美術研究にコンピューター駆使　膨大な資料を横ぐし解析	松岡　資明	〃	4.17
ホームムービー歴史の証言者に　戦前の風景・消えた映画会社―資料価値高く　地域で活用の動きも	白木　　緑	〃	6.5
写真で地域の記憶共有　戦中の生活・昔の町並み…　場所や時期、住民に聞き取り　図書館などで公開	松岡　資明	〃	12.11
明治期の写真　デジタル保存　宮内庁、所蔵の３万枚　近代化の歩み写す		日経夕刊	10.8

文化財「デジタル複製」問題　本物は寺院から博物館へ	山田　奨治	毎　　日	9.21
急げ建築アーカイブズの確立　資料の収集、保管　社会読み解く上で不可欠	倉方　俊輔	毎日夕刊	2.17
日本旧石器学会研究発表会　旧石器時代遺跡データベース　収録遺跡数は一万超す	伊藤　和史	〃	7.7
妖怪画像DB化		読　　売	9.2

文化財行政

文化庁『地域文化芸術振興プラン』「ミルコトカラハジマル―自然との対話―」開催報告	田代亜矢子 石崎三佳子 中山　公子 杉山はるか	愛媛県美術館年報・研究紀要	9
文化財の新指定・指定解除について	大田区教育委員会郷土博物館文化財担当	大田区立郷土博物館紀要	18
研究報告　地域歴史文化遺産の持続的な保存・活用・公開　シンポジウム「災害から歴史文化遺産をまもる」の記録	櫃本　誠一 松田　泰典 矢田　俊文	大手前大学史学研究所紀要	8
資料紹介　岡崎の近代化遺産	社会教育課	岡崎市史研究	30
大正期における綾歌郡府中村の史跡調査―史蹟名勝天然紀念物保存法施行に伴う一地方自治体の対応―	乗松　真也	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	6
世界文化遺産の問題点―東南アジアを中心に―	坂井　　隆	金沢大学考古学紀要	31
シンポジウム報告「新しい公共性」と芸術	椎原　伸博	カリスタ	17
特集　検証・三菱一號館再現　Ⅳ		建築雑誌	1598
論考2　再現された歴史的建造物の文化財的価値	光井　　渉		
論考3　アメリカ合衆国「歴史的遺産のトリートメントに関する内務長官基準」にみられる再現建築の考え方	山内奈美子		
論考7　アムステルダム文化財建築再利用・再現事情	吉良　森子		
特集　建築年報2010―建築学会総スクラム　第三部　建築界の動向と展望　建築計画委員会2　東京、大阪中央郵便局の再開発計画が示唆する諸問題	南　　一誠	建築雑誌	1608
パリの国立東洋語学校と明治日本の美術交流をめぐる調査報告―シェフェール、デュ・ブスケ、蜷川式胤	陳岡めぐみ	国立西洋美術館研究紀要	14
共同研究　人文・自然景観の開発・保全と文化資源化に関する研究		国立歴史民俗博物館研究報告	156
近代日本における人文景観を中心とした「空間」の保存と活用の歴史的展開　文化財保護制度を中心として	才津祐美子		
文化財保存の広域化における現状と諸問題　滋賀県の文化的景観をおもな事例として	青木　隆浩		
研究ノート　「日光の社寺」にみる世界遺産登録とその課題	皆川　義孝	〃	〃
小特集　普及・活用・体験学習の「現場」から(2)　「広げる」ための文化財活用事業の必要性と課題―いま必要な努力は何か？―	瀬口　眞司	滋賀県文化財保護協会紀要	23
視座　事業仕分け・地方分権改革と博物館	菅野　和郎	S　H　Û	34
ルーマニアの建築遺産	前野まさる	絲綢之路	62
平成22(2010)年度文化庁予算概要「文化芸術立国」の実現と文化発信を柱に　前年度比0.5%増の1020億円、「メディア芸術の振興」は予算倍増へ		新美術新聞	1211
一般社団法人アート・アンド・パブリック協会設立される		〃	1217
文化政策の推進について、国へ緊急提言　東京都の「東京芸術文化評議会」から文化庁などへ		〃	1218

「GTS(藝大・台東・墨田)観光アートプロジェクト2010」構想発表される		〃	1219
第1回「国立文化施設等に関する検討会」開かれる		〃	1229
世界遺産登録十周年記念　日光の環境と文化を考えるフォーラム―残さなければならないもの　守らなければならないもの―	立松　和平 斎藤　文夫 関谷　忠泉 松本　秀一 稲葉　久雄	大日光	80
千葉県史編さんで収集した資料の概要	県史・古文書課県史班	千葉県の文書館	15
動向		地方史研究	
史料利用・保存問題　シンポジウム「文化財と史料保存問題を考える」参加記	福島　幸宏		343
地域研究活動　成田市文化財保護協会について	小倉　博		347
東京都北区指定有形民俗文化財「十条冨士塚」の保全を求める要望書の提出について		〃	348
GHQ／SCAP文書内の文化財保護法草案・法案の分析・考察　文化財保護法の成立過程に関する研究　その1	境野　飛鳥 斎藤　英俊 大和　智 平賀あまな	日本建築学会計画系論文集	647
歴史的市街地の再生を目指した連鎖的事業展開に関する研究―北海道江差町を事例として―	白木里恵子 久保　勝裕 大垣　直明	〃	650
武力紛争の際の文化財の保護に関する条約第二議定書運用指針作成に関する考察　文化遺産危機管理とユネスコ条約の連携	高橋　暁	〃	653
ヘルシンキ市の建築計画による二十世紀建築遺産保護に関する考察　フィンランドにおける二十世紀建築遺産保護に関する研究　その3	堀内　絢子	〃	655
京都の袋路における更新履歴と伝統的景観要素にもとづく空間の類型化―本能明倫地区における袋路事例と連担建築物設計制度の新規適応事例との比較検討―	三森　弘 貝島　桃代 花里　俊廣	〃	656
萩市における文化資源の発掘と都市遺産概念について　歴史文化まちづくりにおける文化資源マネジメントに関する研究(その1)	村上　佳代 西山　徳明	〃	657
伝統的建造物群保存地区における街路舗装の現状と課題	中村　遥子 黒田　乃生	〃	〃
横浜市認定歴史的建造物制度の「保全活用計画」の景観的価値にみる参照関係　単体保存制度によるグループとしての歴史的建造物の保全活用の可能性	清野　隆 安田　成織 土肥　真人	〃	〃
シリーズ　新自由主義時代の博物館と文化財　京都の町研究の現状について―町共有文書をめぐって―	小林　丈広	日本史研究	578
文化財の保護・活用と専門的人材の養成	関根　俊一	日本文化史研究	41
文化財レポート		日本歴史	
群馬県東部における古代遺跡の調査と保護―官衙・寺院・道路―	出浦　崇		741
新潟県佐渡金銀山遺跡の近年の調査結果	若林　篤男 宇佐美　亮		744
国指定史跡「甲賀郡中惣遺跡跡」の調査と保存	長峰　透		746
大分県に所在する西南戦争関係遺跡の調査	高橋　信武		748
長州藩銭座跡の発掘調査	上山　佳彦		749
2009年度前期の史跡等の指定(上)			751
虎ノ門だより　平成22年度　文部科学省・文化庁における博物館振興施策の概要について		博物館研究	502
ヨーロッパアート事情　「美術館は国際的視野を持ってほしい」　松浦晃一郎前ユネスコ事務局長に聞く	今津　京子	美連協ニュース	105
陝西地域の博物館事情とその背景について	大塚　紀宜	福岡市博物館研究紀要	20
特集　平城遷都1300年　はじめに―平城宮跡保存の歴史を振り返る―	田辺　征夫	文化財*	556

特集　伝統的建造物群保存地区―歴史と文化のまちづくりを担う人たちとともに35年―		文化財*	559
伝統的建造物群保存地区―歴史と文化のまちづくりを担う人たちとともに35年―	斎藤　英俊		
伝建地区制度をより良く活用するために	文化庁参事官(建造物担当)伝統的建造物群部門		
重伝建地区とエリアマネジメント	小林　重敬		
伝建地区制度と景観政策の展開	脇坂　隆一		
がんばる保存会―若狭町熊川宿伝統的建造物群保存地区―	岡本　潔和		
繋がる遺産、広がる人の輪―大田市大森銀山・温泉津伝統的建造物群保存地区―	林　泰州		
伝建一〇〇地区をめざして「広げよう伝建のネットワーク」	弘　健助		
連載　文化財を記録する31　伝統文化編　工芸技術を記録する―工芸見本の作成―	近藤都代子	〃	〃
埋蔵文化財関係統計資料(平成21年度版)の解説と分析	近江　俊秀	〃	561
新指定の文化財　伝統的建造物群	文化庁文化財部	〃	562
特集　高松塚古墳壁画の劣化原因調査		〃	563
特集にあたって	文化庁古墳壁画室		
コラム　文部科学省カビ対策専門家会合―その成果と展開―	佐野　千絵		
高松塚古墳・キトラ古墳に関する保存・活用事業の進捗状況について	文化庁古墳壁画室		
『発掘調査のてびき―集落遺跡発掘編、整理・報告書編―』の概要	文化庁記念物課埋蔵文化財部門	〃	〃
新登録の文化財　記念物	文化庁文化財部	〃	564
新指定の文化財　無形文化財	〃	〃	〃
選定保存技術の選定・認定	〃	〃	〃
平成22年度「新たな国民のたから―文化庁購入文化財展―」開催について	文化庁美術学芸課	〃	〃
特集　文化財保護法60周年		〃	565
文化財保護法60周年を迎えて	近藤　誠一		
総論　文化財保護法60周年の歩み	松村　恵司		
文化財行政この10年の歩み	文化庁伝統文化課		
文化的景観保護制度の創設と展開　事例紹介　金沢の文化的景観　城下町の伝統と文化	井上　典子		
民俗文化財と民俗技術の保護　事例紹介　津軽海峡および周辺地域における和船製作技術	菊地　健策		
文化財の登録と調査			
コラム　公共建造物と登録制度―灯台を例に―	熊本　達哉		
史跡の整備と活用の進展	岩井　浩介 内田　和伸		
文化財の総合的把握と文化財を活かしたまちづくり　事例紹介　南城市における「関連文化財群」の例―	梅津　章子		
高松塚古墳とキトラ古墳の壁画保存	文化庁古墳壁画室		
コラム　『発掘調査のてびき』と埋蔵文化財保護行政	禰宜田佳男		
文化財の防火・防犯・耐震対策			
コラム　ふるさと文化財の森―修理用資材の確保と技術者の育成―	神谷　研史		
文化庁における文化財行政の広報			
文化遺産国際協力コンソーシアムの活動―文化遺産国際協力の推進―	文化庁伝統文化課文化財国際協力室		
コラム　文化遺産国際協力コンソーシアムの活動例―被災文化遺産復旧にかかる調査―	清水　真一		

コラム　ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所の活動	西村　康		
世界遺産条約を通じた文化財保護について	文化庁記念物課世界文化遺産室		
無形文化遺産の保護―わが国のユネスコ無形文化遺産条約への対応―	文化庁記念物課世界文化遺産室		
表紙解説　昭和大修理の後、姿を現した国宝姫路城大天守	村田　健一	〃	〃
第34回世界遺産委員会の概要	市原富士夫	〃	566
新選定物件に関する寄稿論文　五條新町の町並みを守る	上田井　朗	〃	567
拡大選定物件に関する寄稿論文　打吹玉川―保存地区拡大の軌跡	眞田　廣幸	〃	〃
新選定の文化財　伝統的建造物群	文化庁文化財部	〃	〃
文化芸術の振興　8「文化芸術立国」の実現と文化発信		文部科学広報	123
特集　平城京を学ぶ世界文化遺産平城宮・京跡を守ろう―世界遺産都市奈良に高速道はごめんです	浜田　博生	歴史地理教育	758
社説　高松塚報告薄命「美人」からの教訓		朝　日	4.10
文化変調　第1部「ハコもの」の行方		〃	
1　先進県でも険しい未来　進む統廃合　収蔵品「持ち腐れ」懸念	宮本　茂頼 宮代　栄一		4.21
2　沈黙する音楽ホール　設備は一流…だけど、どの町にもある	宮本　茂頼 竹端　直樹		4.24
2　文化3独法、仕分け対象に	赤田　康和		〃
4　民間の知恵どう生かす　指定管理者制度に賛否	大西　若人 宮本　茂頼 宮代　栄一		5.1
文化変調　第3部「クール競争」下　日本　国の関与どこまで		〃	8.3
豊かさ自体が魅力忘れないで	大西　若人		
海外の才能招きファン増やす　近藤誠一・文化庁長官に聞く	赤田　康和		
文化変調　芸術とカネ　ずさん　助成金制度「無法地帯のよう」　文化庁仕組み変え透明性向上へ		〃	10.16
文化変調　第4部　きしむ国の支援　中守った遺跡生かせず　補助金あっても自治体の人手・予算が不足		〃	10.23
文化変調　第4部　きしむ国の支援　下　行政の手どこまで		〃	10.25
後世に残すのは国の責任　福原義春・資生堂名誉会長	赤田　康和 聞き手		
補助金は原則廃止を　金武剛・京都橘大学准教授	宮代　栄一 聞き手		
学舎保存　地域に宿題　「重文級」明石小中央区で解体進む　「景観」議論尽くせず	井上　秀樹 鈴木　淑子	〃	9.15
社説　都の漫画規制　手塚、竹宮の芽を摘むな		〃	12.3
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる	筒井　次郎	朝日夕刊	
6　合掌の里絆の記憶			4.23
7　この過ち静かに語る			4.26
9　幾千年の世を見つめる			4.28
10　人間このいとしきもの			4.30
朝鮮文化財返還で対立　日韓会談の公開文書　柳・国民大教授が分析　文部省「法改正必要」外務省「口実に過ぎぬ」	渡辺　延志	〃	6.11
木造文化財　再建ピンチ　大木足りぬ　宮大工、窮状訴え	長崎　緑子	〃	11.11
深層新層		〃	
出土の遺物、展示か保存か　「発掘された日本列島2010」で破損	宮代　栄一		11.19
漫画表現の規制と社会規範　官の「拡大解釈」に警報	樋口　大二		12.7

近代化の歩み後世に 宮内庁、古写真デジタル化　保管３万点公開を検討	篠原　那美	産　　経	5.9
正論　国の文化財「仕分け」する難しさ	加藤　秀俊	〃	5.13
生まれ変わる廃校校舎　低予算の地域拠点　養殖場・住宅・文化施設…	太田　浩信	〃	7.26
李朝の書返還要求 日韓併合100年で浮上　日本政府　民間へ波及恐れ慎重姿勢	築山　英司	東　　京	2.24
国の美術品総額いくら？　省庁保有文化財など　財務省初調査へ		〃	4.20
「街角の歴史」都が基金　建造物保全　社会の力で　民間から１億円募る		〃	4.25
ユネスコ無形文化遺産に提案殺到　登録遅れガッカリ　審査追いつかず　日本13件中11件	秦　　淳哉	〃	6.27
朝鮮王朝文化の精華 韓国に「渡す」文化財「王室儀軌」とは　行事内容、鮮やかに記録　結論出ぬ所有権争い　過去の「流出」多国間でも摩擦　エジプトや中国返還求める	篠ヶ瀬祐司 鈴木　伸幸	〃	8.11
「文化先進国入り」お預け？　美術品補償法案今国会ピンチ 国のケアなし海外巡回展素通り		〃	11.27
展望　歴史考古学 史跡をどう整備、活用するか　観光との接点	坂詰　秀一	東京夕刊	1.14
美術評　「文化庁メディア芸術祭」問われる芸術文化の“国益”	藤田　一人	〃	2.5
シルクロードを世界遺産に　東の終着点からも発信を	前田　耕作	〃	6.1
文化財Ｇメン新設 仏像など盗難増に対応　文化庁が来年度方針　警察、教委と監視態勢	中沢　佳子	〃	8.28
ユネスコの「記憶遺産」登録　日本、ようやく始動　世界へ文化発信　出遅れに危機感	富田　律之	日　　経	6.26
守れ！日本のアニメ制作　文化庁、人材育成に動く　作画の海外流出とまらず 腕磨く場狭まる	諸岡　良宣	〃	7.10
経済教室　「文化外交」の体制整備急げ 韓・中は戦略的に攻勢　資金と人材育成に課題	渡邊　啓貴	〃	8.23
文化往来　公文書の集中管理施設設置を提言		〃	9.28
京都経済特集　京都の宝　文化財・伝統工芸を後世に　美術品などデータ保存 複製品を教材にも活用　手作り体験施設に活路　情報発信効果など期待		日経夕刊	2.26
音楽の殿堂へ復権なるか？　日比谷公会堂　残響短い「すっぴん」の良さ	瀬崎久見子	〃	3.1
「文化財母国に返して」エジプト声高に要求　現保有国は管理体制懸念　ギリシャ　インド　中国…20カ国以上が共闘	和田　浩明	毎　　日	4.19
ひと　京町家で初の重要文化財に生家が指定される　杉本秀太郎さん	鈴木　敬吾	〃	5.24
余録[文化財返還要求運動]		〃	8.11
日本書紀通りに越塚御門古墳　陵墓見直し論加速も　宮内庁「指定変えない」　学会国民的議論に期待	大森　顕浩 山成　孝治 栗原　俊雄 高島　博之	〃	12.10
日韓で解決策模索 流出文化財問題　韓国で関心高く	大澤　文護	毎日夕刊	6.24
東京の区立明石小の解体開始　課題残した文化財保存論議	小泉　大士 永田　晶子	〃	9.22
窮状展覧会国が救いの手　名画被害に最大950億円補償	本橋　和夫	〃	9.30
世界遺産暫定リストに入った「仁徳天皇陵」　宮内庁管理による「閉鎖性」継続の恐れ　史跡指定し普遍的価値公に	高木　博志	〃	11.1
美術品の保険　国家補償を　海外からの貸借も公益　今国会にも法案提出	木下　直之	読　　売	3.25

月刊ディベート　どうする文化政策		〃	5.3
内閣官房参与　劇作家・演出家　平田オリザ氏　芸術は街の公共財	平田オリザ		
文化審議会委員　東大教授・歴史学者　山内昌之氏　国家戦略に位置づけ	山内　昌之		
けいざい百景　「まんが課」誕生のわけ	安部　順一	〃	5.16
都の漫画規制条例改正見送りへ		〃	5.29
建築季評　復原　祭りの後の役割は…	中川　理	〃	7.1
復元城郭　文化財認識に溝　名古屋城めぐり　市と専門家	清岡　央	〃	8.4
アニメ・原宿　露でPR　大使館が雑誌創刊	貞広　貴志	〃	8.29
「重文相当」明石小　なぜ解体	土方　慎二	〃	9.3
記者ノート		〃	
文化財の不法流通規制強化を	清岡　央		9.15
横浜トリエンナーレ　体制変更で準備に遅れ	市原　尚士		9.23

美術教育

産学共同の正しいやり方	今村　玲子	ＡＸＩＳ	
プロジェクト15：名古屋芸術大学とサイトーウッドの「成形合板でつくるキッチン小物」			144
プロジェクト16：東京工芸大学芸術学部デザイン学科ヒューマンプロダクトコースと株式会社さんてるの「若者視点での自由な時計のデザイン」			146
グラスゴー・スクール・オブ・アートプロダクトデザイン科の挑戦	中島　恭子	〃	147
小特集　博物館を考える　学習院大学史料館との「対話」と新しい学びの創造―「博学連携」による教科と関連付けた総合学習のあり方をめぐって―	會田　康範	学習院大学史料館紀要	16
大学における学芸員養成過程の改善にむけての試み―アンケート調査の展開―	一瀬　和夫	関西大学博物館紀要	16
Statement　京都造形芸術大学と東北芸術工科大学が共同運営　日本文化芸術研究センターが外苑に開校		ギャラリー*	304
風神雷神が学校に！―文化財ソムリエの訪問授業―	水谷　亜希	京都国立博物館だより	168
京都府画学校の教育	松尾　芳樹	京都市立芸術大学芸術資料館年報	19
研究報告　芸術系大学における初年次教育の取り組み２　学生コメントから探る授業改善のための一方策	真下　知子 横田　学 中村　博幸	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	54
子どもの感性を伸ばす表現教育の実践―シュタイナー教育の可能性を探る―	佐々木浩江 倉賀野志郎	釧路論集	42
特集　建築年報2010―建築学会総スクラム　第三部　建築界の動向と展望		建築雑誌	1608
都市計画委員会１　都市計画・アーバンデザイン教育の国際協働の取り組み	有賀　隆		
建築教育委員会　流動する建築教育―ガラパゴスシンドローム	稲葉　武司		
研究ノート　小学校における絵画指導法―“キミ子方式”の研究―	谷口　朋	皇学館論叢	252
時評９　美術教育における「言語活動の充実」	清田　哲男	視覚の現場　四季の綻び	5
時評10　美術教育の学びを豊かにするアートクラブの活動	神吉　脩	〃	〃
調査研究から６　造形教育の現場の〈ことば〉	橋本　例子	〃	6
展覧会・イベントから11　共に学び、繋がり、心弾んだ　どの子にも表現する力と生きる喜びを！	神吉　脩	〃	〃

時評８　子どもを見据えたものづくりで保育士や教員になる！―ものづくりの体験から検証・発表へ―	神吉　脩	視覚の現場　四季の綻び	7
学校貸出教材《鑑賞授業プログラム・パック》の作成	平田　健生	滋賀県立近代美術館研究紀要	8
アートアクティビティが参加者にもたらす効果に着目したファシリテーション力向上のための評価方法の提案　ホスピタルアートの分野から	鈴木理恵子	女子美術大学研究紀要	40
美術教科書におけるビジュアル表現の研究に関する調査　第二次（2009年度）概報	藤井　康子 金子　亨	東京学芸大学紀要	62
下駄をつくる授業の改善と検証―工芸の授業題材のあり方を求めて―	太田　朋宏	〃	〃
Christoph Wulf 教授講演「芸術の授業―もう一つの教えと学び（Art Instruction : the Other Way of Teaching and Learning）」報告書	小松佳代子 青柳　路子 渡邉　美香 レドンド・ボネット・ルーカス 大成　哲	東京芸術大学美術学部紀要	47
青年期前期（中等教育段階）における美術の教育的意義の考察	長島　聡子	東京芸術大学美術学部論叢	6
青山学院大学、大阪大学の共同事業　ワークショップデザイナー育成プログラム	中尾根美沙子	博物館研究	500
支部情報　中国支部１点の作品から広がる楽しさを伝える―教員向けガイドブック「みる・しる・しらべるコレクション」	前田　淳子	〃	502
北海道大学教育 GP「博物館を舞台とした体験型全人教育の推進」―プログラム２年目の報告	湯浅万紀子	〃	503
子どもと美術		美術手帖	
56　ハートで学校をかざろう！	伊部　玉紀		932
57　商店街の旗	拓植　響		933
58　ラグジュアリーとわたし	伊部　玉紀		934
59　木＝私	〃		935
60　先生教えて！図工ってなんですか？	〃		936
61　サクラが散ってもHAPPY♥HAPPY	〃		937
62　空のモザイク	〃		939
63　はじまりは、ぐじゅっ！	〃		940
64　麻布に恋を表そう！	〃		943
65　マイ・スペシャルタワー	〃		944
66　ぼくらの新しい図工室へようこそ！	〃		945
67　気まぐれオブジェ	藤田　千彩		946
京都精華大学　陶芸教育の現場	小吹　隆文	〃	937
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　鼎談　大村智（女子美術大学理事長）＋山崎光夫（作家）＋一井健二（小誌編集長）対談　女子美設立に力を尽くした女性たち	大村　智、山崎　光夫、一井　健二	美術の窓	325
特集　仲介の感性論		美術フォーラム21	21
世界におけるヴィジュアル・エデュケーション　その4	岩城　見一編集		
セルビア共和国のヴィジュアル・エデュケーション	アニツア・パカシキ、タマラ・キリチキ、アレクサンドラ・アイストラツ＝コビルスキ 北島あきまる　訳		
美術館と高等学校による共同指導の実践報告　―高校生学芸員による展覧会「ぼくらの視点×あなたの出会い」を終えて―	本丸　生野	姫路市立美術館研究紀要	10
リチャード・ヒックマンの美術教育論にみる美術観の考察（４）	幸　秀樹	宮崎大学教育文化学部紀要	22
創造性・想像力の教育としての美術教育の可能性（１）―マキシン・グリーンの教育理論より―	〃	〃	23
特集　平城京を学ぶ実践記録／小学校６年　世界遺産を学ぼう―地下の正倉院「平城宮跡」	西浦　弘望	歴史地理教育	758

ふるさとが教科書―「地域学」の学習プラン	横出加津彦	〃	〃
連載・教室でできる手しごと	浦沢　朱実	〃	
1　何でも紙漉き			758
4　染めてあそぶ			761
高校の授業　世界史A　ギリシャを哲学する―絵を使って生徒の好奇心を引き出す授業	川手　晴雄	〃	760
教室レポート　博物館の資料・教育プログラムを活用した授業例	海上　尚美	歴史と地理	639
講演と鼎談　美術と教育を考える	上野　浩道、銭谷　眞美、澄川　喜一　談　本郷　寛　司会	連盟ニュース	434
現代アートで柔軟な感性磨く　国際芸術祭、ワークショップ、美術館招待	北村　理	産経	10.27
先生のための“教科書”　図工の教え方本で伝授　元小学校教諭・棚橋さんが出版	細川　暁子	東京	8.18
幼稚園で芸大教育　三つ子の感性百まで!?　美術学部が定期訪問　荒川区、10年度から試行		東京夕刊	2.2
美術鑑賞力　対話で磨く　作品見ながら思うまま討論　学校と美術館、深まる連携	富田　律之	日経	3.27
文化往来　「建築学部」来春の創設へ準備進む		〃	4.24
らいふプラス　美術や音楽の授業　「対話型」で鑑賞力養う　表現重視から転換／異なる見方を理解		日経夕刊	10.8
挑め　小学生アート五輪　日本代表審査へ作品募集	宮崎　敦	読売	2.3
教育ルネサンス　全国学力テスト　7　博物館と連携　興味広げる	山田　聡	〃	4.9

古　美　術

総　記

日　本

ささやかな日常感覚から見た古美術	山中　理	目の眼	
「虎か猫か、それが問題だ」上～下			400～402
「長い睫毛が欲しかった」上、下			403、404
「私流、花鳥画の愉しみ方」その一～その六			405～410
「君は超絶技巧を見たか」その一			411
江戸時代の展覧会―ふたつの開帳記録から―	山本　祐子	生活文化研究所年報	23

絵　画

東アジア

桃の花咲く隠れ里の物語（１）～（４）―「桃源郷の世界」展のための序曲	芳賀　徹	アルカディア	43～46
水墨画の歴史を語る第九回～第十一回、第十三回～第十九回	島尾　新 紫　珠	趣味の水墨画	250～252、254～260
胸中の山水・魂の書山水画の名品と禅林の墨蹟［根津美術館］	松原　茂	〃	252
展覧会評　朝鮮王朝の絵画と日本	江村　知子	美術研究	399

中　国

道教美術の可能性 道教美術の諸相と展開		アジア遊学	133
中国絵画と道教―宋元時代を中心として	宮崎　法子		
明清小説の版画に見える道教神―三清と如意	山下　一夫		
道壇と神画	丸山　宏		
東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　宋・元画のなかの器物表現―画中の古物表現とその意味を中心に	塚本　麿充	〃	134
崇高なる山水展：李郭派山水と東アジア世界	〃	明日の東洋学	24
郎世寧の「皇帝・皇后・皇妃・皇嬪」の肖像画について	王　凱	鹿島美術財団年報・別冊	27
円覚寺所蔵五百羅漢図に関する研究―画中に描かれた人物像を中心に―	梅沢　恵	〃	〃
中国絵画における抽象的表現の形成について	漆　麟	芸術学研究（筑波）	15
謝赫の「絵画六法」の構成とその議論について	王　凱	国学院雑誌	1243
唐絵屏風の源流―北魏司馬金龍墓出土屏風漆画の主題と構成―	山崎　誠	国文学研究資料館紀要	36
経絵に映る宋と日本	須藤　弘敏	国　華	1376
鑑賞の勘どころ（八）―中国絵画―	小川　裕充	国華清話会会報	16
北宋における李成の評価とその文人画家像形成について―子孫・鑑賞者・李郭系画家との関わりから―	竹浪　遠	古文化研究	9
連載「水墨画の歴史を語る」特別企画　技　中国元明時代の文人画　台北・国立故宮博物院の名品紹介	板倉　聖哲、島尾　新対談	趣味の水墨画	259
梁桂元著『閩画史稿』抜粋翻訳	前田　舟子	首里城研究	12
現代中国巧芸事情45、49	仲　佑樹	書道界	244、248
アジア図像探検（83）権力と美術（１）	杉原たく哉	〃	253
蓮社図の成立とその周辺	田中　伝	成城美学美術史	16
研究ノート　大阪市立美術館蔵倪瓚「渓亭秋色図」関連資料	弓野　隆之	中国近現代文化研究	11
比嘉朝健「琉球歴代画家譜」の校異について（１）	喜納　大作 倉成　多郎 輝　広志	壺屋焼物博物館紀要	11
でんでん太鼓―漢・唐・万葉・子守歌―	近江　昌司	天理参考館報	23
雲岡第６窟の図像構成について―仏伝図像に焦点を当てて―	安藤　房枝	東方学報京都	85
文徴明筆「倣王蒙山水図」の考察―文徴明の王蒙理解を中心に―	皆川　三和	美術史	168
キジル石窟第一一八窟（海馬窟）の壁画主題―マーンダートリ王説話を手掛かりに―	檜山　智美	〃	〃

第六十三回全国大会研究発表要旨　中国南朝の阿弥陀浄土図の景観と皇帝の苑	三宮　千佳	〃	169
中国南朝の浄土図の景観と皇帝の苑	〃	美術史研究	48
中国山水画の透視遠近法―燕文貴のそれの成立まで―	小川　裕充	美術史論叢	26
道教の美術　TAOISM ART	二階堂善弘	美術フォーラム21	21
炳霊寺石窟野鶏溝(第一九二窟)の北朝壁画について	田林　啓	仏教芸術	308
サンフランシスコ・アジア美術館所蔵文殊菩薩図像について―宋本図像と形式の踏襲―	内田　啓一	〃	310
元代後期職業画工の造形感覚―木曽定勝寺所蔵「釈迦三尊像」と「十八羅漢図」を中心に―	藤元　裕二	〃	313
列女伝図の研究(二)―和林格爾後漢壁画墓の列女伝図―	黒田　彰	仏教大学文学部論集	94
トンワトゥンデンとは何か？―タンカの起源と『文殊師利根本儀軌経』―	田中　公明	密教図像	29
サキャ南寺・三解脱門堂の歴史と曼荼羅壁画について	加納　和雄 川崎　一洋	密教文化	224
謝赫の「絵画六法」の形成とその背景について	王　凱	武蔵野美術大学研究紀要	40
マニ教絵画特輯		大和文華	121
はじめに	吉田　豊		
新出マニ教絵画の形而上	〃		
新出マニ教絵画試論―制作年代をめぐって―	古川　攝一		
二〇〇九年度龍谷大学史学会総会講演録　敦煌莫高窟第二八五窟北壁の供養者像と供養者題記	石松日奈子	龍谷史壇	131
美の美　敦煌―美のオアシス１～４	竹田　博志	日　経	10.31、11.7、11.14、11.21

日　本

稲沢市一色青海遺跡出土の絵画土器について	樋上　昇	愛知県埋文センター紀要*	11
鑑賞のツボ　布袋図		Asiage	15
夏目漱石の題画詩―王維の投影	范　淑文	アジア文化交流研究	5
日本の写生派と中国―四条派作品を中心として―	柴田　就平	〃	〃
古典化するキャラクター　往来物のキャラクター―今川状と百人一首	綿抜　豊昭	アジア遊学	130
東アジアを結ぶモノ・場		〃	132
大内氏の唐物贈与と遣明船	橋本　雄		
〈中華〉の肖像、あるいは徳川日本のセルフイメージ―狩野探幽と林鵞峰をめぐる画事にみる、いわゆる〈日本型華夷秩序〉の表象をめぐって	松島　仁		
道教美術の可能性　日本における受容と融合　日本の中世仏画にみる道教	石川　知彦	〃	133
研究ノート「狩野派の世界2009」展余録―戯画としての鍾馗図―［狩野山雪］	福士　雄也	アマリリス	97
絵解き(絵語り)と私―付・絵解き台本「熊野観心十界曼荼羅」―	林　雅彦	いすみあ*	2
近世絵画にみる水表現	冷泉　為人	逸翁美術館年報	平成21年度
近代日本画の構図決定格子(八)～(一〇)	金子　一夫	一　寸	42～44
江戸の面影―隅田川花火・逆井の渡し・堀の内妙法寺に『釈迦八相倭文庫』の絵額発見―	岩切信一郎	〃	43
仙厓画雑感四、―描き損ないを笑え!?―	黒田　泰三	出光美術館館報	151
蔵品紹介　芦手住吉浜図屏風　住吉弘定筆	笠嶋　忠幸	〃	152
長谷川等伯研究における諸問題点をめぐって	黒田　泰三	出光美術館研究紀要	15
「四季耕作図屏風」における岩佐又兵衛と古典	廣海　伸彦	〃	〃
寿老を廻る四季―池大雅筆「山居観花図」「高士観泉図」「南極寿星図」「江上笛声図」「雪天夜明図」の史的位置	出光佐千子	〃	〃

田能村竹田筆「恋花帖」—画業初期の中国画学習と日田森家との親交	宗像　晋作	出光美術館研究紀要	15
画賛からみた仙厓と江戸時代の文学・諸芸能との関係	八波　浩一	〃	〃
松浦静山と大小—平戸市の松浦史料博物館蔵の大小貼込帖について	岩崎　均史	浮世絵芸術	159
〈膝栗毛もの〉の絵双六『しんはん東海道鬱散双六』・『五十三駅滑稽膝栗毛道中図会』の位置付け	康　志賢	〃	〃
講演後録　上方浮世絵に遺る山村流	山村　若、山村　郁子、北川　博子聞き手	〃	〃
海外事情　最近の欧文による浮世絵研究文献　連載四、五	及川　茂	〃	159、160
特集　浮世絵と狂歌		〃	160
『狂歌仮名手本忠臣蔵』と広重	高橋　章則		
狂歌が浮世絵にもたらしたもの	小林ふみ子		
広重の役者絵摺物—パトロンとしての狂歌連	ジョン・T・カーペンター　小林ふみ子訳		
資料紹介		〃	〃
1　歌麿画『駿河舞』の一図をめぐって	鈴木　俊幸		
2　鳥居清長の遊女絵二種	浅野　秀剛		
海外リポート		〃	〃
一　国際春画研究プロジェクト紹介	アンドリュー・ガーストル		
二　イタリア・トリノでの浮世絵展の開催とコレクション調査の報告	藤澤　紫		
資料紹介　春興狂歌摺物『馬尽』	佐藤　美保	馬の博物館研究紀要	17
土佐派色紙絵付源氏物語の概要	三宅　秀和	永青文庫	69
細川斉茲の百鳩図巻	〃	〃	70
沖縄の信仰と「琉球人坐楽図」	石井　窓呂	〃	71
狩野探幽筆　沢庵宗彭像	三宅　秀和	〃	〃
領内名勝図巻の軸木墨書銘について	〃	〃	72
農耕図絵馬に描かれた農業描写	菅野　剛宏	大分県立歴史博物館研究紀要	11
『鈍字絵』小考	小野　恭靖	大阪教育大学紀要	58－2
文字絵資料再考—『どふけ一筆がき』『しん板文字ゑ五十三次』紹介—	〃	〃	59－1
平成二十年度　大阪城天守閣新収蔵資料紹介［洛中洛外図屏風］	北川　央	大阪城天守閣紀要	38
研究ノート　松本奉時の経歴と画業について（一）	岩佐　伸一	大阪歴史博物館研究紀要	8
良源像の図像について—画像編—	寺島　典人	大津市歴史博物館研究紀要	17
山東京鶴の滑稽本『御室八十八ヶ所四国栗毛』—翻刻とその版木および著書について—（上）	石川　了	大妻女子大学紀要	42
収蔵資料紹介　弥勒菩薩像	山下　立	おおてみち	73
「宮本武蔵像」と武蔵が描いた肖像画	守安　收	岡山県立美術館紀要	2
資料紹介　野崎家所蔵『大山寺縁起絵巻』について	中田利枝子	〃	〃
宮本君山『漢画独稽古』について—技法（画材・用具・用法等）解説を中心に—	中村麻里子	〃	〃
琉球使節の芸能を描く絵師—熊本藩御用絵師杉谷行直の場合—	板谷　徹	沖縄県立芸術大学紀要	18
殷元良画「雪景山水図」に見られる技法の伝承について	平川　信幸	沖縄県立博物館・美術館博物館紀要	3
志賀直哉「暗夜行路」の虚実—大乗寺の「双鷲図」をめぐって—	寺柚　雅人	尾道大学芸術文化学部紀要	9
詫磨長賀論—流派の転機、禅宗と醍醐寺へ—	藤元　裕二	学習院大学人文科学論集	19
作品紹介　関地蔵院本堂天井画—狩野永敬と一八世紀初頭の京狩野家について—	薄田　大輔	〃	〃

江戸時代の和歌と西行—和歌・道心・絵画—	鈴木　健一	学習院大学文学部研究年報	56
研究随想　雪舟との出会い	金澤　弘	学　叢	32
崋山先生と井上竹逸	成澤　勝嗣	崋山会報	24
画家渡辺崋山の心象	鈴木　利昌	〃	24、25
田原市博物館収蔵品から　渡辺崋山筆『客坐掌記（天保九年）』2、3		〃	〃
「後三年合戦絵巻」の武装表現にみる色彩観	佐藤　佳代	鹿島美術財団年報・別冊	27
国宝・光琳筆「紅白梅図屏風」の技法・材料に関する光学的研究	内田　篤呉ほか	〃	〃
島田元旦の青年期における谷文晁の影響	山下真由美	〃	〃
近世紀州における実景図の研究—十代藩主・徳川治宝をめぐる絵画制作状況—	大橋　美織	〃	〃
初期狩野派絵巻の研究—「二尊院縁起絵巻」を中心に—	土谷　真紀	〃	〃
伊藤若冲に関する史料について	福士　雄也	〃	〃
近世初期風俗画のポリティクス—狩野内膳「南蛮屏風」（神戸市立博物館蔵）の解釈を中心に—	高松　麻里	〃	〃
特別展「天狗推参！」の魅力	梅沢　恵 古川　元也 古宮　雅明 鈴木　通大	神奈川県立歴史博物館だより	184
「浮世絵☆忠臣蔵」の世界へ	桑山　童奈	〃	185
昭和初期における称名寺文化財の修理記録について	向坂　卓也	金沢文庫研究	325
円覚寺蔵「岸駒筆三幅対」資料について	三渕美恵子	鎌　倉	109
鎌倉の至宝（10）重要文化財　観音図　伝祥啓筆　三十二幅　建長寺蔵	村野　真作	〃	110
平成二十一（二〇〇九）年度日本及び東洋美術史の調査研究報告		関西大学博物館紀要	16
耳鳥斎筆《大石氏祇園一力康楽之図》（関西大学図書館蔵）	中谷　伸生		
上田公長の落款に関する分析とその分類—大阪市立美術館所蔵作品を中心として—	柴田　就平		
井庭可笑作・北尾政演画『東都土産大津名物』	谿　季江		
鶴亭筆《墨竹図》および《芭蕉図》	平井　啓修		
狩野益雪筆《広覚寺本堂杉戸絵》—福島における狩野派絵師の活動と作例—	竹貫　俊英		
池田文庫ギャラリー絵看板「けいせい染分手綱」		館報池田文庫	37
来舶画人水月普馨筆寒山・拾得・豊干図　北九州市立自然史・歴史博物館所蔵	錦織　亮介	北九州自然史歴史博報告*	7
資料紹介　画師　高木豊水	古谷　優子	〃	〃
研究ノート　初期浮世絵にみる「丸い傘」について	大塚　清史	岐阜市歴史博物館博物館だより	75
館蔵資料紹介		〃	
不動明王二童子像　室町時代			75
四代目尾上菊五郎の死絵　万延元年（1860）			76
東洋伝統絵画における「色」—画論とその周辺—	岩城　見一	京都国立近代美術館研究論集	3
よみもの　坂本龍馬の絵心	宮川　禎一	京都国立博物館だより	167
『年中行事絵巻』にみえる関白賀茂詣について	末松　剛	京都産業大学日本文化研究所紀要	15
賀茂別雷神社蔵『賀茂祭絵図』「勅使諸司行列巻」に関する小考	猪熊　兼樹	〃	〃
資料紹介　『賀茂臨時祭絵巻』（京都産業大学図書館所蔵）	所　功	〃	〃
賀茂競馬図屏風に関する一考察	山本　宗尚	〃	〃
「信貴山縁起絵巻」に関する空間と線描について—「信貴山縁起絵巻」に関する様式研究の一環として—	吉田　卓爾	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	54

長篠・長久手合戦図屏風の製作背景	原　史彦	金鯱叢書*	36
尾張徳川家伝来「羅生門絵巻」について	龍澤　彩	〃	〃
新発見の「源氏物語絵巻　桐壺」—製作背景とその特質—	吉川　美穂	〃	〃
式部輝忠と駿河今川氏（一）	大石　利雄	群馬県立女子大学紀要	31
作品ひとつ［清原雪信筆芦葉達磨図］	野田　麻美	群馬の森美術館ニュース	141
海住山寺蔵《法華経曼荼羅》探索ノート	杉﨑　貴英	芸術学研究（京都造形）	3
伝小野通女筆《豊臣秀吉像》について	中村　玲	芸術学研究（筑波）	14
没後400年記念特集　長谷川等伯《松林図屏風》への道		芸術新潮	723
水墨マニアの密かな悦び　建長寺所蔵の“謎の三十二観音”を見る	山下　裕二	〃	728
特集　恋する春画　みんなの春画		〃	732
近世日本におけるプルシアンブルーの受容—秋田蘭画を中心に—	勝盛　典子 朽津　信明	神戸市立博物館研究紀要	26
学芸員のノートから93　「南蛮人交易図屏風」と「探幽筆」	石沢　俊	神戸市立博物館だより	97
「漫画」の変遷—近世期における意味と表象—	遠藤　広之	国学院雑誌	1240
世界観の時間—絵巻の場合—	藤本　幸男	〃	1243
歌川広重画「名所江戸百景」にみるメディア性と吉祥性—報道と祈り—	藤澤　紫	〃	〃
文化前期の地本問屋と文化元年の彩色摺禁令	佐藤　悟	国語と国文学	1036
私論小田野直武の思い—「唐美人図」における借用と創造	彭　丹	国際日本学	8
秋田蘭画をめぐる、未着手の文化的背景	山本　丈志	〃	〃
特集　近世散文における引用と挿絵		国文学解釈と鑑賞	951
林羅山の題画文学と美術史—「武州州学十二景図巻」跋を読む	門脇むつみ		
『西鶴諸国ばなし』の絵—反復と独立	広嶋　進		
八文字屋本の挿絵—西川祐信を中心に	佐伯　孝弘		
京伝合巻における音曲の引用—書体の工夫と挿絵	佐藤　至子		
読本に於ける挿絵の位相	髙木　元		
十返舎一九の挿絵について—『附会案文』『十廻松』『夷曲東日記』	二又　淳		
長谷川雪旦再考	武田庸二郎		
田能村竹田の題画文学における一考察—題跋の特徴とその機能	宗像　晋作		
明治木版草双紙の挿絵について	佐々木　亨		
特集　中世文学研究の現在　宗教と文学室町の社寺縁起絵—『真如堂縁起』をめぐって	恋田　知子	〃	955
パーク・コレクション蔵「鉢かづき物語」—翻刻と外題—	小林　健二	国文学研究資料館紀要	36
国文学研究資料館蔵『伊勢物語』絵入板本和古書マイクロフィルム解題（二）—元禄～正徳—	藤島　綾	国文学研究資料館調査研究報告	30
みんぱく私の逸品『夷酋列像図』	佐々木史郎	みんぱく	399
肖像表現における言葉と物　似絵の位置づけを巡って	伊藤　大輔	国立歴史民俗博物館研究報告	157
『正法念処経』から「病草紙」へ—経説の変容と絵巻の生成—	山本　聡美	国　華	1371
雪舟筆　山水図	島尾　新	〃	〃
伝俵屋宗達筆　白鷺図	河野　元昭	〃	〃
特輯　逸格逸品　第七輯		〃	1372
図版一　円山応挙筆　驟雨江村図	河野　元昭		
図版二　阿弥陀鉤召図	佐野みどり		
図版三　狩野山楽筆　牧馬図屏風	河合　正朝		
図版四　白隠筆　観音図賛	芳澤　勝弘		
図版五　池大雅筆　関羽像	小林　忠		
図版六　伊藤若冲筆　紫陽花雄鶏図	辻　惟雄		

図版七　岸駒筆　梅花小禽図	鎌田　純子		
円山応挙筆淀川両岸図巻について	児島　薫	〃	1373
地蔵菩薩画像	関口　正之	〃	〃
英一蝶筆　仏涅槃図	河野　元昭	〃	〃
酒井抱一筆　月に秋草図	小林　忠	〃	〃
司馬江漢筆「相州鎌倉七里浜図」と西洋銅版画をめぐって	岡　泰正	〃	1374
岡田米山人筆　武陵桃源図	河野　元昭	〃	〃
横山華山筆　寒山拾得図	横山　昭	〃	〃
研究資料　八代市春光寺蔵舞楽図屏風について	大倉　隆二	〃	〃
定印観音の一遺例―常照皇寺本の紹介―	泉　武夫	〃	1375
平治物語絵巻　六波羅合戦巻断簡	土谷　真紀	〃	〃
俵屋宗達筆伊勢物語図色紙（女車の蛍）	林　進	〃	〃
英一蝶筆　投扇図	佐々木英理子	〃	〃
四聖御影図	仙海　義之	〃	1376
与謝蕪村筆　老松図屏風	岡田　秀之	〃	〃
香川県立ミュージアム所蔵の「法華経」について――二世紀の東アジアにおける日本絵画の一遺例として―	橋村　愛子	〃	1377
鳥文斎栄之筆　隅田川風物図屏風	我妻　直美	〃	〃
研究資料　肉筆浮世絵の裏彩色―ボストン美術館ビゲロー・コレクションを中心に―	ターニャ・ウエダ	〃	〃
与謝蕪村筆　琴棋書画図襖	小林　忠	〃	1378
随想　古寺宝物探訪記	赤澤　英二	〃	〃
表紙解説　鋳銅刻画蔵王権現像　西新井大師総持寺蔵	国華編集部	〃	〃
特輯　白隠		〃	1379
特輯に当つて	島尾　新		
白隠型達磨像の成立	芳澤　勝弘		
図版二　白隠筆　半身達磨像	辻　惟雄		
図版三　白隠筆　蓮池観音像	山下　裕二		
図版四　白隠筆　富士大名行列図	芳澤　勝弘		
図版五　白隠筆　大燈国師像	三宅　秀和		
図版六　白隠筆　渡唐天神図	島尾　新		
図版七　白隠筆　布袋すたすた坊主図	浅井　京子		
図版八　白隠筆　朱衣達磨像	矢島　新		
図版九　白隠筆　隻履達磨像	加藤　陽介		
伝土佐光吉筆　源氏物語帚木図屏風	鷲頭　桂	〃	1380
海北友雪筆　一の谷合戦図屏風	前田麻衣子	〃	〃
池大雅筆　比叡山真景図	佐藤　康宏	〃	〃
住吉物語絵巻断簡	上野　友愛	〃	1381
岩佐派・道俱筆　寿老人図	辻　惟雄	〃	〃
司馬江漢筆　大海蟹図	水尾比呂志	〃	〃
逸品紹介		国華清話会会報	
英一蝶筆　暴風画賛	山本ゆかり		15
鷲孤山筆　三十六歌仙図屏風	松島　仁		16
鑑賞の勘どころ（七）―奇想の絵師たち―	辻　惟雄	〃	15
春画に魅かれて―研究への道	山本ゆかり	〃	〃
江戸中期の漢詩文にみる画人関係資料―事項一覧編―	杉本　欣久	古文化研究	9
「五大尊明王開帳参詣図」について―二組の浮世絵が語るもの―	西口　由子	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	4
資料紹介　「吉見百穴の図」一幅	奥田　豊	埼玉史談	301
振武軍の勇士・杉山銀之丞―その生家と菩提寺を訪ねて―	内野　勝裕	〃	302
美術番付に見る福島柳圃	奥田　豊	〃	303
江戸時代中期京都の「唐画」	伊藤　紫織	採　蓮*	13
堺市博物館蔵・毘沙門天画像について	堀川亜由美	堺市博物館報	29

住吉弘貫筆・古川松根詞書《新嘗祭図》について	福井　尚寿	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	34
Curator's Eye　担当学芸員が語るワンポイント		サントリー美術館ニュース	
孔雀図屏風―謎の白い花は桃か―	瀬山　里志		228
歌麿〈美人大首絵〉の傑作　絵筆でとらえた女心	池田　芙美		231
歌麿・写楽の仕掛け人　その名は蔦屋重三郎		〃	〃
江戸の仕掛け人、蔦屋重三郎	田中　優子		
江戸の名プロデューサー、「蔦重」	鈴木　俊幸		
久隅守景文献目録	笹木　繁男	jaic 会 報	21
コラム　歴史の風　弥生絵画と方相氏	設楽　博己	史学雑誌	119－9
時評７　絵金祭りと展示	宮下規久朗	視覚の現場　四季の綻び	7
斎藤道三画像模写事業報告	髙木　叙子	滋賀県立安土城考古博物館紀要	18
斎藤道三画像背景部分の分光分析について	佐々木良子 髙木　叙子	〃	〃
滋賀・長寿寺伝来の絹本著色地蔵曼荼羅図における六臂地蔵菩薩と一万一千八百五十一躯の小地蔵尊をめぐって	山下　立	〃	〃
《武蔵野図屏風》―静岡県立美術館所蔵作品の紹介を中心に	飯田　真	静岡県立美術館紀要	25
『三升増鱗祖』について（一）	松原　哲子	実践国文学	77
研究報告1. 亀井少栞「墨竹図」	仲町　啓子	実践女子学園香雪記念資料館館報	7
文芸資料研究所蔵絵入版本『栄花物語』・翻刻・影印（二）	上野　英子	実践女子大学文芸資料研究所年報	29
常盤松文庫蔵　奈良絵本栄花物語　三冊	横井　孝	〃	〃
資料紹介　赤本『〔絵本東海道〕』について―影印と翻刻	津田　眞弓	斯道文庫論集	44
河野元昭が選ぶ水墨画50選	河野　元昭	趣味の水墨画	
豊衍なる画趣―中村芳中《白梅小禽図屏風》			250
中国の西湖のイメージを日本の天橋立に重ねる　雪舟等楊《天橋立図》			255
謎の多い《天橋立図》は、実は政治的な絵画であった雪舟等楊《天橋立図》			256
やさしく穏やかな水墨画へと日本化をはかる　雪舟等楊《破墨山水図》			257
「道」に輪廻の思想を重ね合わせる雪舟等楊《秋冬山水図》			261
長谷川等伯―筆で天下をとった絵師	松嶋　雅人	〃	251
伊藤若冲　アナザーワールド	伊藤　紫織	〃	254
生誕260年　仙厓―禅とユーモア―	八波　浩一	〃	258
「遠見の絵」の中に現れる世界　特別展円山応挙―空間の創造	樋口　一貴	〃	259
特集：御後絵の復元御後絵をとりまく研究史	平川　信幸	首里城研究	12
資料編1.『沖縄文化の遺宝』からの御後絵関係記事		〃	〃
趙州狗子話と絵画―祖師図、肖像画、宗達、若冲―	門脇むつみ	城西国際大学日本研究センター紀要	4
表紙解説　房総ゆかりの浮世絵　三代歌川豊国「近世水滸伝」のうち「井岡捨五郎」（学校法人城西大学水田美術館所蔵）	〃	〃	〃
失われた法隆寺壁画の再現研究（十八）～（二十）、（補遺１）	松田　真平	聖　徳	203～206
鶴澤探山の生年と享年	五十嵐公一	塵　界	21
資料紹介　当館蔵源平合戦図屏風（三浦・畠山合戦図）	前田　徹	〃	〃
新美術時評	島尾　新	新美術新聞	
松林図の余白			1210
雪舟の庭と実証主義			1231
「姿絵」異聞	永田雄次郎	人文論究	59－4

熊野観心十界曼荼羅とそのルーツ(VI)—新出諸本の分析—	宮川　充司	椙山女学園大学研究論集	41
浮世絵に見る花鋏	佐々木　尭	阡　陵	61
「琳派の美術様式」から探る日本の美意識とグラフィックデザインの視点	岩上　孝二	崇城大学芸術学部研究紀要	3
北斎の見た風景３ 水の画家北斎	安村　敏信	太陽の地図帖	5
Q&A で知る“冨嶽三十六景”の謎	〃	〃	〃
評伝　北斎　描くことへの執念に満ちた生涯	〃	〃	〃
長谷川等伯　桃山画壇の変革者		太陽(別冊)	166
西行　捨てて生きる「地獄絵を見て」の世界	宇津木言行	〃	168
妖怪絵巻　日本の異界をのぞく		〃	170
東大寺　そして光の尊像は誕生した		〃	172
華厳五十五所絵巻善財童子の求道をめぐって	森本　公誠談		
東大寺における善財童子歴参図の歴史	森實久美子		
松竹大谷図書館所蔵組上燈籠絵の調査報告	柿崎　博孝	玉川大学教育博物館紀要	7
雪舟筆天橋立図論の序	島尾　新	多摩美術大学研究紀要	24
特別読物　長谷川等伯と千利休	宮島　新一	淡　交	788
伊藤若冲アナザーワールド	伊藤　紫織	千葉市美術館ニュース C'n	54
東福寺蔵明兆筆三十三観音図に関する一考察	立畠　敦子	デアルテ	26
館長コラム	滝沢　具幸	テラス	
わら筆のことなど			84
水墨画の発色			87
秋月伝の再検討	渡邊　雄二	天開図画	8
『益田家文書』の中の雪舟作品	影山　純夫	〃	〃
明代の倣古と雪舟	荏開津通彦	〃	〃
焼失した重要文化財狩野探幽筆大徳寺方丈障壁画「猿曳図」の復元模写に関する報告	田渕　俊夫 宮廻　正明 大河原典子	東京芸術大学美術学部紀要	48
「源誓上人絵伝」想定三幅本の制作—中世掛幅縁起絵の作画技法を手がかりとして—	鴈野佳世子	東京芸術大学美術学部論叢	6
西川祐信『絵本花の鏡』をよむ—画題研究の視点から	星野　鈴	東京造形大学研究報	11
史料紹介と研究		東大画像史料解析センター通信*	
国立国会図書館所蔵「鞍馬縁起」について	藤原　重雄		48
荻野仲三郎氏旧蔵の「石清水八幡宮曼荼羅」—模写・古写真の紹介—	〃		51
館蔵「日吉山王社参詣図屏風」について	小澤　弘	東京都江戸東京博物館研究報告	16
表紙解説　勝海舟筆「錨画賛」(個人蔵)	寺内　進	刀剣美術	636
聖徳太子信仰と三国仏教史観(上)—一幅本三国菩薩・高僧・先徳・太子連坐像の成立構想に即して—	早島　有毅	同朋大学仏教文化研究所紀要	29
垂迹としての聖徳太子—早島有毅「聖徳太子信仰と三国仏教史観」によせて—	吉田　一彦	〃	〃
与謝蕪村筆奥の細道図屏風の解釈	山田　烈	東北芸術工科大学紀要	17
静岡市立芹沢銈介美術館所蔵「稚児大師」—聖性を顕現する童子形—	福地佳代子	芹沢銈介美術工芸館年報*	1
研究資料紹介　平澤屏山筆「種痘施行図」	濱田　淑子	〃	〃
学芸員ノート　歌麿の美人図から	小野　恵	遠山記念館だより	39
伝狩野玄也筆「四季花鳥図屏風」について	茨木　恵美	栃木県立博物館研究紀要	27
平成21年度長浜城歴史博物館新館蔵資料紹介		長浜城歴博だより*	35
子連虎図　堀田正民画			
小堀遠州像			
資料紹介　関ヶ原合戦図絵巻	津田　卓子	名古屋市博物館だより	193
富美文庫「徒然草」考—挿絵の比較を中心に—	塩出貴美子	奈良大学紀要	38

研究報告　高松塚古墳壁画の材料調査	肥塚　隆保 高妻　洋成 降幡　順子	奈良文化財研究所紀要	2010
酒造図絵馬の研究（3）—新潟県外の事例について2—	野堀　正雄	新潟県立歴史博物館研究紀要	11
資料紹介　「松倉金山絵巻」と佐渡金銀山絵巻	渡部　浩二	〃	〃
春画と衣装	鈴木　堅弘	日本研究	41
雪舟による掛幅装山水画の空間構成	真木　利江	日本建築学会計画系論文集	648
近世京都における絵師の居住傾向	安　道永	〃	654
近世京都絵師の居住分布における流派別傾向	〃	〃	657
宗達とその後継者たちの足跡—京都と金沢を基点として—	岡田　梓	日本女子大学大学院紀要（人）*	16
池田家歴代肖像画と池田継政	浅利　尚民	林原美術館紀要・年報	4
第10回研究会講演		玻璃彩*	8
若冲《動植綵絵》、その巧みな描写表現について—修理事業の成果より	太田　彩		
伊藤若冲『動植綵絵』の彩色材料について	早川　泰弘		
尾形光琳筆『風神雷神図屏風』の模写工程の考察—俵屋宗達筆『風神雷神図屏風』との比較からみる—	奥井　素子	美　学	236
「長恨歌絵」の変容—奈良絵系《長恨歌絵巻》を手がかりに—	村木　桂子	美学芸術学	25
「明恵上人樹上坐禅像」再考	伊藤　大輔	美学美術史研究論集	24
落合芳幾《真写月花之姿絵》—図像特定から読み解く「連」との関係性について	蒲　裕美子	〃	〃
国文学研究資料館所蔵「鈴木其一書状」の分析と考察—パトロン大坂屋孫八と「絵表具」を中心に—	竹林　佐恵	美史研ジャーナル	7
鉄心斎文庫蔵「伊勢物語画帖」について	土屋　貴裕	美術研究	399
研究ノート　追憶の色—遊楽図の人物風俗描写に関する一考察—	江村　知子	〃	〃
雲谷等顔筆「梅に鶏図」考—名嶋城御成書院から福岡城対面所へ—	綿田　稔	〃	400
乱世の追懐—「豊国祭礼図」（徳川美術館）の主題解釈—	廣海　伸彦	美術史	168
土佐光信筆小絵「高野雲」試論	谷川　ゆき	〃	〃
甲斐万福寺旧蔵「源誓上人絵伝」に関する一考察—構図の問題と主題解釈をめぐって—	鴈野佳世子	〃	〃
益田家旧蔵「普賢十羅刹女像」の和装本成立史上の意義—源氏一品経供養との関わりから—	中村　暢子	〃	〃
「安徳天皇縁起絵伝」再考—主に構図と画風をめぐって—	佐藤　直子	〃	〃
江戸初期「戦国合戦図屏風」の武装描写に関する一考察	須賀　隆章	〃	〃
平成二十一年度東支部例会発表要旨		〃	〃
伊藤若冲の歌仙図について—俳諧文化・光琳画・豆腐愛好との関わりから—	馬渕　美帆		
石山寺多宝塔四天柱絵の構想と尊像構成	林　温		
平成二十一年度西支部例会発表要旨		〃	〃
ベルリン国立アジア美術館所蔵「扇面平家物語」についての一考察—中近世平家物語扇面画の受容—	瀬谷　愛		
経絵の絵画史的位置づけ	緒方　知美		
酒井抱一の仏画制作—谷文晁との関わりから—	木下明日香		
近世職人尽絵の特徴および系譜に関する考察—喜多院所蔵「職人尽絵屏風」を中心として—	奈良　葉子		
歌川広重と木曽街道の旅—大英博物館所蔵『スケッチ帖』の検討を基に—	菅原　真弓		

聖徳太子絵伝にみる三国伝来観—鶴林寺本聖徳太子絵伝をめぐって—	村松可奈子	〃	169
称名寺金堂壁画の制作について	髙宮なつ美	〃	〃
第六十三回全国大会研究発表要旨		〃	〃
東京国立博物館所蔵「土蜘蛛草紙」の研究	本多　康子		
詫磨栄賀の図様学習とその絵画化—交錯する伝統と創意—	藤元　裕二		
鳳凰の足—「対趾足」図像の起源と伝播—	中野　晶子		
大阪・久米田寺所蔵北斗曼陀羅図に関する一考察—制作背景を中心に—	宇代　貴文		
誰が袖図屏風における「定型的」図様形式の展開—小袖衣装の描写に関する考察—	奥田　晶子		
近世的「長恨歌図」の一様態—婚礼調度としての《長恨歌図屏風》（個人蔵）—	村木　桂子		
菱川師宣による徒然草図制作について	阿美古理恵		
桜町天皇譲位・桃園天皇受禅における渡辺始興らの屏風絵制作について	福田　道宏		
円山応挙の写生—人形、見世物、春画との関係—	加藤　弘子		
近世大坂画壇における大岡派・吉村派の再考—光明寺資料調査報告を中心に—	髙杉　志緒		
伊藤若冲筆「動植綵絵」研究	田島　菜摘		
伝周文筆山水図屏風の研究２—春冬山水図屏風（クリーヴランド美術館）と四季山水図屏風（静嘉堂文庫美術館）—	松木　寛	美術史学	30
金剛峯寺の山水屏風	泉　万里	〃	〃
岩佐又兵衛と荒木一族	畠山　浩一	〃	〃
北条氏繁と一色直朝の鷹図	四宮美帆子	美術史研究	48
俵屋宗達筆「槇檜図屏風」—装飾された金地の意味—	多田　彬子	〃	〃
大英博物館の風流踊図屏風について	川本　桂子	美術史論集	10
司馬江漢の眼鏡絵と油彩風景図に見られる湾曲した海岸線について	橋本　寛子	〃	〃
若冲・蕭白とそうでないもの	佐藤　康宏	美術史論叢	26
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL.17　若冲作品の構図の秘密に迫る若冲は何を見、何を学んだのか？	福士　雄也	美術の窓	316
いろの景　其ノ九～其ノ十一	島尾　新	〃	316、318、319
巻頭特集　戦国絵師長谷川等伯　絵筆で天下を獲る		〃	318
日本美術のススメ 今月の逸品		〃	
過去現在絵因果経断簡（益田家本）耶舎長者出家願図	福島　修		319
吉備大臣入唐絵巻	谷口　耕生		321
金剛界八十一尊曼荼羅	白原由起子		322
冷泉為恭「山越阿弥陀図」	田中知佐子		324
桜下遊楽風俗図	遠藤　幸一		325
知られざる日本美術池大雅筆「比叡山真景図」	佐藤　康宏	〃	〃
円山応挙が目指した世界	樋口　一貴談	〃	326
古礌研究（二）、（三）	マニー・ヒックマン　原田　平作訳	美術フォーラム21	21、22
表紙解説〈裏〉　明誉古礌《七福神図》	原田　平作	〃	21
資料紹介　田中本家博物館蔵《花鳥図屏風》について	並木　誠士	〃	〃
表紙解説〈表〉　狩野元信筆《釈迦堂縁起絵巻》第三巻	松本　直子	〃	〃
表紙解説〈裏〉《二十四孝図屏風》	並木　誠士	〃	〃
画聖・雪舟の横顔　８～11	島尾　新	美術屋・百兵衛	12～15
研究ノート「華厳五十五所絵」をめぐって	古川　攝一	美のたより	170

研究ノート『太梁公日記』に登場する絵師たち—探円と俵屋—	宮崎　もも	美のたより	171
研究ノート　座間味庸昌（殷元良）「船上武人図」と福建画壇	塚本　麿充	〃	〃
大和文華館の日本絵画展によせて		〃	172
岡田為恭筆「春秋鷹狩茸狩図」について	中部　義隆		
「伊勢物語下絵梵字経」をめぐって	宮崎　もも		
南蛮美術研究　東家本「マリア十五玄義図」支持体の再現研究	武田　恵理	百万塔	136
広大山恩徳寺の縁起	田村三千夫	兵庫県揖保郡太子町立歴史資料館館報	12
再発見された「南蛮屏風」について	越智裕次郎	兵庫県立美術館研究紀要	4
博物館アラカルト23　白雲画　北条眺望図	岡野　将士	広島県立歴史博物館ニュース	82
厩図屏風の情景—風俗表現を中心に—	金子　岳史	フィロカリア	27
仙厓展「仙厓さんとおともだち」	渡邊　雄二	福岡市美術館古美術室解説	198
西洋描画技術の変容—亜欧堂田善と一九世紀の画家たち	金子　信久	府中市美術館研究紀要	14
「山水屏風」（東寺旧蔵）の制作時期と体系的位置づけ	小林　　学	仏教芸術	310
「吉備大臣入唐絵巻」再考—その独自性からの展望—	神田　房枝	〃	311
石山寺多宝塔柱絵の図像と表現	林　　温	〃	312
山梨県一蓮寺所蔵「絹本著色釈迦三尊十八羅漢図」について—その東アジア絵画史上の位置—	増記　隆介	〃	〃
平安時代の截金文様と外来文化受容の様相	和澄　浩介	〃	313
清浄華院蔵伝「泣き不動」像とその周辺	近藤　　謙	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	6
詩仙図について	門脇むつみ	文　　学*	11－3
コラム　キトラ古墳壁画について—四神図の表現を中心に—	増記　隆介	文化財*	560
狩野山雪「老梅図襖」、謎の謎	中山　禎輝	鳳翔学叢	6
史料紹介　尊経閣文庫所蔵『桑華書志』にみえる『前九年合戦絵詞』『後三年合戦絵詞』関係記事	小口　雅史 遠藤祐太郎	法政史学	73
北斎の子・孫・曾孫—加瀬崎十郎・弥次郎・昶次郎について	竹村　　誠	北斎研究	45
『富嶽百景』初二編異版色板について	福島　清剛	〃	〃
フリーア美術館所蔵葛飾北斎「玉川六景図」の原形	奥田　敦子	〃	〃
資料紹介16　「俳諧おだ巻　生類の部」追記	〃	〃	〃
ピーター・モースコレクション　区指定文化財の概要	五味　和之	〃	〃
東海道吉原宿の脇本陣　鈴木香峰と松浦武四郎—近世後期から近代初期に形成された知識人ネットワークに関する基礎研究：二〇〇九（平成二十一）年度調査報告	三浦　泰之 山本　　命	北海道開拓記念館調査報告	49
江戸時代における中国絵画受容の問題—池大雅の款記に見られる「写意」をめぐって—	濱住　真有	待兼山論叢	44
バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』（巻五）解題・翻刻	辻　　英子	三田国文	51
『むらくも』奈良絵解題・影印	石川　　透	〃	〃
聖徳大学所蔵『七夕』翻刻	辻　　英子	〃	52
『瓜子姫』奈良絵　解題・影印	石川　　透	〃	〃
松阪来迎寺二十五菩薩来迎図と山本宗川	西本　周子	三井美術文化史論集	3
平安時代前期・中期における孔雀経法の形成と展開—空海請来から藤原道長による平産の祈りへ—	橋村　愛子	密教図像	29
表紙解説　般若菩薩像	沖松健次郎	MUSEUM	624
来迎図の尊像構成と迎講に関する一考察—法華寺本菩薩・童子幅を中心に—	安藤　香織	〃	625

威徳院の書画調査／威徳院の書画／威徳院書画目録・銘文	松岡　明子ほか	ミュージアム調査研究報告	2
見方を変えれば…―「道教の美術」展　反省の弁―	石川　知彦	美をつくし	173
視覚化された文学と造形の出会う場所―東福門院御遺物、土佐光起筆「桜楓に短冊図屏風」（シカゴ美術館）の意義―	玉蟲　敏子	武蔵野美術大学研究紀要	40
初期黄表紙挿絵の画中モチーフに見る文字情報―現実とフィクションの交錯、および「機知」の表現―	鶴岡　明美	〃	〃
浮世絵が語るもの第一回～第七回	永田　生慈	目の眼	405～411
若冲の真骨頂　若冲の白と黒	伊藤　紫織	〃	406
物に執して（一三六）	鈴木　皓詞	〃	409
白隠を読み解く　禅の大改革者からのメッセージ　江戸という時代を内包した巨人	芳澤　勝弘 藪本　俊一 対談	〃	410
吉田松陰自賛肖像考	山田　稔	山口県文書館研究紀要	37
大英博物館所蔵、広重筆「木曽路写生帖」をめぐって	浅野　秀剛	大和文華	122
新収品紹介　春秋鷹狩茸狩図屏風	中部　義隆	〃	〃
誠拙周樗関係資料の研究	遠藤　廣昭	横浜市歴史博物館調査研究報告	6
歴史研究最前線58　今なぜ渡辺崋山か	別所　興一	歴史地理教育	756
子どもの目　屏風絵を見る子どもたち	渡辺　明	〃	758
浮世絵から江戸時代の庶民のくらしを学ぶ（上）、（下）―韓国の小学校で授業をして	平野　昇	〃	761、763
歴史研究最前線63　キトラ古墳壁画にみる日本と東アジア	鈴木　靖民	〃	763
歴博けんきゅう便第34回資料調査プロジェクト　歌舞伎役者たちの死の世界：死絵図録の刊行	山田　慎也	歴　博	158
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　絵双六	大久保純一	〃	163
平成廿年度　修復文化財関係銘文集成［絵画・彫刻］	鈴木　喜博 木下　千巡	鹿園雑集*	12
資料紹介　三十六歌仙図屏風	高林　晶子	六所家総合調査だより	6
岩瀬広隆研究序説（二）	近藤　壮	和歌山市立博物館研究紀要	24
華岡青洲肖像画の神格化について―試論―	高橋　克伸	〃	25
岩瀬広隆筆賑糶之図の歴史的背景	寺西　貞弘	〃	〃
木村兼葭堂の和歌山来訪について	近藤　壮	〃	〃
鉅鹿民部（魏皓）の画業	成澤　勝嗣	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
博士（文学）学位請求論文審査報告要旨　田能村竹田研究―画中の詩と詩中の画―	松本　朋香	〃	〃
早来迎考―穢土即浄土の表現―	磯貝　誠	〃	〃
修士論文概要　『誉田宗廟縁起』について	平井　晶子	〃	〃
博士論文概要　田能村竹田研究―画中の詩と詩中の画―	松本　朋香	〃	〃
「若冲屏風」は本人の作？　佐藤・東大教授	西田　健作	朝　日	5.1
キトラ古墳壁画特別公開　四神降臨　蘇る至宝たち		〃	〃
ニュースがわからん！　公開されるキトラ古墳壁画って何？	渡　義人	〃	5.15
美の履歴書		朝日夕刊	
150「荷宝蔵壁のむだ書」歌川国芳	田中　三蔵		4.7
154「燕子花図屏風」尾形光琳	〃		5.12
158「人の一生（墓穴掘）」川原慶賀	〃		6.9
159「四季花鳥図屏風」能阿弥	小川　雪		6.16
163「諸国滝廻り木曽路ノ奥阿弥陀か滝」葛飾北斎	米原　範彦		7.14
174「伊達競阿国戯場　累」絵金	小川　雪		9.29
176「指月布袋画賛」仙厓	西田　健作		10.13

特別展写楽　研究途上の謎の絵師	浅野　秀剛	東　　京	12.6
オランダと NIPPON レンブラントからシーボルトまで(下) 人の一生	平岡　隆二	東京夕刊	5.13
国芳の錦絵80年ぶりに確認「かさねのほうこん」		〃	8.13
仙厓無法の禅(2)～(7)、(9)、(11)～(24)	玄侑　宗久	〃	8.31～9.3、9.6、9.7、9.9、9.13～9.17、9.21、9.22、9.24、9.27～10.1、10.4
伏見城の姿ありありと　「洛中洛外図屏風」公開へ		〃	10.15
左官の芸術「鏝絵」入江長八と大分の職人たち	河尻　　定	日　　経	3.11
布に秘めた思い十選7　「誰が袖図屏風」(右隻)	林　　洋子	〃	4.1
半歩遅れの読書術 絵巻の楽しみ	五味　文彦	〃	4.25
美の美		〃	
千利休―闘うわび茶　上	内田　洋一		5.9
子供の情景1、2	宝玉　正彦		8.1、8.8
芭蕉の眼になる 上、中	内田　洋一		10.10、10.17
アニメのふるさと絵巻十選1～10	安東　民兒	〃	5.20、5.21、5.24～5.27、5.31、6.1、6.3、6.8
色が光る水墨画十選1～10	山下　裕二	〃	11.8、11.9、11.11、11.16、11.18、11.19、11.22、11.23、11.25、11.26
等伯　画聖への道	岸　　桂子	毎　　日	1.10、1.17、1.24、1.31、2.7、2.14、2.21、2.28、3.7、3.14、3.21、3.28
画聖の足跡1～10 特別展「長谷川等伯」から	松嶋　雅人	〃	1.19、1.21～1.23、1.26、1.27、2.2、2.4、2.9、2.16
ゆったりアート	岸　　桂子	毎日夕刊	4.16、4.30、6.25、7.16、9.17、10.8、11.5、12.3
江戸博蔵めぐり		読　　売	
練鵲図　徳川綱吉・筆	田原　　昇		1.14
余景作り庭の図 菱川師宣・画	大橋菜都子		1.22
子供遊竹馬尽くし	吉田奈緒子		4.2
利根川図志全6冊 赤松宗旦義知・著	真下　祥幸		6.18
今様職人尽歌合上巻　鍬形紹真・画	橋本由起子		7.16
伝旗本今村益之丞屋敷図	真下　祥幸		9.3
隅田川図屏風	我妻　直美		9.24
「江戸大割絵図」のうち中之図(部分)	真下　祥幸		10.15
両国橋夕涼花火見物之図	我妻　直美		10.22
江の嶋弁才天　開帳参詣群衆之図 歌川国郷・画	丸山はるか		11.5
異才列伝　絵金	田中　　聡	〃	8.29
江戸庶民の性描写 世界が認めた「笑い」	早川　多聞	〃	11.11
朝　　鮮			
展覧会への誘い 「朝鮮虎展」によせて	片山真理子	高麗美術館館報	85
表紙について　耕職図屏風	(岩)	〃	87
大徳寺所蔵「高麗水月観音図」の造形解釈―根源者、観音菩薩の誕生―	姜　友邦 篠原　啓方 訳	国　　華	1378
朝鮮王朝絵画と室町水墨画―中央画壇と地方画壇「関東水墨画」における受容	橋本　慎司	〃	1381
遠くの目		コリアナ	
「甘露幀(カムノテン)」の餓鬼神	伊藤　好英		17－1
馬耳山のお堂の壁画	小峯　和明		17－3

朝鮮王朝時代における釈迦誕生図の図像研究	鄭 于澤 石附 啓子 訳	美術研究	401
虎の意匠 「山霊」—朝鮮美術にあらわされた虎	片山真理子	目の眼	401

その他

アルジャイ石窟寺院—聖救度仏母二十一種礼讃経について—	山口 周子	印度学仏教学研究	121
ムスタン王国 石窟壁画の精華	宮本 道夫	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	54
アフガニスタン流出仏教壁画片の調査と修復Ⅰ	木島ほか	東京芸術大学美術学部紀要	47
物に執して（一三一）	鈴木 皓詞	目の眼	404

図像・文様

中国

神獣「白澤」と文化の伝播	熊澤 美弓	愛知県立大学文字文化財研究所年報	3
中国南陽の漢代画像石にみる独角獣について—『山海経』にみる異獣「兕」のゆくえ—	松浦 史子	鹿島美術財団年報・別冊	27
三星堆祭祀坑銅神壇の図像学的考察	曾布川 寛	東洋史研究	69－3
阿弥陀仏五十菩薩図像の成立と展開について	小野 英二	美術史研究	48
畏獣像小考—六世紀前半作例の性質と機能を中心に—	田林 啓	美術史論集	10

日本

道教美術の可能性 日本における受容と融合		アジア遊学	133
神道図像と道教美術の関わり—「道教の美術」展を経て	清水 実		
馬に跨る女神はどこから来たか—神道図像と道教をめぐって	門屋 温		
平田篤胤と「五岳真形図」	森 瑞枝		
密教図像と意楽	真鍋 俊照	印度学仏教学研究	120
紫雲に関する一考察	永田 真隆	〃	〃
五秘密尊と五秘密曼荼羅	川崎 一洋	〃	122
染織資料Ⅳ—御絵図—	與那嶺一子	沖縄県立博物館・美術館博物館紀要	3
12・13世紀の日本における如意輪観音像の展開	清水 紀枝	鹿島美術財団年報・別冊	27
有職文様の形成と展開に関する研究	猪熊 兼樹	〃	〃
翁猿楽、描かれた舞姿—「豊国祭礼図」を中心に—	廣田野乃子	芸術学学報	16
特集 日本人と笑い 図像に描かれた笑い		国文学解釈と鑑賞	948
ことわざにとって笑いとは？	時田 昌瑞		
判じ絵の諧謔性	岩崎 均史		
特集 近世散文における引用と挿絵		〃	951
『南総里見八犬伝』第九輯結局下編表紙の図像について	播本 眞一		
陸謙の水滸伝図像をめぐって—馬琴・崑山・国芳	神田 正行		
弁才天信仰と図像の中世的展開 日吉山王曼荼羅を中心に	中島 彩花	女子美術大学研究紀要	40
『東勝寺鼠物語』等にみる室町期僧房の食生活—その1	小林 美和 冨安 郁子	帝塚山大学現代生活学部紀要	6
修士論文要旨 仏教絵画における四天王図像の形態比較	川野 慶子	徳島文理大学文学論叢	27
『一遍聖絵』に描かれた桜	佐々木弘美	年報非文字資料研究	6
長谷寺銅板法華説相図の図様及び銘文に関する考察	田中 健一	美術史	168
特異な星辰神の図像とその象徴性	泉 武夫	仏教芸術	309
黒漆八角宝珠箱の金銀泥絵像とその意味	〃	〃	312
聖徳太子像の成立—四天王寺聖霊院像を基点とする太子像の史的理解のために—	藤岡 穣	文学*	11－1
神将図像からみた三寅剣の制作に関する一考察	竹下 繭子	文化財学報	28
忘れられた瑞獣・獬豸〔かいち〕—その図像学的分類の試み—	高藤 晴俊	文星紀要	21
天台大師智顗の肖像—延暦寺本をめぐって—	吉村 稔子	密教図像	29

千手観音眷属の功徳天と婆薮仙をめぐって	濱田　瑞美	密教図像	29
玉璧と松浦武四郎を結ぶもの(参)	北郷　泰道	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	6
資料紹介　東京国立博物館蔵『旧儀式図画帖』	猪熊　兼樹	MUSEUM	626
京都清涼寺所蔵阿弥陀浄土図について—源信を典拠とする図像の紹介を中心に	北澤　菜月	鹿園雑集*	12
唐花立涌の襖について	増野　真衣	和歌山県文化財センター年報	2009
江戸博蔵めぐり　増上寺台徳院霊廟装飾図	斎藤　慎一	読　　売	7.2

そ　の　他

カンボジア、アンコール期の寺院における図像配置—プレア・カーン(アンコール)におけるペディメントとリンテルの資料集成—	久保真紀子	高梨学術奨励基金年報	H21年度
神変と光背に関する一考察	熊谷　貴史	密教図像	29
東西交渉とイラン文化　元型、複合、伝播	井本　英一	アジア遊学	137

地図・絵図

日　　本

ライデン大学所蔵の備前国絵図・備中国絵図をめぐって	倉地　克直	岡山大学文学部紀要	53
収蔵品紹介５　満濃池御普請所絵図	芳澤　直起	香川県立ミュージアムニュース	11
特集　寛文年間の城下町絵図を読み解く		研究紀要金沢城研究	8
解読した「寛文七年金沢図」の人名データ	石川県金沢城調査研究所		
「寛文七年金沢図」の藩士配置と都市計画	木越　隆三		
文化５年の金沢城二の丸再建許可老中奉書と再建許可願絵図について	白峰　　旬		
資料紹介　館蔵古地図の袋について—書林情報を中心に袋からわかる事—	国木田明子	神戸市立博物館研究紀要	26
史料紹介と研究　国立公文書館所蔵下総国元禄・天保国絵図調査報告３—国境・郡境・交通路の変化—	梅田　千尋	東大画像史料解析センター通信*	48
薩摩国日置北郷絵図現地調査報告概報	井上　　聡	〃	〃
国立公文書館所蔵下総国元禄・天保国絵図調査報告４	佐藤　賢一	〃	49
史料紹介と研究　「えんぶた」の発見—国絵図復元研究から	荒井　　経 染谷　香理 杉本　史子	〃	50
資料紹介　「信濃国十二郡」をめぐって—木曽の描かれた地図—	福島　正樹	長野県立歴史館研究紀要	16
資料紹介　「西宮勤番所絵図」	衛藤　彩子	西宮市立郷土資料館ニュース	34
研究余録　津軽領国絵図に関する新資料の発見—弘前大学附属図書館所蔵「津軽領元禄国絵図写」—	本田　　伸	日本歴史	745
口絵解説　国宝　越中国射水郡鳴戸村墾田図(麻布)　天平宝字三年十一月十四日	梅澤亜希子	文 化 財*	561
文化財を記録する33地図・絵図類の記録—調査の内容—	地主　智彦	〃	〃
表紙解説　伊能忠敬関係資料	岡部　幹彦	〃	〃
特集・江戸図の世界　江戸図の精度—近代図にも匹敵する江戸時代の実測図—	平田　秀勝	港郷土資料館だより	66
「武蔵国鶴見寺尾郷絵図」にみる小笠原氏について	阿諏訪青美	横浜市歴史博物館調査研究報告	6
常設展示のみどころ38　近世部門　「鹿児島城下絵図屏風」を読む	新福　大建	黎　　明	109
史料・文献紹介　『三国通覧図説』—衝撃の「蝦夷国全図」—	岩﨑奈緒子	歴史と地理	640
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　「元禄二年堺大絵図」	玉井　哲雄	歴　　博	160
学芸員調査ノート　宇和島御城下地図	井上　　淳	歴博だより	63

彫　塑

東アジア

特集1　仏像―自分だけの念持仏を持とう　仏像を坐辺に置く楽しみ	小西　基仁 小西　将仁 解説	目の眼	402

中　国

東アジアを結ぶモノ・場　楊貴妃観音像の〈誕生〉	西谷　功	アジア遊学	132
道教美術の可能性 道教美術の諸相と展開　道教像のすがたとひろがり―南北朝～唐時代	齋藤　龍一	〃	133
「平城遷都1300年記念　大遣唐使展」を終えて	稲本　泰生	明日の東洋学	24
中国山東省における南北朝時代から唐代にかけての仏教造像様式の研究	小澤　正人 八木　春生	鹿島美術財団年報・別冊	27
唐代中国四川地域の薬師信仰研究―他の尊像との関連を中心に―	金　銀児	〃	〃
唐代四川地方の千手観音龕に見られる浄土往生信仰の要素について	羅　翠恂	〃	〃
隋時代の道教像に関する一考察―愛知県美術館木村定三コレクション・石造道教三尊像を中心に―	齋藤　龍一	木村定三コレクション研究紀要	2010年度
発表要旨		京都美学美術史学	9
七世紀以降の弥勒像の展開について―四川省摩崖造像群の作例を中心に―	金　銀児		
北朝期双樹光背表現の特徴と意味考察―河北省出土白玉像の作例を中心に―	徐　男英		
中国隴東地区早期仏教造像の特質と来源	石松日奈子	実践女子大学美学美術史学	24
現代中国巧芸事情46 恭王府と山東省青州仏像展	仲　佑樹	書道界	245
石窟研究の「うち」と「そと」	安藤　房枝	人　文	57
四川汶川出土の南朝仏教石造像	雷　玉華、 李　裕群、 羅　進勇 濱田　瑞美 訳	美術研究	400
平成二十一年度西支部例会発表要旨　河清元年（五六二）銘像考―「弥勒破坐」の解釈をめぐって―	徐　男英	美術史	168
四川省広元皇沢寺第二八窟について	金　銀児	〃	169
特集　仏教彫刻の霊験性と彫刻史3　中国の霊験像の性格と造形	肥田　路美	美術フォーラム21	22
北朝・隋代の無量寿・阿弥陀像銘―特に『観無量寿経』との関係について―	倉本　尚徳	仏教史学研究	52－2
上本俊平氏寄贈　旧笹川コレクションの一点について―中国彫刻をめぐるささやかな近代史2―	齋藤　龍一	美をつくし	174
山西省塔寺石窟北壁の北魏造像と銘文	佐藤　智水	龍谷史壇	130
隋・唐前期の一州一寺制と造像	肥田　路美	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
四川地域の毘沙門天像―形式にみる四川的特徴について―	大島　幸代	〃	〃

日　本

頂相…禅僧の肖像彫刻―普応国師坐像を中心に―	守屋　正彦	あーとらいぶらりー	11
「生人形」の意味するもの―近代を照射する「日本彫刻」	南嶌　宏	〃	〃
資料紹介　立山信仰にかかわる資料群	伊東　史朗	愛知県史研究	14
善光寺式阿弥陀三尊像の問題点について	神谷麻理子	愛知県立芸術大学紀要	39
平安末期の山林寺院と地域社会―三河国の秘められた文字史料探求―	上川　通夫	愛知県立大学文字文化財研究所年報	3
大阪・法道寺金剛力士立像について	桑野　梓	アジア文化交流研究	5
道教美術の可能性 日本渡来の華人の神々	二階堂善弘	アジア遊学	133
出雲文化圏と東アジアIII　信仰と技術 出雲の狛犬―来待石の唐獅子文化	廣江　正幸	〃	135

「手長足長」彫刻の発生とその展開—近世山車彫刻の図様に関する研究—	水野　耕嗣	飯田市美術博物館研究紀要	20
『往生浄土伝』と平安時代六往生伝にみる仏像	田中　夕子	印度学仏教学研究	120
宇佐任聖寺の仏たち作品解説	髙宮なつ美	おおいた歴博	29
東陽院蔵「釈迦如来立像」・「観音菩薩立像」・「弘法大師坐像及び厨子」の保存修理について	大田区教育委員会郷土博物館文化財担当	大田区立郷土博物館紀要	18
慈恵大師（良源）像基礎資料集成２	寺島　典人	大津市歴史博物館研究紀要	17
天恩寺本尊「木造地蔵菩薩坐像」胎内納入品の発見	中村　龍明 浦野加穂子 山崎　隆之	岡崎市史研究	30
作品研究　静岡・建穂寺の千手観音立像仏師長勤作—近世彫刻の諸相３—	淺湫　毅	学　叢	32
古代の講堂に安置された仏像に関する研究	原　浩史	鹿島美術財団年報・別冊	27
唐招提寺金堂諸像の機能と構成に関する研究	塚本麻衣子	〃	〃
仏師肥後定慶の研究—東京芸術大学蔵毘沙門天像を中心に—	山口　隆介	〃	〃
西園寺大仏師性慶の研究	小倉絵里子	〃	〃
江戸幕府の造像と天海の構想及び七条仏師に関する研究	川瀬　由照	〃	〃
新出資料紹介　足柄神社の木造男神坐像について	薄井　和男	神奈川県立博物館研究報告	36
調査報告　龍華寺所蔵　大日如来坐像	瀬谷　貴之	金沢文庫研究	324
資料紹介　本所緑町にあった？金沢家ゆかりの阿弥陀像	西岡　芳文	〃	〃
鎌倉の至宝（９）重要文化財　阿弥陀如来及び両脇侍像　円覚寺蔵	山口　隆介	鎌　倉	109
北谷地蔵堂の地蔵菩薩立像—平安時代の竈門山と北部九州造像界の一遺例	井形　進	九州歴史資料館研究論集	35
方形三尊塼仏と絵因果経—古代日本における触地印坐像の不在を考える手掛かりとして—	柳　承珍	京都美学美術史学	9
大特集　いざ鎌倉 武家の都の祈りと美 第一部　いまこそ見たい！鎌倉の仏像20選	内藤　浩之 瀬谷　貴之	芸術新潮	731
ガンダーラ美術に見られる古代ギリシアの手の仕草—顎に手を触れる仕草をめぐって—	田辺　理	古代オリエント博物館紀要	29・30
特輯　日本古代山城の調査成果と研究展望（上）　鞠智城跡から出土した百済系菩薩立像	大田　幸博	古代文化	579
銅造観音菩薩立像	岩佐　光晴	国　華	1374
口絵写真解説　坂戸薬師堂の本尊薬師三尊像		埼玉史談	301
比叡山北麓に伝わる懸仏二例—近世懸仏の造形的特質—	山下　立	滋賀県立安土城考古博物館紀要	18
第九四二回例会　西濃・尾張の仏像・石造を訪ねて	水野　孝文 岩崎　幸一	史迹と美術	802
黄檗信仰史　七十六	江口　正尊	〃	803
江戸明治の文書に記された宮城県の懸仏	石黒伸一朗	〃	〃
長野市天用寺阿弥陀如来立像	小倉絵里子	実践女子大学美学美術史学	24
グラビア解説		聖　徳	
薬師如来坐像［法隆寺西円堂］	稲本　泰生		203
千手観音立像［法隆寺西円堂］	〃		204
地蔵菩薩半跏像［法隆寺地蔵堂］	〃		205
阿弥陀如来坐像［法隆寺三経院］	鈴木　喜博		206
京の都の『太子像』二題	小松　光江	〃	203
鶴岡・風間家が祀る太子像	〃	〃	204
港町・加茂の聖徳太子像	〃	〃	205
酒田の聖徳太子像	〃	〃	206
川崎市・大楽院木造釈迦如来坐像に関する二、三の問題について	鈴木　泉	女子美術大学研究紀要	40
神出仏師「厚木民部・保省」—江戸時代前期の東播磨の親子仏師—	神戸　佳文	塵　界	21
鎌倉・教恩寺阿弥陀三尊像と快慶	大澤　慶子	成城美学美術史	16

十八夜観世音堂菩薩立像に使用された木材の樹種	大山　幹成 星野　安治 鈴木　三男	仙台市博物館調査研究報告	30	修復研究	東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室	〃　〃
付論　十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	酒井昌一郎	〃	〃			
願興寺の聖観音坐像について	樫原　典澄	全文連会報	77	山梨県甲州市向嶽寺蔵釈迦如来坐像および文殊菩薩、普賢菩薩		
増上寺の成立と文化財	蓮池　光洋	〃	〃			
平城京　平城京の木の仏像　奈良時代木彫論	鈴木　喜博	太陽(別冊)	165	神奈川県鎌倉市青蓮寺蔵木造愛染明王坐像		
東大寺　そして光の尊像は誕生した		〃	172	長野県長野市善光寺蔵木造阿弥陀如来立像		
法華堂の仏たち						
法華堂の建立と本尊不空羂索観音像の制作	川瀬　由照			東京都港区青松寺蔵木造布袋和尚立像		
法華堂の仏像	長岡　龍作			東京都港区個人蔵木造不動明王半跏像		
運慶　時空を超えるかたち	山本　勉 監修	〃	176			
祖師像の姿勢と制作背景に関する研究	小野　佳代	高梨学術奨励基金年報	H21年度	東京都新宿区早稲田大学演劇博物館蔵伎楽面『力士面』『能美雪秀作呉女面』		
美作の狛犬（1）津山市	田渕千香子	津山弥生の里	17	東京都台東区東京芸術大学蔵木造金剛力士面		
法隆寺百済観音像私考	髙柴季史子	帝塚山大大学院紀要*	12	調査研究	〃	〃　〃
木芯を込めたヒノキ材による一木造りの構造・技法研究—六波羅蜜寺蔵木造広目天立像模刻制作研究を通して—	鈴木　篤	東京芸大保存修復彫刻年報*	2009年度	京都府京都市即成院蔵木造観音菩薩跪坐像 京都府京都市知恩寺蔵木造阿弥陀如来立像		
東大寺俊乗堂蔵快慶作阿弥陀如来立像表面仕上げに関する研究	吉水　快聞	〃	〃	香川県願興寺蔵脱活乾漆造聖観音菩薩坐像		
長野県善光寺蔵阿弥陀如来立像についての考察	〃	〃	〃	奈良県奈良市大慈仙町木造薬師如来坐像		
高野山霊宝館蔵国宝「八大童子立像のうち矜羯羅童子像」—模刻制作研究について—	黒柳奈未子	〃	〃	茨城県つくば市東福寺蔵木造地蔵菩薩半跏像 東京都港区青松寺蔵木造観音菩薩立像		
高野山霊宝館蔵国宝「八大童子立像のうち矜羯羅童子像」研究報告	仲　裕次郎 和田　圭子 黒柳奈未子 入江　啓	〃	〃	東京都港区個人蔵木造狛犬(阿形像・吽形像)		
興福寺八部衆像のうち乾闥婆立像模刻制作	小沼　祥子	〃	〃	東京都調布市深大寺所蔵の木造彫刻の現状と所見		
個人像不動明王半跏像模刻制作	杉浦奈央美	〃	〃	茨城県桜川市小山寺蔵木造毘沙門天立像・木造不動明王立像		
雪蹊寺蔵木造吉祥天立像模刻制作	中村　志野	〃	〃			

長野県忠恩寺蔵木造阿弥陀如来立像			
新薬師寺木造地蔵菩薩立像(夜泣き地蔵)修理報告および改変時彩色の光学的調査と復元報告	籔内佐斗司 仲　裕次郎 髙宮　洋子 宮田　順一	東京芸術大学美術学部紀要	47
鎌倉再興期における東大寺大仏殿四天王像—天平期当初像との関係性を中心に—	吉田　文	同志社大学博物館学年報	41
福岡市・博多善導寺所蔵　善導大師立像—九州所在木彫像基礎資料三—	楠井　隆志 鳥越　俊行	東風西声*	5
唐津市近松寺の遠室禅師寿像に使用された顔料とその意義	朽津　信明	〃	〃
研究の窓　信州の大工が刻んだ伝説—『山海経』を端緒とした手長足長—	伊藤　友久	長野県立歴史館たより	63
資料紹介　善光寺式三尊像における同型像の一系統—善光寺信仰展の調査から—	傳田　伊史	長野県立歴史館研究紀要	16
公開講座名品・名作誕生 VI　聖林寺十一面観音像とその周辺	井上　一稔	奈良学研究	12
収蔵資料紹介　孔子像—園部藩学の象徴		南丹市立文化博物館だより	6
資料紹介　新潟市蒲原神社所蔵「木造伝畠山重宗夫妻坐像」について	水野敬三郎 前嶋　敏	新潟県立歴史博物館研究紀要	11
東大寺大仏と宮—大仏供起源考—	堀　裕	日本史研究	569
仏像の表象「白毫相」について	清水　眞澄	美学美術史論集	18
研究資料　奈良国立博物館蔵　木造南無仏太子立像	津田　徹英	美術研究	401
平成二十一年度東支部例会発表要旨　仏光寺了源の首	〃	美術史	168
平等院鳳凰堂彫刻群像の構想—雲中供養菩薩像へのまなざし—	佐々木康之	〃	169
第六十三回全国大会研究発表要旨　獅子窟寺蔵薬師如来坐像造立考	西木　政統	〃	〃
仏像光背と祈りの構造—平安後期「飛天光」と平等院鳳凰堂	海野　啓之	美術史学	30
六波羅蜜寺地蔵菩薩像と運慶建立の地蔵十輪院	三宅　久雄	美術史論集	10
論文要旨《修士》天台彫刻の研究—横川中堂聖観音菩薩立像をめぐって—	一本　崇之	〃	〃
資料紹介　パラミタミュージアム蔵《十一面観音立像》	伊東　史朗	美術フォーラム21	22
特集　仏教彫刻の霊験性と彫刻史	根立　研介編	〃	〃
1　霊験と観音像	長岡　龍作		
2　統御される霊験	奥　健夫		
4　霊験仏と納入仏を通した聖性の移植をめぐって	根立　研介		
5　像内納入品がうむ奇瑞	佐々木守俊		
6　善光寺仏の造像と霊験性	武笠　朗		
7　西大寺叡尊による清涼寺式釈迦如来の模造制作	松岡久美子		
8　『因幡堂縁起』諸本での薬師如来像の語られ方—像容の変化と縁起	石田　敏紀		
9　良源像のイメージと姿について	寺島　典人		
越後のミケランジェロ　石川雲蝶		美術屋・百兵衛	13
福山市・胎蔵寺木造釈迦如来坐像胎内施入品の奥書等について(二)	木村　信幸 清原　浩美	広島県立歴史博物館研究紀要	12
新指定文化財　建穂観音堂の彫刻	横田　泰之	ふちゅ〜る	19
大日光背の展開と中世仏教的世界観	冨島　義幸	仏教芸術	309
京都・西念寺の仏像と仏画	伊東　史朗 大原　嘉豊	〃	〃
鑑真和上像の服制と道宣の着衣論	竹下　繭子	〃	310
金剛峯寺蔵八大童子像について—像とそれをめぐる営み—	髙橋沙矢佳	〃	311
野中寺弥勒菩薩像の銘文読解と制作年についての考証	松田　真平	〃	313
鎌倉時代前・中期における仏像の金属製荘厳具—意匠形式の分類と制作事情を中心に—	三本　周作	〃	〃
広隆寺講堂両脇侍像の造立年代について	森井　友之	文化史学	66
雲中供養菩薩像の断片二例	伊東　史朗	鳳翔学叢	6

浄土院蔵木造地蔵菩薩半跏像修理報告	村上　清	〃	〃
運慶壮年期における造形表現と造像環境について—興福寺木造釈迦仏頭を中心に—	植村　拓哉	密教図像	29
平安時代末期から鎌倉時代中期の天冠台形式について—奈良仏師・慶派仏師作例を中心に—	佐々木あすか	MUSEUM	624
日本古代における木彫像の樹種と用材観Ⅲ—八・九世紀を中心に(補遺)—	金子　啓明 岩佐　光晴 能城　修一 藤井　智之	〃	625
調査報告　永平寺の中世彫刻	浅見　龍介	〃	629
墨田区・弘福寺鉄牛道機倚像と祥雲元慶	塩澤　寛樹	〃	〃
与田寺不動明王及童子像の修理報告によせて	三好　賢子	ミュージアム調査研究報告	2
与田寺不動明王及童子像の修理とそれに依る知見	木下　成通	〃	〃
与田寺不動明王及童子像の再検討—保存修理における新知見から—	奥　健夫	〃	〃
松尾寺木造弘法大師坐像について—(資料紹介)香川県在銘彫刻１—	三好　賢子	〃	〃
特集１　仏像—自分だけの念持仏を持とう　菩薩とはどういう人たちなのか	道津　綾乃	目の眼	402
特集１　観仏三昧　三井記念美術館特別展「奈良の古寺と仏像～会津八一のうたにのせて～」　奈良の仏像を観る	清水　眞澄	〃	408
木食白道の六字名号について	近藤　暁子	山梨県立博物館研究紀要	4
法華寺阿弥陀浄土院とその本尊について	中野　聰	龍谷史壇	130
調査報告　イタリア・ジェノヴァ市立キオッソーネ東洋美術館所蔵の銅造仏像	岩田　茂樹	鹿園雑集*	12
平成二十一年度　修復文化財(木造)材質調査報告[仏像]		〃	〃
鞆淵八幡神社の随身像	伊東　史朗	和歌山県立博物館研究紀要	16
和歌山県所在の熊野三所権現本地仏像—東仙寺・藤白神社・個人所蔵資料の紹介—	大河内智之	〃	〃
修士論文概要　京都・知恩院勢至菩薩像について	村上　佳濃	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
美の履歴書		朝日夕刊	
166五劫思惟阿弥陀如来坐像	小川　雪		8.4
179誕生釈迦仏立像及び灌仏盤	大室　一也		11.10
仏像から平安の墨書発見　末期の制作年明記、貴重	小川　雪	〃	8.6
決断の日本史42　1186年５月３日　運慶「飛躍」のとき	渡部　裕明	産　経	7.27
なぜ埋められた⁉富士塚のミステリー　大日如来像　めぐろ歴史資料館で公開中	増田恵美子	東　京	1.14
歩いて楽しむ京都の歴史　因幡堂の二体の石仏	山田　邦和	〃	11.27
美の美		日　経	
かんのん道をゆく　１～４	竹田　博志		3.7、3.14、3.21、3.28
為政者の浄土　上、中	富田　律之		8.29、9.5
謎の仏像彫刻僧「大円」　江戸時代の木彫り、宮崎の家庭や祠に現存	前田　博仁	〃	3.10

朝　鮮

大倉集古館蔵の脱活乾漆菩薩坐像に関する研究—韓国の乾漆技法と材料について—	鄭　至娟	東京芸大保存修復彫刻年報*	2009年度

そ の 他

所蔵品紹介　転法輪印仏陀坐像	後藤　恒	エスプラナード	161
ガンダーラ美術の図像学的研究(４)　成道後の釈尊の安楽座像と新出のカービシー派彫刻の制作年代	田辺　勝美	古代オリエント博物館紀要	29･30
王の衣装をまとうブッダ	西村　実則	三康文化研究所所報	45

南インド・アーンドラ地方におけるポスト・イクシュヴァーク時代のヒンドゥー教美術の様相についての覚書—グディマッラムのシヴァ・リンガの制作年代を巡って—	永田　郁	崇城大学芸術学部研究紀要	3
平山郁夫シルクロード美術館コレクション68　仏塔浮彫石版	平山美知子	美術の窓	322
クメール美術史における「アンコールワット展」の意義	三輪　悟	美術フォーラム21	21
MIHO MUSEUM所蔵カンボジアの青銅製仏像の碑文に就いて	ラプチェフ・セルゲイ	MIHO MUSEUM研究紀要	10
美の美　古代エジプト—大河が育んだ恵み1～4	松岡　資明	日　経	1.10、1.17、1.24、1.31
カンボジア　出土仏像が語る　アンコール王朝大規模な廃仏	石澤　良昭	読　売	11.10

原始彫刻

日　本

縄文後晩期の岩偶岩版類について—東海地域の事例を中心に—	川添　和暁	愛知県埋文センター紀要*	11
腕の製作技法と顔の作風から見た茨城の人物埴輪	黒澤　彰哉	茨城県立歴史館報	37
千葉市内野第1遺跡出土の亀形土製品と石冠覚書—関東地方における集成から—	田中　英世	貝塚博物館紀要	37
生出塚窯産円筒埴輪の編年と生産の諸段階	城倉　正祥	考古学雑誌	94－1
図版解説　発生期土偶の新事例—滋賀県・相谷熊原遺跡の調査成果—	松室　孝樹 重田　勉	古代文化	581
安土山・繖山周辺の埴輪	辻川　哲朗	滋賀県文化財保護協会紀要	23
人物埴輪の造形に関する研究	川畑　浩徳	崇城大学芸術学部研究紀要	3
収蔵庫から		たまのよこやま	83
関東の陶芸展　国宝土偶展	外舘　和子	陶　説	686
日本美術のススメ今月の逸品　国宝合掌土偶	日高　慎	美術の窓	316
美の履歴書139　「中空土偶」	宮代　栄一	朝日夕刊	1.2
質問なるほドリ　土偶って何？	伊藤　和史	毎　日	1.21

そ　の　他

南アジアにおける動物土偶に関する覚書—岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介を兼ねて—	上杉　彰紀	岡山市立オリエント美術館研究紀要	24
旧梅原龍三郎コレクションのキュクラデスの石偶	中村　るい	国立西洋美術館研究紀要	14
テル・ルメイラ出土の家形模型(2)	石田　恵子	古代オリエント博物館紀要	29・30
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	平山美知子	美術の窓	
69　人物形土器			323
70　水牛雄牛形研磨土器			324
71　人物形土器			325

面

日　本

日光の仮面V—神輿渡御祭に登場する掛面について—	北口　英雄	大日光	80
世阿弥　能の美　能面と装束　能面の技	宮本　圭造	太陽(別冊)	173
資料紹介　高野山天野社伝来の還城楽面	岩田　茂樹	MUSEUM	624

書　蹟

中　国

漢字の形体の変遷と書写用具の関係についての考察	佐藤　直樹	愛知県立芸術大学紀要	39
東アジアを結ぶモノ・場　浄智寺の奇瑞—福州版大蔵経焼失と舎利現出	西山　美香	アジア遊学	132
道教美術の可能性　道教美術の諸相と展開　道教美術における文字の問題	土屋　昌明	〃	133
よみもの　シルクロード文字を辿って—ロシア探検隊収集の文物—	落合　俊典	京都国立博物館だより	165
董其昌書論における離合説について	尾川　明穂	芸術学研究(筑波)	14

「鍾繇の書を探る」III—鍾繇から王羲之へ	池谷　天外 川井　章弘 箭　恵美 清水　裕美	研究集録	30
孫過庭　書譜	菅野　智明	国　華	1373
研究資料　方梅厓—人と作品—	海老根聰郎	〃	1375
修士論文・修了作品概要		修士論文・修了作品　研究集録	H20年度
走馬楼三国呉簡における書法研究—竹簡を中心として—	北里　朴大		
趙之謙書風攷—画の自跋及び落款を中心として—	風神　知佳		
〈祭姪文稿〉の筆法について	大村　直子	書芸術研究	3
台北・故宮博物院蔵董其昌筆「論書冊」について	尾川　明穂	〃	〃
梁同書の書風の変遷について—行草書軸作品を中心に	田野倉美貴	〃	〃
陶濬宜「宋元祐秘閣本晋唐小楷帖跋」小考	菅野　智明	〃	〃
法帖しなさだめ32～39	田中　有	書道界	242～249
美味珍膳　参拾回記念　《三国志呉志第十二》残巻、再会の軌跡。	鍋島　稲子	〃	253
張伯英『法帖提要』訓注稿（1）	澤田　雅弘 ほか	書道学論集	7
歴代書論における〈気〉字術語に関する中心的な審美範疇	王　力軍	〃	〃
顔真卿の書法審美考察—楷書を中心に—	藤森　大雅	〃	〃
葉朗著『中国美学史大綱』第11章唐五代書画美学訳注	河内　利治 監訳 黄　華源 ほか訳注	〃	〃
書画相関論の異同に関する考察	林　錦濤	〃	〃
〈勢〉—蔡邕、衛夫人、王羲之の用筆論	陳　柏伎	〃	〃
講演　明代書法史再考—「法帖」というメディアの獲得とその意義—	増田　知之	書道文化	6
陳鴻壽を求めて	田淵　元博	〃	〃
書は人なり	廣瀬　保雄	墨	
5　王羲之に遘う—姨母帖			202
7　豈不媿哉—元・耶律楚材の書			204
翰墨の縁　第十五回～第十七回	静　妙　軒	〃	202～204
顔真卿とその書	長尾　秀則	〃	202
特集　隷書は面白い！		〃	203
隷書基礎知識	田中　東竹		
書人の勉強法を知る1　何紹基	松村　茂樹		
孫過庭とその書	長尾　秀則	〃	〃
特集　いまこそ王羲之“書聖”誕生ものがたり		〃	204
基礎知識　王羲之の書のひみつ	中村　史朗		
論考　生きていた時代と尺牘から見た王羲之の素顔—その墳墓の探求を軸として—	福原　啓郎		
解説　聴氷閣旧蔵『集王聖教序畢沅本』	伊藤　滋 （木雞室）		
コラム　偽刻・馮承素墓誌	高澤　大逸		
ギャラリー　定武蘭亭肥瘦帖	木雞室	〃	〃
蘇軾とその書	長尾　秀則	〃	〃
碑法帖存疑4　「高貞碑初拓本」考	伊藤　滋 （木雞室）	〃	〃
則天文字の新研究	山本　忠尚	天理参考館報	23
清初刊教派系宝巻二種の原典と解題—『普覆週流五十三参宝巻』と『姚秦三蔵西天取清解論』—	磯部　彰	東北アジア研究センター叢書	40
口絵　馮子振墨蹟与放牛光林一語　一幅	丸山　猶計	日本歴史	743
奈良朝書にみる顔真卿の書体	川上　貴子	東アジア石刻研究	2
新疆出土の三種の壁画漢字経文断簡について—東京国立博物館所蔵の大谷コレクションより—	三島　貴雄	MUSEUM	624
大谷文書の比較研究—旅順博物館蔵トルファン出土文書を中心に—	都築　晶子 ほか	龍谷大学仏教文化研究所紀要	49
史料・文献紹介『千字文』	高島　英之	歴史と地理	637
書の美	富田　淳	毎　日	
送僧偈			2.21

王史二氏墓誌銘稿巻			3.7
行書虹県詩巻			5.2
玄秘塔碑			5.23
大般涅槃経巻第十一			6.6
妙法蓮華経第七			6.27
千福寺多宝塔碑			8.15

日　　本

所蔵品紹介203　高山右近自筆書状　休庵宛		石川県立美術館だより	315
書法の継承と創意—日本書法の独自性に関する試論	笠嶋　忠幸	出光美術館研究紀要	15
「金剛院切・類切」等に関する考察—装飾料紙に和歌散らし書きの古筆切群再考（1）	別府　節子	〃	〃
日本における『首楞厳経』の展開	林　　敏	印度学仏教学研究	120
新発見の真仏書写聖教について	安藤　章仁	〃	〃
曼荼羅における文字表現—日蓮の『大曼荼羅本尊』の題目など—	真鍋　俊照	〃	122
宇和島市津島町妙徳寺所蔵『大般若経』について	山本　信吉	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	15
東福寺円爾の印信と法流—台密印信試論—	菊地　大樹	鎌倉遺文研究	26
「観玄虚」掛幅について［村上田長］	古谷　　稔	華　　厳	92
『醍醐雑事記』紙背の具注暦と文書について	菱沼　一憲	国学院雑誌	1238
新葉和歌集の伝本について	深津　睦夫	国語国文	905
唐草装飾本『素性法師集』について	山下　　文	〃	907
『和漢朗詠集』の増補詩歌	惠阪友紀子	〃	913
第二類本『中務集』の成り立ちについての試論—「正月山里詠歌」と「贈為基詠十二首」の位置づけを中心に—	妹尾　好信	国語と国文学	1034
『百人一首幽斎抄』以前	林田　陽子	〃	1043
第四回　調査研究シンポジウム報告　古今集奥書集成から見えるもの	浅田　　徹	国文学研究資料館調査研究報告	30
研究報告　『山頂湖面抄』の諸本について	原　　豊二	〃	〃
佐渡博物館蔵『伊勢物語』—解題・影印—	藤島　　綾	〃	〃
研究ノート　国文学研究資料館古筆手鑑２点の紹介その１	久保木秀夫	国文研ニューズ	19
旧高松宮家伝来東山天皇宸翰と宝永改元下光の制度的位置	野村　　玄	国立歴史民俗博物館研究報告	160
資料紹介　中世禁裏の宸筆御八講をめぐる諸問題と『久安四年宸筆御八講記』	井原今朝男 国学院大学院生ゼミグループ	〃	〃
史料紹介　大島本源氏物語の親本攷	藤本　孝一	古代文化	582
浜田市龍雲寺所蔵の中世大般若経について	鳥谷　芳雄	古代文化研究	18
逸品紹介　一休宗純墨蹟　法語	島尾　　新	国華清話会会報	15
口絵解説		古文書研究	
慈円自筆書状	横内　裕人		68
紺紙に隠された文書　権律師宥範書状	鳥居　和之		70
ふたつの『斎宮女御集』—館蔵歌集の集付比較をとおして—	松田　珠美	斎宮歴史博物館研究紀要	19
口絵写真解説　遊行五十五世他阿上人一空筆六字名号	（大）	埼玉史談	303
佐賀市・冨泉院所蔵「大般若波羅蜜多経」	串間　聖剛	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	34
源氏物語特集Ⅱ　シンポジウム「源氏物語の古筆切」		実践女子大学文芸資料研究所年報	29
古筆切の発生と源氏物語	田中　　登		
時代を映す仮名のかたち—『源氏物語』の古筆切の場合—	別府　節子		
源氏物語には五十四帖以外の巻があった—散佚した巣守巻の古写本断簡—	池田　和臣		

古筆嫌い	今西祐一郎	〃	〃
巻子装であること―早稲田大学図書館蔵『新撰菟玖波集（政弘句抄出）』をめぐって―	佐々木孝浩	斯道文庫論集	44
修士論文・修了作品概要		修士論文・修了作品　研究集録	H20年度
書の構造の概念における美の在り方の一考察―記号学的書の形式と内容を中心に	八木　一絵		
本阿弥光悦の書芸術について	根本　知		
小野道風から見る「玉泉帖」	百合　素子		
博士論文概要　日蓮筆仮名消息の研究―漢字仮名交じりの消息について―	川上　大隆	〃	〃
聖語蔵経巻管見―調査報告にかえて―	赤尾　栄慶	正倉院紀要	32
上代写経識語注釈	上代文献を読む会	続日本紀研究	
その一　金剛場陀羅尼経　大般若経（長屋王願経・和銅経）			385
その二　大般若経巻第二百六十七			386
その三　瑜伽師地論巻第二十一			387
その四　法華玄賛巻第三			388
その五　仏説七知経（聖武天皇勅願一切経）			389
美味珍膳　二十八売茶翁筆　子瞻煎茶歌	福井　尚寿	書道界	251
大東文化大学所蔵日本書跡解題　本阿弥光悦書状（三月朔日付）	根本　知 古谷　稔 監修	書道学論集	7
光悦書状にみる光悦と大文字屋―松斎宗積筆『先祖記』（東北大学付属図書館蔵）を中心に―	根本　知	〃	〃
智証大師円珍の書にみる精神性	池田　憲亮	〃	〃
『看聞日記』に関する書誌学的考察	田代　圭一	書陵部紀要	61
中世「名を籠める」文書論―宝珠院現蔵文書のなかの籠名札・調伏札の紹介―	萩原　大輔	史林	484
観賞1　漢字とかなが織りなす歌の姿　五代万葉集	小川　靖彦 監修・解説	墨	202
木簡から万葉集を見る	犬飼　隆	〃	〃
書は人なり　6　亡き皇女を弔う―酒人内親王の書	廣瀬　保雄	〃	203
女手が女筆となって江戸に舞う	松岡　正剛	〃	〃
表現の内と外6　初祖菩提達磨大師	財前　謙	〃	〃
遊女と寺子屋が書を遊ばせる	松岡　正剛	〃	204
模写・記録・贋作―古筆切研究の悩ましさ―	小島　孝之	成城文芸	210
新資料　角倉素庵書写の観世流謡本『三井寺』切	林　進	阡陵	60
西行　捨てて生きる西行の書	魚住　和晃	太陽（別冊）	168
特別読物　茶人と書状	山田　哲也	淡交	798
史料紹介　「宗家判物写」所載文書編年目録稿	渡邉　正男	東京大学史料編纂所研究紀要	20
近世持明院流入木道に見る公家家職―その成立と「秘伝」の伝播―	西村慎太郎	〃	〃
「兼宣公記」応永二十九年記の錯簡について	榎原　雅治	〃	〃
利休の文	黒田　和哉	陶説	693
研究展望　中世大徳寺文書に見る和紙の表裏と書状の習慣	韓　允熙 江前　敏晴 高島　晶彦 保立　道久 磯貝　明	日本史研究	579
史料散歩　山里に守り伝えられた『大般若経』	宮崎　健司	日本歴史	749
例会・研究発表要旨　西部会　第二八〇回研究発表会　水茎の「和らげる」力―仮名の書の美的価値に関する一考察―	萱　のり子	美学	237
平成二十一年度西支部例会発表要旨　国家珍宝帳の書体―玄宗期にみられる新様式の受容―	川上　貴子	美術史	168

『東都歳時記』を巡る謎——一通の書状から読む上方と江戸の情報ネットワーク—	横山　昭	美術史論集	10
いろの景　最終回　無限の色　アレンジの技と感覚	島尾　新	美術の窓	320
研究ノート　葦手絵の復興をめぐって	宮崎　もも	美のたより	169
大和文華館の日本絵画展によせて　国宝一字蓮台法華経(普賢菩薩勧発品)をめぐって	古川　攝一	〃	172
特集1　良寛　その書にみえる清爽と凄愴　闘う沙門良寛を語る	梶川　芳友	目の眼	407
博士論文概要　日本中世書史の研究	宮崎　肇	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
仙厓無法の禅(1)、(8)、(10)	玄侑　宗久	東京夕刊	8.30、9.8、9.10
書の美		毎　日	
本願寺本三十六人集貫之集上	島谷　弘幸		1.10
安宅切本和漢朗詠集	〃		1.17
寸松庵色紙	〃		1.24
升色紙	〃		1.31
散らし書き書巻(金銀泥下絵)	〃		2.7
書状	〃		2.14
渓林偈	〃		2.28
花屋号	〃		3.14
虎林字号	〃		3.21
大燈国師上堂語	〃		3.28
禅院額字「方丈」	富田　淳		4.4
立正安国論	島谷　弘幸		4.11
檜原図屏風	〃		4.18
楽志論屏風	〃		4.25
赤壁賦	〃		5.9
草書七言古詩	〃		5.16
七言絶句	〃		5.30
漢書食貨志第四	〃		6.13
解深密経巻第四	〃		6.20
絹地切	〃		7.4
孔侍中帖	富田　淳		7.11
後嵯峨院本白氏詩巻	島谷　弘幸		7.18
古今和歌集巻第十九(高野切本)	〃		7.25
十五番歌合	〃		8.1
古今和歌集巻第四巻首(筋切)	〃		8.8
金沢本万葉集	〃		8.22
延喜式巻第四紙背仮名消息	〃		8.29
仏説転女成仏経仮名消息	〃		9.5
法華経方便品(竹生島経)	〃		9.12
扇面法華経冊子巻第八	〃		9.19
日野切	〃		9.26
更科日記	〃		10.3
熊野懐紙	〃		10.10
平治物語絵巻詞書	〃		10.17
普勧坐禅儀	〃		10.31
禅院額字「選仏場」	富田　淳		11.7
関山字号	島谷　弘幸		11.14
雪夜行	富田　淳		11.21
一行書「唯嫌揀択」	〃		11.28
宝積経要品	島谷　弘幸		12.5
清水寺縁起	〃		12.12
龍虎二大字	〃		12.19

朝　鮮

美味珍膳　二十四　ハングルと書道	金　周會	書道界	247
『翰苑』百済伝所引の『括地志』の史料的性格について	鄭　東俊	東洋学報	92－2

古文書・古記録

中　国

大英図書館蔵五代敦煌帰義軍酒破歴—S八四二六—	坂尻　彰宏	大阪大学大学院文学研究科紀要	50
道教護符に使用される用語の整理:『道法会元』を対象として	早川　美彩 松本　浩一 宇陀　則彦	図書館情報メディア研究	8－1

日　本

「金剛般若経」のこけら経—全国初の「見せ消ち」もあり—		おおてみち	71
大名のサロンに集う鑑定家たち—幕末期の書画鑑定記録『鑑定記』を中心に—	佐藤　温	鹿島美術財団年報・別冊	27

資料紹介　融通念仏宗の草創に関する新資料—新出「諸仏護念院言上状」について	西岡　芳文	金沢文庫研究	324
史料調査　出雲国風土記写本の調査(七)	野々村安浩 森田喜久男	古代文化研究	18
『南都巡礼記』美術・工芸品解題稿	田光美佳子	巡礼記研究	7
法隆寺の新出中世文書について—阿弥陀如来の宣旨と地蔵菩薩の請文—	久野　修義	聖　徳	204
平城京　長屋王家木簡の世界	渡辺　晃宏	太陽(別冊)	165
資料紹介　仙台領内“一づくし”	結城　慎一	地底の森ミュージアム縄文の森広場研究報告	2009
『神道集』の天台	渡邊　守順	天台学報	51
最澄と弟子と外護者—『叡山大師伝』『伝述一心戒文』を中心に—	桑谷　祐顕	〃	〃
『叡山大師伝』撰者考	〃	〃	52
資料紹介　光伝寺文書目録	高橋　大樹 鎌谷かおる 郡山　志保	同朋大学仏教文化研究所紀要	29
情報ボックス　絵師・佐々木家についての資料	大橋　俊雄	徳島県立博物館ニュース	79
culture club　明治維新と徳島城—守住貫魚の『二行日誌』から—	〃	〃	80
研究の窓　『論語』を学ぶ古代豪族たち	傳田　伊史	長野県立歴史館たより	64
資料紹介　秀吉朱印状は引き出物か	下村　信博	名古屋市博物館だより	194
研究報告　平城宮木簡の樹種	山本　崇 藤井　裕之	奈良文化財研究所紀要	2010
史料紹介　春日大社蔵金龍神社関係文書について	服部　敦子	日本文化史研究	41
正倉院佐波理加盤付属文書の再検討—韓国木簡調査から—	平川　南	日本歴史	750
西大寺領越前国赤江庄の復元—西大寺食堂院跡出土木簡をめぐって—	舘野　和己	福井県文書館研究紀要	7
特集　平城遷都一三〇〇年　木簡が語る平城京時代	渡辺　晃宏	文化財*	556
横浜市歴史博物館所蔵「鎌倉年中行事」について	阿諏訪青美	横浜市歴史博物館調査研究報告	6
写真による歴史の証人収蔵品紹介　桜に寄せた心—月輪寺略縁起と時雨の桜	小池　淳一	歴　博	159
発給文書からみた木食応其の動向—新出文書の紹介をかねて—	前田　正明	和歌山県立博物館研究紀要	16

朝　鮮

新出木簡からみた百済の文書行政	尹　善泰 篠原　啓方訳	朝鮮学報	215

金石文など

中　国

宋版一切経の輸入と受容	大塚　紀弘	鎌倉遺文研究	25
唐太宗(李世民)温泉銘	横田　恭三	国　華	1371
現代中国書法事情(216)～(227)	種谷　萬城	書道界	242～253
現代中国巧芸事情43連載「紐ハ印ノ花ナリ」特別篇　中国印紐史小話6	仲　佑樹	〃	242
書道界ニュース　国学院大学で「入唐求法巡礼行記研究会」が緊急報告会　円仁入唐時の書跡資料発見か	綾部　宏行	〃	250
表紙・新シリーズ解題　鄭道昭摩崖碑移ろいゆく四山—III雲峰山最新情報	日守菜穂子	〃	251
「円仁」石刻考		〃	〃
入唐求法巡礼行記研究会—「釈迦舎利蔵誌」究明の行方	綾部　宏行		
円仁「釈迦舎利蔵誌」の疑問点	飯島太千雄		
罫線を有する西周青銅器銘文の一考察—罫線を有する青銅器から見る書写傾向を中心として—	角田　健一	書道学論集	7
平成二十一年度大東文化大学大学院文学研究科書道学専攻特別講義　近年出土殷周金文概説(梗概)	浦野　俊則	〃	〃
ギャラリー	木　雞　室　墨		
霊蹤甃碑			202

郁閣頌			203
碑法帖存疑	伊藤　滋（木雞室）	墨	
「初拓爨宝子碑」考			202
「爨龍顔碑旧拓本」考			203
特集　隷書は面白い！　鑑賞　精拓で味わう—八分隷と古隷	伊藤　滋	〃	〃
金仙公主と房山石経をめぐる諸問題—礪波護氏の批判に答えて—	氣賀澤保規	駿台史学	139
中国黒龍江省有銘出土文物の調査研究	吉本知慧子	高梨学術奨励基金年報	H21年度
蘇州玄妙観元碑「天慶観甲乙部符公據」考—宋元交替期の宋代「文書」—	小林　隆道	東洋学報	92－1
蔵経音義の敦煌吐魯番本と高麗蔵	高田　時雄	敦煌写本研究年報	4
研究余録　入唐僧円仁に関する新資料の出現—法王寺釈迦舎利蔵誌—	鈴木　靖民	日本歴史	750
顔勤礼碑と顔氏一門	江川　式部	東アジア石刻研究	2
資料紹介　李延齢墓誌	窪添　慶文	〃	〃
新『洛陽出土石刻時地記』(郭培育・郭培智主編)の成果とその課題—附録「新『洛陽出土時地記』「下部」所載唐代墓誌目録—	氣賀澤保規	〃	〃
補陀落山の巡礼路—浙江省普陀山における17世紀前半の功徳碑をめぐって—	石野　一晴	東アジア文化交渉研究	3

日　本

板本の板木—その基本的構造—	金子　貴昭	アート・ドキュメンテーション研究	17
史料紹介　普門寺(愛知県豊橋市)所蔵黄檗版『大般若経』について	上川　通夫 井上　佳美	愛知県立大学日本文化学部論集	1
学芸ノート　伝馬所の印の用途	新堀　道生	秋田県立博物館ニュース	151
「聚珍版」の東伝と我が国の近世木活字出版文化の形成	城山　陽宣	アジア文化交流研究	5
古活字版　直江兼続の時代の活字印刷	合田　淳	京都府立総合資料館だより	162
旧因州池田屋敷表門(国指定重要文化財)屋根瓦刻印		建築雑誌	1610
前期キリシタン版の漢字活字に就いて	豊島　正之	国語と国文学	1036
古活字版の淵源をめぐる諸問題—所謂キリシタン版起源説を中心に—	小秋元　段	国際日本学	8
徳川将軍家「御印判」製作過程についての一考察—御印判師佐々木家文書を中心に—	西　光三	古文書研究	69
安康・雄略紀小考(上)、(下)	田寺　英治	史迹と美術	809、810
開元寺版大蔵経の〈修〉の世界についての一、二の問題—墨丁追刻と題記入れ木—	牧野　和夫	実践国文学	77
「円仁」石刻考　「円仁の書」を探る　上	綾部　宏行	書道界	251
平家一族と唐物	河添　房江	東京学芸大学紀要	61
史料紹介と研究　徳島市威徳院の紅頗梨色阿弥陀種子板碑	伊藤　宏之	東大画像史料解析センター通信*	50
東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(七)—学校・教育機関の蔵書印—	中善寺　慎	東洋文庫書報	41
神武天皇陵埋碑と擬刻	外池　昇	民俗学研究所紀要	34

朝　鮮

広開土王碑「李超瓊本」の来歴問題—最初期墨本の方位系統を中心に—	武田　幸男	朝鮮学報	214
慶山林堂遺跡出土古碑の内容とその歴史的背景	篠原　啓方	東アジア文化交渉研究	3

そ の 他

研究発表要旨　天理参考館所蔵テル・ロゼール出土のアンフォラ印影	長谷川修一	オリエント	52－2
海外通信　インド考古学通信(2)	小茄子川歩	古代文化	579

工　　芸

東アジア

平城京　正倉院宝物	西山　厚	太陽(別冊)	165

中　　国

現代中国巧芸事情44 “老虎”年を迎えて	仲　佑樹	書道界	243

日　　本

覚書　東大寺献物帳(八)～(十)—正倉院宝物の原簿—	米田　雄介	古代文化	579、580、582
column　金刺繍—中国製の金糸から日本製の金糸へ	澤田　和人	歴　博	161

宗教工芸

東アジア

東アジアを結ぶモノ・場		アジア遊学	132
海を渡った密教法具	久保　智康		
入唐僧と檀印	佐々木守俊		

中　　国

道教美術の可能性 道教美術の諸相と展開　中世道教の法服と法具	田中　文雄	〃	133
東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　銭弘俶八万四千塔をめぐる現状と課題	服部　敦子	〃	134

日　　本

柳之御所遺跡の祭祀遺構について(2)	鎌田　勉	岩手県立博物館研究報告	27
妙心寺梵鐘	原田　一敏	国　華	1377
数珠に関する断章	西村　実則	三康文化研究所年報	41
鋳物師の本貫	足立　順司	静岡県埋文研紀要*	16
鰐口の銘文(十一)～(十三)	愛甲　昇寛	史迹と美術	802、807、809
日光東照宮元和三年銅燈籠の鋳物師	石塚　雄三	大日光	80
法隆寺の仏前供養具—中・近世の遺品を中心に—(一)	関根　俊一	奈良学研究	12
南都寺院の仏舎利相伝	赤田　光男	日本文化史研究	41
廬山天台講寺伝来の金剛杵	小林　泰司	〃	〃
特集　堂ヶ谷廃寺と堂ヶ谷経塚—平安時代の祈りと願い—	井鍋　誉之 長友　信	発掘物語しずおか	132
資料紹介　崇福寺の荘厳具	杉山未菜子	福岡市博物館研究紀要	20
古墳時代宮崎県内出土の鉄鐸資料	甲斐　貴充	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	6
法隆寺献納宝物　金銅灌頂幡の再検討—造立典拠を中心として—	三田　覚之	MUSEUM	625
地域史研究のなかの経塚—北武蔵の事例を中心として—	水口由紀子	歴史評論	727

朝　　鮮

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　中国阿育王塔舎利器の受容—東国大博物館所蔵の石造阿育王塔を中心に	崔　應天 久保　智康訳	アジア遊学	134
西大寺観音院の朝鮮鐘	安倉　清博	岡山びと 岡山市デジタルミュージアム紀要	4
研究ノート　高麗時代の金工品に見る造形と信仰—韓国国立中央博物館所蔵の金銀製小仏龕—	瀧　朝子	美のたより	169

武具・馬具類

日　　本

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　文献史料からみた古琉球の金工品—武器・武具の分析を中心に	上里　隆史	アジア遊学	134
律令期の陸奥国官営施設における鉄器入手ルートについて—城柵・官衙出土鉄器の金属考古学的調査を通して—	関　博充 女鹿　潤哉 赤沼　英男	岩手県立博物館研究報告	27
中世後期の馬産と馬具製作—東海地方を事例に—	長塚　孝	馬の博物館研究紀要	17
豊前宇佐郡佐田村における賀来家の大砲鋳造に関する一考察	平川　毅	大分県立歴史博物館研究紀要	11
大宰府政庁跡出土小札の検討	小嶋　篤	九州歴史資料館研究論集	35

図版解説　長岡宮内裏収蔵の小札甲	梅本　康広	古代文化	580
鋲留立聞環状鏡板付轡の意義	大谷　宏治	静岡県埋文研紀要*	16
小札考—ユーラシアからみた小札鎧の系譜—	梶尾　　洋	芹沢銈介美術工芸館年報*	1
古代鎧の変遷とその意義	津野　　仁	とちぎ埋文センター紀要*	18
雲部車塚古墳の研究		兵庫県立考古博物館研究紀要	3
1896年出土遺物の研究	坂口　英毅ほか		
雲部車塚古墳出土の剣・刀・ホコについて	加藤　一郎		
三角板鋲留異形衝角付冑をめぐるいくつかの問題	清喜　裕二		
雲部車塚古墳副葬甲冑の構成と特色	阪口　英毅		
雲部車塚古墳出土三角板鋲留異形衝角付冑の復元製作	塚本　敏夫		
伝雲部車塚古墳出土小札鋲留衝角付冑の製作過程	川畑　　純		
「雲部車塚古墳出土」馬具の検討	石田　大輔		
資料紹介　北畠氏館跡出土の子札	石淵　誠人	まいぶん津	7
伝六野原古墳群出土の鑣轡について	諫早　直人 甲斐　貴充	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	6
調査報告　奈良国立博物館所蔵大和二塚古墳出土障泥金具について	尼子奈美枝	鹿園雑集*	12
益子天王塚古墳出土遺物の調査(3)—衝角付冑—	山田　琴子 持田　大輔	早大會津八一記念博紀要*	11

その他

中央ユーラシアの複合弓—匈奴勃興以前の草原地帯東部を中心として—	髙濱　　秀	金沢大学考古学紀要	31

茶道具

中国

口絵　煎茶提籃皆具	中野　裕子	日本歴史	742

日本

中世城館跡出土資料を中心とした茶道具—南信州の茶臼・茶湯釜—	馬場　保之	飯田市美術博物館研究紀要	20
秋季展　永青文庫の茶入　2010年度総合調査をふまえて	仲宇佐ゆり	永青文庫	72
特集2現代工芸への視点—茶事をめぐって　(鏡)としての茶道具	柏木　麻里	現代の眼	583
特別読物		淡　交	
宝鏡寺と茶の湯	橘　倫子		786
尾張徳川家の茶の湯道具	佐藤　豊三		794
破格の造形—割高台が語る織部の創意	水田至摩子		796
喫茶送迎記を読む	横田八重美	〃	
茶の湯送迎心得乃事			786
路次心得乃事(一)～(三)			787～789
茶の湯七式心得乃事(一)～(三)			790～792
茶能湯七式の外心得の事			793
茶の湯諸法度心得の事・茶の湯主客心得の事(一)～(四)			794、796～798
趣向の愉しみ　茶道具は語る	筒井　紘一	〃	
源氏物語「匂宮」に遊ぶ			787
東大寺「お水取り」の趣向で			788
追善の取り合わせ			789
趣向へのアプローチ			790
七夕に寄せて			792
駒牽と重陽			794
銘のはなし			796
口切茶事に集う			797
展覧会によせて		〃	
上方豪商の茶道具	谷端　昭夫		796
越中ゆかりの美術工芸	水岡　育子		798
研究ノート　宗達のくど茶湯	西村　和子	茶の湯文化学	17
第二十七回研究会　直弼の茶会と茶道具	小井川　理	〃	〃

泉屋博古館分館　泉屋博古館創立五十周年記念「住友コレクションの茶道具」展に寄せて	泉屋博古館分館学芸課	陶　説	687
入札から見た大阪美術倶楽部の百年—展観席「大美名品展—茶道具・古書画・鑑賞陶器—」より—	戸田鍾之助、戸田　博、赤沼　多佳 鼎談 編集部 図版解説	〃	689
特集『茶譜』『茶譜』に記される竹の茶道具—利休作　竹一重切花入「園城寺」を中心に—	池田　瓢阿	野村美術館研究紀要	19
芦屋釜の鋳造技術	新郷　英弘	〃	〃
翻刻　野村得庵茶会記(九)	野村美術館学芸部	〃	〃
仙叟宗室の生活と茶の湯	熊倉　功夫	林原美術館紀要・年報	4
第六十三回全国大会シンポジウム『美術における宴』　宴の美術・美術の宴	島尾　　新	美術史	169
唐物天目の一考察—灰被天目を中心に—	赤沼　多佳	三井美術文化史論集	3

装身具・化粧具

東アジア

東アジアの腰袋(佩嚢)—東西交流の視点から	宮下佐江子	古代オリエント博物館紀要	29・30

中　国

美の履歴書144　「鷹形金冠飾り」	宮代　栄一	朝日夕刊	2.24

日　本

資料紹介　一須賀古墳群出土の玉	広瀬　時習	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	13
繍線鞋に関する一考察	田中　陽子	正倉院紀要	32
宮城県における玦状耳飾	相原　淳一	東北歴史博物館研究紀要	11
キトラ古墳出土琥珀玉の保存処理	降幡　順子 佐藤　昌憲	奈良文化財研究所紀要	2010
研究報告　檜扇の製作に関わる新知見	国武　貞克 藤井　裕之 吉岡　直人 浅野　啓介	〃	〃
特集1　虎の意匠 江戸人に愛された虎の根付と印籠◎提物屋		目の眼	401
根付の意匠	吉田ゆか里	〃	
四七「恵比寿」			401
四八「寿老人と福禄寿」			403
四九「迦陵頻伽」			406
五〇「刮骨療毒」(関羽と華佗)			410
江戸博蔵めぐり		読　売	
土製耳飾り	米崎　清実		2.5
昆虫蒔絵螺鈿印籠	橋本由起子		6.25

そ の 他

研究ノート　シリア中部、ビシュリ山系北麓青銅器時代ケルン墓群出土の石製・ファイアンス製ビーズの年代について	足立　拓朗 藤井　純夫	オリエント	52—2
平山郁夫シルクロード美術館コレクション62　青銅製寅形帯鈎	平山美知子	美術の窓	316

文 房 具

日　本

東海産の陶硯について—蹄脚硯・宝珠硯を中心に—	西口　壽生	奈良文化財研究所紀要	2010
江戸博蔵めぐり　鋏　徳川吉宗所用	大橋菜都子	読　売	10.29

装潢・料紙装飾

東アジア

「日本・中国・朝鮮の料紙」展の注目点	高橋　裕次	書道界	251

日　本

修士論文・修了作品概要　宋代以前における書画装潢の変遷の研究—史料文献を中心に—	丁　成東	修士論文・修了作品研究集録	H20年度
《源氏物語絵巻》(徳川・五島美術館本)詞書の料紙装飾と文字表現に関する一考察	池田　洋子	名古屋造形大学紀要	16

陶　磁

中　国

鑑賞のツボ　奈良三彩壺		Asiage	17

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　唐宋時代の越窯と金銀器—線刻装飾を施した呉越国「秘色窯」の青磁	三笠　景子	アジア遊学	134
第二六四回水曜講演会　中国の陶俑—その魅力と謎—（下）	小林　仁	出光美術館館報	150
出光美術館蔵　青磁香炉・青磁浮牡丹文香炉の復元制作研究	劉　潤福	〃	152
江西景徳鎮観音閣明代窯址発掘簡報	北京大学考古文博学院 江西省文物考古研究所 景徳鎮市陶瓷考古研究所 金沢　陽訳註	〃	153
景徳鎮白磁青花出現の契機についての若干の考察	金沢　陽	出光美術館研究紀要	15
青磁琮形瓶	三笠　景子	国　華	1376
青花鳥文瓢形水注	矢島　律子	〃	1380
白地黒掻落牡丹文瓶	今井　敦	〃	1381
特集　九世紀の斎宮　斎宮跡における平安期貿易陶磁の基礎的研究	大川　勝宏	斎宮歴史博物館研究紀要	19
根津美術館　新創記念特別展　第三部「陶磁器ふたつの愉楽　観るやきもの・使ううつわ」展より	西田　宏子	陶　説	682
静嘉堂文庫美術館「国宝・曜変天目と付藻茄子—茶道具名品展」に寄せて	長谷川祥子 山田　正樹	〃	684
唐物文琳茶入　銘若草	泉屋博古館分館学芸課	〃	687
重要美術品　青磁輪花洗　銘青海波	西田　宏子	〃	〃
根津美術館「南宋の青磁—宙をうつすうつわ」展に寄せて　中国出土品から考える南宋の龍泉窯青磁	下村奈穂子	〃	〃
一品鑑照	川島　公之	〃	
vol. 1　白磁碗			691
vol. 2　宋赤絵花文碗			692
五彩百子図鉢	長谷川祥子	〃	〃
静嘉堂文庫美術館「静嘉堂の東洋陶磁 Part I　中国陶磁名品展」に寄せて	〃	〃	〃
北朝の白い焼きもの	矢島　律子	常盤山文庫中国陶磁研究会会報	3
出土史料集　北斉における地域制と白いやきもの—「出土史料集」編集後記に代えて—	佐藤サアラ	〃	〃
出土史料集	佐藤サアラ編	〃	〃
中国景徳鎮窯観音閣遺跡出土の陶磁器について	中路のぶ代	日本文化史研究	41
論文要旨《修士》元代青花磁器における人物文について	和食　萌	美術史論集	10
青磁の絶頂「北宋汝窯青磁—考古発掘成果展」	清水　穣	美術手帖	933
Special　美術館のあるべき姿を求めて　国際交流特別展「北宋汝窯青磁—考古発掘成果展」を終えて	小林　仁	美術の窓	321
福建陶磁の広がりから見た東アジアと日本との関わり—海のシルクロードの出発点“福建”展の回顧と課題を通して	徳留　大輔	美術フォーラム21	21
研究ノート　大和文華館蔵白磁蟠龍博山炉と類品をめぐって	瀧　朝子	美のたより	170
大和文華館所蔵「青白磁貼花牡丹唐草文壺」の年代と製作地に関する考察	陳　冲 瀧　朝子 訳	大和文華	122
特集　中世の生産技術　寧波と博多の文物・技術の交流	佐伯　弘次	歴　博	160
日　本			
調査報告　中世幸田窯の出土遺物について	安井　俊則 青木　修	愛知県史研究	14
研究ノート　渥美窯出土の壺・甕類の押印文について	安井　俊則	〃	〃
近世肥前磁器絵付技術の研究—肥前磁器絵付技術における仲立ち紙使用の成立過程—	山本　文子	青山史学	28
埋納された陶磁器—長原遺跡の調査から—	佐藤　隆	葦　火	147
落日の果つる先—蔵屋敷とオランダ陶器—	小田木富慈美	〃	149

所蔵品紹介207　染付銹絵杜若図茶碗		石川県立美術館だより	320
館蔵品紹介　銹絵獅子香炉—乾山焼における「唐様」小考—	柏木　麻里	出光美術館館報	150
第二六七回水曜講演会　麗しのうつわ　日本のやきものを楽しむ（上）	伊藤　嘉章	〃	151
「色絵百人一首和歌角皿」の遊戯性—乾山焼における光琳意匠の一断面	柏木　麻里	出光美術館研究紀要	15
近世溲瓶小考補遺	江浦　洋	大阪文化財研究	36
資料紹介　大坂城下町跡（OJ07－11次）出土の一括資料と共伴する「乾山」銘京焼について	市川　創	大阪歴史博物館研究紀要	8
土器・陶磁史資料の歴史・文化史的比較研究　江戸後期における三田焼の染付と赤絵	細川　由貴	大手前大学史学研究所紀要	8
近世の富田焼Ⅱ—平尾窯跡出土遺物—について	森下　友子	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	6
大宰府・観世音寺出土の唐三彩	岡寺　良	九州歴史資料館研究論集	35
器に描かれた顔—斎宮跡出土人面墨書土器に関する試案—	角正　芳浩	斎宮歴史博物館研究紀要	19
Curator's Eye　担当学芸員が語るワンポイント　誇り高き「用の美」鍋島	安河内幸絵	サントリー美術館ニュース	230
煎茶文化と湖東焼	木下　義信	滋賀県文化財保護協会紀要	23
沖縄産施釉陶器に関する基礎研究１—灰釉碗を中心に—	木村　謙介	壺屋焼物博物館紀要	11
近江やきものがたり（十六）～（二十四）	滋賀県立陶芸の森	陶　説	682～690
出光美術館「麗しのうつわ—日本やきもの名品選」に寄せて	柏木　麻里	〃	683
戸栗美術館「町人文化と伊万里焼展—器からみる江戸の食—」に寄せて	松田　佳代	〃	〃
根津美術館「香合百選」に寄せて—小さく愛しいもの	多比羅菜美子 西田　宏子 下村奈穂子	〃	684
出光美術館「茶　Tea—喫茶のたのしみ」展に寄せて	柏木　麻里	〃	685
五島美術館開館五十周年記念名品展Ⅲ「陶芸の美—日本・中国・朝鮮」に寄せて	砂澤　祐子	〃	688
鍋島皿の飾り方	鈴田由紀夫	〃	689
サントリー美術館「誇り高きデザイン鍋島」展に寄せて	安河内幸絵	〃	〃
蒐集物語（十三）瀬戸本業窯陶胎染付捻花文茶碗	近藤　京嗣	〃	〃
巡回展「古陶の譜　中世のやきもの—六古窯とその周辺—」より　中世のやきもの—六古窯とその周辺—	井上喜久男	〃	690
佐賀県立九州陶磁文化館「珠玉の九州陶磁展」に寄せて	鈴田由紀夫	〃	691
高取焼古窯の記念碑	舌間　信夫	〃	692
表紙図版解説　三井記念美術館「室町三井家の名品—卯花墻と箱根松の茶屋」展より〔国宝　志野茶碗　銘卯花墻〕	赤沼　多佳	〃	693
三井記念美術館「室町三井家の名品—卯花墻と箱根松の茶屋」展に寄せて	〃	〃	〃
英国貴族の城館に伝世する17世紀後半から18世紀前半の伊万里磁器	古橋　千明	東風西声	5
砥部焼窯跡出土の製品について	石岡ひとみ	東洋陶磁	39
近畿出土の砥部焼について	赤松　和佳	〃	〃
地方窯と消費遺跡	堀内　秀樹	〃	〃
肥前陶磁生産技術の地方窯への伝播	大橋　康二	〃	〃
学会彙報		〃	〃
二〇〇八年の陶磁研究の回顧（東日本）	平田　禎文		
二〇〇八年の陶磁研究の回顧（西日本）	橘　倫子		
平成21年度第37回大会基調報告要旨（要旨）　中世から近世までの丹波窯の展開過程	長谷川　眞	東洋陶磁学会会報	70

平成21年度第4回研究会		東洋陶磁学会会報	70
「古九谷様式」の色絵磁器について	今井　敦		
売立目録研究に基づく柿右衛門様式磁器の流通史—大正期から第二次世界大戦以前までを中心に—	櫻庭　美咲		
資料紹介　屋代遺跡群出土土器における化学分析の試行	水沢　教子	長野県立歴史館研究紀要	16
緑釉陶器を生産した亀ヶ洞1号窯の調査記録	松岡　浩 梶山　勝 翻刻・補註	名古屋市博物館研究紀要	33
資料紹介　窯跡採集資料からみた花巻焼	三浦　歌子 関根　達人	花巻市博物館研究紀要	6
湖東焼絵付師自然斎の作品について	小井川　理	彦根城博物館研究紀要	21
資料翻刻　岩根家資料湖東焼絵付師自然斎関係文書	渡辺　恒一	〃	〃
第六十三回全国大会研シンポジウム『美術における宴』宴のうつわ—東アジアの工芸を中心に—	荒川　正明	美術史	169
日本美術のススメ今月の逸品　割高台茶碗	水田至摩子	美術の窓	327
近世丹波焼の成立に関する覚書	長谷川　眞	兵庫陶芸美術館研究紀要	5
近世遺跡から出土した通い徳利	毎田佳奈子	港郷土資料館だより	65
屋島焼三谷林叟家資料調査		ミュージアム調査研究報告	2
三谷林叟家資料—概要と硯屏にかかる考察—	古野　徳久		
三谷林叟家資料に見る屋島焼の成立と展開	佐藤　竜馬		
古伊万里閑話　第八回～第十二回(最終回)	杉谷香代子	目の眼	400～404
特集3　欧州で花ひらいた古伊万里の魅力	大橋　康二	〃	400
SPOT 1　土型成形のやきもの、その精巧な美しさ		〃	407
特集1　壺・甕のチカラ　中世古窯の生命力　古陶の譜　中世のやきもの—六古窯とその周辺—	畑中　章良	〃	409
物に執して(一三七)	鈴木　皓詞	〃	410
将軍家への梅干献上に用いられた鍋島焼大壺と大和文華館所蔵の大壺	大橋　康二	大和文華	122
常設展示のみどころ34　美術・工芸　薩摩焼部門　薩摩焼の多様性を見る		黎　明	106
美の履歴書171　「染付松樹文三足大皿」	米原　範彦	朝日夕刊	9.8
ゆったりアート	岸　桂子	毎日夕刊	8.6、10.1、10.22、10.29

朝　鮮

展覧会によせて　浅川伯教・巧が愛した朝鮮美術	李　須恵	高麗美術館館報	86
韓国の美　戒盈杯	金 明順 訳	コリアナ	17－4
調査研究から1　高麗青磁の周辺	伊藤郁太郎	視覚の現場　四季の綻び	4
韓国陶磁つれづれ私記(二十九)～(三十五)	吉良　文男	陶　説	682～688
高麗美術館コレクション名品展「朝鮮の壺」		〃	684
日本民芸館「朝鮮陶磁—柳宗悦没後五十年記念展」に寄せて	杉山　享司 白土慎太郎	〃	686
大阪市立東洋陶磁美術館　企画展「高麗時代の水注」に寄せて	鄭　銀珍	〃	687
古井戸茶碗　銘老僧	編　集　部	〃	689
韓国陶磁つれづれ私記(三十六)～(四十)	吉良　文男	〃	689～693
一品鑑照 vol. 3　高麗青磁皿	川島　公之	〃	693
高麗時代の陶磁器	宇都宮　宏	日本の民芸	625

そ　の　他

シャハリ・ゴルゴラ2008—2009年地雷撤去に伴う採集陶器予備カタログ	佐々木達夫 佐々木花江	金沢大学歴史言語文化学系論集	2
クメール陶器の起源と終焉に関する予備的考察	田畑　幸嗣	上智アジア学	28

17世紀から20世紀におけるキムラン・バッチャン村窯業史	西野　範子	高梨学術奨励基金年報	H21年度
カンボジア、ポスト・アンコール期の王都出土陶磁に関する考古学的研究	佐藤　由似	〃	〃
タイの陶磁史(六)～(十三)	向井　亙	陶　説	682～686、688～690
ジャワ発見のベトナム産タイルの図柄について―イスラーム文化との交流をめぐって―	坂井　隆	東洋史研究	69－3
カンボジア王国、アンロン・トム窯跡発掘調査報告	田畑　幸嗣	東洋陶磁	39
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	平山美知子	美術の窓	
66　彩釉蓮華文装飾壺(尖底の中型)			320
67　「山羊文台付坏」彩文土器			321
73　人物画タイル(クバチ手)			327

土　　器

日　　本

金剛坂式土器の系譜―紅村弘の学説を振り返る―	永井　宏幸	愛知県埋文センター紀要*	11
「貝田町式土器」生成論	石黒　立人	〃	〃
埋没河川から見つかったミニチュアの竈形土器	絹川　一徳	葦　火	149
最近の発掘調査		あるむぜお	
武蔵野国衙跡から「國」の墨書土器が出土	野田憲一郎		92
緑町から塔のミニチュアが出土	中條　寛		93
香川の絵画・記号土器	信里　芳紀	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	6
諸磯様式の浅鉢について―群馬県域の様相から―	関根　慎二	群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	28
「勝坂系」土器に関する再検討	山口　逸弘	〃	〃
郡名記載墨書・刻書土器小考―群馬県内出土事例を中心に―	高島　英之	〃	〃
双耳杯について―東日本における分布・変遷、用途についての検討―	神谷　佳明	〃	〃
資料紹介　二宮神社保存土器	口野　博史	神戸市立博物館研究紀要	26
史料紹介　鳥取県大坪大縄手遺跡の縄文時代晩期土器―大洞B1式併行期の東日本系土器を伴う晩期前葉の土器群―	濱田　竜彦	古代文化	581
雌鹿塚式の壺の型式変化について	岩本　貴	静岡県埋文研紀要*	16
北奥地域における古代の土器様相	岩井　浩人	高梨学術奨励基金年報	H21年度
東北地方北部における縄紋時代中期―後期土器の製作工程の研究	安達　香織	〃	〃
縄文時代における住居廃絶儀礼に関わる土器の様相	中村　耕作	〃	〃
地下式横穴墓出土須恵器・土師器の関係―南九州に分布する地下式横穴墓の事例から―	大西　智和	〃	〃
縄文土器の用途に関する研究―縄文時代中期中葉から後葉を主眼に―	宮内　信雄	〃	〃
東北地方の弥生時代前半期の蓋形土器(1)―集成編―	佐藤　祐輔	地底の森ミュージアム縄文の森広場研究報告	2009
研究ノート　デザインからみる縄文時代後晩期の土製耳飾り―千葉県我孫子市下ヶ戸宮前遺跡の事例から―	杉山　絢香	筑波大学先史学・考古学研究	21
静岡県東部地域出土曽利式土器の肉眼観察胎土組成―破魔射場遺跡・押出シ遺跡にみられる土器の移動―	河西　学	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	14
畿内にみられる新羅土器、新羅系軒丸瓦、新羅人	梁　淙鉉	帝塚山大大学院紀要*	12
蔵野町東遺跡出土の装飾器台について	青山　晃	富山考古学研究	13
任海宮田遺跡出土須恵器追試料の胎土分析結果について	町田　尚美 三辻　利一	〃	〃

須恵器生産開始期の工人の出自について—射水丘陵窯跡群を中心として—	池野　正男	富山考古学研究	13
薬師寺西僧房出土須恵器小考	木村　理恵	奈良文化財研究所紀要	2010
大官大寺の縄文土器(2)	石田由起子	〃	〃
研究ノート　須恵器における刷毛目技法—岡山県奥ヶ谷古窯と大阪府TG232号窯との比較を通して—	角脇由香梨	南山考人	38
文化財レポート　牛頸須恵器窯跡	舟山　良一	日本歴史	750
「孝酒」墨書土器の史的環境—武蔵国府関連遺跡出土資料の検討—	門田　誠一	仏教大学文学部論集	94
久ヶ原式をめぐる東京湾西岸地域—櫛描文世界との遭遇と宮ノ台式の消滅—	比田井克仁	法政考古学	36
整理報告遺跡　川久保遺跡	高橋　保	埋文にいがた	72
西日本沈線文系土器集成Ⅳ	幸泉　満夫	山口県立山口博物館研究報告	36
物語性文様について2	小野　正文	山梨県考古博埋文センター紀要*	26
縄文中期の抽象文世界—龍か山椒魚か蝮か—	末木　健	〃	〃
古墳時代における土製模造鏡祭祀についての一考察—土製模造鏡出土遺構の分析を通じて—	稲垣　自由	〃	〃
特殊器台の文様の展開	北井　利幸	龍谷史壇	132
中世北武蔵の成立期から前期について—主に土器・陶磁器をとおして—	浅野　晴樹	歴史評論	727
調査報告　奈良国立博物館所蔵五條猫塚古墳出土史料の再整理とその新知見	五條猫塚古墳研究会	鹿園雑集*	12

朝　鮮

研究ノート　難波に運ばれた加耶土器	寺井　誠	大阪歴史博物館研究紀要	8

そ の 他

ファイズ・ムハンマド式土器とその意義—岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介を兼ねて—	小茄子川歩	岡山市立オリエント美術館研究紀要	24
新収蔵品紹介　ウバイド彩文土器	小泉　龍人	オリエンテ	40
「古代オリエントのモノ語り」第2回 古代オリエントの土器—その興隆を読み解く	小髙　敬寛	〃	〃
イスラエル鉄器時代出土土器に見られる「生命の木」の意義	杉本　智俊	オリエント	52−2
パルティア期、デーラマン地域の特異性—カスピ海南西岸域における鉄器時代Ⅳ期以降の精製土器分布—	有松　唯	〃	〃
研究発表要旨　ケルク土器をめぐる諸問題	小髙　敬寛	〃	〃
海外通信　インド考古学通信(3)	小茄子川歩	古代文化	580
モンゴル国内窯址遺跡跡出土の契丹陶質土器・瓦の研究	臼杵　勲	高梨学術奨励基金年報	H21年度
古代エジプト、青色彩文土器の起源に関する研究	高橋　寿光	〃	〃
研究ノート　イラン、デーラマン地域における鉄器時代Ⅳ期からパルティア期にかけての土器編年	有松　唯	西アジア考古学	11

瓦

中　国

美味珍膳　二十三瓦当拾遺記	伊藤　滋(木雞室)	書道界	246

日　本

展示物スポット32 河内国分寺鬼瓦・衣縫廃寺鬼瓦		アスカディア・古墳の森	32
資料紹介　和泉寺跡出土文字瓦	土屋みづほ	大阪府教育委員会文化財調査事務所年報	14
資料紹介　館蔵衣縫廃寺出土素弁八葉蓮華文軒丸瓦	市本　芳三	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	13

土器・陶磁史資料の歴史・文化史的比較研究		大手前大学史学研究所紀要	8
加西市普光寺蔵文禄四年銘瓦質燈籠について	松本　彩 中井　淳		
藤井直正採集屋瓦資料	藤井　直正 井西　貴子 藤本　史子		
神奈川県における集落遺跡出土の瓦の様相(3)	奈良・平安プロジェクトチーム	かながわの考古学	15
安土城伝黒金門跡下出土未報告瓦について	仲川　靖 上垣　幸徳	滋賀県教育委員会研究紀要	14
鬼瓦百選(八十)～(八十九)	小林　章男	史迹と美術	801～810
帝塚山大学大学院所蔵の軒瓦	松村　翔太	帝塚山大学大学院紀要*	12
亀山殿と土壙76・77の出土遺物	鈴木　久男	帝塚山大学考古学研究所研究報告	12
紀伊における本薬師寺式軒瓦	小谷　徳彦	〃	〃
東摂地域における古代寺院と古瓦窯の様相―茨木市とその近隣地域を中心に―	宮本　賢治	〃	〃
瓦にみる平安時代の大津―大津と平安京―	鈴木　久史	〃	〃
中世西摂地域における瓦工人の動向	木村　友紀	〃	〃
平城宮の瓦	太田　三喜	天理参考館報	23
摂関・院政期の京都における丹波系軒瓦の動向	上原　真人	仏教芸術	308
瓦当文から見た一二世紀の北武蔵	石川　安司	歴史評論	727
資料紹介　内藤政恒氏・原田良雄氏蒐集の古瓦―福島県南相馬市泉官衙遺跡・京塚沢窯跡・植松廃寺跡出土瓦の資料紹介―	岩戸　晶子 藤木　海	鹿園雑集*	12
資料紹介　秋月遺跡の瓦組井戸	冨永　里菜	和歌山県文化財センター年報	2009

朝　鮮

日韓古代瓦の施文技法	梁　淙鉉	帝塚山大学考古学研究所研究報告	12

金　工

東アジア

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　総括と展望　東アジアをめぐる金属工芸―中国、朝鮮、日本、そして琉球	久保　智康	アジア遊学	134

中　国

金の道(六)	中野　徹	陶　説	682
研究報告　漢魏洛陽城と出土銭貨	次山　淳	奈良文化財研究所紀要	2010
物に執して(一三二)	鈴木　皓詞	目の眼	405
宋代の寺鐘―時報と銅禁をめぐりて―	金井　徳幸	立正史学	108

日　本

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　中世日本における倣古銅器の受用と模倣―唐物意識の内実	久保　智康	アジア遊学	134
広帯二山式冠・半筒形金具の原型	森下　章司	大手前大学史学研究所紀要	8
館蔵資料紹介　桐丸紋散長柄銚子		岐阜市歴史博物館博物館だより	74
有馬温泉寺の銅製経箱	川野　憲一 間屋　真一	神戸市立博物館研究紀要	26
斎宮跡出土の皇朝銭について	新名　強	斎宮歴史博物館研究紀要	19
律令期の陸奥国官衙における鉄器入手ルート	関　博充	高梨学術奨励基金年報	H21年度
culture club　中世の大量出土銭の謎―かくし銭？まじないの道具？―	高島　芳弘	徳島県立博物館ニュース	78
市指定有形文化財平田14号墳出土銀象嵌大刀	田中　秀和	まいぶん津	8
研究ノート　展示資料と研究成果―薩摩天保通宝を事例として―	徳永　和喜	黎　明	108
column　技術革新の熱意	村木　二郎	歴　博	160
特集　中世の生産技術　外来技術としての鍵と錠	坪根　伸也	〃	〃
特集　黄金		〃	161

仏教文化の礎・東北の金	八重樫忠郎		
小判の秘密	西脇　康		

朝　鮮

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　高麗時代金属托盞の系譜と特徴	金　恩愛 久保　智康 訳	アジア遊学	134
高麗美術館研究講座・抄録　法隆寺再建時の仏教工芸品にみる百済・新羅の余映	河田　貞	高麗美術館館報	87
韓国の美　ヨルセペ(鍵牌)		コリアナ	17−2
朝鮮半島中部地域における古代の鉄・鉄器生産の実証的研究	笹田　朋孝	高梨学術奨励基金年報	H21年度

そ の 他

東西交渉とイラン文化　ササン銀器から見た東西文化交流—獅子と虎の描写をめぐって	田辺　勝美	アジア遊学	137
クメールの聖遺物—鋳塊(インゴット)考—	丸井　雅子	上智アジア学	28
カンボジアの製鉄に関する民族考古学的研究	池上真理子	高梨学術奨励基金年報	H21年度
平山郁夫シルクロード美術館コレクション72　祝宴図鍍金銀製坏	平山美知子	美術の窓	326
古代トラキアの金銀器 III 水差	ジュリア・ヴァレヴァ	MIHO MUSEUM 研究紀要	10

鏡

中　国

道教美術の可能性　道教美術の諸相と展開　漢代銅鏡にみえる神話および道教の図像について	李　淞	アジア遊学	133
東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　十世紀の鏡の一様相—中国・呉越国の線刻鏡について	瀧　朝子	〃	134
神獣鏡の生産実態—イメージからの脱却—	上野　祥史	泉屋博古館紀要	26
東アジアにおける漢鏡の生産と流通の研究	岸本泰緒子	高梨学術奨励基金年報	H21年度
漢鏡５期における淮派の成立	岡村　秀典	東方学報京都	85
隋代・初唐期における銅鏡の分類と編年	持田　大輔	早大會津八一記念博紀要*	11
東アジアを結ぶモノ・場　仏教とともに海を渡った鏡—清涼寺釈迦如来像	瀧　朝子	アジア遊学	132

日　本

出雲文化圏と東アジア　I　古代の視点から　コラム　島根県神原神社古墳の三角縁神獣鏡と異界	正道寺康子	〃	135
収蔵資料あれこれ　大室政右コレクション	深澤　靖幸	あるむぜお	94
調査報告　伊予市上三谷出土三角縁獣文帯四神四獣鏡について	冨田　尚夫	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	15
三角縁神獣鏡の材料科学的研究—静岡市午王堂山３号墳出土鏡を巡って—	村上　隆	学　叢	32
研究ノート　法隆寺西円堂薬師如来坐像に納入された鏡	植松　勇介	古代文化	580
研究ノート　敦賀市深山寺経塚出土鏡についての検討	清水　梨代	〃	581
資料紹介　木田余字中城から出土した和鏡について	石川　功	土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報	15
奈良時代の家から出土した古墳時代の鏡		栃木県埋蔵文化財センターだより	20100610
日本の古銅鏡	宇都宮　宏	日本の民芸	626
山口県内の古墳出土の銅鏡	〃	〃	628
資料報告　明治大学博物館所蔵の倣製内行花紋鏡について	岸本泰緒子	明治大学博物館研究報告	15
土曜日に書く　鏡が語る国家誕生の謎	渡部　裕明	産　経	1.9
銅鏡大量出土の桜井茶臼山古墳　日本海側墳墓と共通点	石野　博信	東京夕刊	1.19

朝　鮮

傑作／名品　多紐精文鏡　繊細な模様技術の精髄	趙　現鐘 趙　祥恩 訳	コリアナ	17−4

青　銅　器

中　　国

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　中国南方地域における宋・元期の倣古青銅器	王　牧 久保　智康、廖 佐恵 訳	アジア遊学	134
館蔵中国青銅器実測図・拓本選	徐　天進	出光美術館館報	
19弦文爵			150
20夔鳳文簋			151
21象文觚			152
22饕餮文尊			153
中国川西高原・洱海系青銅器の変遷	宮本　一夫	史　淵	147
天帝の貴畜―龍の機能をめぐって―	小南　一郎	泉屋博古館紀要	26
中国西南地区における北方青銅器文化の研究	宮本　一夫	高梨学術奨励基金年報	H21年度
中世における倣古青銅器の移入と流通―東アジアと日本の出土遺物の検討―	門田　誠一	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	6
ゆったりアート　9　個で1組　権力の象徴	岸　桂子	毎日夕刊	7.3

日　　本

神奈川県内出土の弥生時代金属器(2)―銅製品集成―	弥生時代研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	15
資料　中国から寄贈された古代計量器の複製品について	岩田　重雄	計量史研究	38
学芸員のノートから94　国宝指定40年を迎えた桜ヶ丘銅鐸・銅戈	橋詰　清孝	神戸市立博物館だより	98
踏み返し法による銅剣の復元鋳造	劉　治国	古代文化研究	18
日本中世における青銅鏡の製作技法	川見　典久	古文化研究	9
culture club　砕かれた青銅器―誰が、どうやって壊したのか？―	魚島　純一	徳島県立博物館ニュース	79

朝　　鮮

歴史国際研究集会「日韓先史時代の集落研究」開催報告　第1部　韓国青銅器社会の集落と墓制　集落構造からみた韓国中西部地域の青銅器社会	李　亨源	国立歴史民俗博物館研究報告	160

そ の 他

「古代オリエントのモノ語り」第3回　西アジアにおける金属利用の歴史	津本　英利	オリエンテ	40
海外通信　インド考古学通信(5)	小茄子川歩	古代文化	582
口絵　西アジアの鉄芯入り青銅剣	荒　友里子	筑波大学先史学・考古学研究	21
資料紹介　筑波大学保管　東南アジア、西アジアの青銅製品について	〃	〃	〃
角杯とリュトン―その系譜と展開について I―	稲垣　肇	MIHO MUSEUM研究紀要	10
資料紹介　シリア中部、ビシュリ山系北麓青銅器時代ケルン墓群出土の青銅製短剣の年代について	足立　拓朗 藤井　純夫	西アジア考古学	11

刀剣・刀装

日　　本

刀剣回顧談　第九回～第十一回	阿部　純子	永青文庫	70～72
平成二十年度　大阪城天守閣新収蔵資料紹介[刀銘藤嶋(伝長束正家所用)]	宮本　裕次 跡部　信	大阪城天守閣紀要	38
資料紹介　初代月山貞一関連資料	内藤　直子	大阪歴史博物館研究紀要	8
日本刀の成立過程―木柄刀と古代刀の変遷―	津野　仁	考古学雑誌	94－3
名刀鑑賞		刀剣美術	
特別重要刀剣　短刀　銘　濃州岐阜住大道　信濃守国広	檜山　正則 解説		636
特別重要刀剣　刀　無銘　正宗(名物大垣正宗)	〃		637
特別重要刀剣　短刀　銘　濃州岐阜住大道　信濃守国広	〃		〃
重要美術品　太刀　銘　国俊	石井　彰 解説		638
重要美術品　短刀　銘　繁慶	檜山　正則 解説		639
特別重要刀剣　刀　肥前国住近江大掾藤原忠広	〃		640

特別重要刀剣　太刀　銘　真長	檜山　正則 解説		641
重要美術品　太刀　銘　助国	石井　彰 解説		642
重要美術品　太刀　銘　友成作	〃		644
特別重要刀剣　脇指　銘　主長政　吉貞作　正平十三年九月日	〃		645
重要美術品　太刀　銘　豊後国僧定秀作	〃		646
重要刀剣　短刀　銘　国弘作	檜山　正則 解説		647
重要刀装具		刀剣美術	
虎図目貫　割際恥　銘　長常・(花押)	飯田　俊久 解説		636
革に蟷螂透鐔　無銘　赤坂初代忠正	〃		638
桜花図縁頭　銘　夏雄／桜花図縁頭　銘　倣先師夏雄翁作　応需隆雄(花押)	久保　恭子 解説		639
鉈文鐔　銘　山吉兵へ	飯田　俊久 解説		640
浅妻船図鐔　銘　後藤法橋一乗(花押)	黒滝　哲哉 解説		641
特別重要刀装　黒漆皺革包鞘藍革巻柄太刀拵	飯田　俊久 解説		642
特別重要刀装具　菊花形七宝鐔　無銘　彦三	久保　恭子 解説		644
七福神図揃金具　鐔銘　起龍軒美盛(花押)　縁銘　水府住海野美盛(花押)　栗形　金象嵌銘　美森	飯田　俊久 解説		645
和同駒曳き猿古銭図鐔　銘　東雨	黒滝　哲哉 解説		646
金梨子地三分刻鞘三階菱紋金具合口腰刀拵	飯田　俊久 解説		647
本多政重の生涯と愛刀家次にある「鳥屋入」金象嵌について	小浦宗五郎	〃	636
刀装・刀装具初学教室(181)～(188)	福士　繁雄	〃	636、637、640、642、644～647
刀装具の画題	〃	〃	
181鯨			636
182梅樹に鷹			637
183羯鼓			640
184三匹蟹			642
185鴛鴦・島(淡路島か)			644
186石清水八幡宮(杉矢留守模様)・勝虫(蜻蛉)			645
187貝尽し			646
188楽器(雅楽留守模様)			647
資料紹介　長銘で裏年紀のある堀川物と思われる「国正」	成相　英樹	〃	637
本部定例鑑賞会一月～七月、九月	石井　彰 講師	〃	637～643、645
「刀縁」私見—「水戸刀」覚え書　余録	宮本　三郎	〃	638
『本朝古今銘尽』について—「八行小字本」を中心にして	奈良原和夫	〃	639
仙台藩刀匠考(十五)『御国鍛冶系図全』の出現とその考察(上)、(下)	佐藤　一典	〃	640、641
真雄・清麿と兼虎その実歴(一)～(三)	花岡　忠男	〃	642～644
随想　龍眠斎兼友と三雅遠州流真派	矢野　恒夫	〃	644
讃岐の古鍛冶—高篠鍛冶の鍛えた剣を拝見して	川辺　勝一	〃	645
都々古別神社蔵　重要文化財・長覆輪太刀拵の中身	丸山　栄一	〃	〃
「室町期刀剣」考	宮崎　政久	〃	646
装剣小道具の世界103～114	善財　一目の眼		400～411
日本刀　五ヶ伝の旅	田野辺道宏	〃	
其の壱　大和五派後編(保昌・尻懸・附金房)　大和物の作風とその展開　後編			401
地方に派生した大和伝の諸派1～4			402～406
特集3　日本刀　魅惑の曲線美　透かし鐔の世界		〃	401

染織・服飾

中　国

中国における蝋染工芸の略史	王　向民	京都精華大学紀要	37

日　本

正倉院の花氈と天平の宮廷空間	井上　豪	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
東アジアを結ぶモノ・場　慶長小袖の時代性—中国・韓国の染織品と比較して	澤田　和人	アジア遊学	132
平安時代における童の直衣の実態—袴着・元服を中心に—	伊永　陽子	鹿島美術財団年報・別冊	27
文献史料にみる豊前「小倉織」の歴史的変遷	永尾　正剛	北九州自然史歴史博報告*	7
雁金屋御絵帳(万治四年・寛文三年)の研究(四)—肩連結図、身頃連結図、図内文字の読み—	塚本　瑞代	群馬県立女子大学紀要	31
蘇芳小花文銀襴袒	山川　暁	国　華	1375
世阿弥　能の美　能面と装束　装束の華	小山弓弦葉	太陽(別冊)	173
布衣始について	近藤　好和	日本研究	42
備前池田家伝来の夜着十領について	宮尾　素子	林原美術館紀要・年報	4
平成二十一年度西支部例会発表要旨　初期友禅染に見られる寒色系色彩表現について	髙木香奈子	美術史	168
第六十三回全国大会研究発表要旨　初期の友禅染をめぐる一考察—伝伊達綱村所用の友禅染産着を中心に—	〃	〃	169
近代染織史研究における「辻が花」の受容について	小山弓弦葉	MUSEUM	627
「応夢衣」(牡丹唐草文印金袈裟)についての一考察—伝来と文様を中心に—	宮尾　素子	〃	628
田安徳川家伝来肉筆衣装雛形に関する一考察	水上嘉代子	〃	〃
表紙解説　青色御袍裂(『九重の紅葉』所収)	猪熊　兼樹	〃	〃
物に執して(一三〇)	鈴木　皓詞	目の眼	403

そ の 他

東西交渉とイラン文化		アジア遊学	137
東西交流におけるイラン染織—連珠円文錦の系譜	道明三保子		
コラム　花菱の文様にみる東西交流—イラン織物と絵絣の関連から	星谷美恵子		
ベトナム北部のヌン民俗に伝わる『天工開物』型腰機	内海　涼子	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
十八世紀南インドの刺繍について—京都祇園祭太子山所蔵インド刺繍掛物を手掛かりに—	鎌田由美子	美術史	168
平山郁夫シルクロード美術館コレクション64　草花文カシミヤショール	平山美知子	美術の窓	318

漆　工

中　国

東アジアをめぐる金属工芸　中世・国際交流の新視点　中世の漆工にみる金属器の影響—無文漆器と銀器を中心に	多比羅菜美子	アジア遊学	134
伝楽浪出土彩漆耳杯—特に紋様、銘文、使用痕の検討—	市元　塁	東風西声*	5

日　本

鑑賞のツボ　紋章蒔絵飾皿		Asiage	16
所蔵品紹介　流水梅柳文蒔絵螺鈿鏡箱	渡邊　雄二	エスプラナード	160
調査報告　二〇〇九年三月イタリアにおける漆器調査の報告	永島　明子	学　叢	32
表紙の言葉		きよらさ	
黒漆鳥獣草花箔絵椀	(當山)		61
黒漆葡萄栗鼠箔絵花形遊具箱	(森根)		63
イギリスにおける日本漆器研究—19世紀後半から20世紀初頭を中心とする覚書—	木曽久美子	芸術学学報	16
特輯　逸格逸品　第七輯　図版八　朱漆桐文瓶子	柏木　麻里	国　華	1372
葦穂蒔絵鞍鐙	竹内奈美子	〃	1378
所蔵品紹介32　朱塗沈金合子	細川貴久美	漆芸美術館だより	60
口絵解説　栃木県西根2遺跡出土の漆器	進藤　敏雄 仲山　英樹	とちぎ埋文センター紀要*	18

調査報告　春正作「茶摘蒔絵香箪笥」と『都名所図会』—近世漆芸意匠にみる版本挿絵の利用—	秋間　敬代	野村美術館研究紀要	19
漆芸の極み—蒔絵	後藤　恒	福岡市美術館古美術室解説	196
「河内本源氏物語」の書物箪笥		蓬　左	81
特集3　漆絵の幽玄なる世界		目の眼	410
ゆったりアート　鎌倉武士の誇り	岸　桂子	毎日夕刊	5.14

石　工

日　本

南信州の石造五輪塔の変遷	岡田　正彦	飯田市美術博物館研究紀要	20
古墳時代石製臼・石臼集成	市村慎太郎	大阪文化財研究	36
燈籠百話(5)、(6)	伊吹　順章	春　日	83、84
資料紹介　田辺家寄贈の板碑について	副島　蔵人 伝田　郁夫	川崎市市民ミュージアム紀要	22
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケートわたしがそれを選んだわけ3　オッソロシイ石とインビな古書空間	丹尾　安典	芸術新潮	721
表紙写真解説		埼玉史談	
板碑のある風景—慈光寺山門跡の板碑群—			300
飯能市小瀬戸正観音堂　至徳四年宝篋印塔	(四方田)		301
年不詳名号板碑(ときがわ町大野)			302
無量寺宝徳三年宝篋印塔　飯能市小岩井無量寺	(四方田)		303
「平等院鳳凰堂石燈籠」補遺	尼崎　博正	史迹と美術	801
口絵写真解説　南丹市八木町の石造美術	矢ヶ崎善太郎	〃	810
石棺に見る琉球の建築文化	宮城　弘樹	高梨学術奨励基金年報	H21年度
高山寺の明恵集団と宋人	大塚　紀弘	東京大学史料編纂所研究紀要	20
神奈川県における道祖神碑形態の動向—双体像・単体像・文字碑の推移—	加藤　隆志 山口千恵子	道祖神研究	4
文化財と「道祖神」—長野県安曇野市を例として—	倉石　忠彦	〃	〃
考古学から見た東北地方の葬送文化	田中　則和	東北文化研究室紀要	51
石清水八幡宮　神仏一体　梵字入り石灯籠	柳林　修	読　売	9.22

石　器

日　本

千葉県内出土の独鈷石に見られる赤彩痕の分析—佐倉市吉見台遺跡ならびに成田市屋敷貝塚出土資料を中心として—	永嶋　正春	貝塚博物館紀要	37
千葉県の独鈷石・独鈷石j形土製品(2)—追加報告ならびに計測値の分析と使用石材の検討から—	小澤　清男	〃	〃
北海道東部・千島列島の続縄文時代における黒曜石製石器の製作と流通システムの研究	髙倉　純	高梨学術奨励基金年報	H21年度

そ の 他

研究発表要旨　後期新石器時代の南レヴァント地方における鎌刃のデザインと製作技術	銭廣　健人	オリエント	52−2

木 竹 工

日　本

擦文・アイヌ文化期における木の利用と観念について	清水　香	高梨学術奨励基金年報	H21年度
館蔵品紹介　双六盤	磯本　宏紀	徳島県立博物館ニュース	78
日本美術のススメ　今月の逸品「螺鈿紫檀五絃琵琶」正倉院宝物	永井　洋之	美術の窓	326
正倉院の御椅子と西方的デザインについて	服部　等作	広島市立大学芸術学部紀要	15
講座　音楽史		歴史と地理	
古代における音楽葬礼・神事・宛飲を中心に	荻　美津夫		635

中世における音楽 宮廷音楽を中心に	豊永　聡美		637
近世の音楽　多様な音楽ジャンルの共存	小塩さとみ		640
column　結物の普及と木材加工技術	鈴木　康之	歴　博	160

そ　の　他

古代インドの絃楽器「ヴィーナー」、「ヴァッラッキー」、「トゥナヴァ」	外村　中	古代文化	582

ガラス工

日　本

Curator's Eye Part 2 担当学芸員が語るワンポイント　嬉し、美し、金魚玉	土田ルリ子	サントリー美術館ニュース	228
口絵解説　カリガラス製勾玉	肥塚　隆保 田村　朋美	文化財*	566
特集　古代ガラスと考古科学		〃	〃
日本の古代ガラス	松村　恵司		
材質とその歴史的変遷	肥塚　隆保 田村　朋美 大賀　克彦		
日本列島におけるガラスおよびガラス玉生産の成立と展開	大賀　克彦		
弥生時代のソーダ石灰ガラス小玉	田村　朋美	奈良文化財研究所紀要	2010
ゆったりアート　粋を感じるガラス工芸	岸　桂子	毎日夕刊	4.23

朝　鮮

特集　古代ガラスと考古科学　韓国出土の古代ガラスの概要	金　奎虎 肥塚　隆保	文化財*	566

そ　の　他

東西交渉とイラン文化		アジア遊学	137
サーサーン朝ペルシア・ガラスの「直」(中国・東方流入)と「風」(中国・東方文化)	谷一　尚		
コラム　工芸分野からみた古代イランの文化交流	由水　常雄		
新開発のポータブル蛍光X線分析装置による岡山市立オリエント美術館所蔵ガラスの化学組成分析 2007年度調査	加藤　慎啓 タンタラカーン・クリアンカモル 阿部　善也 中井　泉	岡山市立オリエント美術館研究紀要	24
新収蔵品紹介　さまざまなガラス器	石田　恵子	オリエンテ	41
史料紹介　考古資料としてのイスラーム・ガラス　エジプト、フスタート遺跡、ラーヤ遺跡、トゥール遺跡出土品から	真道　洋子	歴史と地理	639

その他の工芸・民具

日　本

青森県佐井村箭根森八幡宮の玉類・石器について—放浪の画家、蓑虫山人により明治期に描かれた玉ほか—	齋藤　岳	青森県立郷土館研究紀要	34
上私部遺跡出土の綛かけについて	黒須亜希子	大阪文化財研究	36
研究ノート　江戸時代大坂におけるミニチュア土製品の一考察	川村　紀子	大阪歴史博物館研究紀要	8
日本の古典絵画及び江戸期の絵本、浮世絵から影響を受けた根付に見られる中国伝説上の人物意匠の成立について	ニコロワタチアナ	芸術学研究(筑波)	14
調査研究活動報告 国立歴史民俗博物館蔵　古文書・古典籍料紙の調査	宍倉　佐敏	国立歴史民俗博物館研究報告	160
正倉院宝物特別調査		正倉院紀要	32
紙(第2次)調査報告　まえがき	杉本　一樹		
紙(第2次)調査報告	飯田　剛彦		
古代料紙論ノート—『延喜式』にみる製紙工程をめぐって—	湯山　賢一	〃	〃
正倉院文書料紙調査所見と現行の紙漉き技術との比較	増田　勝彦	〃	〃
吉川観方コレクションの団扇について 上	洲鎌佐智子	朱　雀	22
信濃紙文化史(十六)～(十八)	河野　徳吉	百万塔	135～137
標本の世界　万年時計の魅力	木下　泰宏	milsil	16
第3展示室ミニ企画展示「和宮ゆかりの雛かざり」	日高　薫	歴　博	158

朝　鮮

表紙について　華角三層櫃〔チャン〕	(松)	高麗美術館館報	86

韓国の美　トッサル(餅型)		コリアナ	17−1
Pick UP 李朝「木偶」の世界		目の眼	405

その他

シリア中部、ビシュリ山系北麓ワディ・ヘダージェ1　ケルン墓群出土のファイアンス製鳥形護符の年代について	足立　拓朗 藤井　純夫	岡山市立オリエント美術館研究紀要	24
海外通信　インド考古学通信(4)	小茄子川歩	古代文化	581

建　　築

都市・集落

中　　国

魏晋洛陽都城制度攷	外村　　中	人文学報	99
藩城の地域的特質と変遷—明時代に藩府が建設された地方城市の都市設計(1)—	顔　　敏傑 波多野　純	日本建築学会計画系論文集	650

日　　本

近世における公家町の形成について	登谷　伸宏	建築史学	55
研究ノート　初期難波宮覚書—応神・仁徳天皇と難波の宮居—	荊木　美行	皇学館論叢	255
藤原京の条坊施工年代再論	林部　　均	国立歴史民俗博物館研究報告	160
泉津と古代都城—上ツ道・中ツ道・下ツ道の北の起点—	岩井　照芳	古代文化	581
難波津小考(上)、(下)	田寺　英治	史迹と美術	801、802
平城京		太陽(別冊)	165
発掘で明らかになった平城京の形	田辺　征夫		
大極殿の再現と日本の古代建築	島田　敏男		
遺跡だより93　文京区大塚町・大塚・大塚北遺跡	(松井)	たまのよこやま	80
小野大道西遺跡—市道新治I級14号線改良工事に伴う埋蔵文化財調査報告—	関口　　満	土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報	15
筋違道設定に至る道程(承前)	甲斐　弓子	帝塚山大学考古学研究所研究報告	12
整備以前の平城宮跡	吉川　　聡	奈良文化財研究所紀要	2010
平城宮第一次大極殿院回廊の地震痕跡	大林　　潤 寒川　　旭	〃	〃
平城宮東方基幹排水路SD2700出土冶金関連遺物の再検討	小池　伸彦	〃	〃
近世初頭京都のウラとオク　空間呼称の変遷からみた街区内奥部	早見　洋平	日本建築学会計画系論文集	648
近世期の河川沿いにおける会津藩の水運施設の空間構成に関する研究—塩川御蔵所を事例として—	相模　誓雄	〃	653
上芦川における関所の配置と集落形成過程に関する復原的考察	伊藤　裕久 佐々山　浩 渡辺　洋子	〃	656
平泉文化研究の今まで、そしてこれから—柳之御所遺跡の成果と展望—	河原　純之 ほか	平泉文化研究年報	10
古代武蔵国府の成立	深澤　靖幸	府中市郷土の森博物館紀要	23
近世京都における東本願寺寺内のプランと変容	渡邊　秀一	仏教大学文学部論集	94
特集　平城遷都一三〇〇年		文化財*	556
平城京の宅地と居住者	近江　俊秀		
平城京の暮らしと祭祀	松村　恵司		
最近の平城京発掘調査から—左京五条四坊の調査—	原田憲二郎		
特集　平城京を学ぶ平城京研究の現在	舘野　和己	歴史地理教育	758
首都の治安と防備平城京の都市支配	北村　優季	歴史と地理	635
質問愚問解説コーナー　纒向遺跡発見の大型建物跡	白石太一郎	〃	〃
平城京という「都市」の環境	馬場　　基	歴史評論	728
特集　中世の生産技術　生産遺跡から中世をみる	小野　正敏	歴　　博	160
田辺城下町遺跡の出土遺物整理	川崎　雅史	和歌山県文化財センター年報	2009

朝　鮮

歴史国際研究集会「日韓先史時代の集落研究」開催報告 第１部　韓国青銅器社会の集落と墓制 蔚山地域の青銅器時代集落について	李　秀鴻	国立歴史民俗博物館研究報告	160
18世紀朝鮮における水原華城の都市構造に関する研究―三南大路による貫通との関係を中心に―	金　炳周	日本建築学会計画系論文集	654

そ　の　他

イスラエル、テル・レヘシュ遺跡第５次調査	巽　善信	天理参考館報	23
プラサート・トムの伽藍寸法計画　クメール建築の造営尺度と設計技術に関する研究（５）	溝口　明則 中川　武 佐藤　桂 下田　一太	日本建築学会計画系論文集	653

宮殿・官衙

中　国

後漢雒陽城の南宮と北宮の役割について	村元　健一	大阪歴史博物館研究紀要	8
研究報告　漢魏洛陽城・北魏宮城３号建築遺構の発掘調査	城倉　正祥	奈良文化財研究所紀要	2010

日　本

政庁特集		秋麻呂くん通信	20100731
難波宮東部地域の発掘調査―奈良時代の建物基壇を発見！―	市川　創 村元　健一	葦　火	146
難波の巷に架かる橋―ついに難波京で条坊遺構発見！―	高橋　工	〃	147
初期ヤマト王権中枢施設の形とその意味	黒田　龍二	大美和	119
筑紫の古代山城と太宰府の成立について―朝倉橋広庭宮の記録―	赤司　善彦	古代文化	579
朝倉橋広庭宮推定地の伝承について	〃	東風西声*	5
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要		奈良文化財研究所紀要	2010
藤原宮の調査　朝堂院回廊・大極殿院回廊の調査―第160次	山本　崇 高橋知奈津 豊島　直博 石田由紀子 若杉　智宏		
飛鳥地域等の調査 甘樫丘東麓遺跡の調査―第157・161次	次山　淳 木村　理恵 石田由紀子 山崎　健 番　光		
飛鳥地域等の調査 古宮遺跡の調査―第152―８次	木村　理恵 山崎　健 石田由紀子		
飛鳥地域等の調査 檜隈寺周辺の調査―第159次	若杉　智宏 ほか		
飛鳥地域等の調査 高松塚古墳の調査―第154次	廣瀬　覚		
平城宮跡等の調査概要　平城宮の調査		〃	〃
東方官衙地区の調査―第440・446次	今井　晃樹		
東院地区の調査―第446次	鈴木　智大 国武　貞克		
第一次大極殿院広場の調査―第454次	大林　潤 今井　晃樹		
平城宮跡等の調査概要　平城宮と寺院の調査		〃	〃
海龍王寺旧境内の調査―第456次	浅野　啓介 今井　晃樹		
薬師寺境内の調査―第457次	箱崎　和久 森川　実 今井　晃樹		
興福寺南大門の調査―第458次	森川　実 森先　一貴		
興福寺旧境内の調査―第2009―７次	国武　貞克 森川　実		
右京三条一坊八坪の調査―第448次	林　正憲 城倉　正祥		
特集　平城遷都一三〇〇年		文化財*	556
平城京へのみちのり―平城京造営の歴史的意義―	井上　和人		
平城京の宮殿	山本　崇		

朝　鮮

韓国の美　花塀		コリアナ	17―3
傑作／名品　慶会楼 朝鮮王朝のもてなしの場	金　奉建	〃	〃
朝鮮の宮殿文化と景福宮	張　志連 李　美江　訳	〃	17―4
景福宮復元第１段階事業　21年の道のり	李　光杓 李　美江　訳	〃	〃

そ の 他

アンコール王朝における王とバライの関係—アンコール碑文からみたバライ造営意図の検討—	佐藤 恵子	上智アジア学	28
阮朝フエ王宮における隆徳殿の建築技法について	白井 裕泰 中川 武	日本建築学会計画系論文集	649

宗教建造物

中 国

泉州開元寺の復興に見る明代福建仏教の一側面	王 亦明	印度学仏教学研究	120
後白河法皇の阿育王山舎利殿建立と重源・栄西	渡邊 誠	日本史研究	579
特集 建築のかたち 塔のかたち—中国と日本	田中 淡	歴 博	159

日 本

史料紹介 普門寺(豊橋市)所蔵永暦二年永意起請木札について—付、大治二年『大般若経』零巻、仁治三年四至注文写木札、天文十一年本尊等立木札—	上川 通夫	愛知県史研究	14
出雲文化圏と東アジアIII 信仰と技術 出雲大社 まぼろしの慶応度造営事業	和田 嘉宥	アジア遊学	135
古代寺院「成本廃寺」の寺域を確認	西村 公助	葦 火	146
真宗本廟(東本願寺)造営史に関わる調査報告—真宗大谷派長浜別院大通寺の建築及び文書調査について—	平野 寿則	大谷大学真宗総合研究所研究所報	56
京都国立博物館所蔵の宝塔について	登谷 伸宏	学 叢	32
河内国分寺『金堂』の検討	山根 航	柏原市立歴史資料館館報	22
朝倉橘広庭宮と観世音寺—宮の所在地についての再検討—	小田 和利	九州歴史資料館研究論集	35
修復トピックス		建築史学	
重要文化財武並神社本殿の建築的特徴について	園田 誠嗣		54
国宝三宝院唐門の修理と垣間見た建築事情	浅井 健一		〃
重要文化財岩屋熊野座神社の覆屋小屋組の復原と建立に関わる墨書について	増渕 靖裕		55
東大寺大仏殿のデジタル復元	小林 泰三	国華清話会会報	16
秩父神社の棟札について(一)(二)	栗原 一夫	埼玉史談	302、303
文化財建造物修理現場だより		全文連会報	
出雲大社本殿ほか22棟の保存修理について	興梠 朋道		75
国宝・重要文化財知恩院本堂及び集会堂他2棟の保存修理について	竹下 弘展		76
東照宮中神庫修理概要報告	佐藤 則武	大 日 光	80
東照宮「昭和の大修理」トピック	山作 良之	〃	〃
運慶 時空を超えるかたち 二つの運慶仏を伝えた足利氏の廟所・史跡樺崎寺跡	大澤 伸啓	太陽(別冊)	176
丸亀市における古代寺院	谷口 梢	帝塚山大学考古学研究所研究報告	12
興福寺講堂造営者に関する一考察	木本 挙周	〃	〃
河内国高安郡の古代寺院—高安郡三ヶ寺の創建とその背景—	松村 翔太	〃	〃
古代・中世の東寺大師堂の建築について	上野 勝久	東京芸術大学美術学部紀要	47
古代寺院と行基集団—和泉地域における奈良時代寺院の動向と「行基四十九院」—	梶原 義実	名古屋大学文学部研究論集	167
研究報告 津和野町社寺建築調査	島田 敏男	奈良文化財研究所紀要	2010
津和野町社寺建築調査	〃	〃	〃
研究報告 乱石組雨落溝の構造と変遷	青木 敬	〃	〃
結城の彫工竹田氏による下総村社の彫刻	田中 孝明 渡辺 勝彦	日本建築学会計画系論文集	651
木造三重塔の構造特性に関する実験的考察—第1報 縮小模型を用いた静的載荷実験について—	西川 英佑 西澤 英和	〃	652

大徳寺・妙心寺の本坊・塔頭における前庭と敷地配置の空間構成—内と外をつなぐ空間の研究—	山口　秀文	日本建築学会計画系論文集	654
平安時代における近江国分寺の所在	櫻井　信也	仏教史学研究	52－2
南都復興の継承と展開—慶政の勧進をめぐる二つの霊託—	近本　謙介	文　　学*	11－1
特集　平城遷都一三〇〇年　平城京の寺院	箱崎　和人	文 化 財*	556
大工棟梁中井大和守正清と久能山東照宮	谷　直樹	〃	567
表紙解説　久能山東照宮　本殿、石の間、拝殿	武内　正和	〃	〃
阿弥陀聖衆来迎としての鳳凰堂	冨島　義幸	鳳翔学叢	6
特集　建築のかたち神社建築のかたち	藤井　恵介	歴　　博	159
六所家主屋に残された御霊屋	松田香代子	六所家総合調査だより	7
粉河寺遺跡の発掘調査	土井　孝之	和歌山県文化財センター年報	2009
金剛三昧院台所における竈の復原考察	結城　啓司	〃	〃
美の美		日　　経	
千利休—闘うわび茶 下[大徳寺三門]	内田　洋一		5.23
為政者の浄土　下—足利義満と金閣寺	富田　律之		9.12

朝　　鮮

高麗美術館研究講座・抄録		高麗美術館館報	
考古学からみた朝鮮古代の仏教	門田　誠一		85
高麗時代の仏教建築と日本	西垣安比古		86
新羅皇龍寺の初期伽藍に関する再検討	中西　　章	日本建築学会計画系論文集	650

そ の 他

アンコール遺跡の考古学史にみる復元の思想—フランス極東学院所蔵の月間報告の解読(1)—	藤原　貞朗	茨城大人文学部紀要(コ)*	9
研究ノート　『法顕伝』に見える陀歴仏教寺院—パキスタン北部地方ダレル渓谷ブグッチ村における聞き取り調査(2008)—	土谷　遥子	オリエント	53－1
西トップ寺院の建築調査—2009年度の成果—	成田　聖 大林　潤	奈良文化財研究所紀要	2010
カンボディア・西トップ寺院の調査—第10次—	杉山　洋 石村　智 林　正憲 佐藤　由似	〃	〃
ベトナム・タンロン皇城遺跡に関わる支援事業	井上　和人	〃	〃
スワートにおける仏教寺院の仏塔基壇の形態と変遷について—ガンダーラ仏教建築における仏塔に関する研究　その3—	加藤　直子 矢谷　早 増井　正哉	日本建築学会計画系論文集	648
ギリシア古代都市メッセネにおけるメッセネ神殿の内陣に関する研究	安井　伸顕 伊藤　重剛 林田　義伸	〃	〃
プラサート・プラムの寸法計画　クメール建築の造営尺度と設計技術に関する研究(4)	溝口　明則 中川　武 佐藤　桂 下田　一太	〃	651
プラサート・トムを計画軸としたチョック・ガルギャーの寺院配置—カンボジア、コー・ケー遺跡群の建築史的再考察(その2)—	下田　一太 佐藤　桂 溝口　明則 中川　武	〃	657

城　　郭

日　　本

大坂城山里丸で豊臣期の石組溝発見	大庭　重信	葦　　火	146
神奈川の中世城館(2)	中世研究プロジェクトチーム、松葉　崇、宮坂　淳一、吉田　智哉	かながわの考古学	15
甲府城築城期の石垣再評価と関東甲信越城郭の比較検討	宮里　　学	研究紀要金沢城研究	8
研究ノート　重要文化財丸岡城天守の古材に関する樹種識別調査	水野寿弥子 杉山　淳司	建築史学	55
観音正寺と観音寺城跡	伊庭　　功	滋賀県教育委員会研究紀要	14
城郭と戦争の考古学	千田　嘉博	史　　林	479

津山城天守指図に見える柱傾斜についての考察	乾　貴子	津山弥生の里	17
名古屋城大天守宝暦大修理における本体上げ起し修理について	麓　和善 加藤　由香	日本建築学会計画系論文集	651
享保期から万延期に至る江戸城本丸御殿大奥御殿向内の御用場からみた将軍家における生活空間の変容	服部佐智子 篠野　志郎	〃	653
名古屋城大天守宝暦大修理における各部修理について	麓　和善 加藤　由香	〃	〃
県内の遺跡・遺物70 伊達八幡館跡出土品281点(平成20年3月指定)		埋文にいがた	72

朝　鮮

特集　日本古代山城の調査成果と研究展望(下)　韓国古代城郭の城壁築造	松波　宏隆	古代文化	581

そ　の　他

2009年度　ロシア・クラスキノ土城発掘調査概要報告(遺構編)	クラスキノ土城発掘調査団	青山史学	28

住宅・館

中　国

中国北京の町屋の建築形式と空間構成に関する史的研究	笠井　健 高村　雅彦	日本建築学会計画系論文集	651

日　本

纏向遺跡における居館域の調査	橋本　輝彦	大美和	118
金沢町家に関する一考察—片町周辺の町家遺構調査より—	寺尾　藍子	芸術学学報	16
研究ノート　中近世における古代寝殿造理解—理想の住宅像と考証研究—	赤澤　真理	国文研ニューズ	19
帝の楽園—修学院離宮	三好　和義 写真	国華清話会会報	15
平成二十二年度の斎宮跡発掘調査と史跡整備	新名　強	斎宮歴史博物館だより	65
土井家京都邸の構成とその変遷	藤川　昌樹	泉　石	9
文化財建造物修理現場だより　星名家住宅主屋ほか7棟の保存修理工事について	金田　直子	全文連会報	78
天保9年の巡見使が休泊に利用した熊本藩の商家について「御料御巡見衆御休泊所絵図」の研究(その3)	岡田　悟	日本建築学会計画系論文集	649
19世紀における『源氏物語』住宅考証書の成立と展開—『源氏物語』の考証研究にみる寝殿造理解の研究(1)—	赤澤　真理	〃	651
豊臣政権期の京都の町家—『御所参内・聚楽第行幸図』屏風にみる行幸沿道の町並景観—	丸山　俊明	〃	〃
京都の町家における瓦葺の普及と卯建減少の関係	〃	〃	653
摂丹型民家と妻入町家の関係—大場修氏と黒田龍二氏の論点に関連して—	〃	〃	656
特集　建築のかたち民家のかたち	玉井　哲雄	歴　博	159
「斎宮」発掘　源氏物語が彩り	網　信也	読　売	10.13

朝　鮮

韓半島における草家の屋根の構法の地域性と維持管理	柳　和先	日本建築学会計画系論文集	648

茶　室

日　本

宗久茶屋と鉄砲伝来—堺史研究における伝説と通説—	吉田　豊	堺市博物館報	29
戦国大名　大名と茶の湯	戸谷　穂高	太陽(別冊)	171
茶の湯の空間—基礎の基礎	飯島　照仁	淡　交	
茶室の窓(一)(二)			786、787
茶室の天井(一)(二)			788、789
茶室の中柱と釣棚			790
茶室の仕切り壁			791
「水屋」の用語とその歴史			792
水屋の位置と水屋棚			793
洞庫と水屋の工夫			794
相伴席と鎖の間			796
「勝手」と「構え」			797
column 古田織部と茶室の窓		〃	786

column 茶室の明暗		〃	787
美の美　千利休―闕うわび茶　中	内田　洋一	日　経	5.16

その他の建造物

日　本

研究ノート　近世大坂における穴蔵	豆谷　浩之	大阪歴史博物館研究紀要	8
特集　エフェメラ(ephemera)―短命な建築媒体を後世に―第二部〈課題〉在来の媒体はどう生き残るか　事例1　模写の現場から	村岡ゆかり	建築雑誌	1610
江戸時代前期の勧進能興行場―寛文・元禄期における、京都の観世大夫勧進能興行の事例から―	丸山　奈巳	建築史学	54
文化財レポート　宇治川太閤堤跡の発掘調査	荒川　史 永野　宏樹	日本歴史	745

朝　鮮

傑作／名品　仙岩寺昇仙橋　俗界と仙界を結ぶ橋	千　得琰	コリアナ	17－1

庭　園

日　本

日本古典作庭書にみる石組の寸法記述に関する研究　「三尊石組」の寸法規定を例に	鈴木　里佳 三浦　彩子	日本建築学会計画系論文集	651
特集　平城遷都一三〇〇年　平城京・京の庭園	小野　健吉	文化財*	556

墳　墓

中　国

史料紹介　敦煌仏爺廟湾墳墓群西半部の分布図の作成	中井　一夫	古代文化	580
河西地方における魏晋画像磚墓の研究―その現状と展望―	北村　永	仏教芸術	311
「曹操の墓」多くの裏付け	町田　章	読　売	9.8

日　本

大阪府河南町金山古墳の再検討	白石太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	13
一須賀古墳群の終焉	森本　徹	〃	〃
双室墳に関する覚書	小栗　梓	〃	〃
作品研究　『孝明天皇御凶事式』にみえる山陵造営関係記事	宮川　禎一	学　叢	32
考古学の先駆者　赤星直忠博士の軌跡(7)―通称「赤星ノート」の古墳時代資料の紹介―	古墳時代研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	15
調査報告　北九州市小倉南区所在間島古墳群の調査	宮元　香織	北九州自然史歴史博報告*	7
首長墓の出現と王墓の形成過程	西谷　正	九州歴史資料館研究論集	35
日本における古墳の長さの計量単位	岩田　重雄	計量史研究	38
「古韓尺」で作られた纒向大型建物群―古墳築造企画論と尺度論の収斂に向けて―	新井　宏	〃	〃
古墳築造に古韓尺が用いられたという説について	沼澤　豊	考古学雑誌	94－1
終末期方墳の起源と変遷	渡邊　邦雄	〃	94－2
例会報告　古墳築造南限域の前方後円墳―鹿児島県神領10号墳の発掘調査とその意義―	橋本　達也	〃	94－3
最後の四隅突出型墳丘墓	松山　智弘	古代文化研究	18
北部九州の前期古墳における竪穴式石槨と葬送儀礼	辻田淳一郎	史　淵	147
古墳の墳丘における横穴式石室の位置について	白石太一郎	書陵部紀要	61
大吉備津彦命墓の墳丘外形調査報告	清喜　裕二	〃	〃
大吉備津彦命墓の石材とその採石地	奥田　尚	〃	〃
平成20年度　陵墓関係調査報告	陵墓調査室	〃	〃
古墳時代前期後半の古墳編年と暦年代	岸本　直文	高梨学術奨励基金年報	H21年度
修士論文要旨　南四国における横穴式石室墳築造の定着過程―石室の型式分類と編年を中心に―	中嶋　美佳	徳島文理大学文学論叢	27
下佐野遺跡の古墳群について	細辻　真澄	富山考古学研究	13
神道式墳墓とは何か(十)	此経　啓助	日本大学芸術学部紀要	51

特集・武蔵の上円下方墳とその周辺によせて	坂詰　秀一	武蔵野	347
国史跡武蔵府中熊野神社古墳と多摩の古墳	塚原　二郎	〃	〃
天文台構内古墳の石室と地域首長墓としての位置づけ	沼上　省一	〃	〃
埼玉県の上円下方墳宮塚古墳と山王塚古墳	塩野　博	〃	〃
清水柳北一号墳と石のカラト古墳—埋葬施設の異なる駿河と畿内の上円下方墳—	高麗　正	〃	〃
福島県白河市野地久保古墳の調査	鈴木　功 鈴木　一寿	〃	〃
武蔵陵墓地について	紺野　英二	〃	〃
古墳築造技術に対する土木(地盤)工学的視点からの考察	田中　邦熙	〃	〃
科学運動通信　宇治墓(応神天皇皇太子菟道稚郎子尊墓)立合調査見学報告	白谷　朋世	歴史評論	726
牽牛子塚古墳　八角形の詳細が判明	米田　文孝	東京夕刊	10.4

朝　鮮

歴史国際研究集会「日韓先史時代の集落研究」開催報告 第1部　韓国青銅器社会の集落と墓制 無文土器時代前期の墓制	裵　眞晟	国立歴史民俗博物館研究報告	160
高霊地山洞古墳群の性格	李　盛周 木村　光一 訳	南山考人	38

建築部材など

中　国

第六十三回全国大会研究発表要旨　鴟尾の原義について	金子　典正	美術史	169

日　本

石水院の旧葺板について	永井　規男 菅澤　茂 北村　統之	関西大学博物館紀要	16
法隆寺所蔵古材調査 1	海野　聡	奈良文化財研究所紀要	2010
山木遺跡出土建築部材の調査	鈴木　智大	〃	〃
小谷地遺跡の出土部材調査	番　光	〃	〃
非六枝掛建築の隅柱上における垂木割と丸桁および組物の寸法関係について	濱田　晋一 櫻井　敏雄 麓　和善	日本建築学会計画系論文集	647
伝統的木造文化財建造物の土壁の痕跡調査に基づく地震被害の検討—重要文化財宝塔寺本堂の土壁被害について—	西澤　英和 田淵　敦士 西川　英佑	〃	〃
国宝薬師寺東塔の地震被害の履歴について—文化財建造物の地震被害履歴に対する構造学的な一考察—	西川　英佑 山内　淳子 藤岡　洋保 西澤　英和	〃	〃
特集　建築のかたち組物のかたちとその社会的意味	光井　渉	歴博	159
column　近世建築にみる彫刻と彩色—形象の立体化と具象化	窪寺　茂	〃	〃

朝　鮮

韓国の文化財建造物に使用された補強金物に関する研究—近年解体修理及び実測された文化財建造物を中心として—	許　兼	日本建築学会計画系論文集	651

建築に付随するその他

中　国

風水研究　五『営造宅経』和訳(その一)～(その五)	寺本　健三	史迹と美術	804～806、808、810
『宋史』に見られる一般的な建築用語の分析　災異記録を中心として	塚本明日香	日本建築学会計画系論文集	655

日　本

ユーラシア大陸の西と東におけるうがつ道具(鑿と錐)の歴史—木の建築をつくる技術と道具の比較発達史・その4—	渡邉　晶	竹中大工道具館研究紀要	21
近世在郷寺社普請における明王太郎の棟梁職の獲得とその背景について	山岸　吉弘	日本建築学会計画系論文集	650
禁裏修理職大工の木子家　寛政度内裏に関する研究(3)	栗本　康代 植松　清志 岩間　香 谷　直樹	〃	652
江戸時代末期のグラバーを取扱人とする機械製材について	平山　育男	〃	〃

近世甲斐国郡内地域に形成された大工仲間の在り方とその特質について	山岸　吉弘	〃	654
大工棟梁「明王太郎」による在郷寺社普請の方法について	〃	〃	656
飛騨国の農家普請における伐木規制「家作木」の申請とその許可、ならびに用材交付について	中村　琢巳	〃	〃
近世大工集団の構造と展開―近江国甲賀郡の大工組を事例に―	藤田　和敏	日本歴史	742

朝　　鮮

景福宮の復元を総指揮した申鷹秀大木匠	鄭　忠信 李 美江 訳	コリアナ	17－4

近　現　代　美　術

絵　　画

一　　般

彫師・谷清好の未生流『挿花　さくらの香』について　附載：月耕の孫、礼正のこと若干	岩切信一郎	一　　寸	41
透視図法の歴史についての一考察	井村　俊一	金沢美術工芸大学紀要	54
月刊ギャラリー創刊25周年記念　小川英晴のアート縦横No.3【企画構成】日本初の写実絵画専門美術館・ホキ美術館 2　ホキ美術館開館 写実細密画を読み解く	小川　英晴	ギャラリー*	308
国際交流展示報告『東アジアにおける岩彩画の展開　東方岩彩画展』上海展『東アジアにおける岩彩画の展開』展に寄せて	潮江　宏三	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	54
抽象絵画の構成要素が眼球運動に及ぼす影響　直線表現要素を中心とした検証	吉岡　聖美	芸術学研究(筑波)	14
文化イベント・レビュー　絵画で見るアジアの20世紀　「アジアリアリズム展」	キム・イネ 金 明順 訳	コリアナ	17−4
資料紹介　赤本『〔絵本東海道〕』について—影印と翻刻	津田　眞弓	斯道文庫論集	44
「公募第50回記念日本南画院展」開催にあたって　社団法人日本南画院理事長・町田泰宣氏に聞く 特別企画"甦る屏風展"で創立精神の再生図る		新美術新聞	1209
エンコスティック画法の実際	金子　亨 藤井　康子 緒方　季心 佐藤みちる 杉島　千尋	東京学芸大学紀要	62
読解絵画鑑賞講座8、10	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛	12、14
油絵入門		〃	15
課外授業　美術のお時間11時間目	安井　収蔵	〃	〃
絵本の構成と表現方法—結末の結び方と空間表現—	藤本　朝巳	フェリス女学院大学文学部紀要	45
増える「逆輸入」絵本作家　伊「ボローニャ児童図書展」売り込みの場に	南島　信也	朝日夕刊	4.15
KAWAII　ぬりえ 米国展の帰国展　20日から荒川区　蔦谷喜一さんの作品など	中里　　宏	東　　京	2.16
子供の居る場所十選1～10	黒井　千次	日　　経	1.6～8、11、12、15、18、19、21、22
影のポエジー十選1～10	田名網敬一	〃	1.25、26、28、29、2.2、4、5、9、11、12
美の美　色彩は語る2～4	宝玉　正彦	〃	2.14、21、28
だましの名画十選1～10	山口　真美	〃	2.15、16、18、19、22、23、25、26、3.1、2
布に秘めた思い十選1～10	林　　洋子	〃	3.22、23、25、26、29、30、4.1、2、5、6
ロシアの女十選1～10	沼野　恭子	〃	6.28、29、7.1、2、5、6、8、9、12、13
絵が語るブラジル移民史　にじむ新天地での苦労、日系人画家の65点を寄贈	リカルド・タケシ・赤川	〃	9.24
一瞬の線条、極限の余白	河尻　　定	〃	10.14

日　　本

近代日本における戦争の表象の研究—大衆視覚文化研究序説—	村上　　敬	鹿島美術財団年報・別冊	27
画塾「彰技堂」の講義録「油絵写景指南」と英語原書の比較について	重村　幹夫	芸術学研究(筑波)	14
日本画における三千本膠の溶解法　加熱時間の相違による三千本膠の変質とその効果	福田喜美子	〃	〃
日本画における寒冷紗を用いた表現の考察	白田誉主也	〃	15

創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケートわたしがそれを選んだわけ３　戦争画―この期限なき闘争	椹木　野衣	芸術新潮	721
神社絵葉書を読み解く	長谷川明輝	皇学館大学神道博物館館報	21
鹿島則良氏寄贈「全国神社絵葉書」目録(含御大禮他)	皇學館大學佐川記念神道博物館編	〃	〃
第74回公開講座「錦絵が語る幕末・維新―描かれた天璋院・和宮・天皇・輪王寺宮―」	奈倉　哲三	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館年報	26・27
絵画のゼロ年代―VOCA展選考所感の言説分析から	福住　廉	国立国際美術館ニュース	176
特輯　和製油画		国　華	1382
「和製油画」特輯に当って	河野　元昭		
和製油画論	高階　秀爾		
研究ノート　戯画「国会願猛蛇」が弾圧を受けた原因―明治初期の政治と文化の一断面―	高瀬永アレキサンドラ	城西国際大学日本研究センター紀要	4
黒白感光乳剤を使用した日本画表現の可能性―和紙を中心にした考察―	徳留　永子	崇城大学芸術学部研究紀要	3
資料　「商品目録」近代日本画の材料(色材篇)	荒井　経	東京芸術大学美術学部紀要	48
特集　近代の東アジアイメージ　画家たちの西洋体験とアジアへのまなざし	児島　薫	豊田市美術館紀要	3
描かれた関東大震災―絵巻・版画・素描―	北原　糸子	年報非文字資料研究	6
第12回研究会講演　三渓園の歴史と臨春閣襖絵について	川嶋　留司	玻璃彩*	8
『ホトトギス』美術散歩	山城千恵子	美術運動史研究会ニュース	109
SPECIAL FEATURE　日本イラストレーション史		美術手帖	932
PART 1　イラストレーションという概念が定着していった時代	福井　真一		
PART 2　メディアにのって、大量のイメージがあふれ出す	福井　真一 都築　潤		
PART 3　イラストレーションがメディアを越境、アートの意味が分裂する	都築　潤		
Column　このジャンルに注目！	都築　潤 福井　真一 土井　章史		
PART 4　イラストレーションはどこへ向かおうとしているのか？	都築　潤		
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座VOL. 20　昭和に出会える展覧会１　懐かしき昭和20～30年代の挿絵画家たち	松本　品子	美術の窓	326
PREVIEW　第４回×４〔バイフォー〕展特別企画　×４からの発信　交差する10のエナジー	編　集　部	〃	327
特集　アジア美術的〈近代〉　第１部　近代日本絵画に描かれたシンガポール	西原　大輔	美術フォーラム21	21
土佐に誕生した大濱紙を巡って―土佐と越前における日本画紙の歩みの中で―	小林　良生	百万塔	135
特集　猫　この愛らしくも不可思議な隣人　猫のいる作品集100万匹のねこととともに　絵本のなかの猫たち	寺村摩耶子	ユリイカ	588
批評　絵画の暇、あるいは絵画の今―「絵画の庭」の後先	鈴木　俊晴	ＲＥＡＲ	24
展示評　神話―日本美術の想像力―	山崎　明子	歴史学研究	869
視線　大正・昭和のトップアーティスト100人が贈るワンダーランド！　コドモノクニ名作選	保坂健二朗	朝　日	9.12
コドモノクニ復刻　大正モダンの世　童画ジャンル確立	宝田　茂樹	産　経	8.23
奈良・当麻寺の天井絵　感謝が詰まった150枚	谷口　誠	日　経	1.14
フロントライン　画家ら描き下ろしの「イソップ」		〃	8.8

文化往来　絵雑誌「コドモノクニ」、名作300点集め復刻		日　経	8.12
美の美　輝けるパステル下	窪田　直子	〃	12.26
入門講座　万葉集の楽しみ３　アートを味わおう　画家の解釈想像　鑑賞に深み	上野　誠	日経夕刊	6.17
児童雑誌「赤い鳥」の表紙など展示　新宿・稲荷鬼王神社であすまで	田村　彰子	毎　日	9.19
江戸博蔵めぐり「どりこの」ポスター	杏沢　博行	読　売	5.21
写実絵画「明快さ」で脚光　11月、専門美術館も	市原　尚士	〃	6.17
記者ノート　外骨の浮世絵再評価100年	前田　恭二	〃	12.31

海　外

翻訳　ヨーロッパにおける素描の歴史と技法（２）	シャルル・ド・トルナイ 森田　義之、上月　裕子訳	五浦論叢	17
17世紀末から18世紀前半のオランダ風俗画研究—17世紀オランダ「黄金時代」の継承と革新—	青野　純子	鹿島美術財団年報・別冊	27
〈最後の審判〉に現れる【関所】—ルーマニア・マラムレシュ地方18世紀の事例—	早川　美晶	〃	〃
カッパドキアの岩窟聖堂における聖母子像の役割	菅原　裕文	〃	〃
《最後の晩餐》 1000年の絵画史にみる使徒たちの飽食化傾向	前橋　重二	芸術新潮	726
ギロチンから殺人現場写真まで 「罪と罰」の一大ヴィジュアル史	羽生のり子	〃	〃
ベルギー近代絵画を育んだフランダースの小さな村へ		〃	729
我々はいかにして騙されたか　ナショナル・ギャラリー館蔵品の調べてビックリ総ざらい展	前橋　重二	〃	〃
意外に調和？それとも不協和音？古典の殿堂にブッリとフォンタナ闖入	高橋　恵理	〃	〃
ゆかりの地で鑑賞する　印象派の夏、ノルマンディーの夏	山内　宏泰	〃	730
セーヌは見ていた		〃	732
生と死の邂逅—「三人の死者と三人の生者」初期作品の伝播をめぐって—	小池　寿子	国学院雑誌	1243
二つの聖堂内陣装飾について—アレッツォ、サン・フランチェスコ聖堂とフィレンツェ、サンタ・クローチェ聖堂—	池上　公平	〃	〃
サンティニャーツィオ聖堂身廊部天井画—転写技法の再考—	池上　英洋	〃	〃
現代中国巧芸事情48「上海今昔」	仲　佑樹	書道界	247
PARIS発　ノルマンディーの印象派づくし	安部　雅延	新美術新聞	1226
中期ビザンティン聖堂の聖女たち—聖女像の配置、図像の役割、図像学的諸問題—	海老原梨江	高梨学術奨励基金年報	H21年度
エッセイ　臨終時の肖像素描をめぐって	秋山　聰	DALSニューズレター	27
芸大美術館所蔵のオランダ近代水彩画—「線の巨匠たち」展作品解説補遺—	熊澤　弘	東京芸術大学大学美術館年報	H20年度
都市風景論　その３　17世紀オランダ絵画に表象された近代都市景観のイデオロギー	長谷川　章	東京造形大学研究報	11
須磨コレクション No. 六二二—六二五の主題に関する考察—十五世紀スペインにおける聖ニコラウスの図像について—	楠根　圭子	長崎県美術館研究紀要	3
例会発表要旨 第112回例会：15世紀フランドル絵画の図像学と造形的特性をめぐる研究—フレマールの画家の後期作品—《ヴェルル祭壇画》を中心に	鈴木　伸子	日仏美術学会会報	29
ウェロニカと印章—『グルベンキアン黙示録』の一挿絵をめぐって	木俣　元一	美学美術史研究論集	24
『トリニティ黙示録』の彩飾挿絵—下絵素描と彩色の関係をめぐって	鈴木綾希子	〃	〃

フィレンツェ・ルネサンスの素描	石鍋　真澄	美学美術史論集	18
平成二十一年度東支部例会発表要旨《トゥールのモーセ五書》写本における物語絵の作画原理	宮内ふじ乃	美術史	168
第六十三回全国大会研究発表要旨　十五世紀「ブルターニュ時禱書」における祈禱像の多元的考察	田辺めぐみ	〃	169
第六十三回全国大会シンポジウム『美術における宴』美術における宴―西洋絵画の場合(十五―十八世紀)―	高橋　裕子	〃	〃
パナギア・マヴリオティッサ修道院の聖堂装飾プログラム―「キミシス」と「最後の審判」を中心として―	武田　一文	美術史研究	48
特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき		美術の窓	322
CASE 9　ナビ派&ポン・タヴェン派／ベッドの上の女〔エロス〕	編集部 宮澤　政男		
CASE10　世界への展開	編集部 石川　潤		
特集　謎解き名画―イコノグラフィ研究―		〃	323
オールド・マスターズは見るではなく読むべし	木村　泰司		
謎2　髪・香油壺・盃・鳩・犬・蛇「貴婦人の肖像(アンテア)」「マグダラのマリア」「眠るヴィーナス、キューピッドとサテュロス」「眠るヴィーナスとサテュロス」「ヴィーナスとアドニス」「聖アガタの殉教」「聖アガタ」	渡辺　晋輔		
謎5　雪景色・羊・神話　「フランドルの雪景色」「眠る男」「愛する人を不滅にした彫刻家」「見知らぬ寺院」	堀　元彰		
特集　アジア美術的〈近代〉		美術フォーラム21	21
第1部　中国美術の近代	宮崎　法子		
第1部　植民地の残したもの―肖像と近代の顔	パトリック・D・フローレス 古沢ゆりあ翻訳		
第1部　再現と態度の問題としてのアジアのリアリズム	金　仁恵 樋口とも子翻訳		
第1部　「純然たる日本画」―台湾東洋画の場合	ラワンチャイクン寿子		
第2部　インド亜大陸の近代美術　パキスタン、インド、スリランカ、ネパール、バングラデシュ、ブータン	後小路雅弘		
第2部　〈コラム1〉交易と交流のなかで―「アジア近代美術」形成前夜	堀川　理沙		
第2部　〈コラム4〉伝統の「発見」	山本　裕子		
カラーフィールド絵画とインテリア・デザイン	加治屋健司	広島市立大学芸術学部紀要	15
批評　フランス絵画の19世紀―西洋美術の展覧会についての問いかけ―	栗田　秀法	REAR	23
ボストン美術館展　西洋絵画の巨匠たち名画ずらり味わい斬新　テーマ別展示変わるイメージ	三浦　篤	朝日	4.1
印象派の故郷へ　ノルマンディーを訪ねて　2～5	黒沢　綾子	産経	7.28、8.4、11、18
ベルリンの壁絵　分断の記憶	河尻　定	日経	1.14
美の美　ポスト印象派の芽吹き1～4	窪田　直子	〃	4.11、18、25、5.2
美の美　輝けるパステル上、下	〃	〃	12.12、19
三浦篤先生のポスト印象派散歩道　第1～5回	三浦　篤	日経夕刊	6.22、28、7.6、13、23
ゆったりアート　米富裕層に先見の明　印象派	岸　桂子	毎日夕刊	5.7

漫画・アニメーション

一　般

落下する身体のリアリズム―初期ディズニーからピクサーへ―	三輪健太朗	学習院大学人文科学論集	19

「クール・ジャパン」の正体(下)—少女マンガを描きたい—	沼田　知加	共立女子大学文芸学部紀要	56
特集　アート／アニメーション　国境を越える、アニメーション。	伊藤　裕美	ＲＥＡＲ	23
文化変調　クール・ジャパンに脅威　中韓華国の育成　盛況誇る釜山映画祭120億円かけ巨大拠点　実力蓄える中国アニメ「一休さん」合作	竹端　直樹	朝　　日	7.25
文化変調　第３部「クール競争」中　中国文化海外へ攻勢　規制緩めマンガ・アニメで日本と市場開拓	〃	〃	8.2
みんなのマンガ学　あなたのお薦め教えて		朝日夕刊	9.13
日韓、「アイアン」で火花　アニメ同時期放映、輸出も狙う	宮代　栄一	〃	12.16
トルコで「少年ジャンプ」展　現地出版の足がかりに		産　　経	10.11
「ネットでマンガ」花盛り　最新の雑誌丸ごと・有名作品、一堂に	柏崎海一郎	日　　経	2.1
アニメ各社、海外開拓　国内市場縮小受け　東映系、欧米で３Ｄ作品／アジア企業と共同制作		日経夕刊	3.23
第13回広島国際アニメフェス　社会の「いま」映す作品目立つ　家庭内暴力や児童虐待、若者の閉塞感	小野　耕世	毎日夕刊	8.31
ライトノベル、漫画海外展開　中国・中東で読者開拓	佐藤　憲一	読　　売	12.27
日　　本			
想像の共同体としてのニュータイプ—『機動戦士ガンダム』をめぐる同時代言説—	可児　洋介	学習院大学人文科学論集	19
世代とライフコースから見たマンガ文化成立の意義(中)	中西　茂行	金沢学院大学紀要*	8
新出の「酒呑童子絵巻」と国際交流—ジャパニーズ・アニメーションとコミックの源流—	藤澤　　紫	国学院大学紀要	48
特集　日本人と笑い　社会現象にみる笑い　少年雑誌の笑い	福井　直秀	国文学解釈と鑑賞	948
児童雑誌は子どもたちに何を伝えようとしたのか—『赤い鳥』から占領下における児童雑誌を中心に—	柳河加奈子	生活と文化	19
少女マンガ論の生成期と「24年組」神話	繁富　佐貴	日本女子大学大学院紀要(人)*	16
一九六〇年前後の日本におけるアニメーション表現の変革	木村　智哉	美　　学	237
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19　CASE15　マンガ家のデッサン力	編　集　部	美術の窓	324
特集　10年代の日本文化のゆくえ　ポストゼロ年代のサバイバル　マンガ　批評家はサイコロ遊びをするか!?　10年代のマンガ批評とマンガの関係	伊藤　　剛	ユリイカ	585
特集　猫　この愛らしくも不可思議な隣人　猫のいる作品集　ほんとうに読んでいただきたい猫マンガ・ガイド	吉田　アミ	〃	588
特集　アート／アニメーション		ＲＥＡＲ	23
インタビュー：森卓也　アニメーションとともに	馬場　駿吉、越後谷卓司　聞き手		
日本のインディペンデント・アニメーションをめぐる言説の現状について	土居　伸彰		
語り物としてのアニメーションとキャラクター化がもたらすもの2010	尾辻　里音		
アニメーションのインターネットでの発表	吉田　雅彦		
anima—めくり巡る、アニメーション　名古屋学芸大学メディア造形学部・アニメーションプロジェクトを巡って	伏木　　啓　平川　祐樹　小林あす美		
アニメーションと実験映画の共同関係	西村　智弘		

マンガ専攻　プロデビューも　学部・学科…10校以上に広がる	星賀　亨弘	朝　　日	3.15
文化変調　クール・ジャパンに脅威　中韓挙国の育成　日本出遅れ乏しい予算	赤田　康和 大西　若人	〃	7.25
ニッポン人・脈・記いつもアニメが	小原　　篤	朝日夕刊	
1　月にかわって勇気くれた			3.18
2　私もあなたも心にゲゲゲ			3.19
3　そして銀河鉄道は走った			3.23
5　魔女っ子だって悩んでる			3.25
6　動画の喜びナマズに学ぶ			3.26
7　不夜城がアトム生んだ			3.29
9　ジャンプ強敵あってこそ			3.31
10　デジタルで弾む君の夢			4.1
インタビュー集「マンガ脳の鍛えかた」「ジャンプ」漫画家37人が語る　読者つかむ創作の秘密公開	竹端　直樹	〃	4.27
手塚治虫創刊　伝説の雑誌「COM」　マンガ家「依頼うれしかった」　編集部員「同人誌発展の起点」	小原　　篤	〃	6.1
深層新層		〃	
映し出される子どもの不幸　第13回広島国際アニメフェス	小原　　篤		9.2
アニメフェア抗議の出展拒否　東京都は作り手の声聞け	高津　祐典		12.28
みんなのマンガ学 読者の「お薦めマンガ」　生きている間に結末知りたい	編　集　部	〃	11.15
「美味しんぼ」連載再開、最新刊の104巻刊行　「食」の安全・環境問題に一石を	宮田奈津子	産　　経	4.5
貸本漫画に再び脚光　作品や新聞の「復刻」相次ぐ	三品　貴志	〃	9.12
アニメ大国の現場上、中、下	三沢　典丈	東京夕刊	7.6～8
文化往来　オタクアニメの雄、「セカイ系」映画を発表		日　　経	7.13
個性派監督　夏のアニメ　「躍動の作画」「日常淡々と」「リアル追求」	諸岡　良宣	日経夕刊	7.20
パラパラ漫画アートに昇華　プロの手掛けた本、大人心つかむ	富田　律之	〃	7.26
困難抱える子漫画家らが支援　施設訪問や基金設立　24日からオークション	榊　真理子	毎　　日	1.14
論点　漫画・アニメの性表現規制を考える	渡辺真由子 藤本由香里 紙谷　雅子	〃	6.11
若手アートアニメ作家が独立レーベル「CALF」設立　ネット中心に作品販売		毎日夕刊	8.23
注目です　漫画を熱く語る	内藤麻里子	〃	11.9
記者ノート　日本のマンガ文化「鎖国状態」	西田　朋子	読　　売	2.2
アニメの練馬世界へ発信　区がHP　アキバに負けぬ「発祥の地」　高畑監督らにインタビュー	渡辺　光彦	〃	5.13
学生アニメ本格発信へ　初のフェス　グランプリ決定		〃	5.15
ジブリの軌跡２～８	近藤　　孝	読売夕刊	5.28、6.11、25、7.9、23、8.13、27
ガテン系職業漫画ブーム　物作り現場の泣き笑い	佐藤　憲一	〃	8.30

海　　外

レビュー　花開くコリア・アニメーション	越後谷卓司	ＲＥＡＲ	24
韓国マンファ世界へ	竹瑞　直樹	朝日夕刊	8.27
仏漫画「バンド・デシネ」の挑発　高いアート性　日本の作家に影響	高津　祐典	〃	11.19
文化往来　米アニメ、３Ｄで独特の映像美を追求		日　　経	2.20

版　　画

一　　般

モノタイプの特質に関する一考察　17世紀から19世紀の作家を中心に	荻島　香織	芸術学研究(筑波)	15
1920年代・30年代イギリスにおける色彩リノカットと浮世絵版画	板橋　美也	ジャポニスム研究	30
版画技法入門講座　銅版画を作ろう	渡辺　達正講師	版画芸術	
第2回　エッチング			148
第3回　アクアチント			149
第4回　グランド応用腐蝕法			150

日　　本

匠のかたち　浮世絵	石黒　知子	ＡＸＩＳ	144
三冊の『縮刻三部仮名鈔』　銅・石版画遺聞36	森　　登	一　　寸	41
明治十年代の小切手と資生堂の処方箋　銅・石版画遺聞37	〃	〃	42
十一番目の月が出た—「日本近代の青春　創作版画の名品」展	大谷　芳久	〃	44
『東京近傍写景法範』覚書き　銅・石版画遺聞39	森　　登	〃	〃
『新版画』のことなど	山田　俊幸	〃	〃
新版画の版元と海外コレクターの交流—一九四〇年ロバート・ムラー氏の日本旅行を中心に	小山　周子	浮世絵芸術	159
資料紹介　木版画摺師　正文堂の仕事	桑山　童奈	神奈川県立博物館研究報告	36
作品紹介　神奈川県立歴史博物館所蔵近代版画コレクション	角田　拓朗	〃	〃
ポップでキッチュでパンクな面々—コレクション展「奇妙奇天烈!?明治の版画あれこれ」によせて—	〃	神奈川県立歴史博物館だより	183
『米欧回覧実記』に描かれたポンペイ—挿絵銅版画をめぐって—	藤沢　桜子	群馬県立女子大学紀要	31
肉筆にしか見えません！絵巻になった伝統手摺木版画		芸術新潮	725
館蔵資料紹介74「東京名所　浅草観音之真景」	金子　紘也	子規博だより	111
特別寄稿　オリヴァー・スタットラー氏とCWAJ現代版画展—「よみがえった芸術—日本の現代版画」刊行に寄せて—		日本版画協会々報	146
第七十八回版画展について	平木　美鶴	〃	147
解説コロタイプ9　新しいカラーコロタイプの可能性		玻璃彩*	8
メディアとしての近代版画史	岩切信一郎	版画芸術	
第2回　ニューメディア「雑誌」の顔(表紙)は版画			147
第3回　明治期に出現した色刷新聞と広告			148
第4回　「明治ポップ」は信仰のための大衆版画			149
第5回　明治の大量出版物—暦とカレンダー			150
「口絵」という文学的な版画	松山　龍雄	〃	148
神田の古書店苦戦　浮世絵や和本欧米に売れず　円高北斎も冷や汗	中山　高志	東　　京	10.27
UKIYOE新世界　北斎、写楽だけじゃない　財団公募若者絵師が誕生	原　　昌志	〃	11.10
ナンシー美術館所蔵カルチエ＝ブレッソン・コレクション—版本・浮世絵を中心とした考察—	山塙　菜未	芸術学学報	16

海　　外

17世紀美術における版画論の展開	深谷　訓子	尾道大学芸術文化学部紀要	9
ドイツ最後のコロタイプ工房　「リヒトドゥルッククンスト・ライプツィヒ工房について」	ヴォルフガング・シューベルト	玻璃彩*	8
「コロタイプ技術の保存と印刷文化を考える会」第13回研究会講演　複製版画の開発がもたらしたもの	樺山　紘一	〃	9
印象派の版画		版画芸術	147

Editor's Eye　印象派の版画革新	松山　龍雄		
「印象派」の版画とは何か	坂本　満		
版画による先住民族芸術の普及とその後共同研究　カナダにおける先住民族芸術の歴史的展開と知的所有権問題—国立民族学博物館所蔵の北西海岸インディアンとイヌイットの版画の整理と分析を通して	齋藤　玲子	民博通信	130
北極圏の知恵を伝える　イヌイットの版画と日本	窪田　直子	日　経	9.9

写真・映像

一　般

芸術の日常化と写真	山口　和子	岡山大学文学部紀要	54
19世紀末における旅行写真と写真行為の変容—旅行講演「トラヴェローグ」の写真から—	大畑　光範	沖縄県立芸術大学紀要	18
映像の絵画的表現要素としての時間性について　ジル・ドゥルーズの時間イメージに関係して	金　在樫	芸術学研究(筑波)	15
特集　建築写真小史—建築写真を拡張するために　第二部　論考　曖昧と極端—建築＝写真ノート2010	倉石　信乃	建築雑誌	1606
日記のなかの建築家たち 第7回『a＋u』の写真家たち	中村　敏男	〃	〃
調査研究から1　3D立体視覚と2D画像	岡本　重温	視覚の現場　四季の綻び	5
純粋映像　試論—動くカメラをめぐっての考察—	井上　幸穂	東京芸術大学美術学部論叢	6
映像制作のためのデジタル研究　その1	齋藤　裕人	日本大学芸術学部紀要	51
フィルムとデジタル	増田　治宏	〃	〃
会友寄稿　コロタイプ：写真のコンサヴェーターとしての視点から	小関　俊旭	玻璃彩*	8
H・P・ロビンソンの写真論における想像力の問題	調　文明	美　学	237
第六十一回美学会全国大会報告　凝視から瞬きへ—二〇世紀アヴァンギャルドの写真と映画におけるカメラと目の関係—	〃　〃	〃	
没入感と浮遊感—《ディヴィナ・コメディア》(1991)—	岩城　覚久	美学論究	25
INFORMATION EVENT 映像×アートの祭典　「歌」なるものを手がかりに、映像を紡ぐフェスティバル	沢山　遼	美術手帖	934
REVIEWS02 清水穣月評第21回　「単一性」と「複数性」の往還　「時の宙づり—生と死のあわいで」展	清水　穣	〃	937
写真のすべて　前編　カメラの歴史		美術屋・百兵衛	13
情報学的視座から見る歴史写真研究	倉持　基	港区立港郷土資料館研究紀要	12
映像人類学の新たな課題—方法論から認識論へ　共同研究　映像の共有人類学—映像をわかちあうための方法と理論	村尾　静二	民博通信	131
特集　アート／アニメーション　映像と空間のあいだに	越後谷卓司	REAR	23
批評　映像の開放へ向けて—ヨコハマ国際映像祭2009	星野　太	〃	〃
レビュー　第14回アートフィルム・フェスティバル	尾辻　里音	〃	24
特集　人の移動—第6展示室「現代」—写真にみる戦後日本の引き揚げ	大門　正克	歴　博	162
文化往来　写真絵はがきから見る朝鮮半島の暮らし		日　経	7.27
「夢みた画質」への20年　「フォトショップ」開発者が来日	前田　恭二	読　売	6.17
江戸博蔵めぐり TOKYO PX(松屋銀座)ゴダード・J・デリーナ撮影	杏沢　博行	〃	8.20
日本の写真集文化高い評価　アルル国際フェスで受賞2冊　小出版社、印刷会社の底力も	前田　恭二	〃	10.14

日　本

《連載エッセイ》「日本の表現主義」展（5）　電信柱のある風景—「写真の表現主義」再考	竹葉　丈	あいだ	177
論文　高松宮下賜の『雪中之高田』写真帖をめぐって	岡田　茂弘	学習院大学史料館紀要	16
47人の写真家が辿るそれぞれの「通学路」		芸術新潮	725
大特集　いざ鎌倉　武家の都の祈りと美　第三部　横浜開港から戦後まで　異なる古都案内　その一　幕末事件簿	木下　直之	〃	731
特集　建築写真小史—建築写真を拡張するために　第一部　論考　建築写真の歴史から見た建築	岡塚　章子	建築雑誌	1606
「樺太境界劃定作業写真帖」について	佐々木利和	三の丸尚蔵館年報・紀要	15
新美術時評　第4回　木村伊兵衛賞と赤々舎—写真と美術のボーダレス	光田　ゆり	新美術新聞	1214
第六十一回美学会全国大会報告		美　学	237
日本写真史における「スナップ」の成立——九三〇年代から五〇年代にかけて—	甲斐　義明		
写真の「危機」—伊奈信男と「エロ・グロ・ナンセンス」—	林田　新		
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」7　石田千さんへ、『全東京展望写真帖』を。	森岡　督行	百　科*	572
戦前期写真史料学の誕生—「上田貞治郎日本全国名所写真帖コレクション」の方法史的考察—	緒川　直人	文化資源学	8
特集　写真・風景・歴史　名所絵はがきを読む	関戸　明子	歴　博	158
大正写真工芸所について	太田　宏一	和歌山市立博物館研究紀要	24
視線　TOKYO　異形　東京新聞写真部編	新井　敏記	朝　日	1.17
日本発　アイデアの文化史　レンズ付きフィルム　下「撮る行為」が軽くなった　ゆるさ、ユニークさ、まったり感…	篠原　知存	産　経	7.4
明治の美女ずらり　当時の絵はがき、写真400点　きょうから浅草で展示	丹治早智子	東　京	8.31
うちゅうの目　詩　まど・みちお　写真　奈良美智ほか		日　経	9.5
入門講座　ニッポン写真事始め	木下　直之	日経夕刊	
1　幕末の絵師、撮影に没頭　妻をモデルに試行錯誤			12.2
2　風景撮り国境画定示す　明治政府、小笠原・台湾など領有			12.9
3　報道カメラの登場　開国の激震　世界に発信			12.16
eye　再建手術で明るさ再び　写真集「いのちの乳房」完成	真水　美佳	毎日夕刊	11.11
明治天皇　肖像写真の変遷　政府のイメージ戦略を反映	清岡　央	読　売	8.11

海　外

世にも奇妙な肖像写真		芸術新潮	727
W.G.ゼーバルトの記憶の技法	鈴木　賢子	実践女子大学美学美術史学	24
新美術時評　第8回　アジアの写真研究　英語圏のアジア／ネット時代の写真	光田　ゆり	新美術新聞	1226
チャールズ・ダーウィンの写真術—『人及び動物の情動表現』(1872)の写真史的考察	鈴木　恒平	美　学	236
ロバート・アルトマンのアンサンブル映画—サブリミナル・リアリティを起点として	桑原　圭裕	〃	〃
一九世紀ローマ　写真と観光的崇高	佐藤　守弘	視　る	448

彫刻・空間表現

一　般

街角アート　ふたつのヘラクレス	星野　清一	新美術新聞	1204
デリヴランドの黒い聖母—伝統と崇敬の歴史	安發　和彰	東北芸術工科大学紀要	17

日　本

明治紀念之標日本武尊像をめぐって	森　仁史	一　寸	43
近代日本における戦争と彫刻の関係—軍需生産美術推進隊を中心に—	迫内　祐司	鹿島美術財団年報・別冊	27
小特集　股間若衆 日本近現代彫刻の男性裸体表現の研究	木下　直之	芸術新潮	725
特集展示「石膏原型のオリジナリティー」塑像という迷宮	鈴木　勝雄	現代の眼	584
彫刻の向かうところ	鈴木　正子	美術運動史研究会ニュース	116
ニッポン人・脈・記 仏像日和7　思い出 彫れば羅漢さん	湯瀬　里佐	朝日夕刊	1.13
先人からの贈りもの 列島フォトリレー 2010　2　大仏師(京都)　設計図なし 心で刻む	坂本　佳文	東京夕刊	10.16
遠みち近みち　板垣退助、5つの銅像	安藤　俊裕	日経夕刊	10.9

海　外

第六十一回美学会全国大会報告　サン・ドニ修道院聖堂の幼児伝サイクルの「エジプトへの逃避」をめぐって—タイポロジーの歴史観(ヒストリア)と芸術表現の解釈学的試み—	新井　思郎	美　学	237
史料翻訳　ヴィンチェンツォ・ジュスティアーニの『彫刻論』	加藤奈保子	美術史学	30

工　芸

一　般

特集　皮膚と衣装 皮膚と衣装—焼物雑感—	矢島　新	跡見学園女子大学人文学フォーラム	8
特集　消えゆく境界？　美術と工芸		ギャラリー*	297
時評4　国際陶芸公募展は、すでに死んでしまったか	榎本　徹	視覚の現場　四季の綻び	6
美術工芸品に使われる青貝の微細構造と光学的性質	北田　正弘 杉岡奈穂子 平賀　賢二	東京芸術大学美術学部紀要	48
INFORMATION EVENT　第1回工芸トリエンナーレ	秋元　雄史	美術手帖	939
深層新層　工芸からKOGEIへ？ ジャポニズム再興へ始動	小川　雪	朝日夕刊	1.28
輸出振興にかけた夢「ジャパニーズ・デザインの挑戦」展	西岡　一正	〃	2.17
小さくて美しいもの 細部に広がる小宇宙	河尻　定	日　経	11.11

日　本

《連載エッセイ》「日本の表現主義」展(6)　若き工芸家の激情と葬送	藤井　素彦	あいだ	177
明治工芸とゴジラ	樋田豊次郎	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
平成二十年度博士論文(課程)要旨　「工芸」的思考—日本のものづくりと近代—	猪谷　聡	大阪大学大学院文学研究科紀要	50
帝国美術院展と京都の工芸	後藤結美子	鹿島美術財団年報・別冊	27
岐阜県のやきもの—資料紹介展「岐阜県のやきもの」出品作品を中心として—(上)	守屋　靖裕	岐阜県博物館調査研究報告	31
特集　消えゆく境界？　美術と工芸　工芸の現場から　若手作家の視点		ギャラリー*	297
Special Exhibition 3　東日本伝統工芸展第50回記念　特別展「21世紀の伝統工芸—世界の眼—」		〃	308
表紙の言葉『朱漆木葉形盛器』		きよらさ	61
連載　小山登美夫の見た、訊いた、買った	小山登美夫	芸術新潮	
lesson10　紅型を古美術観宝堂で			722
lesson11　民芸巨匠作を　松寿堂で			723
燦然と輝く近代漆芸家の底力		〃	724
特集2　現代工芸への視点—茶事をめぐって　現代陶芸を茶の湯で生かす—智美術館の試みから—	花里　麻理	現代の眼	583
第75回公開講座「陶磁器の用と美」	ニコル・クーリジ・ルーマニエール	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館年報	26・27

第76回公開講座「女性のくらしにみる刺子の美」	竹内　淳子	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館年報	26・27
三和高麗焼について	岡本　隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要	15
商工省工芸指導所研究序説	村上　敬	静岡県立美術館紀要	25
新美術時評　茶の湯文化の一面	島尾　新	新美術新聞	1207
画仙紙の開発と手漉きの省力化	稲葉　政満 加藤　雅人	東京芸術大学美術学部紀要	48
芥川龍之介と「織部角鉢」	森　孝一	陶　説	687
茨城県陶芸美術館「人間と国宝と古陶—対峙する眼と手」展に寄せて	花井　久穂	〃	691
愛知県陶磁資料館「明治の人間国宝—帝室技芸員の技と美清風與平・宮川香山から板谷波山まで—」展に寄せて	佐藤　一信	〃	692
社団法人佐保会所蔵人形資料寄贈元の再検討—金沢の玩具と佐渡の首人形を中心に—	飯島　礼子	奈良県立美術館紀要	23・24
第六十一回美学会全国大会報告　〈模様〉と〈絵画〉のあいだ—近代工藝理論における〈模様〉の位置づけをめぐって—	入江　繁樹	美　学	237
教員随想　21世紀COEプログラムに参加して	櫻庭　美咲	美史研ジャーナル	7
近代京都における美術工芸品の「来京外国人向け」輸出	太田　智己	美術史	168
INFORMATION EVENT 作家が立ち上げた手づくりの茶会　モダニズム建築で、陶芸家たちの茶会　自らつくり、味わい、批評する「試み」	沢田眉香子	美術手帖	932
特集　謎解き名画—イコノグラフィ研究—　日本編　謎10 吉祥　幸福の証　「色絵三瓢文皿」「青磁色絵桃宝尽文皿」「染付雲雷文大皿」「色絵毘沙門亀甲文皿」「色絵壽字宝尽文皿」	安河内幸絵	美術の窓	323
特集　アジア美術的〈近代〉　第1部 KOGEI 入れ子状のアジア	北澤　憲昭	美術フォーラム21	21
福島文化考　暮らしに根付く伝統工芸 会津塗		美術屋・百兵衛	15
化粧文化研究報告 明治期の西洋風鏡台—よそおいの近代化の一断片	富澤　洋子	マキエ	30
近代の京焼から「伝統」を考える—近代京都の製陶家における古典学習について—	森下　愛子	無形文化遺産研究報告	4
シナ布の流通とその利用の実態	米村　創	明治大学博物館研究報告	15
日本における陶磁器デザインの成立と位置づけ	田上知之介	明星大学研究紀要	18
対談1　民藝はすでに終わっているのか？	久野　恵一 濱田　琢司	目の眼	406別冊
対談2　骨董と民藝に違いはあるのか？	尾久　彰三 豊島　愛子 鄭　玲姫	〃	〃
対談5　手仕事の市場は女性がつくるのか？	星野　若菜 五十嵐恵美 田中　敦子	〃	〃
対談6　民芸と手仕事に未来はあるのか？	馬場　浩史 テリー・エリス 北村　恵子 南雲浩二郎	〃	〃
特集2　海を渡った花鳥風月—明治期の輸出カップ＆ソーサーに描かれた月次風俗	栂嶺　レイ	〃	407
特集1　金工師列伝 幕末、明治の超絶技巧　世界を驚かせた33人	村田　理如談	〃	411
Report　東京国立近代美術館工芸館「現代工芸への視点—茶事をめぐって」展オープニングイベント「試みの茶事—北の丸大茶会」をめぐって　東京国立近代美術館工芸課長　唐澤昌宏さんインタヴュー　「若い作家が茶陶に興味を持ちはじめてこれから面白くなる気がします」		〃	〃
レビュー　今のうつわこれからのうつわ PartII	立花　昭	REAR	23
デコ工芸作品にも 20代「見せたい」第一	西田　健作	朝日夕刊	1.6

彩・美・風　ぼろ、まぶしい寡黙な美	小出由紀子	〃	5.12
兵庫の刀工が「新作名刀展」最高賞　水害越え輝く　支えられあきらめず「一陽来復」刻む		東　京	7.22
200年企業—成長と持続の条件		日　経	
85　奈良晒の伝統、形変え進化　中川政七商店、商品広げる	竹田　忍		1.6
87　「鏡師」の気風次代に継承　村田眼鏡舗、技術を売る	水野　裕司		1.20
97　「筆文化」伝承逆風に屈せず　平助筆復古堂、耐えて商機	安西　巧		3.31
105　伝統顧客目線で守る　白銀屋、旅館再生へ原点に	竹田　忍		5.26
社会人　第69話　一途に前へ2　刀のキングこの手で	西堀　卓司	〃	2.28
神様皆様ご覧ください　20年に1度の伊勢「遷宮」、こん身の神宝ささぐ	采野　武朗	〃	3.30
美しき大工道具「拓本」に　電動工具に押される日本伝統の器具、色彩も再現	石田　光男	〃	7.30
交遊抄　有田焼の兄弟	松本　光弘	〃	12.1
正月彩る「切紙」守れ鶴・亀…和紙で縁起良い図柄　宮城の神職奮闘　中学生に作り方伝授		〃	12.30
大工の技「みきのくち」　神棚の徳利に挿す正月飾り、保存研究へ奔走	佐々木福弥	〃	12.31
工芸新世代「今」映す作風　漫画風蒔絵の置物・だまし絵風陶器…	窪田　直子	日経夕刊	1.5
らいふプラス		〃	
伝統息づく能楽の里　福井・池田町美術館で能面を展示	中西　晴史		3.17
情熱の布「花織」再興　沖縄・読谷村幾何学模様に願い込め	杉野　耕一		6.9
日本のモノ　工芸の裏打ち　文化の質・技、戦略的に世界発信	青柳　正規 窪田　直子 聞き手	〃	11.10
こころの玉手箱　武者小路千家家元　千宗守5　樂茶碗「木守」	千　宗守	〃	12.17
高級麻織物・宮古上布展　日本橋高島屋と銀座のギャラリー「風合いの良さ知って」	永田　晶子	毎　日	4.16
戦前日本の最先端デザイン　産総研収蔵品を公開		読　売	3.18
輪島塗再出発の日　能登地震から3年半「漆の魅力伝えたい」		〃	7.18
能代春慶危機　無形文化財の漆器　技法は一子相伝　後継者なく十一代目死去		〃	9.28
江戸博蔵めぐり「蛙」(灰皿)	浅川　範之	〃	11.19
あいうえお茶の湯　芦屋釜　福岡生まれ文様みやび	森　恭彦	読売夕刊	3.29

海　外

ルックウッドの画工白山谷喜太郎—たどりつけない実像	森　仁史	一　寸	44
菓子木型彫刻の図案について	猪原　千恵	岡山びと*	4
交差する満州イメージの検証—満州国における民芸運動を中心に—	崔　在爀	鹿島美術財団年報・別冊	27
中国東北地方向陽村における食生活用具の調査報告	趙　哲	京都精華大学紀要	37
WEDGWOODの知られざるジャポニスム—イギリス陶磁器にみる日本美術の諸相—	杉本　美和	芸術学研究(京都造形)	3
小特集　民芸で行こう二　オギューさんの"門前の小僧"的コレクション		芸術新潮	726
所蔵作品展　アール・デコ時代の工芸とデザイン　アール・デコをめぐって	池田まゆみ	現代の眼	581
アジア図像探検(72)毛沢東イメージ(1)	杉原たく哉	書道界	242
鈕ハ印ノ花ナリ　最終回　当今中日雕鈕事情	晋　鷗	〃	〃
マイセンの三百周年記念祭	櫻庭　美咲	陶　説	692
巡回展「開窯三百年マイセン　西洋磁器の誕生」展に寄せて	松村真希子	〃	〃

マイセン磁器と東洋陶磁	矢島　律子	陶　　説	692
ロシアの工芸とジャポニスム—万博の動向を中心に—	上野　理恵	美術運動史研究会ニュース	116
平山郁夫シルクロード美術館コレクション65　シャトゥーシュ(王様のショール)	平山美知子	美術の窓	319
表紙解説　インド—パシフィックビーズ	肥塚　隆保	文 化 財*	566
人形とその時代7　視覚の誘惑	岩井　映子	目 の 眼	407別冊
東北タイの土器作りにおける道具の使い分けと器種・工程間の関連性	北野　博司 小林　正史	歴史遺産研究	6
視線　フォトグラフィー　香水の歴史　ロジャ・ダブ著　新間美也監修	北澤　憲昭	朝　　日	6.6
彩・美・風　ジャズ響くキルト	小出由紀子	朝日夕刊	5.19
ペイズリー模様が伝える生の躍動	柳下　朋子	日　　経	12.9
謎の汝窯青磁　研究進む	前田　恭二	読　　売	2.4
マイセン磁器生き残り懸命　再建請負人多角化推進▶売り上げ25%増	三好　範英	〃	7.23
ぎゃらりいモール		読売夕刊	
文化学園服飾博物館「世界の更紗」から「掛布：パランポール」	吉村　紅花		8.24
東京都庭園美術館「きらめく装いの美　香水瓶の世界」から「ショッキング」	平沢　綾乃		10.19
大倉集古館「開窯300年　マイセン西洋磁器の誕生」から「染付ブルーオニオン文皿」	田中知佐子		11.30

デザイン

一　　般

香港ビジネス・オブ・デザイン・ウィーク2009	石橋　勝利	A X I S	144
from the World 「デコード」展に見るデジタルデザイン	中島　恭子	〃	〃
南アフリカ・デザインインダバ2010	瀧口　範子	〃	145
オピニオン　竹尾稠(株式会社竹尾代表取締役社長)	石橋　勝利	〃	146
科学者とデザイナーによる地球を巡る議論と対話の場—日本科学未来館「地球マテリアル会議」	加藤　孝司	〃	〃
インスピレーション		〃	
グラフィック　購買行為の本質にコミットするデザイン—「デザインレシートプロジェクト」	深沢　慶太		147
宿泊可能なインスタレーション「LLOVE」各部屋のストーリー	川上典李子		148
国際見本市「LIVING & DESIGN」	上條　昌宏	〃	147
香港ビジネス・オブ・デザイン・ウィーク2010		〃	148
「正方形」研究・序説—芸術工学的“かたち”の理解—	井上　貢一	九州産業大学芸術学会研究報告	41
ユニバーサルデザインの地域での実践に向けて　その3	古瀬　敏 根本　敏行	静岡文化芸術大学研究紀要	10
対談　岡安泉×安東陽子　空間をともに支えたがいを高める布と光	鈴木　里子	デザインの現場	170
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！　最新デザイン・キーワード100　PART 1 デザイナーが語るデザインの未来へ繋がる注目キーワード		美術手帖	946
リミテッド・エディション	土田　貴宏		
ふつう	鈴木　里子 編　集　部		
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！　最新デザイン・キーワード100　PART 2 現在に至るまでのデザイン・ムーブメントを振り返る		〃	〃
ミニマム	土田　貴宏		
システム／モジュール	鈴木　里子		
ニューデコラティブ	猪飼　尚司		

かわいい	大城　譲司		
オーガニック	土田　貴宏		
マテリアル・テクノロジー	高橋　美礼		
アートディレクター	大城　譲司		
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！　最新デザイン・キーワード100　PART 3 社会との関わりから生み出されるデザイン思想		〃	〃
新クラフト主義	高橋　美礼		
リ・デザイン	猪飼　尚司		
セルフメイド	土田　貴宏		
デザインエンジニアリング	猪飼　尚司		
アルゴリズム・デザイン	脇田　玲		
ネットワーク・プロダクト	〃		
紙・印刷加工	大城　譲司		
ポジティブ・アクション	猪飼　尚司		
アップリサイクル	高橋　美礼		
日用品	大城　譲司		
感性からのデザイン・アプローチ	蓮見　孝	連盟ニュース	433
エコ＆ピース十選１～10	U・G・サトー	日　経	3.4、5、8、9、11、12、15、16、18、19
意中の椅子十選１～10	中村　好文	〃	7.15、16、19、20、22、23、26、27、29、30
JAZZ ジャケットアート十選１～10	後藤　雅洋	〃	8.2、3、5、6、10、12、13、16～18
デザイン季評　機能より時代の気分	生井　英考	読　売	9.2
日　本			
インスピレーショングラフィック　デザインマニュアル＝レシピという名の情報デザイン	深沢　慶太	ＡＸＩＳ	143
特集　スモール・カンパニーズ・パワード・バイ・デザイン「丸若屋」代表、丸若裕俊インタビュー	〃	〃	144
装幀本談義　花のある本たち２―与謝野鉄幹、与謝野晶子『毒草』―	山田　俊幸	一　寸	42
神戸大学海事博物館企画展「戦前・戦後のポスターに見る日本商船」	矢野　吉治	海事博物館研究年報	37
博物館活動報告　所蔵品紹介(飛騨の椅子コレクション)「飛騨の椅子展　木のかたち、技のこころ」展から	南本　有紀	ミュージアムひだ研究報告*	H21年度
研究報告　『飛騨の椅子展』における木製椅子のイメージ調査	成瀬　哲哉	〃	〃
発信するSUAC印―ユニバーシティ・グッズの開発と大学ネットショップの展望第２章―	和田　和美 坂本　鐵司 鳥居　厚夫 山本　一樹 佐藤　聖徳 羽田　隆志 的場ひろし	静岡文化芸術大学研究紀要	10
地域におけるサスティナブルデザインの展開の可能性―持続可能な地域公共交通ネットワークをめざして―	宮川　潤次 坂本　鐵司 鳥居　厚夫 伊坂　正人 佐井　国夫 羽田　隆志 古瀬　敏	〃	〃
街角アート　江戸文学の粋	星野　清一	新美術新聞	1206
雑誌と文字の散歩道８～10	臼田　捷治	墨	202～204
山鹿地域と連携したデザイン開発	本間　康夫	崇城大学芸術学部研究紀要	3
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　イベント編　こんな楽しい展示がしてみたい！参考にしたい展示アイデア	高橋　美礼	デザインの現場	169
日本におけるメディアデザイン教育の起源：大正・昭和初期の美術教育革新運動	細谷　誠	日本大学芸術学部紀要	51
我が国におけるストリートファニチュアのデザイン決定と設置・管理について―大阪市御堂筋を事例として―	辻川ひとみ	人間環境科学	18
例会・研究発表会要旨　西部会　第二八〇回研究発表会　日本のデザイン史における「標準化」の内実―紙寸法の標準化を例に―	北田　聖子	美　学	237

SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！ 最新デザイン・キーワード100		美術手帖	946
PART 1 デザイナーが語る デザインの未来へ繋がる注目キーワード 新民藝	鈴木 里子		
COLUMN ニッポン・デザインの牽引者２ 無印良品	大城 譲司		
視線 切手帖とピンセット 1960年代グラフィック切手蒐集の愉しみ	サエキけんぞう	朝 日	2.7
活字の海で デザイナーの言葉に脚光 思考の過程、社会に環流	富田 律之	日 経	3.14
物としての本 装丁家が提起 ネット全盛だからこそ「紙」にこだわる	舘野 真治	日経夕刊	2.9
ゆったりアート 花開いた商業デザイン	岸 桂子	毎日夕刊	12.17
デザイン季評	生井 英考	読 売	
先鋭化した都市の装置			2.25
テープ式「ウォークマン」の遺伝子 明快・前向きなユーモア			11.25
昭和期における北海道イメージの形成—グラフィック・デザイナー栗谷川健一の活動を中心として—	鎌田 亨	鹿島美術財団年報・別冊	27

海 外

インスピレーション インテリア「Vapeur Lamps」「Lamp No.1」デザイナーの思考を示す構造	川上典李子	A X I S	143
デトロイトの未来を創造する カレッジ・フォー・クリエイティブ・スタディーズの取り組み	瀧口 範子	〃	〃
from the World		〃	
“2020年のスタルク”が一堂に介したメゾン・エ・オブジェ2010	上條 昌宏		144
「インパクト！」に見る、科学とデザイナー	中島 恭子		145
最新のグラフィックデザインをアジアとヨーロッパで同時発信	樋口 歩		146
新しいデザインのショーケース、プラットフォームを目指す「＋20エジプトデザイン」	上條 昌宏		147
ロンドン建築フェスティバル、RaRaの試み	中島 恭子		〃
実験的かつ即興的な魅力 デザインフェスティバル「DMY」	小町 英恵		〃
会場の拡張とともに新機軸を打ち出した「メゾン＆オブジェ」	上條 昌宏		148
ブルームバーグのエコプロジェクト「無駄にしないで、必要だから」	中島 恭子		〃
アイスランドデザインの現在	松下 幸子	〃	145
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！ 最新デザイン・キーワード100 PART２ 現在に至るまでのデザイン・ムーブメントを振り返る オランダ	土田 貴宏	美術手帖	946

建 築

一 般

インスピレーション 建築 建築はBIMでライフログを残せるか	ぽむ企画	A X I S	144
特集 建築はどこにあるの？—建築とインスタレーション		現代の眼	581
全体主義とアヴァンギャルドのアマルガム——一九三七年パリ万博ソ連館	鈴木 佑也		
建築展の新しいあり方を求めて	寺田真理子		
特集 検証・三菱一號館再現 Ⅳ 論考４ 〈造り直し〉という行為についての私見	田原 幸夫	建築雑誌	1598

特集　建築年報2010—建築学会総スクラム　第三部　建築界の動向と展望　情報システム技術委員会BIMがかまびすしいですが	猪里　考司	〃	1608
特集　エフェメラ(ephemera)—短命な建築媒体を後世に—		〃	1610
第一部〈現状〉当事者による取組み　鼎談　建築媒体にまつわる問題提起	藤岡　洋保、長谷見雄二、甲野　正道、山口　俊浩、森本　英裕　聞き手		
第二部〈課題〉在来の媒体はどう生き残るか　論考1　現用であり続けること1—建築書の25年を振り返って	荒田　哲史		
記念シンポジウム　建築史研究における海外調査	西田　雅嗣、吉武　隆一、伊藤　重剛、篠野　志郎、増井　正哉	建築史学	55
生活世界(ビオトープ)としてのdalle(人工地盤)	椎原　伸博	実践女子大学美学美術史学	24
建築の外観がもたらす持続可能性の印象とその魅力構造の分析　建築デザインの持続可能性に関する研究　その1	渋谷　達郎、宮脇　務、岸本　達也	日本建築学会計画系論文集	647
20世紀の建築・都市計画のヴィジュアルプレゼンテーションにおける要素と構図による表現特性	北川　啓介、今西　拓槙	〃	651
現代建築作品におけるパブリックスペースとしてのロッジア的空間の性格	金野　千恵、宮城島崇人、塚本　由晴	〃	657
第六十一回美学会全国大会報告　ウィトルウィウス美学の受容と京都学派の建築論	市川　秀和	美　　学	237
アートの地殻変動19　平良敬一	北川フラム　聞き手、永峰　美佳　構成	美術手帖	945
特集　建築のかたち　建築の形は、その社会的意味を示している	玉井　哲雄	歴　　博	159
彩・美・風　日本とチェコ結ぶ建築家	ペトル・ホリー	朝日夕刊	10.20
記憶の建築　昭和の公共空間十選1～10	松隈　　洋	日　　経	6.9、10、14、15、17、18、21、22、24、25
建築季評　モダニズム　意味の奪還	中川　　理	読　　売	12.23

日　　本

《連載エッセイ》「日本の表現主義」展(3)　終わってから考えたことあれこれ—建築分野の展示について	梅宮　弘光	あいだ	174
インスピレーション建築	ぽむ企画	AXIS	
大阪に見る、街を動かすリノベーション			145
昭和の建設映像記録がすごい！「ニッポン建設映像祭」			148
特集　国登録有形文化財建造物登録記念		学習院大学史料館紀要	16
学習院目白キャンパス建造物の文化財登録化について	長佐古美奈子		
学習院の登録有形文化財について	杉山　経子		
学習院目白キャンパスの当初計画に関する復原的考察	〃		
南一号館とその実験室に関する調査—昭和初期の理科教室に見られる特徴—	村松　康行		
[史料館講座講演録1]近代建築とその変遷	飯田喜四郎		
対談　各地に残る学習院の古い建物を訪ねて—明治村院長官舎にて—	飯田喜四郎、福井　憲彦　対談　杉山　経子　オブザーバー　長佐古美奈子　司会		
特別展「彩色立面図に見る日本の近代建築—銀行・オフィスビルから邸宅まで—」について	丹治　雄一	神奈川県立歴史博物館だより	183
都市の個性としての歴史的町並み—建物正面意匠の地域性	馬場先恵子	金沢学院大学紀要*	8
櫟の木は残った　岩波茂雄が愛した別邸「惜櫟荘」を惜しんだ作家のお話		芸術新潮	726

大特集　いざ鎌倉　武家の都の祈りと美　第三部　横浜開港から戦後まで　異なる古都案内　その二、四	木下　直之	芸術新潮	731
日記のなかの建築家たち　第1回『近代建築』の頃	中村　敏男	建築雑誌	1598
特集　検証・三菱一號館再現　Ⅳ　論考5　「修景」をめぐって—その現代的意味と可能性	苅谷　勇雅	〃	〃
日記のなかの建築家たち　第2回　鹿島出版会の頃	中村　敏男	〃	1600
特集　建築・有象無象　セクション1：かたちになりゆくモノへ		〃	〃
02　凧の糸—山本学治の骨太建築論から学ぶこと	陶器　浩一		
03　物語と保存—太田博太郎の建築史学	清水　重敦		
特集　建築・有象無象　セクション4：日常にひそむ形		〃	〃
14　地下足袋を履いた活動家	岸本　耕		
15　遺留品研究所・デザインサーベイの到達点	真壁　智治		
16　Z型ブロック工法を巡って—坂静雄博士の試み	西澤　英和		
日記のなかの建築家たち　第3回『a＋u』の誕生	中村　敏男	〃	1601
特集　ナイーブアーキテクチャー		〃	〃
イントロダクション　主題解説・インタビュー　ナイーブアーキテクチャーの根拠を探る	真壁　智治 中谷　礼仁 聞き手		
第一部　論考　合意形成の二つのモデルとその設計可能性について	斎藤　環		
第二部　論考　みつめる建築—女性性と身体性	柴原　聡子		
特集　NPO Now　第三部 対談 NPOこれまでの10年　NPOと建築運動	今田　忠、 布野　修司 饗庭　伸、 木下　光、 中江　哲 聞き手	〃	1607
特集　建築年報2010—建築学会総スクラム　第三部　建築界の動向と展望		〃	1608
海洋建築委員会　海と陸をつなぐ海洋建築	濱本　卓司		
建築歴史・意匠委員会　「再現」建築は建築史の課題となるのか	中川　理		
特集　エフェメラ(ephemera)—短命な建築媒体を後世に—第三部〈展開〉市場価値の開拓　事例2　教育コレクションの形成	岸　泰子	〃	1610
特集　平城遷都1300年考　第一部　論考1　1000年を超える時間	木下　直之	〃	1611
研究ノート　京都学派の建築論考(一、二)	市川　秀和	建築史学	54
学界展望　日本近代都市史	砂本　文彦	〃	55
論評　未完の未来都市　大阪中央郵便局庁舎と都市美	橋爪　紳也	建築ジャーナル	1167
批評　モダニズム建築のメッセージ17　建築に都市への回路を持たせること—東京都美術館	松隈　洋	〃	〃
京都市内の石造アーチ橋(上、中、下)	加藤　繁生	史迹と美術	804～806
旧山陽鉄道(兵庫～姫路間)開通時の煉瓦造構造物—橋梁、アーチ橋等の調査報告—	鈴木　敬二	塵　界	21
山形市陣場の田中家住宅について	志村　直愛	東北芸術工科大学紀要	17
山中温泉「芭蕉堂」の建立	綿抜　豊昭	図書館情報メディア研究	8－1
三遊亭圓朝と圓通堂上	二村　文人	富山大学人文学部紀要	53
奈良県の近代和風建築とその設計者	黒坂　貴裕	奈良文化財研究所紀要	2010
奈良の近代和風造園	高橋知奈津	〃	〃
明治期の浜松医者屋敷と庭園の建設過程に関する研究	鈴木　里佳 三浦　彩子	日本建築学会計画系論文集	648
教育博物館の平面設計について	河田　健	〃	〃

1903年第五回内国勧業博覧会台湾館の設置経緯について	松下　迪生 石田潤一郎	〃	〃
入れ子式能楽堂におけるダブルストラクチャーの導入について—宝生会能楽堂を通して—	奥冨　利幸	〃	649
千葉県夷隅地域における南方系屋敷林の原型とその変容実態—明治期銅版画と現状との比較分析に基づいて—	不破　正仁 藤川　昌樹	〃	650
伝統的様式を継承した現代の町家におけるファサードの発展過程—飛騨古川の「新町家」に着目して—	村西　真一 岡崎　篤行 小柳　　健	〃	〃
現代日本の住宅作品における屋根形の変形による統合の修辞建築の慣習的な要素による構成的修辞に関する研究(その２)	能作　文徳 森中　康彰 塚本　由晴	〃	652
近現代の待庵の写し茶室における継承と創意に関する研究—利休の茶の精神と茶室の造形的特徴—	後藤　千夏 瀬口　哲夫	〃	654
豊橋ハリストス正教会の聖堂建築の研究最近発見された資料による建設経緯と設計の分析	泉田　英雄 伊藤　晴康 西澤　泰彦	〃	〃
ジャーディン・マセソン商会横浜店の商館再建計画—慶応大火による被災から新商館入居までの経緯を中心とした考察—	水田　　丞	〃	〃
ジャーディン・マセソン商会横浜店の石造倉庫と配置計画—慶応大火後の石造倉庫再建を中心とした建築活動の詳細と計画意図—	〃	〃	〃
外形と空間構成と動線を考慮した戦後日本の各種建築物の平面特性	水谷　　誠 北川　啓介 内藤　拓也 森川　祐喜	〃	656
SPECIAL FEATURE 妹島和世＋西沢立衛／SANAA PROJECT 1　ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展2010　日本館「TOKYO METABOLIZING」展	新川　博己	美術手帖	943
福島文化考　明治の香りを今に伝える天鏡閣		美術屋・百兵衛	15

かみはく友の会　旧岩崎邸の金唐革紙を訪ねる—金唐革紙に目を見張り重文の凄さに驚嘆—	樋口　浩道	百万塔	137
口絵解説		文化財*	
南木曾町妻籠宿伝統的建造物群保存地区	下間久美子		559
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	清永　洋平		562
五條市五條新町伝統的建造物群保存地区	〃		567
表紙解説　塩尻市奈良井伝統的建造物群保存地区	林　　良彦	〃	559
新指定物件に関する寄稿論文　京都の近代和風建築指定の意義—清流亭、杉本家住宅の指定に寄せて—	中村　昌生	〃	562
昭和30年代初期に建築された都市住宅の建築状況と変遷—都市住宅から見た「高度経済成長期」における道民生活の変化—	小林　孝二 山際　秀紀	北海道開拓記念館研究紀要	38
「椎葉の民家」関連調査について—清田アヤメ氏の聞き取りを中心に—	小山　　博	宮崎県総合博物館研究紀要	30
館長就任記念シンポジウム　博物館明治村の45年、歴史的建築の45年	鈴木　博之	明治村だより	60
1873年刊行フランス海事雑誌にみる横須賀製鉄所の建築技術—横須賀製鉄所におけるフランス系技術の導入に関する研究(その２)	菊地　勝広	横須賀市博物館研究報告	55
特集　I♥〔あいち〕トリエンナーレ　都市で開催する国際展に期待すること。	五十嵐太郎	ＲＥＡＲ	24
講座　庭園史　近代の庭園	栗野　　隆	歴史と地理	632
深層新層	大西　若人	朝日夕刊	
東京・新木場「木材会館」　常識覆す木の復権			3.24
平安神宮重文に指定　明治のイベント建築			10.21

「生きている」建築再評価　菊竹・黒川ら参加「メタボリズム」半世紀	大西　若人	朝日夕刊	12.22
震災、空襲耐え90年「煉瓦蔵」残そう　神田淡路町　取り壊し直前、移築検討	浅田　晃弘	東　京	1.7
横浜の近代建築追い求め　関東大震災で失われた町並み、彩色立面図で描く	岡　義男	日　経	4.9
残された文化財	鈴木　道彦	〃	11.14
らいふプラス　建築が語るバブルの熱狂きらびやかな造り、かつてあこがれの的	兼松雄一郎	日経夕刊	7.31
都市の呼吸　新しい高さ求める東京　スカイツリーが生む変化の予兆	鈴木　博之	毎日夕刊	2.10
建築	五十嵐太郎	〃	
日建設計「木材会館」　現代的な木の可能性を追求			2.17
羽田空港国際線旅客ターミナル　世界水準の大屋根と和空間			12.1
川本三郎の東京すみずみ歩き　迎賓館	川本　三郎	〃	5.29
建築季評	中川　理	読　売	
「モダニズム」も表現行為			3.25
現実を反映した「新人戦」			10.7
建築望見　大工棟梁基準法見直し訴え	高野　清見	〃	4.8
江戸博蔵めぐり　映画「二十年後の東京」都都市計画課製作	沓沢　博行	〃	8.27
東京の記憶　帝国ホテル120年　一流育てたライト館　「おもてなし」妥協なし	小泉　朋子	〃	10.18
多文化都市における建築体験—日本の建築運動に対する山東省ドイツ建築の影響—	天内　大樹	国学院雑誌	1243

海　外

from the World　新築か改築か？コンペ終了後も議論が絶えない建築事情	机　宏典	A X I S	143
特集　スモール・カンパニーズ・パワード・バイ・デザインランドスケープ開発会社「レイナ・クリーク」	瀧口　範子	〃	144
特集　皮膚と衣装　皮膚から衣装へ—プラハのキュビスム建築をめぐって	村田　宏	跡見学園女子大学人文学フォーラム	8
特集　検証・三菱一號館再現　IV		建築雑誌	1598
論考１　再現批判の系譜—イギリスのゴシック・リヴァイヴァルの盛衰にみる再現に類する行為の批判の根拠	顕原　澄子		
論考６　韓国建築再現事情—ソウルは「今」……	金　玟淑		
特集　建築・有象無象		〃	1600
セクション１：かたちになりゆくモノへ　01　1960年代、アメリカ建築の多様と対立	中村　敏男		
セクション３：包括概念としての建築　10　環境共創造体・CAT 論	糸長　浩司		
セクション３：包括概念としての建築　12　F.D.ルーズベルトにおける文化政策観—ニューディール政策が芸術活動にもたらしたもの	山口　俊浩		
日記のなかの建築家たち	中村　敏男	〃	
第５回　ニューヨーク・ファイヴ			1604
第６回　IAUS			1605
第８回　ホワイト・アンド・グレイ			1607
第12回　ロサンゼルスの建築家たち			1611
The Long Distance Chat		〃	
都市建築の表層性—バルセロナの建築動向	小針　修一 中谷　礼仁		1605
４・３(ヨンサン)以後—現代韓国建築家事情	鄭　麟夏 林　憲吾		1608

特集　平城遷都1300年考　第一部　論考3　ハノイ建都1000年祭とベトナム都市史研究	上野　邦一	〃	1611
ロンドンのシティにおける戦災を受けた教会堂のオープンスペース化の過程について	顕原　澄子	建築史学	54
学会展望		〃	
フランス中世建築史—フランスにおける中世建築研究	西田　雅嗣		〃
イタリア・ルネサンス建築史　建築書やオーダーに関する研究を中心に	飛ヶ谷潤一郎		55
ジャーナルギャラリー　「パリの夜顔—照明に宿る都市の美意識」	粟屋　裕太	建築ジャーナル	1167
現代トルコにおけるコジャテペモスクのデザイン変更	山下　王世	史　苑	183
アジアにおける都市型住居の調査報告	飯村　和道	女子美術大学研究紀要	40
「ためいきの橋」の出現と正義の国ヴェネツィア像の転倒　—バイロンの変えた表象—	鳥越　輝昭	人文研究	171
映画「ノッティングヒルの恋人」にみるイギリスのテラスハウス	辻本　敬子	名古屋造形大学紀要	16
バルコニーから見たバルセロナ旧市街都市景観の形成過程　近代以前の都市住宅におけるバルコニーに関する研究　その2	熊谷　亮平 松村　秀一	日本建築学会計画系論文集	648
1896年ブダペスト建国千年博覧会の会場計画について	水野　貴博	〃	654
ゴダンのファミリステールのオリジナリティとその建築・都市史的特性—19世紀における労働者向けのコミュニティモデルに関する研究　その2—	白承　冠	〃	〃
在外華僑による歴史的建造物群の形成過程とその現状、及び今後の保全のあり方についての考察—中国広東省台山市梅家大院をケーススタディとして—	菅野　博貢 高田誠マルセール 矢込　祐太	〃	657
ベルネー修道院教会—建設過程の再考	愛宕　出美　学		236
15—16世紀イタリアにおける稜堡式築城の誕生—「側面射撃」と「死角なき城砦プラン」の関係について—	白幡　俊輔	文化史学	66
ヴィラ・ボルゲーゼその館と庭園	金山　弘昌	視　る	445
特集　建築のかたちコラム　教会堂のシンボル性	羽生　修二	歴　博	159
盛衰語るギリシャ建築　現地調査で遺構復元、美の原理探る	伊藤　重剛	日　経	10.29
ソウル「光化門」復元李朝・景福宮の正門1395年建立—移築、焼失、苦難経て		毎　日	8.14

その他のジャンル

一　般

Excitement　第13回文化庁メディア芸術祭　年々勢いを増すメディア芸術に期待		ギャラリー*	298
日本書の〈根源〉へ6書と無限のメタモルフォーゼ	石川　翠墨		203
変わる日中書道交流互いの書風に関心　双方向の発展期待	菅原　教夫	読　売	9.8

日　本

所蔵作品展「現代の人形」　所蔵作品展「現代の人形」によせて	北村　仁美	現代の眼	585
時評2　迷走する日本メディアアート	井口　壽乃	視覚の現場　四季の綻び	4
特集　I♥〔あいち〕トリエンナーレ　あいちトリエンナーレ2010に向けたダンスパフォーマンスの取り組み	亀田　恵子	REAR	24
鏝絵作者だれ？　浅草の本龍寺終戦直後の作　伊豆ゆかりの左官職人か　天女や動物、欄間飾る	阪本　昇司	朝　日	3.5
身体に宿るアート放つ　実験的取り組み増える　ダンサー光の作品のモチーフ美術家　振り付け師になぞらえ	小川　敦生	日　経	9.18

産業技術の本質　アートで見せる　蓄電池・音源・住宅の壁材…	小川　敦生	日経夕刊	3.8
特集ワイド　書　日本の心　若者の力	鈴木　　梢	毎日夕刊	1.18
「コテ」の芸術発掘　古い建築巡り　写真展や見学会		読　　売	8.11

海　　外

骨で描き、繭が灯る　死してアートになった生物たち	由本みどり	芸術新潮	727
一九世紀アメリカ女性にとってのラグジュアリーとは何か	平芳　裕子	視　　る	441

作　　家

日　　本

(ア)

生老病死の旅路　靉嘔さん　前衛の亡友と今も「対話」	市原　尚士 聞き手	読売夕刊	12.13
2010今井信吾ドローイング展　明快な美しい色彩	相笠　昌義	新美術新聞	1214
アクリリックス・ワールド57　相川勝	いしいよしゆき	美術手帖	936
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　相川勝	相川　　勝	〃	937
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ１　北京で考えました。	会田　　誠	芸術新潮	721
文章も超うまい会田誠の妻と寅次郎と美術と私		〃	725
会田誠のサラリーマン連峰		〃	727
モデルとしてのキュレーション―村上隆、岡崎乾二郎、会田誠の実践から―	佐々木勇貴	美術運動史研究会ニュース	111
会田誠の「おんなのこしゃしん」　不定期連載第10回　『よかまん』	会田　　誠	美術手帖	939
現代美術の歩き方　現代美術のみかた　国立国際美術館で最後の加筆!!　会田誠未完の大作「滝の絵」公開制作について	島　　敦彦	美術の窓	323
土曜訪問　活字でも鋭い批評眼　会田誠さん(現代美術家)	三沢　典丈	東京夕刊	5.8
ART＋ 戦闘機の「美」和紙に展開[青秀祐]	(清)	読売夕刊	3.15
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　青木恵美子	本江　邦夫	美術の窓	321
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　1993年受賞青木克憲	青木　克憲 談 杉江　あこ、 編集部　文	デザインの現場	169
コミック　茶柱倶楽部１　青木幸子〈作〉一杯のお茶から生まれる関係	南　　信長	朝　　日	11.21
彫刻家の現場から62　青木三四郎	武田　　厚	美術の窓	321
平成二十年度博士論文(課程)要旨　文学の視座からの青木繁における美的仮象の創造―明治期のロマン主義受容の射程―	中野久美子	大阪大学大学院文学研究科紀要	50
公開講座　房総の歴史と文化　講演録２　青木繁の《海の幸》	吉祥寺尚子	城西国際大学日本研究センター紀要	4
日々好日　青木繁「海の幸」会のこと	吉武　研司	新美術新聞	1223
美の履歴書185　なぜ、みな裸なのか「海の幸」　青木繁	西　　正之	朝日夕刊	12.22
青木野枝＋青木淳　鉄と建築の変幻コンチェルト		芸術新潮	725
特集　ナイーブアーキテクチャー　第一部　インタビュー　手法としての抽象化	青木　　淳 真壁　智治、 勝矢　武之 聞き手	建築雑誌	1601
INFORMATION NEWS　吉祥寺に誕生した集合住宅　青木淳×青木野枝による、住宅という形のパブリックアート	高橋　美礼	美術手帖	936

東京・吉祥寺の住宅で建築家と彫刻家がコラボ　青木淳さんと青木野枝さん	岸　桂子	毎日夕刊	3.23
インスピレーションファッション　青木正一が見続けたストリートファッション	成実　弘至	ＡＸＩＳ	148
いしかわ式　今日の漫画　なのはなフラワーズ[青木俊直]	いしかわじゅん	毎　日	12.1
日々好日　写実絵画の現在	青木　敏郎	新美術新聞	1235
青木野枝＋青木淳　鉄と建築の変幻コンチェルト		芸術新潮	725
INFORMATION NEWS　吉祥寺に誕生した集合住宅　青木淳×青木野枝による、住宅という形のパブリックアート	高橋　美礼	美術手帖	936
東京・吉祥寺の住宅で建築家と彫刻家がコラボ　青木淳さんと青木野枝さん	岸　桂子	毎日夕刊	3.23
山下裕二の今月の隠し球71、72　青木美歌　原始生命体への真摯な問いかけ(上、下)	山下　裕二	美術の窓	326、327
ようこそ、新しい先生6　美術工芸学科教授　青木芳昭	青木　芳昭	瓜生通信	50
展覧会とアーティスト10　「青島三郎展—情の美」　旧平櫛田中邸のサスティナブル・アートプロジェクト		ギャラリー*	306
PREVIEW 青柳芳夫展—失われた時を求めて・少女群像図鑑—	江口　健	美術の窓	324
21世紀のアーティスト　青山悟		ギャラリー*	307
REVIEWS06 砂漠のイメージとしての刺繍「青山悟 Labour's Lab」	沢山　遼	美術手帖	935
現代美術の歩き方　今月の一品　青山悟 Glitter Pieces＃1	光田　由里	美術の窓	321
レース切り絵　蒼山日菜著		日　経	2.28
切り絵、新世界切り開く　微細な模様・光の表情…[蒼山日菜]	富田　律之	日経夕刊	4.6
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ1　日本でしか出来ないこと	赤瀬川原平	芸術新潮	721
2010年底からの旅2　赤瀬川原平さん(画家・作家)　自分の中に隠し部屋を	大西　若人	朝日夕刊	1.7
邂逅　カルチャー時評　赤瀬川原平	赤瀬川原平	産　経	3.14、7.25、8.29、9.26、10.27、11.24
みんな早く老人になろう	〃	東京夕刊	9.7
歩きたい　赤瀬川原平の散歩の言い訳　第174～185回	〃	毎日夕刊	1.6、13、20、27、2.3、10、24、3.3、10、17、24、31
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL.20　CASE 5　赤田美砂緒　夕暮れの帰り道	赤田美砂緒談	美術の窓	326
マンガの時代　赤塚不二夫「天才バカボン」(1967～76年)　庶民の生活シュールに視覚化	竹内オサム	日経夕刊	1.27
時代の証言者　まんが道60年藤子不二雄Ⓐ11　トキワ荘の「兄弟」たち[赤塚不二夫]	小梶　勝男	読　売	6.23
著者来店　「バカボンのパパよりバカなパパ」　赤塚りえ子さん　父の作品を守りたい	多葉田　聡	〃	7.25
「スーホの白い馬」の画家・赤羽末吉さん生誕100年　「子どもたちに美しいものを」	木村　葉子	毎　日	6.6
〈企画展〉　生誕100年　赤羽末吉展Ⅱ—絵本は舞台だ！—	上島　史子	安曇野ちひろ美術館　美術館だより	62
私の政策誰に近い　藤代裕之さん　ネットジャーナリスト　赤星たみこさん　漫画家	七井　辰男司会	毎　日	6.20
PREVIEW 赤堀尚展	高山　淳	美術の窓	326

2010年日本建築学会作品選奨　HOUSE YK/ISLANDS［赤松佳珠子］		建築雑誌	1607
特集　建築年報2010—建築学会総スクラム　第二部　会長・副会長座談会　この１年、現前する課題に如何に立ち向かったか	佐藤　滋、深尾　精一、辻本　誠、可児　才介、櫻井　潔、赤松佳珠子、中江　哲、饗庭　伸、伊藤　俊介、中谷　礼仁聞き手	〃	1608
Recommend! Architecture 12のストゥッディオーロ（MM 1221）［赤松佳株子］	鈴木　紀慶	デザインの現場	170
知的障害の画家美大で芸術交流　即興アートAKIさん　斬新アイデア　学生刺激	小泉　朋子	読　売	5.5
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド		デザインの現場	169
コンペ・アワード編　JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　1991年受賞　秋田寛	秋田　寛　談 杉江　あこ、編集部　文		
プレゼン編　あの人のポートフォリオが見たい！　自分の「見せたいもの」と相手が「見たいもの」　秋田寛	立古　和智 編　集　部		
特集　デザインを支える職人　田中一光を支えた２人	田島　政治、伊藤　豊　談 秋田　寛 聞き手 鈴木　里子 文	〃	170
顔　第27回読売書法展で「読売大賞」を受賞した　秋田素鳳さん	木村　未来	読　売	8.14
みんなのマンガ学　OL進化論　OLの日常　喜劇にも悲劇にも［秋月りす］	吉村　和真	朝日夕刊	12.13
館長コラム　「秋野先生とインド」［秋野不矩］	滝沢　具幸	テラス	85
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　京都画壇出身の女流画家　秋野不矩・梶原緋佐子・北澤映月		美術の窓	325
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　秋元由美子	高山　淳	〃	320
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　秋山泉	川口　直宜	〃	321
コミック　アスコーマーチ！1　アキヤマ香〈作〉　工業高校の女子の奮闘を描く	南　信長	朝　日	10.10
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　プレゼン編　これが私のプレゼン術！　秋山具義　「パルコ40周年記念キャンペーンロゴ」「パルコ池袋店キャンペーンロゴ」	秋山　具義　談 鈴木　里子 文	デザインの現場	169
特集　われらの庭園第一部　対談　時間の消費	秋山　東一、広井　良典 高口　洋人、岸本　耕、糸長　浩司、饗庭　伸、中谷　礼仁 聞き手	建築雑誌	1605
《講演採録》板橋区立美術館「日本の美術運動」から　ポップ・ステップ・ジャンプ！　わがパフォーマンス人生	秋山祐徳太子 弘中　智子 聞き手	あいだ	177
ときの人16　秋山祐徳太子さん　４年ぶりの個展“高貴骨走”降誕するダリコ佛		新美術新聞	1218
追憶の風景　新富町（東京）　美術家　秋山祐徳太子　粋でいなせ、意地の美学	小川　雪	朝日夕刊	5.18
秋山陽の荒ぶる轆轤マウンテン		芸術新潮	728
第17回MOA岡田茂吉賞　受賞作決まる　絵画部門大賞は滝沢具幸氏　工芸部門大賞は秋山陽氏　MOA美術館賞に植田一穂氏　大角幸枝氏　須田賢司氏　前田正博氏		新美術新聞	1214

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　淺井昭	高山　淳	美術の窓	320
巻頭エッセイ　SKとTA『従征日記』の挿絵画家[浅井忠]	河田　明久	近代画説	19
特集　正岡子規―時代を生きる　さまざまな子規　絵画の力　正岡子規、浅井忠、中村不折	大廣　典子	国文学解釈と鑑賞	954
「未来ジオラマ：風の島の葉っぱちゃん」／「Sailplane：かもめちゃん」	浅井　治彦	明星大学研究紀要	18
展覧会とアーティスト8　浅井真理子　Beautiful town (plenty of empty)　自分の感じているものがフワーッと浮き上がるような空間		ギャラリー*	307
イスラエル　出品アーティストのビエンナーレ・レポート	浅井真理子	〃	308
通信J to A　アジアへ12　泥だらけの純情―ビハールから・ビハールへ[淺井裕介]	黒田　雷児	新美術新聞	1222
舗道に伸びる白い植物は？　都市に育つ植物絵[淺井裕介]	柳下　朋子	日　経	5.13
飛躍のひと　4　現代美術身近な素材から[淺井裕介]	高野　清見	読　売	1.7
2010年日本建築学会作品選奨　相模女子大学体育館[淺石優]		建築雑誌	1607
特集　猫　この愛らしくも不可思議な隣人　猫のしっぽが見えるとき　猫と私の距離のこと	浅生ハルミン	ユリイカ	588
第14回杜賞受賞者のことば　杜賞を受賞して	浅岡小百合	杜	28
植民地朝鮮における日本人の朝鮮陶磁研究―浅川伯教・巧の活動を中心に―	樋口とも子	鹿島美術財団年報・別冊	27
追憶の風景　ニューヨーク　舞台美術家朝倉摂　自由な気風に育まれて	小山内　伸	朝日夕刊	9.14
彩・美・風	朝倉　摂	〃	11.10、17、24
街角アート　残された太田道灌[朝倉文夫]	星野　清一	新美術新聞	1217
特集　10年代の日本文化のゆくえ　ポストゼロ年代のサバイバル　ファッション「形態複製」によるブランド	浅子　佳英	ユリイカ	585
特集　建築・有象無象　セクション3：包括概念としての建築　09　環境概念の発明者―知の巨人・浅田孝	木下　光	建築雑誌	1600
浅田政志写真集「NEW LIFE」	(睦)	読　売	6.27
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　浅野恵理子	武田　厚	美術の窓	321
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　浅野輝一	高山　淳	〃	320
展覧会とアーティスト9　第5回浅野信康日本画展　日本の美しさは、水の循環に根差していると思う		ギャラリー*	307
マシュー・カーターに宛てた2つのポスター作品[浅葉克己]	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	146
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　浅見正一	高山　淳	美術の窓	320
公募団体展　受賞者に聞く1　第41回日展2009　特選(第2科洋画)受賞　浅見文紀		ギャラリー*	298
第14回「杜賞」選考委員講評　審査にあたって	芦原　太郎	杜	28
みんなのマンガ学　よつばと！　主人公見守る大人の気分満喫[あずまきよひこ]	表　智之	朝日夕刊	11.29
日々好日　背景画	遊馬　賢一	新美術新聞	1211
「バラライカを持つ裸婦」　東典男		石川県立美術館だより	323

彩・美・風	東　信	朝日夕刊	1.6、13、20、27
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　阿蘇千鶴子	高山　淳	美術の窓	325
特集1　麻生三郎		現代の眼	584
《ひとり》が描かれた頃	野見山暁治		
麻生三郎の立体デッサンについて	麻生　マユ		
収蔵品から　《人》麻生三郎	石井　幸彦	世田谷美術館だより	82
美の履歴書183　目に光が宿るのは「ある群像　3」麻生三郎	西田　健作	朝日夕刊	12.8
特集1　麻生三郎　麻生三郎の立体デッサンについて	麻生　マユ	現代の眼	584
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	麻生　弥希	美術の窓	321
みんなのマンガ学　ノンキナトウサン　震災、戦争…ユーモアで癒す[麻生豊]	表　智之	朝日夕刊	4.19
Special Exhibition 2　与勇輝展「昭和・メモリアル」		ギャラリー*	305
次世代人　足立喜一郎さん　経済中心への皮肉	高野　清見	読売夕刊	10.30
うたた寝　優しくなれる絵描きたい[足立知美]	中沢　義則	日経夕刊	4.24
みんなのマンガ学　伊賀野カバ丸　大食・野蛮な異色キャラ[亜月裕]	吉村　和真	朝日夕刊	7.5
本づくし　「より良い架け橋になるために」『池澤夏樹の旅地図』　池澤夏樹著	安積　朋子	ＡＸＩＳ	147
新しい環境へ　下　建築・芸術薄れる境[アトリエ・ワン]	大西　若人	朝日夕刊	11.17
ぎゃらりいモール　東京国立近代美術館「建築はどこにあるの？」から「まちあわせ」　アトリエ・ワン　2010年	保坂健二朗	読売夕刊	7.20
粘土で「昭和の家族」「45の風景」表現　人形作家安部さん　江戸東京博物館20日から[安部朱美]	石川　純	読　売	11.6
芸術新潮特別企画　アートフェア東京2010出展ギャラリー紹介　備前焼ギャラリー青山が惚れた挑戦しつづける陶芸家[安倍安人]		芸術新潮	724
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　阿部栄一	高山　淳	美術の窓	320
紙を切り続けるアート　1ミリ幅・長さ4メートルの紙の糸、切る行為を作品に	阿部　幸子	日　経	3.2
PREVIEW　阿部直昭	高山　淳	美術の窓	
油絵展―ヨーロッパの大地より―			318
油絵展―画業三十年の軌跡―			327
戦前の阿部展也(芳文)の活動―瀧口修造との関係を中心に	濱田真由美	新潟県立近代美術館研究紀要	9
本づくし　「国語とは何か、根本を問うことで広がる世界」『にほんご』　安野光雅、大岡信、谷川俊太郎、松居直編	阿部　雅世	ＡＸＩＳ	148
生命感・精神性のある空間の創造2	阿部　緑	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	阿部　穣	美術の窓	321
コミック　バニラスパイダー1　阿部洋一〈作〉　宇宙人が人間を食い荒らす	ササキバラ・ゴウ	朝　日	5.23
特集　安倍吉俊　『serial experiments lain』『灰羽連盟』『リューシカ・リューシカ』…仮想現実の天使たち		ユリイカ	587
serial experiments　対談　物語の遠近法―自律した世界を描く／書くために	安倍　吉俊　新城カズマ		

serial experiments 安倍君について私が知る事の全て　小中　千昭

serial experiments 安倍吉俊さんと私　滝本　竜彦

architecture/archive　旅の記憶 ヨーロッパの旧市街で出会った安倍吉俊的光景　暮沢　剛巳

architecture/archive　インタビュー　到来する出来事に向かって―いつでも現われる事件について　安倍　吉俊　有村　悠　聞き手

architecture/archive　「古街」世界のナビゲーション　安倍吉俊のイラストレーションについて　石岡　良治

illustration : animation　『lain』と一九九八年のアニメ、ネット　タニグチリウイチ

illustration : animation　笑わない少女は私に呟く　さやわか

illustration : animation　バイバイ・ブラックバード『灰色連盟』の少女たちの黒い約束〔エンゲージ〕　上田麻由子

illustration : animation　にちじょうを、げきじょうに！　矢野　健二

omnipresence ハロー自閉症、Dr. Self Destruct　鏡　征爾

omnipresence わからないことをわかること　リューシカの目線で　麻草　郁

omnipresence 世界を出ることとしての隠喩　伊藤　亜紗

omnipresence 「ですぺら」が幻視させる“現実”「偽史的想像力」の先にあるもの　中川　大地

みんなのマンガ学 落第忍者乱太郎　背景の歴史埋め込み深み[尼子騒兵衛]　伊藤　遊　朝日夕刊　3.3

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　天野亨彦　天野　亨彦　美術手帖　937

名誉会員推挙　つらつら想ふに　天野　邦弘　日本版画協会々報　148

レビュー　天野天街 万華鏡　天野天街コラージュ作品展　亀田　恵子　ＲＥＡＲ　23

最後のアマゾン／天野尚写真集　天野尚著　日　経　9.19

瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　島をめぐるエッセイ３ おもしろ原風景　天久　聖一　美術手帖　938

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　雨宮敬子　土方　明司　美術の窓　320

コミック　チュウチュウカナッコ　あらいあき〈作〉　困り顔の女子カナコの世界　山脇　麻生　朝　日　9.5

建築　大船渡市民文化会館・市立図書館 強力な造形だが現代的な感覚も[新居千秋]　五十嵐太郎　毎日夕刊　6.23

荒井良二さん　見て、感じて、楽しむ絵本 モケモケ　絵を描きたいって気持ち　内藤麻里子　〃　8.31

平成21年度壺屋焼物博物館企画展「壺屋三人男―小橋川永昌（二代目仁王）、金城次郎、新垣栄三郎」関連講座報告　赤嶺由紀子　島袋　常秀　談　壺屋焼物博物館紀要　11

織物八重山の色に染まれ　故郷・石垣島に伝わる幻の技法、復活の立役者に　新垣　幸子　日　経　6.11

天命反転は起ったのか？　―荒川修作の「死」をめぐって　(sy)　アートペーパー　84

荒川修作と「科学的自意識」の探求―「棺桶」から「天命反転」へ　塚原　史　国立国際美術館ニュース　177

死なないための葬送―荒川修作初期作品展　平芳　幸浩　〃　〃

館蔵品紹介 《抗生物質と子音にはさまれたアインシュタイン》[荒川修作]	平芳 幸浩	国立国際美術館ニュース	177
追悼 荒川修作氏 天命反転の思想は終わらず	建畠 哲	新美術新聞	1219
点鬼簿の作家像スケッチ帳 その28 荒川＋ギンズ＝不死のメカニズム	林 紀一郎	〃	1224
INFORMATION MEMORIAL 追悼 荒川修作	平芳 幸浩	美術手帖	940
批評 追悼：「天命反転」の継続性―それでも荒川修作は死んでいない	馬場 駿吉	REAR	24
美術家・荒川修作さんを悼む 究極の作品に昇華した「死」	磯崎 新	朝日	5.22
深層新層 美術家荒川修作さん逝く もう聞けない大言壮語	大西 若人	朝日夕刊	7.30
「反転住宅」死なず 故荒川修作さんの代表作で見学会 映画12月に公開	菅野みゆき	〃	10.29
追悼 荒川修作氏 遺された“スフィンクスの謎”	磯崎 新	産経	5.25
荒川修作さんを悼む 「天命反転」の永遠に佇む	馬場 駿吉	東京夕刊	5.21
喪友記 荒川修作さんを悼む 規格外の存在	磯崎 新	日経	5.22
奇縁まんだら	瀬戸内寂聴	〃	
143 荒川修作の感動的な清貧ぶり			7.4
144 荒川、死は法律違反と主張			7.11
「死なない家」に住む 「天命反転」説く荒川作品での生活を映画に	山岡 信貴	〃	11.30
追想録 荒川修作さん(美術家) 死にあらがう建築模索		日経夕刊	7.2
中央線ものがたり27 異彩放つ三鷹天命反転住宅 逆らい生きる思想を[荒川修作]	神足 俊輔	毎日	5.16
荒川修作さんを悼む 死という天命の反転に邁進	建畠 哲	毎日夕刊	5.26
「死なないための葬送」原点に 19日死去荒川修作さん初期作品展	木村 未来	読売	5.24
特集 藤田和日郎 『うしおととら』『からくりサーカス』そして『月光条例』…少年マンガの20年 その王道を見よ！ 少年マンガの教理と実践 藤田和日郎が『鋼の錬金術師』を読む	藤田和日郎 荒川 弘 対談	ユリイカ	577
特集 荒川弘 『鋼の錬金術師』完結記念特集 二人の錬金術師 対談 “兄弟”たちの絆と闘争 『鋼の錬金術師』と『イムリ』の共鳴	荒川 弘 三宅 乱丈 対談	〃	589
特集 荒川弘 『鋼の錬金術師』完結記念特集 ヘルメスの降り立ちし処〔マンガ〕		〃	〃
“生き物の感触”を持った少年マンガ『鋼の錬金術師』がひらくパラダイム	藤本由香里		
哀しみを背負うものたち 等価交換の不／可能性	雑賀 恵子		
『鋼の錬金術師』から読み解く国家と民族 エルサレムにて	早尾 貴紀		
超人的ユートピアへの抵抗 『鋼の錬金術師』とナチズム	大田 俊寛		
鋼の二つ名は伊達じゃない 錬金術師の実在論	入江 哲朗		
特集 荒川弘 『鋼の錬金術師』完結記念特集 パラケルスの剣〔アゾット〕を持して		〃	〃
インタビュー 魂を受け容れるもの 一夜漬けに始まる少年漫画の骨法	荒川 弘 斎藤 宣彦 聞き手		
ウロボロスの彼方へ 『鋼の錬金術師』における象徴的イメージ	伊藤 博明		
パラケルススの剣〔アゾット〕を持して 巧緻の愉楽	佐藤 亜紀		

特集　荒川弘『鋼の錬金術師』完結記念特集　Lapis philosophorum		〃	〃
サイボーグ時代の終焉　錬成陣と構築式を血肉化する生体	小泉　義之		
二〇世紀型人工装具と機械鎧〔オートメイル〕脱出不可能な身体表象としての『鋼の錬金術師』	原　　克		
変容と破壊をめぐる想像力　再来する錬金術師たち	中尾麻伊香		
パラケルススの「裔」として　錬金術と幹細胞	八代　嘉美		
特集　荒川弘『鋼の錬金術師』完結記念特集「等価交換」の向こう側		〃	〃
二つの『鋼の錬金術師』マンガのアニメ化の時代の変遷	藤津　亮太		
マンガはいかにして「人間」を錬成するのか？『鋼の錬金術師』における「身体」と「内面」	岩下　朋世		
「等価交換」のエコノミー『鋼の錬金術師』の経済学的パラダイム	星野　　太		
Alchemy of Accounting への戸口　ホムンクルスのバランスシート	飯田　一史		
特集　荒川弘『鋼の錬金術師』完結記念特集　錬金術書の暗号解読『鋼の錬金術師』全巻解題	吉川　浩満	〃	〃
人とは何か考えた9年　人気漫画「鋼の錬金術師」終結　作者・荒川弘さんに聞く	高津　祐典	朝日夕刊	6.18
いわて文化ノート　商業デザイナー荒川文助の仕事	原田　祐参	岩手県立博物館だより	127
SPECIAL FEATURE　村上隆　REPORT02　カイカイキキ元麻布オフィス　荒木信雄	山内　宏泰	美術手帖	945
荒木経惟　生欲で撮り描く、アタシの空		芸術新潮	722
INFORMATION　"生欲"にあふれるアラーキーの「遺作」	山内　宏泰	美術手帖	933
特集　猫　この愛らしくも不可思議な隣人　猫と暮らせば　チロは恋人	荒木　経惟談	ユリイカ	588
視線　チロ愛死　荒木経惟著	村山　由佳	朝　　日	10.17
アラーキー「センチメンタルな旅　春の旅」「愛する者失うほど切れ味」　チロちゃん…足元にいて二人で撮った		朝日夕刊	7.7
アラーキーの愛猫チロ死ぬ　「オレを愛してくれた女」		産　　経	3.6
乳房再建　経験者が写真集　荒木経惟さん撮影で19人「闘病の勇気与えたい」	清水　優子	毎　　日	11.19
荒木経惟さん　連れ添った愛猫　最期の日々　センチメンタルな旅　春の旅　ずーっと一緒なんだよ	岸　　桂子	毎日夕刊	6.22
荒木経惟写真集「センチメンタルな旅　春の旅」	(前)	読　　売	6.20
美の履歴書142　本当に降っているのか「花降る日」　有元利夫	大西　若人	朝日夕刊	2.10
ゆったりアート　謎めいて、懐かしく［有元利夫］	岸　　桂子	毎日夕刊	7.23
作品の周辺	有元　容子	実践女子大学美学美術史学	24
体験 LOVERS　第3回　栗辻美早＋鈴木荒太	鈴木　里子	デザインの現場	169
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　阿波野由起夫	阿波野由起夫	美術手帖	937
歌舞伎座の記録を終えて	安斎　重男	ARTLET	34
仕事中おじゃします　イラストレーター　安西水丸さん　描くことへの愛を貫く	小林　伸行	朝日夕刊	4.26

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション Antenna	Antenna	美術手帖	937
創刊60周年記念特大号 わたしが選ぶ日本遺産 アンケートわたしがそれを選んだわけ1 日本人の壮大な発想力	安藤 忠雄	芸術新潮	721
社説 文化勲章 とんがった3人の芸術家[安藤忠雄]		朝 日	10.27
安藤忠雄さん @神戸市立科学技術高 どんな意見も口にせよ	安里麻里子	〃	12.11
人生の贈りもの 建築家安藤忠雄1～4	小林 伸行 聞き手	朝日夕刊	6.7～10
建築家・安藤忠雄×現代美術家・李禹煥@香川・直島 ぶつかり合って新美術館	森本 俊司	〃	6.16
集う 「安藤忠雄講演会」 水に恵まれた日本の自然を見つめ直す	堀 晃和	産 経	10.10
文化勲章に蜷川氏ら 文化功労者に王氏ら 建築家 安藤忠雄さん(69) 大胆な発想、新しい地平開く		〃	10.27
思わず座りたくなる？ 3人が選ぶ「美しい椅子」[安藤忠雄]	河尻 定	日 経	4.8
好奇心の源泉 安藤忠雄さんに聞く 大切な10代の感動体験「籠の鳥」の殻破れ	浅川 澄一	日経夕刊	4.24
喜びの秋 決意新た 文化勲章 安藤忠雄さん アジアと日本建築で結ぶ	安藤 忠雄	〃	10.26
安藤忠雄さんが語る日本の「未来」と「幸福」	山寺 香 聞き手	毎 日	11.4
後藤新平賞に安藤忠雄さん 環境改善に功績	永田 晶子	毎日夕刊	7.21
22人の業績 文化功労者 文化勲章 安藤忠雄さん 建築家独学で40年「まだ途上」		読売夕刊	10.26
記憶 戦後65年 新聞記者が受け継ぐ戦争 山の手空襲・ハチ公像二代の物語 下 父の大作から再生 銅溶かし復興の象徴に[安藤照]	増田恵美子	東 京	5.24
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 編集部が選ぶ 注目の新人アーティスト42	安藤 陽子	美術の窓	321
特集 プレゼン コンペ イベント 必勝!!ガイド イベント編 デザインイベントに参加するには？ DESIGNTIDE TOKYO 2009 出展者に聞く「イベント参加のメリットとは？」 2009年出展者&design、PINTOの声[&design]	高橋 美礼	デザインの現場	169
on reading 本を開けば 画家 安野光雅さん 1～4		朝 日	9.5、12、19、26
おやじのせなか 劣等感の本質教わった 安野光雅さん	天野みすず 聞き手	〃	12.12
新春対談 映画作家河瀬直美さん 「あるもの探し」に転じよう 画家安野光雅さん 大切なのは心豊かな生き方	安野 光雅	産 経	1.5
日本のふるさと 奈良 安野光雅著 美しい一瞬を捕らえる幸運	杉本秀太郎	〃	9.26

（イ）

堀文子 美の旅人 飯島幸永著		日 経	5.23
SPECIAL FEATURE 村上隆 REPORT01 立体制作工房 飯島浩樹	岡澤浩太郎	美術手帖	945
写眼 未知の世界のぞいた興奮 飯島正広「ユキヒョウ」(1989年)	堀 晃和	産 経	7.24
「イエ」をめぐる制作 記号から記憶へ	飯嶋 桃代	女子美術大学研究紀要	40
特集 瀬戸内海 小さな島の大きな宝 4章 小豆島、お遍路スケッチ紀行	飯野 和好	芸術新潮	729

子どもたちへ　江戸の時代劇絵本をシリーズ化した絵本作家飯野和好さん　江戸っ子になりきって読んで	（泰）	読売夕刊	12.11
本づくし　「環境共生とコミュニケーションの時代の住宅とは」『世界住居誌』布野修司編	飯村　和道	ＡＸＩＳ	145
巻頭特集　美術団体はどうなる⁉　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション五百住乙人	高山　　淳	美術の窓	320
連載　デザインと彫刻とぼくのクロニクル	五十嵐威暢	芸術新潮	
その１　ふりかえる			723
その２　故郷に帰る			724
その３　はじめてものをつくる			725
その４　デザインを知る			727
その５　いきなり留学する			728
その６　会社をつくる			729
その７　別荘を建てる			730
その８　企画をたてる、編集をする			731
その９　グリッドで考える			732
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケートわたしがそれを選んだわけ１　これがなくなったらワタシは日本にいなくなる	いがらしみきお	〃	721
連盟創立六十周年記念座談会—六十年を顧みて新たな挑戦—	福王寺一彦、入江　　観、中根　　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　　浩、本郷　寛　談、山本　　貞　司会	連盟ニュース	433
絵画における新しい下地塗料の研究—白亜地キャンバスの走査型電子顕微鏡による観察Ⅱ—　—下地塗料用樹脂と油絵の具の接着性評価試験—	白河　宗利、岩崎　友敬、田中　元偉、猪狩　雅則	愛知県立芸術大学紀要	39
文化往来　東映京都の美術監督・井川徳道の仕事を回顧		日　　経	1.9
池上秀畝《四季花鳥》—描かれたモチーフを中心に—	石井　絵美	長野県信濃美術館紀要	4
芸術新潮特別企画　試みつづけて　池口史子の世界		芸術新潮	724
PREVIEW 池口史子展—原画と油彩—	武田　　厚	美術の窓	319
巨匠展—今そして未来2010　出品作家インタビュー	池口　史子	〃	320
作家通信　素材“墨と紙”	池崎　義男	趣味の水墨画	250
この人　九谷焼のグループ展をニューヨークで開く　池島直人さん	池田　知之	東　　京	10.6
PREVIEW 池田カオル乾漆彫刻展—いとしきもの—	小森佳代子	美術の窓	326
コミック　カレチ１　池田邦彦〈作〉　鉄道をめぐる人間ドラマ	南　　信長	朝　　日	1.10
特集　10年代の日本文化のゆくえ　ポストゼロ年代のサバイバル　美術　マイクロマテリアルな環世界変容へむけて	池田　剛介	ユリイカ	585
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	池田　吏志	美術の窓	321
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　松園・蕉園・成園　三大女流画家の描く女性の美［池田蕉園］		〃	325
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝‼ガイド　コンペ・アワード編　コンペに勝つ秘訣とは何ですか？　森美術館展覧会ポスターコンペ　池田享史の提案	池田　享史談、杉瀬　由希文	デザインの現場	169

新幸福論　生き方再発見　建築家池田武邦さん　神様に生かされた余生、世のため人のため。	中山　裕司	毎日夕刊	8.25
特集＝目黒区美術館「'文化資源'としての〈炭鉱〉展」1　わたしと炭鉱	池田　龍雄	あいだ	169
《特別記事》画家も現場に出かけていった三池ルポ—1960年4月13日	〃	〃	171
石子順造のこと—前号の《回想》にうながされて	〃	〃	176
研究発表〈要約〉　池田龍雄の脱領域的活動—製作者懇談会から劇団・人間座へ—	西澤　晴美	近代画説	19
MEMORIAL　追悼　針生一郎　流れに抗して…針生一郎の歩み	池田　龍雄	美術手帖	943
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　池田秀俊	小森佳代子	美術の窓	320
日々好日　月にある木と人と	池田　政治	新美術新聞	1226
可能性への挑戦　池田満寿夫の版画　京都国立近代美術館所蔵　M&Yコレクション	丸山多美子	どおむ	110
青春プレイバック　池田幹雄　日本画家函館、母、ハーモニカ…追憶の風景が木霊する	袴田　智彦	新美術新聞	1225
日々好日　朝焼け	池田　道夫	〃	1227
「開館三度目の夏のこと」	池田　緑	神田日勝記念美術館だより	27
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　池田宗弘	池田　宗弘	美術の窓	320
視点 Ryutaro Ikeda exhibition at Canary Wharf in London	池田竜太郎	〃	〃
日々好日　落石岬の茶室	池田　良二	新美術新聞	1233
作家随想1　毛深き人たち	池水　慶一	視覚の現場　四季の綻び	7
悼む　伊砂利彦さん　型絵染作家　斬新かつ多くの人が共感	岸　桂子	毎日	5.2
時空・140　旅人	石井　厚生	多摩美術大学研究紀要	24
あとがきのあと「奇跡の画家」後藤正治氏　静けさの中に価値をみる［石井一男］		日経	1.17
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	石井　鈴	美術の窓	321
PREVIEW 石井武夫教授退任記念展「ダミーとわたし」	富山　秀男	〃	326
画家達の描写—日本人旅行者の見たイタリア（4）—［石井柏亭］	真鍋　正宏	人文学	185
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　石井秀隣	磯部　靖	美術の窓	320
特集　デザインを支える職人　クレイモデラー　石井誠　明確なデザイナーの意志を明確なカタチにする仕事	松本　希子	デザインの現場	170
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	石井　誠	美術の窓	321
石井幹子著「光が照らす未来　照明デザインの仕事」	榧野　信治	読売	12.19
PENTA	石井　保幸	明星大学研究紀要	18
eye　ひろしま　in OKINAWA　響き合う「思い」　展覧会、シンポ開催［石内都］	岸　桂子	毎日夕刊	7.1
石内都写真集「tokyo bay blues」	（前）	読売	7.25
卒業生に聞く。連載第一回　石上純也　巨大さがひろがりのなかに溶けていく建築	石上　純也	芸大通信	22
SPECIAL FEATURE　妹島和世＋西沢立衛／SANAA INTERVIEW SANAAを語る3　石上純也	長島　明夫	美術手帖	943

特集　I♥〔あいち〕トリエンナーレ　あいちトリエンナーレ2010　並行企画「石上純也展」	能勢　陽子	ＲＥＡＲ	24
ベネチア・ビエンナーレ国際建築展　セジマが問う空間の本質　石上さんの金獅子賞受賞作　限界の追求評価	大西　若人	朝　　日	9.7
新しい環境へ　上　建築に若手の息吹［石上純也］	〃	朝日夕刊	11.10
ベネチアビエンナーレ国際建築展で金獅子賞　石上純也さん「新しい次元を拓く」建築を	黒沢　綾子	産　　経	9.8
ビエンナーレ建築展で金獅子賞　挑戦し続ける石上純也	五十嵐太郎	東京夕刊	9.28
ベネチア・ビエンナーレで金獅子賞　石上純也氏		読　　売	9.9
「建築」の存在感あえて抑制	高野　清見		
「限界の追求」に高評価	五十嵐太郎		
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ１　和の美学―その正の遺産、負の遺産	石川　九楊	芸術新潮	721
特集　白川静　一〇〇歳から始める漢字当世漢字気質　触知する文字宇宙　漢字・書・詩学	一海　知義 石川　九楊	ユリイカ	576
３賞を受賞したみなさんのスピーチ　大佛次郎賞　触覚なき文字はない　書家石川九楊さん		朝　　日	1.29
東アジア流５　漢字という手がかり　日本先駆の終焉　日中補完時代へ	石川　九楊	東京夕刊	1.8
「書は文学」賛同に喜び　大仏賞の石川九楊さん	（よ）	〃	2.3
劇画暮らし　辰巳ヨシヒロ著「大人のための漫画」の変遷	いしかわじゅん	産　　経	11.21
いしかわ式　今日の漫画	〃	毎　　日	
おんなの窓			4.7
GIANT KILLING			5.5
悪魔くん			7.7
娚の一生			8.4
極道めし			9.8
世界の果てでも漫画描き			10.6
『ガラスの仮面』ファンブック			11.3
なのはなフラワーズ			12.1
この１年　漫画　都青少年条例で衝撃走る　独自の視点、詳細な取材で秀作	〃	毎日夕刊	12.16
REVIEWS03 折り返される場所　「アメリカ抽象絵画の巨匠バーネット・ニューマン」展	石川　卓磨	美術手帖	945
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　石川忠一	高山　　淳	美術の窓	320
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ１　「列島」の遺産	石川　直樹	芸術新潮	721
日常風景に潜む群島の連なりと断絶［石川直樹］		〃	722
特集　瀬戸内海　小さな島の大きな宝　３章　村上水軍と造船王国、しまなみ海道をゆく	石川　直樹	〃	729
レビュー　石川直樹展　ARCHIPELAGO	楠本　亜紀	ＲＥＡＲ	23
逆に14歳　前田司郎〈著〉　夢の再現に向かい走り出す老人たち	石川　直樹	朝　　日	4.4
団地の女学生　伏見憲明〈著〉　語り得ない過去を抱え生きる人々	〃	〃	5.16
話す写真　見えないものに向かって　畠山直哉〈著〉　見慣れた世界を揺さぶって	〃	〃	9.19
野宿入門　ちょっと自由になる生き方　かとうちあき〈著〉　常識に切り込む都市の冒険者	〃	〃	11.28
彩・美・風	〃	朝日夕刊	2.3、10、17、24

写眼　いま、をあるがままに　石川直樹「ARCHIPELAGO」	篠原　知存	産　　経	1.9
意外性のある写真・映像ズラリ　「出発６人のアーティストによる旅」東京都写真美術館[石川直樹]	渋沢　和彦	〃	1.20
オキナワ2010.11中　写真家石川真生さん　「朽ち果てるまで撮る」	斎藤　良太	毎日夕刊	11.5
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　石川将也	石田　純子、吉田　宏子、編集部構成	美術手帖	944
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　石阪春生	高山　　淳	美術の窓	320
コミック　球場ラヴァーズ１　石田敦子〈作〉　野球ファンの気持ちを代弁	南　　信長	朝　　日	9.12
現代美術の歩き方　今月の一品　石田尚志　「海の映画」	飯沢耕太郎	美術の窓	318
特集　アート／アニメーション　豊田市美術館　石田尚志作品夜間野外上映	リア制作室	ＲＥＡＲ	23
美術家がアニメーション展　ケントリッジ、束芋、石田尚志絵画に息吹動き始める	小川　敦生	日経夕刊	2.2
急逝から５年　ついに全作品集刊行[石田徹也]		芸術新潮	728
視線　石田徹也全作品集　石田徹也著	保坂健二朗	朝　　日	6.27
石田徹也没後５年　全作品集　217点、若い心とらえる	西田　健作	朝日夕刊	5.19
石田徹也さん没後５年　「全作品集」刊行　現代人とらえる「悲痛で滑稽」		産　　経	6.13
ユーモア交え現代描いた石田徹也　『全作品集』が異例の売れ行き　共感を呼び絵画の力示す	岸　　桂子	毎日夕刊	7.5
創造神話　石田徹也五周忌展　時代の閉塞感体現した風景	菅原　教夫	読　　売	6.10
調査研究から２　作家紹介　石田黙	河野　元昭	視覚の現場　四季の綻び	6
視点　石谷孝二　加彩テラコッタ展「仁風閣の樹下美人」	石谷　孝二	美術の窓	327
時代の証言者　まんが道60年藤子不二雄Ⓐ11　トキワ荘の「兄弟」たち[石森章太郎]	小梶　勝男	読　　売	6.23
資料紹介　河邊榮養石橋和訓画伯小伝について	真住　貴子	島根県立石見美術館研究紀要	4
読書をする人６　石橋和訓	左近充直美	新美術新聞	1229
第五十七回日本伝統工芸展受賞者に聞く	吉田　幸央、石橋　裕史、中田　一於、中島　宏、前田　正博、前田　昭博、石崎　泰之、金子　賢治、司会	陶　　説	692
第57回日本伝統工芸展　陶芸　文部科学大臣賞　彩刻磁鉢　石橋裕史	金子　賢治	朝日夕刊	9.18
石原長光　研究ノート	和田佐知子	山梨県立美術館研究紀要	24
現代美術の歩き方　今月の一品　担当：石原友明＋中原浩大　盲目のクライマー／ライナスの散歩	保坂健二朗	美術の窓	325
アクリリックス・ワールド55　石原延啓	石井　芳征取材・文	美術手帖	932
現代風景画８選　石丸康生	高山　　淳	美術の窓	324
石本正と592人で描く天井画ものがたり		芸術新潮	724
対談　特別対談「描くよろこび」	梅原　　猛、石本　正　談	美術京都	41
壁に飾られた花は？　日本と北欧の融合　石本藤雄の布と陶	川尻　　定	日　　経	6.9
操作する視覚、操作される視覚―写真集『桂―日本建築における伝統と創造』をめぐって―[石元泰博]	金　　相美	フィロカリア	27
視線　石元泰博　桂離宮　石元泰博著	森村　泰昌	朝　　日	8.8

追憶の風景　シカゴ写真家　石元泰博　撮った学んだ心の故郷	西田　健作	朝日夕刊	11.30
桂離宮　石元泰博著		日　経	6.27
石元泰博写真集「桂離宮」	（前）	読　売	6.13
ユビキタス社会と建築・都市のフロンティア　第1部　総論　ユビキタス社会と建築デザイン―映像・情報・編集　フィリップ・ジョンソンのガラスの家を介して―	石山　修武	建築雑誌	1599
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist　犬島維新派		美術手帖	938
SPECIAL FEATURE　この夏行きたい！アートの旅　SETOUCHI GUIDE 4　瀬戸内国際芸術祭参加アーティストに聞く！　維新派―松本雄吉	白坂　ゆり	〃	940
コミック　おんさのひびき1・2　伊図透〈作〉　少年が世界を体得するとき	南　信長	朝　日	6.13
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　泉太郎	泉　太郎	美術手帖	937
PREVIEW　泉東臣展	切刀　知子	美術の窓	321
葬送　日本画家・作家　出雲井晶さん　日本神話の「心」描き続け	磨井　慎吾	産　経	5.23
私のゴッホ5　失墜と栄光兄弟の木　草むらの中の幹	伊勢　英子	東京夕刊	10.27
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ1　すべては暗闇で行なわれる	磯崎　新	芸術新潮	721
日記のなかの建築家たち　第4回　磯崎新特集とカーン特集	中村　敏男	建築雑誌	1603
2010年日本建築学会作品選奨　ハラミュージアムアーク［磯崎新］		〃	1607
批評　布野修司の現代建築家批評29　廃墟―磯崎新の零地点	布野　修司	建築ジャーナル	1167
美術家・荒川修作さんを悼む　究極の作品に昇華した「死」	磯崎　新	朝　日	5.22
追悼　荒川修作氏　遺された“スフィンクスの謎”	〃	産　経	5.25
インタビュー領空侵犯　文化の「鎖国」で独自価値を　今は和様化に徹すべき　建築家磯崎新氏	足立　則夫　聞き手	日　経	2.22
喪友記　荒川修作さんを悼む　規格外の存在	磯崎　新	〃	5.22
ベネチア国際建築展の報告―磯崎新・審査員　建築の初心取り戻す	〃	日経夕刊	9.28
特集ワイド　この国はどこへ行こうとしているのか　建築家磯崎新さん　「和様化」今が好機	中山　裕司	毎日夕刊	1.8
ベネチア・ビエンナーレ建築展　脱・狂乱　基本へ回帰	磯崎　新	読　売	9.30
本づくし　「人について考える手がかり」『ヒトはどのようにしてつくられたか』　山極寿一著	磯野　梨影	ＡＸＩＳ	146
第57回日本伝統工芸展　木竹工　日本工芸会総裁賞　重ね六つ目盛籃「水鏡」　磯飛節子	小松　大秀	朝日夕刊	9.18
わたしの宝もの55　山崎の谷戸	磯部光太郎	新美術新聞	1204
随筆　版画協会初出品のころ	磯見　輝夫	日本版画協会々報	147
葆光彩　板谷波山「葆光彩磁草花文花瓶」	柏木　麻里	東京夕刊	3.2
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　市川孝典	市川　孝典	美術手帖	937
線香の火で描く心の残像　太さ・成分で異なる焦げ目を使い分け	〃	日　経	2.1
特集　平城遷都1300年考		建築雑誌	1611
図説　平城九相図	市川　智子		

第二部　鼎談　都市景観における1300年　復元から持続可能性へ	斎藤　英俊、宗田　好史、宮城　俊作、清水　重敦、市川　智子聞き手		
編集後記　色と風土の一考察	市川　智子		
想像力の現在		ユリイカ	577
物は人のように、人は物のように	市川　春子名久井直子聞き手		
おもうことはできる[市川春子]	松田　青子		
妹とともに　「日下兄妹」によせて[市川春子]	最果　タヒ		
愛するフラクタル　市川春子『虫と歌』	藤岡　俊博		
第14回手塚治虫文化賞　新生賞　「虫と歌」　市川春子さん「他者との関係性」繊細に	小原　篤	朝　日	4.19
市島桜魚　2008～2009年　作品の解説	市島　桜魚	金沢学院大学紀要*	8
写眼　言葉のあてはまらないもの　市橋織江「パパイヤと夏の海」	篠原　知存	産　経	7.10
《追悼》湧き上がる生命――原有徳さん	玉川　薫	あいだ	178
ひと　ホームレスになって、アーティストは何を訴えるのかいちむらみさこさん	杉原　里美	朝　日	2.15
特集　アート／アニメーション　アンケート	ツジシンヤ岡田　昭憲杉田　崇永下山由香井出　絢子渡辺　豪大崎のぶゆき	REAR	23
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL.20 CASE 8　井出三太うしろの正面、だぁれ	井出　三太談	美術の窓	326
視点　現代童画会セルビア展報告	糸井　邦夫	〃	316
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　糸井達男	高山　淳	〃	320
作家訪問403　陶芸家　伊藤明美さん	編集部	目の眼	405
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　伊藤彩	伊藤　彩	美術手帖	937
戦後の巨匠11[伊藤清永]	林　紀一郎	美術屋・百兵衛	15
神宮名品解説　神宮美術館所蔵　洋画「ディバンによる」[伊藤清永]	中村　潔	瑞　垣	215
新しい生活	伊藤　圭	A　S	33
伊藤公象《アルミナのエロス(白い固形は…)》の作品研究	森　千花	東京都現代美術館年報・研究紀要	12
レビュー　伊藤公象 WORKS　1974―2009　秩序とカオス	井野　功一	REAR	23
交遊抄　恐妻家と自認	伊藤　公象	日　経	10.23
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　伊藤髙義	高山　淳	美術の窓	320
「一九世紀京都」への一視点―田村宗立、伊東忠太を中心に―	山野　英嗣	視　る	442
特集　エフェメラ(ephemera)―短命な建築媒体を後世に―第三部〈展開〉市場価値の開拓　聞取り2　建築資料の国際化	伊東　豊雄山口　俊浩、森本　英裕聞き手	建築雑誌	1610
第22回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決定　建築部門で伊東豊雄氏が受賞！　エンリコ・カステラーニ氏[絵画]、レベッカ・ホルン氏[彫刻]ら5部門5名に決定		新美術新聞	1229
SPECIAL FEATURE 妹島和世＋西沢立衛／SANAA INTERVIEW SANAAを語る 1　伊東豊雄	長島　明夫	美術手帖	943
呼吸している場所　10年目のメディアテークへ	伊東　豊雄木村浩一郎鹿野　護	ミルフイユ	2
朝日賞のみなさん　建築家伊東豊雄さん　おおらかな空間提案	大西　若人	朝　日	1.1

3賞を受賞したみなさんのスピーチ　朝日賞　二つの夢実現したい　建築家伊東豊雄さん		〃	1.29
伊東建築背景に「諏訪湖」　朝日賞受賞講演　次世代養成「塾」構想も[伊東豊雄]	大西　若人	朝日夕刊	6.17
世界文化賞建築部門伊東豊雄氏　「圧倒的な職人技が支え」		産　経	9.15
第22回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔　限りなき表現への道　建築部門　伊東豊雄　型にはまらない「軽快感」		〃	〃
高松宮殿下記念世界文化賞　建築部門建築家・伊東豊雄さん　既成概念問い直し「人を自由に」	篠原　知存	〃	10.4
世界文化賞伊東豊雄さん講演　「自然との関係回復へ新しい秩序を」		〃	10.15
伊東豊雄氏の建築ミュージアム、今治に誕生へ　町を変える現代の寺子屋	窪田　直子	日経夕刊	8.10
名古屋港景観アドバイザーの経験を通して	伊藤　豊嗣	名古屋造形大学紀要	16
この人　戦争の愚かさ訴える油絵　「はな一代記」描き続ける　伊藤宏さん	新井　友尚	東　京	4.25
特集――九〇〇年パリ万国博覧会出品作(二)　九代伊藤平左衛門作「日本貴紳殿舎計画図」―『巴里萬国大博覧会出品録』をひもといて	松谷　芙美	三の丸尚蔵館年報・紀要	15
伊藤快彦作《新島襄像》の考察	石井　香絵	美術史研究	48
マンガ最前線　伊藤悠著『シュトヘル』　伝説の騎馬民族を活写	細萱　敦	東京夕刊	7.6
写眼　横たわった鳥の時間　伊藤義彦「時のなか」(平成20年)	三品　貴志	産　経	2.27
いしかわ式　今日の漫画　おんなの窓[伊藤理佐]	いしかわじゅん	毎　日	4.7
大楽人　紙彫刻家伊藤航さん　身近なものを芸術に	清水　祐希	毎日夕刊	11.19
日本美術会はなぜ今、あの大会場でアンデパンダン展を開催するのだろうか	いなおけんじ	美術運動	137
日々好日　似顔絵	稲垣　考二	新美術新聞	1230
資料紹介　稲垣仲静『夏休日誌』	小倉　実子	視　る	448
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　稲葉一枝	高山　淳	美術の窓	325
コミック　弾丸ティアドロップ1　稲美独楽〈作〉　女殺し屋と少年の恋愛活劇	南　信長	朝　日	11.7
聞きたいこの人の言葉　書家稲村雲洞さん　自問自答飽くことなし	岩村　暢子 聞き手 内藤麻里子 構成	毎　日	5.29
建築　乾久美子「ヒビヤカダン　日比谷公園店」　周囲とも呼応、圧倒的な開放感	五十嵐太郎	毎日夕刊	1.25
PREVIEW　花〈烏鷺〔うろ〕〉　繚乱V　井上勝江展	佃　堅輔	美術の窓	319
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　井上勝江	〃	〃	325
現代風景画8選　井上武	高山　淳	〃	324
井上雄彦の「バガボンド」　巨大墨絵で登場	(寿)	東京夕刊	1.15
新幸福論　生き方再発見　漫画家井上雄彦さん　感覚を研ぎ澄まし、自分の体に集中する。	鈴木　梢	毎日夕刊	1.15
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　井上俊郎	瀧　悌三	美術の窓	320
受賞者訪問2　第10回桜の森彫刻コンクール　大賞受賞　井上麦		ギャラリー*	298
Close-up　井上雅之　土と格闘　溢れんばかりの創造力		〃	300

研究報告　新しい陶教育をめぐる総合研究	井上　雅之 北澤　憲昭 北村　仁美 冨田　康子 尹　熙倉	多摩美術大学研究紀要	24
井上萬二さん個展 技術の極意を語る人間国宝の陶芸家	西田　健作	朝　日	6.12
連載　辻惟雄×村上隆　ニッポン絵合せ【十番】井上有一	辻　惟雄 村上　隆	芸術新潮	729
日本書の〈根源〉へ5 書と母なる音あるいは無限クレオール(後篇)[井上有一]	石川　翠	墨	202
文化往来　大空襲の体験に基づく井上有一の遺墨展		日　経	3.8
ほとばしる井上有一の前衛書道　日本人で唯一　中国『名画家全集』入り	王　敏	毎日夕刊	2.3
Close-up　井上裕起 山椒魚に初めて着物を着せた作品を発表…！　自由な発想で立体の世界を広げる表現者		ギャラリー*	301
2010年日本建築学会作品選奨　代々木ゼミナール本部校　代ゼミタワーオベリスク[井内雅子]		建築雑誌	1607
アート・トーキング 猪熊弦一郎　「宇宙都市休日」	佐山　由起	日　経	6.9
PREVIEW 猪爪彦一展　銅版画作品集『夜の風景』1977—2009出版記念展	編　集　部	美術の窓	316
PREVIEW 伊庭新太郎展	高山　淳	〃	319
第42回日展を前にして　各科審査員より審査に臨み	井隼　慶人	日展ニュース	138
日本二十六聖人殉教記念施設における今井兼次の初期構想について　日本二十六聖人殉教記念施設にみる今井兼次の建築思想に関する研究(その1)	原　衣代果 石川　恒夫	日本建築学会計画系論文集	651
視線　光と重力　今井智己著	北澤　憲昭	朝　日	1.24
写眼　「匿名の風景」が持つ表現　今井智己「光と重力」	篠原　知存	産　経	2.20
わが作陶人生を振り返って	今井　政之	陶　説	682
《追悼・今泉省彦》		あいだ	178
1　「俺は軍人……この野郎やい」—今泉省彦さんをしのぶ	菊畑茂久馬		
2　私と美学校—赤瀬川教場と今泉さんのこと	南　伸坊		
《再録》花火の記憶	今泉　省彦	〃	178
「古樹木兎図」　今尾景年		石川県立美術館だより	325
コミック　引き潮 いましろたかし〈作〉物語は消えて起伏だけが残る	ササキバラ・ゴウ	朝　日	8.22
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　今津景	今津　景	美術手帖	937
迎合せぬ美　心動かす　海外でも評価　未来に光[今中博之]	岩岡　千景	東　京	2.28
墨のある風景　今村紫紅《柿の秋》	高梨　純次	趣味の水墨画	257
作家随想2　「私」を巡って	今村　源	視覚の現場　四季の綻び	4
写眼　「魔法の時間」の想像力　今森光彦「活動を始めたミツユビナマケモノ(パナマ)」(1990年代)	堀　晃和	産　経	11.13
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　プレゼン編　国民的ドラマの広告プレゼンの裏側　NHK大河ドラマ「龍馬伝」ポスター[居山浩二]	杉瀬　由希	デザインの現場	169
デザイナーが推薦する現代の職人　居山浩二推薦　凸版印刷甲州博行	草野　恵子、 立古　和智、 渡部　千春、 松本　希子、 編　集　部	〃	170
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　井山庄司	高山　淳	美術の窓	320
展覧会とアーティスト11　入江明日香新作展　年々進化を遂げる画家の、新たな地平		ギャラリー*	307

入江明日香　銅版が魅せる色彩のコラージュ	友澤　宏子	版画芸術	147
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	入江明日香	美術の窓	321
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　入江一子「NY個展が大盛況」	高山　淳	〃	325
川上澄生展に寄せてその魅力の源は「詩心」にあり	入江　観	新美術新聞	1214
追悼　五味秀夫氏を偲んで	〃	〃	1227
巻頭特集　美術団体はどうなる⁉　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　美術団体のあり方―春陽会の歩み	〃	美術の窓	320
連盟創立六十周年記念座談会―六十年を顧みて新たな挑戦―	福王寺一彦、入江　観、中根　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　浩、本郷　寛　談　山本　貞　司会	連盟ニュース	433
「海の幸」会のこと	入江　観	日　経	3.14
あすへの話題	〃	日経夕刊	7.6、13、20、27、8.3、17、24、31、9.7、14、21、28、10.5、12、19、26、11.2、9、16、30、12.7、14、21、28
奈良文化考　愛する大和路を撮り続けた写真家・入江泰吉		美術屋・百兵衛	12
eye　画家・杉本健吉×写真家・入江泰吉　二人の奈良大和路	説田　晃大	毎日夕刊	4.22
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　入江康子	高山　淳	美術の窓	325
Recommend! Architecture　9坪の家・length[伊礼智]	鈴木　紀慶	デザインの現場	169
みんなのマンガ学　人間という「生き物」の矛盾　寄生獣[岩明均]	表　智之	朝日夕刊	9.27
CG名手のアナログ回帰⁉　岩井俊雄さんの絵本「100かいだてのいえ」シリーズ大人気　娘誕生が転機　紙媒体に“ハマる”	宮田奈津子	産　経	3.22
祝迫芳郎		art _ icle	33
「版画アートコレクション」の作家　岩切裕子　「絵画」となった木版画表現	松山　龍雄	版画芸術	150
座談会　「第四十二回日展　審査を終えて」	中山　忠彦、寺坂　公雄、岩倉　寿、藤森　兼明、川崎　普照、奥田小由女、井茂　圭洞　談　清水　透石　司会	日展ニュース	139
彩・美・風	岩合　光昭	朝日夕刊	7.7、14、21、28
どうぶつのかたち十選1～10	〃	日　経	9.28、30、10.1、4、5、7、8、11、14、15
「岩合光昭のネコ47都道府県の408にゃんこ」	(前)	読　売	3.21
ぎゃらりいモール　笠間日動美術館「岩合光昭写真展×B.T.グリーヴ」から「アフリカゾウ　国際自然保護連合レッドリストVU(絶滅の危機が増大している種)」	亀山　浩一	読売夕刊	7.27
夢の力	岩佐　なを	東京夕刊	3.2
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	岩崎　絵里	美術の窓	321
ちひろとちひろが愛した画家たち	山田　実穂	ちひろ美術館・東京　美術館だより	171
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座VOL.20　昭和に出会える展覧会2　絵雑誌「コドモノクニ」といわさきちひろ	竹迫　祐子	美術の窓	326

岩崎巴人さんを偲ぶ—その類い稀なる画業	豊島　宗夫	新美術新聞	1219
研究報告　バイオメディア・アート	久保田晃弘 岩崎　秀雄	多摩美術大学研究紀要	24
巻頭特集　1年まるごと保存版！今年必見の展覧会 BEST 200　追悼　追悼・岩澤重夫さん	内山　武夫	美術の窓	317
大正・昭和戦前期における岩田正巳の画風変化について—新興大和絵会、国画院とのかかわりから	長嶋　圭哉	新潟県立近代美術館研究紀要	9
作家がいた　岩永勝彦	高山　　淳	美術の窓	321
美術学部教員展図録日本画	岩永てるみ	愛知県立芸術大学紀要	39
展覧会とアーティスト5　岩波昭彦日本画展　大都会の音や空気、人々の息遣いが聞こえてくるような『都市像』を		ギャラリー*	308
彫刻家の現場から67 岩間弘	武田　　厚	美術の窓	326
特輯　和製油画　印藤眞楯　夜桜	山野　英嗣	国　　華	1382

（ウ）

洋画家・植木和義		美術屋・百兵衛	14
顔　国際アニメーション映画協会主催のアニー賞で美術賞に輝いた　上杉忠弘さん	恩田　泰子	読　　売	2.17
第17回 MOA 岡田茂吉賞　受賞作決まる　絵画部門大賞は滝沢具幸氏　工芸部門大賞は秋山陽氏　MOA 美術館賞に植田一穂氏　大角幸枝氏　須田賢司氏　前田正博氏		新美術新聞	1214
第21回五島記念文化賞決まる　美術新人賞に　上田順平氏　田口和奈氏		〃	1215
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　上田順平	太田垣　實	美術の窓	321
『少女四態』とその周辺作品における植田調の成り立ち[植田正治]	荒川美世子	芸術文化研究	14
美の履歴書172　カメラ目線なのは「パパとママとコドモたち」　植田正治	西田　健作	朝日夕刊	9.15
ゆったりアート　銅版画の小宇宙[植田正治]	岸　　桂子	毎日夕刊	8.27
eye　砂丘に刻んだ家族の構図　没後10年植田正治さん「写真とボク」	伊藤　俊文	〃	12.16
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　上西茂	高山　　淳	美術の窓	320
上野伊三郎の建築活動について	笠原　一人	日本建築学会計画系論文集	649
コミック　さよならもいわずに　上野顕太郎〈作〉　大切な人がある日突然…	山脇　麻生	朝　　日	8.1
維新期のネガ、ウィーンに　先人の写真技術　貴重な資料[上野彦馬]	渡辺　延志	〃	11.23
上野リチ壁画装飾の保存	山領　まり	美術運動史研究会ニュース	108
植葉香澄—奇想の陶芸「キメラ」	柴辻　政彦	陶　　説	685
「第四回試みの茶事」を終えて	植葉　香澄、奥村　博美、加藤　　委、村田　　森、柳原　睦夫、梅田　　稔、沢田眉香子談 森　　孝一司会	〃	693
追悼　西島安則氏　懐の深さ、間口の大きさへ敬服	上村　淳之	新美術新聞	1235
PREVIEW 喜寿記念—上村淳之展	編　集　部	美術の窓	322
ひと　平城宮跡に復元される大極殿に「四神」を描く日本画家　上村淳之さん	土居　新平	朝　　日	3.19
生誕120年小野竹喬展　来月から　東京国立近代美術館　日本画家上村淳之さん	上村　淳之談 川俣　享子	毎　　日	2.10

ひと　遷都1300年で復元された平城宮大極殿に壁画を描いた上村淳之さん	澤木　政輝	〃	5.14
上村松園《人生の花》	尾崎　眞人	京都市美術館年報	H20年度
上村松園が描く女性像に関する一考察―明治・大正期を中心に―	竹川　良子	芸術学研究（京都造形）	3
特集１　上村松園		現代の眼	583
近代美術制度と成功の軌跡	児島　薫		
倣古画―松園が伝統から学んだもの	増渕　鏡子		
上村松園の初期作品《花ざかり》についての一考察	國永　裕子	美学論究	25
特集　謎解き名画―イコノグラフィ研究―　日本編　謎９　蜘蛛の巣・着物の袖・眉　「砧」「焔」「草紙洗小町」「母子」「序の舞」［上村松園］	中村　麗子	美術の窓	323
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　松園・蕉園・成園　三大女流画家の描く女性の美		〃	325
美の美　上村松園―未到の美人画　上、中、下	宮川　匡司	日　経	9.19、26、10.3
珠玉の一点　上村松園展　上、中、下	篠田　節子	日経夕刊	10.7～9
ACP Artists×Critics		CLOSET	3
Listen to my voice ARTIST　上村友里	上村　友里		
繋がること CRITIC　面出和子［上村友里］	面出　和子		
ACP Open Discussion［上村友里］	松本 上村 鈴木 中村 山田 塩田 片山 倉茂 奥村 沼下	〃	〃
写眼　不安、事件、疑念も投影　上本ひとし「旧八海橋」（平成21年）	堀　晃和	産　経	6.26
交遊抄　鞴祭りに集う	魚住　為楽	日　経	6.15
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　宇佐美明美	高山　淳	美術の窓	320
「宇佐美圭司―絵画の歩み」に寄せて	宇佐美圭司	和歌山県立近代美術館ニュース	63
カンディンスキーと青騎士の画家たち５　止まった「時間」の回復　《コンポジション VII》のための習作２　ヴァシリー・カンディンスキー	〃	東京夕刊	12.3
青春の刻　宇佐美江中　日々に生きる師の心		趣味の水墨画	261
人・模・様　政府提言書で世界デビュー［宇佐美志都］	高倉　友彰	毎日夕刊	10.25
写眼　読み取れる別の物語　潮田登久子「Biblioteca―本の景色」	篠原　知存	産　経	10.16
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その32　牛島憲之・自画像・マイボウル	林　紀一郎	新美術新聞	1235
「クレヨンしんちゃん」連載復活　「世界観大切に」遺志継ぐ［臼井儀人］	萩原万貴枝	産　経	8.17
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART２　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　薄久保香	薄久保　香	美術手帖	937
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　宇高龍	高山　淳	美術の窓	320
江戸博蔵めぐり　衣喰住之内家職幼絵解之図　第十三上棟　二代歌川国輝・画	真下　祥幸	読　売	6.4
特集　近代とノスタルジア　国政四代、国貞三代、香朝楼豊斎―知られざる「明治の江戸っ子」絵師［四代目歌川国政］	及川　茂	日本思想史	77

江戸博蔵めぐり　東京名所之内銀座通煉瓦造鉄道馬車往復之図　歌川広重（３代）・画	斎藤　優美	読　　売	2.19
みんなのマンガ学　南くんの恋人　他人と暮らす生々しい現実［内田春菊］	吉村　和真	朝日夕刊	2.10
特集　検証・三菱一號館再現		建築雑誌	1598
Ⅰ　問題提起　再現は是か非か	内田　祥士 後藤　　治		
Ⅱ　再現の経緯　インタビュー「三菱一號館」再現の目的と意味　第一部　三菱地所設計	東條　隆郎、 山極　裕史、 野村　和宣、 野田　郁子 内田　祥士、 後藤　　治 聞き手		
Ⅱ　再現の経緯　インタビュー「三菱一號館」再現の目的と意味　第二部　三菱地所	長島　俊夫、 村田　　修 内田　祥士、 中谷　礼仁 聞き手		
Ⅲ　鼎談　再現建造物の可能性―三菱一號館を巡って	松山　　巖、 古谷　誠章、 土居　義岳 内田　祥士、 後藤　　治 聞き手		
Ⅴ　総括　再現の評価と残された課題	内田　祥士 後藤　　治		
特集　建築・有象無象　セクション２：有名性からのジャンプ　08　広瀬鎌二―ハイテクデザインへの道からの離脱	内田　祥士	〃	1600
特集　建築年報2010―建築学会総スクラム　第一部　歴代会長座談会　歴代学会長に聴く―学会活動これまでの10年と今後	岡田　恒男、 仙田　　満、 秋山　　宏、 村上　周三、 斎藤　公男 後藤　　治、 内田　祥士、 陶器　浩一 聞き手	〃	1608
特集　構造者の格律		〃	1609
第二部　鼎談　不確実性をどうとらえるか	和田　　章、 神田　　順、 内田　祥士 陶器　浩一、 中江　　哲、 福島加津也 聞き手		
第二部　インタビュー　合理が振れたとき―新耐震施行から学ぶこと	高坂　清一 内田　祥士、 陶器　浩一、 中江　　哲 聞き手		
編集後記　相対的なものとしての設計基準	内田　祥士		
特集　平城遷都1300年考　第一部　鼎談　古代建築の復元と平城遷都1300年祭	渡邉　定夫、 杉本　洋文、 清水　重敦 金　　玟淑、 内田　祥士 聞き手	〃	1611
ヒマラヤに咲く子供たち　内野克美著		日　　経	5.9
オーロラに魅せられて　写真家・内野志織さんが作品集	神足　俊輔	毎　　日	12.11
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　内野典子	高山　　淳	美術の窓	320
内畠暁園について―近代京都画壇から見た画業―	上田　　文	鹿島美術財団年報・別冊	27
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　うつゆみこ	うつゆみこ	美術手帖	937
コミック　宇宙屋台へおいでませ　うつろあきこ〈作〉　異星人が集う癒やしの空間	山脇　麻生	朝　　日	11.28
総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　対談　時代の空気をそっと捉える―イラストレーターという職業	中村　佑介 宇野亜喜良	ユリイカ	578
視線　平田暁夫の帽子　平田暁夫著、宇野亞喜良編	北澤　憲昭	朝　　日	5.2
タイムカプセル　宇野亜喜良さん　大人の読み物で挿絵に興味	佐々木亜子	読売夕刊	4.3
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　卯野和宏	瀧　　悌三	美術の窓	321
大阪市立東洋陶磁美術館　特集展「初代宇野宗甕の陶芸」に寄せて	樋口とも子	陶　　説	683

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　宇野満寿美	磯部　靖	美術の窓	320
特集　作家座談会と小川英晴の作品評論　公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)　座談会：公募展への視点	生方　純一、川内　悟、齋藤　茂男、舘野　弘、中島　敏明、林　純夫、福田　玲子、山中　宣明　司会	ギャラリー*	305
五線譜　私とアートの新しき「ふるさと」[産形美奈子]	石田裕貴夫	朝　日	7.9
SPECIAL FEATURE　この夏行きたい！アートの旅　IZU GUIDE　伊豆　吉高由里子×梅佳代　クレマチスの丘、日帰り旅	編　集　部	美術手帖	940
INFORMATION　AUTHOR　この本の著者に会いたい　普通の人の目線の先に。　梅佳代の新作写真集『ウメップ』	宮村　周子	〃	〃
秋元康流“アートのすすめ”　第25回ゲスト　梅佳代	秋元　康、梅佳代　談　山内　宏泰　構成	〃	944
おやじのせなか　ギャグも愛情もたっぷり　梅佳代さん	中村真理子　聞き手	朝　日	9.26
ウメップ　梅佳代著		日　経	7.25
梅佳代さん　最新写真集「ウメップ」好調　街角の光景、笑み誘う		日経夕刊	8.31
梅佳代写真集「ウメップ」	(前)	読　売	8.22
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編　コンペに勝つ秘訣とは何ですか？　森美術館展覧会ポスターコンペ　梅沢篤の提案	梅沢　篤　談　杉瀬　由希文	デザインの現場	169
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[梅沢和木]		ギャラリー*	306
楳図かずお『洗礼』、その身体と記憶	高橋　明彦	金沢美術工芸大学紀要	54
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　梅原龍三郎―国画創作協会から国画会への立役者		美術の窓	320
読解絵画鑑賞講座11[梅村圭]	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛	15
資料紹介　梅村豊撮影歌舞伎写真(二)	金子　健	無形文化遺産研究報告	4
ゼロ年代の50冊　2000―2009　PLUTO　巨匠と天才の幸福な出会い[浦沢直樹]	西　秀治	朝　日	10.10
マンガの時代　浦沢直樹「MONSTER」(1994～2001年)　手塚の「引用と加工」継承	竹内オサム	日経夕刊	5.26
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　浦野吉人	高山　淳	美術の窓	320
21世紀芸術研究所―3 Key Words Research―　漆原夏樹		ギャラリー*	301
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　話題の若手作家ピックアップ2　日本画編　漆原夏樹	漆原　夏樹	美術の窓	321

(エ)

みんなのマンガ学　東京大学物語　波瀾万丈な恋愛と受験[江川達也]	吉村　和真	朝日夕刊	2.17
リレーおぴにおん　「休み」は気から8　締め切りに間に合わないことでも有名な人気漫画家　江口寿史さん　描いてないけど休んでない	鈴木　繁　聞き手	朝　日	10.29
「ストップ!!ひばりくん！」完全版刊行　江口寿史さん「27年間の敗北感」に区切り		産　経	8.10
私だけのふるさと　「第3回南九州魅力発掘大賞」受賞記念　須飼秀和さんイラスト特集[江口寿史]		毎日夕刊	6.3

Recommend! Graphic 『コピー年鑑2009』[えぐちりか]	立古　和智	デザインの現場	169
特集　アート／アニメーション　アンケート	ツジシンヤ 岡田　昭憲 杉田　崇 永下山由香 井出　絢子 渡辺　豪 大崎のぶゆき	ＲＥＡＲ	23
コミック　このたびは　えすとえむ〈作〉ささやかなドラマ情緒豊かに	南　信長	朝　日	10.24
仏画僧・慧善玄潭		美術屋・百兵衛	12
2010年日本建築学会作品選奨　福山市まなびの館ローズコム(福山市中央図書館・福山市生涯学習プラザ)[江副敏史]		建築雑誌	1607
毎日写真コンテスト総評　真摯なまなざし感じた	江成　常夫	毎　日	12.16
REVIEWS01 椹木野衣 月評第18回 半身のローズ 榎忠「神戸ビエンナーレ2009」	椹木　野衣	美術手帖	933
特集・座談会　「観○光」EXPO2010 京都の歴史、日本と向き合うアーティストたち	榎　俊幸 ゲオーク・マテス 中堀　慎治 塙　冨士雄 間島　秀徳 山内　隆 ヤン・シャオミン	ギャラリー*	307
特集　これ一冊で大丈夫!!画材大研究 アクリルには可能性がいっぱい　榎俊幸さんに聞きました	榎　俊幸	美術の窓	327
作品研究　榎倉康二のしみ―「いみありげなしみ」展覚え書き	蔵屋　美香	現代の眼	583
近代美術の眼　二つのしみ　榎倉康二	〃	読　売	4.23
現代風景画８選　榎原保	高山　淳	美術の窓	324
人生の贈りもの　マンガ家蛭子能収１～５	平出　義明 聞き手	朝日夕刊	2.22～26
私のグッとムービー　蛭子能収さん「遊星からの物体X」　もう、ドキドキしっぱなし	根岸華奈子 聞き手	〃	10.1
ポチョムキンの風	海老塚耕一	多摩美術大学研究紀要	24
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　プレゼン編　あの人のポートフォリオが見たい！　自らの分身として機能する存在感　蝦名龍郎	立古　和智 編　集　部	デザインの現場	169
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　江本智美	高山　淳	美術の窓	320
コミック　ちづかマップ　衿沢世衣子〈作〉　地図を携えて街へ出よう	山脇　麻生	朝　日	1.31
REVIEWS EX　ここがあるだけでその外部はない　快快『SHIBAHAMA』、遠藤一郎『愛と平和と未来のために』	木村　覚	美術手帖	943
自然もごみもアート　源流から河口まで　隅田川を実感[遠藤一郎]	三沢　典丈	東京夕刊	7.16
肉体派アート「生きる」を実感　ほふく前進・柔道受け身行進[遠藤一郎]	富田　律之	日経夕刊	1.19
制作記録　スペイン・バレンシアにおける研究活動　[Digital Media1.0]展	遠藤　研二	金沢美術工芸大学紀要	54
アートの地殻変動16　遠藤利克＋中原佑介＋北川フラム	永峰　美佳	美術手帖	940

（オ）

特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　及川聡子	山下　裕二	美術の窓	321
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　大石久美江	高山　淳	〃	325
2010年日本建築学会作品選奨　水無瀬の別棟[大内祥子]		建築雑誌	1607
大正期・社寺宝物館の建築意義―大江新太郎設計の高野山霊宝館について―	川島　智生	華頂博物館学研究	17

この本この人 『ひえーっ！似顔絵集「顔ブレ」』 似顔絵画家大岡立さん	三品 信	東京	11.14
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現 新進79作品 平面作品部門秀作賞 大川ひろし氏 行き場をなくした素顔	大川ひろし	産経	3.12
展覧会とアーティスト12 大河原愛展「存在の純度／深層の在処」 美化されることのない、そのままの人の存在		ギャラリー*	307
大河原典子	斎藤 美和	art _ icle	29
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 大久保澄子「創造力の力」	高山 淳	美術の窓	325
月刊ギャラリー創刊25周年記念 アートの25年と85年生まれのアーティスト[大久保如彌]		ギャラリー*	306
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 今、輝いている女性アーティストたち 大久保正子	高山 淳	美術の窓	325
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 大熊栄子	〃	〃	320
PREVIEW 人と自然の共生 大隈武夫展	〃	〃	318
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 編集部が選ぶ 注目の新人アーティスト42	大坂 秩加	〃	321
作品研究 木工芸の創造—大坂弘道の新収蔵作品について	諸山 正則	現代の眼	582
特集 アート／アニメーション アンケート	ツジシンヤ 岡田 昭憲 杉田 崇 永下山由香 井出 絢子 渡辺 豪 大崎のぶゆき	REAR	23
資料紹介 島根県立石見美術館所蔵 大下藤次郎日記(第4回)	川西 由里	島根県立石見美術館研究紀要	4
作家通信 日本の文化資源としての大嶋月庵の絶筆	村山 華風	趣味の水墨画	251
みんなのマンガ学 グーグーだって猫である 命の重みにじむ現実描写[大島弓子]	表 智之	朝日夕刊	5.24
現代美術の歩き方 今月の一品 O JUN「3m」	市原研太郎	美術の窓	320
批評 “イメージ”の底を抜く 「放課後のはらっぱ—櫃田伸也とその教え子たち」の感想	O JUN	REAR	23
地図にない村 大城弘明著 深い批評の眼差し	今福 龍太	読売	11.7
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 大須賀勉	磯部 靖	美術の窓	320
人間国宝 刀匠大隅俊平遺作展	田村 元	刀剣美術	642
第17回MOA岡田茂吉賞 受賞作決まる 絵画部門大賞は滝沢具幸氏 工芸部門大賞は秋山陽氏 MOA美術館賞に植田一穂氏 大角幸枝氏 須田賢司氏 前田正博氏		新美術新聞	1214
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」展から 太田喜二郎「樹陰」	宮澤 政男	毎日	9.15
美術学部教員展図録 陶磁	太田 公典	愛知県立芸術大学紀要	39
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 太田國廣	高山 淳	美術の窓	320
日本画におけるコラージュとスポーツのモティーフとしての可能性	太田 圭	筑波大学芸術研究報告	55
特集 プレゼン コンペ イベント 必勝!!ガイド プレゼン編 デザイナー指名率No.1のカメラマン 太田拓実が人気な理由	猪飼 尚司	デザインの現場	169

コミック　鉄風１・２　太田モアレ〈作〉万能女子総合格闘技に挑む	南　信長	朝　日	3.21
コミック　高梨さん太田基之〈作〉　揺るぎない“おばさん力”	〃	〃	6.27
写眼　“原点”といえる風景　大竹昭子「NY 1980」(1980年)	篠原　知存	産　経	11.6
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケートわたしがそれを選んだわけ２　日本放置酷宝景	大竹　伸朗	芸術新潮	721
大竹伸朗の映像　オートマティスム		〃	729
INFORMATION　若き日の大竹伸朗が日常を撮影した映像がDVDに	籔前　知子	美術手帖	944
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20 CASE15　大竹伸朗　銭湯が、現代アートに?!		美術の窓	326
美術家が「ネタ帳」刊行　大竹伸朗さん「あがいて本質に近い」	西田　健作	朝日夕刊	9.21
こころの玉手箱　美術家　大竹伸朗１～４	大竹　伸朗	日経夕刊	12.20～22、24
第２回絹谷幸二賞に大谷有花氏　同奨励賞は小沢さかえ氏　決まる　具象絵画35歳以下の有望新人		新美術新聞	1210
マイ・キャリアをつくる　大谷有花さんインタビュー	大谷　有花談	たまび	55
ひと　第２回絹谷幸二賞を受賞　大谷有花さん	岸　桂子	毎　日	2.25
第２回絹谷幸二賞　神奈川県相模原市、画家　大谷有花さん	〃	〃	3.7
第２回絹谷幸二賞贈呈式　未来志向、物語性を賞賛　大谷さんと小沢さんを激励［大谷有花］	岸　桂子 永田　晶子	毎日夕刊	3.24
青春プレイバック　大津英敏　日々の生活実感の中に創造と表現がある	高岡　忠雄	新美術新聞	1212
「セーヌの流れに沿って―印象派と日本人画家たちの旅」展を見て　パリやセーヌの懐かしい姿を発見する喜び	大津　英敏	〃	1235
PREVIEW 連載小説　堺屋太一著「三人の二代目」　大津英敏挿絵展	小森佳代子	美術の窓	322
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　大塚章子	高山　淳	〃	325
大塚耕二『軍隊日記』(翻刻)	古家　良一	熊本県立美術館研究紀要	11
特集　ナイーブアーキテクチャー　第二部　インタビュー　大辻邸(上原通りの住宅、1976)［大辻清司］	大辻　誠子 柴原　聡子 聞き手	建築雑誌	1601
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編　デザインコンペってどんなものですか?　富山プロダクトデザインコンペティション2009　私のコンペ考　審査員の総意で得られたグランプリは「勲章」	大友　学談 高松　孟晋文	デザインの現場	169
フェイス21世紀137　大成哲　チェコとの往還ガラスを素材に思想を刻む	袴田　智彦	新美術新聞	1220
連盟創立六十周年記念座談会―六十年を顧みて新たな挑戦―	福王寺一彦、入江　観、中根　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　浩、本郷　寛　談 山本　貞司会	連盟ニュース	433
国立新美術館に重さ21トン石彫刻　大成さん作「風の地平線・蜃気楼２」	河嶋　浩司	毎　日	5.9
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　大西愛子	近藤　正美	美術の窓	325
アウトサイダー・アートの作家たち　写真大西暢夫		日　経	4.4

特集2　鈴木清写真展　百の階梯、千の来歴　「劇場・鈴木清」	大西みつぐ	現代の眼	584
写眼　不安と期待に寄り添う視線　大西みつぐ「標準街景」(平成21年)	海老沢　類	産　　経	9.11
巨匠展—今そして未来2010　出品作家インタビュー	大沼　映夫	美術の窓	320
交遊抄　外界への扉	〃	日　　経	3.6
お伽噺桜　大沼英樹著		〃	2.14
集う　ブラヴォー！大野一雄の会　103年間の生涯に「ブラヴォー！」	飯塚　友子	産　　経	7.31
大野一雄氏を悼む　精神に歩み寄る肉体	天児　牛大	日　　経	6.4
追想録　大野一雄さん(舞踏家)　「BU-TOH」欧米で伝説に		日経夕刊	7.9
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　大野智史	大野　智史	美術手帖	937
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　大野哲司	高山　　淳	美術の窓	320
特集　〈郊外〉でくくるな—等身大の都市周縁　鼎談　郊外の仕切り方—捨てずに縮小するための方法論を考える	大野　秀敏、福川　裕一、藻谷　浩介、伊藤　俊介、饗庭　伸　聞き手	建築雑誌	1603
2010年日本建築学会作品選奨 YKK健康管理センター[大野秀敏]		〃	1607
日々好日　ふたりだけの旅	大庭　英治	新美術新聞	1234
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　大庭大介	大庭　大介	美術手帖	937
アクリリックス・ワールド59　大庭大介	いしいよしゆき	〃	943
特集　建築写真小史—建築写真を拡張するために　第一部　インタビュー　「建築写真」はカタくない	大橋　富夫　山岸　剛　聞き手	建築雑誌	1606
この人　「恋する信長」で漫画家デビュー　大橋由起子さん	三品　　信	東　　京	2.13
大樋長左衛門　2008年　作品の解説	大樋長左衛門	金沢学院大学紀要*	8
作陶に想う	〃	陶　　説	682
千代紙・影絵・色セロファン　変幻自在のアニメーション作家　大藤信郎		芸術新潮	728
アニメの先駆者を紹介　東京・京橋で「大藤信郎」展	小林　裕子	朝日夕刊	8.25
「アニメ大国日本」の先駆者　カンヌでピカソも激賞、大藤信郎の人物像に迫る	津堅　信之	日　　経	7.27
入門講座　日本の創作アニメーション1　独立系作家の先駆け・大藤信郎　色セロファンの影絵追究	山村　浩二	日経夕刊	10.7
more楽　日本アニメ草創期の作家・大藤信郎　独創的な表現再評価	勝田　友巳	毎　　日	6.29
大舩真言		art _ icle	30
21世紀芸術研究所—3 Key Words Research—　大巻伸嗣		ギャラリー*	303
みる　韓国の小さな集落にて	大村　次郷	芸術新潮	725
21世紀芸術研究所—3 Key Words Research—　大森暁生		ギャラリー*	299
わたしの宝もの64　「変わらない」音楽	大森　　啓	新美術新聞	1228
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　平山郁夫先生を偲ぶ文	大矢　　紀	〃	1204
第42回日展を前にして　各科審査員より路	大谷　喜男	日展ニュース	138
作家がいた　大谷喜男	高山　　淳	美術の窓	323
巨匠展—今そして未来2010　出品作家インタビュー	大藪　雅孝	〃	320
集う　ロシアから発信12人の90作品[大藪雅孝]	磨井　慎吾	産　　経	3.24

巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　大山和子	高山　淳	美術の窓	325
ル・サロンへの道　大山玲子		美術屋・百兵衛	12
みんなのマンガ学　ヘルタースケルター　欲望むき出し人間の本性表現[岡崎京子]	表　智之	朝日夕刊	2.24
モデルとしてのキュレーション—村上隆、岡崎乾二郎、会田誠の実践から—	佐々木勇貴	美術運動史研究会ニュース	111
批評　岡崎乾二郎プロスペクティヴ	石岡　良治	REAR	24
鬼頭健吾展／特集展示・岡崎乾二郎　増殖　無軌道とコントロール	大西　若人	朝日夕刊	2.10
特集　アート／アニメーション　アンケート	ツジシンヤ　岡田　昭憲　杉田　崇　永下山由香　井出　絢子　渡辺　豪　大崎のぶゆき	REAR	23
アタラクシア　岡田敦・伊津野重美著		日　経	2.7
注目です　映画にはない「名場面」[岡田敦]	佐々本浩材	毎日夕刊	12.14
中特集　岡田菊惠　戦前戦後を通じて持続する精神	一井　建二	美術の窓	323
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　岡田菊惠「品格」	高山　淳	〃	325
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」 PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　岡田憲一	石田　純子、吉田　宏子、編集部構成	美術手帖	944
岡田三郎助の岩絵具による作画の試み：聖徳記念絵画館壁画をめぐって	片多　祐子	横浜美術館研究紀要	11
クリエイターズワーク＆ソウル　緒方慎一郎		AXIS	147
PAPER IN MY WORK　127　竹尾 CO.,LTD　感じるペーパーショウ TAKEO PAPER SHOW　2010[緒方慎一郎]	杉瀬　由希	デザインの現場	170
画家達の描写—日本人旅行者の見たイタリア(4)—[岡田泰祥]	真鍋　正宏	人文学	185
神を迎える「ニワ」と庭	岡田　憲久	瑞　垣	216
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」 PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　緒方壽人	石田　純子、吉田　宏子、編集部構成	美術手帖	944
歯科の技美術に“生える”　専用の工具や材料駆使し絵画や彫刻	緒方　陽一	日　経	4.5
北と南—ふたつの〈近代〉を掘るフロッタージュ・プロジェクト—1	岡部　昌生	札幌大谷大学紀要*	40
解説プログラム　2009年のアーティスト・トークから	岡村桂三郎	現代の眼	580
日々好日　「日本画とは、何だ。」	〃	新美術新聞	1228
美について　作品の裏側に流れているはずの何か	〃	たまび	54
描くこと	〃	多摩美術大学研究紀要	24
岡本神草《アダムとイブ》について	飯尾由貴子	兵庫県立美術館研究紀要	4
入門講座　日本の創作アニメーション4　岡本忠成と川本喜八郎　異なる才能共鳴　芸術と娯楽両立	山村　浩二	日経夕刊	10.28
岡本太郎—いまなぜ岡本太郎なのか？—		art _ icle	28
特集　闘え！アートフェア東京2010　アートフェアから画廊への招待　作品をゆっくり鑑賞するための画廊へ　岡本太郎の久々の展覧会		ギャラリー*	299
The 対談・岡本太郎	中ザワヒデキ、成相　肇　談	〃	300～304

ベストセラー『今日の芸術』と啓蒙者・岡本太郎の誕生	春原　史寛	美術運動史研究会ニュース	115
深層新層　愉快なふとっちょの猛牛　岡本太郎デザイン　幻の近鉄マーク	大西　若人	朝日夕刊	1.21
原爆忌の夏　平和への思い　岡本太郎作品の原画展示	（典）	東京夕刊	8.3
美の美　子供の情景4［岡本太郎］	宝玉　正彦	日　経	8.22
読書日記2　『岡本太郎　神秘』時を超えた奇跡の共作	やなぎみわ	日経夕刊	7.14
ぎゃらりいモール　岡本太郎記念美術館「街のなかの太郎」から「日の壁」岡本太郎	田原　睦	読売夕刊	9.7
薩摩藩のガラス技法書について（5）	岡本　文一	明星大学研究紀要	18
世親への問い　XI・XII	〃	〃	〃
時評6　撤収された「バッタもん」［岡本光博］	深萱　真穂	視覚の現場　四季の綻び	7
バッタもん再展示　ヴィトン社抗議で5月に撤去　オリジナルとコピーの関係考える［岡本光博］	小川　雪	朝　日	10.4
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　小川イチ	高山　淳	美術の窓	325
美の履歴書153　河童に託した思いは「若葉に蒸さるる木精」　小川芋銭	西岡　一正	朝日夕刊	4.28
永青文庫の昔の写真6　清朝が滅びる直前の紫禁城を撮影し『清国北京皇城』を出版した小川一真	田沼　武能	永青文庫	69
小川一眞の北京城撮影と帝室技芸員任命について	関　紀子	MUSEUM	626
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　小川巧	高山　淳	美術の窓	320
展覧会・イベントから12　写真展　小川晴暘と奈良　飛鳥園のあゆみ—小川光三・金井杜道・若松保広	福田　道宏	視覚の現場　四季の綻び	6
特集　建築写真小史—建築写真を拡張するために　第二部　対談　錯綜する「建築写真」	小川　重雄、岸　和郎　山岸　剛、柴原　聡子　聞き手	建築雑誌	1606
2010年日本建築学会作品選奨　日本工業大学百年記念館／ライブラリー＆コミュニケーションセンター［小川次郎］		〃	1607
展覧会・イベントから12　写真展　小川晴暘と奈良　飛鳥園のあゆみ—小川光三・金井杜道・若松保広	福田　道宏	視覚の現場　四季の綻び	6
写真の遺伝子　—小川晴暘と奈良飛鳥園のあゆみ—	〃	展覧会だより	44
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます㊙技法講座 VOL. 18 実践編!! 顔の描き方が分かる㊙技法講座 CASE 7　小川尊一／テンペラを使った表現	小川　尊一談	美術の窓	319
追悼　小川博史先生を悼む	寺坂　公雄	新美術新聞	1225
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　小川護	磯部　靖	美術の窓	320
シリーズ・公募団体展を訪ねて　No. 7 リーダーの視界にあるものは…　一水会代表・小川游		ギャラリー*	303
「物活論」と「形態発生」：先端芸術表現に見られる意味と展開	沖　啓介	名古屋造形大学紀要	16
小木曽登　2008～2009年　作品の解説	小木曽　登	金沢学院大学紀要*	8
元病院長の画家　荻田幸雄さん　絵筆再び　夢かなえる	境田　未緒	東　京	4.28
荻原守衛・青春日記（八）『つくまのなべ』—新注釈つき—	榊原　好恭	碌山美術館報	30
夏季企画展記念講演「明治女学校と荻原守衛」	仁科　惇	〃	〃
彫刻家・荻原守衛没後100年　安曇野発先駆の「異常な才」	前田　恭二	読　売	4.29

座談会　「第四十二回日展　審査を終えて」	中山　忠彦、寺坂　公雄、岩倉　寿、藤森　兼明、川崎　普照、奥田小由女、井茂　圭洞 談　清水　透石 司会	日展ニュース	139
中特集　ベストセレクション　奥田良悦	高山　淳	美術の窓	322
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	奥谷　太一	〃	321
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　平山郁夫先生とのこと	奥谷　博	新美術新聞	1204
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　奥谷博	高山　淳	美術の窓	320
巨匠展―今そして未来2010　出品作家インタビュー	奥谷　博	〃	〃
PREVIEW　奥谷博自選展	村田慶之輔	〃	326
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　奥野元子	高山　淳	〃	325
墨のある風景　奥村土牛《兎》	高橋美奈子	趣味の水墨画	261
奥村土牛　生誕120年　土牛先生の涙	松尾　敏男	新美術新聞	1212
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　奥村土牛―昭和の院展を代表する圧倒的な写実力		美術の窓	320
神宮名品解説　神宮美術館所蔵　日本画「富士」[奥村土牛]	中村　潔	瑞　垣	217
ゆったりアート　静かで熱い画家魂[奥村土牛]	岸　桂子	毎日夕刊	4.9
「第四回試みの茶事」を終えて	植葉　香澄、奥村　博美、加藤　委、村田　森、柳原　睦夫、梅田　稔、沢田眉香子 談　森　孝一 司会	陶　説	693
交遊抄　一通の手紙[奥山清行]	山崎　智久	日　経	12.7
奥山民枝　《花畑》、《時のむすび娘》、《シリーズ畝　山季》	堀　元彰	尾道大学芸術文化学部紀要	9
小熊秀雄の新資料《四人の人物》について	小島　信子	生活と文化	19
受賞教員インタビュー	小椋　範彦	芸大通信	20
公募団体展　受賞者に聞く４　第22回平泉展　平泉賞　小倉房子		ギャラリー*	300
調査研究から３　作品紹介　小倉遊亀《花　其二》	國賀由美子	視覚の現場　四季の綻び	7
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます　㊙技法講座VOL.18　実践編!!顔の描き方が分かる㊙技法講座CASE８　小倉遊亀／線描の顔からあふれる生命感　「遊亀が見つめ、描いたもの」	飯尾由貴子	美術の窓	319
この人　米国人の夫との生活描いた漫画が映画化　小栗左多里さん	山本　真嗣	東　京	3.12
レビュー　小栗沙弥子「Works for Y. A. L」	鈴木　俊晴	ＲＥＡＲ	23
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　小黒隆彦	高山　淳	美術の窓	320
ようこそ、新しい先生５　舞台芸術学科准教授　小坂部恵次	小坂部恵次	瓜生通信	50
まつりの場をつくる―音楽祭	アーロン・フリードマン　尾崎　行彦	ミルフイユ	2

連盟創立六十周年記念座談会—六十年を顧みて新たな挑戦—	福王寺一彦、入江　観、中根　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　浩、本郷　寛　談　山本　貞　司会	連盟ニュース	433
第２回絹谷幸二賞に大谷有花氏　同奨励賞は小沢さかえ氏　決まる　具象絵画35歳以下の有望新人		新美術新聞	1210
第２回絹谷幸二賞奨励賞　京都市、画家　小沢さかえさん	岸　桂子	毎　日	3.7
第２回絹谷幸二賞贈呈式　未来志向、物語性を賞賛　大谷さんと小沢さんを激励	岸　桂子　永田　晶子	毎日夕刊	3.24
写眼　見逃さない足元の「美」　小沢辰夫「山道(やまみち)」平成15年	堀　晃和	産　経	1.16
交遊抄　満月の夜のブランコ	小沢　剛	日　経	5.1
描かれたベルギー「フランダースの光」展から　下　夕暮れよみがえる記憶	押江千衣子	毎日夕刊	9.11
現代風景画８選　小関通	高山　淳	美術の窓	324
「憧れの純真無垢」	小田恵理子	多摩美術大学研究紀要	24
装幀本談義　花のある本たち　織田一磨『FLOWERS』・橋本邦助『家庭園芸術』・小林鐘吉『西洋草花』	山田　俊幸	一　寸	41
コミック　おはようひで次くん！１　小田ひで次〈作〉　エッセイなのにファンタジー	南　信長	朝　日	5.30
REVIEWS04 隠された絵の開放感　「ファーガス・フィーリー(Inland)」展	小田島　等	美術手帖	940
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　特別対談　新世代のトップアーティストにきく　小谷元彦×荒木夏実(森美術館キュレーター)		美術の窓	321
草食系ホラー　現代美術家・小谷元彦さん　銀座で「Hollow」展	篠原　知存	産　経	1.5
小田根五郎　2008～2009年　作品の解説	小田根五郎	金沢学院大学紀要*	8
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20　CASE 3　小田野尚之　木造駅舎と、風の音	小田野尚之談	美術の窓	326
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19　CASE 7　小田原千佳子　「子どもらしさ」を出すデッサンのコツ	小田原千佳子談	〃	324
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます㊙技法講座 VOL. 18　実践編!!顔の描き方が分かる㊙技法講座　CASE 3　越智光進／スーパーリアリズムで美女を描く	越智　光進談	〃	319
ARTIST INTERVIEW　落合多武	清水　穣聞き手	美術手帖	940
江戸博蔵めぐり　東京日々新聞六百九十七号　落合芳幾／画	斎藤　優美	読　売	9.17
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その26　小貫政之助・埋葬蟲〔しでむし〕・父子像〔ふしぞう〕	林　紀一郎	新美術新聞	1219
受賞者訪問１　第２回 NBC メッシュテック　シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展　大賞受賞　小野耕石		ギャラリー*	297
受賞者訪問８　群馬青年ビエンナーレ2010　大賞　小野さおり		〃	304
展覧会とアーティスト５　シェル美術賞展2010　作品誕生にきっかけは、小さな蟹の命だった[小野さおり]		〃	307
行方不明後の《藤牧版画》の足跡(12、13)[小野忠重]	大谷　芳久	一　寸	42、43
特集　「生誕120年小野竹喬」展によせて　竹喬と西洋近代絵画—そこからなにを学んだか		現代の眼	580
ルッソーの率直—竹喬との接点	遠藤　望		
竹喬のセザンヌ受容再考	永井　隆則		

日本美術のススメ 今月の逸品 小野竹喬「奥の細道句抄絵田一枚植ゑて立ち去る柳かな」		美術の窓	318
美の履歴書149 平凡な景色、描くわけ「宿雪」 小野竹喬	西田 健作	朝日夕刊	3.31
美の美 芭蕉の眼になる 下[小野竹喬]	内田 洋一	日 経	10.24
生誕120年小野竹喬展 来月から 東京国立近代美術館 日本画家上村淳之さん	上村 淳之談 川俣 享子	毎 日	2.10
生誕120年小野竹喬展 四季の自然見つめて 坂東玉三郎さんが語る 東京国立近代美術館であすから	岸 桂子 構成	〃	3.1
小野竹喬の世界―生誕120年展から	鶴見 香織	〃	3.23、25、4.7
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 今、輝いている女性アーティストたち 小野月世	高山 淳	美術の窓	325
平城京 日本庭園の源流	小埜 雅章	太陽(別冊)	165
後美術論 第一回 音楽と美術の結婚[オノ・ヨーコ]	椹木 野衣	美術手帖	945
ひと ジョン・レノン没後30年にヒロシマ賞を受賞 オノ・ヨーコさん	加戸 靖史	朝 日	12.14
この人 自閉症国際支援団体の初代啓発大使に任命されたオノ・ヨーコさん	小林 義久	東 京	4.19
中特集 ベストセレクション 小野里理平	高山 淳	美術の窓	322
『思考を投擲すべき先』	小野寺優元	美術運動	137
オノデラユキ 写真の迷宮〔ラビリンス〕へ	オノデラユキ 談	E Y E S	66
Close-up オノデラユキ 覆される写真のリアル オノデラユキの写真芸術		ギャラリー*	304
ARTIST INTERVIEW オノデラユキ	岡部 友子 聞き手	美術手帖	944
オノデラユキさん 謎めく写真 信条		読 売	8.12
みんなのマンガ学 デスノート 正義とは悪とは問いかける[小畑健]	伊藤 遊	朝日夕刊	9.6
トピックス 版画家・小原喜夫氏、奈良ホテルに国展受賞作を寄贈	小森佳代子	美術の窓	317
特集 これ一冊で大丈夫!!画材大研究 パリの画材屋さん探訪記 原料としての素材が充実した店内	小尾 修	〃	327
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 今、輝いている女性アーティストたち 面矢元子	高山 淳	〃	325
追悼 平山郁夫氏を偲ぶ 平山先生との思い出	小山 硬	新美術新聞	1204
青春プレイバック 小山硬 日本画家 無名の人々に光をあて、筆の力で歴史を紡ぐ	袴田 智彦	〃	1217
ザ・コレクション・ヴィンタートゥール 後ろ姿に魅せられて	織作 峰子	読 売	9.9

（カ）

京都の日常ぶらり撮る のんびり構えて40年、街の人々の素顔を記録	甲斐扶佐義	日 経	2.3
みんなのマンガ学 アナスタシアとおとなり 悠久の旅を続ける魔法使い[花郁悠紀子]	倉持佳代子	朝日夕刊	8.30
人気コミックス「LIAR GAME」が映画化 原作漫画家甲斐谷忍さん 「ヘマな主人公は僕です」	戸津井康之	産 経	3.24
インスピレーショングラフィック 「カオス*ラウンジ」に見る、“アーキテクチャ”時代のグラフィック表現	深沢 慶太	A X I S	146
日本式ARTの次の射程が見えてきた!!		美術手帖	936
アートの未来はどこにあるのか[カオス*ラウンジ]	黒瀬 陽平、助田 徹臣、梅沢 和木、藤城 嘘、村上 隆司会		
村上隆×黒瀬陽平 2人語り「日本美術教育とアートプロデュース術について」[カオス*ラウンジ]	村上 隆 黒瀬 陽平		

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！「カオス*ラウンジ」とは何か？	黒瀬　陽平	〃	937
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT02		〃	945
カオス*ラウンジ 黒瀬陽平＋梅沢和木＋藤城嘘	西野　基久		
片桐孝憲[カオス*ラウンジ]	山内　宏泰		
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　カオス*ラウンジ2010	椹木　野衣	美術の窓	321
月刊ネット時評「カオス*ラウンジ」ユニークな表現を自動的に「生成」	宇野　常寛	毎日夕刊	8.24
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　利部志穂	利部　志穂	美術手帖	937
INFORMATION SHOP　加賀美健ショップオープン 代官山に誕生!!アーティストによる古着屋	猪飼　尚司	〃	943
学芸員のアート日記 空の絵—加賀谷武の世界	麻生　恵子	どおむ	110
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 香川猛	高山　淳	美術の窓	320
交遊抄　力強い写真[賀川督明]	鳥越　皓之	日経	3.18
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 垣内宣子	功刀　知子	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　垣内宣子	〃	〃	325
先輩を訪ねて　柿田喜則先生		東京芸大保存修復彫刻年報*	2009年度
柿沼宏樹		art _ icle	28
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[柿沼宏樹]		ギャラリー*	306
みんなのマンガ学 けいおん！　女子高生のゆるーい日常[かきふらい]	伊藤　遊	朝日夕刊	10.25
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 鍵和田智子	磯部　靖	美術の窓	320
レビュー　受贈記念 筧忠治展　—自画像を描き続けて80年—	村田　真宏	REAR	23
芸術新潮特別企画 “洋画”の現在を生きる山下充と筧本生		芸術新潮	724
「gen　掛川源一郎が見た戦後北海道」写真展	海老名和孝	朱雀	22
新潟文化考　日本画家・掛川寸麻		美術屋・百兵衛	13
マシュー・カーターに宛てた２つのポスター作品[葛西薫]	上條　昌宏	AXIS	146
広告界のカリスマのほぼ全仕事[葛西薫]	橋本　麻里	芸術新潮	725
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　1983年受賞葛西薫	葛西　薫 談 杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
Recommend! News 『KASAI Kaoru 1968』[葛西薫]	杉瀬　由希	〃	〃
視線　図録　葛西薫1968　葛西薫著	森村　泰昌	朝日	4.25
人・模・様　デジタル写真と和紙の共演[笠井伸二]	望月　一夫	毎日夕刊	11.15
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　立軌会—公募をしない美術団体の作家の在り方	笠井　誠一 談	美術の窓	320

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　笠井誠一	高山　淳	美術の窓	320	
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　風間サチコ	風間サチコ	美術手帖	937	
顔　浅草寺に「切画」を奉納した　風祭竜二さん	中村　隆	読　売	11.12	
写眼　川への畏れと親しみ　梶井照陰「KAWA」(平成18年)	三品　貴志	産　経	10.2	
レビュー　アートドキュメント2009　森で紙と鉄と遊ぼう　樫尾正次×村岡三郎	野田　訓生	ＲＥＡＲ	23	
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　樫木知子	樫木　知子	美術手帖	937	
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現　新進79作品　立体部門新作優秀賞　加治佐郁代子氏　キノキの記憶	加治佐郁代子	産　経	3.12	
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　京都画壇出身の女流画家　秋野不矩・梶原緋佐子・北澤映月		美術の窓	325	
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　柏山悦子	高山　淳	〃	320	
人形とともに明日がある　「ひょうたん島」などユニークな登場人物、多彩な手法で	片岡　昌	日　経	8.20	
新収資料紹介　片岡京二作「喫煙の自画像」・後藤和信「拓響」	柿崎　博孝	ＳＨＵ	34	
被爆の商業デザイナー片岡脩さん遺作24点　同郷の三宅一生さん所蔵品複製　平和ポスター展覧会	野口　由紀	毎　日	5.31	
インタビュー　鈴木重三—片岡球子先生との交流について	鈴木　重三談 土岐美由紀聞き手	氷　華	52	
Essay　片岡球子先生を想う	山梨　俊夫	〃	〃	
奇縁まんだら138　片岡球子の生みの苦しみ	瀬戸内寂聴	日　経	5.30	
ル・サロンへの道　片上香苗		美術屋・百兵衛	12	
国宝　旧東宮御所(迎賓館赤坂離宮)[片山東熊]	川上　悠介	港郷土資料館だより	65	
墨のある風景　堅山南風《雨霽》	塩谷　純	趣味の水墨画	254	
わたしの宝もの61　碌山の香炉	勝野　眞言	新美術新聞	1220	
特集　建築・有象無象　セクション２：有名性からのジャンプ　07　現実主義者としての村野藤吾	勝矢　武之	建築雑誌	1600	
特集　ナイーブアーキテクチャー		〃	1601	
イントロダクション　対談　ナイーブアーキテクチャーのキュレーション	妹島　和世、小池　一子 真壁　智治、勝矢　武之、柴原　聡子 聞き手			
第一部　第一部主旨	勝矢　武之			
第一部　インタビュー　手法としての抽象化	青木　淳 真壁　智治 勝矢　武之 聞き手			
第一部　論考　ささやく建築—抽象化と徴候性	勝矢　武之			
第二部　対談　詩のように応答される建築	塚本　由晴、小池　昌代 勝矢　武之、柴原　聡子 聞き手			
《物価》にみる桂ゆきの「生活の技術」について	成相　肇	府中市美術館研究紀要	14	
楢崎彰一先生—猿投山麓の風土に育まれた研究者	加藤　清之	陶　説	690	
人間国宝に５氏認定「瀬戸黒」の加藤孝造氏、「鍛金」の玉川宣夫氏ら人間国宝に		新美術新聞	1224	

レビュー　加藤孝造展	井上　隆生	R E A R	23
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　加藤翼	加藤　翼	美術手帖	937
「第四回試みの茶事」を終えて	植葉　香澄、奥村　博美、加藤　委、村田　森、柳原　睦夫、梅田　稔、沢田眉香子談 森　孝一司会	陶　説	693
磯田道史のこの人、その言葉　加藤唐九郎	磯田　道史	朝　日	3.27
奇縁まんだら126、127[加藤唐九郎]	瀬戸内寂聴	日　経	3.7、14
2010年日本建築学会作品選奨　糸魚小学校[加藤誠]		建築雑誌	1607
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	加藤　裕生	美術の窓	321
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　加藤雄太	中村　隆夫	〃	〃
日々好日　還暦の肖像	加藤　豊	新美術新聞	1214
PREVIEW　加藤豊彫刻展	武田　厚	美術の窓	317
フェイス21世紀139 加藤ゆわ　初個展の成功を次のステップへ	窪田　元彦	新美術新聞	1225
神宮名品解説　神宮美術館所蔵　工芸「鋳銅豊穣文花瓶」[香取正彦]	中村　潔	瑞　垣	217
長岡京市友岡地下道壁画制作事業　夢プロジェクト事業報告	門脇　英純	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
日々好日　２回計って１回切る。(Measure twice, Cut once.)	金井　訓志	新美術新聞	1206
視点　ソウルの事情	〃	美術の窓	321
展覧会・イベントから12　写真展　小川晴暘と奈良　飛鳥園のあゆみ—小川光三・金井杜道・若松保広	福田　道宏	視覚の現場　四季の綻び	6
金丸悠児		art _ icle	30
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL. 17　人気作家が教える構図 step up 術　lesson. 2 エスキースでの様々な試み　金森宰司／コンピューターを使った構図の検討	金森　宰司	美術の窓	316
特集　建築年報2010—建築学会総スクラム　第二部　会長・副会長座談会　この１年、現前する課題に如何に立ち向かったか	佐藤　滋、深尾　精一、辻本　誠、可児　才介、櫻井　潔、赤松佳珠子、中江　哲、饗庭　伸、伊藤　俊介、中谷　礼仁聞き手	建築雑誌	1608
共同制作所の商品作り支援とデザイン	金氏　脩介　辻　勇佑	京都嵯峨芸術大学紀要	35
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1 14人の旗手からの発言　金氏徹平	金氏　徹平	美術手帖	937
飛躍のひと　4　現代美術身近な素材から[金氏徹平]	高野　清見	読　売	1.7
レビュー　金子潤ドローイング展	大長　智弘	R E A R	23
イタリアの展覧会 日本のアーティスト展—平井智、金子司、新里明士、坪田昌之	唐澤　昌宏	陶　説	683
イタリアの展覧会 アーティスト・イン・レジデンス—金子司、新里明士	〃	〃	〃
わたしの宝もの58 東京＝御殿場(富士と箱根と御厨と)	金子　朋樹	新美術新聞	1212
2010年日本建築学会賞(作品)　洗足の連結住棟[金田勝徳]		建築雑誌	1607

小さくも実り―「アーティスト・ファイル2009―現代の作家たち」展より	金田　実生	多摩美術大学研究紀要	24
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	金巻　芳俊	美術の窓	321
狩野宏明		art _ icle	31
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE 9　狩野宏明 日常の断片から生まれる非日常		美術の窓	324
呼吸している場所 10年目のメディアテークへ	伊東　豊雄 木村浩一郎 鹿野　護	ミルフイユ	2
続・ほうがい余話 芳崖さんのお友達1 狩野友信[狩野芳崖]	関根　佳織	潮　流	104
狩野芳崖筆　老梅図(月輝萬玉図)	高階　秀爾	国　華	1371
教材「地図をいろどる」考(1)[鏑木清方]	佐野比呂己	釧路論集	42
特集　小村雪岱を知っていますか？　めぐるひとびと　水上瀧太郎／久保田万太郎／里見弴／鏑木清方／邦枝完二／木村荘八	編　集　部	芸術新潮	722
特集　鏑木清方　口絵美人画の世界		版画芸術	148
新しもの好きの清方	宮崎　徹	〃	〃
注目の作家　鎌谷伸一　色面の極致[カノン]にこめられた「パインツリー」の夢	鷹見　明彦	〃	150
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 上條淳子	高山　淳	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　上條淳子	〃	〃	325
徳島文化考　書家・紙屋鶴峯		美術屋・百兵衛	14
ルーヴル美術館のカルコグラフィー	神谷　佳男	金沢美術工芸大学紀要	54
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　神村恵	神村　恵	美術手帖	937
近代美術の眼　「東京神話」より清新町1丁目　神谷俊美・写真	増田　玲	読　売	7.9
神谷紀雄陶展	光井　玄空	陶　説	685
制作ノート　亀井佑二	亀井　佑二	武蔵野美術大学研究紀要	40
明治43年久美浜本願寺本堂の復原修理　亀岡末吉の文化財修理　その2	廣岡　幸義	日本建築学会計画系論文集	648
エロスの天使　鴨居羊子がやってきた		芸術新潮	726
働く女性身近な“支援者”　実用的で美しい下着を追及した鴨居羊子	室井　絵里	日　経	7.10
美の履歴書177　なぜ、そこまで飲むのか　「私の村の酔っぱらい(A)」　鴨居玲	西　正之	朝日夕刊	10.20
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE 5　茅野吉孝 初心者のための誌上デッサン教室：風景	茅野　吉孝談	美術の窓	324
展覧会とアーティスト10　「人形見」浮遊する魂　人形作家伽羅×たかはしじゅんいち写真展		ギャラリー*	308
コミック　電脳なをさん ver. 1. 0　唐沢なをき〈作〉　IT業界に愛あるツッコミ	南　信長	朝　日	8.8
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　苅谷昌江	苅谷　昌江	美術手帖	937
みんなのマンガ学 とめはねっ！　文化部系の筆頭、書が躍動[河合克敏]	吉村　和真	朝日夕刊	10.18
青春プレイバック 川合京子　美を追い求める革工芸界の革新者	窪田　元彦	新美術新聞	1228

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 河井美咲	河井 美咲	美術手帖	937
特集 作家座談会と小川英晴の作品評論 公募展の春(受賞作)と秋(展覧会) 座談会：公募展への視点	生方 純一、川内 悟、齋藤 茂男、舘野 弘、中島 敏明、林 純夫、福田 玲子、山中 宣明 司会	ギャラリー*	305
作家通信 書くという、声	川尾 朋子	趣味の水墨画	252
点鬼簿の作家像スケッチ帳 その29 川上尉平・肥後モッコス・酒仙	林 紀一郎	新美術新聞	1227
英語教師で偉大な版画家 川上澄生 偉大なる版画愛好家〔アマチュア〕、川上澄生	小勝 禮子	版画芸術	147
ゆったりアート 人気博した「南蛮もの」〔川上澄生〕	岸 桂子	毎日夕刊	12.10
この人 建築の博物館で館長を務める設計士 川北英さん	吉田 薫	東京	3.30
ミラクル陶芸家、川喜田半泥子のふしぎな茶碗		芸術新潮	723
批評 川喜田半泥子のすべて 岐阜県現代陶芸美術館 偉大なる素人の徹底したアマチュアリズム	外舘 和子	REAR	23
批評 川喜田半泥子のすべて 岐阜県現代陶芸美術館 評価はこうして作られていく？	井上 隆生	〃	〃
「ジパング」最終巻刊行 漫画家、かわぐちかいじさんに聞く 9年半費やし、日本人論問う	戸津井康之	産経	2.23
川口軌外 古キャンの理由	奥村 泰彦	和歌山県立近代美術館ニュース	63
人・模・様 32年ぶりにNYで個展〔川口潔〕	山科 武司	毎日夕刊	11.22
作品集『TUGBOAT 10 Years』 波乱の10年を集大成 川口清勝インタビュー	大城 譲司	デザインの現場	170
川久保ジョイ		art _ icle	28
特集 メディスン・アンド・デザイン—未来の医療へ 医師の能力を拡張し、医療への信頼を取り戻す 川崎和男「i—スフィア」「K—インターフェース」	神吉 弘邦	AXIS	146
講演会・シンポジウム 楽しいデザインが経済を変える／デザインが世界を変える〔川崎和男〕	美山	慶応義塾大学アート・センター年報	17
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 川崎建二	磯部 靖	美術の窓	320
座談会 「第四十二回日展 審査を終えて」	中山 忠彦、寺坂 公雄、岩倉 寿、藤森 兼明、川崎 普照、奥田小由女、井茂 圭洞 談 清水 透石 司会	日展ニュース	139
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック アートをめぐる旅・完全ガイド Pick up Artist 男木島 川島猛		美術手帖	938
コミック 女たちよ 1 川島秀雄〈作〉 感情の渦にからめとられ	山脇 麻生	朝日	6.6
雨過天青	川瀬 忍	陶説	691
東京国立近代美術館工芸館「現代工芸への視点—茶事をめぐって」より 座談会・表現としての工芸	長野 烈、川瀬 忍、新里 明士、唐澤 昌宏 談	〃	〃
創刊60周年記念特大号 わたしが選ぶ日本遺産 アンケート わたしがそれを選んだわけ1 カミとしての「自然」	川瀬 敏郎	芸術新潮	721
たてはな神話【連載】第四十七～五十七回	〃	〃	722～732
孤高の花人、神の木をいける〔川瀬敏郎〕		〃	726
創刊60周年記念特大号 わたしが選ぶ日本遺産 アンケート わたしがそれを選んだわけ2 遺産は自分の身近にある	川田喜久治	〃	721

写眼　崩壊していく都市の瞬き　川田喜久治「ワールズ・エンド　World's End 2008—2010」	篠原　知存	産　　経	5.29
話題の人巻頭インタビュー　河内國平さん(刀匠)	編　集　部	目の眼	404
文化往来　古代刀剣復元の刀匠、代表作を一堂に[河内國平]		日　　経	4.17
お魚とお肉とお酒のお話[河鍋暁斎]	丹尾　安典	一　　寸	44
一九世紀後半のヨーロッパにおける河鍋暁斎の受容と北斎評価の関わり	定村　来人	浮世絵芸術	159
美の美　画鬼、河鍋暁斎　上、中、下	小川　敦生	日　　経	7.11、18、25
2010年日本建築学会作品選奨　東京大学弥生講堂アネックス[河野泰治]		建築雑誌	1607
川端玉章の研究(二、三)	塩谷　　純	美術研究	399、401
江戸博蔵めぐり　隅田川　川端玉章筆	岡本　純子	読　　売	10.1
茶の湯の意匠と時候	川端　近左	淡　　交	786～794、796～798
青春の刻　川端豊次ひたすら歩み続けた独学の道		趣味の水墨画	253
わたしの宝もの59　大和と私	川畑　　太	新美術新聞	1215
美の美　芭蕉の眼になる　下[川端龍子]	内田　洋一	日　　経	10.24
PREVIEW　川又聡日本画展	切刀　知子	美術の窓	326
川村清雄の海軍関係作品の制作経緯について—江戸東京博物館所蔵「川村清雄関係資料」および周辺資料からの検証—	落合　則子	東京都江戸東京博物館研究報告	16
佐久市川村吾蔵記念館開館に寄せて　前・後篇	工藤　美幸	新美術新聞	1219、1220
目呂二の自然愛いっぱい　多彩な作品・活動　本に[河村目呂二]	小川　　雪	朝日夕刊	10.27
喪友記　川本喜八郎さんを悼む　和の魂持った人形	鈴木　伸一	日　　経	9.3
入門講座　日本の創作アニメーション4　岡本忠成と川本喜八郎　異なる才能共鳴芸術と娯楽両立	山村　浩二	日経夕刊	10.28
まさに万物に命を吹き込んだ　人形アニメーション作家・川本喜八郎さんを悼む	黒坂　圭太	毎日夕刊	9.1
追悼・川本喜八郎さん　アニメーション界の芭蕉	古川　タク	読　　売	8.30
人形アニメーション作家　川本喜八郎さん　魂宿るまで作品妥協せず	宮坂　　敏	読売夕刊	11.6
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　川本幸子	高山　　淳	美術の窓	325
非—レクチュールとしての書物—高松次郎《THE STORY》と河原温《百万年》について	森　　啓輔	武蔵野美術大学研究紀要	40
美術学部教員展図録　彫刻	神田　毎実	愛知県立芸術大学紀要	39
コミック　ひとりたち　菅野文〈作〉　孤独、永遠、自由、喪失…	山脇　浅生	朝　　日	10.3
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	菅野　静香	美術の窓	321
わたしの宝もの60　ことば	神戸　智行	新美術新聞	1217
巻頭特集　1年まるごと保存版！今年必見の展覧会BEST 200　追悼　神戸文子先生を偲んで	釼持　邦弘	美術の窓	317

（キ）

エッセイ　M. C. エッシャーとジャポニスム	喜井　豊子	ジャポニスム研究	30
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　紀井學	高山　　淳	美術の窓	320
宇野澤組ステインド硝子製作所の設立と終焉—木内真太郎の関与を中心として	金田　美世 清水　隆宏 西尾　雅敏 河田　克博	日本建築学会計画系論文集	651

特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　2006年受賞　菊地敦己	菊地　敦己談 杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
SPECIAL FEATURE ディック・ブルーナの謎　ミッフィーの作者というだけでは、語りつくせない INTERVIEW　菊地敦己が語るブルーナ　ミニマルな色と形が生み出す最高のデザインとは？	白坂　ゆり	美術手帖	935
菊池契月作品の背景処理に関する一考察	渡辺　美保	長野県信濃美術館紀要	4
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　菊地光子	高山　　淳	美術の窓	320
特集＝目黒区美術館「'文化資源'としての〈炭鉱〉展」2　［同展併催講義採録］山本作兵衛、そして……	菊畑茂久馬	あいだ	169
《追悼・今泉省彦》1「俺は軍人……この野郎やい」—今泉省彦さんをしのぶ	〃	〃	178
MEMORIAL　追悼　針生一郎　去来する面影を偲んで	〃	美術手帖	943
韓国へ幾度も訪れて	貴志カスケ	美術運動	137
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　岸ひろ子	高山　　淳	美術の窓	320
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　貴志真生也	貴志真生也	美術手帖	937
特集　建築写真小史—建築写真を拡張するために　第二部　対談　錯綜する「建築写真」	小川　重雄、岸　　和郎、山岸　　剛、柴原　聡子聞き手	建築雑誌	1606
岸田劉生の日本画について	飯尾由貴子	木村定三コレクション研究紀要	2009年度
長谷川町子美術館所蔵の「麗子像」［岸田劉生］	橋本野乃子	SAZAE通信	17
新収蔵作品紹介　岸田劉生初期の〈半切画〉	濱本　　聰	潮　　流	101
麗子はどこにいる？—岸田劉生　1914—1918の肖像画	蔵屋　美香	東京国立近代美術館研究紀要	14
美の美　子供の情景3［岸田劉生］	宝玉　正彦	日　　経	8.15
わたしの宝もの65　アンティークカップ	岸野　　香	新美術新聞	1231
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　速報！2010年受賞者の発表　木住野彰悟	木住野彰悟談 杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
PREVIEW 岸本恵美展　色と線の空間　ひとり遊び	高山　　淳	美術の窓	321
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　岸本和子	岸本　和子	〃	325
特集　われらの庭園		建築雑誌	1605
特集主旨　環境の自主創造	高口　洋人 岸本　　耕		
第一部　対談　時間の消費	秋山　東一、広井　良典 高口　洋人、岸本　　耕、糸長　浩司、饗庭　　伸、中谷　礼仁聞き手		
第三部　座談会　暮らしと仕事のインターコース	益戸　育江、甲斐　良治、塩見　直紀 高口　洋人、岸本　　耕、糸長　浩司聞き手		
中特集　編集長対談　北久美子	北　久美子、一井　建二対談	美術の窓	316

2010年日本建築学会作品選奨　福山市まなびの館ローズコム(福山市中央図書館・福山市生涯学習プラザ)[喜多主税]		建築雑誌	1607
木田安彦　木版画巡礼のゴールから		芸術新潮	723
ぎゃらりいモール　パナソニック電工汐留ミュージアム「木田安彦の世界」から「三十三間堂」木田安彦	宮内真理子	読売夕刊	2.16
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　喜多順子	喜多　順子	美術手帖	937
写眼　日常への新しい冒険　北井一夫「Walking with Leica 2」(2009年)	篠原　知存	産　経	1.23
待ち合わせは、書のある空間で10[北大路魯山人]	南部　真雪	墨	204
特集1　魯山人と北陸温泉文化　山代・山中・金沢に伝わるもてなしの美学		目の眼	404
特集1　魯山人と北陸温泉文化　山代・山中・金沢に伝わるもてなしの美学		〃	〃
書から読み解く魯山人	北室　南苑		
仕事と遊びに精通した二人の才人から生まれた漆器	辻　石齋		
文化を超えて、時を超えて	松本　初夫談		
特集2　魯山人と山中塗	北室　南苑	〃	409
幻の壁画「桜」と「富士」　ポルトガルから里帰り　北大路魯山人没後50年記念展		産　経	1.6
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　1996年受賞北川一成	北川　一成談 杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
イマージュの交感 No. 13～23　蕪村VS西洋美術	北川　健次	ギャラリー*	297～305、307、308
イマージュの交感　蕪村VS西洋美術　連載20回記念　美術家・北川健次の仕事		〃	305
Close-up　北川宏人　現代的なモチーフとは裏腹に直向きに創作に取り組む「職人肌」		〃	302
2009年度日本芸術院賞(4氏美術)決まる　恩賜賞には山本文彦氏　武腰敏昭氏、樽本樹邨、北川原温氏が受賞		新美術新聞	1213
東京芸大が研究　“重文”に触れる「肌の質感全く違う」[北郷悟]	丹治早智子	東　京	11.12
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　京都画壇出身の女流画家　秋野不矩・梶原緋佐子・北澤映月		美術の窓	325
北園克衛発橋本平八宛書簡―橋本健吉から北園克衛へ	野田　尚稔	世田谷美術館紀要	11
「展覧会をつくる2008」	北田　克己	広島市立大学芸術学部紀要	15
青手小禽文飾皿　北出不二雄		石川県立美術館だより	316
北出不二雄氏の特別御受賞を祝って	高田　宏	陶　説	691
写眼　うごめく群衆「溶かす」　北野謙「溶遊する都市／Flow and Fusion」(1990年)	三品　貴志	産　経	3.13
SPECIAL FEATURE　パリを沸かせた北野武の展覧会　ビートたけし／北野武、あなたは誰だ？	岩渕　貞哉	美術手帖	939
文化往来　北野武氏、パリで初の展覧会「絵描き小僧」		日　経	3.1
記者ノート「たけし流」芸術の都でも	市原　尚士	読　売	4.1
現代版画技法、レーザー・エングレービング版画の試み	北野　裕之	京都精華大学紀要	36
みんなのマンガ学　釣りバカ日誌　コミカルに企業社会を風刺[北見けんいち]	吉村　和真	朝日夕刊	1.13
筆と紙の接点のドラマ―筆心に耳を傾けて―	北村　宗介	書道界	246

2010年日本建築学会賞（作品）　洗足の連結住棟［北山恒］		建築雑誌	1607
Close-up　北山善夫　あらゆる枠組みを飛び越えて北山善夫は本格的に「絵画」と取り組んでいる		ギャラリー*	298
作家随想１　現代におけるアジア的ダダイスト―韓国における日本と中国の現代美術展を機に考える	北山　善夫	視覚の現場　四季の綻び	5
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20　CASE２　木津文哉　朽ちてこそ、愛しき	木津　文哉談	美術の窓	326
ドガ展　日常生活　刹那の美しさ	城戸真亜子	読　　売	10.8
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　鬼頭恭子	高山　　淳	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　鬼頭恭子	〃	〃	325
鬼頭健吾展／特集展示・岡崎乾二郎　増殖　無軌道とコントロール	大西　若人	朝日夕刊	2.10
ART＋　華やかな表面空虚な内側［鬼頭健吾］	（清）	読売夕刊	1.25
第14回杜賞受賞者のことば　建築が魅せる風景	木藤美和子	杜	28
コミック　のりりん１　鬼頭莫宏〈作〉　自転車で感じる風、音、振動	南　　信長	朝　　日	8.29
広告特集　画材ガイド　衣川泰典	高橋　美礼	美術手帖	945
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	絹谷香菜子	美術の窓	321
退任記念展　絹谷幸二　生命の軌跡　広大の無辺の創造力　藝大とともに		新美術新聞	1204
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　文化芸術は主義や主張を越える翼	絹谷　幸二	〃	〃
平城京　あの奈良へ／興福寺　世界遺産が遊び場だった	〃	太陽（別冊）	165
PREVIEW 退任記念展　絹谷幸二　生命の軌跡	小森佳代子	美術の窓	316
巨匠展―今そして未来2010　出品作家インタビュー	絹谷　幸二	〃	320
絹谷幸二さん退任で記念展　「再度ロケット噴射させたい」	大西　若人	朝日夕刊	1.13
アートな匙加減	絹谷　幸二	産　　経	1.15、2.21、3.21、4.18、5.23、7.1、8.22、10.17、11.21、12.19
交遊抄　義理堅い絵の師［絹谷幸二］	木村　皓一	日　　経	4.30
絹谷幸二さんが東京芸大退任記念展　平和願う心色に込め　「苦しさを躍動する力に変えてきた」	岸　　桂子	毎日夕刊	1.7
第２回絹谷幸二賞贈呈式　未来志向、物語性を賞賛　大谷さんと小沢さんを激励	岸　桂子 永田　晶子	〃	3.24
アーティストの「素」切り取る　石巡る表情収めた写真集［木之下晃］	吉田　純子	朝　　日	1.11
所蔵品紹介　在りし日の想い　木下晋	山口　洋三	エスプラナード	159
母親学　画家　木下晋　１～４	木下　　晋	産　　経	7.7、14、21、28
読書をする人８　木下孝則	尾崎　真人	新美術新聞	1235
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　君島安子	高山　　淳	美術の窓	325
木村伊兵衛氏撮影　被爆２年後の広島500点		日経夕刊	12.13
木村伊兵衛とカルティエ＝ブレッソン　２人の写真家を対比した展覧会開催	岸　　桂子	毎日夕刊	1.6
ART＋　個性写すポートレイト［木村伊兵衛］	（前）	読売夕刊	1.4
呼吸している場所　10年目のメディアテークへ	伊東　豊雄 木村浩一郎 鹿野　　護	ミルフィユ	2

赤線奇譚　木村聡著		日　経	11.21
《連載》戦時下日本の美術家たち　第39～42回　チミモウリョウになって人生に遊ぶ 木村荘八　1～4	飯野　正仁	あいだ	173、175、177、178
Osamu's Invitation 32　木村荘八と猫	原田　治	芸術新潮	726
喪友記　木村威夫氏を悼む　リアリズム＋α	鈴木　清順	日　経	3.27
さようなら木村威夫先生　集大成の映画遺作に	林　海象	読　売	4.1
PREVIEW 木村鐵雄回顧展　画業65年のあゆみ	高山　淳	美術の窓	320
茨城県近代美術館所蔵作品から　木村武山「貴紳観桜図」	永松　左知	游　美	65
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　木村保夫	高山　淳	美術の窓	320
ARTIST INTERVIEW 木村友紀	籔前　知子 聞き手	美術手帖	945
視線　DAIWA PRESS VIEWING ROOM vol. 9　木村友紀編	保坂健二朗	朝　日	4.18
女学生の視点で戦争を描く　漫画家・今日マチ子さん	高橋　咲子	毎日夕刊	12.21
追悼　清浦正風氏　希有の人清浦正風先生を悼む	佐藤　賢	新美術新聞	1232
Recommend! Book『銀河鉄道の夜』[清川あさみ]	大城　譲司	デザインの現場	169
秋元康流“アートのすすめ”　第23回ゲスト　清川あさみ	秋元　康、清川あさみ談　山内　宏泰構成	美術手帖	940
ひと　異色の刺しゅうアートで賢治ワールドを表現した　清川あさみさん	榊　真理子	毎　日	2.17
ぎゃらりいモール　清川泰次記念ギャラリー「清川泰次が写した昭和の女性たち」から「弟と母」清川泰次	村上　由美	読売夕刊	2.23
子供と育つ　写真家桐島ローランドさん　痛みから学んでほしい	桐島ローランド	日経夕刊	1.12
平成21年度壺屋焼物博物館企画展「壺屋三人男―小橋川永昌(二代目仁王)、金城次郎、新垣栄三郎」関連講座報告	赤嶺由紀子　島袋　常秀談	壺屋焼物博物館紀要	11
記憶　戦後65年　新聞記者が受け継ぐ戦争　沖縄戦「差別」の源流　中　「日本人化」幻想だった　皇軍に志願、息子に夢託す[金城実]	佐藤　直子　小嶋麻友美	東　京	6.16

（ク）

INFORMATION AUTHOR　この本著者に会いたい　久家靖秀が見た「価値創造」の現場・アトリエ	編　集　部	美術手帖	932
展覧会とアーティスト3　日下淳一「インターフェース」展　基本はキャンバス。服も布、キャンバスも布です…		ギャラリー*	308
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　日下美千代	高山　淳	美術の窓	320
横浜の写真師・日下部金兵衛と神戸風景2	田井　玲子	神戸市立博物館研究紀要	26
のる　草間彌生、名古屋を走る		芸術新潮	730
ときの人11　前衛芸術家　草間彌生さん「あいちトリエンナーレ2010」でのオマージュ		新美術新聞	1207
SPECIAL FEATURE　この夏行きたい！アートの旅　AICHI GUIDE　愛知　開幕間近！あいちトリエンナーレ2010に行きたい　あいちトリエンナーレ開催に寄せて	草間　彌生	美術手帖	940
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19　CASE13　草間彌生・奈良美智ほか　ドローイングという名の衝動　「ドローイング―いのちの衝動を伝えるアート」	小勝　禮子	美術の窓	324
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　ますます人気沸騰中、草間彌生のパワー		〃	325
「ウフィツィ美術館」展　日本の顔も仲間入り　草間弥生・横尾忠則・杉本博司	小川　雪	朝日夕刊	9.29

草間彌生さんデザイン　水玉バスが故郷を走る		産　経	12.7
文化往来　草間彌生の赤い水玉、商店街を［占拠］		日　経	7.16
拓くひと　これからも　草間彌生さん　水玉や網目「増殖する」先端美術　心を描く10代での原点今も	小川　敦生	日経夕刊	2.20
現代美術家３人の自画像　「巨匠の末席、うれしい」　伊・ウフィツィ美術館に寄贈［草間彌生］	岸　桂子	毎日夕刊	9.15
コミック　ひねもすハトちゃん　久世番子〈作〉　へっぽこ中学生活ゆる～く	南　信長	朝　日	4.18
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　口澤弘	高山　淳	美術の窓	320
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　工藤和男	〃	〃	〃
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　工藤純	〃	〃	325
彫刻家の現場から64　國松明日香	武田　厚	〃	323
ひと　「最期の姿」を撮り続ける写真家　國森康弘さん	市川美亜子	朝　日	5.27
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　國安珣子	高山　淳	美術の窓	325
青春プレイバック　洋画家　久野和洋　すべての絵は自画像である	袴田　智彦	新美術新聞	1234
Go! Artists Go！44　久保俊太郎	編　集　部	美術手帖	940
研究報告　バイオメディア・アート	久保田晃弘 岩崎　秀雄	多摩美術大学研究紀要	24
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　久保田勝巳	高山　淳	美術の窓	320
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　窪田千寛	〃	〃	〃
彫刻家の現場から59　久保田実	武田　厚	〃	318
特集　クリエイティブ・トークセッションⅡ　隈研吾と石井裕をつなぐ、未来へのキーワード	遠藤　健	ＡＸＩＳ	147
特集＝新創開館記念シンポジウム　美術館をつくる―根津美術館の実践と提言　基調講演１　都市と美術館	隈　研吾	此　君*	2
オピニオン　インタビュー　土地に根ざす建築　建築家　隈研吾さん	池田洋一郎 聞き手	朝　日	2.6
記憶を受け継ぎ再生　歌舞伎座2013～∞［隈研吾］	山口　宏子	〃	4.27
建築家が想い描く　2050年の東京～UIA 2011東京大会を前に	隈　研吾 永山　祐子 古谷　誠章	日　経	12.16
拓くひと　これからも　隈研吾さん　竹や木とハイテク　調和した建物　建築は対話　不況時こそ鍛錬	窪田　直子	日経夕刊	2.16
学びのふるさと「建築とは結局は粘り」　サハラ砂漠で研究室の先生の言葉　良いもの造る努力怠らず　建築家　隈研吾さん	井沢　真志 聞き手	〃	5.7
人間発見　「負ける建築」で勝つ１～５　建築家隅研吾さん	嶋沢　裕志 聞き手	〃	6.28～7.2
第51回毎日芸術賞　受賞者の業績　建築部門　根津美術館の設計　建築家隈研吾さん　繊細な面や線の集積	五十嵐太郎	毎　日	1.1
毎日芸術賞の人々２　根津美術館の設計　隈研吾さん　建築部門　環境と一体化を目指す	永田　晶子	毎日夕刊	1.14

第51回毎日芸術賞贈呈式　受賞者の喜びの声　建築家　隈研吾さん　仲間と完成させた美術館	隈　研吾	毎日夕刊	1.28
松任谷由実プレミア対談　yumiyoriな話第22回　隈研吾さん	田中　誠構成	読売夕刊	5.7
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 VII[久万盛幸]	佐藤　一郎 木島　隆康 大西　博 桐野　文良 増田　久美 土屋　裕子 作間美智子	東京芸術大学美術学部紀要	48
作品　「変塗螺鈿箱椿」「変塗螺鈿箱かたくり」	熊谷　晃	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
作品　「ゆるやかな活動」	熊谷　峻	〃	〃
PREVIEW 熊谷睦男の世界展	磯部　靖	美術の窓	321
異才列伝　熊谷守一描きたい絵貫いた「仙人」	鈴木　美潮	読　売	2.14
デザイナーが推薦する現代の職人　熊谷有記推薦　今城メリヤス　今城満夫	草野　恵子、 立古　和智、 渡部　千春、 松本　希子、 編集部文	デザインの現場	170
Go! Artists Go！42 熊澤未来子	編集部	美術手帖	933
読解絵画鑑賞講座09[熊沢未来子]	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛	13
J. McN. ホイッスラーの作品と芸術論についての日本における紹介—東西交流の視点から林忠正、岩村透、久米桂一郎を中心に—	小野　文子	ジャポニスム研究	30
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	久米　伴香	美術の窓	321
みんなのマンガ学　あんみつ姫　「重し」を吹き飛ばした少女[倉金章介]	吉村　和真	朝日夕刊	3.17
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　救いの言葉	倉島　重友	新美術新聞	1204
学校と私　漫画家倉田真由美さん　男子の目意識しておしゃれ	井上　俊樹聞き手	毎　日	6.5
10攻防の夏　私たちが首相に求めるもの　町工場のリーダーなら　漫画家倉田真由美さん	宮田　哲 平野　幸治 井田　純	毎日夕刊	6.3
会いたい人　漫画家倉田真由美さん「恋愛と就活は似ている」!?　就職留年し、20社受けて全滅	福島　茜 大竹　麻代	〃	9.17
みんなのマンガ学	倉持佳代子	朝日夕刊	
天然コケッコー　等身大の中２の恋　瑞々しく[くらもちふさこ]			6.7
いつもポケットにショパン　鍵盤の表情伝わる丹念な描写[くらもちふさこ]			12.20
入門講座　日本の創作アニメーション２　映画祭の生みの親・久里洋二　大人に響く自由・シンプル	山村　浩二	日経夕刊	10.14
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　栗崎武成	高山　淳	美術の窓	320
写真のすべて　後編　プロの撮影—栗林慧の場合		美術屋・百兵衛	14
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19　CASE 1　栗原一郎　動きのある裸婦デッサン	栗原　一郎	美術の窓	324
特集　妻を語る　洋画家栗原喜依子	石崎　守	游　美	66
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　栗山斉	栗山　斉	美術手帖	937
私の等伯　没後400年特別展から　漫画家黒鉄ヒロシさん　媚びないまなざし感じる	黒鉄ヒロシ	毎日夕刊	2.5
新幸福論　生き方再発見　漫画家黒鉄ヒロシさん　バランスを保ちながら、要はタフになれ。	中山　裕司	〃	4.7

まさに万物に命を吹き込んだ　人形アニメーション作家・川本喜八郎さんを悼む	黒坂　圭太	〃	9.1
黒崎彰　黒崎彰の「赤」とは	瀬尾　典昭	版画芸術	147
黒沢明　絵筆は映画のために	狩野　博幸	芸術新潮	729
黒澤明生誕100年展覧会や作品上映会相次ぐ　画コンテ、舞台裏資料も		読売夕刊	9.3
学生企画―美大で何を見つける？1　黒瀬陽平	黒瀬　陽平	瓜生通信	49
黒田清輝の在任時代に収集された素描模写資料について	島津　京	東京芸術大学大学美術館年報	H20年度
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち原田直次郎・黒田清輝―日本初の洋画団体分裂、徹底対決!!脂派VS紫派		美術の窓	320
児童ら300人平和の絵　「ノーベル」世界サミット歓迎[黒田征太郎]	樋口　岳大	毎日夕刊	10.6
ゆったりアート　力強さ放つ漆の朱[黒田辰秋]	岸　桂子	〃	8.13
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　黒田真由美	高山　淳	美術の窓	320
INFORMATION COMPETITION　新人写真家の登竜門「キヤノン写真新世界」グランプリ決定！[クロダミサト]	山内　宏泰	美術手帖	933
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　桑久保徹	桑久保　徹	〃	937
テークオフ　美術家桑久保徹さん　自らの内に「仮装の画家」	小川　雪	朝日夕刊	8.19
ふだん着に注ぐ愛の意匠　「着る人に寄り添う」桑沢洋子の教えを次代へ	小田　一幸	日　経	11.24
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」4　しまおまほさんへ、『東京長日』を。[桑原甲子雄]	森岡　督行	百　科*	569
土曜訪問　人工的でこそアート　桑山忠明さん(美術家)	宮川まどか	東京夕刊	5.15
創造神話　ロトチェンコと桑山忠明　ミニマリズムの反復	菅原　教夫	読　売	5.13

（コ）

呉亜沙		art _ icle	32
21世紀芸術研究所―3 Key Words Research―　呉亜沙		ギャラリー*	304
写眼　自然が撮らせてくれる　小池清通「砂漠の精霊たち」	篠原　知存	産　経	3.6
アクリリックス・ワールド56　小池潤也	いしいよしゆき	美術手帖	934
PREVIEW 小池タケシ作品展　感動は、色彩をつかみ出す―北の大地	高山　淳	美術の窓	320
2010年日本建築学会作品選奨　府中市立府中小学校・府中中学校“府中学園”[小泉治]		建築雑誌	1607
大特集　いざ鎌倉　武家の都の祈りと美　鎌倉　いい店、好きな店　Agio　赤ワインの夜は更けて	小泉　淳作	芸術新潮	731
話題の人巻頭インタビュー　小泉淳作さん(日本画家)	編　集　部	目の眼	411
小泉淳作　東大寺襖絵に挑む　天地人が溶け合う　荘厳なる桜の浄土	竹田　博志	日　経	4.17
読書をする人2　小磯良平	辻　智美	新美術新聞	1215
美の美　輝けるパステル下[小磯良平]	窪田　直子	日　経	12.26
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　戦争なき平和を願う平山芸術	郷倉　和子	新美術新聞	1204
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　鞠谷直美	磯部　靖	美術の窓	320

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 荒神明香	荒神 明香	美術手帖	937
The Long Distance Chat Open—endedness and new Slovenian architecture	ピーター・シェンク 河野 裕	建築雑誌	1609
「普通の生活」 敬意の絵筆 こうの史代さん 漫画家		読 売	8.13
INFORMATION 動物と人間と剥製—「大哺乳類展」に寄せて	鴻池 朋子	美術手帖	935
SPECIAL FEATURE この夏行きたい！アートの旅 アーティストが語る旅1 鴻池朋子	〃	〃	940
作家通信 身近な水墨画の掛軸展	紅梅 美峰	趣味の水墨画	250
「守ろう、生かそう憲法九条美術展」を開催 九条美術展の今日的意義	光山 茂	美術運動	137
サッカー芸術かっこいい 独学で道開き26年、名選手をリアルに描く	肥塚 正	日 経	6.16
特集 謎解き名画—イコノグラフィ研究— 日本編 謎8 海 「海」[古賀春江]	森山 秀子	美術の窓	323
美の履歴書169 画面を区切ったわけ 「海」 古賀春江	西 正之	朝日夕刊	8.25
絵画と文学 超現実的な対話 「新しい神話がはじまる。古賀春江の全貌」	海野 弘	東 京	9.6
REVIEWS03 天国のような無重力空間 五木田智央「HEAVEN」展	工藤 キキ	美術手帖	933
特集 欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE 8 小久保裕 イメージを練り上げるドローイング		美術の窓	324
2010年日本建築学会作品選奨 代々木ゼミナール本部校 代ゼミタワーオベリスク[奥石秀人]		建築雑誌	1607
Recommend! Architecture 12のストゥッディオーロ（MM 1221）[小嶋一浩]	鈴木 紀慶	デザインの現場	170
出版 『木版画の世界』	五所 菊雄	日本版画協会々報	146
巨匠展—今そして未来2010 出品作家インタビュー	小杉小二郎	美術の窓	320
研究発表〈要約〉 放菴の片ぼかしと近世絵画—「小杉放菴と大観」展を開催して—	出光佐千子	近代画説	19
美の美 芭蕉の眼になる 下[小杉放菴]	内田 洋一	日 経	10.24
質問なるほドリ 黒獅子旗ってどんな旗？[小杉放菴]	袴田 貴行	毎 日	8.27
特輯 和製油画 二世五姓田芳柳 菅公梅ヲ詠スルノ図	佐藤 道信	国 華	1382
新・旧刊案内42 横田洋一稿「五姓田義松とハインリッヒ・フォン・シーボルト」への補遺、根岸武香のことなど	青木 茂	一 寸	42
ぎゃらりいモール 川越市立美術館「日本近代絵画への道」から「人形の着物」五姓田義松	横山 りえ	読売夕刊	9.28
写眼 もう見られない夜景 小瀧達郎「江ノ島」（平成12年）	海老沢 類	産 経	11.20
レビュー 小谷浩士展	日沖 隆	REAR	23
特集 アート／アニメーション インタビュー：小田部羊一 全てはアニメーターの1本の線から生まれる	高橋 綾子 聞き手・まとめ	〃	〃
墨のある風景 児玉希望《初夏》	安本 收	趣味の水墨画	255
彫刻家の現場から61 小寺真知子	武田 厚	美術の窓	320
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 後藤輝	後藤 輝	美術手帖	937
新収資料紹介 片岡京二作「喫煙の自画像」・後藤和信「拓響」	柿崎 博孝	SHÛ	34

東京写真10　旧豊多摩監獄表門［後藤慶二］	小泉　大士	毎　日	5.23
日本のアートネクスト、美大のアートネクストを問う「NIPPON ARTNEXT 2010」［後藤繁雄］	林　里佐子	瓜生通信	51
油絵で「浅草今昔物語」　変わりゆく風景１枚に凝縮　麻布の後藤さん１年かけ大作［後藤茂樹］	中村　隆	読　売	12.6
日々好日　上富良野にて	後藤　純男	新美術新聞	1209
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT02 後藤隆哉	山内　宏泰	美術手帖	945
制作記録　憎しみの連鎖	後藤　徹	金沢美術工芸大学紀要	54
コミック　R-中学生１　ゴトウユキコ〈作〉　思春期の純情と発情鮮烈に	南　信長	朝　日	5.2
裏方さん　妥協ない舞台づくりに修練［後藤芳世］		日　経	1.1
第14回杜賞受賞者のことば　杜賞受賞にあたって	後藤　怜亜	杜	28
世界からの信頼　小中大地　小中大地、ゴブリン博士になる	小中　大地　片山、早渕、廣瀬　インタビュー	CLOSET	3
PREVIEW 神々の微笑　小灘一紀絵画展	編　集　部	美術の窓	316
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　小西淳子	高山　淳	〃	320
制作ノート　小西俊也	小西　俊也	武蔵野美術大学研究紀要	40
小西紀行展「個として全」	（和）	産　経	1.6
佐久市立近代美術館の思い出	小西　雅也	新美術新聞	1228
小沼和喜子　夫の音楽とともに	高山　淳	美術の窓	324
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　小沼和喜子	〃	〃	325
平成21年度壺屋焼物博物館企画展「壺屋三人男―小橋川永昌（二代目仁王）、金城次郎、新垣栄三郎」関連講座報告	赤嶺由紀子　島袋　常秀　談	壺屋焼物博物館紀要	11
欧文書体のつくりかた　第８回、最終回	小林　章	デザインの現場	169、170
受賞者訪問５　第16回川上澄生美術館木版画大賞　大賞受賞小林文香		ギャラリー*	301
ぎゃらりいモール　竹久夢二美術館「小さな紙の美　絵封筒の世界展」から　写真左から「題不詳」15.5×6.3センチ、「WEDNESDAY／水曜」15.6×6.5センチ、「題不詳」15.5×6.4センチ　小林かいち	石川　桂子	読売夕刊	8.31
小林清親の銅版画帖　銅・石版画遺聞38	森　登	一　寸	43
特集　近代とノスタルジア　失われゆくものの自覚と喚起の装置としての絵画―高橋由一、小林清親を中心に	山梨絵美子	日本思想史	77
「小林巣居人の世界」展に寄せて　父「巣居人」の思い出	小林　恒岳	新美術新聞	1204
REVIEWS 誤って目玉を裏向きに入れられて	小林　耕平	美術手帖	944
永青文庫の昔の写真７　川端康成、武者小路実篤、志賀直哉、小林古径、横山大観……。芸術家たちの残像。	田沼　武能	永青文庫	70
「往来葉書」で気持ち交感　絵を描き送り・詩を添え返信、思わぬ創造発見	小林　重予	日　経	5.24
装幀本談義　花のある本たち　織田一磨『FLOWERS』・橋本邦助『家庭園芸術』・小林鐘吉『西洋草花』	山田　俊幸	一　寸	41
「小林巣居人の世界」展に寄せて　父「巣居人」の思い出	小林　恒岳	新美術新聞	1204
巻頭特集　構図を極める　㊱技法講座　VOL. 17　人気作家が教える構図 step up 術　special essay 小林孝亘／構図のこと　形のあるものをきっかけに、目には見えない「何か」を描きたい	小林　孝亘	美術の窓	316

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 山下麻衣＋小林直人	山下 麻衣 小林 直人	美術手帖	937
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 小林史子	小林 史子	〃	〃
みんなのマンガ学 What's Michael？ 猫のふてぶてしさもコントに[小林まこと]	倉持佳代子	朝日夕刊	5.10
横たわるブッダ 小林正典著		日 経	3.14
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史 Column このジャンルに注目！ INTERVIEW 小林泰彦	都築 潤、福井 真一 聞き手 福住 廉 構成	美術手帖	932
日々好日 ライブペインティング	小林 裕児	新美術新聞	1231
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 小林裕児	高山 淳	美術の窓	320
コミック にがくてあまい 小林ユミヲ〈作〉 彼との同居のきっかけは「食」	ササキバラ・ゴウ	朝 日	9.19
展覧会とアーティスト2 尾道市立美術館開館30周年記念特別展小林和作展 尾道とその一帯は、寶玉を彫琢して造った寶島		ギャラリー*	307
REVIEWS03 侍とブルジョアジーの肖像「侍と私 ポートレイトが語る初期写真」展	小原 真史	美術手帖	940
収蔵品から 《燈下》小堀四郎	矢野 進	世田谷美術館だより	84
PREVIEW 駒井哲郎展 福原コレクション 生誕90周年—闇と光のあわいに	小森佳代子	美術の窓	326
美の履歴書180 一時の夢を描くわけ「束の間の幻影」 駒井哲郎	西田 健作	朝日夕刊	11.17
ゆったりアート しっとりした色彩美[駒井哲郎]	岸 桂子	毎日夕刊	11.26
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 編集部が選ぶ 注目の新人アーティスト42	小松 宏誠	美術の窓	321
追悼 五味秀夫氏を偲んで	入江 観	新美術新聞	1227
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 小牟田悠介	小牟田悠介	美術手帖	937
特集 小村雪岱を知っていますか？		芸術新潮	722
資生堂で最先端デザイナー修業 1918～23	編 集 部		
これぞセッタイその1 大胆にして端正、とびっきりの装幀家 1914～40 折衷の美—雪岱の装幀	平田 雅樹		
これぞセッタイその2 多忙な多忙な挿絵画家稼業 1922～40 「雪岱調」の誕生	原田 治		
これぞセッタイその3 役者が惚れた舞台美術家 1924～40 絶品の仕事	〃		
めぐるひとびと 水上瀧太郎／久保田万太郎／里見弴／鏑木清方／邦枝完二／木村荘八	編 集 部		
肉筆発見—そもそもは日本画家でしたから	〃		
雪岱版画の秘密	〃		
雪岱おじさんのこと	小村 欣也談		
Osamu's Invitation 28 映画の蔭の雪岱	原田 治	〃	〃
日本美術のススメ Special 小村雪岱の魅力	大越 久子	美術の窓	316
千宗屋の茶のある暮らし 是真と雪岱	千 宗屋	朝日夕刊	1.14
美の履歴書140 なぜ人がいないのか？「青柳」 小村雪岱	田中 三蔵	〃	1.27

大正から昭和の「本の装丁」「舞台美術」大衆文化の魅力　再発信へ340点展示　さいたまで小村雪岱展	鷲野　史彦	東　　京	1.16
@展覧会　小村雪岱とその時代　「昭和の春信」情緒豊かに	岸　　桂子	毎日夕刊	1.26
新美術時評　小室翠雲の「流れ」と「評価」	島尾　　新	新美術新聞	1222
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19　CASE 2　小柳吉次　初心者のための誌上デッサン教室：静物	小柳　吉次　談	美術の窓	324
特集　ルーシー・リーに会いたい　「彼女は、偶然性を受け入れられる人だったと思います」　陶芸家が読むルーシー・リーの釉薬ノート	小山　耕一　解説	芸術新潮	726
巻頭エッセイ　SKとTA　『従征日記』の挿絵画家[小山正太郎]	河田　明久	近代画説	19
特輯　和製油画　小山正太郎　濁醪療渇　黄葉村店	内呂　博之	国　　華	1382
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　小山泰介	小山　泰介	美術手帖	937
写眼　抽象と具体のあいだ　小山泰介「Melting Rainbows/Starry」	篠原　知存	産　　経	6.19
特集　エフェメラ(ephemera)―短命な建築媒体を後世に―第二部〈課題〉在来の媒体はどう生き残るか　事例2　銀塩写真の現場から	小山　優子	建築雑誌	1610
惜別　アニメーション監督　今敏さん　「夢みる機械」寝たきりでも資料作り	小原　　篤	朝日夕刊	10.16
追悼抄　アニメーション映画監督　今敏さん　緻密な作風　海外も評価	福田　　淳	読売夕刊	10.2
作品　「沈金合子「水温む」」	金　　千鶴	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
米美術館がユーチューブと映像コンテスト[近藤聡乃]	丹内　敦子	朝　　日	11.22
研究小話　建築家白井晟一と近藤浩一路	谷内　克聡	群馬の森美術館ニュース	140
学生企画―美大で何を見つける？5　近藤さくら	近藤さくら	瓜生通信	49
対談3　用と美の間で作家は何を思うのか？	志村ふくみ、近藤　高弘　対談	目の眼	406別冊
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　近藤伸子	磯部　　靖	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　近藤伸子	〃	〃	325
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ3　絶滅しようとするもの、記憶すべきもの	近藤ようこ	芸術新潮	721

（サ）

特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20　CASE 4　齋正機　ぬくもりの記憶	齋　正機　談	美術の窓	326
福島文化考　現代版画の先駆者　斎藤清		美術屋・百兵衛	15
齋藤敬治　年譜―ある図画教師の足跡―	木村　一貫	新潟市歴史博物館研究紀要	6
特集　作家座談会と小川英晴の作品評論　公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)　座談会：公募展への視点	生方　純一、川内　悟、齋藤　茂男、舘野　弘、中島　敏明、林　純夫、福田　玲子、山中　宣明　司会	ギャラリー*	305
彫刻家・斎藤茂の仕事について	井関　正昭	新美術新聞	1229
文化往来　瞽女を描き続けた斎藤真一の絵と詞		日　　経	2.16
領分　齋藤誠一著		〃	12.5
齋藤誠一写真集「領分」	(前)	読　　売	11.21

春の叙勲　さいとう・たかをさん　旭日小綬章　「ゴルゴ13」お前にくれたんじゃない		朝　日	4.29
春の勲章　「ゴルゴ13」描き続け42年　旭日小綬章　劇画家さいとう・たかをさん	大坪　玲央	産　経	4.29
あとがきのあと「俺の後ろに立つな」さいとう・たかを氏ゴルゴの秘密など明かす		日　経	8.15
春の叙勲に4021人　劇画家さいとう・たかをさん　常に新しい漫画を	内藤麻里子	毎　日	4.29
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　齋藤達也	石田　純子、吉田　宏子、編集部構成	美術手帖	944
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　齋藤俊子	高山　淳	美術の窓	320
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 VII［斎藤豊作］	佐藤　一郎 木島　隆康 大西　博 桐野　文良 増田　久美 土屋　裕子 作間美智子	東京芸術大学美術学部紀要	48
日中戦争期における雲岡石窟と日本人美術家（3）―柳瀬正夢と長谷川三郎を中心に［斎藤義重］	五十殿利治	筑波大学芸術研究報告	55
収蔵作品から　斎藤義重「作品 No.6」	若松　基	どおむ	109
日々好日　富士に魅せられて	サイトウ良	新美術新聞	1218
みんなのマンガ学　ぼくんち　善悪超えた愚かしさといとしさ［西原理恵子］	表　智之	朝日夕刊	3.24
児童書　きみのかみさま　西原理恵子著　子供の立場で見た「神」	戸津井康之	産　経	9.12
運慶　時空を超えるかたち　エッセイ　運慶のリアリズム	柴門　ふみ	太陽（別冊）	176
みんなのマンガ学　東京ラブストーリー　絶妙なセリフでドラマ採用［柴門ふみ］	倉持佳代子	朝日夕刊	1.6
「奈良の古寺と仏像―會津八一のうたにのせて―」展　東京展特集　私の中の仏像たち　柴門ふみさん会場を歩く　見る側変化　新たな発見	柴門　ふみ	日　経	7.20
日々好日　陶房の窓から	佐伯　守美	新美術新聞	1222
知られざる佐野繁次郎の佐伯祐三評	橋　秀文	神奈川県立近代美術館年報	2008年度
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　三岸好太郎・佐伯祐三―夭折の天才も団体展設立に挑戦		美術の窓	320
作家訪問408　陶芸家　五月女寛さん	編集部	目の眼	410
Pick-up 無名の巨匠　酒井亜人　日本画壇のモダニスト		ギャラリー*	303
PREVIEW 酒井亜人展	小森佳代子	美術の窓	322
切り絵、新世界切り開く　微細な模様・光の表情…［酒井敦美］	富田　律之	日経夕刊	4.6
コミック　ビューティフルピープル・パーフェクトワールド　坂井恵理〈作〉　美しい偽物に満ちた世界で	ササキバラ・ゴウ	朝　日	12.12
フェイス21世紀142　酒井恒太　動物と骨をモチーフに具象彫刻の可能性を探る	松崎　裕子	新美術新聞	1234
交遊抄　満月の夜のブランコ［酒井駒子］	小沢　剛	日　経	5.1
ワークショップ報告	酒井　正	実践女子大学美学美術史学	24
第57回日本伝統工芸展　金工　NHK会長賞　接合象嵌花器「回峯行」　坂井貂聖	南　俊英	朝日夕刊	9.18
デザイナーが推薦する現代の職人　酒井俊彦推薦　エアフレーム　寺田俊介	草野　恵子、立古　和智、渡部　千春、松本　希子、編集部文	デザインの現場	170

学生企画―美大で何を見つける？4　酒井洋輔	酒井　洋輔	瓜生通信	49
特集1　栄木正敏のセラミック・デザイン―リズム＆ウェーブ		現代の眼	585
私の陶磁器デザインと「三つのびっくり」	栄木　正敏		
栄木正敏・自己主張する産地型デザイナー	井上　隆生		
視点　榊莫山さんのこと	速水　史朗	美術の窓	327
天声人語[榊莫山]		朝　日	10.7
榊莫山さん死去　書家、詩・画一体の世界　人間の心と匂い伝える	林　寛子	東　京	10.6
偲ぶ　現代書家榊莫山さん　自由な書風と人柄	徳光　まり	東京夕刊	11.29
喪友記　榊莫山さんを悼む　懐かしい伊賀弁	元永　定正	日　経	10.8
追想録　榊莫山さん(書家)　自らを叱咤し詩書画一体	小橋　弘之	日経夕刊	10.22
余禄[榊莫山]		毎　日	10.8
悼む　榊莫山さん　書家　自らの美意識貫いた生涯	桐山　正寿	〃	10.24
書の芸術性を追求　愛すべき才人、榊莫山さんを悼む	木村　重信	毎日夕刊	10.7
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」9　坂口恭平さんへ、『POWERS OF TEN』を。	森岡　督行	百　科*	574
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史　PART 4　イラストレーションはどこへ向かおうとしているのか？　INTERVIEW　坂崎千春	都築　潤、福井　真一　聞き手　永峰　美佳　構成	美術手帖	932
坂田一男の帰国後作品にみる作風の変遷と特徴―色面分割に着目して―	細田　樹里	岡山県立美術館紀要	2
坂田泥華先生を偲ぶ	黒田　和哉	陶　説	686
坂田祐加里		art _ icle	30
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　坂手得二	高山　淳	美術の窓	320
2010年日本建築学会作品選奨　水無瀬の別棟[坂本一成]		建築雑誌	1607
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[坂本友由]		ギャラリー*	306
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　話題の若手作家ピックアップ1　アクリル編　坂本友由	坂本　友由	美術の窓	321
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　坂本夏子	坂本　夏子	美術手帖	937
第1回絹谷幸二奨励賞の坂本夏子さん　新作2点を発表	岸　桂子	毎　日	3.24
作品　「prisoner」「for GOOD communication」	坂本　憲信	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
特輯　和製油画　佐久間文吾　和気清麿奏神教図	高階絵里加	国　華	1382
特集　建築年報2010―建築学会総スクラム　第二部　会長・副会長座談会　この1年、現前する課題に如何に立ち向かったか	佐藤　滋、深尾　精一、辻本　誠、可児　才介、櫻井　潔、赤松佳珠子、中江　哲、饗庭　伸、伊藤　俊介、中谷　礼仁　聞き手	建築雑誌	1608
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　櫻井孝美	高山　淳	美術の窓	320
桜田知文《虫たちの秘密都市》、《夢のしずく》、《東広島市現代美術プログラム2009志和堀DNA》	桜田　知文	尾道大学芸術文化学部紀要	9
PREVIEW 佐光亜紀子洋画展―花と世界遺産―	小森佳代子	美術の窓	324

課外授業　美術のお時間９時間目[笹岡勇]	安井　収蔵	美術屋・百兵衛	13
笹岡啓子作品集「PARK CITY」		読　　売	1.10
うたた寝　「ほのぼの侃さん」を偲ぶ[佐々木侃司]	中沢　義則	日経夕刊	10.30
ぎゃらりいモール長谷川町子美術館「旅の途中の風景」から「気宇」佐々木信平	橋本野乃子	読売夕刊	6.1
SPECIAL FEATURE 妹島和世＋西沢立衛／SANAA INTER-VIEW SANAA を語る２　佐々木睦朗	平塚　　桂	美術手帖	943
肉体派アート「生きる」を実感　ほふく前進・柔道受け身行進[佐々木裕司]	富田　律之	日経夕刊	1.19
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[笹田靖人]		ギャラリー*	306
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART２ 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　笹山直規	笹山　直規	美術手帖	937
受賞者訪問11　アートアワード・ネクスト＃１　準大賞　佐竹龍蔵　日比野拓史		ギャラリー*	305
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 貞廣英明	磯部　　靖	美術の窓	320
みんなのマンガ学 新世紀エヴァンゲリオン　謎と愛憎　心の動き丹念に[貞本義行]	表　　智之	朝日夕刊	7.12
技法の現場から13～16	佐藤　一郎	連盟ニュース	433～436
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！　最新デザイン・キーワード100　PART１ デザイナーが語るデザインの未来へ繋がる注目キーワード リミテッド・エディション　nendo・佐藤オオキ	土田　貴宏	美術手帖	946
十代、こんな本に出会った　佐藤可士和さん　アートディレクター　『谷内六郎展覧会』「道」に悩んだときに帰る場所	安里麻里子	朝　　日	5.30
著者に聞きたい　佐藤可士和さん　佐藤可士和のクリエイティブシンキング　常識や既成概念を疑え	渋沢　和彦	産　　経	7.25
レビュー　佐藤克久「んーんーんん・ん・ん」	沢山　　遼	ＲＥＡＲ	23
INFORMATION 「人類最大の無駄、あるいは最高の天賦」を巡る旅[佐藤健寿]	編　集　部	美術手帖	936
SPECIAL FEATURE この夏行きたい！アートの旅　アーティストが語る旅２　佐藤健寿	佐藤　健寿	〃	940
視線　奇界遺産 THE WONDER-LAND'S HERITAGE 佐藤健寿著	荒俣　　宏	朝　　日	4.11
2009毎日デザイン賞 藤井保「大気の陰影をとらえた一連の写真」 静けさの中の余韻　物の原初に立ち返る	佐藤　晃一	毎　　日	3.1
2010年日本建築学会作品選奨　HOUSE YK/ISLANDS[佐藤淳]		建築雑誌	1607
PREVIEW 佐藤泰生原画展	竹田　博志	美術の窓	316
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド Column２　審査員からみたコンペ・アワード 佐藤卓の審査ポイント	佐藤卓 談 杉江　あこ 聞き手	デザインの現場	169
アートの地殻変動12 佐藤卓	北川フラム 聞き手 永峰　美佳 構成	美術手帖	935
交遊抄　太郎さんのお計らい[佐藤卓]	平野　暁臣	日　　経	12.18
スペインの美術館におけるアニメーション・ワークショップの実践研究	布山タルト 佐藤　忠彦	文星紀要	21
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その21 「水芭蕉曼荼羅」の画僧・佐藤多持	林　紀一郎	新美術新聞	1205

茨城県近代美術館所蔵作品から　佐藤忠良「帽子」	春田　友則	游　　美	64
こころの玉手箱　ノンフィクション作家澤地久枝4　佐藤忠良さんがくれた彫刻「男の子」	澤地　久枝	日経夕刊	8.26
画家の中の「生活」―佐藤哲三を起点に	澤田　佳三	新潟県立近代美術館研究紀要	9
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　佐藤朋子	宮下規久朗	美術の窓	321
美術学部教員展図録デザイン	白木　彰 佐藤　直木	愛知県立芸術大学紀要	39
美術学部教員展図録デザイン	佐藤　直木	〃	〃
特集　アートの創造活性装置「3331」誕生　3331デザインディレクター佐藤直樹＆3331広報ディレクター小崎哲哉		ギャラリー*	302
PREVIEW 佐藤緋呂子展　2010	船木　倶子	美術の窓	324
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　佐藤緋呂子	高山　　淳	〃	325
美術学部教員展図録陶磁	佐藤　文子	愛知県立芸術大学紀要	39
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　佐藤万絵子	佐藤万絵子	美術手帖	937
土曜訪問　風刺漫画を四半世紀　佐藤正明さん（漫画家）	三品　　信	東京夕刊	8.21
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」		美術手帖	944
INTERVIEW デザインという領域から逸脱をはじめた、佐藤雅彦のいま	石田　純子		
PEOPLE'S VOICE 佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　安本匡佑	石田　純子、吉田　宏子、編　集　部		
SPECIAL TALK 対談　福岡伸一×佐藤雅彦　私たちの“本性”はどこにあるのか	石田　純子		
DOCUMENT 試行錯誤の末にたどりついた展覧会制作ドキュメント	田中みゆき		
OTHER TOPICS 教育をデザインする	佐藤　雅彦		
OTHER TOPICS 課題解決としての『0655』『2355』	〃		
OTHER TOPICS 考え方の変遷	編　集　部		
新・アートの英語13～19	佐藤　　実	ギャラリー*	297～303、305
彫刻家の現場から68　佐藤守男	武田　　厚	美術の窓	327
画家・佐藤八生		美術屋・百兵衛	15
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　佐藤玲	佐藤　　玲	美術手帖	937
みんなのマンガ学		朝日夕刊	
アリエスの乙女たち　愛とは何か、問いかけた［里中満智子］	倉持佳代子		2.3
あした輝く　愛とは試練に打ち勝つ意思［里中満智子］	表　　智之		12.27
新春対談　1300年の文化継承　先人の見識に敬意　彫刻家籔内佐斗司さん　漫画家里中満智子さん	籔内佐斗司、里中満智子	日　　経	1.1
東大寺大仏　天平の至宝　歴史見つめた巨大な筆	里中満智子	読　　売	11.10
至宝を語る　第62回正倉院展4　華やかな靴　複雑な人生	〃	読売夕刊	10.28
世界からの信頼　眞田岳彦　私たちの足元にあるもの	眞田　岳彦 飯島、片山インタビュー	CLOSET	3

特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　2002年受賞佐野研二郎	佐野研二郎談　杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
知られざる佐野繁次郎の佐伯祐三評	橋　　秀文	神奈川県立近代美術館年報	2008年度
追想録　佐野洋子さん(絵本作家)　痛みの記憶、名作の原点に		日経夕刊	11.19
悼む　佐野洋子さん　絵本作家・エッセイスト　筋の通った自由人	西巻　茅子	毎　　日	11.28
さようなら佐野洋子さん　絵も文章も爽快・率直	三木　　卓	読　　売	11.9
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[SALOTEZUMO]		ギャラリー*	306
意外性のある写真・映像ズラリ　「出発　6人のアーティストによる旅」東京都写真美術館[さわひらき]	渋沢　和彦	産　　経	1.20
出発　6人のアーティストによる旅　下さわひらき　「small metal godsのためのmusic videoから」　夢の世界　旅する飛行機	藤村　里美	東京夕刊	1.23
悼む　沢田としきさん　絵本作家、イラストレーター　「描く」という天職を全う	木村　葉子	毎　　日	6.6
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　澤村みちる	高山　　淳	美術の窓	325
建築　神戸の展望台、六甲枝垂れ　自然現象のすべてを反映[三分一博志]	五十嵐太郎	毎日夕刊	8.24

(シ)

みんなのマンガ学　ぬらりひょんの孫　善悪超え人と共生目指す妖怪[椎橋寛]	伊藤　　遊	朝日夕刊	12.6
展覧会とアーティスト5　―植物の神秘に惹かれて―塩崎敬子油絵展　主役のいない植物たちの神秘の世界		ギャラリー*	306
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　塩崎敬子	高山　　淳	美術の窓	325
塩崎顕	斉藤　美和	art _ icle	28
地方の美術運動を探る(3)　愛知の美術運動の一断面	塩沢　哲弥	美術運動	137
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist　豊島　塩田千春		美術手帖	938
批評　2009年・塩田千春	岡部あおみ	R E A R	23
ACP Artists×Critics		CLOSET	3
疾　ARTIST　塩田芙貴子	塩田芙貴子		
救いを求める手　CRITIC　倉茂なつ子[塩田芙貴子]	倉茂なつ子		
ACP Open Discussion[塩田芙貴子]	松本　上村　鈴木　中村　山田　塩田　片山　倉茂　奥村　沼下	〃	〃
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます㊙技法講座VOL.18　実践編!!顔の描き方が分かる㊙技法講座CASE 1　塩谷亮／触りたくなる肌の表現	塩谷　亮　談	美術の窓	319
館蔵品紹介　《空間のポエムNo.1》[塩見允枝子]	橋本　　梓	国立国際美術館ニュース	178
コミック　純情娘ガテン系1　塩森恵子〈作〉　オンナ棟梁城をつくる	ササキバラ・ゴウ	朝　　日	2.14
コミック　たまりば1　しおやてるこ〈作〉　重なっていく会話の楽しさ	山脇　麻生	朝　　日	7.4
ようこそ、新しい先生2　芸術学部教授志賀公江	志賀　公江	瓜生通信	50

あの人に迫る　構えることなく　ふっと足運んで　志賀理江子　写真家	相坂　穣	東京夕刊	10.15
作家随想２　水墨画の今昔―特に直原玉青と掛軸画のあれこれについて―	高野　洋子	視覚の現場　四季の綻び	7
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　直原清美	高山　淳	美術の窓	325
フェイス21世紀132　重野克明　言葉をもとに軽妙洒脱な作品世界を創造	窪田　元彦	新美術新聞	1206
資料紹介　宍戸左行「スピード太郎」	金澤　韻	川崎市市民ミュージアム紀要	22
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT01 カイカイキキ三芳スタジオ　シショウ	岡澤浩太郎	美術手帖	945
批評　設楽知昭の絵画　表現することの寄る辺無さについて	中井　康之	ＲＥＡＲ	23、24
篠田義一さんを偲ぶ	水野　英男	陶　説	686
ぎゃらりいモール　森美術館「ネイチャー・センス展」から「残響」篠田太郎	片岡　真実	読売夕刊	9.14
篠田桃紅さん７年ぶり個展　97歳一瞬の移ろい描く	小川　雪	朝日夕刊	6.25
情報デザイン学科特別講義篠原有司男ライブトーク	仲宗根　厚	瓜生通信	49
特集　ナイーブアーキテクチャー　第二部　インタビュー　大辻邸(上原通りの住宅、1976)[篠原一男]	大辻　誠子 柴原　聡子 聞き手	建築雑誌	1601
原田泰治　野の道を歩く画家　エッセイ　タイジの絵	篠原　勝之	太陽(別冊)	原田泰治
現在通信　From NEWYORK 愛はNYに咆哮する[篠原乃り子]	富井　玲子	新美術新聞	1220
総特集　沖方丁『マルドゥック・スクランブル』『蒼穹のファフナー』『オイレンシュピーゲル』『天地明察』…ジャンルを超えて躍動する若き物語作家の冒険　沖方式三題問答集　「嫌がらせ」を作品に昇華する方法　お子さま厳禁!?毒々トーク	沖方　丁 篠房　六郎	ユリイカ	586
URGENT FEATURE 篠山紀信『20XX TOKYO』事件を考える		美術手帖	939
『20XX TOKYO』公然わいせつ事件について	篠山　紀信		
対談：『20XX TOKYO』事件をめぐって　毛利嘉孝×後藤繁雄	毛利　嘉孝、 後藤　繁雄 西野　基久 構成		
『20XX TOKYO』から『2010年　東京』へ　篠山紀信と反転する裸体	椹木　野衣		
アートの地殻変動20　篠山紀信	北川フラム 聞き手 永峰　美佳 構成	〃	946
写真集ロケ　公然わいせつ　篠山氏に容疑書類送検	峯俊　一平	朝日夕刊	1.25
深層新層　紀信が「激写」した百恵とAKB時代も写すアイドル写真	大西　若人	〃	12.21
イサム・ノグチ庭園美術館　財団法人イサム・ノグチ日本財団編[篠山紀信]		日　経	2.21
ISAMU NOGUCHI　イサム・ノグチ庭園美術館[篠山紀信]	(良)	読　売	4.11
篠山紀信氏書類送検　公然わいせつ容疑		読売夕刊	1.25
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　芝教純	高山　淳	美術の窓	320
美術学部教員展図録デザイン	柴崎　幸次	愛知県立芸術大学紀要	39
オール手書き漫画でマヤ・アステカ一気読み[芝崎みゆき]		芸術新潮	727
次世代人　柴田鑑三さん　モノの表と裏考察	高野　清見	読売夕刊	1.9

柴田賢治郎先生を送る	池上　公平	共立女子大学文芸学部紀要	56
柴田秀一郎写真集「バス停留所」	(前)	読　　売	4.25
変幻自在の漆術　柴田是真の鮮やかなるだまし		芸術新潮	722
美味珍膳　十九　是真「だまし」の美学	小林　祐子	書道界	242
千宗屋の茶のある暮らし　是真と雪岱	千　宗屋	朝日夕刊	1.14
「柴田是真の漆×絵」展　視覚揺さぶる超絶技巧	大西　若人	〃	1.20
栄光と孤峰名工の技芸　「柴田是真の漆×絵」展	竹田　博志	日　　経	1.27
@展覧会　柴田是真の漆×絵　技巧を極めた「だまし」	岸　桂子	毎日夕刊	1.12
Close-up　柴田敏雄　美術領域から迫る写真の世界　柴田敏雄のタブロー・フォト		ギャラリー*	305
柴田れいこ写真集「Sakura　さくら」	(睦)	読　　売	4.4
公募団体展　受賞者に聞く２　第63回二紀展　同人賞受賞　柴野純子		ギャラリー*	299
2010年日本建築学会作品選奨　代々木ゼミナール本部校　代ゼミタワーオベリスク[芝山哲也]		建築雑誌	1607
作品　「KAMIKOA-NI」プロジェクト	芝山　昌也	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
受賞学生インタビュー第４回　サロン・ド・プランタン賞・台東区長賞受賞	澁澤　星	芸大通信	21
Art Chat Studio　11、12　渋谷和良×山口啓介(前・後編)	渋谷　和良、山口　啓介談	ギャラリー*	300、301
作品　「風土I」「風土II」	渋谷　重弘	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
写眼　わからないまま、伝えたい　澁谷征司「DANCE」	篠原　知存	産　　経	11.27
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　島栄里子	高山　　淳	美術の窓	325
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　松園・蕉園・成園　三大女流画家の描く女性の美[島成園]	〃	〃	
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」４　しまおまほさんへ、『東京長日』を。	森岡　督行	百　　科*	569
Pick-up　反骨の「描かざる」画家　島崎蓊助		ギャラリー*	298
思わず座りたくなる？　３人が選ぶ「美しい椅子」[島崎信]	河尻　　定	日　　経	4.8
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　嶋田明子	高山　　淳	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　嶋田明子「海のように」	〃	〃	325
現代風景画８選　島田鮎子	〃	〃	324
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　島田鮎子「ささやかな光のように」	〃	〃	325
PARIS発　パリの嶋田しづ、癒しと生命力	安部　雅延	新美術新聞	1213
FLUCTUAT NEC MERGITUR　漂えど沈まず(パリ市の紋章)	嶋田　しづ	〃	1221
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　島田章三	高山　　淳	美術の窓	320
巨匠展―今そして未来2010　出品作家インタビュー	島田　章三	〃	〃
第15回日本絵本賞大賞決まる「カワセミ青い鳥見つけた」動物写真家嶋田忠さん　初めて見た青の感動を再現	木村　葉子	毎　　日	3.24
洋画家・嶋田俊夫		美術屋・百兵衛	15

特集　現代ピアニスト列伝　アルゲリッチ、内田光子、ブーニン、ポゴレリチ、辻井伸行…鍵盤と指先の肖像　アンケート　我が鍾愛のピアニスト	島田虎之介	ユリイカ	580
収蔵品紹介　島内松琴《とんぼ図》《裏の庭》	河村　章代	高知県立美術館ニュース	69
SPECIAL FEATURE この夏行きたい！アートの旅　AICHI GUIDE　愛知　開幕間近！あいちトリエンナーレ2010に行きたい　参加アーティストの制作現場を訪ねる　島袋道浩	能勢　陽子	美術手帖	940
扉を開ける　島袋道浩著		日　経	9.12
島袋道浩作品集「扉を開ける」	(前)	読　売	11.14
平成21年度壺屋焼物博物館企画展「壺屋三人男―小橋川永昌(二代目仁王)、金城次郎、新垣栄三郎」関連講座報告	赤嶺由紀子 島袋　常秀談	壺屋焼物博物館紀要	11
特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき　CASE 1　ルノワール／幸福を纏ういい女　「こんなルノワールもあったのか」	島村　信之	美術の窓	322
作品　「器源　【意志の器】」「器源」	島屋　純晴	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
作家訪問398　陶芸家　清水なお子さん	編　集　部	目の眼	400
平山郁夫先生を偲んで　師・恩・友　平山先生	阿南ヴァージニア史代 金　容雲 清水　操 ジャック・ジエス 井　頓泉 宮廻　正明	絲綢之路	63
中世英国の風景息吹　ケンブリッジ大800年の独創の源、グランチェスター	志村　博	日　経	5.20
ぎゃらりいモール　渋谷区立松濤美術館「遥かなるグランチェスター・メドー」から「Gold Frosty Evening」志村博	谷　亜紀	読売夕刊	4.20
対談3　用と美の間で作家は何を思うのか？	志村ふくみ、近藤　高弘対談	目の眼	406別冊
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　SHIMURABROS.	SHIMURA-BROS.	美術手帖	937
減災デザインプロジェクト	下尾　邦之	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
維新期のネガ、ウィーンに　先人の写真技術　貴重な資料[下岡蓮杖]	渡辺　延志	朝　日	11.23
きずな　下薗詠子著		日　経	12.19
中央線ものがたり6　昔ながらの街並み描く　絵で広がる人々の輪[下田祐治]	小泉　大士	毎　日	1.7
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　迷子になりかけたとき	下田　義寛	新美術新聞	1204
視線　切り紙・切り抜き・紋きりあそび　下中菜穂著	サエキけんぞう	朝　日	1.10
館蔵資料紹介76　画賛「子規小照」[下村為山]	金子　紘也	子規博だより	113
墨のある風景　下村観山《木の間の秋》	鶴見　香織	趣味の水墨画	258
あすへの話題　下村観山への忠告	入江　観	日経夕刊	11.16
わたしの宝もの56　笑い	集治　千晶	新美術新聞	1206
「守ろう、生かそう憲法九条美術展」を開催　九条守るために美術家に何ができるか	十滝　歌喜	美術運動	137
未来につながるアートとは	首藤　教之	〃	〃
ゆったりアート　金属でよくぞここまで[正阿弥勝義]	岸　桂子	毎　日	11.19
絵画制作としてのドローイング	庄司　敦子	多摩美術大学研究紀要	24
みんなのマンガ学　生徒諸君！　自分に重なるキャラの青春[庄司陽子]	伊藤　遊	朝日夕刊	4.26

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　上瀧泰嗣	高山　淳	美術の窓	320
白井雨山から朝倉文夫まで―太田道灌像の変遷	寺地　亜衣	東京芸術大学大学美術館年報	H20年度
研究小話　建築家白井晟一と近藤浩一路	谷内　克聡	群馬の森美術館ニュース	140
視線　白井晟一　精神と空間　白井晟一著	森村　泰昌	朝　日	12.19
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　白井富子	小森佳代子	美術の窓	325
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　白尾勇次	高山　淳	〃	320
地下水道　白汚零著		日　経	5.2
だいあろーぐ　東京彩人記　下水道を撮る写真家　白汚零さん　癒やしと恐怖の別世界	真野　森作 聞き手	毎　日	3.24
レビュー　白髪一雄―日本と世界のあいだで　「白髪一雄展―各党から生まれた絵画」	大島　徹也	ＲＥＡＲ	24
絵画における新しい下地塗料の研究―白亜地キャンバスの走査型電子顕微鏡による観察Ⅱ―　―下地塗料用樹脂と油絵の具の接着性評価試験―	白河　宗利 岩崎　友敬 田中　元偉 猪狩　雅則	愛知県立芸術大学紀要	39
美術学部教員展図録デザイン	白木　彰 佐藤　直木	〃	〃
解説プログラム　2009年のアーティスト・トークから	白木　ゆり	現代の眼	580
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　白子勝之	清水　穣	美術の窓	321
日本一の富士見スポットの雄大　今週の案内人　山岳写真家白旗史朗さん　あの稜線、どこにもない	白旗　史朗	朝日夕刊	3.23
学びのふるさと　「命をかける覚悟はあるか」　弟子入り時、岡田紅陽センセイの問い　過酷さに負けぬ執念学ぶ　山岳写真家　白旗史朗さん	中丸　亮夫 聞き手	日経夕刊	10.1
Special Exhibition　3　しりあがり寿「ぞんざいな王国」		ギャラリー*	305
風はどこへ'10参院選　政治に一言5　漫画家しりあがり寿さん　リスク恐れず主張を	百武　信幸 聞き手	毎日夕刊	7.2
ものづくりの向こう側―「轆轤とノート」展より―[城谷耕生]	大輪　俊江	デザインの現場	170
展覧会とアーティスト10　新恵美佐子展　繰り返し再生する生命、無常、時間を表現		ギャラリー*	307
作家訪問404　木漆芸家　新宮州三さん	編集部	目の眼	406
秋の叙勲　旭日小綬章　造形作家新宮晋さん(73)　一貫して「自然」視覚化	早瀬　廣美	産　経	11.3
理想の町	新宮　晋	日　経	4.25
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」8　辛酸なめ子さんへ、『東京Ｙ字路』を。	森岡　督行	百　科*	573
メディア　賢く控えめ日本のプロギャ	辛酸なめ子	読　売	6.4
メディア　40代読者ヌードの明るさ	〃	〃	8.6
アクリリックス・ワールド58　しんぞう	いしいよしゆき	美術手帖	939
コミック　森山中教育所　真造圭伍〈作〉ペーソスあふれる難儀な人生	南　信長	朝　日	9.26
紙の大坂万博未来紡ぐ　1／300パビリオン模型　複雑な構造も忠実に再現	進　太郎	日　経	7.5
SPECIAL FEATURE『アワーミュージック』　相対性理論＋渋谷慶一郎　鼎談：トランジェットな世界をどう表現するか？　池上高志×新津保建秀×田中良治	島貫　泰介	美術手帖	934

展覧会とアーティスト9　陣内一士新作展　「自然は愛・しぜんはいのち」この思想に基づいたアートを制作していきたい		ギャラリー*	308

（ス）

連載(85、86)　近代美術資料　吹田草牧『渡欧日記』(続)	吹田　草牧	視　る	441、443
美術学部教員展図録デザイン	水津　功	愛知県立芸術大学紀要	39
みんなのマンガ学　ちはやふる　スポ根かるた部　熱血も恋愛も[末次由起]	倉持佳代子	朝日夕刊	11.8
2010年日本建築学会作品選奨　志井のクリニック[末廣香織、末廣宣子]		建築雑誌	1607
展覧会とアーティスト2　「菅木志雄2010新作展―周囲について―」　新しく造られた庭と新作展が響きあう…		ギャラリー*	306
私だけのふるさと「第3回南九州魅力発掘大賞」受賞記念須飼秀和さんイラスト特集		毎日夕刊	6.3
人・模・様　銀座で郷愁誘う「ふるさと」[須飼秀和]	太田阿利佐	〃	11.29
この1点　菅野圭介《ピレネー》	Kt. K	Corridart	5
再評価される洋画家・菅野圭介　限られた色彩、創造を刺激	渋沢　和彦	産　経	11.30
レビュー　菅原健彦展	浅野　泰子	R E A R	23
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ3　「二にして一」、対をなすカタチの妙	杉浦　康平	芸術新潮	721
アートの地殻変動18　杉浦康平	北川フラム　聞き手　永峰　美佳　構成	美術手帖	944
INFORMATION　ユング伝説の書物が半世紀を経て出版	杉浦　康平	〃	945
杉浦康平氏の感性と論理	臼田　捷治	百　科*	569
文化往来　写生重視したデザイナー杉浦非水の素顔		日　経	1.8
PREVIEW　田原の美術　杉浦正美展―現代の神話や寓話の世界―	高山　淳	美術の窓	320
新収蔵品解説　杉浦康益の作品について	下村　朝香	西宮市大谷記念美術館NEWS	23
特集　アート／アニメーション　アンケート	ツジシンヤ　岡田　昭憲　杉田　崇　永下山由香　井出　絢子　渡辺　豪　大崎のぶゆき	R E A R	23
Yellow magic Orchestra×SUKITA　鋤田正義＋YMO著		日　経	8.8
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現　新進79作品　平面作品部門損保ジャパン美術賞　杉本克哉氏　distance／ヘイタイきても、トマトつぶれても…	杉本　克哉	産　経	3.12
視線　杉本健吉画文集　東大寺　美の小箱　杉本健吉著、東大寺監修、入江泰吉写真	村山　由佳	朝　日	3.28
eye　画家・杉本健吉×写真家・入江泰吉　二人の奈良大和路	説田　晃大	毎日夕刊	4.22
特集　デザインを支える職人　ファンシーペーパー開発　杉本友太郎　美しい紙を生み出す好奇心と天性の職人感	高橋　美礼	デザインの現場	170
インスピレーションアート　杉本博司による凝りに凝った空間演出　IZU PHOTO MUSEUM	暮沢　剛巳	A X I S	143
比較芸術学研究センター公開講座杉本博司講演「アートの起源」	詫間のり子	瓜生通信	49
新美術時評　「個展」の最大拡張について―あるいは1点集中も[杉本博司]	光田　ゆり	新美術新聞	1205

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1〈現在形のアート〉を築く巨星たち 杉本博司	清水 穣	美術手帖	933
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術1年丸ごと杉本博司 アートの起源とこれから	中田 耕市	美術の窓	327
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」5 平松洋子さんへ、『Architecture』を。[杉本博司]	森岡 督行	百 科*	570
若者よ本を開け 日本を捨ててはじめて日本を知った	杉本 博司	朝 日	10.27
「ウフィツィ美術館」展 日本の顔も仲間入り 草間弥生・横尾忠則・杉本博司	小川 雪	朝日夕刊	9.29
現代美術家3人の自画像 「巨匠の末席、うれしい」 伊・ウフィツィ美術館に寄贈[杉本博司]	岸 桂子	毎日夕刊	9.15
特集 平城遷都1300年考 第一部 鼎談 古代建築の復元と平城遷都1300年祭	渡邉 定夫、杉本 洋文、清水 重敦、金 玟淑、内田 祥士 聞き手	建築雑誌	1611
レビュー 杉山健司展"Institute of Intimate Museums 1999—2008"	秋庭 史典	R E A R	23
美の履歴書161 集大成作にないもの 「洸(コウ)」 杉山寧	西田 健作	朝日夕刊	6.30
制作ノート 杉山優子	杉山 優子	武蔵野美術大学研究紀要	40
日本式ARTの次の射程が見えてきた!! アートの未来はどこにあるのか	黒瀬 陽平、助田 徹臣、梅沢 和木、藤城 嘘、村上 隆 司会	美術手帖	936
ロケーション 鈴木昭男＋藤本由紀夫	(み。)	アートペーパー	83
写眼 映り込んだ天竜川の今昔 鈴木篤男「大河風貌」(平成21年)	堀 晃和	産 経	3.20
作家がいた 鈴木英子	高山 淳	美術の窓	322
トピックス 教育現場におけるアート最前線!! 日本初の動物看護大学が今春開学 ヤマザキ学園各校舎には鈴木勝之氏の作品が		〃	〃
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 編集部が選ぶ 注目の新人アーティスト42	鈴木 君枝	〃	321
PREVIEW 鈴木喜美子展 「足尾」—風土円環 よみがえる大地を見つめて	高山 淳	〃	326
特集2 鈴木清写真展 百の階梯、千の来歴		現代の眼	584
「写真集」へと躙り寄る—鈴木清の仕事	飯沢耕太郎		
「劇場・鈴木清」	大西みつぐ		
鈴木清 流れの歌	(存)	産 経	11.13
流れの歌 鈴木清著		日 経	11.14
特集 欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE 6 鈴木紀和子 初心者のための誌上デッサン教室：動物	鈴木紀和子談	美術の窓	324
新潟文化考 日本画家・鈴木國男		美術屋・百兵衛	13
Recommend! Diary 鈴木元の「試行錯誤」Vol. 12、13	鈴木 元	デザインの現場	169、170
作家通信 Sumiアート	鈴木 昇岳	趣味の水墨画	252
永青文庫の昔の写真9 ラバニス修整法でどんな女性もべっぴんにする、鈴木真一	田沼 武能	永青文庫	72
視線 装丁を語る。鈴木成一著	保坂健二朗	朝 日	8.1
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 VII[薄拙太郎]	佐藤 一郎、木島 隆康、大西 博、桐野 文良、増田 久美、土屋 裕子、作間美智子	東京芸術大学美術学部紀要	48
展覧会とアーティスト6 鈴木孝幸展 モノというより、行為を作品にしている…		ギャラリー*	307

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　鈴木竹柏	高山　淳	美術の窓	320
特集　電子書籍を読む！　来るべき書物「ホール・アース・カタログ」の影　ブックデザインの視点から	鈴木　一誌	ユリイカ	584
INFORMATION AUTHOR　この本の著者に会いたい　世界の手触りを刻む鈴木ヒラクの作品集『GENGA』	岩渕　貞哉	美術手帖	936
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　鈴木ヒラク	鈴木ヒラク	〃	937
まばたきの記憶　第1～3回	鈴木　康広	ＡＸＩＳ	146～148
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド Pick up Artist　女木島　鈴木康広		美術手帖	938
彩・美・風	鈴木　康広	朝日夕刊	12.1、8、15、22
ACP Artists×Critics		CLOSET	3
家、無題、＋ドローイング　ARTIST　鈴木ゆかり	鈴木ゆかり		
自然主義的な叙情と主観性 CRITIC　張智英［鈴木ゆかり］	張　智英		
ACP Open Discussion［鈴木ゆかり］	松本 上村 鈴木 中村 山田 塩田 片山 倉茂 奥村 沼下	〃	〃
マンガの国の「衣食住」「白鳥麗子でございます！」に見るお嬢さま　虚勢はって華麗さ演じ［鈴木由美子］	竹内オサム	毎　日	1.30
「地韻―対比―」	鈴木　喜家	名古屋造形大学紀要	16
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ３　交感するもの	鈴木　理策	芸術新潮	721
第29回土門拳賞　鈴木龍一郎氏「RyUlysses　リュリシーズ」ジョイスの影を追って		毎　日	3.18
ひと　第29回土門拳賞を受賞した　鈴木龍一郎さん	近藤　浩之	〃	4.20
eye　地図のない旅をするように　鈴木龍一郎　土門拳賞「リュリシーズ」までの道　十九歳それは山谷から始まった	鈴木龍一郎	毎日夕刊	5.20
特集　建築写真小史―建築写真を拡張するために　第三部　対談　「建築写真」以後	鈴木　了二、西沢　立衛、山岸　剛　聞き手	建築雑誌	1606
写眼　“妄想”を現実の風景に重ね　須田一政「常景」（平成21年）	堀　晃和	産　経	2.6
日々好日　油壺	須田　賢司	新美術新聞	1225
美の美　日本の「睡蓮」上［須田悦弘］	田村　広済	日　経	11.28
被写体は「旅するたいやき」　小さな相棒と34カ国、自然・動物・人と楽しく融合	須藤　美香	〃	12.1
本づくし　「端切れのコラージュ」『夜の絵』　村山亜土作／柚木沙弥郎絵／村山治江（ギャラリーTOM）企画	須藤　玲子	ＡＸＩＳ	144
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　東京藝術大学での思い出	澄川　喜一	新美術新聞	1204
世界一の電波塔再興634メートル　「東京スカイツリー」今春２月高さ300メートル超に　美しい塔の“威容”いよいよ近郊からも望見　来年12月竣工2012年春の開業　世界一の日本の塔には表情がある［澄川喜一］		〃	1207
PREVIEW 澄川喜一彫刻展	小森佳代子	美術の窓	326
諏訪敦×磯江毅「スペイン・リアリズムの密度　磯江毅展」をめぐって	諏訪　敦　談	新美術新聞	1230

(セ)

清家清の立面表現における開口部からみた比例関係に関する考察	柴田　晃宏、金子　晋也、是永　美樹	日本建築学会計画系論文集	651
レビュー　清野祥一納屋展	青木　　健	ＲＥＡＲ	23
版・色違い網羅！清宮質文版画コンプリート		芸術新潮	727
話題の展覧会よりこころにしみる木版の詩　清宮質文　清宮質文―遠い日をおもうために	岸野　裕人	版画芸術	148
瀬尾光世の漫画映画における表現手法	呉　　恵京	国際日本学	8
中特集　ベストセレクション　関綾子	高山　　淳	美術の窓	322
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 VII[関精一]	佐藤　一郎、木島　隆康、大西　　博、桐野　文良、増田　久美、土屋　裕子、作間美智子	東京芸術大学美術学部紀要	48
PAPER IN MY WORK 126　関宙明　デザインを物質化する紙	杉瀬　由希	デザインの現場	169
デザイナーが推薦する現代の職人　セキユリヲ推薦　美篤堂上島真一	草野　恵子、立古　和智、渡部　千春、松本　希子、編集部文	〃	170
セキユリヲ、心の変化　スウェーデンに移り住んで	猪飼　尚司	〃	〃
中特集　ベストセレクション　関島雄一郎	高山　　淳	美術の窓	322
福島文化考　夭折の天才画家・関根正二		美術屋・百兵衛	15
作家訪問406　陶芸家　関根昌之さん	編集部	目の眼	408
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　関根やえ	関根　やえ	美術の窓	325
from the World　波打つ大きな「ワンルーム」が生み出すオープンネス[妹島和世]	柴田　直美	ＡＸＩＳ	145
特集　ナイーブアーキテクチャー　イントロダクション　対談　ナイーブアーキテクチャーのキュレーション	妹島　和世、小池　一子、真壁　智治、勝矢　武之、柴原　聡子聞き手	建築雑誌	1601
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist　犬島　妹島和世		美術手帖	938
SPECIAL FEATURE 妹島和世＋西沢立衛／SANAA		〃	943
INTERVIEW　オープン&デモクラティック：柔らかな建築に向かって	南　　泰裕		
KEYWORD　建築史家・五十嵐太郎が解説！　キーワードで知るSANAA	五十嵐太郎研究室		
KEYWORD　建築史家・五十嵐太郎が解説！　キーワードで知るSANAA　あえて様式の言語からSANAAを位置付ける	五十嵐太郎		
PROJECT 1　ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展2010　People meet in architecture	妹島　和世		
PROJECT 2　豊島美術館　豊島美術館を通して	西沢　立衛		
INTERVIEW　SANAAを語る1　伊東豊雄	長島　明夫		
INTERVIEW　SANAAを語る2　佐々木睦朗	平塚　　桂		
INTERVIEW　SANAAを語る3　石上純也	長島　明夫		
CRITICAL ESSAY　立ち去れない場所　SANAAのホスピタリティーとディシプリン	長谷川祐子		
ビエンナーレ準備中にプリツカー賞受賞期待集める妹島氏の建築観	大西　若人	朝　　日	6.29
ベネチア・ビエンナーレ国際建築展　セジマが問う空間の本質	〃	〃	9.7

プリツカー賞の妹島和世、西沢立衛　デリケートさと力強さ兼備	(和)	産　経	4.7
「建築と人々が出会う場を」初の日本人監督・妹島和世さんが意欲　ベネチア国際建築展		〃	5.17
ベネチア展、妹島さん会見　「建築の役割　提案したい」		東京夕刊	5.15
開放的空間がもたらす現代性　プリツカー賞受賞したSANAAの建築[妹島和世]	五十嵐太郎	毎日夕刊	4.26
新しい可能性体感できる場に　ベネチア建築展ディレクター妹島和世さんが抱負	永田　晶子	〃	5.25
ベネチア・ビエンナーレ建築展29日開幕「人々の関係生む建築を」　企画責任者妹島さん	柳沢　亨之	読　売	8.29
顔　ベネチア建築展で日本人初、女性初の企画責任者を務める　妹島和世さん	〃	〃	8.31
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　平山先生の思い出	千住　博	新美術新聞	1204
学びのふるさと「純粋とは何かを学びなさい」　大学の先生から親身な徹底指導　日本画家　千住博さん	川本　太郎 聞き手	日経夕刊	12.17
eye　日本画家・千住博さんの「パブリックアート」　人々に安らぎと活力を	太田やすお	毎日夕刊	9.30

(ソ)

追悼・副島和彦君	深澤　幸雄	日本版画協会々報	146
写眼　どんな言葉より多くを語る　添畑薫「アメリカズ・カップ　フリーマントル」(1987年)	堀　晃和	産　経	8.21
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる5　未完の聖堂神は急がぬ[外尾悦郎]	筒井　次郎	朝日夕刊	4.22
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	外澤　功	美術の窓	321
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ3　ニッポンのコミュニケーション	祖父江　慎	芸術新潮	721
SPECIAL FEATURE　ディック・ブルーナの謎　ミッフィーの作者というだけでは、語りつくせない　INTERVIEW 祖父江慎が語るブルーナ『うさこちゃん』に潜む遊び心とは？	編　集　部	美術手帖	935
視線　ニライ　染谷學著	新井　敏記	朝　日	3.14
染谷學写真集「ニライ」	(睦)	読　売	5.9
21世紀芸術研究所―3 Key Words Research―　曽谷朝絵		ギャラリー*	297
特輯　和製油画　曾山幸彦　武者試鵠	古田　亮	国　華	1382
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　退町勝治	高山　淳	美術の窓	320

(タ)

追悼―台伸八―	(小比木)	ガス燈	84
PREVIEW 田家ハルミ個展―遠い日の哀愁―	高山　淳	美術の窓	319
Recommend! Book『TRA(トラ)』[タイガー立石]	大城　譲司	デザインの現場	170
コミック　TRA　タイガー立石〈作〉　コマから生成される物語	ササキバラ・ゴウ	朝　日	3.14
大波小波　タイガー立石の宇宙	(寂兮寥兮)	東京夕刊	2.22
TRA　タイガー立石著　流儀外れ尊重したもの	椹木　野衣	読　売	3.14
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[大源麻友]		ギャラリー*	306

巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます㊙技法講座 VOL. 18 実践編!!顔の描き方が分かる㊙技法講座 CASE 6　醍醐芳晴／水彩でとらえる自然な表情	醍醐　芳晴談	美術の窓	319
コミック　ブルーカラー・ブルース　タカ〈作〉　過酷な職場若者の実体験	南　信長	朝　日	7.25
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その27　互井開一・水彩画の闘魂・《海の讃歌》	林　紀一郎	新美術新聞	1222
特集　アーティスト大解剖・千葉勝	佐々木英也 千葉　郁世 高井　啓司 小谷野匡子	aprire	17
交遊抄　知恵袋の芸術家［高岡一弥］	増山　浩史	日　経	7.29
高岡陽《広報おのみち表紙デザイン》、《「ミツギポップ」パッケージデザイン》、《「惚れタレ」パッケージデザイン》、《尾道西国寺「観月会」における宣伝美術》、《広島県立尾道東高等学校100周年記念イベント広報物・案内状・式典上映用作品などの制作》	高岡　陽	尾道大学芸術文化学部紀要	9
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト［高木こずえ］		ギャラリー*	306
INFORMATION AUTHOR　この本の著者に会いたい　新世代写真家・高木こずえが初写真集を２冊同時刊行	山内　宏泰	美術手帖	934
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　高木こずえ	高木こずえ	〃	937
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　話題の若手作家ピックアップ３写真編　高木こずえ	〃	美術の窓	321
ひと　第35回木村伊兵衛写真賞を受賞した　高木こずえさん	西田　健作	朝　日	3.9
人ひとこと　高木こずえさん　撮りながら解釈、面白い		〃	6.2
写眼　「断片」をたぐり、燃やす　高木こずえ「GROUND」（平成21年）	三品　貴志	産　経	4.24
高木こずえ写真集「MID」	（前）	読　売	3.14
ポスターに映す銀幕スター　鞍馬天狗など昭和のチャンバラ映画中心に1600枚描く	高木　紀彦	日　経	1.12
碧南市哲学たいけん村無我苑　高北幸矢グラフィック展「増殖都市」　建築と拮抗するグラフィックアート	高北　幸矢	名古屋造形大学紀要	16
この１点　高崎剛《サーカス》	Kt. K	Corridart	6
没後80年・高島北海展に向けて　山に憑かれた画家たち　日本近代山水画／風景画の方法	岡本　正康	潮　流	102
「没後八〇年・高島北海展」へむけて―町の声―　〈わたしたち〉と〈美術館〉をつないだ高島北海	〃	〃	104
Special Exhibition 高島野十郎と同時代作家展		ギャラリー*	304
美の履歴書168　揺らぐ炎が照らすのは「蝋燭」　高島野十郎	西田　健作	朝日夕刊	8.18
特殊印刷加工トライアル　第15回　高田唯、モノグラムコーティングに挑戦！	杉瀬　由希	デザインの現場	169
PREVIEW 高梨芳実展	高梨　芳実、永井龍之介対談	美術の窓	324
INFORMATION GOODS　クリスマス限定コスメ　タカノ綾×シュウウエムラがクリスマスにかけるメイク・マジック	編　集　部	美術手帖	946
作家随想２　水墨画の今昔―特に直原玉青と掛軸画のあれこれについて―	高野　洋子	視覚の現場　四季の綻び	7
FEATURE II　写真のエロス　鷹野隆大	清水　穣	美術手帖	936
リレーおびにおんマンションに住まう５　建築家、武蔵野美術大教授　高橋晶子さん　隣がわかる小さな「街」に	尾沢　智史聞き手	朝　日	9.23

高橋秀の“エロス”と“琳派”		芸術新潮	723
展覧会とアーティスト10 「人形見」浮遊する魂 人形作家伽羅×たかはしじゅんいち写真展		ギャラリー*	308
追悼 高橋淳子さんを悼む	吹田 文明 宮下登喜雄	日本版画協会々報	147
研究論文 ルーセル考：自由芸術の発明	高橋 士郎	多摩美術大学研究紀要	24
新潟山村発 文化の薫り 拠点の周りに別荘・アトリエ、地元と交流の輪	高橋 兢一	日 経	11.3
天声人語[高橋久雄]		朝 日	11.8
みんなのマンガ学 パリ～東京 乙女ちっくな夢へ逃避行[高橋真琴]	倉持佳代子	朝日夕刊	4.5
人生の贈りもの 少女画家高橋真琴さん 1～4	河合真美江 聞き手	〃	10.25～28
特集 スモール・カンパニーズ・パワード・バイ・デザイン 高橋正実インタビュー	今村 玲子	A X I S	144
この人 古里の風景テーマ 癒やしの人形作家 高橋まゆみさん	妹尾 聡太	東 京	8.21
写眼 世界を面白く撮る 高橋宗正「スカイフィッシュ」	篠原 知存	産 経	4.10
特輯 和製油画 高橋由一 甲冑図	古田 亮	国 華	1382
特集 近代とノスタルジア 失われゆくものの自覚と喚起の装置としての絵画—高橋由一、小林清親を中心に	山梨絵美子	日本思想史	77
横浜に「翼」スタジアム フットサル施設が来月上旬オープン[高橋陽一]	岸本 拓也	東京夕刊	5.11
ニッポン人・脈・記 いつもアニメが8 ジブリの扉王子が開く[高畑勲]	小原 篤	朝日夕刊	3.30
大正から昭和初期の間においての理想の少年イメージの形成—高畠華宵の手による『日本少年』の表紙絵から	梶田雄一朗	京都精華大学紀要	37
挿絵画家最晩年の水彩画初公開 華宵に魅せられ託された弥生美術館創設の秘話[高畠華宵]	中里 宏	東京夕刊	4.5
視線 長崎 旧浦上天主堂 高原至・写真、横手一彦・文、B・バークガフニ英訳	村山 由佳	朝 日	5.9
高原至さんが撮影した70点収録 『長崎旧浦上天主堂』刊行 「墓のようなもの」解体惜しみ	栗原 俊雄	毎日夕刊	6.3
特集 欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL.19 CASE11 安井曾太郎・高松次郎 「影」を見つめてデッサンをきわめる 「絵画を支える『影』の存在」	大谷 省吾	美術の窓	324
非—レクチュールとしての書物—高松次郎《THE STORY》と河原温《百万年》について	森 啓輔	武蔵野美術大学研究紀要	40
新たなる挑戦	高見 國一	刀剣美術	642
学芸員のアート日記 高嶺格〈日本の近代美術・200Q〉出現！	麻生 恵子	どおむ	109
タカムラ香利		art _ icle	31
「彫刻」へのまなざし—高村光雲と近代美術制度—	庵原理絵子	学習院大学人文科学論集	19
特集——一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(二) 高村光雲作「山霊訶護」について	五味 聖	三の丸尚蔵館年報・紀要	15
かざる 智恵子の紙絵、鮮やかに再現[高村智恵子]		芸術新潮	730
特集2 祈らずにはいられないもの 古美術との縁を結んでくれた二人の先達	高村 光治	目の眼	400
巻頭特集 構図を極める ㊙技法講座 VOL.17 人気作家が教える構図 step up術 インタビュー 高森登志夫／風景のどこを切り取るか その瞬間を油彩にするために、スケッチは重要	高森登志夫談	美術の窓	316
上野の杜の12の物語 第五章[高村光雲]	中野 中	美術屋・百兵衛	15

第14回杜賞受賞者のことば　杜賞を受賞して	高山　嵩	杜	28
創造神話　高山登展混沌の魅力　枕木に積もる東北の記憶	菅原　教夫	読　売	2.18
みんなのマンガ学のらくろ　ドジだけど、失敗めげず活躍［田河水泡］	吉村　和真	朝日夕刊	6.14
ひと　興福寺中金堂を再建する宮大工棟梁　瀧川昭雄さん	小滝ちひろ	朝　日	10.15
写眼　彼らも見つめ返している　滝口浩史「画家」(平成20年)	堀　晃和	産　経	5.15
瀧口修造と福沢一郎の検挙・釈放日	山口　泰二	美術運動史研究会ニュース	113
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」10 堀江敏幸さんへ、『瀧口修造1958—旅する眼差し』を。	森岡　督行	百　科*	575
第17回MOA岡田茂吉賞　受賞作決まる　絵画部門大賞は滝沢具幸氏　工芸部門大賞は秋山陽氏　MOA美術館賞に植田一穂氏　大角幸枝氏　須田賢司氏　前田正博氏		新美術新聞	1214
視点　「イイ環境がイイ作品につながる……はず」	瀧下　和之	美術の窓	320
ぎゃらりいモール　茨城県近代美術館「さよなら滝平二郎」から「花さき山」滝平二郎	今瀬　佐和	読売夕刊	12.14
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史　PART 2　メディアにのって、大量のイメージがあふれ出す　INTER-VIEW　滝野晴夫	都築　潤、福井　真一 聞き手　渡辺　信一 構成	美術手帖	932
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　田口郁子	高山　淳	美術の窓	325
第21回五島記念文化賞決まる　美術新人賞に　上田順平氏　田口和奈氏		新美術新聞	1215
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　田口和奈	田口　和奈	美術手帖	937
時の余白に　独往の大絵師たちよ［田口雅巳］	芥川　喜好	読　売	11.30
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　田口行弘	田口　行弘	美術手帖	937
銀箔の黒変による表現の研究	田口　涼一	京都精華大学紀要	36
研究ノート　武石弘三郎について(その1)—作品とその現状を中心に	山田真規子	姫路市立美術館研究紀要	10
PREVIEW 武市斉孝水墨画・墨彩画・日本画展	佐久間智香子	美術の窓	319
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　武市斉孝「祈りの桜の誕生」	〃	〃	325
素朴・精美　北欧の木造教会　フィンランドに130余棟、17～18世紀の建築技法調査	竹内　晧	日　経	8.26
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　竹内英子	高山　淳	美術の窓	325
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　竹内勝行	〃	〃	320
美術になった猫十選 1～10	竹内　浩一	日　経	9.9、10、14、16、17、20、21、23、24、27
調査研究から1　竹内栖鳳の《スエズ景色》を再見して	原田　平作	視覚の現場　四季の綻び	6
近代美術の眼　飼われたる猿と兎　竹内栖鳳	中村　麗子	読　売	2.26
武腰敏昭　2008～2009年　作品の解説	武腰　敏昭	金沢学院大学紀要*	8

2009年度日本芸術院賞(4氏美術)決まる 恩賜賞には山本文彦氏　武腰敏昭氏、樽本樹邨、北川原温氏が受賞		新美術新聞	1213
SPECIAL PINUP 借りぐらしのアリエッティ×種田陽平 アリエッティの世界観を描く　美術監督・武重洋二	武重　洋二	美術手帖	943
メキシコ在住47年、公募展も開催中の画家・版画家、竹田鎮三郎さん　先住民らの版画世界に発信したい	岸　桂子	毎日夕刊	8.25
双雲流生き方のススメ　書道ブーム火付け役　プラス方向に「おせっかい」[武田双雲]	立尾　良二	東　京	5.30
フェイス21世紀136 武田倫子　窓とソファー、煌めく光の綾を表現	武田　倫子	新美術新聞	1217
町と歩んだ父の写真館　人生を投影する場所、後を継いで75年で閉館	竹田　靖子	日　経	12.9
陶芸・武田浪一「土」に淫す。	柴辻　政彦	陶　説	687
韓の風・李朝を想う	竹中　浩	〃	〃
展覧会とアーティスト7　竹原祥司展 身近な所から、絵画空間の中の遠い所へ行きたい		ギャラリー*	307
「異邦人」の思い絵に込め　各地で個展開き「全国行脚」　大田区出身の画家竹久さん[竹久野生]	山本奈朱香	朝　日	9.30
美の履歴書182　夢二式なのに違和感 「水竹居」　竹久夢二	米原　範彦	朝日夕刊	12.1
絵で伝える関東大震災　画家・竹久夢二 豊島で特別展　新聞に連載、作品展示 来月1日から	山内悠記子	東　京	8.28
夢二と九州ロマン紀行　福岡や長崎巡った一夏の旅、日記・新聞で追い10年	安達　敏昭	日　経	2.17
夢二に魅了された亡き父　自宅敷地内の美術館20周年、挿絵から漂う人間味	服部　聖子	〃	10.13
作家・栗本薫さん収集　武部本一郎の原画など約100点寄贈 「美術館をやりたい」気持ち生かし　7月に都内で大規模な追悼展	生田　誠	産　経	4.4
視覚障害者脳裏に心眼　豊かな色彩感覚、迫真の美術作品に感銘	田寄裕季子	日　経	1.14
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 田代久美子	高山　淳	美術の窓	320
上海に"多田ワールド"[多田美波]		産　経	2.6
中国で初の「多田美波」展　上海の湖に浮かんで	松村　嘉雄	〃	3.31
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 橋史郎	高山　淳	美術の窓	320
橋天敬　日本の魂―橋天敬の芸術		art _ icle	28
芸術新潮特別企画 アートフェア東京2010出展ギャラリー紹介　人気再燃の橋天敬　ギャラリーAYAが遺したい世界		芸術新潮	724
東アジアを結ぶモノ・場　モノの極北―ツクモ・心・コトバ[立原道造]	荒木　浩	アジア遊学	132
遠みち近みち　夭折の美　風信子忌[立原道造]	安岡　崇志	日　経	3.14
心の風景　立木義浩 タワーの灯　若き日の記憶装置	立木　義浩	読　売	10.10
特集　作家座談会と小川英晴の作品評論 公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)　座談会：公募展への視点	生方　純一、川内　悟、齋藤　茂男、舘野　弘、中島　敏明、林　純夫、福田　玲子、山中　宣明、司会	ギャラリー*	305
収蔵品から《PASSING ARROW(連環)》建畠覚造	石井　幸彦	世田谷美術館だより	83

コミック　タビと道づれ１―６　たなかのか〈作〉　明日が来ない町で深まる謎	ササキバラ・ゴウ	朝　　日	4.25
影のポエジー十選１～10	田名網敬一	日　　経	1.25、26、28、29、2.2、4、5、9、11、12
特集　デザインを支える職人　田中一光を支えた２人	田島　政治、伊藤　豊　談 秋田　寛　聞き手 鈴木　里子　文	デザインの現場	170
異才列伝　田中一村　画壇に背を向け　奄美描く	永井　一顕	読　　売	9.12
型染め技術使い版画　立川の田中清さん　きょうから個展		毎　　日	12.3
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	田中　慶子	美術の窓	321
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　田中功起	田中　功起	美術手帖	937
彫刻家の現場から66　田中康二郎	武田　　厚	美術の窓	325
トラキア大平原に抱かれて　―第三回国際彫刻シンポジウム Common Ground in ブルガリア―	田中ショウ	連盟ニュース	436
解説プログラム　2009年のアーティスト・トークから	田中信太郎	現代の眼	580
「版画アートコレクション」の作家　田中孝　光の聖なる劇場	松山　龍雄	版画芸術	148
田中千智		art _ icle	32
レビュー　田中信行―漆が喚起するもの	不動　美里	R E A R	23
タナカノリユキ×沢尻エリカ『100＋１ ERIKAS』	山内　宏泰 構成	美術手帖	943
展覧会とアーティスト１　截金師「田中墨外」展　仏画の本質を求めて、截金仏画を復活		ギャラリー*	307
福島文化考　画家・田中真砂子		美術屋・百兵衛	15
受賞学生インタビュー第４回　第20回ザグレブ国際アニメーションフェスティバル学生部門「Special mention」受賞	田中　美妃	芸大通信	21
絵画における新しい下地塗料の研究―白亜地キャンバスの走査型電子顕微鏡による観察Ⅱ―　―下地塗料用樹脂と油絵の具の接着性評価試験―	白河　宗利 岩崎　友敬 田中　元偉 猪狩　雅則	愛知県立芸術大学紀要	39
研究報告　造形表現学部造形学科平成20年度共同研究　素材研究Ⅳ「美術における黒の考察」	松下　宜廉 田中　康夫 松村　浩之 宮　いつき 青木　　淳	多摩美術大学研究紀要	24
多彩なアート誌「黒白」　田中靖夫さん夫妻が創刊		読売夕刊	12.11
第57回日本伝統工芸展　漆芸　東京都知事賞　銀彩蒔絵箱「潮彩」　田中義光	内田　篤呉	朝日夕刊	9.18
公募団体展　受賞者に聞く７　第76回東光会　会員賞　田中里奈		ギャラリー*	303
SPECIAL FEATURE『アワーミュージック』　相対性理論＋渋谷慶一郎　鼎談：トランジェットな世界をどう表現するか？　池上高志×新津保建秀×田中良治	島貫　泰介 構成	美術手帖	934
恩師の思い出―京都版画協会と古野由男先生―	田中　良平	日本版画協会々報	148
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　田辺伝	高山　　淳	美術の窓	320
例会・研究発表会要旨　東部会　平成二二年度第二回例会　消費生活が営まれる場に生じる美的質［谷内六郎］	牧野　圭子	美　　学	237
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20　CASE 7　谷内六郎　宝物のような日常	谷内　六郎	美術の窓	326
「寄贈作品1300点返して」　画家・谷内六郎氏遺族　横須賀市に要求		読　　売	5.13

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 谷口真人	谷口 真人	美術手帖	937
これからの美術館建築を考える—長野県信濃美術館 東山魁夷館の事例を中心に—[谷口吉生]	足立 圭	長野県信濃美術館紀要	4
創作版画運動と谷中安規	近藤 夏来	日本女子大学大学院紀要(人)*	16
異才列伝 谷中安規 放浪と居候の「風船画伯」	永井 一顕	読 売	2.21
永青文庫の昔の写真 6～9	田沼 武能	永青文庫	69～72
追憶の風景 浅草(東京) 写真家 田沼武能 焼け野原で見た「子ども」	佐々木正紀	朝日夕刊	6.8
顔 創立60周年を迎えた日本写真家協会の会長 田沼武能さん	岩佐 譲	読 売	8.3
SPECIAL PINUP 借りぐらしのアリエッティ×種田陽平 種田陽平インタビュー 美術館が、映画美術の空間へと変貌する	山内 宏泰 聞き手	美術手帖	943
物語が生まれるとき 種田陽平の映画美術	河尻 定	日 経	7.8
ライト式建築日本に根付く 「自然と環境に呼応」弟子らに脚光[田上義也]	窪田 直子	日経夕刊	8.16
館蔵品研究 田能村直入「歳寒三友図」	枝松 亜子	西宮市大谷記念美術館NEWS	23
Excitement 2011年第54回ヴェネツィア・ビエンナーレ 日本館展示は東芋「超ガラパゴス・シンドローム」展		ギャラリー*	304
読んでから見るか 見てから読むか[東芋]	橋本 麻里	芸術新潮	730
コワイ東芋	青野 和子	国立国際美術館ニュース	178
どうして問答	東 芋	〃	〃
東芋：断面の世代	植松 由佳	〃	〃
調査研究から2 近況報告 「肉体」から「花」へ[東芋]	谷川 渥	視覚の現場 四季の綻び	5
ARTIST INTERVIEW 東芋	橋本 麻里 聞き手	美術手帖	936
INFORMATION NEWS ヴェネツィア日本館コンペ結果発表 代表作家は東芋に決定！テーマは「超ガラパゴス」	藤原えりみ	〃	943
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 2011年ヴェネチア・ビエンナーレ美術展日本館展示 植松由佳・東芋の各氏に		美術の窓	325
展覧会へ行こう01 東芋 断面の時代		美術屋・百兵衛	14
断面で現代読み取る 東芋さん、横浜美術館で個展	大西 若人	朝 日	1.5
挿絵で紡ぐ「悪人」 東芋さん 新聞連載を絵本	西田 健作	〃	7.3
来年のベネチア・ビエンナーレ 日本館は東芋さん個展 「狭い井戸を想像で広げたい」	〃	〃	8.10
幼さ装う日本人の創造性 東芋さん 美術家	鈴木 繁	〃	11.26
私の収穫1、2	東 芋	朝日夕刊	3.24、25
「断面の世代」から見た現代 「東芋展」横浜美術館	渋沢 和彦	産 経	1.27
家族のこと話そう 天真らんまん 母は面白い 現代美術家東芋さん	野村由美子 聞き手	東 京	8.22
美術評 「東芋：断面の世代」展 個にのぞく社会の断層	内田真由美	東京夕刊	2.19
ベネチア・ビエンナーレ 日本館出品は東芋さん 「ガラパゴス化をポジティブに」	(典)	〃	7.28
美術家がアニメーション展 ケントリッジ、東芋、石田尚志 絵画に息吹動き始める	小川 敦生	日経夕刊	2.2
芸文余話 断面の世代、その心は[東芋]	内田 洋一	〃	2.13
世代論創作の源泉 「断面」の70年代生まれ「団塊」と対照的[東芋]	田村 広済	〃	8.18

デビューから10年 東芋さんが新作個展	岸　桂子	毎　日	2.24
来年のベネチア・ビエンナーレ日本館出品作家は東芋さんに決定　コミッショナーは植松由佳さん「超ガラパゴス」をテーマに	〃	毎日夕刊	8.2
団地の中の些細な個性　東芋展　アニメ映像でえぐる「断面」	高野　清見	読　売	1.21
文字のみだれ[田畑あきら子]	丹尾　安典	一　寸	41
コミック　ミル1 手原和憲〈作〉　女学生？おばあさん？猫？	ササキバラ・ゴウ	朝　日	7.18
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　平山郁夫先生を悼む	田渕　俊夫	新美術新聞	1204
巻頭特集　1年まるごと保存版！今年必見の展覧会 BEST 200　追悼　平山先生を悼む	〃	美術の窓	317
私の等伯　没後400年特別展から　日本画家田渕俊夫さん　命あるものに慈しみの視線	〃	毎日夕刊	3.5
追悼　田淵安一画伯 西洋と東洋、等距離に自らを鍛える	山梨　俊夫	新美術新聞	1205
悼む　田淵安一さん 画家　パリ拠点に東洋追求	野見山暁治	毎　日	1.6
美術関係者ら130人が思い出を語り合う田淵安一さんをしのぶ会	岸　桂子	毎日夕刊	4.15
徳島文化考　洋画家・玉有万範		美術屋・百兵衛	14
日々好日　犬との生活	玉川　信一	新美術新聞	1208
人間国宝に5氏認定「瀬戸黒」の加藤孝造氏、「鍛金」の玉川宣夫氏ら人間国宝に		〃	1224
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT01 立体制作工房　玉ノ井哲哉	岡澤浩太郎	美術手帖	945
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20 CASE10　玉虫良次 生活の記憶から生まれる物語	玉虫　良次談	美術の窓	326
美しい曲線「師の作」本龍寺の鏝絵彫ったのは下町の名工　作者捜しの旅　弟子に到達　「消えかけた名　歴史に」[田村恵稔]	井上　幸一	東　京	6.19
「一九世紀京都」への一視点—田村宗立、伊東忠太を中心に—	山野　英嗣	視　る	442
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 田村敏子	高山　淳	美術の窓	320
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　田村友一郎	石田　純子、吉田　宏子、編集部構成	美術手帖	944
2009年度日本芸術院賞(4氏美術)決まる 恩賜賞には山本文彦氏　武腰敏昭氏、樽本樹邨、北川原温氏が受賞		新美術新聞	1213
展覧会とアーティスト1　多和圭三新作展　今までに無かったようなところに行ってみたい		ギャラリー*	308
創作ノート　沖縄の織物を継承して	多和田淑子	沖縄県立芸術大学紀要	18
彫刻家、田原良作が到達した家具づくりの道		芸術新潮	724

(チ)

追想録　チカップ美恵子さん(アイヌ文様刺しゅう作家)　アイヌ民族の誇り守る		日経夕刊	4.2
悼む　チカップ美恵子さん　アイヌ文様刺繍家　アイヌの誇りを表現	明珍　美紀	毎　日	3.10
ひと　上野彦馬賞の学生カメラマン　知念愛佑美さん	米本　浩二	〃	10.13
特集　アーティスト大解剖・千葉勝	佐々木英也 千葉　郁世 高井　啓司 小谷野匡子	aprire	17

ひと　戦争体験を伝え続ける　ちばてつやさん	長谷川容子	毎　　日	1.19
戦争を考える 下 旧満州で一家で見た「生き地獄」…　それでも「あした」を信じて　漫画家、文星芸術大教授ちばてつやさん	石塚　翔子 江口　日菜 大井　信矢 酒井友花里	毎日夕刊	8.20
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　千葉正也	千葉　正也	美術手帖	937
改装に託した老舗の決意　東京・銀座の「田屋」建築家の千葉学さん手がける	黒沢　綾子	産　　経	9.26
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　忠田愛	野地耕一郎	美術の窓	321
「版画アートコレクション」の作家　中馬泰文　ポップなイメージを包み込む優美な「白」	松山　龍雄	版画芸術	147
長はるこ		art _ icle	27
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　千代田利行	高山　　淳	美術の窓	320
人生の贈りもの　薩摩焼陶工沈壽官１～４	田中　啓介 聞き手	朝日夕刊	4.26～28、5.6
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　Chim↑Pom	Chim↑Pom	美術手帖	937
MEMORIAL　追悼　針生一郎　Hurry, G[Chim↑Pom]	卯城　竜太	〃	943
芸術か悪ふざけか　若者６人「チンポム」初の作品集[Chim↑Pom]	近藤康太郎	朝　　日	6.26

（ツ）

所蔵作品展　こども工芸館／おとな工芸館　イロ×イロ　秘する色	築城　則子	現代の眼	582
或る騎士の物語	司　　修	日　　経	4.11
三浦哲郎氏を悼む　家族を記す「宿題」	〃	〃	8.31
特集２　忘れられた「異端」—有田　トシカネジュエリー	栂嶺　レイ	目の眼	411
特集　ナイーブアーキテクチャー　第二部　対談　詩のように応答される建築	塚本　由晴、小池　昌代 勝矢　武之、柴原　聡子 聞き手	建築雑誌	1601
幕末から明治期社会における〈浮世絵〉の果たした役割に関する動態的研究—浮世絵師芳年の端境期における制作を中心に—[月岡芳年]	庵原理絵子	鹿島美術財団年報・別冊	27
女子美術大学附属高等学校・中学校学校長　継岡リツ氏インタビュー	継岡　リツ談	女子美	166
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　継岡リツ	高山　　淳	美術の窓	325
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　筑井一男	〃	〃	320
惜別　漫画家　佃公彦さん　車好きの都会派　作品は「ほのぼの」	安部美香子	朝日夕刊	10.16
墨のある絵　都路華香《白龍図》	桐井　昇子	趣味の水墨画	260
論考　近代日本画関連資料紹介　都路華香「子孫に遺す巻物」をめぐって	今井　　淳	美術京都	41
交遊抄　愛煙家仲間	辻　　厚成	日　　経	4.24
特集　アート／アニメーション　アンケート	ツジシンヤ 岡田　昭憲 杉田　　崇 永下山由香 井出　絢子 渡辺　　豪 大崎のぶゆき	ＲＥＡＲ	23
愛知県陶磁資料館「陶芸家・辻清明の眼—作品とコレクション—」展に寄せて　辻清明とやきもの、作品とコレクションについて	田村　　哲	陶　　説	693
特集１　魯山人と北陸温泉文化　山代・山中・金沢に伝わるもてなしの美学　仕事と遊びに精通した二人の才人から生まれた漆器	辻　　石齋	目の眼	404

特集　歴史教育から問う「韓国併合」　絵画から考える「韓国併合」[辻永]	駒田　和幸	歴史地理教育	763
共同制作所の商品作り支援とデザイン	金氏　脩介 辻　勇佑	京都嵯峨芸術大学紀要	35
いしかわ式　今日の漫画　GIANT KILLING[ツジトモ]	いしかわじゅん	毎　日	5.5
INFORMATION　写真家・津田直とビームスが贈る、アートのクリスマスプレゼント	編　集　部	美術手帖	932
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」6　藤本壮介さんへ、『SMOKE LINE』を。[津田直]	森岡　督行	百　科*	571
彫刻家の現場から60　津田裕子	武田　厚	美術の窓	319
土田麦僊《島の女》をとおして—近代日本画の女性表現の一動向	平賀　麻子	新潟県立近代美術館研究紀要	9
美術学部教員展図録　彫刻	土屋　公雄	愛知県立芸術大学紀要	39
耳の不自由な福生の土谷さん　木彫「錆びた鯨」初入選　港区・国立新美術館「国展」[土谷策造]	網谷利一郎	毎　日	5.7
人間国宝に5氏認定「瀬戸黒」の加藤孝造氏、「鍛金」の玉川宣夫氏ら人間国宝に[土屋順紀]		新美術新聞	1224
土曜訪問　「紋紗」で人間国宝　土屋順紀さん(染織作家)	宮川まどか	東京夕刊	11.20
口絵解説　紋紗着物「月下渓韻」[土屋順紀]	佐々木正直	文 化 財*	564
追悼　毛利武彦先生深い優しさで見守っていただいた	土屋　禮一	新美術新聞	1217
日々好日　邂逅	〃	〃	1220
いしかわ式　今日の漫画　極道めし[土山しげる]	いしかわじゅん	毎　日	9.8
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　筒井スミ子	高山　淳	美術の窓	320
都築響一の僕の本棚、全部売ります！	鈴木　里子	デザインの現場	169
新収蔵品紹介　都築響一《着倒れ方丈記 Happy Victims》	中尾　優衣	視　る	441
ようこそ、新しい先生3　情報デザイン学科准教授　都築潤	都築　潤	瓜生通信	49
人・模・様　米国芸術校仲間で展覧会[堤友江]	山科　武司	毎日夕刊	12.20
学生企画—椿昇　巨大な世界　過激な欲望	椿　昇	瓜生通信	50
日本のアートネクスト、美大のアートネクストを問う「NIPPON ARTNEXT 2010」[椿昇]	林　里佐子	〃	51
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist　高松椿昇		美術手帖	938
「鉄と鍛造文化」シンポジウム及び「鍛冶屋の集い」の報告	坪井　勝人	名古屋造形大学紀要	16
「版画アートコレクション」の作家　坪田政彦　平面絵画の日本〔ジャパン〕モダニズム	松山　龍雄	版画芸術	149
小学校の授業　6年『ヒロシマのピアノ』からはじめるヒロシマ修学旅行の取り組み[坪谷令子]	林　綾	歴史地理教育	758
特集　エフェメラ(ephemera)—短命な建築媒体を後世に—第二部〈課題〉在来の媒体はどう生き残るか　論考2　現用であり続けること2—建築資料のトリセツと製造レシピ	津村　泰範	建築雑誌	1610
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	鶴　友那	美術の窓	321

(テ)

Recommend! New Designer TYMOTE	編　集　部	デザインの現場	170
五線譜　新米記者見守るリボンの騎士[手塚治虫]	古田真梨子	朝　日	8.29
みんなのマンガ学　火の鳥　生命の奥深さはかなさ描く[手塚治虫]	吉村　和真	朝日夕刊	11.22

昭和20年代　手塚さんの創作ノート初出版へ		産　　経	11.29
手塚治虫さん嫉妬深かった　ライバル作家批判の作品単行本に		東京夕刊	11.6
あとがきのあと「手塚治虫のオキナワ」本浜秀彦著　漫画家とオキナワの根深い関係		日　　経	8.29
入門講座　日本の創作アニメーション3　短編で多彩な実験・手塚治虫　本業と一線、表現を探求	山村　浩二	日経夕刊	10.21
手塚治虫作　横山光輝絵　リメーク未発表作発見		読　　売	6.4
時代の証言者　まんが道60年藤子不二雄Ⓐ3、5、7［手塚治虫］	小梶　勝男	〃	6.12、15、17
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　手塚夏子	手塚　夏子	美術手帖	937
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　師　平山郁夫先生	手塚　雄二	新美術新聞	1204
PREVIEW　回顧展「手塚雄二　一瞬と永遠のはざまで」	編　集　部	美術の窓	326
今村天主堂建築工事における九州地方の建築職人・鉄川與助による施工管理の実態	喜田　信代 羽深　久夫 篠野　志郎	日本建築学会計画系論文集	650
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　出店康子	武田　　厚	美術の窓	320
21世紀のアーティスト　寺内誠		ギャラリー*	308
青春プレイバック　寺坂公雄　洋画家　描くことに夢中だった松山時代	窪田　元彦	新美術新聞	1220
追悼　小川博史先生を悼む	寺坂　公雄	〃	1225
座談会　「第四十二回日展　審査を終えて」	中山　忠彦、寺坂　公雄、岩倉　　寿、藤森　兼明、川崎　普照、奥田小由女、井茂　圭洞　談　清水　透石　司会	日展ニュース	139
油絵具シルヴァーホワイトの媒材研究	寺田栄次郎	金沢美術工芸大学紀要	54
特集　われらの庭園第三部　論考　偶然と必要が生み出した創作拠点	寺田　佳央	建築雑誌	1605
デザイナーが推薦する現代の職人　酒井俊彦推薦　エアフレーム　寺田俊介	草野　恵子、立古　和智、渡部　千春、松本　希子、編集部　文	デザインの現場	170
みんなのマンガ学　スポーツマン金太郎　金太郎・桃太郎、現実の球界に［寺田ヒロオ］	吉村　和真	朝日夕刊	8.9
マンガの国の「衣食住」「スポーツマン金太郎」の野球　プロの世界牧歌的に［寺田ヒロオ］	竹内オサム	毎　　日	2.27
日本の伝統文化を意識　天明屋尚展　ミヅマアートギャラリー	渋沢　和彦	産　　経	1.13
「文化観に下克上」天明屋尚が企画展		〃	7.28
BASARA 十選 1～10	天明屋　尚	日　　経	5.3、4、7、10、11、13、14、17～19

（ト）

PREVIEW 道家珍彦展―シルクロードと渥美―	天野　敏規	美術の窓	316
PREVIEW 白土会委員　道家珍彦個展	小森佳代子	〃	325
突飛と天才　6　マンネリ王［東郷青児］	春日　武彦	ユリイカ	579
美の履歴書147　なぜ様式化したのか「望郷」　東郷青児	大西　若人	朝日夕刊	3.17
福島文化考　日本画家・東条光顕		美術屋・百兵衛	15
サタデー発言　発想力豊か「もう一人の母」	藤内　龍彦	東　　京	5.1

視線　東松照明写真集 camp OKINAWA 東松照明著	北澤　憲昭	朝　日	11.14
camp OKINAWA　東松照明著　深い批評の眼差し	今福　龍太	読　売	11.7
ひとまずの再出発―「北九州市立美術館問題」その後　『スチャラカ(真実)通信』スチャラカ(真実)通信社	トーナス・カボチャラダムス	あいだ	172
わたしの宝もの63　光の体験	遠山　香苗	新美術新聞	1225
追悼、砥上賢治	三上　豊	jaic 会報	20
追悼記事について［砥上賢治］	〃	〃	〃
Y. K's Invitation　19　いつもレコードのことばかり考えている人［常盤響］	小西　康陽	芸術新潮	728
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　徳植久子	徳植　久子	美術の窓	325
墨のある風景　徳岡神泉《椿》	鶴見　香織	趣味の水墨画	251
三代徳田八十吉さんを偲ぶ	乾　由明	陶　説	686
ひと　人間国宝の父から久谷焼の名跡を継いだ　徳田八十吉さん［四代目徳田八十吉］	角谷　陽子	朝　日	3.5
この人　九谷焼陶芸四代目を襲名　徳田八十吉さん	浅井　貴司	東　京	3.21
顔　人間国宝だった父の名を継いだ九谷焼作家　徳田八十吉さん	多可　政史	読　売	4.7
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編　コンペに勝つ秘訣とは何ですか？　森美術館展覧会ポスターコンペ　徳田祐司の提案	徳田　祐司談 杉瀬　由希文	デザインの現場	169
人々と政治をつなぐデザイン「鳩カフェ」［徳田祐司］	石田　純子	〃	170
写眼　瞬間は、流れている　所幸則「疾走」(2010年)	海老沢　類	産　経	10.9
独特の手法でプリント　戸高美香子　フォトアート展		〃	4.14
写眼　街の豊かな息づかい　百々俊二「都島区京橋」(平成20年)	堀　晃和	〃	12.4
百々俊二「大阪」	(待)	読　売	8.29
出発　6人のアーティストによる旅　上百々武　「利尻島　北海道2003.12」　今を生きる最北の少女	藤村　里美	東京夕刊	1.21
SPECIAL FEATURE 村上隆　PROJECT 黒田清輝へのオマージュ　Tony	福住　廉	美術手帖	945
この人　奈良・薬師寺とハノイで型染め展を開く　鳥羽美花さん	野村由美子	東　京	10.13
戸張孤雁留学期の「自画像」	柳沢　廣	碌山美術館報	30
写眼　虚実の間をゆらゆらと漂う　飛田英夫「静かな生活」(平成22年)	篠原　知存	産　経	9.25
木村定三コレクションにおける富岡鉄斎作品の特質	柏木　知子	木村定三コレクション研究紀要	2010年度
鉄斎用印々顆の調査を終えて［富岡鉄斎］		鉄斎研究	73
美の美　小林秀雄の眼1　鉄斎・雪舟	浦田　憲治	日　経	5.30
所蔵品紹介　青嵐　富田渓仙	山本香瑞子	エスプラナード	158
美術教師・富田至誠	井上　正敏	熊本県立美術館研究紀要	11
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　富田徹	高山　淳	美術の窓	320
フェイス21世紀140　富田菜摘　都市の廃品から生まれる生き物の世界	松﨑　裕子	新美術新聞	1228
平成21年度第5回研究会　自作について	富田美樹子	東洋陶磁学会会報	70
対談　なぜ光州を語り、描き続けるのか　光州事件三〇周年の年に	富山　妙子 真鍋　祐子	百　科*	578
生きるって　戦後の「和解」絵で祈る　アジア描く89歳歴史と向き合い［富山妙子］	佐藤　直子	東　京	12.6

山下裕二の今月の隠し球63、64　友竹晋太郎　「泡沫」志願の行方〈上、下〉	山下　裕二	美術の窓	318、319
作品研究　鑑賞の位相―土門拳と藤本四八の仏像写真をめぐって	増田　　玲	現代の眼	580
卒業アルバムから始まった　土門拳、早大で　73年前の作品、写真展に	松村　康史	朝　　日	2.3
交遊抄　土門さんのこと	堀　　文子	日　　経	4.10
美の美　子供の情景4［土門拳］	宝玉　正彦	〃	8.22
200年企業　成長と持続の条件131　土門拳流の商品選び　丹波屋、個性的な問屋めざす	水野　裕司	〃	11.24
境界に視線「表現が天職」　写真家・ジャーナリスト外山ひとみさん	太田　浩信	産　　経	9.27
レビュー　登山博文展　1998―2008	田中　香織	ＲＥＡＲ	23
新美術時評　第10回スライドショーという「運動」　トヨダヒトシ　反資本主義的な価値	光田　ゆり	新美術新聞	1232
トヨダヒトシさん新作スライドショー　一期一会“消える写真”	篠原　知存	産　　経	8.16
鳥居敏文の画業と足跡（３～７）	山口　泰二	美術運動史研究会ニュース	108～110、112、116
追悼、平山郁夫「先生は、行動する破格の画家でした」	鳥山　　玲	芸術新潮	722

（ナ）

内藤定昭展によせて	大浜　萌子	展覧会だより	41
出発　６人のアーティストによる旅　中内藤さゆり　「４月25日橋」より　人の姿外し、街の気配	藤村　里美	東京夕刊	1.22
内藤ルネ展　“ロマンティック”よ永遠に　少女トキメキ“かわいい”贈り続け	神谷　剛生	朝日夕刊	1.26
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist　豊島内藤礼		美術手帖	938
SPECIAL FEATURE　この夏行きたい！アートの旅　SETOUCHI GUIDE 4　瀬戸内国際芸術祭参加アーティストに聞く！　内藤礼	白坂　ゆり	〃	940
自然と融合　ドーム形美術館　瀬戸内内海の豊島に完成［内藤礼］	松本　俊司	朝　　日	11.9
「内藤礼　すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している」展　日常が「聖」とつながる快感	大西　若人	朝日夕刊	1.6
@展覧会　内藤礼展「外」と「内」結ぶ繊細な装置	岸　　桂子	毎日夕刊	1.5
建築　豊島美術館　ミクロとマクロが共振［内藤礼］	五十嵐太郎	〃	10.28
ART＋　特別ではない「聖なる瞬間」［内藤礼］	（清）	読売夕刊	1.18
中一弥さん　現役最長老、99歳の挿絵画家が描いた300点　亦々一楽帖　私は絵描きバカだった	内藤麻里子	毎日夕刊	10.19
顔　初の本格画集を出した時代小説一筋の挿絵画家　中一弥さん	佐藤　憲一	読　　売	9.10
中一弥画　乙川優三郎文・監修　「亦々一楽帖」	北上　次郎	〃	10.3
制作ノート　長井勇	長井　　勇	武蔵野美術大学研究紀要	40
ニッポン人・脈・記　いつもアニメが４　夢のロボットひとまたぎ［永井豪］	小原　　篤	朝日夕刊	3.24
SPECIAL FEATURE　日本イラストレーション史　PART２　メディアにのって、大量のイメージがあふれ出す　INTERVIEW　永井博	都築　　潤、福井　真一　聞き手　山内　宏泰　構成	美術手帖	932
この人　タイと美術交流10年　功績で王族から表彰　永江澄さん	河野　貴子	東　　京	4.20
追悼　山崎一雄先生	長江　惣吉	陶　　説	687
ひと　【設計事務所ダイアリー50】長尾景司	長尾　景司	建築ジャーナル	1167

コミック　PUNK 1 長尾謙一郎〈作〉　陳腐な解釈をブッちぎる怪作	南　信長	朝　日	12.19
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	中尾　直貴	美術の窓	321
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます㊙技法講座 VOL. 18 実践編!!顔の描き方が分かる㊙技法講座 CASE 9　中尾廣太郎／人間味あふれるデフォルメ	中尾廣太郎談	〃	319
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　中尾廣太郎	高山　淳	〃	320
都市形成史研究者の見た「神戸風景」、そして「コウベのヤケアト」	中尾　嘉孝	ART RAMBLE	28
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！　最新デザイン・キーワード100　PART 1 デザイナーが語るデザインの未来へ繋がる注目キーワード　新民藝　ナガオカケンメイ	鈴木　里子	美術手帖	946
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史　INTER-VIEW　長岡秀星	都築　潤、福井　真一聞き手　福住　廉構成	〃	932
青春プレイバック　中垣克久　「怒り」を掲げ、新たなかたちを追求	窪田　元彦	新美術新聞	1209
創造神話　中上清の金彩絵画　しみ渡る光に崇高感	菅原　教夫	読　売	4.8
Art Chat Studio　10 中川太郎平×ディオニシス・クリストロフニアス	中川太郎平、ディオニシス・クリストロフニアス　談	ギャラリー*	299
近代美術の眼　TKO—No. 223　渋谷区(渋谷駅ハチ公前交差点脇からセンター街方向)　中川政昭	増田　玲	読　売	6.11
中川道夫写真集「上海双世紀」	(前)	〃	3.28
解説プログラム　2009年のアーティスト・トークから	中川　佳宣	現代の眼	580
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　中畔千嘉	中畔　千嘉	美術の窓	325
こころの玉手箱　将棋棋士　大内延介３　陶芸家、中里隆氏のつぼ	大内　延介	日経夕刊	12.8
おやじのせなか　信念貫く姿「ゲンの父に」　中沢啓治さん	青池　学聞き手	朝　日	9.5
学びのふるさと　「原爆書けるのはお前だけ」　情熱呼び覚ました編集長の言葉　漫画家　中沢啓治さん	小野沢健一聞き手	日経夕刊	5.14
ながさわたかひろの「に・褒められたくて」1～5	ながさわたかひろ	美術手帖	940、943～946
楽天名場面“完彫”　東京の美術家銅版画に　来月４日まで川崎で展示中　ノムさん「人生訓」も[ながさわたかひろ]		東　京	3.11
特集　闘え！アートフェア東京2010　アートフェアから画廊への招待　作品をゆっくり鑑賞するための画廊へ　岡本太郎の久々の展覧会　岡本太郎、さらにその先　中ザワヒデキ＆成相肇	中ザワヒデキ、成相　肇　談	ギャラリー*	299
The 対談・岡本太郎	〃	〃	300～304
ぎゃらりいモール　神奈川県立近代美術館葉山「長澤英俊展　オーロラの向かう所」から「緑の影」	是枝　開	読売夕刊	1.26
中路融人　2008—2009年　作品の解説	中路　融人	金沢学院大学紀要*	8
青春プレイバック　中路融人　山口華楊に学んだ写生の精神	袴田　智彦	新美術新聞	1206
中路融人の作品世界	大矢　鞆音	展覧会だより	45
PREVIEW　中路融人展　平城遷都1300年記念特別展	福田　道宏	美術の窓	327
美術学部教員展図録　デザイン	中島　聡	愛知県立芸術大学紀要	39

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　長嶋節子	武田　厚	美術の窓	320
FEATURE Ⅱ　写真のエロス　中島大輔	いしいよしゆき	美術手帖	936
展覧会とアーティスト1「中島千波の桜屏風展」　画狂人北斎と中島千波の世界		ギャラリー*	306
人と墨16　中島千波　見えない色の響き《identity》シリーズ		趣味の水墨画	253
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　シルクロードに入る原点	中島　千波	新美術新聞	1204
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座　VOL. 17　人気作家が教える構図 step up 術　インタビュー　中島千波／ものの本質を表現するために、構図は自ずと決まる	中島　千波談	美術の窓	316
特集　作家座談会と小川英晴の作品評論　公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)　座談会：公募展への視点	生方　純一、川内　悟、齋藤　茂男、舘野　弘、中島　敏明、林　純夫、福田　玲子、山中　宣明、司会	ギャラリー*	305
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　中島敏明	高山　淳	美術の窓	320
みんなのマンガ学　アストロ球団　超人たちの「友情・努力・勝利」[中島徳博]	伊藤　遊	朝日夕刊	8. 2
中島晴美と有機体のダイナミズム	渡部　誠一	陶　説	688
自身を織り込む—中島晴美の陶造形—	唐澤　昌宏	〃	〃
第五十七回日本伝統工芸展受賞者に聞く	吉田　幸央、石橋　裕史、中田　一於、中島　宏、前田　正博、前田　昭博、石崎　泰之、金子　賢治、司会	〃	692
写真家・長島有里枝さん　初の文章作品　記憶の風景ペンで投影	都筑　和人	朝日夕刊	6. 2
展覧会とアーティスト4　中島由夫展　スウェーデンに中島由夫の美術館がオープンする！		ギャラリー*	308
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA 新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　速報！2010年受賞者の発表　長嶋りかこ	長嶋りかこ談　杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
体験 LOVERS　第4回　長嶋りかこ	鈴木　里子	〃	170
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　長瀬庄衛	高山　淳	美術の窓	320
展覧会とアーティスト9　永瀬義郎版画遺作展—遺品プレス機寄贈記念—　清貧に甘んじなければいい作品は生まれない…		ギャラリー*	306
第五十七回日本伝統工芸展受賞者に聞く	吉田　幸央、石橋　裕史、中田　一於、中島　宏、前田　正博、前田　昭博、石崎　泰之、金子　賢治、司会	陶　説	692
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その30　仲田好江・二人の師・現実幻化	林　紀一郎	新美術新聞	1230
ひと　「子どもが見た地球」を発信する写真家　永武ひかるさん	須田　桃子	毎　日	6. 6
美術学部教員展図録デザイン	長谷　高史	愛知県立芸術大学紀要	39
公募団体展　受賞者に聞く8　第73回一水会展　一水会賞　永谷光隆		ギャラリー*	304

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち中西利雄と日本水彩画会	真壁　輝男	美術の窓	320
特集　電子書籍を読む！　erinnerungs-raume　記憶の触覚書籍における情報の表現形式と操作形式に関する一考察	中西　泰人	ユリイカ	584
わたしの宝もの66　不言窯　黒高麗酒盃	中西　　良	新美術新聞	1234
連盟創立六十周年記念座談会—六十年を顧みて新たな挑戦—	福王寺一彦、入江　　観、中根　　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　　浩、本郷　寛　談、山本　　貞　司会	連盟ニュース	433
東京国立近代美術館工芸館「現代工芸への視点—茶事をめぐって」より　座談会・表現としての工芸	長野　　烈、川瀬　　忍、新里　明士、唐澤　昌宏　談	陶　　説	691
「秋草蒔絵小箪笥」中野孝一		石川県立美術館だより	324
人間国宝に５氏認定「瀬戸黒」の加藤孝造氏、「鍛金」の玉川宣夫氏ら人間国宝に［中野孝一］		新美術新聞	1224
長野重一　マガジン・ワーク60年代	(和)	産　　経	1.9
マガジンワーク60年代　長野重一著		日　　経	1.31
長野重一写真集「マガジン・ワーク60年代」	(前)	読　　売	2.14
大特集　いざ鎌倉　武家の都の祈りと美　鎌倉　いい店、好きな店　喫茶室 Le Musée	長野　陽一	芸術新潮	731
人と墨19　中野嘉之　墨と紙のアンサンブルから生まれる光と色彩		趣味の水墨画	257
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　長浜徹	長浜　　徹	美術手帖	937
作家通信　「墨・絵」を好きになってほしい!!	中浜　　稔	趣味の水墨画	251
いよいよ京都展！	中林　忠良	日本版画協会々報	146
現代美術の歩き方　今月の一品　担当：石原友明＋中原浩大　盲目のクライマー／ライナスの散歩	保坂健二朗	美術の窓	325
当館蔵の中原悌二郎《老人の頭像》(1910年)石膏原型について	水沢　　勉	神奈川県立近代美術館年報	2008年度
特集・座談会　「観○光」EXPO2010　京都の歴史、日本と向き合うアーティストたち	榎　　俊幸　ゲオーク・マテス　中堀　慎治　塙　冨士雄　間島　秀徳　山内　　隆　ヤン・シャオミン	ギャラリー*	307
現代日本画における岩絵具使用の現状	中町　　力	金沢学院大学紀要*	8
平成21年度金沢学院大学「公開講座」　第III部美術文化学部「公開講座」　A部：美術工芸学科主催　テーマ：「作家の想い・二つの世界」	中町　　力、西田　伸一　談	〃	〃
特輯　和製油画　中丸精十郎　瀑	植野　健造	国　　華	1382
コミック　ウツボラ1　中村明日美子〈作〉　耽美と官能のミステリー	南　　信長	朝　　日	7.11
水中写真のメッセージ　中村征夫さんに聞く　命つなぐひたむきさ　人の欲望が海を壊す	野村　義博	日経夕刊	10.23
「生態系の今」伝える水中写真家　中村征夫さん　海に生かされ使命与えられた	小松やしほ	毎日夕刊	10.8
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　中村英	高山　　淳	美術の窓	320
中国上海　「中村元風」個展同行記	中矢　進一	陶　　説	693
現代の陶工　東京発　中村錦平さんに聞く　若者の感性で伝統を超越　ネット文明の工芸追求	宝玉　正彦	日経夕刊	11.13

色を巡る　「中村桂子×エマニュエル・ムホー展　色層／shikiso：呼応する色たち」より	中村　桂子	東北芸術工科大学紀要	17
作家訪問402　ガラス絵作家　中村啓子さん	編　集　部	目の眼	404
中村研一の戦争画「シンガポールへの道」　小金井市に寄付　7月から公開へ	山本奈朱香	朝　　日	5.9
小金井市ゆかりの洋画家・故中村研一「シンガポールへの道」　市立はけの森美術館7月17日から公開　戦場の緊迫感	森下　　功	毎　　日	5.11
放射線　彫刻家中村晋也氏	松浦晃一郎	東京夕刊	11.13
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現　新進79作品　立体部門新作秀作賞　中村隆氏 思考No.8	中村　　隆	産　　経	3.12
平成21年度文化庁海外研修レポート　派遣先　国立ウィーン造形美術大学	中村智恵美	連盟ニュース	435
茨城県近代美術館所蔵作品から　中村彝	舟木　力英	游　　美	66
洋画家中村彝の元アトリエ　外観再現記念館に　新宿区12年度開館へ	松村　裕子	東京夕刊	7.22
INFORMATION　冬季五輪日本リュージュチームの超最速そりに中村哲也がペインティング	山内　宏泰	美術手帖	934
研究余録　金亀玉鶴井伊直忠と中村直彦—井伊家伝来の能面を見る一視点—	降矢　淳子	彦根城博物館だより	89
「時代に描かされた」「ANPO」出演画家中村宏さん	大西　若人	朝　　日	10.4
特集　正岡子規—時代を生きる　さまざまな子規　絵画の力　正岡子規、浅井忠、中村不折	大廣　典子	国文学解釈と鑑賞	954
館蔵資料紹介		子規博だより	
73　中村不折画・河東碧梧桐句「俳画法」	渡部光一郎		110
75　中村不折の子規あて書簡　明治二十八年八月二十二日	上田　一樹		112
美の履歴書148　なぜ間違ったままなのか　「龍眠帖」　中村不折	宮代　栄一	朝日夕刊	3.24
ソ連アニメの伝統継ぐ　大きな耳の人気者、27年ぶり主演映画で里帰り	中村　　誠	日　　経	12.8
特集　アートの創造活性装置「3331」誕生　インタビュー　3331統括ディレクター　中村政人		ギャラリー*	302
現代美術の歩き方　異論反論・現代美術総括ディレクター・中村政人氏に聞く　3331　Arts Chiyoda　グランドオープン	中村　政人談	美術の窓	323
正義の風景画[中村正義]	笹木　繁男	jaic会報	19
ACP Artists×Critics		CLOSET	3
peep humpty empty lookers—on moyamoya　ARTIST　中村萌	中村　　萌		
流動する自己と世界　CRITIC　片山実季[中村萌]	片山　実季		
ACP Open Discussion[中村萌]	松本　上村　鈴木　中村　山田　塩田　片山　倉茂　奥村　沼下	〃	〃
第42回日展を前にして　各科審査員より　心の奥底にあるもの	中村　優子	日展ニュース	138
総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　ロングインタビュー　いつだって絵を描いていた—幼年期の探究から青年期の自立へ、そして未だ見ぬ世界へ	中村　佑介　天野　昌直　聞き手	ユリイカ	578
総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　エッセイ・論考		〃	〃
運命の出会い　欠くことの出来ない存在	後藤　正文		

アートの力を養分として　異次元への恋、連想の糸―中村佑介の絵画とアジアン・カンフー・ジェネレーション	松井みどり		
アートの力を養分として　Mind of flatness	暮沢　剛巳		
運命の出会い　ひとつの出会いからたくさんの出会いへ	吉竹千恵美		
京阪神アンダーグラウンドの奥行き　中村佑介の少女たち	樋口ヒロユキ		
京阪神アンダーグラウンドの奥行き　中村佑介さんの、懐かしい明日。	千野　帽子		
僕らが夢を見る理由　イラストレーション・イルミネーション・イリュージョン	海猫沢めろん		
僕らが夢を見る理由　中村さんの描く「かわいい女の子」のゆくえ―誰でもなさから、色気へ	飯田　一史		
僕らが夢を見る理由　中村佑介と広告表現	蔓葉　信博		
イラストと時代の擦過　ポエジー離散〔ディアスポラ〕時代の導体〔コンダクター〕	水無田気流		
イラストと時代の擦過　pixivから見る「中村佑介」の位置―日本・現代・イラストレーション	伊藤　剛		
僕らが夢を見る理由　恋をするとき、人は横顔を見る。	有村　悠		
総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　対談		ユリイカ	578
時代の空気をそっと捉える―イラストレーターという職業	中村　佑介 宇野亜喜良		
その曲線にときめけ！―世代を超えてつながる絵・マンガ・音楽	中村　佑介 山本　直樹		
好きなものを写し取るために―僕らが大学で学んだこと、学ばなかったこと	中村　佑介 村田　蓮爾		
総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　インタビュー　イラストとアニメの繊細で大胆な弁証法―TVアニメ『四畳半神話大系』の挑戦	湯浅　政明	〃	〃
総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　資料　中村佑介の軌跡―犬は吠えるがキャラバンは進む	さやわか	〃	〃
pop style vol.198　中村佑介　少女、ドラマ仕立て	森田　睦	読売夕刊	3.31
インスピレーション　グラフィック　シーンをつくるリズミカルな曲線　中村竜治「柱のあいだのベンチ」	川上典李子	ＡＸＩＳ	147
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編　審査員も唸るプレゼンボード術とは？　JCDアワード2009大賞　中村竜治	中村　竜治 談 鈴木　里子 文	デザインの現場	169
テークオフ　中村竜治さん　建築家　硬い建物を軟らかく	西田　健作	朝日夕刊	7.1
創作ノート　平和の礎デザイン	和宇慶朝健 仲本　賢 聞き手	沖縄県立芸術大学紀要	18
Go! Artists Go！45　仲森仁	編　集　部	美術手帖	946
みんなのマンガ学　愛と誠　愛に命かける　激しく真剣に［ながやす巧］	伊藤　遊	朝日夕刊	10.4
恩師人間国宝永山光幹先生を偲ぶ	杉原　弘	刀剣美術	642
日本のアートネクスト、美大のアートネクストを問う「NIPPON ARTNEXT 2010」［中山ダイスケ］	林　里佐子	瓜生通信	51
シリーズ・公募団体展を訪ねて　No.3　リーダーの視界にあるものは…　白日会・中山忠彦会長		ギャラリー*	299
中山忠彦日展理事長に聞く	中山　忠彦 談	新美術新聞	1230

座談会　「第四十二回日展　審査を終えて」	中山　忠彦、寺坂　公雄、岩倉　寿、藤森　兼明、川崎　普照、奥田小由女、井茂　圭洞　談　清水　透石　司会	日展ニュース	139
珠玉の一点　上村松園展　中　女性美、手の表情に凝縮	中山　忠彦	日経夕刊	10.8
インスピレーション建築　メインのコンセプトは何か？　中山英之の「O邸」	ぽむ企画	ＡＸＩＳ	143
特集　ナイーブアーキテクチャー　第二部　論考　セーターと毛糸玉	中山　英之	建築雑誌	1601
建築　中山英之「O邸」　外部と内部が反転する空間	五十嵐太郎	毎日夕刊	3.25
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　中山雅子	高山　淳	美術の窓	325
PREVIEW 永山裕子水彩画展	磯部　靖	〃	319
特集　これ一冊で大丈夫!!画材大研究　スペシャル対談　小林善安(丸善美術商事社長)×永山裕子(画家)		〃	327
建築家が想い描く2050年の東京～UIA 2011東京大会を前に	隈　研吾　永山　祐子　古谷　誠章	日　経	12.16
岡田監督対談第６回 VS. 流政之さん　侍魂めざめるか	潮　智史　聞き手・構成	朝　日	3.10
流政之、「島の要塞」は彫刻の森　石彫の常識を揺さぶる　御神木原型の「守り人」も	小川　敦生	日　経	1.17
展覧会とアーティスト８　流麻二果『湧々(わくわく)』知り合う事のない他人がどんな生活を送っているのか？		ギャラリー*	306
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	生井　亮司	美術の窓	321
特集――一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(二)　滝川惣助「七宝製墨画月夜深林図額」について	岡本　隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要	15
作家通信　妙義山水墨スケッチ報告記	並木　功	趣味の水墨画	251
人らんだむ　佐久市立近代美術館・油井一二記念館新館長　並木功氏　絵を見るだけでなくもっと身近な館に	〃	新美術新聞	1216
ぎゃらりいモール　長谷川町子美術館「一面の銀世界」から「雪譜」並木恒延	橋本野乃子	読売夕刊	1.19
日々好日　こな絵　水絵　油絵　漆絵	並木　恒延	新美術新聞	1217
時有幽花　日本画家・奈良裕功の素描展によせて	山本　丈志	秋田美術	46
奈良美智ワールドはNYっ子にどう受け止められたか	由本みどり	芸術新潮	731
"I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME." 以降この十年、奈良美智をめぐって	天野　太郎	国立国際美術館ニュース	176
現在通信　From NEWYORK　NYの奈良美智語録	富井　玲子	新美術新聞	1228
SPECIAL FEATURE 奈良美智　いつでも旅の途中		美術手帖	939
INTERVIEW　新境地を語るロング・インタビュー	児島やよい　聞き手		
REPORT　奈良美智撮影による現場レポート　セラミック・ワークが生まれるまで	編　集　部		
SPECIAL TALK　新作を巡る、展覧会クルーズへ！　大野智×奈良美智	宮村　周子		
REVIEW　土の感触、想像力の目覚め―奈良美智の原点回帰―	松井みどり		
COLUMN　天野太郎が語る　奈良美智カタログレゾネの意義	天野　太郎		

特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE13　草間彌生・奈良美智ほか　ドローイングという名の衝動　「ドローイング—いのちの衝動を伝えるアート」	小勝　禮子	美術の窓	324
アート・トーキング 奈良美智「Missing in Action—Girl meets Boy—」	神谷　幸江	日　　経	9.9
奈良美智作品集「セラミック・ワークス」	(前)	読　　売	9.26
奈良美智　NYで回顧展　音楽との共鳴色濃く	市原　尚士	〃	12.30
シリーズ・公募団体展を訪ねて　No. 6 リーダーの視界にあるものは…　東光会副理事長・栖崎重視		ギャラリー*	302
いま、浮かび上がるあらたな奈良原一高像へ	蔦谷　典子	芸術新潮	728
神宮名品解説　神宮美術館所蔵　洋画「浅草寺にて『夜景』」[楢原健三]	中村　　潔	瑞　　垣	215
「Madam Moitessier」	成清　美朝	明星大学研究紀要	18
日本のアートネクスト、美大のアートネクストを問う「NIPPON ARTNEXT 2010」[名和晃平]	林　里佐子	瓜生通信	51
つかう　壁に斧あり	名和　晃平	芸術新潮	723
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1 14人の旗手からの発言　名和晃平	〃	美術手帖	937
INFORMATION　名和晃平が携帯をデザイン「PixCell via PRISMOID」	編　集　部	〃	943
現代美術の歩き方 今月の一品　名和晃平　「Catalyst ＃12」	山口　裕美	美術の窓	319
知と美の宿るところ 彫刻家名和晃平さん 鉄骨の空間思考動かす	坂下　芳樹	産　　経	9.7
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 難波平人	小森佳代子	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　難波佳子	高山　　淳	〃	325
戦後の巨匠10[難波田龍起]	林　紀一郎	美術屋・百兵衛	14

(ニ)

新倉孝雄写真集「DIZZY NOON」	(前)	読　　売	6.6
イタリアの展覧会 アーティスト・イン・レジデンス—金子司、新里明士	唐澤　昌宏	陶　　説	683
イタリアの展覧会 日本のアーティスト展—平井智、金子司、新里明士、坪田昌之	〃	〃	〃
東京国立近代美術館工芸館「現代工芸への視点—茶事をめぐって」より　座談会・表現としての工芸	長野　　烈、川瀬　　忍、新里　明士、唐澤　昌宏談	〃	691
絵で奏でるメロディー　突発性難聴のミュージシャン画家に転身[新里猛]		東　　京	10.2
いしかわ式　今日の漫画　娉の一生[西炯子]	いしかわじゅん	毎　　日	8.4
テークオフ　現代美術家　西尾美也さん 服でコミュニケーション	安倍美香子	朝日夕刊	11.4
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 西岡一郎	高山　　淳	美術の窓	320
来迎	西岡　文彦	多摩美術大学研究紀要	24
ひと　長崎原爆を描く漫画家　西岡由香さん	錦織　祐一	毎　　日	4.14
作品　「花筆」「瓜」	西方智衣子	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　西澤諭志	西澤　諭志	美術手帖	937
Build the Future 西澤丞著		日　　経	5.16

西澤丞写真集「Build the Future」	(前)	読　売	7.18
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます㊙技法講座 VOL. 18 実践編!! 顔の描き方が分かる㊙技法講座 CASE 5　西澤秀行／身近な光景からドラマを作る	西澤　秀行談	美術の窓	319
from the World　波打つ大きな「ワンルーム」が生み出すオープンネス[西沢立衛]	柴田　直美	ＡＸＩＳ	145
特集　クリエイティブ・トークセッションII　西沢立衛と廣村正彰が語る、未来に対してできること	加藤　孝司	〃	147
特集　建築写真小史—建築写真を拡張するために　第三部　対談　「建築写真」以後	鈴木　了二、西沢　立衛　山岸　剛　聞き手	建築雑誌	1606
SPECIAL FEATURE この夏行きたい！アートの旅　SETOUCHI GUIDE 4　瀬戸内国際芸術祭参加アーティストに聞く！西沢立衛	白坂　ゆり	美術手帖	940
SPECIAL FEATURE 妹島和世＋西沢立衛／SANAA		〃	943
INTERVIEW オープン＆デモクラティック：柔らかな建築に向かって	南　泰裕		
KEYWORD　建築史家・五十嵐太郎が解説！　キーワードで知る SANAA	五十嵐太郎研究室		
KEYWORD　建築史家・五十嵐太郎が解説！　キーワードで知る SANAA　あえて様式の言語から SANAA を位置付ける	五十嵐太郎		
PROJECT 1　ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展 2010 People meet in architecture	妹島　和世		
PROJECT 2　豊島美術館　豊島美術館を通して	西沢　立衛		
INTERVIEW SANAA を語る 1　伊東豊雄	長島　明夫		
INTERVIEW SANAA を語る 2　佐々木睦朗	平塚　桂		
INTERVIEW SANAA を語る 3　石上純也	長島　明夫		
CRITICAL ESSAY 立ち去れない場所 SANAA のホスピタリティーとディシプリン	長谷川祐子		
視線　西沢立衛建築設計事務所ディテール集　西沢立衛建築設計事務所編著	保坂健二朗	朝　日	5.23
自然と融合　ドーム形美術館　瀬戸内内海の豊島に完成[西沢立衛]	松本　俊司	〃	11.9
新しい環境へ　下　建築・芸術薄れる境[西沢立衛]	大西　若人	朝日夕刊	11.17
プリツカー賞の妹島和世、西沢立衛　デリケートさと力強さ兼備	(和)	産　経	4.7
開放的空間がもたらす現代性　プリツカー賞受賞した SANAA の建築[西沢立衛]	五十嵐太郎	毎日夕刊	4.26
建築　豊島美術館　ミクロとマクロが共振[西沢立衛]	〃	〃	10.28
PREVIEW 西嶋俊親油絵展　ヨーロッパの丘と水辺	小森佳代子	美術の窓	320
特集　われらの庭園　第三部　論考　発明するのではなく、発見するという立ち位置	西田　司	建築雑誌	1605
西田伸一　2008—2009年　作品の解説	西田　伸一	金沢学院大学紀要*	8
平成21年度金沢学院大学「公開講座」第III部美術文化学部「公開講座」A部：美術工芸学科主催　テーマ：「作家の想い・二つの世界」	中町　力、西田　伸一　談	〃	〃
第42回日展を前にして　各科審査員より振れない仕事	西塚　龍	日展ニュース	138
視線　西野達 Tatzu Nishi　西野達著	森村　泰昌	朝　日	9.19

建築家・西原吉治郎の経歴と建築活動	瀬口　哲夫	日本建築学会計画系論文集	651
わたしの宝もの57　４本のギター	西房　浩二	新美術新聞	1209
悼む　佐野洋子さん　絵本作家・エッセイスト　筋の通った自由人	西巻　茅子	毎　日	11.28
写眼　伝えたかった粒子の存在感　西宮正明「恋をした」(平成21年)	堀　晃和	産　経	4.17
３月でサラリ君さようなら[西村宗]		〃	3.2
さよなら「サラリ君」西村宗さんに聞く　ひらめきと冷や汗の30年　時代の今描き嫌な思い出ない	千葉　倫之	〃	3.22
特集―一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(二)　十二代西村總左衛門による「水中群禽図刺繍額」―作品の意義を見直す―	太田　彩	三の丸尚蔵館年報・紀要	15
2010年日本建築学会賞(作品)　岩見沢複合駅舎[西村浩]		建築雑誌	1607
第42回日展を前にして　各科審査員より　彫刻の原点	西村　祐一	日展ニュース	138
かわらないこと	西村　幸生	美術運動	137
銀座かねまつショーウィンドウディスプレイ	西本　剛己	明星大学研究紀要	18
写眼　喪失の続く風景　西山功一「No-where」(平成22年)	三品　貴志	産　経	6.12
ボストン美術館展　西洋絵画の巨匠たち　巨匠の引力　蜷川美花さん×クロード・モネ　本当はアヴァンギャルド		朝　日	4.30
蜷川実花写真集「noir」	(前)	読　売	10.31
名古屋造形大学G棟ギャラリー	丹羽　勝美	名古屋造形大学紀要	16
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　丹羽良徳	丹羽　良徳	美術手帖	937
次世代人　丹羽良徳さん　常識にユーモアの風穴	市原　尚士	読売夕刊	9.18
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　庭野眞佐子	高山　淳	美術の窓	320

(ヌ)

新・私のアルバム23　塗師祥一郎	小森佳代子	〃	316
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　沼田桂子	高山　淳	〃	325

(ネ)

受賞者訪問６　第28回明日をひらく絵画　上野の森美術館大賞展　上野の森美術館絵画大賞　根木悟		ギャラリー*	302
2010年日本建築学会作品選奨　水無瀬の別棟[根本理恵]		建築雑誌	1607

(ノ)

PREVIEW　能島和明展	高山　淳	美術の窓	318
PREVIEW　水戸市文化栄誉賞受賞記念　能島征二の軌跡展	浅井　俊裕	〃	321
野口克也「発光都市TOKYO」	(睦)	読　売	10.10
めでる　ドクロにひとめ惚れ[野口二朗]	編集部	芸術新潮	724
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	野嶋　革	美術の窓	321
野島康三の陶磁器写真―柳宗悦と富本憲吉のはざまにあって―	越前　俊也	美学芸術学	25
野島康三と柳宗悦の交流について	杉浦　美紀	視　る	443
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　プレゼン編　あの人のポートフォリオが見たい！　編集された一冊と、スピード重視の一束の二刀流　野尻大作	立古　和智 編集部	デザインの現場	169
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 VII[野田昇平]	佐藤　一郎 ほか	東京芸術大学美術学部紀要	48

鳥居敏文の画業と足跡(4)　自由のパリから暗雲の日本へ[野田英夫]	山口　泰二	美術運動史研究会ニュース	109
巨匠展―今そして未来2010　出品作家インタビュー	野田　弘志	美術の窓	320
ニューヨークからギリシャへの道　ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の足跡を訪ねる　日本人とギリシャ人の絆　前・後編	野田　正明	ギャラリー*	297、298
Pick-up　野田正明　ギリシャのマラソン市にステンレス彫刻「The Spirit of Hermes」を永久設置。		〃	307
美術学部教員展図録デザイン	野田　理吉	愛知県立芸術大学紀要	39
もうひとつの場所　野又穫著		日　経	8.29
32年経て世出たサハラの古代岩壁画[野町和嘉]		芸術新潮	727
視線　サハラ、砂漠の画廊　タッシリ・ナジェール古代岩壁画　野町和嘉著	荒俣　宏	朝　日	5.16
写眼 壁画が語る“緑の地”　野町和嘉「サハラ、砂漠の画廊」	宮田奈津子	産　経	5.1
野町和嘉写真集「サハラ、砂漠の画廊」	(前)	読　売	5.2
特集1　麻生三郎《ひとり》が描かれた頃	野見山暁治	現代の眼	584
アトリエ日記74～85	〃	美術の窓	316～327
悼む　田淵安一さん画家　パリ拠点に東洋追求	〃	毎　日	1.6
好きなもの	〃	〃	10.17

(ハ)

写眼　ドラマを感じる一瞬　ハービー・山口「ミッシェル」(1988年)	篠原　知存	産　経	8.7
交遊抄　心優しき福山くん	ハービー・山口	日　経	6.26
1970年、二十歳の憧憬　ハービー・山口著		〃	9.26
2010年日本建築学会作品選奨　福山市まなびの館ローズコム(福山市中央図書館・福山市生涯学習プラザ)[萩森薫]		建築雑誌	1607
あとがきのあと「劇的な人生こそ真実」萩原朔美氏　異才たちの「素顔」記す	萩原　朔美	日　経	7.18
受賞者訪問10　第14回新生展大賞　大賞　白田誉主成		ギャラリー*	305
展覧会とアーティスト7　葉栗剛木彫展人間は本来親近感の持てる存在なのだと、作品は語る		〃	306
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 VII[橋口五葉]	佐藤　一郎 木島　隆康 大西　博 桐野　文良 増田　久美 土屋　裕子 作間美智子	東京芸術大学美術学部紀要	48
橋口五葉の西洋と日本	松山　龍雄	版画芸術	150
橋口五葉		〃	〃
アール・ヌーヴォーの日本スタイル			
ブックデザインの先駆者			
人と作品	岩切信一郎		
略歴			
夢幻を描く―『漾虚集』における五葉と漱石[橋口五葉]	木股　知史	〃	〃
西洋画デッサンの「新版画」[橋口五葉]		〃	〃
研究ノート　橋本雅邦《三井寺》における先駆性について―描法と主題から―	石上　充代	アマリリス	99
明治の教科書で学ぶ水墨画―橋本雅邦著『小学毛筆画帖』から1～9	村田　隆志	趣味の水墨画	253～261
橋本関雪「進馬図」の制作背景をめぐって	斉藤　全人	三の丸尚蔵館年報・紀要	15
墨のある風景　橋本関雪《凍雲危桟図》	橋本　眞次	趣味の水墨画	250
報告　シンポジウム大阪の近代建築・戦後建築の魅力をさぐる	橋爪　節也 橋寺　知子 橋本　建治 岩田　雅希 阪口　大介 髙岡　伸一 酒井　一光	大阪歴史博物館研究紀要	8

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 橋本聡	橋本 聡	美術手帖	937
研究報告2. 橋本青江「山水図」	山盛 弥生	実践女子学園香雪記念資料館館報	7
CG Artist・橋本利夫		美術屋・百兵衛	15
聖〔セイント〕兄さんとモダン弟 橋本平八と北園克衛が夢見た美		芸術新潮	730
北園克衛発橋本平八宛書簡—橋本健吉から北園克衛へ	野田 尚稔	世田谷美術館紀要	11
美の履歴書173 肌に花弁を刻んだわけ「花園に遊ぶ天女」橋本平八	西岡 一正	朝日夕刊	9.22
装幀本談義 花のある本たち 織田一磨『FLOWERS』・橋本邦助『家庭園芸術』・小林鐘吉『西洋草花』	山田 俊幸	一 寸	41
第74回新制作展を迎えて	橋本 裕臣	新美術新聞	1226
コミック カフェめるへん1 蓮古田二郎〈作〉 シャイな店主の一途な思い	ササキバラ・ゴウ	朝 日	10.17
作家随想3 「現代からくり玩具」考	蓮渓 円誠	視覚の現場 四季の綻び	7
人と墨18 蓮村泰子 和紙の重なりで墨の濃淡をつくる		趣味の水墨画	256
ラヴズ・ボディ—生と性を巡る表現	ハスラー・アキラ 談	E Y E S	67
貸本出版の樋口隆文館、あるいは関西の挿絵・長谷川小信のことなど[三代長谷川小信]	岩切信一郎	一 寸	42
パリを席巻する幾何学構成主義アート	長谷川 栄	東京夕刊	1.14
ポンピドーセンター・メッスの革新性 幾何構成主義を木質で組む	〃	〃	10.19
新潟文化考 水墨画家・長谷川祥子		美術屋・百兵衛	13
長谷川三郎とハンス・リヒターの親交—ニューヨークの出会いから「日米抽象美術展」へ—	江口みなみ	近代画説	19
創刊60周年記念特大号 わたしが選ぶ日本遺産 アンケート わたしがそれを選んだわけ4 異文化混交という恵み	長谷川集平	芸術新潮	721
PREVIEW 長谷川仂 油絵展	高山 淳	美術の窓	323
「長谷川利行展」東京国立近代美術館 東京の風俗とらえた幻の油彩	渋沢 和彦	産 経	11.16
近代美術の眼 カフェ・パウリスタ 長谷川利行・画	保坂健二朗	読 売	11.12
ぎゃらりいモール 板橋区立美術館「館蔵品展 日本の美術運動」から「赤い少女」長谷川利行	弘中 智子	読売夕刊	6.15
サザエさんにみるお花見[長谷川町子]	橋本野乃子	SAZAE通信	14
無窮を見つめた画家 長谷川潾二郎展	濱本 聰	潮 流	103
MADO LIBRARY 長谷川潾二郎画文集 静かな奇譚 長谷川潾二郎著		美術の窓	321
視線 長谷川潾二郎画文集 静かな奇譚 長谷川潾二郎著	森村 泰昌	朝 日	5.30
長谷川潾二郎画文集 静かな奇譚 長谷川潾二郎著		日 経	4.25
ゆったりアート 描く対象とことん観察[長谷川潾二郎]	岸 桂子	毎日夕刊	5.21
ぎゃらりいモール 平塚市美術館「長谷川潾二郎展—平明・静謐・孤高—」から「猫」	土方 明司	読売夕刊	4.27
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 今、輝いている女性アーティストたち 長谷川玲子	高山 淳	美術の窓	325
長谷川路可・チヴィタヴェッキア・1951年—1957年〈2〉	有田 巧	崇城大学芸術学部研究紀要	3
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19 波田浩司	吉田 豪介	美術の窓	321
話す写真 見えないものに向かって 畠山直哉〈著〉 見慣れた世界を揺さぶって	石川 直樹	朝 日	9.19

日々好日　絵は残る	畠中　光享	新美術新聞	1216
写眼　紛れもなく地続きの光景　イッセイハットリ「終の棲家、ワタシ　ナキアト」(平成21～22年)	海老沢　類	産　　経	10.30
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　2000年受賞服部一成	服部　一成談 杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
中特集　第79回朔日会展　5月に開催　国際交流と自由な芸術集団	羽藤　恒郎	美術の窓	318
リアル漂う「絶望郷」漫画　SF・パニックものに新潮流「ディストピア2.0」[花沢健吾]	近藤康太郎	朝　　日	11.8
浅草　初春　事始め　英伸三著		日　　経	4.18
特集・座談会　「観○光」EXPO2010　京都の歴史、日本と向き合うアーティストたち	榎　　俊幸 ゲオーク・マテス 中堀　慎治 塙　冨士雄 間島　秀徳 山内　　隆 ヤン・シャオミン	ギャラリー*	307
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	馬場　　洋	美術の窓	321
羽場文彦　2009年作品の解説	羽場　文彦	金沢学院大学紀要*	8
フロントランナー　建築家　Open A代表　馬場正尊さん　豊かな「今日的暮らし」探る	中島耕太郎	朝　　日	6.5
空の鼓動　HABU著		日　　経	7.18
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　濱實	高山　　淳	美術の窓	320
ゆったりアート　銅版画の小宇宙[浜口陽三]	岸　　桂子	毎日夕刊	8.27
アートの地殻変動10　浜田剛爾	北川フラム 聞き手 永峰　美佳 構成	美術手帖	933
レビュー　あいちトリエンナーレ2010に向けて　現代美術の発見Ⅲ　テーマ展　濱田樹里「根元の在処」	中村　英樹	ＲＥＡＲ	23
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現　新進79作品　平面作品部門秀作賞　濱田尚吾氏　記憶に咲く花	濱田　尚吾	産　　経	3.12
回想―「濱田庄司自選展」を想う	廣崎　裕哉	陶　　説	685
異才列伝　濱田庄司　益子の素朴さ「民芸」に昇華	松本　由佳	読　　売	5.30
注目の作家　浜田知明		版画芸術	148
浜田知明　その芸術の軌跡	橋　　秀文	〃	〃
作家随想２　商店街に大型彫刻を展示する意味	濱田　　亨	視覚の現場　四季の綻び	5
作家通信　ゆかりある山口市のお寺に襖絵を奉納	濱中　応彦	趣味の水墨画	250
展覧会とアーティスト３　早川俊二小品展　絵を描くというのは、技術が90%、表現力はほんのわずか		ギャラリー*	306
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　早川祐太	早川　祐太	美術手帖	937
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　早川祐太	岡部あおみ	美術の窓	321
反骨の画家に脚光　アナーキスト・大杉栄ら描いた林倭衛　きょうから世田谷、未公開作展示	佐藤　清孝	朝　　日	1.22
世田谷で反骨の画家・林倭衛回顧展　肖像画と対面「父だ」　アナーキスト浅枝次朗の長男・陽さん	〃	〃	2.10

特集　作家座談会と小川英晴の作品評論公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)　座談会：公募展への視点	生方　純一、川内　悟、齋藤　茂男、舘野　弘、中島　敏明、林　純夫、福田　玲子、山中　宣明、司会	ギャラリー*	305
戦後の巨匠08[林武]	林　紀一郎	美術屋・百兵衛	12
Osamu's Invitation 34　最終回　犬を負う子供たち[林忠彦]	原田　治	芸術新潮	728
日々好日　大名庭園での夕食	速水　史朗	新美術新聞	1212
視点	〃	美術の窓	
なまはげがくれたもの〈後編〉			316
銀座の個展			317
大龍柱のようなモニュメント(前・後編)			319、320
中津万象園のバルビゾン派(前・後編)			321、322
干支の彫刻			323
紫川			324
姫路でのうれしい出会い			325
PREVIEW 速水史朗展―艶―	小森佳代子	〃	326
視点　榊莫山さんのこと	速水　史朗	〃	327
制作記録　杢目金について	原　智	金沢美術工芸大学紀要	54
フェイス21世紀135 原太一　町と乗り物、キャラクター、密度にあこがれ	窪田　元彦	新美術新聞	1215
彫刻家の現場から58 原透	武田　厚	美術の窓	317
Art Chat Studio　14 原雅幸×村瀬雅夫	原　雅幸、村瀬　雅夫談	ギャラリー*	303
現代作家紹介　原口典之―物質と非物質	松本　透	美術フォーラム21	22
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ4　神懸かりの美術史	原田　治	芸術新潮	721
特集　小村雪岱を知っていますか？　これぞセッタイ	〃	〃	722
その2　多忙な多忙な挿絵画家稼業1922～40　「雪岱調」の誕生			
その3　役者が惚れた舞台美術家1924～40　絶品の仕事			
Osamu's Invitation 28～34	〃	〃	722～728
美術学部教員展図録デザイン	原田　鎮郎	愛知県立芸術大学紀要	39
原田泰治　野の道を歩く画家		太陽(別冊)	原田泰治
原点を探して			
心の絵をさがして原田泰治の足あと誕生―二十歳代			
エッセイ　タイジの絵	篠原　勝之		
エッセイ　僕の自慢の兄ちゃん	さだまさし		
心の絵をさがして原田泰治の足あと三十歳代―四十歳代			
心の絵をさがして原田泰治の足あと五十歳代―七十歳代			
エッセイ　原田泰治の青春	鎌田　實		
原田泰治の世界―人の生きる風景画へ―	岸田　惠里	長野県信濃美術館紀要	4
新収蔵品紹介　原田直次郎「上野東照宮」	妹尾　克己	岡山県立美術館ニュース	88
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　原田直次郎・黒田清輝―日本初の洋画団体分裂、徹底対決!!　脂派VS紫派		美術の窓	320
展覧会とアーティスト8　原田武眞油彩展　儚いはずの美しさを永遠に留める		ギャラリー*	308
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その31　針生鎮郎・お化けの忘れ物・出家	林　紀一郎	新美術新聞	1233

みんなのマンガ学 じゃりン子チエ　大阪の下町息づかいまで的確に［はるき悦巳］	吉村　和真	朝日夕刊	4.12
ひと　世界人権宣言を作品にした書家　春野かそいさん	太田　裕之	毎　日	6.2
版画家・春村ただをとその作品について	金井　紀子	神戸市立博物館研究紀要	26
The AsahiShimbun GLOBE Break—through　坂茂　押しかけてとことん、しゃべる。理詰めを貫き紙の館を現実に	沢村　亙	朝　日	3.8
仏ポンピドーセンター・メス　人をつなぐ建築［坂茂］	黒沢　綾子	産　経	9.29
ポンピドーセンター・メッスの革新性　幾何構成主義を木質で組む［坂茂］	長谷川　栄	東京夕刊	10.19
顔　仏ポンピドーセンター別館の設計を担当した建築家　坂茂さん	林　路郎	読　売	5.30
ロレックス　メントー&プロトジェ　アート・プログラム　師弟関係を越えていく現代のメントーシップ［半田真規］	伊東　豊子	美術手帖	933
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　半田真規	半田　真規	〃	937
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　万代洋輔	万代　洋輔	〃	〃
フォーカス　手形集めオブジェ作製、地球の現状訴え　「行動型の大人に育って」思い込め［板東孝明］		日経夕刊	4.26

（ヒ）

追悼　毛利武彦先生　追悼　毛利さん	稗田　一穂	新美術新聞	1217
高橋みどりの食道楽　連載四　日置武晴さんに聞く料理写真に必要なもの	高橋みどり	芸術新潮	725
マブイ　比嘉憑	（生）	毎　日	10.10
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」3　東恩納裕一さんへ、『日常らしさ』を。	森岡　督行	百　科*	568
資料紹介—当館所蔵東山魁夷スクラップブック　一九三七年～一九四六年の記事から—	林　みさき	長野県信濃美術館紀要	4
東山魁夷における画題の振幅	吉田　俊英	奈良県立美術館紀要	23･24
主な新収蔵（購入）資料の紹介　芒野　東山魁夷　リトグラフ1990年		馬事文化財団年報	31
アート・トーキング　東山魁夷　「白い嶺」	山崎　妙子	日　経	1.14
ゆったりアート　暗闇に浮かぶ白い木立［東山魁夷］	岸　桂子	毎日夕刊	9.10
ぎゃらりいモール　泉屋博古館分館「近代日本画にみる東西画壇」から「スオミ」東山魁夷	川口　直宜	読売夕刊	8.17
東山嘉事—人と作品	服部　正	兵庫県立美術館研究紀要	4
みんなのマンガ学　おおきく振りかぶって　青空に光る“等身大の球児の成長”［ひぐちアサ］	倉持佳代子	朝日夕刊	7.26
著者に聞きたい　樋口正一郎さん　イギリスの水辺都市再生ウォーターフロントの環境デザイン　日本に足りない楽しさ	渋沢　和彦	産　経	5.30
樋口制作所活動事情	樋口　健彦	多摩美術大学研究紀要	24
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　彦坂敏昭	彦坂　敏昭	美術手帖	937
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史　Column　このジャンルに注目！　INTERVIEW　ひこねのりお	都築　潤、福井　真一　聞き手　水田　由紀　構成	〃	932
所沢ピエンナーレ《引込線》参戦記	菱　千代子	美術運動	137

第Ⅰ部　土方久功日記Ⅰ	土方　久功著 須藤　健一、清水　久夫編	国立民族学博物館調査報告	89
第Ⅱ部　関連資料・附論　土方久功と南洋群島	須藤　健一	〃	〃
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　プレゼン編　これが私のプレゼン術！　菱川勢一　NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」タイトルバックほか	菱川　勢一談 鈴木　里子文	デザインの現場	169
作品研究　菱田春草《賢首菩薩》　朦朧体の次にあるもの	鶴見　香織	現代の眼	581
墨のある風景　菱田春草《落葉》	三宅　秀和	趣味の水墨画	259
日本美術のススメ　今月の逸品　重要文化財　菱田春草「黒き猫」	塩谷　純	美術の窓	320
美の履歴書156　感じる気配は何か「落葉」　菱田春草	米原　範彦	朝日夕刊	5.26
受賞者訪問4　第26回全国公募展IZUBI大賞受賞　菱谷くるみ		ギャラリー*	300
シリーズ・公募団体展を訪ねて　No.2　リーダーの視界にあるものは…　新槐樹社・日高昭二委員長		〃	298
交遊抄　見る人	日高理恵子	日　経	2.13
批評　“イメージ”の底を抜く　「放課後のはらっぱ―櫃田伸也とその教え子たち」の感想	O　JUN	REAR	23
批評　「放課後のはらっぱ」関連イベントレポート　鋭い観察がつなぐもの［櫃田伸也］	増田　千恵	〃	〃
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　一鍬田徹	小森佳代子	美術の窓	320
特集　建築・有象無象　鼎談　CatalogからDisciplineへ―StewartBrandの展開を通して「全地球」を展望する	月尾　嘉男、糸長　浩司、日埜　直彦、中谷　礼仁、木下　光、森本　英裕聞き手	建築雑誌	1600
建築雑人　ピーキーな技術／ピーキーな建築	日埜　直彦	建築雑誌	1603
特集　平城遷都1300年考　第一部　論考2　奈良／Dream-lands	〃	〃	1611
SPECIAL FEATURE　日本イラストレーション史　PART 3　イラストレーションがメディアを越境、アートの意味が分裂する　INTERVIEW　日比野克彦	都築　潤、福井　真一聞き手 水田　由紀構成	美術手帖	932
特集　森村泰昌　鎮魂という批評芸術　Essais　森村泰昌というヒトについて考えていると、こんなことを思う。	日比野克彦	ユリイカ	579
ニッポン宝さがし　岐阜　ゆかりの人　アーティスト日比野克彦さん　静寂愉しむ長良川の鵜飼い	〃	朝日夕刊	5.11
土曜訪問　東京で8年ぶりの個展　日比野克彦さん（アーティスト）	三沢　典丈	東京夕刊	11.6
日経環境シンポジウム　次世代につなげたい、人と街の環境とは。　人と人がつながるコミュニティーの持続が要［日比野克彦］		日　経	2.18
日比野克彦、地域住民とプロジェクト　朝顔を育てるアート　共同作業が人々を結ぶ	小川　敦生	〃	3.21
ザ・コレクション・ヴィンタートゥール　多くを語る食卓の静物	日比野克彦	読　売	9.11
受賞者訪問11　アートアワード・ネクスト＃1　準大賞　佐竹龍蔵　日比野拓史		ギャラリー*	305
絵画制作のプロセス	日比野ルミ	名古屋造形大学紀要	16
うどんと豆腐と牛乳と百武朋の愉快な恐怖シーン		芸術新潮	727
時の余白に　独往の大絵師たちよ［平賀敬］	芥川　喜好	読　売	11.30
レビュー　平川典俊展「生きていることの表徴」	拝戸　雅彦	REAR	23

視線　平田暁夫の帽子　平田暁夫著、宇野亞喜良編	北澤　憲昭	朝　　日	5.2
受賞学生インタビュー第５回　「イエローキッド」2009年バンクーバー国際映画祭招待／2010年ロッテルダム国際映画祭招待	平田　竜馬	芸大通信	22
本づくし　「進むべき道を示す、先端的アプローチ」『覇権国アメリカの終焉―相場を通じて見える世界』　宇野大介著	平野　敬子	ＡＸＩＳ	143
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ４　江戸っ子のモダニズム	平野　甲賀	芸術新潮	721
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」２　坂田和實さんへ、『POOL』を。［平野太呂］	森岡　督行	百　　科*	567
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　平野マチ子	高山　　淳	美術の窓	325
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	平野　栄作	〃	321
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	平林　孝央	〃	〃
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」11　平林奈緒美さんへ、『Objects』を。	森岡　督行	百　　科*	576
平福穂庵の作品検証―変革の時代に生きた地方画家―(補遺)	太田　和夫	秋田県立博物館研究報告	35
墨のある風景　平福百穂《春山》	三浦　　直	趣味の水墨画	252
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19　CASE 4　平松佳和誌上デッサン教室応用編　鉛筆を使いこなす裸婦デッサン	平松　佳和談	美術の窓	324
大特集　いざ鎌倉　武家の都の祈りと美世界遺産に向けてのひとひら　平松礼二の「かまくら散華」		芸術新潮	731
入門講座　近代日本画の隆盛１～４	平松　礼二	日経夕刊	1.7、14、21、28
学生企画―美大で何を見つける？３　平嶺林太郎	平嶺林太郎	瓜生通信	49
追悼、平山郁夫「先生は、行動する破格の画家でした」	鳥山　　玲	芸術新潮	722
平山郁夫理事長を悼んで	小宮　　浩	絲綢之路	62
平山郁夫先生を偲んで　師・恩・友　平山先生	阿南ヴァージニア史代 金　容雲 清水　操 ジャック・ジエス 井　頓泉 宮廻　正明	〃	63
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ		新美術新聞	1204
美の理想主義者	高階　秀爾		
平山郁夫先生とのこと	奥谷　　博		
東京藝術大学での思い出	澄川　喜一		
戦争なき平和を願う平山芸術	郷倉　和子		
あまりにも突然な逝去の報	松尾　敏男		
平山郁夫先生を偲んで	林田　英樹		
“伝統”より“精神”	加藤　貞雄		
文化への信念　平山郁夫先生	淺木　正勝		
ヒロシマの記憶	宝木　範義		
平山先生の功績	草薙奈津子		
先生からの励ましに感謝	山﨑　妙子		
平山郁夫先生を偲んで	栗和田榮一		
平山先生ご逝去を悼み	柳田　清二		
壮大な作品構想	小宮　　浩		
大いなる喪失	宮田　亮平		
文化芸術は主義や主張を越える翼	絹谷　幸二		
秋田旅行の思い出	鎌倉　秀雄		
平山先生の思い出	千住　　博		
シルクロードに入る原点	中島　千波		
救いの言葉	倉島　重友		
平山郁夫先生を偲ぶ文	大矢　　紀		

師　平山郁夫先生	手塚　雄二		
平山先生の逝去を悼む	福井　爽人		
平山先生との思い出	小山　　硬		
迷子になりかけたとき	下田　義寛		
平山郁夫先生を悼む	田渕　俊夫		
五月パリで	夏目　　進		
平山先生を悼む	山村　昌康		
今も天馬は空を駈ける	櫻井美穂子		
平山先生ご逝去によせて	原田　吉蔵		
平山先生の訃報に接して	三谷　忠彦		
出会い	市川　昌介		
スケッチの思い出 平山郁夫先生を悼む	斎藤　供呉		
故平山郁夫先生と三越	松村　　茂		
満月と水面の一筋の金線	中澤　一雄		
平山郁夫氏「お別れの会」開かれる　美術界・政財界の約２千６百人が偲ぶ		新美術新聞	1208
一周忌「平山郁夫先生を偲ぶ会」開かれる　新たに「郁夫賞」創設を発表　春季展の副賞として		〃	1233
巻頭特集　１年まるごと保存版！今年必見の展覧会 BEST 200　追悼		美術の窓	317
追悼・平山郁夫先生	松尾　敏男		
平山先生を悼む	田渕　俊夫		
耳目抄　287　平山郁夫氏逝去	竹内　寛子	ユリイカ	576
平山郁夫さんが遺したもの		朝　　日	
上　芸と社会、常に接点　画業	大西　若人 西田　健作		2.6
下　率先し国・人動かす　文化財保護	小川　　雪 宮代　栄一		2.9
平山郁夫さん、病床で構想　平城京描いた下絵、来月の個展に展示		産　　経	3.3
熱気球[平山郁夫]		東　　京	2.13
奇縁まんだら118 坊さんより仏教徒的な平山郁夫	瀬戸内寂聴	日　　経	1.10
こころの玉手箱　前ユネスコ事務局長 松浦晃一郎２　ユネスコ親善大使[平山郁夫]	松浦晃一郎	日経夕刊	8.3
憂楽帳　平山さんの絵	小松やしほ	毎日夕刊	3.23
人・模・様　平山画伯追悼展に感慨深く	網谷隆司郎	〃	8.16
平山さん追悼展　東で西で		読　　売	1.27
絵画が社会に大きな啓発力を持った　平山郁夫さん「お別れ会」に2000人		読売夕刊	2.2
松本品子編「妖艶粋美　甦る天才絵師・鰭崎英朋の世界」	(前)	読　　売	1.24
碌山忌記念講演会「私の中の彫刻史―イサム・ノグチとの出会い―」	広井　　力	碌山美術館報	30
展覧会報告　二つの展覧会を通して見えてきたもの―総合基礎実技「具、具ッ！」展と「布の記憶／糸の時間」展から―	ひろいのぶこ	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	54
洋画家・廣岡義友		美術屋・百兵衛	15
回想―「濱田庄司自選展」を想う	廣崎　裕哉	陶　　説	685
特集　建築・有象無象　セクション２：有名性からのジャンプ　08　広瀬鎌二―ハイテクデザインへの道からの離脱	内田　祥士	建築雑誌	1600
西川千麗写真集 Senrei by Tobiichi　広瀬飛一著		日　　経	10.31
私が選んだこの一冊　広瀬良太郎さん	早瀬　圭一 聞き手	毎　　日	3.17
カバーインタビュー／廣村正彰	谷口真佐子	ＡＸＩＳ	145
特集　クリエイティブ・トークセッションⅡ　西沢立衛と廣村正彰が語る、未来に対してできること	加藤　孝司	〃	147

特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　1988年受賞　廣村正彰	廣村　正彰談　杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
クリエイターズワーク＆ソウル　ピント[PINTO]		ＡＸＩＳ	144
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　イベント編　デザインイベントに参加するには？　DESIGNTIDE TOKYO 2009 出展者に聞く「イベント参加のメリットとは？」　2009年出展者＆design、PINTOの声	高橋　美礼	デザインの現場	169

（フ）

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　快快	快快	美術手帖	937
REVIEWS EX　ここがあるだけでその外部はない　快快『SHIBAHAMA』、遠藤一郎『愛と平和と未来のために』	木村　覚	〃	943
街角アート　神田錦町界隈[深井隆]	星野　清一	新美術新聞	1225
本づくし	深澤　直人	ＡＸＩＳ	
「倫理的思考がまさる時代」『さらば、強欲資本主義』神谷秀樹著			143
「一筋の光」『人間というもの』司馬遼太郎著			144
「こんなデザインがしたい」『日本のおかず』京味西健一郎著			145
「エッセンスは何であるか」『The Essence of Things』			146
「マネジメントという創造力」『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』岩崎夏海著			147
「聞き手の力」『島森路子インタビュー集1　ことばを尋ねて』『島森路子インタビュー集2　ことばに出会う』島森路子著			148
インスピレーションインテリア　深澤直人デザイン、アルテック初のシェルフ	川上典李子	〃	146
特集　デザインを支える職人　深澤直人が語る　現代のものづくり	鈴木　里子	デザインの現場	170
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！　最新デザイン・キーワード100　PART 1　デザイナーが語るデザインの未来へ繋がる注目キーワード　ふつう　深澤直人	〃	美術手帖	946
デザインの本質見せる　深澤直人さん「輪郭」展	大西　若人	朝日夕刊	1.20
健在なり《銅版画家》深沢幸雄		ギャラリー*	302
追悼・副島和彦君	深澤　幸雄	日本版画協会々報	146
21世紀芸術研究所―3 Key Words Research―　深堀隆介		ギャラリー*	302
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　深谷崇史	石田　純子、吉田　宏子、編集部構成	美術手帖	944
版画家・吹田文明と画家・山口薫―吹田文明「思い出の薫さん」寄稿の経緯から	村上　由美	世田谷美術館紀要	11
思い出の薫さん	吹田　文明	〃	〃
追悼　高橋淳子さんを悼む	吹田　文明　宮下登喜雄	日本版画協会々報	147
新春のご挨拶	吹田　文明	連盟ニュース	433

連盟創立六十周年記念座談会—六十年を顧みて新たな挑戦—	福王寺一彦、入江　観、中根　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　浩、本郷　寛　談山本　貞司会	連盟ニュース	433
コミック　マコトの王者青・赤　福井あしび〈作〉　仕掛け満載ボクシングマンガ	南　信長	朝　日	1.24
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　平山先生の逝去を悼む	福井　爽人	新美術新聞	1204
福井直子		art _ icle	27
連盟創立六十周年記念座談会—六十年を顧みて新たな挑戦—	福王寺一彦、入江　観、中根　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　浩、本郷　寛　談山本　貞司会	連盟ニュース	433
福沢一郎《花》におけるシュルレアリスム絵画の受容と発展	弘中　智子	美術運動史研究会ニュース	110
瀧口修造と福沢一郎の検挙・釈放日	山口　泰二	〃	113
特集　構造者の格律		建築雑誌	1609
第一部　対談　構造家の立ち位置をさだめるもの	川口　衞、佐々木睦朗陶器　浩一、福島加津也聞き手		
第二部　鼎談　不確実性をどうとらえるか	和田　章、神田　順、内田　祥士陶器　浩一、中江　哲、福島加津也聞き手		
第三部　公開座談会　築くことの初源・歴史・公理	斎藤　公男、中川　武、藤森　照信福島加津也、中谷　礼仁、陶器　浩一聞き手		
編集後記　Ghost in the Structure	福島加津也		
反戦「“遺言”残したい」　89歳の写真家・福島菊次郎さん　あす府中で最後の講演	高橋　知子	東京夕刊	8.13
人・模・様　反骨の写真家「遺言集」出版[福島菊次郎]	明珍　美紀	毎日夕刊	8.23
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　福島瑞穂「不条理」	高山　淳	美術の窓	325
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　福田佳明	〃	〃	320
ART＋　学ぶべき遊び心と現代性[福田繁雄]	(市)	読売夕刊	3.8
2010年日本建築学会作品選奨　府中市立府中小学校・府中中学校“府中学園”[福田卓司]		建築雑誌	1607
テークオフ　福田尚代さん　美術家　言葉をかたちにとどめる	小川　雪	朝日夕刊	4.15
絵も文字も消えた絵本？　刺しゅうで描く言葉の秘密[福田尚代]	柳下　朋子	日　経	10.14
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ４　この世のものではない気配	福田　美蘭	芸術新潮	721
交遊抄　基礎体力	〃	日　経	6.12
第２回絹谷幸二賞　選評　新しい試みに力量	〃	毎　日	3.7
等伯だより　努力家でエネルギッシュ　画家福田美蘭さん	〃	〃	3.15
第15回日本絵本賞受賞作品　受賞作と講評　全く違うタイプの４作	〃	〃	3.24
特集　作家座談会と小川英晴の作品評論　公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)　座談会：公募展への視点	生方　純一、川内　悟、齋藤　茂男、舘野　弘、中島　敏明、林　純夫、福田　玲子山中　宣明司会	ギャラリー*	305
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　福永大介	福永　大介	美術手帖	937

PREVIEW 福原義春写真展「私と蘭138」	編集部	美術の窓	318
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　福間与志	高山　淳	〃	325
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　福本歩	清水　敏男	〃	321
写眼　鉄柵越しの親近感　福山えみ「月がついてくる」(平成21年)	海老沢　類	産経	12.11
写眼　文字のない物語　普後均「On the circle」	篠原　知存	〃	12.18
「普後均展」に伊奈賞		読売	11.25
フェイス21世紀131 藤井聡子　時間・人間の軌跡を「轍」をテーマに赤で表現	窪田　元彦	新美術新聞	1204
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　藤井高志	切刀　知子	美術の窓	320
デザインの本質見せる　深澤直人さん「輪郭」展［藤井保］	大西　若人	朝日夕刊	1.20
2009毎日デザイン賞 藤井保「大気の陰影をとらえた一連の写真」　現代の水墨画	永田　晶子	毎日	3.1
ひと　2009毎日デザイン賞を受賞した写真家　藤井保さん	〃	〃	4.15
日々好日　遠のいた春	藤井　勉	新美術新聞	1213
受賞者訪問7　ビエンナーレうしく第3回全国公募絵画展2010　大賞　藤井誠		ギャラリー*	303
展覧会とアーティスト6　藤井誠展　凄い絵よりも優しい絵を、面白い絵よりも美しい絵を…		〃	308
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL.20 CASE11　藤井路夫うちへ帰ろう	藤井　路夫談	美術の窓	326
藤岡亜弥写真集「私は眠らない」	（睦）	読売	2.21
住吉の住宅	藤木　庸介	京都嵯峨芸術大学紀要	35
日本新〔ネオ〕カルチャーを歩く　ドラえもん　藤子プロ（東京・新宿区）　支えは藤子・F・不二雄さんの人格	辻村　深月	毎日	4.7
遊びこそ人を知る“魔法”「楽しい」が第一、生まれる財産	藤子不二雄Ⓐ 諸岡　良宣聞き手	日経夕刊	10.6
時代の証言者　まんが道60年藤子不二雄Ⓐ 1～25	小梶　勝男	読売	6.9、10、12、14～17、19、21～24、26、28～7.1、3、5～8、10、13、14
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現　新進79作品　立体部門新作秀作賞　藤澤万里子氏　次元の廻廊	藤澤万里子	産経	3.12
特集　旅行・留学・放浪　藤島武二・旭日を描く旅―花蔭亭壁画と御学問所を飾る絵画の制作について	児島　薫	近代画説	19
特集　アジア美術的〈近代〉　第1部　藤島武二における朝鮮表象―《花籠》をめぐって	金　正善	美術フォーラム21	21
特集　歴史教育から問う「韓国併合」　絵画から考える「韓国併合」［藤島武二］	駒田　和幸	歴史地理教育	763
ゆったりアート　にじむ力強さ［藤島武二］	岸　桂子	毎日夕刊	9.3
現代風景画8選　藤島博文	高山　淳	美術の窓	324
探訪　日本画家藤島博文先生を訪ねて　心の花鳥画　未来への道筋		游美	65
日々好日　奉祝画　平成鳳凰天来之図	藤島　博文	新美術新聞	1205
視線　ぶとう酒びんのふしぎな旅　藤城清治影絵、H・C・アンデルセン原作、町田仁訳	森村　泰昌	朝日	7.4

影絵絵本デビュー作を再出版　藤城清治さん　たどった人生作品に投影　「ぶどう酒びんのふしぎな旅」カラー化60年温め続け	木村　葉子 聞き手	毎　　日	4.11
特集　藤田和日郎『うしおととら』『からくりサーカス』そして『月光条例』…少年マンガの20年		ユリイカ	577
その王道を見よ！少年マンガの教理と実践　藤田和日郎が『鋼の錬金術師』を読む	藤田和日郎 荒川　弘 対談		
藤田和日郎に寄すお詫びをこめて	立原えりか		
マンガみたいな“全身漫画家”	南　　信長		
少年マンガは「越境」する　おばさんと少年	伊藤比呂美		
少年マンガは「越境」する　思い出すのは、マンガを食べて大きくなったこと	河野　聡子		
月の光の下には……　刻まれる「月」の韻律〔ビート〕〈藤田和日郎〉的世界をめぐる断章	小嶋菜温子		
三万字ロングインタビュー　若きマンガ描きに与ふる書　物語るマンガ家の、マンガを続けることの物語	藤田和日郎 斎藤　宣彦 聞き手		
そして妖〔マンガ〕は立ちあがる　妖の力、母の力	加門　七海		
そして妖〔マンガ〕は立ちあがる『うしおととら』に導かれて	田辺　青蛙		
そして妖〔マンガ〕は立ちあがる　シヴァたちのの記憶『うしおととら』における反復される生	師　　茂樹		
そして妖〔マンガ〕は立ちあがる　艮!?『うしおととら』トリビュート・アンソロジーを妄想する	東　　雅夫		
そして妖〔マンガ〕は立ちあがる　ひたすら「前へと進む」物語　『うしおととら』のベクトル感	泉　　信行		
物語の糸〔スレッド〕と加速する橇〔スレッド〕　伝記物語の“伝統”と“革新”	末國　善己		
物語の糸〔スレッド〕と加速する橇〔スレッド〕　顔〔フジタ〕はいつでもうそをつく	麻草　　郁		
月の光の下には……　『月光条例』の入れ子世界	千野　帽子		
月の光の下には……　『邪眼は月輪に飛ぶ』を読む	波多野　鷹		
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　藤田清孝	高山　　淳	美術の窓	320
岡沢家資料に見る疎開期から帰仏期の藤田嗣治	高島　由紀	近代画説	19
藤田嗣治(レオナール・フジタ)《婦人像》(明治42年〈1909〉、西洋画1303)について	竹林　佐恵	東京芸術大学大学美術館年報	H20年度
課外授業　美術のお時間10時間目[藤田嗣治]	安井　収蔵	美術屋・百兵衛	14
美の美　子供の情景3[藤田嗣治]	宝玉　正彦	日　　経	8.15
男の日だまり11　梅の花から思うこと	藤田　瑞穂	A　　S	33
展覧会とアーティスト7　藤田勇哉展　一枚一枚少しでもいいから進化していきたい		ギャラリー*	308
フェイス21世紀134　藤田勇哉　あいまいな空間不思議な安定自然体の美しさ	袴田　智彦	新美術新聞	1212
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	藤田　勇哉	美術の窓	321
調査研究から4　作家紹介　藤富保男	丹　　進	視覚の現場　四季の綻び	7

福岡市美術館のコレクション　藤野一友作品・資料　「密室の画家」が残したもの	正路佐知子	エスプラナード	160
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　藤野千鶴子	高山　淳	美術の窓	320
行方不明後の《藤牧版画》の足跡(11～13)[藤牧義夫]	大谷　芳久	一　寸	41～43
特集　10年代の日本文化のゆくえ　ポストゼロ年代のサバイバル　インタビュー　社会と建築の間のメディアとして—10年代の建築家像	藤村　龍至 阪根　正行　聞き手	ユリイカ	585
作品研究　鑑賞の位相—土門拳と藤本四八の仏像写真をめぐって	増田　玲	現代の眼	580
カバーインタビュー／藤本壮介	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	146
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」6　藤本壮介さんへ、『SMOKE LINE』を。	森岡　督行	百　科*	571
新しい環境へ　上　建築に若手の息吹[藤本壮介]	大西　若人	朝日夕刊	11.10
渦巻きと灰色の安らぎ　藤本壮介の建築哲学	足立　則夫	日　経	8.19
建築　武蔵野美大美術館・図書館　迷宮的空間に高い検索性[藤本壮介]	五十嵐太郎	毎日夕刊	7.22
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　藤本直明	石田　純子、 吉田　宏子、 編　集　部 構成	美術手帖	944
ロケーション　鈴木昭男＋藤本由紀夫	(み。)	アートペーパー	83
藤本能道　赫々たる最晩年		芸術新潮	724
「藤本能道　命の残照のなかで」展より—菊池智理事長に聞く—	菊池 智 談 森　孝一 聞き手	陶　説	683
@展覧会　藤本能道展　余命の輝き託した「赤」	岸　桂子	毎日夕刊	3.16
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　藤本涼	後藤　繁雄	美術の窓	321
座談会　「第四十二回日展　審査を終えて」	中山　忠彦、 寺坂　公雄、 岩倉　寿、 藤森　兼明、 川崎　普照、 奥田小由女、 井茂　圭洞 談 清水　透石 司会	日展ニュース	139
PREVIEW 藤森兼明展	高山　淳	美術の窓	320
福岡市美術館のコレクション　藤森静雄資料　創作版画の歩みとともに	山本香瑞子	エスプラナード	159
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　藤森詔子	立島　惠	美術の窓	321
デザイナーが推薦する現代の職人　藤森泰司推薦　イノウエインダストリィズ　井上高文	草野　恵子、 立古　和智、 渡部　千春、 松本　希子、 編集部　文	デザインの現場	170
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ5　建築の原型への想い	藤森　照信	芸術新潮	721
特集を読んで(2010年7月号[特集＝建築写真小史])　研究と論考の推進を	〃	建築雑誌	1608
特集　構造者の格律　第三部　公開座談会　築くことの初源・歴史・公理	斎藤　公男、 中川　武、 藤森　照信 福島加津也、 中谷　礼仁、 陶器　浩一 聞き手	〃	1609
アートの地殻変動14　藤森照信	北川フラム 聞き手 永峰　美佳 構成	美術手帖	937
ことば　藤森照信さん(建築史家)	大西　若人	朝　日	3.30
古代回帰、「土」は究極の建築素材　自我や美意識を吸収　建築家藤森照信さん	富田　律之 聞き手	日経夕刊	2.17

杉浦康平のデザイン 臼田捷治著　本の〈相〉を一変させた伝説の男	藤森　照信	毎　　日	4.11
サイン・シンボル大図鑑　ミランダ・B＝ミットフォード著 文字から身振りまで謎解き鮮やか	〃	〃	5.23
虎穴に入らずんば４ころげ落ち建築の始原へ	〃	読　　売	1.7
江戸博蔵めぐり　東京名所浅草公園池之端之図其二　藤山種芳／画	行吉　正一	〃	12.17
みんなのマンガ学 ドラゴンクエスト列伝　ロトの紋章　傷つき揺らぐ王子の成長譚[藤原カムイ]	伊藤　　遊	朝日夕刊	6.28
マダガスカルがこわれる　藤原幸一著		日　　経	6.13
2010年代　どんな時代に　コミュニケーションと社会　ネットが世界を縛る　写真家・作家藤原新也さん	四ノ原恒憲 聞き手	朝　　日	1.3
私の収穫１～７	藤原　新也	朝日夕刊	8.5、6、12、19、20、26、27、
読書日記３　『メメント・モリ』　生死の提示　古典的な父性漂う[藤原新也]	やなぎみわ	日経夕刊	7.21
表紙作品解説　藤原吉志子《車庫から船出する王(G. G. マルケス『族長の秋』より》	水沢　　勉	たいせつな風景	14
特集　建築写真小史—建築写真を拡張するために　第一部　レポート　歴史を書く眼—二川幸夫の建築写真について	山岸　　剛	建築雑誌	1606
人間国宝に５氏認定「瀬戸黒」の加藤孝造氏、「鍛金」の玉川宣夫氏ら人間国宝に[二塚長生]		新美術新聞	1224
PREVIEW　二名ノリコ作品展「Chant du Temps」時のうた	ワシオ・トシヒコ	美術の窓	321
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　二名ノリコ「“豪奢な美”のトップランナー」	〃	〃	325
ときの人13　彫刻家舟越桂さん　新しい視点から迫る舟越の作品世界		新美術新聞	1213
街角アート　十字架の道行[舟越保武]	星野　清一	〃	1209
特集２　「日本画」の前衛　1938—1949　丸木位里と船田玉樹についての覚書	出原　　均	現代の眼	585
Close-up　舟田潤子　人を楽しませる世界を作りたい　舟田潤子のCANDY CIRCUS		ギャラリー*	303
フォーカス・アイ　舟田潤子　全ての人を魅了する「サーカス」	友澤　宏子	版画芸術	149
作家通信　第50回書燈社展によせて	船本　芳雲	趣味の水墨画	252
スペインの美術館におけるアニメーション・ワークショップの実践研究	布山タルト 佐藤　忠彦	文星紀要	21
追悼・川本喜八郎さん　アニメーション界の芭蕉	古川　タク	読　　売	8.30
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編　コンペに勝つ秘訣とは何ですか？　森美術館展覧会ポスターコンペ　古川哲哉の提案	古川　哲哉 談 杉瀬　由希 文	デザインの現場	169
現代風景画８選　古川昌弘	高山　　淳	美術の窓	324
古澤潤 シリーズ「死者の譜」について	村永　　泰	美術運動	137
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　ふるた加代	高山　　淳	美術の窓	325
恩師の思い出—京都版画協会と古野由男先生—	田中　良平	日本版画協会々報	148
視線　古見きゅう写真集　WA！　古見きゅう著	荒俣　　宏	朝　　日	6.20
古屋誠一　メモワール.「愛の復讐、共に離れて……」	古屋　誠一 談	ＥＹＥＳ	65

特集　ポン・ジュノ『ほえる犬は噛まない』『グエムル』そして『母なる証明』…韓国映画の若き旗手のすべて　Q．E．D．の先を読む　鼻血を垂らす幽霊　『母なる証明』論	古谷　利裕	ユリイカ	581
想像力の現在　3　回帰と反復　冨永昌敬『乱暴と待機』論	〃	〃	587
美術評	〃	東京夕刊	
「ながめる　まなざす　DIVISION　2」山方伸の風景一元化が眼差しにもたらす衝撃			6.4
福居伸宏「アステリズム」展　感覚が行き来する風景			8.13
バーネット・ニューマン展　世界が出現する瞬間			10.1
コンパス　見る側の視点も[古谷利裕]	(典)	〃	6.19
特集　検証・三菱一號館再現　III　鼎談　再現建造物の可能性—三菱一號館を巡って	松山　巖、古谷　誠章、土居　義岳、内田　祥士、後藤　治　聞き手	建築雑誌	1598
建築家が想い描く2050年の東京～UIA 2011東京大会を前に	隈　研吾、永山　祐子、古谷　誠章	日　経	12.16
みんなのマンガ学　行け！稲中卓球部　若者たちが抱える心の闇に届く[古谷実]	倉持佳代子	朝日夕刊	3.10
町ぐらし　古屋行男著		日　経	10.17
特集　これ一冊で大丈夫!!画材大研究　画用液を使うコツ　古吉弘さんに聞く	古吉 弘 談	美術の窓	327

(ホ)

人・模・様　米国の街並みを切り絵で[保下真澄]	村田　隆和	毎日夕刊	8.16
絵巻に息づくハワイ移民　鎌倉時代に始まる日本との交流、620メートルの大作に	北條　楽只	日　経	4.16
SPECIAL FEATURE　村上隆　REPORT01　立体制作工房　海洋堂／宮脇修一＋BOME	小吹　隆文	美術手帖	945
シリーズ・公募団体展を訪ねて　No.1　リーダーの視界にあるものは…　NPO法人平泉会・保坂良平会長		ギャラリー*	297
作家通信　佐藤美術館の展覧会	星　晃	趣味の水墨画	252
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　星兼雄	小森佳代子	美術の窓	320
小特集　民芸で行こう一　ゆらぐ朝鮮陶磁、ちいさな神様の住むところ	ほしよりこ	芸術新潮	726
みんなのマンガ学　きょうの猫村さん　派遣先でネコの家政婦、奮起[ほしよりこ]	吉村　和真	朝日夕刊	5.17
地方の美術運動を探る(3)　新潟アンデパンダン展を取りまく情況	星野　金司	美術運動	137
『海から空へシリーズ』の展開　『BOX美術館展8』等の発表	星野高志郎	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
随筆　初出品のころと現在について考えること	星野美智子	日本版画協会々報	147
作家訪問399　トンボ玉作家　星野優子さん	編　集　部	目の眼	401
普及版で登場した幻の写真集『鎌鼬』[細江英公]		芸術新潮	723
大野一雄氏を悼む　肉体は衰えても冴えていく表現	細江　英公	朝日夕刊	6.4
こころの玉手箱　写真家　細江英公1～5	〃	日経夕刊	9.13～17
写眼　俳句に似た写真の感覚　細江賢治「瞬間的決定」	三品　貴志	産　経	5.22
美術学部教員展図録デザイン	細川　修	愛知県立芸術大学紀要	39
油絵にも挑戦！晴耕雨読、細川護熙のいま		芸術新潮	726
話題の人巻頭インタビュー　細川護熙さん(草ひき)	編　集　部	目の眼	406
細川護熙さん「安土桃山」の陶芸　型を磨き枠を超える	前田　恭二	読　売	4.8

SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」 PEOPLE'S VOICE 佐藤雅彦と模索した、新しい可能性 参加作家に聞く！ 属性に対するそれぞれのアプローチ 細谷宏昌	石田 純子、吉田 宏子、編集部構成	美術手帖	944
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 編集部が選ぶ 注目の新人アーティスト42	細野みどり	美術の窓	321
特集 構造者の格律 第三部 インタビュー 伝統と地形から構造を考えること	ユルグ・コンツェット 細谷 浩美 聞き手	建築雑誌	1609
日々好日 孫娘の視点	堀 研	新美術新聞	1232
絶対水平感	堀 浩哉	多摩美術大学研究紀要	24
INFORMATION MEMORIAL 追悼・山口光子	〃	美術手帖	935
アートの風 4月 森秀雄展／堀浩哉展 異邦でみせた絵画の新境地	三田 晴夫	毎日夕刊	4.15
ノトロ・サンゴ草 堀友三郎		石川県立美術館だより	319
奄美だより もうひとつの原風景	堀 晃	潮 流	102
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 堀久代	小森佳代子	美術の窓	320
PREVIEW 特別展 堀文子展 いつくしむ命	編集部	〃	319
交遊抄 土門さんのこと	堀 文子	日 経	4.10
新幸福論 生き方再発見 日本画家堀文子さん 群れず慣れず頼らず、下手でも自分らしく。	小松やしほ	毎日夕刊	5.12
ゆったりアート ユニークさにウキウキ[堀文子]	岸 桂子	〃	11.12
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 堀井克代「過去から未来へ」	高山 淳	美術の窓	325
PREVIEW 堀内貞明人間のいる風景 武蔵野美術大学教授退任記念展	小森佳代子	〃	320
彫刻家堀江尚志の具象表現の展開について 造形的側面を中心に	江村 忠彦	芸術学研究(筑波)	15
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 堀川素弘	高山 淳	美術の窓	320
彩・美・風	堀木エリ子	朝日夕刊	3.3、10、17、24
ル・サロンへの道 堀口和枝		美術屋・百兵衛	12
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.3 【企画構成】日本初の写実絵画専門美術館・ホキ美術館 3 展覧会を読み解く—堀越千秋・山本麻友香・山本靖久—	小川 英晴	ギャラリー*	308
特集を読んで(2010年3月号[特集＝ナイーブアーキテクチャー]) IN-BETWEENのスタンス—ナイーブアーキテクチャーからみえること	堀越 英嗣	建築雑誌	1604
連盟創立六十周年記念座談会—六十年を顧みて新たな挑戦—	福王寺一彦、入江 観、中根 寛、小作 青史、吹田 文明、五十嵐芳三、大成 浩、本郷 寛 談 山本 貞 司会	連盟ニュース	433
巻頭特集 今まさに、女流画家の時代 今、輝いている女性アーティストたち 本田郁實	高山 淳	美術の窓	325
日々好日 身辺記	本田 希枝	新美術新聞	1210
特輯 和製油画 本多錦吉郎 羽衣天女	宮本 久宣	国 華	1382
作家訪問407 彫刻家 本堀雄二さん	編集部	目の眼	409
REVIEWS04 時代を超えたカラー写真「フェリックス・ティオリエ写真展—いま蘇る19世紀末ピクトリアリズムの写真家—」	ホンマタカシ	美術手帖	943

写眼　「波の図鑑」淡々と撮る　ホンマタカシ「NEW WAVES 2010」	海老沢　類	産　　経	7.17
特別な場所　本間日呂志著		日　　経	12.12

（マ）

前史雄　2009年　作品の解説	前　　史雄	金沢学院大学紀要*	8
地域の話題　東日本＝公共建築　前川國男設計の東京都美術館佇まいはそのままに、2年間の大規模改修始動　「おやすみ都美術館—建築講座」は定員上回る人気ぶり		建築ジャーナル	1167
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　前川寿々子	高山　　淳	美術の窓	325
WILD SOUL　前川貴行著		日　　経	7.11
もう一度、木と人をつなぐために[前川秀樹]		芸術新潮	723
対談　前沢知子×飯田市美術博物館		テ ラ ス	85
第五十七回日本伝統工芸展受賞者に聞く	吉田　幸央、石橋　裕史、中田　一於、中島　宏、前田　正博、前田　昭博、石﨑　泰之、金子　賢治、司会	陶　　説	692
調査研究から3　前田寛治　画家への道	前田　明範	視覚の現場　四季の綻び	6
PREVIEW 見透せぬ窓　前田さなみ個展	磯部　　靖	美術の窓	326
前田照雲について	對馬恵美子	青森県立郷土館研究紀要	34
「洞窟の頼朝」の顔貌—近代日本画における武者表現—[前田青邨]	山本　陽子	明星大学研究紀要	18
近代美術の眼　時計前田藤四郎	都築千重子	読　　売	1.8
第17回MOA岡田茂吉賞　受賞作決まる絵画部門大賞は滝沢具幸氏　工芸部門大賞は秋山陽氏　MOA美術館賞に植田一穂氏　大角幸枝氏　須田賢司氏　前田正博氏		新美術新聞	1214
第五十七回日本伝統工芸展受賞者に聞く	吉田　幸央、石橋　裕史、中田　一於、中島　宏、前田　正博、前田　昭博、石﨑　泰之、金子　賢治、司会	陶　　説	692
街かど人物館　保育所に芸術家　子供の発想力育てる[前堀浩二]		日　　経	11.8
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介		美術の窓	320
美術団体を作り上げた巨匠たち　中西利雄と日本水彩画会	真壁　輝男		
美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　真壁輝男	高山　　淳		
えがく　瀬戸内で出会った美色[眞壁陸二]		芸術新潮	730
ことば　槇文彦さん（建築家）	大西　若人	朝　　日	2.9
つかう　摺るのが楽しい	牧野伊三夫	芸術新潮	725
大特集　いざ鎌倉　武家の都の祈りと美　鎌倉　いい店、好きな店　ぱろーろ　ぱろーろの怪人	〃	〃	731
シリーズ・公募団体展を訪ねて　No.5　リーダーの視界にあるものは…　女流画家協会事務局・馬越陽子		ギャラリー*	301
新・私のアルバム24　馬越陽子	小森佳代子	美術の窓	318
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　馬越陽子	高山　　淳	〃	320

巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　馬越陽子「心のなかの世界」	高山　淳	美術の窓	325
収蔵品紹介　知的なアクション・ペインター　正延正俊	松本　教仁	高知県立美術館ニュース	70
特集・座談会　「観○光」EXPO2010　京都の歴史、日本と向き合うアーティストたち	榎　俊幸 ゲオーク・マテス 中堀　慎治 塙　冨士雄 間島　秀徳 山内　隆 ヤン・シャオミン	ギャラリー*	307
pop style vol. 206　舛成孝二　村から月へ　宇宙を駆ける	福田　淳	読売夕刊	6. 2
ルソー没後100年　ルソーと黄金比	眞住　高嶺	美術運動	137
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　益村司	高山　淳	美術の窓	320
みんなのマンガ学　アタゴオル物語　理想郷の心地よさ深める猫[ますむら・ひろし]	伊藤　遊	朝日夕刊	5. 31
作家訪問401　陶芸家　桝本佳子さん	編集部	目の眼	403
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　増本泰斗	増本　泰斗	美術手帖	937
INFORMATION VOICE　アーティストからの発信　いのちを殺す白人至上主義アートにおさらばだ！	増山　麗奈	〃	934
展覧会とアーティスト2　町田久美新作展「Stories from a Cold Country」　国籍に関わらず伝わるものを		ギャラリー*	308
SPECIAL FEATURE　ディック・ブルーナの謎　ミッフィーの作者というだけでは、語りつくせない　INTERVIEW 町田久美が語るブルーナ　世界が共感するフラットな表現の秘密とは？	白坂　ゆり	美術手帖	935
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　インタビュー　町田久美　デンマークでの滞在制作を終えて	町田　久美談	美術の窓	325
スペシャル対談　日本南画院50周年を迎えて　水墨の現在とその可能性　町田泰宣 vs 中野中	町田　泰宣、中野　中談	〃	319
松井沙都子		art _ icle	32
松井冬子　パリで新作個展　殻からの脱出…	フィリップ・コドニェ	美術手帖	940
松任谷由実プレミア対談　yumiyoriな話　第27回　松井冬子さん	田中　誠構成	読売夕刊	10. 1
The AsahiShimbun GLOBE Break-through　松井守男　死んでもいいと手にした極細の筆。幾重にも重ねた色が光を放つ	小川　裕介	朝　日	9. 6
明治の“サムライ写真家”松浦栄　開拓者魂追う　向島から渡米　「軌跡」出版へ	北川　成史文 久野　功写真 橋本　綾香紙面構成	東　京	9. 30
21世紀芸術研究所―3 Key Words Research―　松浦浩之		ギャラリー*	305
現代美術の歩き方　現代美術のみかた　松浦浩之個展「SUPER ACRYLIC SKIN PHOTON―Imaginary Temperature」	金島　隆弘	美術の窓	316
PREVIEW　再訪のエジプト―砂と海　松浦安弘展	高山　淳	〃	318
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　Colmun01　セイコーウオッチ　松江幸子	高橋　美礼	デザインの現場	169
第57回日本伝統工芸展　染織　日本工芸会会長賞　久留米絣着物「遥光」　松枝哲哉	松原　龍一	朝日夕刊	9. 18
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　あまりにも突然な逝去の報	松尾　敏男	新美術新聞	1204
奥村土牛　生誕120年　土牛先生の涙	〃	〃	1212
追悼　原田吉蔵氏　原田さんの思い出	〃	〃	1213

ときの人20　日本美術院理事長　日本画家　松尾敏男さん　絵を描くことは孤独の祈り		〃	1226
巻頭特集　1年まるごと保存版！今年必見の展覧会 BEST 200　追悼　追悼・平山郁夫先生	松尾　敏男	美術の窓	317
PREVIEW 画業60年 松尾敏男回顧展	松尾　敏男 高山　淳	〃	〃
中特集　松尾敏男	米田　耕司	〃	325
ドガ展　己と向かい合う厳格さ	松尾　敏男	読　売	10.13
「キッズキャンパス2008」―役割と意義―	松尾真由美	広島市立大学芸術学部紀要	15
松岡壽とその周辺―日本近代洋画における歴史画についての一考察―	盛本　直美	鹿島美術財団年報・別冊	27
松川朋奈		art _ icle	33
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	松﨑　和実	美術の窓	321
第42回日展を前にして　各科審査員より気になる場所	松崎　十朗	日展ニュース	138
本づくし　「日本の次なるスタンダードを考えるにあたって」『美しい日本の私』川端康成著	松下　計	ＡＸＩＳ	143
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA 新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　1997年受賞　松下計	松下 計 談 杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
研究報告　造形表現学部造形学科平成20年度共同研究　素材研究Ⅳ「美術における黒の考察」	松下　宜廉 田中　康夫 松村　浩之 宮　いつき 青木　淳	多摩美術大学研究紀要	24
古代のガラス技法磨く　メソポタミアで発明、独学で新たな可能性探る	松島　巌	日　経	8.31
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その23　松島正幸・ハルビン・旅絵師	林　紀一郎	新美術新聞	1211
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　松田修	松田　修	美術手帖	937
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　松田啓佑	松田　啓佑	〃	〃
磯田道史のこの人、その言葉　松田権六	磯田　道史	朝　日	6.5
中特集　ベストセレクション　松田登	高山　淳	美術の窓	322
designscape78、79　マヒする感覚	松田　行正	デザインの現場	169、170
古希　無欲のデザイン[松永真]		読　売	12.23
数江邸住宅　調査報告[松ノ井覚治]	大田区教育委員会 建築文化研究所	大田区立郷土博物館紀要	18
第六十三回全国大会研究発表要旨　日本製陶技術の西漸―一九二〇年代初頭におけるリーチ・ポタリーでの松林鶴之助の活動を中心に―	前崎　信也	美 術 史	169
ありふれた長崎　松村明著		日　経	8.15
愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(34)	松村　公嗣	愛知県立芸術大学紀要	39
美術学部教員展図録　日本画	〃	〃	〃
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	松村　公太	美術の窓	321
彩・美・風	松村しのぶ	朝日夕刊	9.1、8、15、29
研究報告　造形表現学部造形学科平成20年度共同研究　素材研究Ⅳ「美術における黒の考察」	松下　宜廉 田中　康夫 松村　浩之 宮　いつき 青木　淳	多摩美術大学研究紀要	24
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　松村有輝	松村　有輝	美術手帖	937

作品　「記憶の河」	松本　研一	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
資料紹介　松本竣介〈ニコライ堂の横の道〉	大森　潤也	市民と博物館	95
近代美術の眼　建物　松本竣介・画	鈴木　勝雄	読　　売	12.10
公募団体展　受賞者に聞く6　第74回自由美術展　佳作賞　新人賞　松本正一郎		ギャラリー*	302
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　松本信子	磯部　　靖	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　松本信子	高山　　淳	〃	325
「N氏の午後」　松本昇		石川県立美術館だより	321
「山田組」映画ポスターに抜擢　いわさきちひろの孫松本春野さん	伊藤　徳裕	産　　経	8.20
ニッポン人・脈・記　仏像日和5　抱きしめて復興の地蔵[松本明慶]	湯瀬　里佐	朝日夕刊	1.8
アートの地殻変動11　松本雄吉	北川フラム 聞き手 永峰　美佳 構成	美術手帖	934
世界からの信頼　松本悠美子　大丈夫、生きていける	松本悠美子 飯島、片山 インタビュー	CLOSET	3
ACP Artists×Critics		〃	〃
approve ARTIST　松本悠美子	松本悠美子		
そのカーテンの、その不快……[松本悠美子]	杉田　　敦		
ACP Open Discussion[松本悠美子]	松　　本 上　　村 鈴　　木 中　　村 山　　田 塩　　田 片　　山 倉　　茂 奥　　村 沼　　下	〃	〃
「生きるとは何か」を漫画に　松本零士さん　旭日小授章	高津　祐典	朝　　日	11.3
松本零士さん、山崎さんにエール　腕時計送り「連れて行って」　宇宙センター到着「思いも運ぶ」	山本　智之 園田　二郎	朝日夕刊	4.2
秋の叙勲　旭日小綬章　漫画家松本零士さん(77)　果てしない“夢と希望”	大矢　博之	産　　経	11.3
秋の叙勲　喜びの声　旭日小綬章　漫画家松本零士氏　未来志向、情熱衰えず		日　　経	11.3
秋の叙勲4173人　漫画家松本零士さん　旭日小綬章　生涯かけ「一世界」作る	内藤麻里子	毎日夕刊	11.3
秋の叙勲　喜びの声　旭日小綬章　漫画家松本零士さん　星の海にロマン		読　　売	11.3
SPECIAL FEATURE　村上隆　REPORT01　立体制作工房　松山せいじ	小吹　隆文	美術手帖	945
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　円尾博一	高山　　淳	美術の窓	320
特集2　「日本画」の前衛　1938—1949		現代の眼	585
丸木位里と船田玉樹についての覚書	出原　　均		
丸木位里の「前衛」と歴程美術協会	岡村　幸宣		
丸木俊　没後10年回顧展　明るさと葛藤にじむ	小川　　雪	朝日夕刊	2.3
顔　「料金1万円」の遺影専門のスタジオを開設した写真家　丸谷嘉長さん	梅崎　正直	読　　売	12.9
作家がいた　丸山司珙	高山　　淳	美術の窓	321
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座　VOL.17　人気作家が教える構図 step up 術　インタビュー　丸山勉／モチーフを一番よく見せる配置　そのために自然と構図は決まる	丸山　勉　談	〃	316

巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　丸山東子「写生を根とする抽象水墨の花」	ワシオ・トシヒコ	〃	325

（ミ）

PREVIEW 三浦泉展—その軌跡—	二木伸一郎	〃	318
仙台藩刀匠考(十六)旧帝国陸軍受命刀工「三浦国光」遺作刀との遭遇と関係刀工について	佐藤　一典	刀剣美術	646
制作記録　人体と風景を主題とした画面構成とその表現	三浦　賢治	金沢美術工芸大学紀要	54
著者に聞きたい　三浦丈典さん　起こらなかった世界についての物語　建築家が拡げる想像の翼	黒沢　綾子	産　　経	9.12
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　三浦智子	高山　　淳	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　三浦智子	〃	〃	325
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　三浦裕之	〃	〃	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　三浦裕子「世界へジャンプする“奔馬”」	ワシオ・トシヒコ	〃	325
三尾あすか		art _ icle	31
Close-up　三上晴子「情報社会」と「身体」現代社会と、そこに生きる「個」を表現		ギャラリー*	299
本づくし　「志」『ブランジュリタケウチ　どこにもないパンの考え方』竹内久典著	三木　　健	ＡＸＩＳ	144
MIKI SELECTED WORKS　1968～2010	三木　俊治	東京造形大学研究報	11
彫刻家の現場から63　三木俊治	武田　　厚	美術の窓	322
あいだのすみっこ不定期漫遊連載　第75回　仏教的涅槃と超現実主義の射程：三岸好太郎《海と射光》新解釈の提案	稲賀　繁美	あいだ	173
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　三岸好太郎・佐伯祐三—夭折の天才も団体展設立に挑戦		美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　三岸節子「格闘の女流画家　三岸節子の原点を探る」		〃	325
没後10年記念　三岸節子展　円熟の絵世界堪能　日記が伝える人間的葛藤	土方　明司	朝日夕刊	4.21
SPECIAL FEATURE　この夏行きたい！アートの旅　KAGOSHIMA GUIDE 鹿児島　三沢厚彦さんがつくる、動物の森を訪ねて	佐久間　恵	美術手帖	940
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　プレゼン編　あの人のポートフォリオが見たい！　デザインの方法論を俯瞰できるポートフォリオ　美澤修	立古　和智 編　集　部	デザインの現場	169
作家訪問405　陶芸家　水垣千悦さん	編　集　部	目の眼	407
大特集　水木しげるその美の特質		芸術新潮	728
水木しげるvs.梅原猛　“妖怪”大放談	水木しげる、梅原猛談		
第１章　マンガを超えるマンガ	呉　　智英解説		
第２章　水木しげる以前の「武良茂」	〃		
第３章　戦争と南の島の記憶	〃		
水木プロ訪問記	編　集　部		
ローカルガイド　ふるさと、境港は今…	〃		
「ゲゲゲの女房」と笑み　水木しげるさん文化功労賞に　地元の調布も大喜び	佐藤　清孝	朝　　日	10.27

仕事中おじゃまします　漫画家　水木しげるさん　なまけ者はいけません	小林　伸行	朝日夕刊	3.1
文化勲章に蜷川氏ら文化功労者に王氏ら漫画家　水木しげるさん(88)　「仕事の一部、妖怪が仕上げてくれた」		産　経	10.27
思うままに　ゲゲゲとの対談　貧乏に良妻[水木しげる]	梅原　猛	東京夕刊	8.30
土曜訪問　根強い人気「ゲゲゲの鬼太郎」水木しげるさん(漫画家)	岩岡　千景	〃	10.9
道究め栄誉に喜び妖怪が作品仕上げ漫画家水木しげるさん		〃	10.26
フロントライン　水木しげる版「遠野物語」		日　経	2.14
入門講座　戦後日本怪談史1　水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」土俗的な怪談文化の結晶	東　雅夫	日経夕刊	5.6
喜びの秋　決意新た文化功労者　水木しげるさん　「妖怪に描かされて」	水木しげる	〃	10.26
いしかわ式　今日の漫画　悪魔くん[水木しげる]	いしかわじゅん	毎　日	7.7
戦傷病者の戦後の暮らし紹介　全国9組の夫婦　千代田で水木しげるさんも	遠山　和彦	〃	8.22
新幸福論　生き方再発見　「ゲゲゲの女房」著者武良布枝さん　入り口で苦労をしても、選んだ道ひたむきに。[水木しげる]	平野　幸治	毎日夕刊	9.22
文化勲章・文化功労者喜びの声　文化功労者　水木しげるさん　漫画家　「ゲゲゲ」背後にいつも妖怪	岸　桂子	〃	10.26
ぎゃらりいモール八王子市夢美術館「水木しげるの世界ゲゲゲの展覧会」から「月刊漫画『ガロ』表紙　青林堂刊」水木しげる	川俣　高人	読売夕刊	12.21
フォーカス・アイ水口かよこ　〝一瞬の光〟を摺る	友澤　宏子	版画芸術	150
《連載エッセイ》「日本の表現主義」展(4)「見えないものを描く」―水越松南と南画	飯尾由貴子	あいだ	174
視線　熱帯の氷河　水越武著	村山　由佳	朝　日	1.31
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その24　水島一生・「ほとけ」の愛と死	林　紀一郎	新美術新聞	1214
みんなのマンガ学　男どアホウ甲子園　直球勝負が生む情熱と人情[水島新司]	表　智之	朝日夕刊	8.16
SPECIAL FEATURE　村上隆　REPORT02　アーティスト・プロデュース　Mr.	西野　基久	美術手帖	945
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その22　水谷勇夫・縄文人・“不思議”の画家	林　紀一郎	新美術新聞	1208
Recommend! Graphic　水谷孝次『デザインが奇跡を起こす』	立古　和智	デザインの現場	170
アート・ディレクター水谷孝次さんが「デザインが奇跡を起こす」を出版　「笑顔」が世の中を幸せに	喜多　由浩	産　経	1.25
あの人に迫る　本当の笑顔こそ究極のデザイン　水谷孝次　アートディレクター	早川　昌幸	東京夕刊	7.30
篠田義一さんを偲ぶ	水野　英男	陶　説	686
みんなのマンガ学　ファイヤー！　音楽描き「脱・少女」漫画追求[水野英子]	表　智之	朝日夕刊	6.21
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド		デザインの現場	169
コンペ・アワード編　JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　2003年受賞　水野学	水野　学　談 杉江　あこ、編集部　文		
プレゼン編　これが私のプレゼン術！　水野学　東京ミッドタウン「春を祝うためのキャンペーン」	水野　学　談 鈴木　里子　文		
フェイス21世紀141　水野竜生　技法を限定せず新しいテーマに向かい常に前進	窪田　元彦	新美術新聞	1231

鮮やか　スイレンの表情　写真家の水原さん　23日から武蔵野で60点［水原園博］		読　　売	12.21
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます㊙技法講座VOL.18 実践編!!顔の描き方が分かる㊙技法講座CASE 2　水巻令子／子どもの一瞬の表情をとらえる	水巻　令子談	美術の窓	319
“アドちゃん”魅力発信　文京で水森亜土さん　初の本格展覧会	井上　圭子	東　　京	10.5
21世紀のアーティスト　三瀬夏之介		ギャラリー*	306
「肘折山水」をめぐって	三瀬夏之介	東北芸術工科大学紀要	17
視線　冬の夏 L'Estate in Inverno 三瀬夏之介著	北澤　憲昭	朝　　日	12.12
テークオフ　画家三瀬夏之介さん　オルタナティブな日本画を	西田　健作	朝日夕刊	11.11
三瀬夏之介「冬の夏」	（睦）	読　　売	11.28
作家通信　めじろ押しの展覧会	溝口　墨道	趣味の水墨画	252
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　三谷青子	高山　　淳	美術の窓	325
つかう　フランスの肥後守	三谷　龍二	芸術新潮	725
art news　三谷龍二のもうひとつの世界	伊坂幸太郎	〃	726
神谷紀雄陶展	光井　玄空	陶　　説	685
iPhonegrapher 三井公一著		日　　経	10.24
東京写真10　日本橋・浮世絵シャッター［満尾洋之］	小泉　大士	毎　　日	9.19
視覚の手触り絵画に込め　幼少の記憶・全盲の日常「感じて」描き15年	光島　貴之	日　　経	9.2
木に止まったトンボの正体は？　現代によみがえる「自在置物」［満田晴穂］	柳下　朋子	〃	7.8
『Equilibrium―バロンとランダの永遠の戦い―』制作ノート	三橋　　純	横浜美術短期大学教育・研究紀要	5
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	光元　昭弘	美術の窓	321
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　三家俊彦	三家　俊彦	美術手帖	937
カバーインタビュー／水戸岡鋭治	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	148
特集　公共交通移動空間の近未来　安らぎと楽しさに包まれた車内〔インテリア〕空間　水戸岡鋭治がデザインした両備グループの新路線バス	〃	〃	〃
交遊抄　デザインの師匠	水戸岡鋭治	日　　経	9.4
目撃された戦後　報道カメラマン三留理男	鈴木　英生	毎　　日	
プロローグ　「自分も、難民だった」			4.4
第１部　カメラマンになるまで１～５			4.11、18、25、5.2、9、5.16、23、30、6.6、13、20、27、7.4、11、18
第２部　60年安保を挟んで１～10			7.25、8.1、8、15、22、29、9.5、12、19、26、10.3
第３部　駆け抜けた政治の季節１～11			10.10、17、24、31、11.7、14、21、28、12.5、12、19
第４部　世界の最前線へ１～11			
コミック　必要とされなかった話　三友恒平〈作〉　追放された者たちの魂の彷徨	南　　信長	朝　　日	5.16
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」最終回　山口信博さんへ、『JAPON JAPONAIS』を。［緑川洋一］	森岡　督行	百　　科*	577
作品　「源流―火の民・水の民―」「源流―地底の森―」	皆川　嘉博	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　湊圭子	高山　淳	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　湊圭子	〃	〃	325
半歩遅れの読書術	港　千尋	日　経	6.13、20、27
資料紹介：南薫造「1909日記」と「滞在記ノート」	藤崎　綾	広島県立美術館研究紀要	13
近代美術の眼　少女　南薫造	都築千重子	読　売	5.14
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケートわたしがそれを選んだわけ4　とるにたらないものをとっておく	南　伸坊	芸術新潮	721
新幸福論　生き方再発見　イラストレーター南伸坊さん　成果がなくたって、快感汁が出ればいい。	遠藤　拓	毎日夕刊	2.26
SPECIAL FEATURE 妹島和世＋西沢立衛／SANAA INTERVIEW　オープン＆デモクラティック：柔らかな建築に向かって	南　泰裕	美術手帖	943
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　峯田義郎	高山　淳	美術の窓	320
青森県佐井村箭根森八幡宮の玉類・石器について―放浪の画家、蓑虫山人により明治期に描かれた玉ほか―	齋藤　岳	青森県立郷土館研究紀要	34
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　三原捷宏	高山　淳	美術の窓	320
吉田三郎による石膏原型に関する一考察	三政　洋一	芸術学研究(筑波)	14
受賞者訪問9　第9回「風の芸術祭」トリエンナーレまくらざき　大賞　三村亘		ギャラリー*	305
研究報告　造形表現学部造形学科平成20年度共同研究　素材研究Ⅳ「美術における黒の考察」	松下　宜廉 田中　康夫 松村　浩之 宮　いつき 青木　淳	多摩美術大学研究紀要	24
特集　建築・有象無象　セクション1：かたちになりゆくモノへ　04　概念としての「建造物」[宮内康]	山岸　剛	建築雑誌	1600
Recommend! New Designer　宮川宏	編　集　部	デザインの現場	169
21世紀芸術研究所―3 Key Words Research―　三宅一樹		ギャラリー*	300
ソットサスのデザインを蘇らせる　ロードゥイッセイの香水ボトル[三宅一生]	土田　貴宏	ＡＸＩＳ	143
三宅一生が挑む21世紀の“衣服革命”「1325. ISSEY MIYAKE」	伊藤　公文 川上典李子	〃	147
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケートわたしがそれを選んだわけ4　伝統の中に新しさを読む	三宅　一生	芸術新潮	721
特集　ルーシー・リーに会いたい　1984年、ひとりの日本人がルーシー・リーと出会った[三宅一生]	編　集　部	〃	726
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性 21_21DESIGN SIGHTディレクターに聞く　三宅一生	川上典李子 構成	美術手帖	944
再生の糸　一枚の布　三宅一生さん、秋から新シリーズ	大西　若人	朝日夕刊	8.24
文化勲章に蜷川氏ら文化功労者に王氏ら服飾デザイナー　三宅一生さん(72)　デザイン、希望表すべきもの		産　経	10.27
交遊抄　巨匠の熱い言葉[三宅一生]	生駒　芳子	日　経	12.14
喜びの秋　決意新た文化勲章　三宅一生さん　独創の美　時間かけ熟成	三宅　一生	日経夕刊	10.26
デザインで社会救う「再生・再創造」テーマに展覧会[三宅一生]	小林　明	〃	12.8

被爆の商業デザイナー片岡脩さん遺作24点　同郷の三宅一生さん所蔵品複製　平和ポスター展覧会	野口　由紀	毎　　日	5.31
画家達の描写—日本人旅行者の見たイタリア(4)—[三宅克己]	真鍋　正宏	人文学	185
特集　第17回を迎えるVOCA展2010　VOCA賞受賞　三宅砂織に聞く		ギャラリー*	298
第17回「VOCA展2010　新しい平面の作家たち」VOCA賞に三宅砂織さん決まる		新美術新聞	1205
フォーカス・アイ　三宅砂織　三宅砂織の"ドローイング・フォト"	光田　由里	版画芸術	148
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現　新進79作品　平面作品部門秀作賞　三宅設生氏　リビドー競争	三宅　設生	産　　経	3.12
特集　荒川弘『鋼の錬金術師』完結記念特集　二人の錬金術師　対談　"兄弟"たちの絆と闘争『鋼の錬金術師』と『イムリ』の共鳴	荒川　弘 三宅　乱丈	ユリイカ	589
フクロウ　URAL OWL　宮崎学著		日　　経	11.7
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　宮崎曠代	ワシオ・トシヒコ	美術の窓	320
特集　エコクリティシズム　日本の森のあいまいな私[宮崎駿]	波戸岡景太	水声通信	33
『ハウルの動く城』に見る魂の脱植民地化過程[宮崎駿]	深尾　葉子	東洋文化	90
特集　近代とノスタルジア　『となりのトトロ』にみる「なつかしさ」と「ノスタルジア」[宮崎駿]	吉岡　史朗	日本思想史	77
宮崎監督、50冊に推薦文　岩波少年文庫「児童文学がつっかえ棒」	高重　治香	朝　　日	7.26
ニッポン人・脈・記　いつもアニメが8　ジブリの扉王子が開く[宮崎駿]	小原　　篤	朝日夕刊	3.30
「らしい」こだわりが随所に　宮崎監督の新作「パン種とタマゴ姫」		産　　経	11.26
文化往来　ジブリ新作に込めた宮崎駿監督の思い		日　　経	12.24
トトロの家跡公園に保存求め6300人署名も不審火で全焼　宮崎駿監督がデザイン	馬場　直子	毎　　日	1.20
宮崎駿氏「パン種とタマゴ姫」　最新短編、上映始まる　ジブリ美術館	中継　　汀	〃	11.25
新作短編「パン種とタマゴ姫」　宮崎駿監督　理屈なし　昔話風に	近藤　　孝	読　　売	12.30
ジブリの軌跡1　ナウシカの次拒んだ宮崎監督　翻意促すスタジオ開設	〃	読売夕刊	5.14
平山郁夫先生を偲んで　師・恩・友　平山先生	阿南ヴァージニア史代 金　容雲 清水　操 ジャック・ジエス 井　頓泉 宮廻　正明	絲綢之路	63
特集　これ一冊で大丈夫!!画材大研究　宮廻正明氏に聞く　東京芸大初の特許取得　戯作画がもたらす文化財保存の新しい可能性	宮廻　正明	美術の窓	327
質感そっくり壁画複製の新技法　宮廻芸大教授ら特許取得[宮廻正明]	赤田　康和	朝日夕刊	10.13
集う　ロシアから発信12人の90作品[宮廻正明]	磨井　慎吾	産　　経	3.24
ぎりぎり　「ぎり」軸に行動、限界広げる　宮廻正明	宮廻　正明	日　　経	1.1
美しい記憶—『伊勢神宮—現代に生きる神話』出版によせて—	宮澤　正明	瑞　　垣	217
追悼　高橋淳子さんを悼む	吹田　文明 宮下登喜雄	日本版画協会々報	147

シリーズ・公募団体展を訪ねて　No.4 リーダーの視界にあるものは…　国画会会員(絵画部)・宮下実		ギャラリー*	300
2012若い命を支えるコンサート「手や耳でも楽しんで」会場に宮島さんの原画展示[宮島永太良]	田村　彰子	毎　　日	2.12
この本この人『宮島達男　解体新書　すべては人間の存在のために』現代美術家宮島達男さん	稲葉　千寿	東　　京	5.9
コミック　ききみみ図鑑　宮田紘次〈作〉広がる音の世界　五感が共振	南　　信長	朝　　日	12.5
PREVIEW　宮田晨哉　讃歌展	編　集　部	美術の窓	325
芸大ピープル　第1回　宮田亮平学長	宮田　亮平	芸大通信	20
特別寄稿　書の〈ときめき〉前・後篇	〃	書道界	245、265
理事長就任の御挨拶	〃	絲綢之路	64
追悼　平山郁夫氏を偲ぶ　大いなる喪失	〃	新美術新聞	1204
PREVIEW 宮田亮平展	唐澤　昌宏	美術の窓	322
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　宮永亮	宮永　　亮	美術手帖	937
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　宮原武義	高山　　淳	美術の窓	320
PREVIEW 宮原麗子・宮原むつ美　二人展	ワシオ・トシヒコ	〃	323
宮本美音子氏へのインタビュー[宮本三郎]	池尻　豪介	世田谷美術館紀要	11
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体を作り上げた巨匠たち　宮本三郎と二紀会―魔術の部屋	山本　　貞	美術の窓	320
戦後の巨匠09[宮本三郎]	林　紀一郎	美術屋・百兵衛	13
特集　デザインを支える職人　家具モデラー　宮本茂紀　自分で自分の枠を決めない　日本の家具の第一人者	鈴木　里子	デザインの現場	170
宮本成美・水俣写真集　宮本成美著		日　　経	7.4
日々好日　梅雨の晴間に	宮本　中人	新美術新聞	1224
建築写真小史・補記『建築の黙示録』が撮られるまで	宮本　隆司	建築雑誌	1608
交遊抄　自然体の2人	宮脇　愛子	日　　経	8.14
人・模・様　甲冑の芸術を後世に[明珍宗恭]	明珍　美紀	毎日夕刊	5.17
コミック　海辺へ行く道　夏　三好銀〈作〉　行き場失った物語と戯れる	ササキバラ・ゴウ	朝　　日	1.17
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　三吉雅	高山　　淳	美術の窓	320
文化庁在外研修報告　銅版画、日本とヨーロッパとの関係	三好百合子	日本版画協会々報	146
コミック　敏腕編集！インコさん　見ル野栄司〈作〉　鳥男がもてあそぶ漫画家の魂	南　　信長	朝　　日	3.7
人・模・様　クレヨン画で日米交流[ミレイヒロキ]	山科　武司	毎日夕刊	6.19
対談・思想としての陶芸	三輪　休雪 乾　由明	陶　　説	682
二十年振りのニューヨーク	三輪　休雪	〃	688
INFORMATION VOICE　アーティストからの発信「文化庁メディア芸術祭」(アート部門)と「サイバーアーツジャパン―アルスエレクトロニカの30年」展から思うこと	三輪　眞弘	美術手帖	936

(ム)

オピニオン　向井周太郎(インダストリアル・デザイナー、武蔵野美術大学名誉教授)	石橋　勝利	ＡＸＩＳ	143

向井潤吉展　わかちがたい風景とともに民家に宿る懐かしの日常	橋本　善八	朝日夕刊	3.2
ぎゃらりいモール　向井潤吉アトリエ館「向井潤吉とルーブル美術館」から「エレーヌ・フールマンとその二児(ルーベンスの模写)」向井潤吉	矢野　進	読売夕刊	11.16
彫刻と思索のかかわり表現　向井良吉さんを悼む	酒井　忠康	毎日夕刊	9.28
春、花だより	向山　麻子	明星大学研究紀要	18
コラグラフ版画技法の現在	武蔵　篤彦	京都精華大学紀要	36
レビュー　みかんぐみ佐久島弘法プロジェクト	武藤　隆	ＲＥＡＲ	24
書くことの閾１　棟方志功「不生」の文字を結晶させた他力	栗本　高行	墨	204
胸中花―棟方志功の眼―第一～六回	石井　頼子	目の眼	406～411
棟方志功の生命力感じて　西浅草の東本願寺　ふすま絵きょう初公開　寺訪れ１日で描き上げる	井上　幸一	東京	4.8
特集　建築写真小史―建築写真を拡張するために　第一部　インタビュー「建築写真」を開く―象徴としての写真	村井　修 山岸　剛 聞き手	建築雑誌	1606
2010年日本建築学会文化賞　日本の現代建築・彫刻・街並みを国内外に伝え、その空間を鋭く定着した業績[村井修]		〃	1607
京都迎賓館　村井修著		日経	11.28
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　村井とし子	磯部　靖	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　村井とし子	〃	〃	325
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　ESSAY　山口薫・村井正誠		〃	320
第42回日展を前にして　各科審査員より明日への想い	村居　正之	日展ニュース	138
レビュー　アートドキュメント2009　森で紙と鉄と遊ぼう　樫尾正次×村岡三郎	野田　訓生	ＲＥＡＲ	23
インスピレーショングラフィック　伝統文化の価値を引き出すグラフィック―「amabro(アマブロ)」[村上周]	深沢　慶太	ＡＸＩＳ	148
平等院国宝　1000年前の姿再現　藤沢の彫刻家が仏像２体[村上清]		東京夕刊	10.2
座談会実況中継　オタク変じて辣腕実務家となる　新たなる若沖像の衝撃	ジョー・プライス、辻　惟雄、狩野　博幸、村上　隆　談	芸術新潮	722
連載　辻惟雄×村上隆　ニッポン絵合せ【四～十一番、番外編】	辻　惟雄 村上　隆	〃	722～725、727～730、732
モデルとしてのキュレーション―村上隆、岡崎乾二郎、会田誠の実践から―	佐々木勇貴	美術運動史研究会ニュース	111
SPECIAL FEATURE　現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP１　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　村上隆	松井みどり	美術手帖	933
日本式 ART の次の射程が見えてきた!!		〃	936
アートの未来はどこにあるのか	黒瀬　陽平、助田　徹臣、梅沢　和木、藤城　嘘、村上　隆　司会		
村上隆×黒瀬陽平２人語り「日本美術教育とアートプロデュース術について」[カオス*ラウンジ]	村上　隆 黒瀬　陽平		
SPECIAL FEATURE　村上隆 INTERVIEW		〃	945
村上隆インタビュー Part 1	編集部、伊東　豊子　聞き手		

ジャン＝ジャック・アヤゴン	伊東　豊子		
エマニュエル・ペロタン	〃		
エルベ・シャンデス	〃		
北原シン	編　集　部		
村上隆インタビュー Part 2	編　集　部、山内　宏泰聞き手		
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT01		美術手帖	945
カイカイキキ三芳スタジオ	岡澤浩太郎		
カイカイキキ三芳スタジオ　シショウ	〃		
立体制作工房　ラッキーワイド	〃		
立体制作工房　飯島浩樹	〃		
立体制作工房　黒谷美術	〃		
立体制作工房　玉ノ井哲哉	〃		
立体制作工房　海洋堂／宮脇修一＋BOME	小吹　隆文		
立体制作工房　松山せいじ	〃		
SPECIAL FEATURE 村上隆　PROJECT		〃	〃
Six♡Princess	内田　伸一		
Six♡Princess　竹内宏彰	〃		
黒田清輝へのオマージュ	福住　廉		
黒田清輝へのオマージュ　Tony	〃		
ニッポン絵合わせ	〃		
ニッポン絵合わせ　辻惟雄	〃		
SPECIAL FEATURE 村上隆　SPECIAL 三芳スタジオファーム	宮村　周子	〃	〃
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT02		〃	〃
カイカイキキ元麻布オフィス　笠原ちあき	山内　宏泰		
カイカイキキ元麻布オフィス　荒木信雄	〃		
カイカイキキコレクション	〃		
アーティスト・プロデュース　Mr.	西野　基久		
カイカイキキ、台湾へ進出　邱復生	編　集　部		
秦郷次郎	山内　宏泰		
カオス*ラウンジ　黒瀬陽平＋梅沢和木＋藤城嘘	西野　基久		
片桐孝憲[カオス*ラウンジ]	山内　宏泰		
後藤隆哉	〃		
SPECIAL FEATURE 村上隆　あとがき	村上　隆	〃	〃
ヨーロッパアート事情　宮殿を想像の国、不思議の国に[村上隆]	今津　京子	美連協ニュース	108
米美術館がユーチューブと映像コンテスト[村上隆]	丹内　敦子	朝　日	11.22
村上アートinベルサイユ　主催者側「現代芸術に宮殿を開放」「歴史遺産を侮辱」反発も	稲田　信司	朝日夕刊	9.10
チャイム[村上隆]		産　経	9.11
ベルサイユ宮殿で村上隆さん作品展　冒涜批判も独特の世界観で魅了　美少女フィギュア、金のカッパ像…		〃	9.22
ベルサイユ宮殿で村上隆展　融合・反発磁力の美	関　優子	日経夕刊	11.29
私の等伯　没後400年特別展から　現代美術家村上隆さん　空間演出観客の目意識	村上　隆	毎日夕刊	2.3
ベルサイユ宮殿で村上隆さん個展　世界遺産と前衛のコラボに賛否両論	永田　晶子	〃	11.8
ベルサイユ宮殿で村上隆展　周到壮麗な舞台と調和	高野　清見	読　売	12.2
村上隆さん個展　仏の極右が抗議　「ベルサイユ宮殿　広告塔でない」	林　路郎	読売夕刊	9.10
展覧会とアーティスト4　村上保展「空蝉」―うつせみ―　観客の想像を負の空間から翔たかせる		ギャラリー*	306

メディアアート教育におけるフィジカルコンピューティング・インターフェースの活用—Arduinoを用いたメディアアート作品の可能性	村上　史明	筑波大学芸術研究報告	55
ル・サロンへの道 村上美穂		美術屋・百兵衛	12
大波小波　異端の装丁画家[村上芳正]	(拝み鳥)	東京夕刊	11.15
村上芳正さん　88歳で初個展		読　　売	10.28
追想録　村木与四郎さん(映画美術監督)黒澤映画の「場」を熟知		日経夕刊	2.5
ARTIST INTERVIEW 村瀬恭子	福永　信 聞き手	美術手帖	939
視線　Fluttering far away　遠くの羽音 村瀬恭子著	北澤　憲昭	朝　　日	7.11
村瀬恭子作品集「Fluttering far away／遠くの羽音」	(睦)	読　　売	5.23
村田省蔵　2008～2009年　作品の解説	村田　省蔵	金沢学院大学紀要*	8
「第四回試みの茶事」を終えて	植葉　香澄、奥村　博美、加藤　　委、村田　　森、柳原　睦夫、梅田　　稔、沢田眉香子談　森　孝一司会	陶　　説	693
人・模・様 パレスチナの空気を写す[村田信一]	吉村　周平	毎日夕刊	12.18
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　村田宗一郎	村田宗一郎	美術手帖	937
ようこそ、新しい先生1　芸術学部教授 ムラタチアキ	ムラタチアキ	瓜生通信	50
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 村田洋子	高山　　淳	美術の窓	320
総特集　中村佑介 イロヅク乙女ノユートピア　対談　好きなものを写し取るために—僕らが大学で学んだこと、学ばなかったこと	中村　佑介 村田　蓮爾	ユリイカ	578
乾漆の原型造形における一手法	村谷　聡志	金沢学院大学紀要*	8
古澤潤　シリーズ「死者の譜」について	村永　　泰	美術運動	137
特集　建築・有象無象　セクション2：有名性からのジャンプ　07　現実主義者としての村野藤吾	勝矢　武之	建築雑誌	1600
伊豆の砂金と狩野(上、下)　日本画家の考えた狩野派発祥の地、伊豆湯ヶ島	村松秀太郎	新美術新聞	1214、1215
謎の大作《日曜の遊び》—描いたのは、村山槐多か山本鼎か	村松　和明	アルカディア	43
村山槐多《無題》—幻のデッサンを収蔵するにあたって	〃	〃	44
作家通信　日本の文化資源としての大嶋月庵の絶筆	村山　華凰	趣味の水墨画	251
青春の刻　村山華凰ふり向けば一筋の道		〃	257
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　村山悟郎	長谷川祐子	美術の窓	321
徳島文化考　和紙絵作家・村山テル子		美術屋・百兵衛	14
日々好日　敦煌を訪れて	室越　健美	新美術新聞	1229
2009　ART RAINBOW PROJECT "NIPPON TODAY"—Today's Nippon in Art and Culture—Kunsthalle Rostock/Germany　滞在制作と展覧会をとおして	室田　　泉	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
極彩色の「薩摩ボタン」再び　小さな面に優美な焼き物、幕末に欧米で珍重	室田　志保	日　　経	9.1

(モ)

追悼　毛利武彦先生		新美術新聞	1217
追悼　毛利さん	稗田　一穂		
深い優しさで見守っていただいた	土屋　禮一		

PREVIEW 「毛利武彦の軌跡」展	野地耕一郎	美術の窓	321
調査研究から2 望月玉泉の「平安百景図」について	島田 康寛	視覚の現場 四季の綻び	7
作家通信 オランウータンを描く	望月 洋史	趣味の水墨画	251
新刊こんにちは『ココロのヒカリ』元永定正さん 鮮やかな絵好きに感じて	朝山 実	朝日	10.20
追悼 書家・榊莫山さん 奇想天外に、悠々と 画家・元永定正	元永 定正	産経	10.27
喪友記 榊莫山さんを悼む 懐かしい伊賀弁	〃	日経	10.8
生老病死の旅路 元永定正さん 我流でいい 今を懸命に	木村 未来 聞き手	読売夕刊	11.29
「建築家・本野精吾展」に寄せて モダニズム確立へ試行錯誤 個性豊かな近代再考する契機に	笠原 一人	毎日夕刊	2.8
視線 昭和藝能東西 本橋成一著、小沢昭一監修	村山 由佳	朝日	9.5
写眼 遠ざかる時代への追憶 本橋成一「昭和芸能東西」(1970年代)	三品 貴志	産経	7.31
学びのふるさと「謙虚に接しなさい」中学の恩師の言葉、生きる基本姿勢に 撮影、相手と同じ視線で 写真家 本橋成一さん	小野沢健一 聞き手	日経夕刊	6.25
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック アートをめぐる旅・完全ガイド Pick up Artist 直島モノクロームサーカス		美術手帖	938
SPECIAL FEATURE この夏行きたい！アートの旅 SETOUCHI GUIDE 4 瀬戸内国際芸術祭参加アーティストに聞く！モノクロームサーカス—坂本公成	白坂 ゆり	〃	940
多摩の写真家・桃井さん出版へ 亡き妻に贈る回想書 最後10日間赤裸々に[桃井和馬]	松本 惇	毎日	12.16
第62回日本アンデパンダン展アートフォーラム 「この時代、青年の生活と創造とアンデパンダン展」	百瀬 邦孝	美術運動	137
特集 アーティスト大解剖 百瀬寿		aprire	18
話題の展覧会より 自立する色彩のグラデーション 百瀬寿 百瀬寿の「豊饒の色」	松山 龍雄	版画芸術	149
コミック 演劇部5分前1 百名哲〈作〉落ちこぼれ演劇部の逆襲	南 信長	朝日	2.7
リアル漂う「絶望郷」漫画 SF・パニックものに新潮流「ディストピア2.0」[森恒二]	近藤康太郎	〃	11.8
アートの風 4月 森秀雄展／堀浩哉展 異邦でみせた絵画の新境地	三田 晴夫	毎日夕刊	4.15
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 編集部が選ぶ 注目の新人アーティスト42	森 洋史	美術の窓	321
美術学部教員展図録 デザイン	森 真弓	愛知県立芸術大学紀要	39
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 森相實	高山 淳	美術の窓	320
ぎゃらりいモール 東京国立近代美術館工芸館「所蔵作品展 近代工芸の名品—花」から「古代縮緬地友禅訪問着 早春」森口華弘	今井 陽子	読売夕刊	3.30
特集 ノスタルジック昭和を描く ㊙技法講座 VOL.20 CASE13 守末利宏 静寂の向こう	守末 利宏 談	美術の窓	326
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 森田一男	森田 一男	〃	320
神宮名品解説 神宮美術館所蔵 洋画「富士」[森田茂]	中村 潔	瑞垣	216
久松真一と森田子龍 存在論的深みの書論	栗本 高行	墨	202

山下裕二の今月の隠し球67、68　森田洋美　これは、気持ち悪い絵ではない(上、下)	山下　裕二	美術の窓	322、323
PREVIEW ふるさとの詩　森長武雄展	高山　淳	〃	317
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　森長武雄	〃	〃	320
作家随想３　近況報告	森野　彰人	視覚の現場　四季の綻び	4
森野泰明の陶業	乾　由明	陶　説	688
森野泰明作品の位置	金子　賢治	〃	〃
鋳金工芸家・森村酉三とその時代	手島　仁	群馬県立歴史博物館紀要	31
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ４　敗戦後の原風景	森村　泰昌	芸術新潮	721
かわる　まなざしの芸術品	〃	〃	725
没後120年　愛蔵版特集　今こそ読みたい　ゴッホの手紙 II　スペシャリストが読む　美術家はこう読む　ゴッホは生涯「まねぶ人」でした	〃	〃	730
SPECIAL FEATURE 森村泰昌　20世紀へのセルフポートレート		美術手帖	934
なぜ、「なにものかへのレクイエム」なのか？	森村　泰昌 山内　宏泰 構成		
PART 1　「なにものかへのレクイエム」でたどる20世紀	〃		
“チーム・モリムラ”制作ドキュメント	川西　遥		
SPECIAL TALK 1 鈴木邦男×森村泰昌　お茶と芸術―ちょっと“ミギ”よりな話	小吹　隆文 構成		
暴かれた秘密―三島由紀夫の場合―	冨澤　治子		
「私」という贈与　森村泰昌《なにものかへのレクイエム》によせて	椹木　野衣		
SPECIAL TALK 2 坪内祐三×森村泰昌　「ユレ」と「ブレ」―後ろ向きで前へ進む	山内　宏泰 構成		
PART 2　作品でたどる森村泰昌の歴史	中島　水緒		
擬態とまなざし　ファリック・マザーとしての森村泰昌	斎藤　環		
エピローグ　「私」の探索はまだまだ続く…	森村　泰昌		
森村泰昌アートファイル　露地庵先生の美術語辞典その４～７	森村　泰昌	美術屋・百兵衛	12～15
特集　森村泰昌　鎮魂という批評芸術		ユリイカ	579
remenblance of things past『ドリトル先生』的世界の再生に向けて	森村　泰昌 福岡　伸一		
Essais　森村泰昌の王国	横尾　忠則		
Essais　森村泰昌というヒトについて考えていると、こんなことを思う。	日比野克彦		
transmorimura 回転する記号	建畠　哲		
transmorimura 森村泰昌と三島由紀夫　戦闘とギフトの重奏曲	光田　ゆり		
transmorimura 女になったマイケル、男になったマドンナ	小谷　真理		
demolition-M　他者理解と視覚の危機　森村泰昌にかんする演戯史的観点からの覚書	矢橋　透		
モリムラのきた道　森村泰昌主要作品解題	暮沢　剛巳 選・解説		
先達はあらまほしき事なり。「見つめる」という空間、あるいは座布団一枚の世界	森村　泰昌 黒瀬　陽平 聞き手		
Essais　侵襲的反記憶術	松岡　正剛		
demolition-M 偽装女優	湯澤幸一郎		

demolition-M そんなに書いて、どうするの？	橋本　麻里		
demolition-M パラマウンド　森村泰昌の鼻	千葉　雅也		
大阪というホーム“モダニスト M”とモダン都市　大阪と森村泰昌／森村泰昌の大阪	橋爪　節也		
大阪というホーム森村泰昌、キャンプ　in OSAKA	樋口ヒロユキ		
大阪というホーム「モリムラ」化するお笑い　笑いと美術の自己言及性をめぐる考察	ラリー遠田		
モリムラのきた道　森村泰昌略年譜			
視線	森村　泰昌	朝　日	
図録　葛西薫 1968　葛西薫著			4.25
長谷川潾二郎画文集　静かな奇譚　長谷川潾二郎著			5.30
ぶとう酒びんのふしぎな旅　藤城清治影絵、H・C・アンデルセン原作、町田仁訳			7.4
石元泰博　桂離宮　石元泰博著			8.8
西野達　Tatzu Nishi　西野達著			9.19
夢みる家具　森谷延雄の世界　小泉和子ほか著			10.24
三島由紀夫の愛した美術　宮下規久朗、井上隆史著			11.21
白井晟一　精神と空間　白井晟一著			12.19
「まねぶ」から美術家へ　森村泰昌さん、習作を書籍化　「へたくそな絵。そこから出発できる」	浜田　奈美	朝日夕刊	10.1
露地庵先生のアンポン譚　第33～45話	森村　泰昌	産　経	1.6、2.10、24、3.31、5.5、26、6.9、7.27、8.31、9.28、10.25、11.29、12.21
大波小波　最高の大阪芸術家[森村泰昌]	(モンロー)	東京夕刊	3.23
森村泰昌　なにものかへのレクイエム　下　歴史に入り込む	石田　哲郎	〃	3.25
美術家森村泰昌が見た映画	森村　泰昌	日　経	1.14、2.10、3.11、48、5.13、6.9、7.8、8.19、9.9、10.14、11.11、12.9
近況　森村泰昌さん(美術家)　高松市美術館で若き「まねぶ」時代を公開	岸　桂子	毎日夕刊	8.4
森村泰昌さん個展「白旗こそ芸術の旗」映像を公開制作	市原　尚士	読　売	2.18
会いたい　名画に飛び込み新発見　美術家　森村泰昌さん	小黒　夏子 平田　淳 小原　俊介 高松　奈々	読売夕刊	10.30
この人　絵詞の伝統を復活させた大和絵画家　森村宜高さん	長谷　義隆	東　京	11.12
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　森本紫雪	武田　厚	美術の窓	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　森本紫雪	〃	〃	325
巨匠展―今そして未来2010　出品作家インタビュー	森本　草介	〃	320
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　森本美文	武田　厚	〃	325
もりやゆき		art _ icle	32
おやじのせなか　おにぎり泥棒涙で説教　森山大道さん	天野みすず 聞き手	朝　日	10.3
著者に聞きたい　森山大道　記録　カラーも自由自在に	篠原　知存	産　経	5.16
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　森脇ヒデ	高山　淳	美術の窓	320
現代風景画８選　森脇正人	〃	〃	324

日々好日　50歳のカバ	森脇　正人	新美術新聞	1219
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	諸星　美喜	美術の窓	321
みんなのマンガ学　ルパン三世　アニメと違う大人の香り[モンキー・パンチ]	伊藤　遊	朝日夕刊	1.27
顔　大学教授として若手を指導する漫画家　モンキー・パンチさん	桜井　悠介	読　売	12.30

（ヤ）

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　矢形勇	高山　淳	美術の窓	320
画家達の描写―日本人旅行者の見たイタリア(4)―[八木彩霞]	真鍋　正宏	人文学	185
ようこそ、新しい先生4　環境デザイン学科専任講師　ヤギタカシ	ヤギタカシ	瓜生通信	49
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　コンペ・アワード編 JAGDA新人賞ってどんな賞なの？　若手グラフィックデザイナーの登竜門　速報！2010年受賞者の発表　八木秀人	八木　秀人 談 杉江　あこ、編集部　文	デザインの現場	169
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　八木良太	八木　良太	美術手帖	937
写眼　緊迫した「距離感」　薬師洋行「夢は続く」(2010年)	堀　晃和	産　経	3.27
祈る平和　遺言の絵筆　「もっと描く」個展目前の死　葛飾のアマ画家　飢餓、虐殺…56点　足立、10日まで[谷口正和]	小野沢健太	東京夕刊	4.7
画家達の描写―日本人旅行者の見たイタリア(4)―[矢崎千代二]	真鍋　正宏	人文学	185
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　矢島ヒサ	高山　淳	美術の窓	325
PREVIEW 昭和史のある風景 Part 2　古事記のある風景 Part 2　安井明光展	小森佳代子	〃	322
読書をする人7　安井曾太郎	松矢　国憲	新美術新聞	1232
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL. 17　安井曾太郎の肖像画に見る構図の妙	貝塚　健	美術の窓	316
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE11　安井曾太郎・高松次郎　「影」を見つめてデッサンをきわめる　「絵画を支える『影』の存在」	大谷　省吾	〃	324
美の履歴書137　3分割された謎の背景「金蓉」　安井曾太郎	大西　若人	朝日夕刊	1.6
静謐な女性像心なごむ魅力　「正論」表紙を担当する彫刻家保井智貴さん(36)	渋沢　和彦	産　経	11.23
安井仲治のプロムオイル―1932年の《(機関銃)》を中心に―	小林　公	兵庫県立美術館研究紀要	4
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[安田梓]		ギャラリー*	306
講演会・シンポジウム　「意心帰」をめぐって―安田侃の仕事	美　山	慶応義塾大学アート・センター年報	17
集う　安田侃さんの彫刻に「引き込まれる」　ジャコモ・プッチーニ賞授賞式	渋沢　和彦	産　経	12.4
交遊抄　不躾な申し出[安田侃]	磯田　憲一	日　経	10.28
写眼　「明日」に込めた願い　安田菜津紀「明日を忘れないために」	篠原　知存	産　経	5.8
アート・トーキング　安田靫彦　「春暁」	家田　奈穂	日　経	4.8
ぎゃらりいモール　ニューオータニ美術館「安田靫彦展　花を愛でる心」から「春暁」安田靫彦	〃	読売夕刊	4.6

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　安富信也	磯部　靖	美術の窓	320
話の肖像画　アニメーター・漫画家安彦良和さん　ガンダムと30年　上、中、下	戸津井康之	産　経	10.13～15
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」3　東恩納裕一さんへ、『日常らしさ』を。［安村崇］	森岡　督行	百　科*	568
SPECIAL FEATURE　佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　安本匡佑	石田　純子、吉田　宏子、編集部構成	美術手帖	944
特集＝新創開館記念シンポジウム　美術館をつくる―根津美術館の実践と提言		此　君*	2
報告2　「美術館」づくりに大切なこと	弥田　俊男		
パネルディスカッション	菅野　元衛、太田　昭彦、弥田　俊男、佐野　千絵、山内　佳弘、豊久　将三、西田　宏子、司会		
探訪　版画家谷田川卓先生を訪ねて　郷土への愛・平和と命　シルクスクリーンに託す		游　美	66
ようこそ、新しい先生1　芸術教養教育センター専任講師　箭内新一	箭内　新一	瓜生通信	49
日本のアートネクスト、美大のアートネクストを問う　「NIPPON ARTNEXT 2010」［箭内道彦］	林　里佐子	〃	51
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　プレゼン編　これが私のプレゼン術！　箭内道彦　サンボマスター「ラブソング」自主広告	箭内　道彦談　石田　純子文	デザインの現場	169
箭内道彦のデザイン恐怖症　第1、2回	大輪　俊江聞き手	〃	169、170
風とロックの写真　箭内道彦著		日　経	10.10
梁川剛一の北海道版絵本について	柴村　紀代	藤女子大学紀要	47－2
展覧会・イベントから2　やなぎみわ「桜守の茶会」について	樋口ヒロユキ	視覚の現場　四季の綻び	6
読書日記1～4	やなぎみわ	日経夕刊	7.7、14、21、28
若い女性らが「老けメーク」　おばあちゃんメイドカフェ　美術作家・やなぎみわさんプロデュース	岸　桂子	毎　日	11.9
広島アートプロジェクト2008「汽水域」	柳　幸典　加治屋健司	広島市立大学芸術学部紀要	15
柳ヨシカズ	斎藤　博美	art _ icle	30
「第四回試みの茶事」を終えて	植葉　香澄、奥村　博美、加藤　委、村田　森、柳原　睦夫、梅田　稔、沢田眉香子談　森　孝一司会	陶　説	693
『文藝戦線』と柳瀬正夢	柳瀬　信明	美術運動史研究会ニュース	113
歴史研究最前線　空襲に消えた画家・柳瀬正夢と渋谷定輔	本多　明美	歴史地理教育	758
一枚マンガのいきもの地球展　メッセージに欠かせない「笑い」　矢野徳「ホモサピエンス　エゴロジー『おいしいトコだけいただきなのだ』」		東　京	8.25
汽車通学　矢野直美著		日　経	3.7
OGインタビュー　デザイナー　矢野りんさん	矢野　りん談	女子美	166
学生企画―ヤノベケンジ　クロニクル1965―2010	谷口友里歌	瓜生通信	51
日本のアートネクスト、美大のアートネクストを問う　「NIPPON ARTNEXT 2010」［ヤノベケンジ］	林　里佐子	〃	〃

特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　トップアーティストへの一問一答　教えて！ヤノベケンジさん!!	ヤノベケンジ	美術の窓	321
モザイク画の謎探れ　大佛次郎記念館解明に着手　ユリ、月桂冠…床を彩る13枚　背景にフランス？［矢橋六郎］	樋口　薫	東京夕刊	3.5
挑戦的萌芽研究「教育現場における立体形状模倣による空間認識の研究―まねるは学ぶ―」	籔内佐斗司	東京芸大保存修復彫刻年報*	2009年度
基盤研究（B）「３Ｄデジタルデータをもとにした快慶的特徴基準の作成―快慶とその周辺への形状伝播―」	〃	〃	〃
臨山会青年部聖和会講演より　東京芸術大学と奈良のご縁	〃	〃	〃
四〇〇号突破記念　話題の人巻頭インタビュー　籔内佐斗司さん	編集部	目の眼	401
新春対談　1300年の文化継承　先人の見識に敬意　彫刻家籔内佐斗司さん　漫画家里中満智子さん	籔内佐斗司、里中満智子談	日経	1.1
「奈良の古寺と仏像―會津八一のうたにのせて―」展　東京展特集　私の中の仏像たち　彫刻家籔内佐斗司氏に聞く　世界の神々と結ぶ意外	籔内佐斗司	〃	7.20
顔　新潟で彫刻作品展を開催中の東京芸大大学院教授　籔内佐斗司さん	市原　尚士	読売	9.22
東大寺大仏　天平の至宝　工人たち自由に制作	籔内佐斗司	〃	11.9
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史　PART 2　メディアにのって、大量のイメージがあふれ出す　INTERVIEW　矢吹申彦	都築　潤、福井　真一聞き手　福住　廉構成	美術手帖	932
作家通信　銀座・コバヤシ画廊での個展を終えて	矢部　亜矢	趣味の水墨画	251
特集・座談会　「観○光」EXPO2010　京都の歴史、日本と向き合うアーティストたち	榎　俊幸 ゲオーク・マテス 中堀　慎治 塙　冨士雄 間島　秀徳 山内　隆 ヤン・シャオミン	ギャラリー*	307
写眼　３千メートルの定点観測　山内悠「夜明け」（平成20年）	篠原　知存	産経	8.28
作家訪問400　陶芸家　山岡徹さん	編集部	目の眼	402
「死なない家」に住む「天命反転」説く荒川作品での生活を映画に	山岡　信貴	日経	11.30
彫刻家の現場から65　山縣壽夫	武田　厚	美術の窓	324
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　山川冬樹	山川　冬樹	美術手帖	937
第57回日本伝統工芸展　漆芸　朝日新聞社賞　漆象嵌盤「涼蔭」　山岸一男	内田　篤呉	朝日夕刊	9.18
特集　建築・有象無象　セクション１：かたちになりゆくモノへ　04　概念としての「建造物」	山岸　剛	建築雑誌	1600
特集　建築写真小史―建築写真を拡張するために		〃	1606
特集主旨　「建築写真」の現代性をとらえるために	山岸　剛 柴原　聡子		
第一部　レポート　歴史を書く眼―二川幸夫の建築写真について	山岸　剛		
第一部　インタビュー　「建築写真」を開く―象徴としての写真	村井　修 山岸　剛 聞き手		
第一部　インタビュー　「建築写真」はカタくない	大橋　富夫 山岸　剛 聞き手		
第二部　対談　錯綜する「建築写真」	小川　重雄、岸　和郎 山岸　剛、柴原　聡子 聞き手		
第三部　対談「建築写真」以後	鈴木　了二、西沢　立衛 山岸　剛 聞き手		

編集後記　ここから始めなければならない	山岸　剛		
山岸凉子と美術作品—漫画と周辺領域に関する研究　その1—	石井　元章	芸術文化研究	14
山岸凉子の世界—〈闇〉からの視点—	山下　聖美	日本大学芸術学部紀要	52
21世紀芸術研究所—3 Key Words Research—　山口藍		ギャラリー*	298
フェイス21世紀138 想像力を源泉に妖しく多義的な世界を表出	山口　愛美	新美術新聞	1223
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケートわたしがそれを選んだわけ4　「さて、日本遺産…」	山口　晃	芸術新潮	721
人と墨20　山口晃　迫力満点の墨画の龍		趣味の水墨画	258
毎回、イラストを執筆　山口晃氏　新しい「龍馬像」創り出したい		産　経	4.2
山口晃さん再びの絵筆	高野　清見	読　売	1.9
版画家・吹田文明と画家・山口薫—吹田文明「思い出の薫さん」寄稿の経緯から	村上　由美	世田谷美術館紀要	11
思い出の薫さん[山口薫]	吹田　文明	〃	〃
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション ESSAY 山口薫・村井正誠		美術の窓	320
Art Chat Studio　11、12　渋谷和良×山口啓介(前・後編)	渋谷和良、山口啓介談	ギャラリー*	300、301
エンドロール　「今度は愛妻家」×美術・山口修さん　この夫婦らしい家演出	石井　麻友	朝日夕刊	1.13
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	山口　貴士	美術の窓	321
特集　プレゼン　コンペ　イベント　必勝!!ガイド　イベント編　美術館の展示って難しいですか？十和田市現代美術館「新包結図説・展」[山口信博]	鈴木　里子	デザインの現場	169
PAPER IN MY WORK 127　竹尾 CO.,LTD 感じるペーパーショウ　TAKEO PAPER SHOW 2010[山口信博]	杉瀬　由希	〃	170
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」最終回　山口信博さんへ、『JAPON JAPONAIS』を。	森岡　督行	百　科*	577
文字のみだれ[山口八九子]	丹尾　安典	一　寸	41
山口八九子資料 VIII—大正十二年・昭和七年(一月—四月)日記—	〃	早大會津八一記念博紀要*	11
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史　PART 1　イラストレーションという概念が定着していった時代　INTERVIEW 山口はるみ	都築　潤、福井　真一聞き手　編集部構成	美術手帖	932
悼む　山口安次郎さん　西陣織職人　能装束の奥義窮める	渡辺　隆夫	毎　日	3.24
西陣織の最高齢職人山口安次郎さん　能装束200領一貫の手仕事	木須井麻子	読売夕刊	4.17
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　山口裕美子	高山　淳	美術の窓	325
圓融の書　山崎大抱展　25日から静岡県立美術館で開催　卓越した筆の力	桐山　正寿	毎　日	5.20
第14回手塚治虫文化賞　短編賞　「テルマエ・ロマエ」　ヤマザキマリさん　日本の風呂、古代ローマに衝撃	小原　篤	朝　日	4.19
いしかわ式　今日の漫画　世界の果てでも漫画描き[ヤマザキマリ]	いしかわじゅん	毎　日	10.6

巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　山下笑子	高山　淳	美術の窓	320
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	山下　和子	〃	321
徳島文化考　社会を切り取る画家・山下菊二		美術屋・百兵衛	14
田舎の朝　山下皎嶽		石川県立美術館だより	317
読書をする人３　山下新太郎	貝塚　健	新美術新聞	1218
芸術新潮特別企画“洋画”の現在を生きる山下充と筧本生		芸術新潮	724
写眼　「記録」から「作品」へ　山下忠志「鉄の人」(平成13年)	三品　貴志	産　経	4.3
「町おこし」デザインからロックアートへ	山下　秀男	崇城大学芸術学部研究紀要	3
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　山下麻衣＋小林直人	山下　麻衣 小林　直人	美術手帖	937
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　山城知佳子	山城知佳子	〃	〃
みんなのマンガ学　ペスよおをふれ　子犬と苦難に立ち向かう[山田えいじ]	伊藤　遊	朝日夕刊	3.29
クリエイターズワーク＆ソウル　山田佳一朗		ＡＸＩＳ	146
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座　VOL. 17　人気作家が教える構図 step up 術　lesson. 1　一ヶ所が変わるとすべてが動く　山田修市／画面は支点を中心に支え合う	山田　修市	美術の窓	316
山田脩二「日本旅 1961—2010」	(睦)	読　売	8.15
山田真山による下絵資料(沖縄県立芸術大学付属図書・芸術資料館所蔵)について	小林　純子	沖縄県立芸術大学紀要	18
特集　エフェメラ(ephemera)—短命な建築媒体を後世に—第一部〈現状〉当事者による取組み　事例１　資料出所者(個人)の取組み—がらがらキャビネット	山田　達郎	建築雑誌	1610
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　ベストセレクション　山田展也	高山　淳	美術の窓	320
PREVIEW 山田展也展	編集部	〃	325
輝く女性　江戸切子工芸士　山田のゆりさん　伝統に新しさを融合		読　売	6.14
時評３　連続か不連続か、現代美術の動向—明治初期の山田文厚の作品に遭遇して考える	原田　平作	視覚の現場　四季の綻び	7
《追悼》End of the World—山田正亮の訃報に接して	早見　堯	あいだ	176
INFORMATION MEMORIAL　追悼・山田正亮　孤高の画家—山田正亮	本江　邦夫	美術手帖	944
第14回手塚治虫文化賞　マンガ大賞「へうげもの」　山田芳裕さん　物欲で茶の湯に迫る　型破りな織部像描く	小原　篤	朝　日	4.19
手塚治虫文化賞　マンガ大賞『へうげもの』トークショー　竹内さん「史実の採り入れ巧み」　荒俣さん「戦国時代の表情豊か」[山田芳裕]	高津　祐典	〃	5.31
山田芳裕さん「へうげもの」　数奇に生きた男		読　売	1.1

山田芳裕の茶道具愛 10～21	山田　芳裕談	読　　売	1.27、2.24、3.24、4.23、5.28、6.25、7.23、8.27、9.24、10.22、11.26、12.24
ACP Artists×Critics Travel of my life ARTIST　山田月佳	山田　月佳	CLOSET	3
ACP Artists×Critics 金色の三つ編みと三つの役割　CRITIC 奥村潤子[山田月佳]	奥村　潤子	〃	〃
ACP Open Discussion[山田月佳]	松本 上村 鈴木 中村 山田 塩田 片山 倉茂 奥村 沼下	〃	〃
大和由佳		art _ icle	30
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 大和屋巌	高山　　淳	美術の窓	320
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 山中さとる	〃	〃	〃
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　山中さとる	〃	〃	325
PAPER IN MY WORK 127　竹尾 CO.,LTD 感じるペーパーショウ　TAKEO PAPER SHOW 2010[山中俊治]	杉瀬　由希	デザインの現場	170
特集　作家座談会と小川英晴の作品評論 公募展の春(受賞作)と秋(展覧会)　座談会：公募展への視点	生方　純一、 川内　悟、 齋藤　茂男、 舘野　弘、 中島　敏明、 林　純夫、 福田　玲子 山中　宣明 司会	ギャラリー*	305
日々好日　忘れ得ぬ人・あるいはアノニマス	山中　宣明	新美術新聞	1207
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	山中　洋明	美術の窓	321
立松和平さん長女絵本作家に　父の言葉かみしめ　生と死「丁寧に」[山中桃子]	田後　真里	毎日夕刊	3.27
特集　アート／アニメーション　インタビュー：山村浩二 アニメーションへ：可視化できない心の中にもっている映像	前田ちま子聞き手 高橋　綾子採録・まとめ	ＲＥＡＲ	23
ロシア・アニメーションの巨匠　ノルシュテインの世界　圧倒的な幻想空間	山村　浩二談 三沢　典丈	東京夕刊	5.28
入門講座　日本の創作アニメーション１～４	山村　浩二	日経夕刊	10.7、14、21、28
PREVIEW 山村博男展	瀧　　悌三	美術の窓	321
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 山本勇	高山　　淳	〃	320
謎の大作《日曜の遊び》―描いたのは、村山槐多か山本鼎か	村松　和明	アルカディア	43
美の履歴書155　女の顔が見えないわけ「地上風韻」　山本丘人	小川　　雪	朝日夕刊	5.19
芸文余話　山本丘人の革新と詩心	宮川　匡司	日経夕刊	3.6
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　山本桂輔	山本　桂輔	美術手帖	937
SPECIAL FEATURE 佐藤雅彦「これも自分と認めざるをえない展」　PEOPLE'S VOICE　佐藤雅彦と模索した、新しい可能性　参加作家に聞く！　属性に対するそれぞれのアプローチ　山本晃士ロバート	石田　純子、 吉田　宏子、 編集部構成	〃	944

特集＝目黒区美術館「'文化資源'としての〈炭鉱〉展」2　[同展併催講義採録]　山本作兵衛、そして……	菊畑茂久馬	あいだ	169
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　山本眞輔	小森佳代子	美術の窓	320
リレーおぴにおん　マンションに住まう3　間取り図をアートにする美術家　山本聖子さん　無個性が魅力、でも住まず	鈴木　繁　聞き手	朝　日	9.16
制作記録　緋の表象—土の相と質—	山本　健史	金沢美術工芸大学紀要	54
国指定重要文化財　康楽館の建築の研究[山本辰之助]	澤田　亨	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介		美術の窓	320
美術団体を作り上げた巨匠たち　宮本三郎と二紀会—魔術の部屋	山本　貞		
美術団体の底力　ベストセレクション　山本貞	小森佳代子		
PREVIEW 山本貞展—名もなき風景—	武田　厚	〃	321
連盟創立六十周年記念座談会—六十年を顧みて新たな挑戦—	福王寺一彦、入江　観、中根　寛、小作　青史、吹田　文明、五十嵐芳三、大成　浩、本郷　寛　談　山本　貞　司会	連盟ニュース	433
新幸福論　生き方再発見　医師、写真家山本敏晴さん　信じるままに学び進み、面白いぞ国際協力。	江畑　佳明	毎日夕刊	11.24
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	山本　智之	美術の窓	321
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL.20　CASE 9　山本智之　僕たちの夏の終わり	山本　智之　談	〃	326
人と墨17　山本直彰　茫漠たる風景が集結した「帰還」		趣味の水墨画	255
日々好日　残花の風景	山本　直彰	新美術新聞	1215
総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　対談　その曲線にときめけ！—世代を超えてつながる絵・マンガ・音楽	中村　佑介　山本　直樹	ユリイカ	578
2009年度日本芸術院賞(4氏美術)決まる　恩賜賞には山本文彦氏　武腰敏昭氏、樽本樹邨、北川原温氏が受賞		新美術新聞	1213
研究発表〈要約〉『蜻蛉集』とダンヌンツィオ—〈西洋うた"Outa occidentale"〉新資料をめぐって—[山本芳翠]	尾崎有紀子	近代画説	19
美の履歴書170　ざわつく感じはなに　十二支のうち丑「牽牛星」　山本芳翠	小川　雪	朝日夕刊	9.1
クリエイターズワーク＆ソウル　山本まさと		ＡＸＩＳ	143
展覧会とアーティスト4　山本麻友香個展　心象風景が投影され、さらに世界は深まって行く		ギャラリー*	307
月刊ギャラリー創刊25周年記念　小川英晴のアート縦横No.3【企画構成】　日本初の写実絵画専門美術館・ホキ美術館　3　展覧会を読み解く—堀越千秋・山本麻友香・山本靖久—	小川　英晴	〃	308
受賞者訪問3　第5回大黒屋現代アート公募展　大賞受賞　山本雄基		〃	299
わたしの宝もの62　娘	山本　雄三	新美術新聞	1223
シャガールと私　世界中を旅し魂を動かす　銅版画家　山本容子さん		朝　日	9.8
思わず座りたくなる？　3人が選ぶ「美しい椅子」[山本容子]	河尻　定	日　経	4.8
特集　横浜美術館建築ガイド[山本理顕]		Corridart	5

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　山本竜基	山本　竜基	美術手帖	937
第六十一回美学会全国大会報告　ニューヨーク万博(一九三九年・一九四〇年)国際館日本部における山脇巌の展示空間—欧米モダンデザイン理論と「日本らしさ」の融合—	山本　佐恵	美　　学	237
月刊ギャラリー創刊25周年記念　アートの25年と85年生まれのアーティスト[山脇紘資]		ギャラリー*	306

(ユ)

総特集　中村佑介　イロヅク乙女ノユートピア　インタビュー　イラストとアニメの繊細で大胆な弁証法—TVアニメ『四畳半神話大系』の挑戦	湯浅　政明	ユリイカ	578
みんなのマンガ学　究極超人あ～る　青春は熱血・恋愛だけじゃない[ゆうきまさみ]	表　　智之	朝日夕刊	11.1
シベリア抑留を絵で千代田で180点展示　平和や人権訴え[勇崎作衛]	山田　奈緒	毎　　日	9.15
キャンバスに甦るシベリアの命　絵・勇崎作衛、構成・石黒謙吾	(栗)	〃	10.10
エコ＆ピース十選１～10	U・G・サトー	日　　経	3.4、5、8、9、11、12、15、16、18、19
《Tears》を描いた頃	湯川　雅紀	和歌山県立近代美術館ニュース	63
人生の贈りもの　粘土アニメーション作家湯崎夫沙子さん１～４	畑川　剛毅 聞き手	朝日夕刊	3.23～26
染織家の柚木沙弥郎さん　パリで３回目の個展　出発前に渋谷で作品披露	岸　　桂子	毎日夕刊	9.13
山下裕二の今月の隠し球61、62　湯真藤子　「ゴミ屋敷？で隠し球アゲイン！」〈上、下〉	山下　裕二	美術の窓	316、317
SPECIAL FEATURE 日本イラストレーション史　PART 2　メディアにのって、大量のイメージがあふれ出す　INTERVIEW　湯村輝彦・タラ	都築　潤、福井　真一 聞き手 水田　由紀 構成	美術手帖	932
第42回日展を前にして　各科審査員より日展審査を前に	湯山　俊久	日展ニュース	138
作家随想３　Love and Hate at 大英博物館	尹　　熙倉	視覚の現場　四季の綻び	5
研究報告　新しい陶教育をめぐる総合研究	井上　雅之 北澤　憲昭 北村　仁美 冨田　康子 尹　　熙倉	多摩美術大学研究紀要	24

(ヨ)

私だけのふるさと「第３回南九州魅力発掘大賞」受賞記念須飼秀和さんイラスト特集[葉祥明]		毎日夕刊	6.3
特集　近代とノスタルジア		日本思想史	77
楊洲周延と千代田城の女中たち—十九世紀末のノスタルジア—	アン・ウォルソール		
周延の浮世絵版画にみる近代とノスタルジア—『真美人』を中心に	河野　結美		
主な新収蔵(購入)資料の紹介　チャリネ大曲馬御遊覧ノ図　橋本周延　三枚続　明治19年[楊洲周延]		馬事文化財団年報	31
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	横井まい子	美術の窓	321
創刊60周年記念特大号　わたしが選ぶ日本遺産　アンケート　わたしがそれを選んだわけ４　光泉美宝メダカ	横尾　忠則	芸術新潮	721
ヨコオタダノリ故郷を走る[横尾忠則]		〃	723

横尾忠則VSネヴィル・ブロディ　横尾忠則のポスターと、現在のヨーロッパのグラフィック・デザイン	倉林　靖	国立国際美術館ニュース	179
異郷と日常、ふるえるポスター[横尾忠則]	山崎　均	〃	〃
長谷川等伯　桃山画壇の変革者　エッセイ　心に宿る我が松林図　等伯の松林図屏風	横尾　忠則	太陽(別冊)	166
注目の作家　横尾忠則　横尾忠則にとってポスターとは何であったか	安來　正博	版画芸術	149
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座VOL.20　CASE14　横尾忠則　ぼくの昭和	横尾　忠則	美術の窓	326
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」8　辛酸なめ子さんへ、『東京Y字路』を。[横尾忠則]	森岡　督行	百　科*	573
特集　森村泰昌　鎮魂という批評芸術　Essais　森村泰昌の王国	横尾　忠則	ユリイカ	579
レビュー　未完の横尾忠則―君のものは僕のもの、僕のものは僕のもの	藤井　亜紀	ＲＥＡＲ	23
芸術か人生か！レンブラントの場合　ツヴェタン・トドロフ〈著〉　私的な世界を排し普遍性を開く	横尾　忠則	朝　日	1.10
柳宗悦を支えて　声楽と民藝の母・柳兼子の生涯　小池静子〈著〉　夫支え音楽に生きる鬼気迫る姿	〃	〃	1.31
失われた天才　忘れ去られた孤高の音楽家の生涯　ケヴィン・バザーナ〈著〉　誰も似ていなかったからこそ	〃	〃	3.14
「ロトチェンコ＋ステパーノワ　ロシア構成主義のまなざし」展　腕力ある意匠日常に	〃	〃	3.29
散歩の昆虫記　奥本大三郎〈著〉　人間と虫分けて考えたらアカン	〃	〃	4.18
俵屋宗達　琳派の祖の真実　古田亮〈著〉「ダンス」「ジャズ」のマチスと比較	〃	〃	6.6
矛盾だらけの禅　悟りを求めるアメリカ人作家の冒険　ローレンス・シャインバーグ〈著〉　戒められ冷たくされてもなお続く	〃	〃	6.20
西洋中世奇譚集成　聖パトリックの煉獄　修道士マルクス／修道士ヘンリクス〈著〉　死の壁の向こう側との交信	〃	〃	7.11
原節子　あるがままに生きて　貴田庄〈著〉　光と美と活力をくれた大輪の花	〃	〃	7.18
反アート入門　椹木野衣〈著〉　難解さなく示唆に富む	〃	〃	8.1
セラフィーヌ　フランソワーズ・クロアレク〈著〉　神の啓示芸術の「天才と狂気」	〃	〃	8.22
右手と頭脳　ペーター・シュプリンガー〈著〉　手首切断された兵士の自画像とは	〃	〃	9.26
梅棹忠夫　語る　梅棹忠夫〈著〉　自前の目と足で　思想も「遊び」	〃	〃	10.31
ダリ・私の50の秘伝　画家を志す者よ、ただ絵を描きたまえ！　サルヴァドール・ダリ〈著〉　絵画の心と描法伝える「養生訓」	〃	〃	11.8
フェリーニ　ベニート・メルリーノ〈著〉　映画と生活　本物なのか作り物か	〃	〃	11.14
ヨーロッパの形　螺旋の文化史　篠田知和基〈著〉　「ヘンテコリン」の謎解けた	〃	〃	11.28
ブギの女王・笠置シツ子　心スキズキワクワクああしんど　佐古口早苗〈著〉　自由と平和と開放の象徴だった	〃	〃	12.12
書評委員お薦め「今年の３点」	〃	〃	12.19
「ウフィツィ美術館」展　日本の顔も仲間入り　草間弥生・横尾忠則・杉本博司	小川　雪	朝日夕刊	9.29

横尾忠則さん　泉鏡花文学賞受賞後第２作　小説集「ポルト・リガトの館」刊行 描きたかったアラビアンナイトのような世界	宮田奈津子	産　　経	3.30
オルセー美術館展2010　こう楽しむ 対談　画家横尾忠則氏×作家諸田玲子氏 名画の声に耳澄ます 謎めく構図　見る人誘う		日　　経	7.17
新幸福論　生き方再発見　美術家横尾忠則さん　人生は目的のない遊び、「美の感知」楽しむ。	中山　裕司	毎日夕刊	5.26
現代美術家３人の自画像　「巨匠の末席、うれしい」　伊・ウフィツィ美術館に寄贈［横尾忠則］	岸　　桂子	〃	9.15
私の鑑賞術　横尾忠則１～４	横尾　忠則談	読　　売	4.1、8、15、22
「ザ・コレクション・ヴィンタートゥール」展　心見すかす挑発的ポーズ	横尾　忠則	〃	9.10
完本　ジャコメッティ手帖Ⅰ　矢内原伊作〈著〉　鬼気迫る創作の現場	〃	朝　　日	5.9
探訪　洋画家横田海先生を訪ねて　画界の逸材　孤高を持す		游　　美	64
土によるかたちの追求　自作《土人―TUCHIBITO》をめぐる考察	横田　典子	女子美術大学研究紀要	40
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　横前裕子「深い感情」	高山　　淳	美術の窓	325
教員は語る　芸大への期待・抱負・提言第12回	ヨコミゾマコト　野平　一郎	芸大通信	20
愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(34)［横山大観］	松村　公嗣	愛知県立芸術大学紀要	39
近代日本画の構図決定格子（七）―大観「山路」から戦後作品まで―［横山大観］	金子　一夫	一　　寸	41
永青文庫の昔の写真７　川端康成、武者小路実篤、志賀直哉、小林古径、横山大観……。芸術家たちの残像。	田沼　武能	永青文庫	70
横山大観筆《無我》と制作課題に関する研究―背景としての宋代・徽宗画院―	植田彩芳子	鹿島美術財団年報・別冊	27
研究発表〈要約〉　放菴の片ぼかしと近世絵画―「小杉放菴と大観」展を開催して―	出光佐千子	近代画説	19
墨のある風景　横山大観《霊峰十趣　夜》	佐藤　志乃	趣味の水墨画	253
横山大観筆「柳蔭」	矢吹　隆裕	哲学会誌	34
横山大観の《釈迦父に逢う》について―近代日本におけるアジャンター壁画受容の一側面―	佐藤　志乃	横山大観記念館館報	26
横山大観への注文制作について―横山大観記念館蔵「依頼画控」からひもとく	池田　博子	〃	〃
手塚治虫作　横山光輝絵　リメーク未発表作発見		読　　売	6.4
神宮名品解説　神宮美術館所蔵　洋画「花籠」［吉井淳二］	中村　　潔	瑞　　垣	216
青春の刻　吉井東人師の精神とともに見つめる自然		趣味の水墨画	256
中特集　ベストセレクション　吉岡治美	高山　　淳	美術の窓	322
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL. 17　人気作家が教える構図 step up 術　lesson. 3 吉岡正人／画面の中に基準を置いて構図を決める	吉岡　正人談	〃	316
ルノワール―伝統と革新　迷い苦しんだ天才	吉岡　正人	読　　売	2.21
mingle　ガラスとテキスタイルのコラボレーション	吉川　真由	多摩美術大学研究紀要	24
一度だけの旅	吉川陽一郎	たいせつな風景	14
2010年日本建築学会作品選奨　YKK 健康管理センター［吉田明弘］		建築雑誌	1607
山下裕二の今月の隠し球69、70　吉田朗正しい芸術零細企業（上、下）	山下　裕二	美術の窓	324、325
私の視点　国立新美術館　大団体優遇の方針は撤回を	吉田　敦彦	朝　　日	1.8

あとがきのあと「パロール・ジュレと紙屑の都」吉田篤弘氏言葉の神秘探るファンタジー		日　経	4.11
佐伯泰英さん　岩波ゆかりの「惜櫟荘」修復へ　戦前の名建築守りたい[吉田五十八]	佐藤　由紀	毎　日	1.14
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　吉田和生	飯沢耕太郎	美術の窓	321
吉田三郎による石膏原型に関する一考察	三政　洋一	芸術学研究(筑波)	14
世界の建築新潮流　ドイツ・コントラクトワールドアワード2010にて	吉田周一郎	建築ジャーナル	1167
私のグッとムービー　吉田戦車さん「ロボコップ」　生身の口元に人間性を見た	根岸華奈子聞き手	朝日夕刊	11.5
吉田鉄郎設計　検見川無線送信所	菊地　潤	美術運動史研究会ニュース	114
作品と場あるいは空間との関係3	吉田　晃良	大阪成蹊大学芸術学部紀要	6
SPECIAL PINUP　借りぐらしのアリエッティ×種田陽平　アリエッティの世界観を描く　美術監督・吉田昇	吉田　昇	美術手帖	943
江戸博蔵めぐり　関東震災全地域鳥瞰図絵　吉田初三郎・画	阿部由紀洋	読　売	7.30
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　吉田二三子	高山　淳	美術の窓	325
第五十七回日本伝統工芸展受賞者に聞く	吉田　幸央、石橋　裕史、中田　一於、中島　宏、前田　正博、前田　昭博、石崎　泰之、金子　賢治、司会	陶　説	692
第57回日本伝統工芸展　陶芸　高松宮記念賞　金襴手彩色皿　吉田幸央	金子　賢治	朝日夕刊	9.18
日々好日　青木繁「海の幸」会のこと	吉武　研司	新美術新聞	1223
マンガの国の「衣食住」「大奥」に見る男女の立場逆転　男性の中性化を象徴[よしながふみ]	竹内オサム	毎　日	3.27
写眼　背後の物語見つめ　吉野正起「西伊豆の旧道」(平成16年)	堀　晃和	産　経	9.18
写眼　被さっていく境界の揺らぎ　吉増剛造「盲いた黄金の庭」	三品　貴志	〃	7.3
吉増剛造著「盲いた黄金の庭」	河合　香織	読　売	8.1
青春の刻　吉見公子駆け抜ける風のごとく		趣味の水墨画	255
写眼　マジックアワーに魅了され　吉村和敏「ポルト」(2008年)	堀　晃和	産　経	12.25
お宝発見　モダニズム建築の講義棟(愛知県立芸術大)[吉村順三]	宮沢　崇志	朝　日	11.8
展覧会とアーティスト3　吉村芳生展—とがった鉛筆で日々をうつしつづける私—365日、「日々」が織り成す芸術		ギャラリー*	307
吉村芳生　新聞と花と私の365日	吉村　芳生	芸術新潮	732
ひと　新聞を克明に写し続ける画家　吉村芳生さん	清水　謙司	朝　日	10.19
ゴッホの末裔	吉屋　敬	東京夕刊	3.3
写眼　答えは風に舞っている　与田弘志「メタルバー・アンド・ローズパターンドスカート」(1983年)	堀　晃和	産　経	6.5
少年が語りかけてくる？　自分を映す人形の世界[四谷シモン]	松本　和佳	日　経	3.11
街角アート　日本ではじめての…[淀井敏夫]	星野　清一	新美術新聞	1212
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　淀川テクニック	淀川テクニック	美術手帖	937
2010年日本建築学会作品選奨　相模女子大学体育館[米澤彰子]		建築雑誌	1607

巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　今、輝いている女性アーティストたち　米澤玲子	高山　淳	美術の窓	325
ぎゃらりいモール　森美術館「六本木クロッシング2010展」から「Kimusa　10」米田知子	近藤　健一	読売夕刊	5.18
文化往来　ジブリ新作監督に36歳のアニメーター[米林宏昌]		日　経	1.11
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　米山郁生	高山　淳	美術の窓	320
墨のある風景　萬鐵五郎《日傘のひと》	大野　正勝	趣味の水墨画	256

（ラ）

コミック　どうぶつの国1　雷句誠〈作〉「本気で生きること」描く	山脇　麻生	朝　日	4.11
コミック　朝がまたくるから　羅川真理茂〈作〉「罪」を許し、救う者とは	〃	〃	5.9
日々好日	樂吉左衛門	新美術新聞	1204
特別読物　父・覚入を語る	樂吉左衛門[十五代]	淡　交	787

（リ）

若手は恐れず暴れ回れ　日本アニメ、製作現場は窮屈に[りんたろう]	諸岡　良宣聞き手	日　経	1.27

（ワ）

WOWによる、映像という名のビジュアルコミュニケーションデザイン	深沢　慶太	ＡＸＩＳ	145
創作ノート　平和の礎デザイン	和宇慶朝健 仲本　賢聞き手	沖縄県立芸術大学紀要	18
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 1　14人の旗手からの発言　若木くるみ	若木くるみ	美術手帖	937
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　若月朝夫	高山　淳	美術の窓	320
読売文学賞の人びと5　造形美術と言葉で対峙　詩歌俳句賞「花・蒸気・隔たり」河野道代さん[若林奮]	山内　則史	読　売	2.9
インスピレーショングラフィック　物語を紡ぐイラストレーション—若林樹によるコラボレーション企画	深沢　慶太	ＡＸＩＳ	144
型破り探検家の足跡追う　菅野力夫の遺品フィルムが語る世界への雄飛	若林　純	日　経	7.28
点鬼簿の作家像スケッチ帳　その25　若松光一郎・コラージュ・《鳥の歌》	林　紀一郎	新美術新聞	1216
博多織の振興を目的とした芸術学部の学科横断プロジェクト	青木　幹太 佐藤　佳代 若松布美子 斉藤　光範	九州産業大学芸術学会研究報告	41
展覧会・イベントから12　写真展　小川晴暘と奈良　飛鳥園のあゆみ—小川光三・金井杜道・若松保広	福田　道宏	視覚の現場　四季の綻び	6
特集　アート／アニメーション　ロカルノ映画祭「マンガ・インパクト」	若見ありさ	ＲＥＡＲ	23
高橋みどりの食道楽連載九　デザイナー・若山嘉代子さんの仕事	高橋みどり	芸術新潮	730
美の履歴書145　鳩が四角に納まるわけ「画房夢想曲」　脇田和	田中　三蔵	朝日夕刊	3.3
視線　極東ホテル　鷲尾和彦著	新井　敏記	朝　日	2.14
写眼　連想誘う「寄る辺なさ」鷲尾和彦「極東ホテル」(2005年)	篠原　知存	産　経	2.13
極東ホテル　鷲尾和彦著		日　経	1.24
写眼　ふたつの「眼」重なるとき　鷲尾倫夫「望郷・エトセトラ」(平成22年)	三品　貴志	産　経	9.4

SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！ PART 2 私の作品を世界に問う！ 新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション 和田永	和田 永	美術手帖	937
特集 アジア美術的〈近代〉 第1部 一 美術家の東洋 和田三造の見つめたもの	平瀬 礼太	美術フォーラム21	21
和田三造文献紹介 「南風」の頃	〃	姫路市立美術館研究紀要	10
学芸ノート 「南風」の、ではない和田三造の展覧会雑記	〃	姫路市立美術館だより	105
本づくし 「縁の下の力持ちとしてのデザイナー」『サーバントリーダーシップ』ロバート・K・グリーンリーフ著／金井壽宏監訳／金井真弓訳	和田 達也	ＡＸＩＳ	146
人と墨15 和田宏子 墨で描くニューヨークの人々		趣味の水墨画	250
構図のはなし	和田 宏子	〃	
9 日本的画面の形とその魅力―団扇と扇子―			251
最終回 物語の世界を楽しむ―絵巻物を中心に―			252
この人に会いたい 和田誠さん ハーモニーが響く世界	和田 誠 一井 建二 聞き手	美術の窓	326
喪友記 双葉十三郎さんを悼む 的確で愉快な批評	和田 誠	日 経	1.20
「和田誠の仕事」50年を振り返る		読 売	10.14
彩・美・風	わたせせいぞう	朝日夕刊	3.31、4.7、14、21、28
公募団体展 受賞者に聞く5 第69回水彩連盟展 損保ジャパン美術財団奨励賞 渡辺愛子		ギャラリー*	301
特集 I♥〔あいち〕トリエンナーレ ルポ：制作の現場―渡辺英司「言えなさの壁」	増田 千恵	ＲＥＡＲ	24
特集 I♥〔あいち〕トリエンナーレ『作程考「絵の中の男の話」』	渡辺 英司	〃	〃
街角アート 陽のあたらぬシンボル［渡辺長男］	星野 清一	新美術新聞	1234
芸術新潮特別企画 アートフェア東京2010出展ギャラリー紹介 日動画廊のウォーターガール 渡辺香奈の華やぐ混沌		芸術新潮	724
フェイス21世紀133 渡辺香奈 現代をとらえ一瞬の情景に“私”の思い描く	袴田 智彦	新美術新聞	1209
特集 新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010 編集部が選ぶ 注目の新人アーティスト42	渡辺 香奈	美術の窓	321
特集 アート／アニメーション アンケート	ツジシンヤ 岡田 昭憲 杉田 崇 永下山由香 井出 絢子 渡辺 豪 大崎のぶゆき	ＲＥＡＲ	23
コミック モンタージュ1 渡辺潤〈作〉 父はあの3億円事件の犯人!?	山脇 麻生	朝 日	10.31
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション 渡辺祥行	高山 淳	美術の窓	320
研究ノート 世に隠れた超一流画家列伝1 上 渡邊省亭	野地耕一郎	練馬区立美術館ニュース	14
特集 プレゼン コンペ イベント 必勝!!ガイド コンペ・アワード編 デザインコンペってどんなものですか？ 富山プロダクトデザインコンペティション2009	渡辺仙一郎談 高橋 美礼文	デザインの現場	169
彫刻家の現場から57 渡辺隆根	武田 厚	美術の窓	316
山下裕二の今月の隠し球65、65 渡邊希漆の巫女、その大いなる野望（上、下）	山下 裕二	〃	320、321
ひと リトアニアで欧州最大の日本庭園を造る 渡辺一さん	稲田 佳代	毎 日	6.4
貴顕石版画はなぜ生まれたか？ 資料紹介 渡邊久「聖上御撮影写成石版印刷願」	増野 恵子	美術運動史研究会ニュース	115

コミック　にこたま1　渡辺ペコ〈作〉三十路目前に人生の大波	南　信長	朝　日	2.21
西向きの窓—純化された感覚	渡邉麻衣子	多摩美術大学研究紀要	24
「作品選集2010」選考報告	渡辺　真理	建築雑誌	1602
みんなのマンガ学　聖ロザリンド　無邪気な殺人鬼、「悪」を提示[わたなべまさこ]	倉持佳代子	朝日夕刊	8.23
第73回公開講座「イカットの魅力」	渡辺万知子	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館年報	26・27
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	渡辺　まり	美術の窓	321
Go! Artists Go！43　渡辺泰子	編　集　部	美術手帖	935
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　渡辺泰子	渡辺　泰子	〃	937
特輯　和製油画　渡邊幽香　幼児図	山梨絵美子	国　華	1382
巻頭特集　美術団体はどうなる⁉　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体で活躍する人気作家ベストセレクション　渡辺楊子	高山　淳	美術の窓	320
INFORMATION MEMORIAL　追悼・渡辺好明	木幡　和枝	美術手帖	932
批評　渡辺好明追悼—蝋燭はひとり立つものではない	天野　一夫	ＲＥＡＲ	23
ACP Artists×Critics		CLOSET	3
SEX ARTIST　渡邊麗歌	渡邊　麗歌		
所在なき主観による客観の消失　CRITIC　松本ももこ[渡邊麗歌]	松本ももこ		
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	渡抜　亮	美術の窓	321
現代作家紹介　綿引展子—現われの空間	越前　俊也	美術フォーラム21	22
写眼　緊張を強いるまなざし　綿谷修「Juvenile」(2007～09年)	海老沢　類	産　経	8.14
綿谷修写真集「CHILDHOOD」		読　売	5.16
みんなのマンガ学　るろうに剣心　時代活写の歴史ファンタジー[和月伸宏]	表　智之	朝日夕刊	1.20

海　外

(ア)

アイ・ウェイウェイの禁じられたヒマワリの種	伊東　豊子	芸術新潮	732
SPECIAL FEATURE　現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　艾未未(アイ・ウェイウェイ)	片岡　真実	美術手帖	933
見る世界　追悼碑でひと休み[ピーター・アイゼンマン]	篠田　航一	毎日夕刊	9.21
カバーインタビュー／デイヴィッド・アジャイ	石橋　勝利	ＡＸＩＳ	147
アメリカアート事情　アダムス？　２億ドルの鑑定[アンセル・アダムス]	後藤トキ子	美連協ニュース	108
あいだのすみっこ不定期漫遊連載　第77回　彫刻から廃品再生金属織物へ From Sculpture to Scrapture　「エル・アナツイのアフリカ展」に寄せて	稲賀　繁美	あいだ	178
特集　特別展彫刻家エル・アナツイのアフリカ—アートと文化をめぐる旅　旅はエル・アナツイから始まる	川口　幸也	みんぱく	396
エル・アナツイに聞く	川口　幸也 聞き手	〃	〃
歴史とアートのはざまで制作すること[エル・アナツイ]	竹沢尚一郎	〃	〃
圧倒的な出現性—エル・アナツイと現代美術	水沢　勉	〃	〃

アナツイ工房の職人たち	松本　尚之	〃	〃
エル・アナツイのアトリエ	渋谷　　拓	〃	〃
ガーナを訪ねて[エル・アナツイ]	朝木　由香	〃	〃
マリーナ・アブラモヴィッチといつまで見つめ合っていられます？	由本みどり	芸術新潮	725
現在通信　From NEWYORK　パフォーマンスの展示[マリーナ・アブラモヴィッチ]	富井　玲子	新美術新聞	1217
美術館で見せるパフォーマンス・アート「ティノ・セーガル」展と「マリーナ・アブラモヴィッチ」展をめぐって	由本みどり	美術運動史研究会ニュース	112
海外通信　マリーナ・アブラモビッチ回顧展　ニューヨーク臨場感あるパフォーマンス鑑賞	富井　玲子	朝日夕刊	5.26
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　フランシス・アリス	沢山　　遼	美術手帖	933
ぎゃらりいモール　森美術館「医学と芸術展」から「男性エコルシェ(前面)とサイ」ペルンハルト・ジークフリート・アルビヌス	広瀬　麻美	読売夕刊	1.12
仏美術家が見た豪雪集落　ドキュメンタリー「小屋丸　冬と春」[ジャンミッシェル・アルベローラ]	小川　　雪	朝日夕刊	10.6
クリストファー・アレグザンダーの認知心理学論文の検討　クリストファー・アレグザンダーの初期理論における思想的背景　その1	長坂　一郎	日本建築学会計画系論文集	647
PREVIEW 安千龍個展	磯部　　靖	美術の窓	319
批評　文字と絵画　アジア的なものによって普遍へと至る[安美子]	山脇　一夫	ＲＥＡＲ	24
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(９)—ロンバルディア派(アンブロージョ・デ・プレーディスからソフォニズバ・アングイッソーラまで)	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	54
私の空想美術館82　アングル『ルイ＝フランソワ・ベルタンの肖像』[ジャン＝オーギュスト＝ドミニク・アングル]	栗津　則雄	美術の窓	327
美の履歴書181　仮面に憑かれたわけ「仮面の中の自画像」ジェームズ・アンソール	西岡　一正	朝日夕刊	11.24
ドイツの大画家が蒐集した藍染パッチワークの美[ホルスト・アンテス]	桑原　節子	芸術新潮	726
実務　美しき構造設計の世界17　ハギア・ソフィア　1500年の歴史を刻む大空間[アンテミオス]	丹野　吉雄	建築ジャーナル	1167

（イ）

森岡督行の「写真集を、どうぞ。」９　坂口恭平さんへ、『POWERS OF TEN』を。[チャールズ・イームズ]	森岡　督行	百　　科*	574
実務　美しき構造設計の世界17　ハギア・ソフィア　1500年の歴史を刻む大空間[イシドロス]	丹野　吉雄	建築ジャーナル	1167
第六十三回全国大会研究発表要旨　シュトゥットガルト美術アカデミーとバウハウス[ヨハネス・イッテン]	青木　加苗	美術史	169

（ウ）

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ペーター・フィッシュリ＆ダヴィッド・ヴァイス	清水　　穣	美術手帖	933
ARTIST INTERVIEW　ペーター・フィッシュリ　ダヴィッド・ヴァイス	北出智恵子聞き手	〃	946

現代美術の歩き方 今月の一品　ペーター・フィッシュリ　ダヴィッド・ヴァイス　庭園にて	白坂　ゆり	美術の窓	326
私の空想美術館80 ワットー『シテール島の巡礼』[アントワーヌ・ヴァトー]	粟津　則雄	〃	325
フェリックス・ヴァロットンの室内画における開口部の表現について	中村　周子	成城美学美術史	16
16世紀フランドル美術における多様化する猿の主題についての一考察[ピーテル・ヴァン・デル・ボルフト]	廣川　暁生	古河歴史博物館年報	19
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」展からアルベイン・ヴァン・デン・アベール「春の緑」	宮澤　政男	毎　日	9.10
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」展からフリッツ・ヴァン・デン・ベルグ	〃	〃	
「庭の少女」			9.11
「オーイドンク城の鳩舎」			9.27
フランダースだより 不思議な魅力に満ちザ・ミュージアムチーフキュレーター宮澤政男さん[フリッツ・ヴァン・デン・ベルグ]	〃	毎日夕刊	9.17
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」展からギュスダーヴ・ヴァン・ド・ウーステイヌ「悪しき種をまく人」	〃	毎　日	9.16
フランダースだより 画家のすごさ分かる絵画保存修復家森直義さん[ギュスターヴ・ヴァン・ド・ウーステイヌ]	森　直義	毎日夕刊	9.13
ゆったりアート　どことなくウキウキ[ギュスターヴ・ヴァン・ド・ウーステイヌ]	岸　桂子	〃	10.15
いらかの波と江戸の空　巨大カメラ最古級　米写真家の作品発見[チャールズ・ウィード]	佐藤　由紀	毎　日	6.26
Bozzetti inediti di Corrado Vigni, per Sabaudia e Bolzano[コッラード・ヴィーニ]	甲斐　教行	五浦論叢	17
邂逅　カルチャー時評　四方田犬彦　死生観の高さを示すタイ映画[アピチャッポン・ウィーラセタクン]	四方田犬彦	産　経	12.15
国際文化フォーラム特集　アジアの精神映画で	アピチャッポン・ウィーラセタクン　河瀬　直美　ジャ・ジャンクー　イム・グォンテク	日　経	12.24
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ビル・ヴィオラ	難波　祐子	美術手帖	933
コミック　JIMMY CORRIGAN　1—3　クリス・ウェア〈作〉表現の可能性追求	ササキバラ・ゴウ	朝　日	6.20
デューラーにおける自画像成立の過程の研究(3)[ロヒール・ファン・デル・ウェイデン]	下村　耕史	九州産業大学芸術学会研究報告	41
「フレマール／ロヒール問題」をめぐる諸問題に関する一考察—『フレマールの画家とロヒール・ファン・デル・ウェイデン：近代絵画の誕生』展を機に—	鈴木　伸子	東京芸術大学美術学部論叢	6
例会発表要旨 第112回例会：15世紀フランドル絵画の図像学と造形的特性をめぐる研究—ロヒール・ファン・デル・ウェイデン作《七秘蹟祭壇画》における歴史的および神学的コンテクスト—フィレンツェ公会議大勅書『エクズルターテ・デオ』の影響	本橋　瞳	日仏美術学会会報	29
第六十三回全国大会研究発表要旨　ロヒール作《七秘蹟祭壇画》に見られる「反対の一致 Coincidentia oppositorum」—マーテル・エクレシアの図像変遷とその特質—	〃	美術史	169

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち フランツ・ヴェスト	清水 穣	美術手帖	933
作家訪問409 日本料理人・陶芸家 デヴィット・ウェルスさん	編集部	目の眼	411
同じ美術館、同名の２作品 ヴェロッキオの稀少な真筆に同時格上げ！[アンドレア・デル・ヴェロッキオ]	前橋 重二	芸術新潮	724
私の空想美術館78 ヴェロネーゼ『オリーヴ山で天使に支えられるキリスト』[パオロ・ヴェロネーゼ]	粟津 則雄	美術の窓	323
海外通信 アンディ・ウォーホル「最後の10年」展 ニューヨーク 見逃せぬ宗教的作品群	富井 玲子	朝日夕刊	8.25
文献資料を読む ウィリアム・メレル・ヴォーリズと戦時中の軽井沢		長野県立歴史館たより	62
日記のなかの建築家たち 第11回 アンビルト・アーキテクトたち[レベウス・ウッズ]	中村 敏男	建築雑誌	1610
パオロ・ウッチェロの《聖体の奇跡》第四場面について	坂本 篤史	美術史論集	10
新聞にアドレナリンを取り戻せ！ 新聞アートディレクター、ヤセク・ウトゥコーインタビュー	ゴードン・カンキナイト 神吉ナイト真由 訳	ＡＸＩＳ	144
エドゥアール・ヴュイヤール作《神秘的室内》をめぐって	袴田 紘代	東京芸術大学美術学部論叢	6
館蔵品紹介 《無題》[エルヴィン・ヴルム]	中西 博之	国立国際美術館ニュース	181

（エ）

FEATURE I ティルマンス｜エグルストン		美術手帖	936
飯沢耕太郎の特別講義 傑作&キーワードで辿るエグルストンのすべて	飯沢耕太郎		
ウィリアム・エグルストンの言葉・エピソード	藤森 愛実		
ARTIST INTERVIEW ウィリアム・エグルストン	後藤 繁雄 聞き手	〃	943
ぎゃらりいモール 原美術館「ウィリアムエグルストン：パリ―京都」から「パリ」ウィリアム・エグルストン	安田 篤生	読売夕刊	7.13
オットー・エックマン Otto Eckmann (1865―1902)―ドイツ・ジャポニスムにおける先駆者―	今岡 明子	日本女子大学大学院紀要(人)*	16
エッセイ M. C. エッシャーとジャポニスム[マウリッツ・エッシャー]	喜井 豊子	ジャポニスム研究	30
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち オラファー・エリアソン	平芳 幸浩	美術手帖	933
ARTIST INTERVIEW オラファー・エリアソン	中山 英之 聞き手	〃	934
光と視覚で導く別世界 オラファー・エリアソン 群馬・金沢で作品展示	大西 若人	朝日夕刊	2.24
自然が生む非日常空間 エリアソンさんが表現 金沢で展覧会開催	手塚さや香	毎日夕刊	1.13
特集 印象派・いい女66選 その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき 技法分析 スーラ&モーリス・エリオ	編集部 宮澤 政男	美術の窓	322
アロンソ・デ・オロスコの幻視に基づくエル・グレコの作品解釈―ドニャ・マリア・デ・アラゴン学院の主祭壇の再構成を中心に―	尾崎 恵子	京都美学美術史学	9
視点 エル・グレコに見る天の光彩	森園 敦	美術の窓	322
特集 謎解き名画―イコノグラフィ研究― 謎1 百合・鳩・衣・聖書・籠「受胎告知」[エル・グレコ]		〃	323
ボストン美術館展 西洋絵画の巨匠たち 巨匠の引力 高階秀爾さん×エル・グレコ 大胆さの中の宗教性		朝日	4.30

瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド Pick up Artist　女木島　レアンドロ・エルリッヒ		美術手帖	938

（オ）

特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト19　呉夏枝	小勝　禮子	美術の窓	321
中国雕鈕作家列伝８ 林友琛／林友竹／周宝庭／黄信開／黄恒頌／王雷庭／林寿燉／林文舉	宏　風生	書道界	244
フリードリヒ・オーヴァーベック画『イタリアとゲルマニア』再考[ヨハン・フリードリヒ・オーヴァーベック]	大原まゆみ	芸術学研究(明学)	20
表・表紙　作品・作家解説　ガロ・B・オカンポ《褐色の聖母》	後小路雅弘	美術フォーラム21	21
WORLD NEWS ARTIST in Focus 今月のワールドスター　No. 016　ジョージア・オキーフ	藤森　愛実	美術手帖	932
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　ジョージア・オキーフ「くり返し描き続けた花、骨、そして風景」		美術の窓	325
ジョージア・オキーフ作《マンハッタン》に見るニューヨークの都市表象について	玉井　貴子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
フラワー・アーティスト　ダニエル・オスト　きょうから東京で展覧会　「若者に『日本人である誇り』感じられない」	喜多　由浩	産　経	3.17
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　クリス・オフィリ	伊東　豊子	美術手帖	933
海外通信　「クリス・オフィリ」展　ロンドン　アフリカ文化に根ざし社会映す	菅　伸子	朝日夕刊	4.28
ヴィクトール・オルタ「自邸(現オルタ美術館)」の考察―アール・ヌーヴォー室内空間小論―	梅田　一穂	文星紀要	21
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ガブリエル・オロスコ	松井みどり	美術手帖	933

（カ）

マシュー・カーターに宛てた２つのポスター作品	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	146
展覧会・イベントから１　生きるための方法／触媒としてのアート―「Trouble in Paradise：生存のエシックス」の周縁[スティーブ・カーツ]	高橋　悟	視覚の現場　四季の綻び	7
スロヴァキアが生んだ色彩の魔術師　ドゥシャン・カーライの超絶絵本とブラチスラヴァの作家たち―『アンデルセン童話集』の挿絵原画100点一挙初公開―	占部　敏子	フラミンゴ	102
日記のなかの建築家たち　第４回　磯崎新特集とカーン特集[ルイス・カーン]	中村　敏男	建築雑誌	1603
建築家アントニ・ガウディと美学者ミラ・イ・フンタナルス兄弟の関係について 建築家アントニ・ガウディの建築論的言説に関する研究(１)[アントニオ・ガウディ]	山村　健 入江　正之	日本建築学会計画系論文集	651
中国雕鈕作家列伝７ 郭功森	宏　風生	書道界	243
特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき CASE 4　カサット／すべての母は美しい　「メアリー・カサットを知っていますか」	島田　紀夫談	美術の窓	322
博士(文学)学位請求論文審査報告要旨 郎世寧の絵画―清朝宮廷における西洋人画家の絵画の内容を中心に―[ジュゼッペ・カスティリオーネ]	王　凱	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55

博士論文概要　The Painting of Lang Shining　郎世寧の絵画—清朝宮廷における西洋人画家の絵画の内容を中心に—[ジュゼッペ・カスティリオーネ]	〃	〃	〃
第22回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決定　建築部門で伊東豊雄氏が受賞！エンリコ・カステラーニ氏〔絵画〕、レベッカ・ホルン氏〔彫刻〕ら５部門５名に決定		新美術新聞	1229
第22回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔　限りなき表現への道　絵画部門　エンリコ・カステラーニ　主観を排した「光」の陰影		産　経	9.15
無私を究めた凸凹の陰影　絵画部門エンリコ・カステラーニさん	飯塚　友子	〃	10.5
ボルゲーゼ家の彫刻三態—古代彫刻、ベルニーニ、カノーヴァ—[アントニオ・カノーヴァ]	金井　直	視　る	445
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　イリヤ&エミリア・カバコフ	藤原えりみ	美術手帖	933
よそおう　アニッシュ・カプーアとブルガリ	編　集　部	芸術新潮	727
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　アニッシュ・カプーア	保坂健二朗	美術手帖	933
INFORMATION NEWS　カプーア・リングがブルガリから発売	高橋　美礼	〃	939
現代美術の歩き方 今月の一品　アニッシュ・カプーア「Tall Tree and the Eye」	清水　敏男	美術の窓	316
カラヴァッジョと17世紀前半のナポリの画家たち	木村　太郎	鹿島美術財団年報・別冊	27
遺骨発見！真筆公開!?カラヴァッジオ没後400年の空騒ぎ	前橋　重二	芸術新潮	730
展覧会評　「オランダのカラヴァッジョ—カラヴァッジョとユトレヒト派カラヴァッジェスキによる音楽と風俗画」展	阿部　愛	美術史学	30
INFORMATION MOVIE　カラヴァッジョの新作映画	宮下規久朗	美術手帖	933
視点　『カラヴァッジョ　天才画家の光と影』をめぐって	〃	美術の窓	317
没後400年記念展 母国に集うカラバッジョ　ローマに23点、世界からファン	南島　信也	朝日夕刊	3.31
ダニ・カラヴァンのインスタレーション：長崎県美術館における六つの試みに関する報告	野中　明	長崎県美術館研究紀要	3
第六十三回全国大会研究発表要旨　ビザンティン画家カリエルギスの画業—ヴェリアの救世主キリスト復活聖堂(1314／15年)の壁画装飾プログラム—	橋村　直樹	美 術 史	169
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ソフィ・カル	大森　俊克	美術手帖	933
美の履歴書138　何が決定的なのか「サン・ラザール駅裏、パリ」　アンリ・カルティエブレッソン	西田　健作	朝日夕刊	1.13
木村伊兵衛とカルティエ＝ブレッソン　２人の写真家を対比した展覧会開催	岸　桂子	毎日夕刊	1.6
ART＋　個性写すポートレイト[アンリ・カルティエ＝ブレッソン]	(前)	読売夕刊	1.4
私の空想美術館77 カルパッチョ『死せるキリストへの哀悼』[ヴィットーレ・カルパッチオ]	栗津　則雄	美術の窓	322
人・模・様　本の魅力をアートで表現[姜愛蘭]	明珍　美紀	毎日夕刊	4.24

跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　カン・スンモ	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144
特集　建築・有象無象　セクション２：有名性からのジャンプ　06　後年の康炳基―都市計画からマウルマンドゥルギへの転身	饗庭　　伸	建築雑誌	1600
展覧会・イベントから１　カンディンスキー・イン・ニューヨーク[ヴァシリー・カンディンスキー]	大坪　健二	視覚の現場　四季の綻び	4
カンディンスキー芸術理論の展開と写真的視覚―バウハウスにおけるモホイ＝ナジとの交差	水田　有子	東京芸術大学美術学部論叢	6
シャガール展　カンディンスキー「アフティルカ　赤い教会の風景」(1917年)		朝　　日	7.2
レンバッハハウス美術館所蔵　カンディンスキーと青騎士　抽象絵画ミュンヘンで開花	田中　正之	東　　京	11.1
カンディンスキーと青騎士の画家たち		東京夕刊	
１　美は、答えのない謎　花嫁　ヴァシリー・カンディンスキー	荻野アンナ		11.29
２　七合目あたりの「山」　山　ヴァシリー・カンディンスキー	平野啓一郎		11.30
３　音の感動そのままに　印象Ⅲ(コンサート)　ヴァシリー・カンディンスキー	青柳いづみこ		12.1
４　新鋭画家のメッセージ　牛、黄―赤―緑　ヴァシリー・カンディンスキー	池内　　紀		12.2
５　止まった「時間」の回復　《コンポジションⅦ》のための習作２　ヴァシリー・カンディンスキー	宇佐美圭司		12.3
「フレマール／ロヒール問題」をめぐる諸問題に関する一考察―『フレマールの画家とロヒール・ファン・デル・ウェイデン：近代絵画の誕生』展を機に―[ロベール・カンパン]	鈴木　伸子	東京芸術大学美術学部論叢	6

（キ）

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP１　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　マルティン・キッペンベルガー	清水　　穣	美術手帖	933
フォーカス・アイ　金暻善　韓国人作家が表現する日本式木版画	松山　龍雄	版画芸術	150
特集　新しいスターは彼らだ！新人大図鑑2010　編集部が選ぶ　注目の新人アーティスト42	金　　埻	美術の窓	321
特集　アート／アニメーション　幻の韓国アニメ上映、名古屋で[キム・チョンギ]		ＲＥＡＲ	23
作品「W-G-B」「W-P-B」	金　　孝卿	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14
金未来		art _ icle	33
巨匠　貴族の宝石、愛の象徴“玉”　京畿道無形文化財18号、玉石匠技能保有者　キム・ヨンヒ(金泳熙)	パク・ヒョンスク	コリアナ	17―1
金理有		art _ icle	31
Close-up　ガジ・ギャスディン　バングラデシュ、フランス等、国際的な活動と共に日本で35年、継続的に発表を続ける画家の心		ギャラリー*	305
現在通信　From NEWYORK　メキシコの旅行鞄[ロバート・キャパ]	富井　玲子	新美術新聞	1231
キャンベルの苦楽・考　お雇い外国人の収集美術品[エドアルド・キヨッソーネ]	ロバート・キャンベル	朝日夕刊	10.21

日韓友好に螺鈿の輝きを　来月韓国作家が作品展　夢は両国共同工房[吉正本]	篠ケ瀬祐司	東　京	2.28
FEATURE II　写真のエロス　スティーブン・ギル	後藤　繁雄	美術手帖	936
1470年代フィレンツェ派の祈念画におけるフランドル絵画の影響—ギルランダイオの初期作ブロッツイの《聖会話》を中心に—[ドメニコ・ギルランダイオ]	江藤　　匠	鹿島美術財団年報・別冊	27

（ク）

視線　ロベール・クートラス作品集　僕の夜　Mes Nuits　ロベール・クートラス画、小池昌代文	保坂健二朗	朝　　日	10.31
特集　ルーシー・リーに会いたい　わたしのルーシー・リー　エマニュエル・クーパー「彼女は静かなるカリスマだった」	エマニュエル・クーパー　談	芸術新潮	726
リンダ・ノックリン氏講演録「クールベと共に生きて—私の美術史家人生五十年」[ギュスターヴ・クールベ]	リンダ・ノックリン　川瀬　佑介訳	美術史研究	48
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ジェフ・クーンズ	長谷川祐子	美術手帖	933
INFORMATION EXHIBITION ジェフ・クーンズがマネ展にあわせて来日！	小口　尚思	〃	937
現代美術家ジェフ・クーンズ氏作品を語る　後期マネ優しいまなざし　丸の内・三菱一号館美術館「マネとモダン・パリ」開催中	市原　尚士	読売夕刊	5.27
特集　アート／アニメーション　ブラザーズ・クエイとポーランドのポスター芸術　アートとアニメーションの実り豊かな関係について[スティーヴン&ティモシー・クエイ]	赤塚　若樹	ＲＥＡＲ	23
文化イベント・レビュー　悲運の作家の真価を明らかにした「グォン・ジンギュ展」	キム・イスン	コリアナ	17−2
平成二十一年度報告我欲「画蛇添足」於「権鎮圭展」	朴　　亨國	美史研ジャーナル	7
Osamu's Invitation 29　パリのアメリカ人[ウィリアム・クライン]	原田　　治	芸術新潮	723
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」展からエミール・クラウス	宮澤　政男	毎　　日	
「刈草干し」			9.9
「夏の夕暮れ」			9.18
リー・クラズナー 1953—55年のコラージュ	大島　徹也	愛知県美術館研究紀要	16
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　トニー・クラッグ	保坂健二朗	美術手帖	933
私の空想美術館75 クラーナハ『エジプトへの逃避途上の休息』[ルーカス・クラナハ]	栗津　則雄	美術の窓	320
ARTIST INTERVIEW ダン・グラハム	鷲田めるろ聞き手	美術手帖	937
カルロ・クリヴェッリ作《カステル・トロジーノ祭壇画》の再構成	上原　真依	美 術 史	168
芸術新潮特別企画 ピエール・クリスタン「カフェは社会の縮図」		芸術新潮	726
近代美術の眼 Hayama　アブラハム・ダヴィッド・クリスティアン・画	保坂健二朗	読　　売	9.10
最愛の妻ジャンヌ＝クロードを喪ったクリストはアーカンザス川を覆えるか	前橋　重二	芸術新潮	730
ベルリンの議事堂を布で包んだ美術家クリスト氏に聞く　妻亡き後もプロジェクト継続	小川　敦生	日　　経	2.27
Art Chat Studio　10 中川太郎平×ディオニシス・クリストロフニアス	中川太郎平、ディオニシス・クリストロフニアス　談	ギャラリー*	299

第六十三回全国大会研究発表要旨　グスタフ・クリムトによるウィーン大学講堂天井画「医学」について—関連する人物素描に見られるマイブリッジの連続写真の受容を中心に—	前田　朋美	美術史	169
特集　猫　この愛らしくも不可思議な隣人　猫のスケルツォ　猫の目の画家[グスタフ・クリムト]	池内　紀	ユリイカ	588
視線　詩ふたつ　長田弘著、グスタフ・クリムト画	村山　由佳	朝日	6.13
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」11　平林奈緒美さんへ、『Objects』を。[ジョン・グルーエン]	森岡　督行	百科*	576
Recommend! Product　コンスタンティン・グルチッチによる「デザイン・リアル」展	土田　貴宏	デザインの現場	170
[特集]仲介の感性論　スイスの視覚教育—クレー＋ペスタロッチ[パウル・クレー]	デイヴィッド・ジェローム・パトナム　太田　純貴　翻訳	美術フォーラム21	21
想起と擬態—クロソウスキーによるロベルトから永劫回帰へ—[ピエール・クロソウスキー]	勝　道興	関西大学哲学	28
ジョージ・グロッス作《エドガー・アラン・ポオに捧げる》の来歴と展覧会歴について	中村　尚明	横浜美術館研究紀要	11
日記のなかの建築家たち　第10回　グロピウス邸からシンドラー邸へ[ヴァルター・グロピウス]	中村　敏男	建築雑誌	1609

（ケ）

ヨーハン・ケーニヒ作『蠅のとまる紙片を持つデューラー』をめぐって	秋山　聰	美術史論叢	26
ユーゴスラヴィアの芸術運動グループ・ゼムリャとイヴァン・ゲネラリッチ	嶋田　紗千	世田谷美術館紀要	11
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　マイク・ケリー	大森　俊克	美術手帖	933
ゲルマンさんが『ポストグローバル』刊行　ローカル文化の時代を予測　日本の伝統文化、工芸発信し[アレクサンダー・ゲルマン]	桐山　正寿	毎日夕刊	2.4
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　イザ・ゲンツケン	かないみき	美術手帖	933
PARIS 発　ウィリアム・ケントリッジのテーマ	安部　雅延	新美術新聞	1223
特集　アート／アニメーション　ウィリアム・ケントリッジの政治性	市原研太郎	REAR	23
美術家がアニメーション展　ケントリッジ、東芋、石田尚志　絵画に息吹動き始める	小川　敦生	日経夕刊	2.2
京都で毛筆　着想にW・ケントリッジ氏	木村　未来	読売	12.23

（コ）

日本における呉昌碩の受容—大正・昭和編(二)	松村　茂樹	中国近現代文化研究	11
中国雕鈕作家列伝８　林友琛／林友竹／周宝庭／黄信開／黄恒頌／王雷庭／林寿燻／林文舉	宏　風生	書道界	244
近代台湾美術における「故郷」—黄土水と陳澄波の作品を中心に—	邱　函妮	鹿島美術財団年報・別冊	27
コレクターとしてのモーリス・ドニ—ゴーガン・コレクションの形成と展覧会の機能をめぐって—[ポール・ゴーギャン]	小泉　順也	〃	〃
フランス近代絵画における仏陀の図像学的変容—ゴーガン、ルドン、セリュジエをつなぐ追慕の系譜—	〃	国学院雑誌	1243

タヒチにおけるポール・ゴーギャンの関連資料3　七月祭—ティウライとヘイヴァの歴史	田平　麻子	滋賀県立近代美術館研究紀要	8
ポール・セリュジエと20世紀初頭におけるゴーガン没後の表象—《ティテュルスとメリボエウス(さようならゴーガン)》をめぐって—	小泉　順也	日仏美術学会会報	29
第六十一回美学会全国大会報告　ポール・ゴーギャン〈ニルヴァーナ〉の主題解釈について	高久　馨	美　学	237
特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき CASE 7　ゴーギャン／「聖なる野蛮」の美しさ	編集部	美術の窓	322
特集　アジア美術的〈近代〉　第1部　「失われた無垢なわたし」という他者—東南アジア美術におけるゴーギャニズム	後小路雅弘	美術フォーラム21	21
海外通信　「ゴーギャン　神話の作り手」展　ロンドン　天才が語りかけてくる	菅　伸子	朝日夕刊	10.27
オルセー美術館展2010		日　経	
こう楽しむ　ゴーギャンとゴッホの対決　印象派の影響乗り越え　内面描写違いくっきり			5.4
印象派・ポスト印象派ゆかりの地を巡る　ゴーギャン@ブルターニュ　絶望の末光見いだす　素朴さが生んだ革新	窪田　直子		5.20
美の美　小林秀雄の眼3　ゴーガン	浦田　憲治	〃	6.13
アート・トーキング　ポール・ゴーギャン「かぐわしき大地」	柳沢　秀行	〃	11.11
箱の前に立つ私たちは、みな限りなくひとりになる—ジョゼフ・コーネルの宇宙	堀江　敏幸	芸術新潮	727
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ロバート・ゴーバー	沢山　遼	美術手帖	933
ぎゃらりいモール　三鷹市美術ギャラリー「リチャード・ゴーマンII」から「Sling Blue」Richard Gorman	浅倉祐一朗	読売夕刊	10.12
第六十一回美学会全国大会報告　ベノッツォ・ゴッツォリの「正面観」に関する一考察—画家の両面性を映す鏡としての「正面観」—	奥田亜希子	美　学	237
ファン・ゴッホ、画面の輝きを生み出す光[フィンセント・ファン・ゴッホ]	小林　英樹	愛知県立芸術大学紀要	39
直筆の手紙が語るゴッホの知性と理性	内田　さり	芸術新潮	724
お騒がせコレクターの“掘り出しもの”ゴッホ　36年目にして真作と判定	前橋　重二	〃	725
没後120年　愛蔵版特集　今こそ読みたい　ゴッホの手紙		〃	730
手紙902通、図版4300点　15年を費やした新版書簡全集完成！　インタヴュー　レオ・ヤンセン			
I　ゴッホの手紙を読む			
II　スペシャリストが読む　美術家はこう読む　ゴッホは生涯「まねぶ人」でした	森村　泰昌		
II　スペシャリストが読む　西洋近代美術史家はこう読む　ゴッホについて私が考える二、三の事柄	三浦　篤		
II　スペシャリストが読む　世界の研究者はこう読む　そこまでやるか！　ゴッホ研究最前線	前橋　重二		
特集　エコクリティシズム　芥川龍之介の感性と自然観[フィンセント・ファン・ゴッホ]	高橋　龍夫	水声通信	33

特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき CASE 6　ゴッホ／女の顔もゴッホになる　「『生きている』とはこのことだ」	深谷　克典談	美術の窓	322
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE12　ファン・ゴッホ　生真面目な独学デッサン　「ファン・ゴッホの小宇宙」	平井　章一	〃	324
美の履歴書178　見た気がするのは「種まく人」　フィンセント・ファン・ゴッホ	小川　　雪	朝日夕刊	10. 27
美の扉　命の輝き追った「努力の人」　ゴッホ展　画業10年で独自のスタイル確立	黒沢　綾子	産　　経	10. 24
没後120年　ゴッホ展　こうして私はゴッホになった		東　　京	
作風の成り立ち解き明かす	平井　章一		5. 3
息づかいみずみずしく　芸術へたゆまぬ冒険	シラール・ファン・ヒューフテン、エラ・ヘンドリクス談 三沢　典丈		9. 15
表現の多様性浮世絵に学ぶ	馬渕　明子		10. 4
創意と色彩　才能開花の軌跡　あすからゴッホ展　自然への畏怖、生命の崇高	平井　章一	〃	9. 30
ゴッホ展　展覧会をみて５　ウィレム・ファン・ゴッホさん絵の中にいるよう		〃	12. 4
ゴッホ、なぜ日本人に人気　「見やすい」２次元的画法	三沢　典丈	〃	12. 21
美の冒険家　ゴッホ１～10	〃	東京夕刊	10. 4～9、12～15
私のゴッホ５　失墜と栄光兄弟の木　草むらの中の幹	伊勢　英子	〃	10. 27
謎めく３枚の「寝室」の送り先　ゴッホ展に寄せて	圓府寺　司	〃	11. 5
オルセー美術館展2010		日　　経	
こう楽しむ　ゴーギャンとゴッホの対決　印象派の影響乗り越え　内面描写違いくっきり			5. 4
印象派・ポスト印象派ゆかりの地を巡る　ゴッホ@アルル　色鮮やかな地上の楽園			5. 20
美の美　小林秀雄の眼２　ゴッホ	浦田　憲治	〃	6. 6
アート・トーキング　フィンセント・ファン・ゴッホ　「アルルの寝室」	平井　章一	〃	12. 9
特集　ルーシー・リーに会いたい　ハンス・コパーがやって来た！	乾　由明解説	芸術新潮	726
運命が二人の出会いをもたらした…[ハンス・コパー]	西　マーヤ	陶　　説	685
「ハンス・コパー展―二十世紀陶芸の革新―」に寄せて	三浦　弘子	〃	〃
ラファエル・コランの画風形成初期の諸問題にまつわる基礎的調査―新出作品ならびに未調査資料を中心に	三谷　理華	高梨学術奨励基金年報	H21年度
ラファエル・コランとフォントネー＝オ＝ローズのアトリエをめぐる一考察	〃	美術史	168
アメデオ・ダル・ポッツォのためのモーセの物語画連作―プッサン、コルトーナ、ロマネッリの競演―[ピエトロ・ダ・コルトーナ]	倉持　充希	京都美学美術史学	9
16世紀パルマにおける古代研究の一側面―コレッジョのカーメラ・ディ・サン・パオロ装飾を中心に―	小松健一郎	鹿島美術財団年報・別冊	27
私の空想美術館79　コレッジョ『ヴィーナスとキューピッドとサテュロス』	栗津　則雄	美術の窓	324
作品　「2009年美短教員展」「生活密着型ブランド家庭用高圧洗浄機KARCHERの親環境パッケージデザインの研究」	孔　　鎭烈	秋田公立美術工芸短期大学紀要	14

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち フェリックス・ゴンザレス＝トレス	松井みどり	美術手帖	933
シャガール展 ゴンチャローワ「収穫物を運ぶ女たち」(1911年)[ナターリア・セルゲーヴナ・ゴンチャロヴァ]		朝 日	6.29
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(9)—ロンバルディア派(アンブロージョ・デ・プレーディスからソフォニズバ・アングイッソーラまで)[ベルナルディーノ・デ・コンティ]	上田 恒夫	金沢美術工芸大学紀要	54

(サ)

第六十三回全国大会研究発表要旨 ピーテル・ヤンスゾーン・サーンレダムの教会堂内部画——六四八年作《ハールレムの聖バーフォ聖堂身廊と大オルガン》の独自性とその意義—	高野 明子	美術史	169
eye ダイナミックな女性像で知られる造形作家 素顔のニキ・ド・サンファル	松本 路子	毎日夕刊	5.13

(シ)

世界コミックス最前線 5 解体再生されたヒーロー マクガイア『ポパイとオリーブ』[エルジー・クライスラー・シーガー]	小野 耕世	ユリイカ	577
私の空想美術館81 ジェリコー『メデュース号の筏』[テオドール・ジェリコー]	粟津 則雄	美術の窓	326
語りかける風景 中 アルフレッド・シスレー 家のある風景 身近な田園の魅力	宮澤 政男	毎 日	5.24
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち アンドレア・ジッテル	藤森 愛実	美術手帖	933
シニャックとベルギー：20人会から「民衆会館」へ[ポール・シニャック]	千足 伸行	美学美術史論集	18
特集 印象派・いい女66選 その美と毒に迫る！！印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき 技法分析 モネvsシニャック 「日傘の女」対決		美術の窓	322
世界コミックス最前線 4 9・5歳の女の子の冒険 マドレーン・ロスカ『ホロー・フィールズ』[スヴェトラナ・シマコヴァ]	小野 耕世	ユリイカ	576
“越境する”漫画家日本で活躍 中国の夏達さん「共感してもらえたらうれしい」		産 経	6.13
マンガ、ミステリー 中国語圏の若手台頭 感性や技法 日本と共通[夏達]	佐藤 憲一	読 売	7.27
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち シンディ・シャーマン	藤森 愛実	美術手帖	933
小美術館が格安ゲット ユダヤ人迫害に抗するシャガールの激レア作品[マルク・シャガール]	前橋 重二	芸術新潮	723
シャガールのパリ 色彩の詩人の足跡をたどる		〃	728
特集 謎解き名画—イコノグラフィ研究— 謎6 牛・頭が飛ぶ・腕を持つ鳥・蠟燭 「ロシアとロバとその他のものに」「彼女を巡って」[マルク・シャガール]	島津 京	美術の窓	323
シャガール物語		朝 日	
もがく若き内面			6.2
パリの集合アトリエで交流 出会い表現深める			6.16
「創造の女神」妻の絵も			7.7
シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い	西田 健作	〃	
二つの故郷結ぶ旅 没後25年進む復権			6.12

孤高の画家願った競演　故郷ロシアの仲間とともに			6.29
シャガール展		朝　日	
「ロシアとロバとその他のものに」(1911年)			6.21
「彼女を巡って」(1945年)			6.22
「日曜日」(1952～54年)			6.25
「死者」(1908年)			6.26
「収穫」(1910年以降)			6.28
「緑色の恋人たち」(1916～17年)			7.1
立体派の風景(1918～19年)			7.3
「家族の顕現」(1935／47年)			7.7
「赤い馬」(1938～44年)			7.8
「虹」(1967年)			7.9
「シリーズ　モーツァルト『魔笛』」から「パパゲーノ」(1966～67年)			7.10
「イカルスの墜落」(1974／77年)			7.13
シャガール展に孫ベラさん　愛と人生語った祖父		〃	8.4
美の履歴書164　首が宙に浮いたわけ「ロシアとロバとその他のものに」　マルク・シャガール	西田　健作	朝日夕刊	7.21
シャガール　ロシア・アヴァンギャルドとの出会い		〃	
「魔笛」色彩の妙　モーツァルトの集大成と融合	西田　健作		7.30
絵の中に入っていきたい　川上未映子さんシャガールを語る	高橋　秀喜		9.15
現代美術の歩き方　今月の一品　エラン・シャキネ　バルーン	水沢　　勉	美術の窓	322
マリオ・ジャコメッリ「黒と白の往還の果てに」	(睦)	読　売	1.17
表紙　展覧会出品作品紹介　エリザベート・シャプラン―フィレンツェのフランス人画家―	中井　康之	国立国際美術館ニュース	181
例会発表要旨 第114回例会　シャルダンの風俗画の造形―ロココ美術批判との関連で[ジャン＝バティスト＝シメオン・シャルダン]	船岡美穂子	日仏美術学会会報	29
フィリップ・ド・シャンパーニュ作《煉獄の魂》について	木村　三郎	日本大学芸術学部紀要	52
クリエイターズワーク＆ソウル　パトリック・ジュアン		ＡＸＩＳ	143
中国雕鈕作家列伝８　林友琛／林友竹／周宝庭／黄信開／黄恒頌／王雷庭／林寿燦／林文舉	宏　　風生	書道界	244
跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　ジューン＆ジュン	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144
収蔵作品から　ラルフ・シュライフォゲル「ハンリィ・ヴァン・ド・ヴェルド展」	稲塚　展子	どおむ	110
シュトゥットガルト時代のオスカー・シュレンマーとバウハウス	青木　加苗	鹿島美術財団年報・別冊	27
跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　ジョ・ウォンソク	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　徐美姫	徐　　美姫	美術手帖	937
都市と絵画の防衛機制―ジョルジョ・ディ・ジョヴァンニとシエナ戦争―	松原　知生	デアルテ	26
ぎゃらりいモール　東京都庭園美術館「イタリアの印象派　マッキアイオーリ展」から「水運びの娘」フランチェスコ・ジョーリ	牟田　行秀	読売夕刊	3.2
小さな町の小さな博物館でジョルジョーネ没後500年展	高橋　恵理	芸術新潮	722

巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL. 17　巨匠の構図を考える　画面はほぼ二等分　ジョルジョーネ		美術の窓	316
私の空想美術館76 ジョルジョーネ『老女(ラ・ヴェッキア)』	粟津　則雄	〃	321
跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　ジョン・スング	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144
ユビキタス社会と建築・都市のフロンティア　第１部　総論 ユビキタス社会と建築デザイン―映像・情報・編集　フィリップ・ジョンソンのガラスの家を介して―	石山　修武	建築雑誌	1599
日記のなかの建築家たち　第９回　ガラスの家[フィリップ・ジョンソン]	中村　敏男	〃	1608
《大洪水の情景》を中心とするジロデの「歴史画」作例の再検討[アンヌ＝ルイ・ジロデ・ド・ルーシー]	小林　　公	鹿島美術財団年報・別冊	27
バルザックとジロデ	村田　京子	日仏美術学会会報	29
例会発表要旨　第111回例会：19世紀フランスにおける絵画と文学の相関　文学と絵画の間テクスト性―バルザックとジロデ―	〃	〃	〃
特集　アート／アニメーション　幻の韓国アニメ上映、名古屋で[シン・ドンホン]		ＲＥＡＲ	23
青春の刻　沈和年 「一期一会」出会いを大切に		趣味の水墨画	254
日記のなかの建築家たち　第10回　グロピウス邸からシンドラー邸へ[ルドルフ・シンドラー]	中村　敏男	建築雑誌	1609

（ス）

瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist　小豆島　スゥ・ドーホー		美術手帖	938
スーチンの批評史にみるユダヤ性の解釈とその変容[シャイム・スーチン]	古舘　知子	芸術学研究(京都造形)	3
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL. 17　巨匠の構図を考える　水平と斜線による静謐　スーラ[ジョルジュ・スーラ]		美術の窓	316
特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき　技法分析　スーラ＆モーリス・エリオ	編集部 宮澤　政男	〃	322
千葉市美術館「ブラティスラヴァ世界絵本原画展とチェコの人形劇」から「カエルの城」フランチシェク・スカーラ	山根　佳奈	読売夕刊	10. 5
人・模・様　高速道の遮音壁で美術展[マークエステル・スキャルシャフィキ]	上杉　恵子	毎日夕刊	5. 1
美術の窓112　歴史を内在した作品[サイモン・スターリング]	浅野　秀剛	美のたより	170
建築家スタインブルックの提唱したシアトルの都市理念の特徴[ヴィクター・スタインブルック]	阿部　祐子	日本建築学会計画系論文集	653
世界コミックス最前線　9　八歳の女の子が町を仕切る　ジョン・スタンリーの『ルルーちゃん』	小野　耕世	ユリイカ	582
「ロトチェンコ＋ステパーノワ　ロシア構成主義のまなざし」展　腕力ある意匠日常に[ワルワーラ・ステパーノワ]	横尾　忠則	朝　　日	3. 29
跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　ステュディオ・ドットドットドット	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144
クリエイターズワーク＆ソウル　ストッケアウスタ		〃	〃
キルト工芸、静かなる挑戦[ストランド＋ヴァッス]	猪飼　尚司	デザインの現場	170

世界コミックス最前線 14 アヴァンギャルドから子どもマンガへ A・スピーゲルマンの『ブレイクダウンズ』[アート・スピーゲルマン]	小野 耕世	ユリイカ	588
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち キキ・スミス	平芳 幸浩	美術手帖	933
世界コミックス最前線 15 次元漂流する絵画泥棒 ジェフ・スミスの『ラズル』	小野 耕世	ユリイカ	589
資料紹介 ユージン・スミス「(夜景 日立市街地)」	大森 潤也	市民と博物館	96
日立工場取材時のユージン・スミス	天野 行造	〃	〃
FEATURE II 写真のエロス エディ・スリマン	三木あき子	美術手帖	936
創造神話 中国美術と漁船衝突事件 唐突さイメージ重なる[孫原]	菅原 教夫	読 売	11.18

(セ)

ティノ・セガール 絵画も彫刻もない美術展[ティノ・セーガル]	由本みどり	芸術新潮	724
美術館で見せるパフォーマンス・アート「ティノ・セーガル」展と「マリーナ・アブラモヴィッチ」展をめぐって	〃	美術運動史研究会ニュース	112
特集 「生誕120年小野竹喬」展によせて 竹喬と西洋近代絵画—そこからなにを学んだか 竹喬のセザンヌ受容再考[ポール・セザンヌ]	永井 隆則	現代の眼	580
例会発表要旨 第111回例会：19世紀フランスにおける絵画と文学の相関 ポール・セザンヌの鉄道主題—《ボニエールの船着場》(1866年夏)を中心に	秋丸 知貴	日仏美術学会会報	29
例会・研究発表会要旨 西部会 第二七九回研究発表会 セザンヌとフォーマリズム—ユリウス・マイヤー＝グレーフェ、ロジャー・フライ、クライヴ・ベル、クレメント・グリーンバーグを中心に	秋丸 知貴	美 学	237
特集 印象派・いい女66選 その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき CASE 8 セザンヌ／地に足をつけて生きる女	編 集 部	美術の窓	322
美の履歴書162 どこから見ているのか「台所のテーブル(篭のある静物)」 ポール・セザンヌ	小川 雪	朝日夕刊	7.7
オルセー美術館展 2010		日 経	
こう楽しむ モネとセザンヌの挑戦 印象派後それぞれの道 うつろう光・均質な空間			5.5
印象派・ポスト印象派ゆかりの地を巡る セザンヌ@エクス・アン・プロヴァンス 移ろう景色に永遠求め			5.20
美の美 小林秀雄の眼4 セザンヌ	浦田 憲治	〃	6.20
世界コミックス最前線 9 八歳の女の子が町を仕切る ジョン・スタンリーの『ルルーちゃん』[カレル・ゼマン]	小野 耕世	ユリイカ	582
フランス近代絵画における仏陀の図像学的変容—ゴーガン、ルドン、セリュジエをつなぐ追慕の系譜—[ポール・セリュジエ]	小泉 順也	国学院雑誌	1243
ポール・セリュジエと20世紀初頭におけるゴーガン没後の表象—《ティテュルスとメリボエウス(さようならゴーガン)》をめぐって—	〃	日仏美術学会会報	29
客員教授マーラ・セルベット氏特別講義報告		女 子 美	165

（ソ）

特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE 3　曽剣雄 初心者のための誌上デッサン教室：人物	曽 剣雄 談	美術の窓	324
ソットサスのデザインを蘇らせる　ロードゥイッセイの香水ボトル[エットレ・ソットサス]	土田　貴宏	ＡＸＩＳ	143

（タ）

彩・美・風　シカゴの空の下で[ヘンリー・ダーガー]	小出由紀子	朝日夕刊	5. 26
PARIS 発　ターナー芸術の背景を探る[ウィリアム・ターナー]	安部　雅延	新美術新聞	1210
美の履歴書141　屋敷がはるか遠いのは「タブリ・ハウス―准男爵 J・F・レスター郷の屋敷、風の強い日」J・M・W・ターナー	小川　　雪	朝日夕刊	2. 3
私の空想美術館74 ヴァン・ダイク『狩り場のチャールズ一世』[アンソニー・ヴァン・ダイク]	粟津　則雄	美術の窓	319
ジェームズ・ダイソンの法則　その11～15	ジェームズ・ダイソン	ＡＸＩＳ	144～148
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　リュック・タイマンス	保坂健二朗	美術手帖	933
世界コミックス最前線　7　メカ生命体で遊ぼう　Y・タイユフェールの『ITO』[ヤン・タイユフェール]	小野　耕世	ユリイカ	580
通信 J to A　アジアへ12　泥だらけの純情―ビハールから・ビハールへ[アニンディッタ・ダッタ]	黒田　雷児	新美術新聞	1222
写眼　向き合えた「死」「おそれ」　プレム・ダナイ「Fear is a Mistake」(2010年)	堀　　晃和	産　　経	10. 23
レクチャー　アーティスト　ジョアン・タバラ	ジョアン・タバラ　談	女 子 美	167
ダリ　妻への崇高な純愛　奇行“神話”先行　20世紀の巨人の知られざる素顔[サルバドール・ダリ]	村松　和明	日　　経	6. 17
ちきゅう　時の散歩　ダリ in フィゲラス　愛と希望の「墓」	林　　路郎	読売夕刊	12. 10
from the World　存在と非存在の間に人々を導くジェームズ・タレルの「ブリジッツ・バルド」	小町　英恵	ＡＸＩＳ	143

（チ）

現代美術の歩き方　今月の一品　崔在銀　アショカの森	重野　佳園	美術の窓	327
朝鮮戦争―あれから60年　韓国の非武装地帯	チェ・ビョンクァン	コリアナ	17－2
Close-up　チェン・ジャン・ホン　ヨーロッパ、アジア、アメリカとグローバルな展開を続ける伝統を踏まえた現代絵画		ギャラリー*	297
特集　エコクリティシズム　〈風景以前〉の発見、もしくは「人間化」と「世界化」[フレデリック・エドウィン・チャーチ]	野田　研一	水声通信	33
フセイン・チャラヤン　ファッションと体をめぐる冒険		芸術新潮	725
音楽と絵画、ふたつの才能に愛された芸術家　チュルリョーニスを知っていますか？[ミカロユス・チュルリョーニス]		〃	730
Part 1　音楽編　音楽からはじまる“表現欲”	小沼　純一		
Part 2　絵画編　すべては美しき大地のため辿りついた芸術世界	編　集　部		
音楽と絵画、ふたつの才能に愛された芸術家　チュルリョーニスを知っていますか？　チュルリョーニスとわたし			
その1　チュルリョーニスを胸に、リトアニア独立へ歩んだ道のり	ヴィータウタス・ランズベルギス		
その2　曾祖父が遺したもの	ロカス・ズボヴァス		

その３　「特別」である理由	ラサ・アンドリュシーテ＝ジュキエネ		
巨匠　美しい風を作る　扇子匠、趙忠翼	パク・ヒョンスク	コリアナ	17－2
作家通信　伊春と太行山の写生旅行	張　　地	趣味の水墨画	250
現代中国巧藝事情51～54　張伯駒とその収蔵人生１～４	仲　　佑樹	書道界	250～253
日本の植民地統治下の美術活動―植民地官展作家と審査員の作品の調査研究を中心に―[陳進]	ラワンチャイクン寿子	鹿島美術財団年報・別冊	27
近代台湾美術における「故郷」―黄土水と陳澄波の作品を中心に―	邱　　函妮	〃	〃

（ツ）

農民はヘリコプターの夢を観るか？　蔡國強	橋本　　梓	国立国際美術館ニュース	180
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP１〈現在形のアート〉を築く巨星たち　蔡國強(ツァイ・グオチャン)	平芳　幸浩	美術手帖	933
展覧会とアーティスト６　蔡國華展　厳しい砂漠で生きるモロッコの人達に感銘を受けました		ギャラリー*	306
ARTIST INTERVIEW ツァオ・フェイ	片岡　真実聞き手	美術手帖	932

（テ）

中国雕鈕作家列伝６　鄭仁蚊／林文宝	宏　　風生	書道界	242
視線　ドラゴンズドリーム　ロジャー・ディーン幻想画集　佐々木千恵訳	サエキけんぞう	朝　　日	3.7
ゆったりアート　多眼カメラの登場で[アンドレ＝アドルフ＝ウジェーヌ・ディスデリ]	岸　　桂子	毎日夕刊	6.11
翻訳　画家にして騎士、ティツィアーノ・ヴェチェッリオ・ダ・カドーレの生涯(２)[ティツィアーノ・ヴェチェリオ]	カルロ・リドルフィ　森田　義之、細野　喜代訳	五浦論叢	17
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP１　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　リクリット・ティラヴァニヤ	片岡　真実	美術手帖	933
Quiet Observation―ヴェネツィア・ビエンナーレのヴォルフガング・ティルマンス	伊藤　貴弘	東京都写真美術館紀要	9
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP１　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ヴォルフガング・ティルマンス	清水　　穣	美術手帖	933
FEATURE Ⅰ　ティルマンス｜エグルストン		〃	936
清水穣の特別講義　傑作＆キーワードで辿るティルマンスのすべて	清水　　穣		
ヴォルフガング・ティルマンス・インタビュー	伊東　豊子		
美術史家もお手上げ　誰かこのティントレット作品の謎を解いてください[ヤコポ・ティントレット]	前橋　重二	芸術新潮	728
PARIS 発　知られざる巨匠の再評価[ヤコブ・マイエル・デ・ハーン]	安部　雅延	新美術新聞	1215
デューラーにおける自画像成立の過程の研究(３)[アルブレヒト・デューラー]	下村　耕史	九州産業大学芸術学会研究報告	41
デューラーと遠近法―「ヨハネの黙示録」「ランダウアー祭壇画」「三位一体」にみられるある戦略―	齊藤　栄一	芸術学研究(明学)	20
話題の展覧会より　ドイツ・ルネサンスを代表する画家・版画家　アルブレヒト・デューラー　デューラー　ドイツ・ルネサンスの版画芸術	佐藤　直樹	版画芸術	149
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP１　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　マルレーネ・デュマス	長谷川祐子	美術手帖	933

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち ジェレミー・デラー	伊東 豊子	〃	〃

（ト）

芸術家たちの肖像 ロベール・ドアノー著		日 経	3.21
ドゥッチョ シエナ大聖堂大祭壇画の背面画—その意義と機能について—[ドゥッチョ・ディ・ブオニンセーニャ]	山崎 勝之	芸術学研究(京都造形)	3
視線 ルワンダ ジェノサイドから生まれて ジョナサン・トーゴヴニク著、竹内万里子訳	保坂健二朗	朝 日	11.28
写真集『ルワンダ ジェノサイドから生まれて』 ジャーナリズムの意味問う 翻訳者・竹内万里子さん「大変さ伝えるための出版でない」[ジョナサン・トーゴヴニク]	篠原 知存	産 経	10.18
展覧会に相次いで登場 新出「完全版」ドガ彫刻群に専門家の奇妙な沈黙[エドガー・ドガ]	前橋 重二	芸術新潮	726
話題の展覧会より 革新的な版画の制作		版画芸術	150
エドガー・ドガ			
エドガー・ドガ ドガの版画	沼田 英子		
特集 印象派・いい女66選 その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる ㊙技法講座つき CASE 3 ドガ／世界で一番贅沢なのぞき 「ドガの女性への視線」	沼田 英子談	美術の窓	322
美の履歴書175 陰影が深いわけ 「エトワール」 エドガー・ドガ	米原 範彦	朝日夕刊	10.6
美の扉 一瞬の輝き 躍動感描く ドガ展 美しいパステルの世界	黒沢 綾子	産 経	10.3
ゆったりアート のぞき見の視点で[エドガー・ドガ]	岸 桂子	毎日夕刊	9.24
ドガ展 18日開幕 横浜美術館 一瞬の輝き 1枚の絵に	フィリップ・ソニエ談 市原 尚士聞き手	読 売	9.5
ドガ展 日常生活 刹那の美しさ	城戸真亜子	〃	10.8
ぎゃらりいモール 横浜美術館「ドガ展」から「エトワール」エドガー・ドガ	沼田 英子	読売夕刊	10.26
上演 国際ダンスプロジェクト ワーク・イン・プログレス「磁場、あるいは宇宙的郷愁」[バジル・ドガニス]	森 下	慶応義塾大学アート・センター年報	17
コミック 天空のビバンドム ニコラ・ド・クレシー〈作〉 想像力を刺激する仏の傑作	ササキバラ・ゴウ	朝 日	11.14
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」展から ヴァレリウス・ド・サードレール	宮澤 政男	毎 日	
「冬景色(大)」			9.14
「ある暗い日の黄昏時」			10.4
フランダースだより 静けさ漂う見事な作品 展覧会コーディネーターヘレン・シンプソンさん[ヴァレリウス・ド・サードレール]	ヘレンシンプソン	毎日夕刊	9.14
「フランダースの光—ベルギーの美しき村を描いて」展から ギュスターヴ・ド・スメット「レイエ川」	宮澤 政男	毎 日	9.20
コレクターとしてのモーリス・ドニ—ゴーガン・コレクションの形成と展覧会の機能をめぐって—	小泉 順也	鹿島美術財団年報・別冊	27
国立西洋美術館所蔵モーリス・ドニ作《踊る女たち》について—失われた壁画連作《永遠の夏》とのかかわりを中心に	金澤 清恵	国立西洋美術館研究紀要	14
聖と俗の越境としての「訪問」—世田谷美術館所蔵モーリス・ドニ《日没の訪問》	横山由季子	世田谷美術館紀要	11
ゆったりアート 窓の外の澄んだ空[モーリス・ドニ]	岸 桂子	毎日夕刊	5.28

世界コミックス最前線　11　ブロンド女性に惹かれる男　エイドリアン・トミーネの『弱点』	小野　耕世	ユリイカ	584
ドラクロワによる「挿絵」連作《ファウスト》—多様な着想源と技法革新の統合の試み—[ウジェーヌ・ドラクロワ]	西嶋　亜美	京都美学美術史学	9
平成二十一年度西支部例会発表要旨　ドラクロワ作《墓地のハムレットとホレーシオ》—フランスにおけるシェークスピア受容の観点から—	〃	美術史	168
イタリアの展覧会　グエッリーノ・トラモンティ回顧展	唐澤　昌宏	陶　説	682
平成二十年度博士論文(課程)要旨　クリストファー・ドレッサーにおけるデザイン原理の生成と展開	武内　有子	大阪大学大学院文学研究科紀要	50
クリストファー・ドレッサーの作品に見られる日本の影響について—来日時の関心を中心に—	新谷　式子	関西大学哲学	28
デジタルの意味を再解釈するトロイカ　上海万博英国館のインスタレーションから、新たなオブジェの意義を探る	中島　恭子	ＡＸＩＳ	146
世界コミックス最前線　12　「かわいい」と「ブラック・ユーモア」のはざまで　L・トロンダイムの『遠くに見えるぼくの影』[ルイス・トロンダイム]	小野　耕世	ユリイカ	585
跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　ドン・ウォンピル	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144

(ナ)

写眼　切り取らず「描いた」体験　オサム・ジェームス・中川「BANTA(バンタ)」(平成20年)	三品　貴志	産　経	1.30
跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　ナム・サンウ	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144

(ニ)

読書をする人4　ルオン・シュアン・ニー	ラワンチャイクン寿子	新美術新聞	1221
バーネット・ニューマン　にゅーもん	近藤　学	芸術新潮	732

(ネ)

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　エルネスト・ネト	難波　祐子	美術手帖	933
ゆったりアート　名デザインの玩具[クルト・ネフ]	岸　桂子	毎日夕刊	8.20

(ノ)

「オランダのアート&デザイン新言語」展　人とジュエリーの関係とは?[テッド・ノーテン]	関　昭郎	読　売	11.17
碌山忌記念講演会「私の中の彫刻史—イサム・ノグチとの出会い—」	広井　力	碌山美術館報	30
終わりと始まり　イサム・ノグチの事績　自然に数歩寄った心地よさ	池澤　夏樹	朝日夕刊	3.6
イサム・ノグチ庭園美術館　財団法人イサム・ノグチ日本財団編		日　経	2.21
ISAMU NOGUCHI　イサム・ノグチ庭園美術館	(良)	読　売	4.11
エミール・ノルデの水彩画における「滲み」	大浦　周	美術史研究	48

(ハ)

特集　ルーシー・リーに会いたい　いやなものはいや　ルーシー・リーという生き方　インタヴュートニー・パークス		芸術新潮	726
「オランダのアート&デザイン新言語」展　創造力を刺激する新着想[マーティン・バース]	関　昭郎	読　売	11.16

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち デミアン・ハースト	長谷川祐子	美術手帖	933
海外通信 デミアン・ハーストの油彩画展 ロンドン 世界一豊かな美術家の現実	菅 伸子	朝日夕刊	1.27
チャールズ・バーチフィールド 知られざる幻想の森へ	由本みどり	芸術新潮	730
現在通信 From NEWYORK 作家企画の展覧会[チャールズ・バーチフィールド]	富井 玲子	新美術新聞	1223
モダニズムの殿堂を席巻する テイム・バートンのキッチュな世界	由本みどり	芸術新潮	723
インスピレーションアート 「マシュー・バーニー—傷と釘のある祈祷書の1ページ」展	暮沢 剛巳	A X I S	148
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち マシュー・バーニー	長谷川祐子	美術手帖	933
REVIEWS02 清水穣月評第24回 キリストの受難と性 「マシュー・バーニー：傷と釘のある、祈祷書の一頁」展	清水 穣	〃	943
カバーインタビュー／バーバー・オズガービー	中原紗代子	A X I S	144
from the World ソニーがバーバー・オズガービーとの競演で示した新たな空間像	土田 貴宏	〃	146
ケルムスコット・プレス版『ジェフリー・チョーサー作品集』、「騎士物語」におけるバーン＝ジョーンズの挿絵の考察[エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ]	吉田 公子	デアルテ	26
特集 謎解き名画—イコノグラフィ研究— 謎3 車輪・黄金・乳香・没薬・枝「聖カタリナの復讐する天使」「東方三博士の礼拝」[エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ]	冨田 康子	美術の窓	323
美の履歴書184 切なさが漂うわけ「プシュケを救い出すクピド」 エドワード・コリー・バーン・ジョーンズ	小川 雪	朝日夕刊	12.15
世界コミックス最前線 10 ホラー・コミックスの生理感覚 チャールズ・バーンズの『ブラック・ホール』	小野 耕世	ユリイカ	583
通信 J to A アジアへ13 最高賞は女子高生！—シンガポール大華銀行絵画賞[バイ・ティエン・ユエン]	黒田 雷児	新美術新聞	1224
創造神話 韓国の英雄ナムジュン・パイク 美しき人柄 ビデオアートの父	菅原 教夫	読 売	1.14
展覧会・イベントから2 闇に触れる—ミロスワフ・バウカ《事の次第》	加須屋明子	視覚の現場 四季の綻び	4
デューラーにおける自画像成立の過程の研究(3)[ディーリック・バウツ]	下村 耕史	九州産業大学芸術学会研究報告	41
調査研究から5 バウマイスター資料館での調査より——作家を起点に研究の経時的変化を辿る[ヴィリ・バウマイスター]	青木 加苗	視覚の現場 四季の綻び	4
例会・研究発表会要旨 西部会 第二七九回研究発表会 ブルーノ・パウル『タイプ家具』考案に関する一考察	三木 敬介	美 学	237
特集 印象派・いい女66選 その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき CASE 5 バジール／緑に溶け込むいい女 「28歳で死んだ『未完の印象派画家』バジール」[フレデリック・バジール]	島田 紀夫談	美術の窓	322

生誕50周年によみがえるバスキア未公開映像［ジャン＝ミッシェル・バスキア］		芸術新潮	732
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち ジャン＝ミッシェル・バスキア	藤森 愛実	美術手帖	933
INFORMATION MOVIE バスキアのドキュメンタリー映画 バスキアのいた1980年代からの距離	岡澤浩太郎	〃	946
美術講座 ストーブを囲んで ウォルター・パッチを語る	仁科 惇 武井 敏	碌山美術館報	30
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル 1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち デヴィッド・ハモンズ	沢山 遼	美術手帖	933
バルテュス《河岸（ポン・ヌフの近くの堤）》（1929）における人物像と風景の描写―「稚拙さ」という見地から―	松野 敬文	美学論究	25
明日への話題 バルテュスの胆力	入江 観	日経夕刊	7.20
現代美術の歩き方 今月の一品 ジル・バルビエ 「老人ホーム」	暮沢 剛巳	美術の窓	317
パルミジャニーノ研究―《長い首の聖母》について―	小笠原朋子	哲学会誌	34
ぎゃらりいモール 東京オペラシティアートギャラリー「エレメント セシル・バルモンドの世界」から「H edge（ヘッジ）」セシル・バルモンド	吉田 明子	読売夕刊	3.9
リサとガスパール＆ペネロペ展 かわいくって抱きしめたい［ゲオルグ・ハレンスレーベン］	石津ちひろ	〃	3.15
特集陳列 新収品展より油彩「華山桟道」潘玉良筆 京都国立博物館蔵	西上 実	京都国立博物館だより	166
作家通信 「掛軸の可能性」展に出品して	潘 星道	趣味の水墨画	250
《海外情報》お騒がせバンクシー、はじめての映画	編集部 あいだ	編集部	173

（ヒ）

ボンヌフォワとイタリア十五世紀〔クアトロチェント〕―「沈黙の画家」（1）［ピエロ・デッラ・フランチェスカ］	丸川 誠司	学術研究	58
ピエロ・デッラ・フランチェスカ作《聖十字架伝》の制作年をめぐる一試論	林 克彦	美学	236
ピエロ・デッラ・フランチェスカ作《聖十字架物語》再考―コンスタンティヌス帝に付与された新たなイメージ―	長沢 朝代	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
イタリア・ルネサンス時代の絵画技法に関する研究―セバスティアーノ・デル・ピオンボの石版画を中心に―	小林 明子	鹿島美術財団年報・別冊	27
平成二十一年度東支部例会発表要旨 ローマ劫掠と美術―セバスティアーノ・デル・ピオンボによるクレメンス七世の肖像を中心に―	〃	美術史	168
セバスティアーノ・ルチアーニ作、《サン・ジョヴァンニ・クリソストモ祭壇画》に関する一解釈―聖堂再建時における図像プログラムを視座に入れて―［セバスティアーノ・デル・ピオンボ］	須網美由紀	〃	169
実は枕絵も持っていた ピカソの「ジャポニスム嫌い」の真偽を徹底検証する	前橋 重二	芸術新潮	722
現在通信 From NEWYORK ピカソ合戦	富井 玲子	新美術新聞	1215
小林秀雄『近代絵画』論―〈ピカソ〉の成立をめぐる資料―	鈴木 美穂	日本女子大学紀要文学部	59
世紀転換期における「パリスの審判」像の変容について―パブロ・ピカソ《アヴィニョンの娘たち》を起点に―	孝岡 睦子	美術史	169

ピカソ、「直立の横臥像」からコラージュへ—回転の反復、あるいは再帰する《娘たち》—	東海林　洋	美術史研究	48
研究報告　日本におけるピカソの受容と歴史的回顧—影響、批評、収集の軌跡	塚田美香子	ブリヂストン・石橋美術館報*	58
修士論文概要　ピカソ《アヴィニョンの娘たち》の受容と変遷	東海林　洋	早稲田大学大学院文学研究科紀要	55
アート・トーキング　パブロ・ピカソ「ひじ掛け椅子で眠る女」	片多　祐子	日　経	2.10
ジョルジュ・ビゴーと明治中期のカトリック教会—在日フランス人における反教権主義について—	山梨　淳	日本研究	42
教室レポート　小・中・高・大にわたる歴史教育と課題—ビゴー風刺画「魚釣り遊び」を素材に—	田中　暁龍	歴史と地理	637
突飛と天才　5　嫉妬と喝采[ベルナール・ビュフェ]	春日　武彦	ユリイカ	577
美の履歴書146　絵の主役は誰なのか「キリストの十字架からの降下」　ベルナール・ビュフェ	小川　雪	朝日夕刊	3.10
SPECIAL FEATURE 新世代アーティスト宣言！　PART 2 私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　ヒョンギョン	ヒョンギョン	美術手帖	937
アクリリックス・ワールド60　ヒョンギョン	いしいよしゆき	〃	945
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　トーマス・ヒルシュホルン	かないみき	〃	933

（フ）

追憶のハリウッド'60s　詩・ボブ・ディラン　写真・バリー・ファインスタイン		日　経	10.3
クリエイターズワーク＆ソウル　ファッダサントス		A X I S	146
インタビュー　陶芸家・黄甲淳　21世紀版の朝鮮陶工	チョン・ヒュンモ	コリアナ	17−3
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ペーター・フィッシュリ＆ダヴィッド・ヴァイス	清水　穣	美術手帖	933
ARTIST INTERVIEW ペーター・フィッシュリ　ダヴィッド・ヴァイス	北出智恵子聞き手	〃	946
現代美術の歩き方　今月の一品　ペーター・フィッシュリ　ダヴィッド・ヴァイス　庭園にて	白坂　ゆり	美術の窓	326
特集　アート／アニメーション　実験アニメーションとスポンサー　フィッシンガー、ライ、マクラレン[オスカー・フィッシンガー]	後藤　俊司	R E A R	23
私の空想美術館72　ジャン・フーケ『シャルル七世の肖像』	粟津　則雄	美術の窓	317
フランソワ・ブーシェによる王立ボーヴェ製作所のタピスリー連作〈神の愛〉について—《バッコスとエーリゴネ》の愛をめぐって—	小林亜起子	鹿島美術財団年報・別冊	27
フランソワ・ブーシェのタピスリー《アポロンとクリュティエ》—着想源と制作意図に関する考察—	〃	美 術 史	169
シャガール展　プーニー「コンポジション」(1915〜16年)		朝　日	7.5
彫刻家アペル・レ・フェノサの研究[アペル・レ・フランシスコ・アントン・フェノサ]	野間口　泉	崇城大学芸術学部研究紀要	3
PARIS 発　芸術家の社会的感性[アルマン・フェルナンド]	安部　雅延	新美術新聞	1232
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL. 17　巨匠の構図を考える　明暗でバランスをとる　フェルメール		美術の窓	316
図鑑のように細密かつ馬鹿デカイ　ウォルトン・フォードの異彩動物画	かないみき	芸術新潮	725

コミュニケーションとしての建築　ディディエ・フィウザ・フォスティノへの問いかけ	暮沢　剛巳	ＡＸＩＳ	148
The Long Distance Chat　身体経験としての建築―ディディエ・フォスティノと語る	ディディエ・フィウザ・フォスティノ　禅野　靖司	建築雑誌	1610
現代中国巧藝事情50　溥儒と『平復帖』	仲　佑樹	書道界	249
「インドのピカソ」国籍離脱　ヒンズー至上主義者から迫害　イスラム教徒のフセイン氏　「女神の裸身」やり玉に[マクブール・フィダ・フセイン]	新居　益	読　売	3.3
アメデオ・ダル・ポッツォのためのモーセの物語画連作―プッサン、コルトーナ、ロマネッリの競演―[ニコラ・プッサン]	倉持　充希	京都美学美術史学	9
研究ノート　ニコラ・プッサン作《幼いピュロス王の救出》(1634年)―詩学と倫理学の交錯をめぐって	栗田　秀法	美学美術史研究論集	24
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座　VOL. 17　巨匠の構図を考える		美術の窓	316
円弧のバランス　フラ・アンジェリコ			
直角三角形と円弧　フラゴナール[ジャン・オノレ・フラゴナール]			
2009年度新収蔵作品　ジョルジュ・ブラック《静物》	村上　博哉	ゼフュロス	43
the activities of Pieter Brattinga[ピーター・ブラッティンガ]	西村　美香	明星大学研究紀要	18
SPECIAL FEATURE　新世代アーティスト宣言！　PART 2　私の作品を世界に問う！　新進気鋭の60人が誌上プレゼンテーション　ロバート・プラット	ロバート・プラット	美術手帖	937
ヨセフ・フランクのインテリアデザインに関する研究　ファルステルボ　夏の家・スウェーデン	八代美智子	名古屋造形大学紀要	16
シンポジウム報告「ブラングィン展シンポジウム」[フランク・ブラングィン]	宮崎　克己　大屋　美那　橋本　順光　小野　文子	ジャポニスム研究	30
西洋と日本の版画を交流させた画家　フランク・ブラングィン　ブラングィンの版画	大屋　美那	版画芸術	147
記者ノート　ブラングィン100年前の注目	前田　恭二	読　売	4.22
ぎゃらりいモール　国立西洋美術館「フランク・ブラングィン」から「海賊バカニーア」フランク・ブラングィン	大屋　美那	読売夕刊	3.16
語りかける風景　下　フランソワ＝ルイ・フランセ　アンティーブの眺め　大木に人生を重ね	宮澤　政男	毎　日	6.11
翻訳　ヴォルテッラーノ[バルダッサーレ・フランチェスキーニ]	カルロ・デル・ブラーヴォ　甲斐　教行　訳・註解	五浦論叢	17
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論―ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(９)―ロンバルディア派(アンブロージオ・デ・プレーディスからソフォニズバ・アングイッソーラまで)[フランチェスコ・フランチャ]	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	54
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座　VOL. 17　巨匠の構図を考える　斜めの鋭い線　フリードリヒ[カスパル・ダーフィット・フリードリヒ]		美術の窓	316
語りかける風景　上　ギュスターヴ・ブリオン　女性とバラの木　平和への思い熱く	宮澤　政男	毎　日	5.23
ブリューゲル版画　濃密おはなしワンダーランド[ピーテル・ブリューゲル]		芸術新潮	728
16世紀フランドル美術における多様化する猿の主題についての一考察[ピーテル・ブリューゲル]	廣川　暁生	古河歴史博物館年報	19

第六十三回全国大会研究発表要旨　ピーテル・ブリューゲル(父)作《サウロの回心》に関する一考察—作品解釈を中心に—	中田明日佳	美術史	169
特集　謎解き名画—イコノグラフィ研究—　謎4　傲慢・怪物・諺　「傲慢」「冥府へ下るキリスト」「学校でのロバ」[ピーテル・ブリューゲル]	廣川　暁生	美術の窓	323
17日からBunkamuraザ・ミュージアム　ベルギー王立図書館所蔵　ブリューゲル版画の世界　油彩画も源流は版画　他の画家と対比計150点	森　洋子	読売夕刊	7.13
ぎゃらりいモール　Bunkamuraザ・ミュージアム「ブリューゲル版画の世界」から「ホボケンの縁日」	〃	〃	8.3
SPECIAL FEATURE　現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　リチャード・プリンス	藤森　愛実	美術手帖	933
SPECIAL FEATURE　ディック・ブルーナの謎　ミッフィーの作者というだけでは、語りつくせない		〃	935
INTERVIEW　ブルーナが新作絵本を語る	森本　俊司　聞き手		
絵本にまつわる、謎をひもとく	森本　俊司		
ENCYCLOPEDIA　ディック・ブルーナ事典	今井　美樹　編集部		
キャラクターを通して感じる、作者の素顔	松岡希代子		
ストーリーの秘密に迫る	野坂　悦子		
INTERVIEW　祖父江慎が語るブルーナ　『うさこちゃん』に潜む遊び心とは？	編集部		
INTERVIEW　菊地敦己が語るブルーナ　ミニマルな色と形が生み出す最高のデザインとは？	白坂　ゆり		
INTERVIEW　町田久美が語るブルーナ　世界が共感するフラットな表現の秘密とは？	〃		
TRAVEL GUIDE　ブルーナの故郷ユトレヒトを訪ねて	森本　俊司		
INTERVIEW　ブルーナを日本に紹介した名編集者に聞く　松居直インタビュー	野坂　悦子　聞き手		
INFORMATION MEMORIAL　追悼　ルイーズ・ブルジョワ	藤森　愛実	美術手帖	940
追悼　ルイーズ・ブルジョワ　ぬぐい去れぬ記憶が作品に	渋沢　和彦	産経	6.9
寓意画としての農婦—ジュール・ブルトンの農民画—	賀川　恭子	山梨県立美術館研究紀要	24
ダン・フレヴィンとコンセプチュアル・アート	水沼　啓和	採蓮*	13
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(9)—ロンバルディア派(アンブロージョ・デ・プレーディスからソフォニズバ・アングイッソーラまで)	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	54
レオン・フレデリック作《万有は死に帰す、されど神の愛は万有をして蘇らしめん》(大原美術館所蔵)について	福満　葉子	鹿島美術財団年報・別冊	27
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist 男木島　ジャウメ・プレンサ		美術手帖	938
1910年アントウェルペン都市圏改造国際設計競技1等案—アンリ・プロストによる建築と都市計画に関する考察　その1—[レオン・アンリ・プロスト]	三田村哲哉	日本建築学会計画系論文集	658
つかのまと不朽の間—ブロンヅィーノ《幸福の寓意》—[アーニョロ・ブロンズィーノ]	平川　佳世	京都美学美術史学	9
マニエリスムの巨匠ブロンズィーノの艶めかしい素描を総覧	前橋　重二	芸術新潮	724

(へ)

世界の中の韓国人写真で描いた水墨画裴炳雨の絵画的な写真の世界	ユン・セヨン	コリアナ	17−1
日記のなかの建築家たち　第11回　アンビルト・アーキテクトたち[ジョン・ヘイダック]	中村　敏男	建築雑誌	1610
フランシス・ベーコン作《ベラスケス作〈教皇インノケンティウスX世〉による習作》に関する一考察—「塗り」と「開かれた口」を中心に	桝田　倫広	美　学	236
第六十三回全国大会研究発表要旨　フランシス・ベーコン作品に対する批評の転回とその文化的背景—イギリス国内における抽象表現主義受容と関連して—	〃	美術史	169
史料翻訳　カーレル・ファン・マンデル『絵画の書』(一六〇四)(一一)[マールテン・ファン・ヘームスケルク]	深谷　訓子 尾崎　彰宏	美術史学	30
ベクシンスキ作品集成I　ズジスワフ・ベクシンスキ著		日　経	5.30
カバーインタビュー／サム・ヘクト	中原紗代子	A X I S	143
from the World　現代デザインへの“怒り”が問いかけるものとは？　マーリとペッツィーニによる二人展[ガブリエレ・ペッツィーニ]	伊藤　格	〃	144
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　レイモンド・ペティボン	松井みどり	美術手帖	933
アレッサンドロ・ベドリ・マッツォーラ(に帰属)《ヴィーナスとキューピッド》—用いられた材料と技法について	高嶋　美穂	国立西洋美術館研究紀要	14
第六十三回全国大会研究発表要旨　シュトゥットガルト美術アカデミーとバウハウス[アードルフ・ヘルツェル]	青木　加苗	美術史	169
ボルゲーゼ家の彫刻三態—古代彫刻、ベルニーニ、カノーヴァ—[ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ]	金井　直	視　る	445
H. P. ベルラーへの言説にみる「普遍性」の理念を軸とした思想の展開に関する考察　ヘンドリック・ペトルス・ベルラーへ研究(I)	宇田　直史 入江　正之	日本建築学会計画系論文集	652
〈単一瞬間・単一焦点〉：アーヴィング・ペンの実験写真から解明される、自明的な「写真」の構造	内野　博子	美　学	237
古民家を生かす　カール・ベンクスさんに聞く　忍び難い文化の喪失　職人技存続の機会に	木戸　純生	日経夕刊	12.11

(ホ)

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010 STEP 1 〈現在形のアート〉を築く巨星たち　黄永砯(ホアン・ヨンピン)	片岡　真実	美術手帖	933
SPECIAL FEATURE ヨーゼフ・ボイス　いま、ヨーゼフ・ボイスから受け継ぐもの		〃	932
ボイスをめぐるキーワード	暮沢　剛巳		
ヨーゼフ・ボイスと芸術の廃棄〔ネゲントロピー〕	椹木　野衣		
J. McN. ホイッスラーの作品と芸術論についての日本における紹介—東西交流の視点から林忠正、岩村透、久米桂一郎を中心に—	小野　文子	ジャポニスム研究	30
喪われゆくものへの熱狂—ホセ・グアダルーペ・ポサダの「再発見」をめぐる研究ノート	塚田　美紀	世田谷美術館紀要	11
ビクトリアス・ポター展　イギリスの自然を愛し、ピーターラビットを生んだ画家	(N)	潮　流	103

第六十三回全国大会研究発表要旨　デイヴィッド・ホックニーと〈時〉のパースペクティヴ―マルセル・プルースト『失われた時を求めて』との関わりから―	田中　麻帆	美術史	169
北方にエロスを！ヤン・ホッサールトの官能ルネサンス	前橋　重二	芸術新潮	732
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座　VOL. 17　巨匠の構図を考える　三角構図と円弧　ボッティチェリ[サンドロ・ボッティチェリ]		美術の窓	316
美術界の力と裏方としての女性：エドワードおよびジョー・ホッパーの事例	ゲイル・レヴィン　龍野　有子訳	岡山大学文学部紀要	54
現在通信　From NEWYORK　作家企画の展覧会[デニス・ホッパー]	富井　玲子	新美術新聞	1223
論文要旨《修士》ボッロミーニ研究―サン・カルロ・アッレ・クアトロ・フォンターネ聖堂を中心に―[フランチェスコ・ボッロミーニ]	塩野　太一	美術史論集	10
INFORMATION MEMORIAL　追悼　ジグマー・ポルケ	清水　穣	美術手帖	943
パリっ子の度肝を抜く　ボルタンスキーの古着マウンテン[クリスチャン・ボルタンスキー]	阿部明日香	芸術新潮	723
SPECIAL FEATURE　現代アーティスト・ファイル　1980〉〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　クリスチャン・ボルタンスキー	藤原えりみ	美術手帖	933
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist　豊島　クリスチャン・ボルタンスキー		〃	938
ドクドク　人の心臓音が作品　瀬戸内・豊島に美術館　ボルタンスキー氏	西田　健作	朝日夕刊	6.30
ヘルドルプ・ホルツィウスのケルンにおける活動	河内　華子	鹿島美術財団年報・別冊	27
第22回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決定　建築部門で伊東豊雄氏が受賞！　エンリコ・カステラーニ氏〔絵画〕、レベッカ・ホルン氏〔彫刻〕ら５部門５名に決定		新美術新聞	1229
ロレックス　メントー&プロトジェ　アート・プログラム　師弟関係を越えていく現代のメントーシップ[レベッカ・ホルン]	伊東　豊子	美術手帖	933
ARTIST INTERVIEW　レベッカ・ホルン	長谷川祐子	〃	〃
第22回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔　限りなき表現への道　彫刻部門　レベッカ・ホルン　交流意欲生む「動く作品」		産経	9.15
小説家平野啓一郎が見た美術展　「レベッカ・ホルン展―静かな叛乱　鴉と鯨の対話」	平野啓一郎	日経	1.14
@展覧会　レベッカ・ホルン展　身体にこだわり鋭く迫る	岸　桂子	毎日夕刊	1.19
論文要旨《修士》ジャクソン・ポロック研究―同時代の美術史・美術批評再考を中心に―	田中　景子	美術史論集	10
創造神話　中国美術と漁船衝突事件　唐突さイメージ重なる[彭禹]	菅原　教夫	読売	11.18
コミック　ロマンスタムくんのラブストーリー短編集　ウィスット・ポンニミット〈作〉　誰かを思う気持ちは千差万別	山脇　麻生	朝日	2.28

（マ）

現代美術の歩き方　今月の一品　ドリット・マーグライター　パビリオン	倉林　靖	美術の窓	324
from the World　現代デザインへの“怒り”が問いかけるものとは？　マーリとペッツィーニによる二人展[エンツォ・マーリ]	伊藤　格	ＡＸＩＳ	144
時評１　「いのち」と美の出会い[エンツォ・マーリ]	米田　耕司	視覚の現場　四季の綻び	5

エンツォ・マーリの考える手 「ここにない場所」をイメージする力	田代かおる	デザインの現場	170
シークエンス写真の表現技法に関する研究 デュアン・マイケルズの作品を中心に	許　丙燦	芸術学研究(筑波)	14
高速コマ撮りから合成風景までエドワード・マイブリッジの痛快アイデア写真人生	前橋　重二	芸術新潮	732
世界コミックス最前線 5 解体再生されたヒーロー マクガイア『ポパイとオリーブ』[リチャード・マクガイア]	小野　耕世	ユリイカ	577
特集 アート／アニメーション 実験アニメーションとスポンサー フィッシンガー、ライ、マクラレン[ノーマン・マクラレン]	後藤　俊司	ＲＥＡＲ	23
構成部材から見たC. R. マッキントッシュの椅子デザインの研究—C. R. マッキントッシュのインテリアデザインに関する研究(その1)—	髙橋　敏郎 河田　克博	日本建築学会計画系論文集	648
FEATURE Ⅱ 写真のエロス ライアン・マッギンレー	藤森　愛実	美術手帖	936
ゴードン・マッタ＝クラーク作品における料理の意味	平野千枝子	美　学	237
アンリ・マティスによる、バレエ「赤と黒」のための舞台装飾について	森　美樹	愛知県美術館研究紀要	16
122枚のＸ線写真が語るアンリ・マティスの塗り込められた絵画的試行	前橋　重二	芸術新潮	727
PARIS発 マティスとロダン、フランス２人の巨匠	安部　雅延	新美術新聞	1207
マティス試論(II)—絵画と装飾性	中林　和雄	東京国立近代美術館研究紀要	14
例会・研究発表会要旨 西部会 第二七七回研究発表会 アンリ・マチス『ジャズ』のテクストをめぐる試論	大久保恭子	美　学	236
研究報告 マティスの絵画空間	塩島　明美	ブリヂストン・石橋美術館報*	58
特集・座談会 「観○光」EXPO2010 京都の歴史、日本と向き合うアーティストたち	榎　俊幸 ゲオーク・マテス 中堀　慎治 塙　冨士雄 間島　秀徳 山内　隆 ヤン・シャオミン	ギャラリー*	307
世界コミックス最前線 8 俗悪コミックスが再浮上する マニウスの『ネクロン』	小野　耕世	ユリイカ	581
特集 ふしぎなマネ	三浦　篤	芸術新潮	725
Q1 絵だけで食べていけた？[エドゥアール・マネ]			
Q2 モデルと恋愛関係はなかったの？			
Q3 マネは印象派ではない？			
Q4 注目されたくて、わざと問題作を描いたのでは？			
Q5 じつは絵が下手じゃないですか？			
Q6 マネの絵に隠された意味はある？			
Q7 本当に「近代絵画の父」なのか？			
おわりに アスパラ一本に、19世紀がつまっている[エドゥアール・マネ]	高橋　明也	〃	727
構図のはなし9 日本的画面の形とその魅力—団扇と扇子—[エドゥアール・マネ]	和田　宏子	趣味の水墨画	251
ふたつの鏡《12》[エドゥアール・マネ]	松浦　寿夫	水声通信	33
特集 印象派・いい女66選 その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき CASE 2 マネ／強いまなざしの女「マネが起こした女性画革命とは？」	高橋　明也談	美術の窓	322

ボストン美術館展 西洋絵画の巨匠たち 巨匠の引力　姜尚中さん×エドゥアール・マネ 「揺れ動く心」感じる		朝　日	4.30
彩・美・風　色彩の官能、クールな眼差し[エドゥアール・マネ]	高橋　明也	朝日夕刊	6.2
邂逅　カルチャー時評　中条省平　マネの絵画と都市空間	中条　省平	産　経	5.9
アート・トーキング エドゥアール・マネ「すみれの花束をつけたベルト・モリゾ」	高橋　明也	日　経	5.13
「マネとモダン・パリ」展		読　売	3.26
三菱一号館美術館館長　高橋明也さん　平面的色彩 斬新な表現	〃		
オルセー美術館主任学芸員　カロリーヌ・マチューさん　生粋の都会っ子	カロリーヌ・マチュー		
現代美術家ジェフ・クーンズ氏作品を語る　後期マネ優しいまなざし　丸の内・三菱一号館美術館「マネとモダン・パリ」開催中	市原　尚士	読売夕刊	5.27
実験的対話—inside out—ULTRA FACTRY　ピーター・マリゴールド　ワークショップ	荒木　遥	瓜生通信	51
第六十一回美学会全国大会報告　フランツ・マルク《動物の運命》(一九一三年)再考—モニスムス的自然観、自然保護運動との関連において—	森山　緑	美　学	237
レンバッハハウス美術館所蔵　カンディンスキーと青騎士 抽象絵画ミュンヘンで開花[フランツ・マルク]	田中　正之	東　京	11.1
FEATURE II　写真のエロス　アリ・マルコポロス	伊東　豊子	美術手帖	936
マンテーニャ作《サン・ゼーノ祭壇画》に関する一考察[アンドレア・マンテーニャ]	小松原　郁	美　学	237
マンテーニャ作〈夫婦の間　Camera degli sposi〉—主題解釈に関する一考察—	池田　郁	美学芸術学	25
論文要旨《博士》アンドレア・マンテーニャ研究—「カエサルの凱旋」を中心に—	盛本　直美	美術史論集	10
マン・レイ展：無頓着、しかし無関心ではなく	ジョン・ジェイコブ　福　のり子	国立国際美術館ニュース	180
マン・レイ	石原　悦郎	〃	〃
現在通信　From NEWYORK　またの名をマン・レイ	富井　玲子	新美術新聞	1209
話題の展覧会より ヴェールを脱いだ「光の男」マン・レイ 差出人はマン・レイ	石原　輝雄	版画芸術	148
マン・レイ展　知られざる創作の秘密 常識超え時代先取り	宝玉　正彦	日　経	7.10

(ミ)

ミース・ファン・デル・ローエの言説にみるプロポーションの意味[ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ]	佐野　潤一	日本建築学会計画系論文集	658
ドイツ人画家、ミューラーさん　東京タワーに3D路上アート[エドガー・ミューラー]		産　経	2.10
第六十三回全国大会研究発表要旨 「親密なるスラヴ民族」—水上パレード企画に見る総合芸術家としてのムハ—[アルフォンス・ミュシャ]	小野　尚子	美術史	169
美の履歴書160　足元の人影はなに「ジスモンダ」 アルフォンス・ミュシャ	米原　範彦	朝日夕刊	6.23
クリエイターズワーク&ソウル　ジョルディ・ミラ		AXIS	148
この一点　モネとジヴェルニーの画家たち展　リチャード・ミラー「水のある庭」	宮澤　政男	毎　日	12.16
インタビュー　利茶土ミルグリム氏に聞く　利茶土窯の軌跡と今後	梶山　博史 聞き手	淡　交	789
美の履歴書152　顔がおぼろげなのは「馬鈴薯植え」 ジャンフランソワ・ミレー	西田　健作	朝日夕刊	4.21

特集　謎解き名画―イコノグラフィ研究―　謎7　女性と鏡「女と鏡」[ジョアン・ミロ]	薗部　容子	美術の窓	323

(ム)

特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL. 19 CASE14　ヘンリー・ムア　彫刻のデッサン力「ヘンリー・ムアの素描」[ヘンリー・ムーア]	中村　節子	美術の窓	324
社会人　第96話　伝統の灯火絶やさず 1　京町屋の美学　国籍超え[ジェフリー・ムーサス]	田村　城	日　経	11.7
ブルーノ・ムナーリのワークショップの実践	中尾　貴子	川崎市市民ミュージアム紀要	22
特集　ブルーノ・ムナーリ展「1985 東京　ムナーリ　それから」	有福　一昭	Corridart	6
色を巡る「中村桂子×エマニュエル・ムホー展 色層／shi-kiso：呼応する色たち」より	中村　桂子	東北芸術工科大学紀要	17

(メ)

SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　アネット・メサジェ	藤原えりみ	美術手帖	933
この一点　モネとジヴェルニーの画家たち展　ウィラード・レロイ・メトカーフ「百合の池」	宮澤　政男	毎　日	12.14
第六十三回全国大会研究発表要旨　十五世紀末のフランドル絵画に見られる新たな画面空間構成法の発想源を求めて―メムリンク作《キリストの受難》の場合―[ハンス・メムリンク]	平岡　洋子	美術史	169

(モ)

アート・トーキング　アメデオ・モディリアーニ「ルニア・チェホフスカの肖像」	坂本　恭子	日　経	8.19
モネとジヴェルニーの画家たち[クロード・モネ]	橋村　直樹	岡山県立美術館ニュース	91
30年ぶりの大回顧展でようやくパリジャンも認めたモネの真価	越谷　真久	芸術新潮	731
モネとプルースト	六人部昭典	実践女子大学美学美術史学	24
PARIS 発　根強いモネの人気	安部　雅延	新美術新聞	1229
オランジュリー美術館《睡蓮》についての考察―周縁的モティーフから読み解く[クロード・モネ]	鈴木　直子	美学美術史研究論集	24
特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき　技法分析		美術の窓	322
モネ vs ルノワール　陽光のなかの母子像　技法対決	後藤結美子		
モネvs シニャック「日傘の女」対決			
ボストン美術館展　西洋絵画の巨匠たち		朝　日	
モネを愛したボストン	高木　友絵		4.15
巨匠の引力　蜷川美花さん×クロード・モネ　本当はアヴァンギャルド			4.30
印象派の故郷へ　ノルマンディーを訪ねて1　モネが追いかけ続けた光	黒沢　綾子	産　経	7.21
美の扉　画家を引き寄せる「伝説の村」モネ創作の源泉　仏ジヴェルニー	〃	〃	12.19
オルセー美術館展 2010		日　経	
こう楽しむ　モネとセザンヌの挑戦　印象派後それぞれの道　うつろう光・均質な空間			5.5
印象派・ポスト印象派ゆかりの地を巡る　モネ@ノルマンディー　一瞬の自然を切り取る			5.20
美の美　日本の「睡蓮」上、下[クロード・モネ]	田村　広済	〃	11.28、12.5

この一点　モネとジヴェルニーの画家たち展　クロード・モネ「睡蓮」	宮澤　政男	毎　　日	12.8
ぎゃらりいモール		読売夕刊	
松岡美術館「モネ・ルノワールと印象派・新印象派展」から「サン＝タドレスの断崖」クロード・モネ	寺島いずみ		7.6
ブリヂストン美術館「セーヌの流れに沿って」から「セーヌ河の朝(ジヴェルニーのセーヌ河支流)クロード・モネ	田所　夏子		12.7
カンディンスキー芸術理論の展開と写真的視覚—バウハウスにおけるモホイ＝ナジとの交差[ラスロー・モホイ＝ナジ]	水田　有子	東京芸術大学美術学部論叢	6
「モランディ」に触れる—個人的体験と通じて２—[ジョルジオ・モランディ]	伊藤　厚美	A　　S	33
視点　モランディ三昧の旅「イタリア・ボローニャ」	〃	美術の窓	318
突飛と天才　６　マンネリ王[ジョルジオ・モランディ]	春日　武彦	ユリイカ	579
ウィリアム・モリス—芸術と政治(１)	勝俣　好充	純心人文研究	16
ケルムスコット・プレス版『ジェフリー・チョーサー作品集』、「騎士物語」におけるバーン＝ジョーンズの挿絵の考察[ウィリアム・モリス]	吉田　公子	デアルテ	26
ウィリアム・モリスの制作論における「手工芸」の問題　アーツ・アンド・クラフツ運動の背景的思想として	杉山　真魚	日本建築学会計画系論文集	655
19世紀末フランスにおける母子像の問題—ベルト・モリゾ《ゆりかご》(1872年)から—	林　　有維	お茶の水女子大学人文科学研究	6
構図のはなし　最終回　物語の世界を楽しむ—絵巻物を中心に—[ギュスターヴ・モロー]	和田　宏子	趣味の水墨画	252
贖われた詩想—ギュスターヴ・モロー作《死せる竪琴》について—	金岡　直子	フィロカリア	27

(ヤ)

世界コミックス最前線　６　トランスフォーマーを夢見てG・L・ヤン『アメリカ生まれの中国人』[ジーン・ルエン・ヤン]	小野　耕世	ユリイカ	579
特集・座談会　「観○光」EXPO2010　京都の歴史、日本と向き合うアーティストたち	榎　俊幸 ゲオーク・マテス 中堀　慎治 塙　冨士雄 間島　秀徳 山内　隆 ヤン・シャオミン	ギャラリー*	307
楊廷宝の建築作品における軸の設計手法に関する研究	曲　　芸 重村　力 浅井　保	日本建築学会計画系論文集	651
ヤンフードン　老将軍ともの喰う人びと		芸術新潮	724
ARTIST INTERVIEW 楊福東(ヤン・フードン)	中井　康之 聞き手	美術手帖	935
現代美術家・楊福東が日本初個展　水墨調に中国を撮る「生命、生存、生活」がテーマ	西田　健作	朝日夕刊	1.20
「老」「死」「命」人間の根源えぐる　「ヤン・フードン—将軍的微笑」展	渋沢　和彦	産　　経	2.10
@展覧会　ヤン・フードン　将軍的微笑	岸　　桂子	毎日夕刊	2.2
「ヤン・フードン—将軍的微笑」展　過去と断絶された中国	高野　清見	読　　売	3.4

(ユ)

クリエイターズワーク＆ソウル　ユアフレンズ		ＡＸＩＳ	145
この人　上海万博日本館で書を担当　横浜市在住の中国人書家　熊峰さん	小池　真一	東　　京	6.6
展覧会訪問　日本人に愛され続けてきたユトリロ展[モーリス・ユトリロ]	千足　伸行	ギャラリー*	300
レビュー　尹熙倉展—はざかい	土田　真紀	ＲＥＡＲ	23

(ヨ)

Recommend! Product　ヘラ・ヨンゲリウスがヴィトラのカラー・ディレクターに	土田　貴宏	デザインの現場	169

（ラ）

特集　アート／アニメーション　実験アニメーションとスポンサー　フィッシンガー、ライ、マクラレン[レン・ライ]	後藤　俊司	ＲＥＡＲ	23
F. L. ライト『A TESTAMENT 遺言』とそのエピグラフにみる「GROWTH 成長」―「the seed　種」から「the flowers　花々」へ―[フランク・ロイド・ライト]	星谷　俊朗	日本建築学会計画系論文集	653
ライト式建築日本に根付く　「自然と環境に呼応」弟子らに脚光	窪田　直子	日経夕刊	8.16
ヴィンチェンツォ・ラグーザによる博物館への寄贈品―東京国立博物館所蔵　工部美術学校の教材および習作を中心として―	土屋　裕子	東京国立博物館紀要	45
人・模・様　驚きと安らぎの空間づくり[アリ・ラヒム]	永田　晶子	毎日夕刊	1.16
素描１枚で42億円！落札記録を塗りかえたラファエロのデッサン力	前橋　重二	芸術新潮	722
美の履歴書143　名画に化けたわけ「一角獣を抱く貴婦人」ラファエロ・サンツィオ	西田　健作	朝日夕刊	2.17
ラファエロ「大公の聖母」　原画の復元是非論争必至	松浦　一樹	読　　売	5.27
文化往来　ラリック、箱根寄木細工に触発された⁉[ルネ・ラリック]		日　　経	5.20
18世紀英国のゴシック・リヴァイヴァルにおけるパティ・ラングレイの影響『復興され改良されたるゴシック建築』を中心に	豊口真衣子	日本建築学会計画系論文集	650

（リ）

李禹煥氏の見解―本誌171号の拙稿についての対話から	本阿弥　清	あいだ	175
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド Pick up Artist　直島　李禹煥		美術手帖	938
SPECIAL FEATURE この夏行きたい！アートの旅　SETOUCHI GUIDE 4　瀬戸内国際芸術祭参加アーティストに聞く！李禹煥	白坂　ゆり	〃	940
建築家・安藤忠雄×現代美術家・李禹煥@香川・直島　ぶつかり合って新美術館	森本　俊司	朝日夕刊	6.16
等伯だより　宇宙につながる震動感じた美術家李禹煥さん	李　　禹煥	毎　　日	3.5
私の等伯　没後400年特別展から　美術家李禹煥さん　静と動、かみ合い	〃	毎日夕刊	4.7
インスピレーションインテリア　人間本来の素質を探るクァンホー・リー	川上典李子	ＡＸＩＳ	145
特集　ルーシー・リーに会いたい		芸術新潮	726
1984年、ひとりの日本人がルーシー・リーと出会った	編　集　部		
ルーシー・リーのうつわ世界	金子　賢治		
「彼女は、偶然性を受け入れられる人だったと思います」　陶芸家が読むルーシー・リーの釉薬ノート	小山　耕一解説		
いやなものはいやルーシー・リーという生き方　インタヴュー　トニー・バークス			
ハンス・コパーがやって来た！	乾　　由明解説		
特集　ルーシー・リーに会いたい　わたしのルーシー・リー		〃	〃
アニータ・ベッソン　「ギャラリーを始めるとき彼女はすごく心配してくれた」	アニータ・ベッソン談		
ハインツ・シュピールマン「リーチを批判する記事を書いたら、ルーシーに怒られたよ(笑)」	ハインツ・シュピールマン　談		

エマニュエル・クーパー「彼女は静かなるカリスマだった」	エマニュエル・クーパー　談		
イヴォンヌ・マイヤー「わたしの子どもたちは、ルーシーの手料理が大好きだったの」	イヴォンヌ・マイヤー　談		
運命が二人の出会いをもたらした…[ルーシー・リー]	西　マーヤ	陶　　説	685
「ウィーン、ロンドン、都市に生きた陶芸家　ルーシー・リー展」に寄せて	唐澤　昌宏	〃	〃
The Long Distance Chat　中近東熱のゆくえ	トッド・リース　太田佳代子	建築雑誌	1611
つかう　リーチの雑器に京料理[バーナード・リーチ]	入江　敦彦	芸術新潮	726
HIROSHIMA　1958　港千尋＋M・ナヴァセル編、関口涼子訳、エマニュエル・リヴァ写真　ヒロシマに贈られた二つのまなざし	堀江　敏幸	毎　　日	1.17
第六十三回全国大会研究発表要旨　モデルの美化の放棄—J.—E. リオタールの肖像画と宮廷人のまなざしへの対応—[ジャン＝エティエンヌ・リオタール]	宮崎　　匠	美術史	169
美の履歴書165　水玉で風景描いたわけ「海の風景」　ロイ・リキテンスタイン	西岡　一正	朝日夕刊	7.28
アート・トーキング　ロイ・リキテンスタイン　「泣く少女」	工藤　香澄	日　　経	10.14
所蔵品から　レオン・リシェ《女性の居る風景》	音　ゆみ子	府中市美術館だより	29
SPECIAL FEATURE　現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ピピロッティ・リスト	伊東　豊子	美術手帖	933
第六十一回美学会全国大会報告　フラ・フィリッポ・リッピ作《バルバドーリ祭壇画》　主題・図像選択をめぐる考察—中央プレデッラを中心に—	桑原　夏子	美　　学	237
現代美術の歩き方　今月の一品　リトルホワイトヘッド　It Happened In The Corner	伊東　豊子	美術の窓	323
例会・研究発表会要旨　東部会　平成二一年度第五回例会　ゲルハルト・リヒター作『黒・赤・金』(1998)をめぐって	浅沼　敬子	美　　学	236
論文要旨《修士》ゲルハルト・リヒターのフォト・ペインティングについて——九六〇年代～一九七〇年代の肖像画を中心に—	福田　千秋	美術史論集	10
創造神話　ゲルハルト・リヒター　写真・絵画スリリングな融合	菅原　教夫	読　　売	3.11
長谷川三郎とハンス・リヒターの親交—ニューヨークの出会いから「日米抽象美術展」へ—	江口みなみ	近代画説	19
第六十三回全国大会研究発表要旨　ジャック・リプシッツ作《ハゲワシを絞めつけるプロメテウス》——一九三七年のパリ万国博覧会における美術とイデオロギー—	磯谷　有亮	美術史	169
建築の経験／経験の建築—ダニエル・リベスキンドのベルリン・ユダヤ博物館—	柳澤　有吾	奈良女子大学文学部研究教育年報	7
土曜日に書く　不確かな“中国の恩人”顕彰[梁思成]	石川　水穂	産　　経	7.17
中国雕鈕作家列伝８　林友琛／林友竹／周宝庭／黄信開／黄恒頌／王雷庭／林寿煖／林文舉	宏　　風生	書道界	244
中国雕鈕作家列伝６　鄭仁蚊／林文宝	〃	〃	242

（ル）

現在通信　From NEWYORK　ディアのルウィット[ソル・ルウィット]	富井　玲子	新美術新聞	1204
夫婦の記念碑—リューベンス作《聖イルデフォンソ祭壇画》の図像的解釈—[ピーテル・パウル・ルーベンス]	芦刈　　歩	美学芸術学	25

巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座 VOL.17　巨匠の構図を考える　直角三角形のドラマ　ルーベンス		美術の窓	316
私の空想美術館73 ルーベンス『キリスト昇架』『キリスト降架』	粟津　則雄	〃	318
手ざわりとしてのルオー―ジョルジュ・ルオー展から―	浅川　真紀	出光美術館館報	150
ユビュおやじ、ばんざい！　もうひとつのルオーの熱中時代		芸術新潮	724
Bonjour! Georges	(増子)	Shiodome Museum REVUE	
第十一話　夕べの星[ジョルジュ・ルオー]			13
第十二話　ユイスマンス[ジョルジュ・ルオー]			14
ぎゃらりいモール パナソニック電工汐留ミュージアム「ユビュ―知られざるルオーの素顔―」から「マリココ」ジョルジュ・ルオー	萩原　敦子	読売夕刊	5.25
昭和一八年の日本旅行―ベトナム人画家ルオン・スアン・ニーの日記から―	後小路雅弘	哲学年報	69
アルフォンス・ルグロが描いた母子像―《海の祝別式(La Bénédiction de la mer)》をめぐって―	安藤　智子	日仏美術学会会報	29
アルフォンス・ルグロ作《エクス・ヴォト》における「素朴さ(naïvetè)」の諸相	〃	美術史	168
ASCORALの時代の生物学と身体文化の理論　ル・コルビュジエとその協働者ピエール・ウィンターの身体文化理論に関する研究　その6	森山　学	日本建築学会計画系論文集	649
ボゴタ都市計画におけるル・コルビュジエの低層住居街区に関する研究―地域的な要素「クアドラ」に基づいた計画手法―	大野　隆司 川向　正人	〃	650
ル・コルビュジエの初期作品における「屈曲型」・「箱枠型」・「直列型」について	仲野　康則 小林　克弘 三田村哲哉	〃	651
例会・研究発表会要旨　西部会　第二七六回研究発表会　映画の上映空間としてのル・コルビュジエの建築空間	伊集院敬行	美　学	236
特集　「生誕120年小野竹喬」展によせて竹喬と西洋近代絵画―そこからなにを学んだか　ルッソーの率直―竹喬との接点[アンリ・ルソー]	遠藤　望	現代の眼	580
公園散歩―アンリ・ルソー《散歩(ビュット＝ショーモン)》を中心に	〃	世田谷美術館紀要	11
ルソー没後100年　ルソーと黄金比	眞住　高嶺	美術運動	137
美の扉　近代パリへの好奇心　アンリ・ルソー「空の表現」に注目	黒沢　綾子	産　経	11.14
特集　建築・有象無象　セクション4：日常にひそむ形　13　バーナード・ルドフスキーの足跡	林　憲吾	建築雑誌	1600
フランス近代絵画における仏陀の図像学的変容―ゴーガン、ルドン、セリュジエをつなぐ追慕の系譜―[オディロン・ルドン]	小泉　順也	国学院雑誌	1243
読書をする人5　オディロン・ルドン	横山由季子	新美術新聞	1226
記憶としての織物―オディロン・ルドンによる織物下絵連作	山上　紀子	美学美術史研究論集	24
美の美　色彩は語る1　夢想への誘い[オディロン・ルドン]	宝玉　正彦	日　経	2.7
ルノワールの時代	岡村多佳夫	国立国際美術館ニュース	177
歴史の中のルノワール　「ルノワール―伝統と革新」展に寄せて	安來　正博	〃	178
ルノワールと堀辰雄―文学からみる「フランス印象派」	荒屋鋪　透	国立新美術館ニュース	13
読書をする人1　オーギュスト・ルノワール	谷内　克聡	新美術新聞	1213
特集　印象派・いい女66選　その美と毒に迫る!!印象派タッチの描き方がわかる㊙技法講座つき		美術の窓	322

CASE 1　ルノワール／幸福を纏ういい女　「ルノワールが女の描き方をこう変えた!!」	荒屋鋪　透談		
CASE 1　ルノワール／幸福を纏ういい女　「こんなルノワールもあったのか」	島村　信之		
技法分析　モネ vs ルノワール　陽光のなかの母子像　技法対決	後藤結美子		
アート・トーキング　ピエール＝オーギュスト・ルノワール　「ブージヴァルのダンス」	西野　華子	日　　経	3.11
ルノワール―伝統と革新　モデルが語る素顔	市原　尚士	読　　売	1.14
ぎゃらりいモール　国立新美術館「ルノワール―伝統と革新」から「テレーズ・ベラール」ピエール＝オーギュスト・ルノワール	西野　華子	読売夕刊	2.9
ルノワール―伝統と革新　視覚的な心地よさ満載	荒屋鋪　透談	〃	3.1
SPECIAL FEATURE　現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　トーマス・ルフ	土屋　誠一	美術手帖	933
フィリップ・オットー・ルンゲの世界―文学と美術１、２	高木　昌史	成城文芸	212、213

（レ）

第六十三回全国大会研究発表要旨　バルデス・レアルの二大ヴァニタス画―カリダード兄弟会の理念とイエズス会の思想―	豊田　　唯	美術史	169
グイド・レーニ《ロザリオの聖母》に関する一考察	宇埜　直子	美術史論集	10
美の履歴書167　青年が優美なわけ「アタランテとヒッポメネス」　グイド・レーニ	米原　範彦	朝日夕刊	8.11
ゆったりアート　ドラマ性際立つ強い明暗表現［グイド・レーニ］	岸　　桂子	毎日夕刊	7.9
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド　Pick up Artist 豊島 トビアス・レーベルガー		美術手帖	938
作品ひとつ［アントニン・レーモンド］	谷内　克聡	群馬の森美術館ニュース	142
窓　論説委員室から　木造建築に宿る心［アントニン・レーモンド］	大野　正美	朝日夕刊	6.3
研究ノート　レオナルド・ダ・ヴィンチの素描《マギの礼拝背景図》の空間構成：再考	篠塚二三男	跡見学園女子大学人文学フォーラム	8
前腕の回転から性交まで　レオナルドの「解剖手稿」を現代医学の眼で解剖する	前橋　重二	芸術新潮	722
巻頭特集　構図を極める　㊙技法講座　VOL. 17　巨匠の構図を考える		美術の窓	316
包み込む円　ダ・ヴィンチ			
column　ダ・ヴィンチはなぜ視距離を変えたのか？			
SPECIAL FEATURE　現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　レオニウソン	長谷川祐子	美術手帖	933
特集　「アート・コネクション」映画編　映画に惹かれたアーティストたち　「フェルナン・レジェと映画」	村山匡一郎	A A C	66
例会発表要旨　第113会例会：20世紀のプリミティヴィスム〈総合芸術〉の実現に向けて―フェルナン・レジェとプリミティヴィスム	山本　友紀	日仏美術学会会報	29
第六十一回美学会全国大会報告　フェルナン・レジェにおける都市のイメージに関する一考察	〃	美　　学	237
美の履歴書151　少女がにらみつけるのは　「ピンクの服を着たキゼット」　タマラ・ド・レンピッカ	小川　　雪	朝日夕刊	4.14

美しき挑発　レンピッカ展　官能、堂々の女性像	石澤　季里 談　市原　尚士	読売夕刊	3.4

(ロ)

私の空想美術館71 ヤーコプ・ファン・ロイスダール『ウェイク・ベイ・デュールステーデの風車』	粟津　則雄	美術の窓	316
SPECIAL FEATURE 現代アーティスト・ファイル　1980〉〉2010　STEP 1　〈現在形のアート〉を築く巨星たち　ジェイソン・ローズ	廣　　李果	美術手帖	933
ロートレックのサインはW！[アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック]		芸術新潮	730
「悪所」の芸術　ロートレックと写楽	松山　龍雄	版画芸術	149
特集　ロートレック リトグラフ・ポスターのすべて		〃	〃
ロートレックにとってのポスター	冨田　　章	〃	〃
アート・トーキング アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック「女道化師シャ＝ユ＝カオ」	山田由佳子	日　　経	7.8
不朽の一点　オルセー美術館展２　アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック「女道化師シャ＝ユ＝カオ」　気品描く冴えた視線	芦田　　淳	日経夕刊	7.20
「サーカスの舞台裏」公開[アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック]		読　　売	7.15
ぎゃらりいモール ブリヂストン美術館「美の饗宴・東西の巨匠たち」から「マルセル・ランデール嬢」アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	中村　節子	読売夕刊	3.23
世界コミックス最前線　13　「老い」を生きていく時間と記憶 P・ロカの『しわ』[パコ・ロカ]	小野　耕世	ユリイカ	587
クリエイターズワーク＆ソウル　601 bisang		ＡＸＩＳ	145
世界コミックス最前線　4　9・5歳の女の子の冒険　マドレーン・ロスカ『ホロー・フィールズ』	小野　耕世	ユリイカ	576
PARIS発　マティスとロダン、フランス２人の巨匠[オーギュスト・ロダン]	安部　雅延	新美術新聞	1207
ロダン研究V―ポール・グセル(上、下)	髙橋　幸次	日本大学芸術学部紀要	51、52
ルーカスvs.スピルバーグ　両監督愛蔵のロックウェルくらべ[ノーマン・ロックウェル]	前橋　重二	芸術新潮	729
巻頭特集　徹底写実からデフォルメまでプロの技を大公開！顔の描き方教えます ㊙技法講座VOL.18 実践編!!顔の描き方が分かる㊙技法講座CASE 4　ノーマン・ロックウェル／豊かな表情から物語が生まれる「ノーマン・ロックウェル〈その愛しき素顔たち〉」	志賀　秀孝	美術の窓	319
シュテファン・ロッホナーの三連祭壇画の世界	北島　寛之	五浦論叢	17
「ロトチェンコ＋ステパーノワ　ロシア構成主義のまなざし」展　腕力ある意匠日常に[アレクサンドル・ロトチェンコ]	横尾　忠則	朝　　日	3.29
美の履歴書157　なぜ「最後の絵画」か 三部作「なめらかな色」　アレクサンドル・ロトチェンコ	西田　健作	朝日夕刊	6.2
創造神話　ロトチェンコと桑山忠明　ミニマリズムの反復	菅原　教夫	読　　売	5.13
平成二十一年度東支部例会発表要旨　ヴィッラ・マダマ、ジュリオ・ロマーノ作《ポリュフェモス》解読	深田麻里亜	美術史	168
アメデオ・ダル・ポッツォのためのモーセの物語画連作―プッサン、コルトーナ、ロマネッリの競演―[ジョバンニ・フランチェスコ・ロマネッリ]	倉持　充希	京都美学美術史学	9

写真アート、中国から発信　人と人つなぐコミュニティーではぐくむ	榮　榮	日　経	10.8

（ワ）

来日西洋人と幕末・明治前期の書画会[チャールズ・ワーグマン]	川崎　智子	近代画説	19
特集　欲しいのは、デッサン力！㊙技法講座 VOL.19 CASE10　ワイエス衝撃を描きとめる水彩素描　「一瞬と永遠を見つめて」[アンドリュー・ワイエス]	吉岡　知子	美術の窓	324
瀬戸内国際芸術祭2010公式ガイドブック　アートをめぐる旅・完全ガイド Pick up Artist　小豆島　王文志		美術手帖	938
王学仲教授の書画代表作100余点紹介東京と京都で作品展開催	桐山　正寿	毎日夕刊	9.21
跳躍のときを迎えた韓国・若手デザイナーたちの現在　ワン・チュンホ	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	144
人・模・様　ガラスから磁器への挑戦[王俠軍]	大谷麻由美	毎日夕刊	5.10

そ　の　他

美術関係者

日　本

(ア行)

會津八一の戦前蒐集品に関する調査報告(1)	下野　玲子	早大會津八一記念博紀要*	11
中西秀男宛會津八一書簡について	三宮　千佳	〃	〃
「奈良の古寺と仏像—會津八一のうたにのせて—」展　記念シンポジウム特集　仏像と心通わせ　古都の美に浸る	神林　恒道、日野西光尊、多川　俊映、上野　道善、大野　玄妙、山田　法胤、檀　ふみ司会	日　経	5.22
プロムナード　古美術商の眼力[青柳恵介]	市川亀治郎	日経夕刊	1.15
生老病死の旅路　青柳正規さん　「知的共和国」追い続けた夢	岡本　公樹聞き手	読売夕刊	8.30
ひと　女性皇族で初の博士号を英オックスフォード大でとった　彬子さま[彬子女王]	斎藤　智子	朝　日	2.10
ひと　60歳で浮世絵鑑定の一線から退く決意をした第一人者　浅野秀剛さん	森本　俊司	〃	8.26
浮世絵鑑定の奥義とは[浅野秀剛]		読　売	9.30
特集　近代とノスタルジア　教養主義とノスタルジア—阿部次郎『徳川時代の芸術と社会』における江戸郷愁との訣別	田中　祐介	日本思想史	77
〈もの派〉と石子順造と〈幻触〉の知られざる関係	本阿弥　清	あいだ	171
《回想の石子順造》		〃	175
1　「身体」としての石子順造	飯田　昭二		
2　石子順造氏における「マンガ」と「芸術」の境	鈴木　慶則		
人間発見　サザビーズジャパン社長石坂泰章さん　走るアートビジネス1～5	石坂　泰章 野村　義博聞き手	日経夕刊	5.24～28
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる3　戦火の傷跡人類に問う[石澤良昭]	筒井　次郎	朝日夕刊	4.20
追憶の風景　アンコールワット(カンボジア)　上智大学長石澤良昭　人間とは何か問いかける	米原　範彦	〃	6.15
人・模・様　現代美術を「買って楽しむ」[石鍋博子]	岸　桂子	毎日夕刊	8.28
市島春城印章コレクションの周縁	浅井　京子	早大會津八一記念博紀要*	11
仏像に魅せられて　上・下	伊東　史朗	東　京	6.12、19
紹介　伊藤鄭爾先生を偲ぶ	中山　繁信	建築史学	55
この人　クリスティーズNYで日本の現代美術を担当　井上光司さん	小林　義久	東　京	7.20
時の余白に　美術記者井上靖の「真実」	芥川　喜好	読　売	12.25
井村彰先生追悼　井村先生お帰りなさい—井村先生を偲んで—	椎原　伸博	カリスタ	17
調査研究から1　眼の学者・上野照夫の視点	柴田　哲心	視覚の現場　四季の綻び	7
モンゴルと私　国立民族学博物館顧問梅棹忠夫さん　青春の情熱傾け尽くした	古野　英明	産　経	2.3
「東御市梅野記念絵画館・ふれあい館」梅野隆館長、3月末にて退任　「めぐりあった美展III」を開催するにあたって	梅野　隆	新美術新聞	1208
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる8　すべては神殿に始まる[衣奈多喜男]	筒井　次郎	朝日夕刊	4.27
ニッポン人・脈・記　仏像日和3　何を映す切ないまなざし[海老名和明]	湯瀬　里佐	〃	1.6
「横浜トリエンナーレ2011」開催概要決まる　総合ディレクターに逢坂恵理子氏		新美術新聞	1227
巻頭特集　今まさに、女流画家の時代　2011年の総合ディレクターは女性初の逢坂恵理子氏		美術の窓	325

横浜トリエンナーレ2011来年８月開幕 総合ディレクターに逢坂氏	織井　優佳	朝　　日	8.21
横浜重視しつつ国際展［逢坂恵理子］		読　　売	10.7
大谷探検隊の収集品に光　龍谷大と旅順博物館研究進む［大谷光瑞］	秋山　公哉	〃	4.14
こころの玉手箱　大原美術館理事長　大原謙一郎１～５	大原謙一郎	日経夕刊	5.31～6.4
ときの人18　大村智さん　絵は趣味であり薬〔メディシン〕、実学の精神で社会に貢献		新美術新聞	1222
日本近世近代絵画史研究の方法と東アジア―岡倉天心をめぐる考察―	中谷　伸生	アジア文化交流研究	5
岡倉天心の顕彰をめぐって―五浦・赤倉・福井を中心に―	清水恵美子	五浦論叢	17
The Book of Teaのエンブレム的側面―視覚化された岡倉天心の詩的抽象―	東郷登志子	〃	〃
特集　近代とノスタルジア　「明治時代の第二革新」における文化形成―岡倉覚三・陸羯南・政教社	岡本　佳子	日本思想史	77
甦る都　奈良再考４　岡倉天心、美術の故郷に光		日　　経	4.29
読書日記２　『茶の本』東洋流の「趣味通じた平等」［岡倉天心］	福嶋　亮大	日経夕刊	8.11
奇縁まんだら151　岡本敏子の特異で崇高な愛	瀬戸内寂聴	日　　経	8.29
交遊抄　任された展覧会	尾崎　正明	〃	7.17
小澤耕一先生の思い出と業績	別所　興一	田原の文化	36

（カ行）

ひと　名古屋城の障壁画の復元模写を指導する　加藤純子さん	増田　愛子	朝　　日	11.25
顔　東大寺山古墳の報告書を半世紀ぶりに刊行した　金関恕さん	関口　和哉	読　　売	8.5
Statement　茨城県陶芸美術館に金子賢治・新館長誕生		ギャラリー*	303
鹿児島備忘録―川辺正巳、谷口午二さんのこと―	岩切信一郎	一　　寸	44
四神が呼んでいる―古墳壁画に挑む４　弟子の運命キトラ再現［来村多加史］	大脇　和明 渡　義人 天野　幸弘	朝日夕刊	5.13
ニッポン人・脈・記　仏像日和３　何を映す切ないまなざし［木下史青］	湯瀬　里佐	〃	1.6
特別読物　円能斎と九鬼隆一	森川　春乃	淡　　交	791
「無言館」館主窪島誠一郎さん　原因不明…全身のかゆみ　乾癬の存在知ってほしい	太田　浩信	産　　経	5.14
この人　中国古代遺跡の保護に30年の仏教大客員教授　小島康誉さん	和田　茂樹	東　　京	8.11
追悼文集　故小林章男氏を偲んで		史迹と美術	807
小林章男氏を偲ぶ	東　　暲		
さようなら小林さん	加藤　繁生		
嗚呼！「瓦宇」さんも逝かれしか	齊藤　　孝		
無二の宝物とのお別れ	尼崎　博正		
小林章男氏を偲んで	中西　　亨		
小林章男さん	矢ヶ崎善太郎		
逸翁（小林一三）の愛した美術品	伊井　春樹	逸翁美術館年報	平成21年度
小林秀雄における「問い」の行程―自己と他者を切り結ぶ「批評性」への自覚的展開―	花澤　哲文	国学院雑誌	1239
奇縁まんだら123　小林秀雄、卓をどんと叩く	瀬戸内寂聴	日　　経	2.14
紅心　小堀宗慶展　創作と審美眼の世界　綺麗さび現代に「かざる美」の創造者	河合　正朝	朝日夕刊	6.3
追悼　小松茂美先生を偲んで	松原　　茂	古代文化	582
小松茂美博士のご逝去を悼む―古筆学の継承と発展に向けて―	古谷　　稔	新美術新聞	1219

惜別　古筆学者　小松茂美さん　名筆の分析独学で究める	大上　朝美	朝日夕刊	6.26
古筆学樹立に捧げた人生　小松茂美博士を悼む	島谷　弘幸	毎日夕刊	6.2
書の世界　寸暇惜しみ手紙書いた人　古筆学者の小松茂美先生	桐山　正寿	〃	6.3
追悼　小松茂美さん　古筆学大成「現代の定家」	菅原　教夫	読　　売	5.31
小山登美夫が見て、訊いて、買った　396万3550円(税込)		芸術新潮	727
著者に会いたい　見た、訊いた、買った古美術　小山登美夫さん　現代美術の旗手らしく豪快に	浜田　奈美	朝　　日	7.18
話の肖像画　ギャラリスト小山登美夫　アートな生活　上・中・下	渋沢　和彦	産　　経	11.16～18
現代アートと接する小山登美夫さんに聞く　無名でも面白い作家発掘　独自の物差しが頼り	芦田　富雄	日経夕刊	11.27
近藤誠一文化庁長官に聞く　日本を知るため全都道府県を訪問	近藤　誠一談	新美術新聞	1230

(サ行)

ときの人17　堺屋太一さん　「上海で万博をやろう」…26年目の夢の実現		〃	1219
森岡督行の「写真集を、どうぞ。」2　坂田和實さんへ、『POOL』を。	森岡　督行	百　　科*	567
あとがきのあと「メディア・アート創世記」　坂根厳夫著　作家らとの出会いつづる	坂根　厳夫	日　　経	11.28
奇縁まんだら	瀬戸内寂聴	〃	
119　薩摩治郎八の豪奢なパリ生活			1.17
120　バロン支えたベビイ・ワイフ[薩摩治郎八]			1.24
フロントランナー　現代アートコレクター　佐藤辰美さん　「自分流」貫く世界的収集家	浜田　奈美	朝　　日	7.3
篠崎四郎金石文研究の軌跡	斎木　　勝	千葉県立中央博物館研究報告	23
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる4　江戸の技支える師弟愛[柴田正樹]	筒井　次郎	朝日夕刊	4.21
土曜訪問　宝探しの体験記が人気　島津法樹さん(骨董ハンター)	黒谷　正人	東京夕刊	12.18
清水眞澄教授　略歴・業績		美学美術史論集	18
Report　半世紀ぶりに発見された神像との対面[白洲正子]		目の眼	406
遠みち近みち　隠れ里の旅人白洲正子	宮川　匡司	日経夕刊	11.27
文化財写真家・城野誠治さん　光の技　国宝絵巻を再現　紙や顔料、立体的にとらえる	前田　恭二	読　　売	3.18
第27回渋沢・クローデル賞受賞者の横顔2　美術システムの舞台裏解明　ルイ・ヴィトンジャパン特別賞『市場のための紙上美術館』　陣岡めぐみさん	高野　清見	〃	8.3
杉村邦彦教授退任記念特集		書道文化	6
書画			
芳藍歳月―徳島そして四国大学での七年間―	杉村　邦彦		
杉村邦彦教授略年譜			
杉村邦彦先生三つの顔	富久　和代		
杉村邦彦先生から賜った学恩	高口　盛幸		
杉村邦彦先生から学んだこと	田淵　元博		
杉村先生のこと	川合　尚子		
杉村邦彦先生著『書学叢考』書評	太田　　剛		
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる4　江戸の技支える師弟愛[鈴木晶子]	筒井　次郎	朝日夕刊	4.21
惜別　近世国文学・浮世絵研究　鈴木重三さん　書誌学駆使し本質に迫る	清水　　弟	〃	10.23

喪友記　鈴木重三さんを悼む　貫いた実物主義	永田　生慈	日　　経	9.7
鈴木重三氏を偲ぶ会12月19日、御茶ノ水で		読　　売	11.4
会長就任の御挨拶	銭谷　眞美	博物館研究	506

（タ行）

ときの人23　大原美術館館長　高階秀爾さん　大原80周年、創立の理念を未来に継承		新美術新聞	1235
私の鑑賞術　高階秀爾１～４	高階　秀爾談	読　　売	4.29、5.13、20、27
彩・美・風　フランスとの出会い	高橋　明也	朝日夕刊	6.30
顔　マネ展が好調、三菱一号館美術館の初代館長　高橋明也さん	市原　尚士	読　　売	6.21
こころの玉手箱　作家　高橋克彦４　明治初頭の「新聞錦絵」	高橋　克彦	日経夕刊	1.15
「青年たちのアジール」としてのP・C・L　瀧口修造と音画芸術研究所『河向ふの青春』	矢野　　進	世田谷美術館紀要	11
Art Chat Studio　9、10　竹内修平×吉田紀之(前・後編)	竹内　修平、吉田　紀之談	ギャラリー*	297、298
特集　ポスターで振り返る「茶の湯の展覧会」　―学芸員第一世代が語るポスターの見所すべて「茶の湯展のポスターはむずかしい」	竹内　順一	淡　　交	795
四神が呼んでいる―古墳壁画に挑む３　将来見据え劣化と戦う［篁園勝男］	大脇　和明 渡　　義人 天野　幸弘	朝日夕刊	5.12
思い出の人びと	田島　　充	陶　　説	686
ときの人15　あいちトリエンナーレ2010芸術監督　建畠哲さん　名古屋に舞いおりる72日間の祝祭		新美術新聞	1216
アートで他者と共生を　多様性の大切さ、芸術を通じ訴え	建畠　　哲 富田　律之聞き手	日経夕刊	3.24
ひと　「あいちトリエンナーレ」芸術監督　建畠哲さん	山田　泰生	毎　　日	8.17
シーボルト賞受賞　田中純東大教授「越境」への情熱　細部を発掘		読売夕刊	9.6
ニッポン人・脈・記　世界遺産に生きる２　心も物も境界越えて［田中琢］	筒井　次郎	朝日夕刊	4.19
ひと　キトラ四神壁画の公開を指揮する奈良文化財研究所長　田辺征夫さん	大脇　和明	朝　　日	6.4
鹿児島備忘録―川辺正巳、谷口午二さんのこと―	岩切信一郎	一　　寸	44
半歩遅れの読書術　知的雑誌の黄金時代　江戸論を開いた種村季弘	高山　　宏	日　　経	5.9
交遊抄　酒場の特別講義［辻成史］	篠　　雅広	〃	3.9
話題の人巻頭インタビュー　辻惟雄さん(MIHO MUSEUM館長)		目の眼	407
ときの人22　京都造形芸術大学東北芸術工科大学理事長　徳山詳直さん　“芸術立国”旗印に、吉田松陰の後を追う		新美術新聞	1232
話題の人巻頭インタビュー　戸田博さん(株式会社大阪美術倶楽部常務取締役)	編　集　部	目の眼	410

（ナ行）

この人　漫画が描ける漫画喫茶を開いた内藤泰弘さん	奥田　哲平	東　　京	10.28
テークオフ　長島明夫さん　編集者　一人で“地に足ついた建築誌”	大西　若人	朝日夕刊	2.4
研究者紹介46　歴史資料の非破壊的分析調査と漆の文化史	永嶋　正春	歴　　博	158
ひと　「天平の甍」の唐招提寺大改修で建築学会賞を受賞した長瀬正さん	佐藤　亜季	朝　　日	6.2
アートの地殻変動09　中原佑介	北川フラム聞き手 永峰　美佳取材・文	美術手帖	932

私が最も尊敬する友—日本の考古学の先達・楢崎彰一さん	林屋　晴三	陶　　説	690
追悼—楢崎彰一先生の中世陶研究における意義	柴垣　勇夫	〃	〃
楢崎彰一先生からの最後の手紙	中西　　薫	〃	〃
楢崎彰一さんの温容	石川　浩一	〃	〃
ときの人19　西島安則さん　「美と知を楽しむ心」で130年を継承		新美術新聞	1224
交遊抄　学ぶべきもの[根津公一]	大塚　紀男	日　　経	9.29
自由に描いた子どもの気持ち　野々目さんの教え子作品展　新宿で7日から[野々目桂三]	松村　裕子	東　　京	9.3
野村美術館　春季特別展　「野村得庵と近代の数奇者」に寄せて	野村美術館学芸部	陶　　説	686

（ハ行）

人・模・様　あくなき北斎の意欲に学び[橋本健一郎]	中野　薫樹	毎日夕刊	11.27
月刊ディベート　どうする文化政策　東京都現代美術館チーフキュレーター　長谷川祐子氏　現場の人材を大臣に	長谷川祐子	読　　売	5.3
追悼　針生一郎氏　最後の評論家　針生一郎を偲ぶ	濱野　年宏	新美術新聞	1221
著者に聞きたい　林綾野さん　ゴッホ　旅とレシピ　食べたであろう料理を再現	渋沢　和彦	産　　経	10.17
翻訳：林忠正著「日本」(『パリ・イリュストレ』誌1886年5月号)	馬渕　明子監修　桑　和沙、矢野ゆかり、五味　良子翻訳	日本女子大学大学院紀要(人)*	16
話題の人巻頭インタビュー　林屋晴三さん(東京国立博物館名誉館員・菊池寛実記念智美術館館長)		目の眼	408
粋で多彩原三溪の美学　横浜の名園造成、画家のパトロンにして公共貢献	猿渡紀代子	日　　経	2.4
追悼　原田吉蔵氏　偉大な美術商　我が恩師の死を悼む	淺木　正勝	新美術新聞	1213
調査研究から2　来し方を顧みる—西洋近代に始まって近代京都の作家たちのカタログ・レゾネ的考察を経て、地域別・時代別・性別の論究へ、そしてそれらの補完とジャンルを超えた視覚的考察へ向かう昨今	原田　平作	視覚の現場　四季の綻び	4
没後100年　アンリ・ルソーおっかけ滞欧記	原田　マハ	芸術新潮	726
追悼　追悼・針生一郎	中原　佑介	aica JAPAN	11
追悼　グッド・バイ針生一郎	ヨシダヨシエ	〃	〃
《追悼特集＝針生一郎》		あいだ	174
1　針生一郎・わが映画体験記	大浦　信行		
2　針生先生との一年	坂上しのぶ		
新美術時評　第6回　追悼針生一郎—「戦後現代美術」の象徴	光田　ゆり	新美術新聞	1220
追悼　針生一郎氏　最後の評論家　針生一郎を偲ぶ	濱野　年宏	〃	〃
MEMORIAL　追悼　針生一郎		美術手帖	943
流れに抗して…針生一郎の歩み	池田　龍雄		
針生一郎の四つの顔	瀬木　慎一		
去来する面影を偲んで	菊畑茂久馬		
Hurry, G	卯城　竜太		
針生一郎　人生と仕事	沢山　　遼		
批評　追悼：針生一郎さんをしのぶ	中村　英樹	REAR	24
針生一郎さんを悼む　屈曲した時代の体現者	瀬木　慎一	東京夕刊	6.1
悼む　針生一郎さん　美術評論家　「闘う評論家」貫き	岸　　桂子	毎　　日	7.4
追悼・針生一郎　反骨と闘争と「サドの眼」	椹木　野衣	読　　売	6.4
パブリックアートの役目　樋口正一郎さんに聞く　美術と人が生かし合う　都市に潤い与えたい	野村　義博	日経夕刊	1.28

新・旧刊案内43　土方定一と勝本清一郎、またはハリコフ会議と大逆事件	青木　茂	一　寸	43
ニッポン人・脈・記仏像日和8　自由に感じて楽しんで[広瀬郁実]	湯瀬　里佐	朝日夕刊	1.14
「五感の展示」さわる感動　目が見えない人も楽しみ・驚く博物館めざす	広瀬浩二郎	日　経	12.7
展覧会紹介　広田不狐斎コレクション「茶の湯の名品」展について	降矢　哲男	淡　交	796
ときの人12　資生堂名誉会長　東京都写真美術館館長　福原義春さん　館長、写真家として文化に尽す		新美術新聞	1210
第17回読売国際協力賞　福原義春・資生堂名誉会長		読　売	10.20
企業メセナ育み20年　欧州との文化交流尽力	池村　俊郎		
友人からの祝辞　ラング元仏文化相　仏の文化政策に強い関心	林　路郎　聞き手		
視線　西洋絵画のひみつ　藤原えりみ	北澤　憲昭	朝　日	3.21
著者に会いたい　マンガホニャララ　ブルボン小林さん　知らない人でも楽しく読める	大上　朝美	〃	6.13
刀剣回顧談　第八回　則重[細川護立]	阿部　純子	永青文庫	69
私の履歴書7　祖父の影響　禅・書画自然と親しむ　大画家にも接し、素顔知る[細川護立]	細川　護熙	日　経	1.8

（マ行）

ニッポン人・脈・記世界遺産に生きる3　戦火の傷跡人類に問う[前田耕作]	筒井　次郎	朝日夕刊	4.20
連載特集＝《追悼・山岸信郎》23　90年代、山岸信郎の仕草—真木・田村画廊に通った思い出	那須　孝幸	あいだ	173
特集　正岡子規—時代を生きる　時代を生きる子規　正岡子規の画文共鳴	木股　知史	国文学解釈と鑑賞	954
資料紹介　正木直彦、チャールズ・ラング・フリアー往復書簡—馬遠筆「江山勝覧」の写真複製本をめぐって—	大西　純子	MUSEUM	627
人・模・様　キューバとの文化交流深め[正木基]	岸　桂子	毎日夕刊	12.25
公私両面で交流　キューバから栄誉[正木基]		読　売	12.2
土曜訪問　古文書の魅力伝える　増田孝さん(愛知文教大学長)	嶋津　栄之	東京夕刊	6.19
人間発見　共に縁を結ぼう1～4　唐招提寺長老松浦俊海さん	中沢　義則　聞き手	日経夕刊	1.12～15
生誕一三五年記念　茶人・松永安左エ門	岩永　悦子	福岡市美術館古美術室解説	197
物に執して(一三五)[松永安左エ門]	鈴木　皓詞	目の眼	408
私の鑑賞術　三浦篤1～4	三浦　篤　談	読　売	8.19、26、9.2、9
私の鑑賞術　三潴末雄1～4	三潴　末雄　談	〃	7.15、22、29、8.5
大江山鬼好きの集う殿堂　百人力のネットワーク　各地から伝説・資料つのる	村上　政一	日　経	2.25

（ヤ行）

対談4　柳宗悦はなぜ利休をせめたのか？	千　宗屋　岡田美穂子	目の眼	406別冊
柳宗悦の文庫本　読書ノート	佐々木浩樹	〃	〃
INFORMATION MEMORIAL　追悼・山口光子	堀　浩哉	美術手帖	935
サタデー発言　貸画廊・故山口光子さんの功績	名古屋　覚	東　京	4.17
顔　イタリア・ルネサンスの美をよみがえらせる修復家　山本千晶さん	松浦　一樹	読　売	3.9
ときの人10　アートソムリエサラリーマンコレクター　山本冬彦さん　アートの普及、若手作家の支援を促す		新美術新聞	1205
読売あをによし賞本賞　絵画修復家　山領まり氏		読　売	5.12

芸術新潮特別企画「白樺」創刊100周年 美の理想郷をめぐる物語　特別インタヴュー　清春芸術村と歩んだ30年　吉井画廊会長　吉井長三		芸術新潮	731
第14回手塚治虫文化賞　特別賞　マンガ評論家・故米沢嘉博さん　少女・SF・ギャグで3部作	小原　篤	朝　日	4.19

海　外

19世紀末における〈日本美術史〉資料収集のネット・ワーク—ウィリアム・アンダーソン旧蔵和漢籍を中心に—	村角　紀子	鹿島美術財団年報・別冊	27
公務員夫妻の給料で伝説的コレクターになる方法[ハーバート・ヴォーゲル／ドロシー・ヴォーゲル]	小山登美夫	芸術新潮	732
INFORMATION MOVIE　アートコレクター夫妻のドキュメンタリー[ハーバート・ヴォーゲル／ドロシー・ヴォーゲル]	工藤　キキ	美術手帖	945
映画「ハーブ＆ドロシー」アートと暮らす質素な夫婦　給料で美術収集4千点　無心の鑑賞眼に賞賛	佐久間文子	朝日夕刊	9.15
映画「ハーブ＆ドロシー」　芸術愛した夫婦の実録　佐々木芽生監督	石原　真樹	東京夕刊	11.9
開かずの金庫に眠っていた画商ヴォラールの旧蔵品　ようやく売り立て[アンブロワーズ・ヴォラール]	前橋　重二	芸術新潮	728
調査研究から3　イギリスのヴァザーリ[アラン・カニンガム]	潮江　宏三	視覚の現場　四季の綻び	4
交遊抄　世界陶芸家の母[マリー・テレーズ・クラリー]	仲田　順和	日　経	12.25
Dogu〔土偶〕の魅力を欧州に　英のケイナー博士、尖石縄文文化賞受賞[サイモン・ケイナー]	渡辺　延志	朝日夕刊	11.2
米クリーブランド美術館日韓美術部門学芸員に就任する　宣承慧さんに聞く　東アジア美術を世界に発信	稲葉　千寿	東京夕刊	5.14
顔　「ドガ展」講演会のため初来日したフラヴィ・デュラン・リュエルさん	市原　尚士	読　売	12.3
大坂四条派の研究[アーネスト・フェノロサ]	柴田　就平	鹿島美術財団年報・別冊	27
第27回渋沢・クローデル賞受賞者の横顔3　「葦手」掘り下げ欧州で紹介　本賞『文章と絵画の交差点』　クレア・碧子・ブリセさん	林　路郎	読　売	8.4
ひと　「フランダースの光」展を監修したベルギーの美術館長　ロベール・ホーゼーさん	岸　桂子	毎　日	9.10
陶磁器研究家ニコル・ルマニエールさん　パワフルな17世紀		読　売	1.1
私の鑑賞術　ニコル・ルマニエール1～4	ニコル・ルマニエール談	〃	10.28、11.4、11、25
ゴットフリート・ワグネルと京都	松原　龍一	視　る	442

書　評

和　書

『愛の小さな歴史』港千尋著	堀江　敏幸	毎　日	1.17
〃	今福　龍太	読　売	1.10
『飛鳥藤原木簡の研究』市大樹著	鶴見　泰寿	古代文化	582
『アフガニスタンを想う　往還半世紀』前田耕作著		読　売	12.15
『アラマタ美術誌』荒俣宏著		日　経	3.21
『医学と芸術　生命と愛の未来を探る—ダ・ヴィンチ、応挙、デミアン・ハースト』森美術館編	北澤　憲昭	朝　日	2.21
〃	池内　了	読　売	2.7
『石ひとすじ　歴史の石を動かす』左野勝司著	(和)	毎　日	2.28
『イタリア合理主義ファシズム／アンチファシズムの思想・人・運動』北川佳子著	奥田耕一郎	建築史学	54
『イタリア写真の精粋　1945—1975　激動期の肖像』パオロ・モレッロ監修	(前)	読　売	9.5

『一枚の絵から　海外編』高畑勲著	佐々本浩材	毎　日	4.4
『イメージの自然史 天使から貝殻まで』田中純著	五十嵐太郎	日　経	8.8
〃	前田　耕作	読　売	10.10
『上杉謙信・景勝と家中の武装』竹村雅夫著		刀剣美術	639
『ウォーホルの芸術 20世紀を映した鏡』宮下規久朗著		芸術新潮	726
〃		日　経	5.16
『図説　浮世絵に見る日本の二十四節気』藤原千恵子編		毎日夕刊	6.23
『美しき姫君　発見されたダ・ヴィンチの真作』マーティン・ケンプ、パスカル・コット著、楡井浩一訳		芸術新潮	729
『海を渡る日本現代美術　欧米における展覧会史1945—95』光山清子著		〃	724
〃		日　経	3.14
『梅棹忠夫　語る』梅棹忠夫語り手、小山修三聞き手	横尾　忠則	朝　日	10.31
『裏側からみた美術史』宮下規久朗著	(希)	毎　日	10.24
『絵が教えてくれたこと』千住博著	江畑　芳	瓜生通信	51
『描かれた戦国の京都　洛中洛外図屏風を読む』小島道裕著	阿部　哲人	史学雑誌	119－9
〃	藤原　重雄	歴　博	160
『絵唐津文様集』古舘均一著	小野　公久	陶　説	690
『越境する天使　パウル・クレー』宮下誠著	谷川　渥	国学院雑誌	1241
〃	椹木　野衣	読　売	2.21
『江戸時代の土人形 小さくても大きく生きる』遠谷茂著	(前)	〃	3.7
『江戸図屏風の謎を解く』黒田日出男著	佐多　芳彦	立正史学	108
〃	四ノ原恒憲	朝　日	8.29
〃	井上　章一	日経夕刊	7.21
『江戸の浮世絵』小林忠著	安村　敏信	浮世絵芸術	160
『江戸の絵本　画像とテキストの綾なせる世界』鈴木淳・浅野秀剛編		読　売	7.21
『江戸の絵画』小林忠著	安村　敏信	浮世絵芸術	160
『絵本の子どもたち 14人の絵本作家の世界』寺村摩耶子著	川本　三郎	毎　日	5.23
『円仁とその時代』鈴木靖民編	小山田和夫	日本歴史	740
『延暦寺の建築史的研究』清水擴著	冨島　義幸	建築史学	55
『おうちで日本美術館』田辺龍太著	(前)	読　売	7.4
『おまんのモノサシ持ちや！　土佐の反骨デザイナー梅原真の流儀』篠原匡著		日　経	8.15
『おんな　立ち止まらない女性たち 1945—2010』日本写真家協会編	(睦)	読　売	9.19
『画家たちの「戦争」』神坂次郎・福富太郎・河田明久・丹尾安典著		芸術新潮	730
『加賀藩大工の研究—建築の技術と文化』田中徳英著	妻木　宣嗣	建築史学	54
『香取文書と中世の東国』鈴木哲雄著	前川　辰徳	歴史評論	728
『金沢文庫の絵画』神奈川県立金沢文庫編	井上　隆男	地方史研究	345
『金沢文庫仏像選』神奈川県立金沢文庫編	〃	〃	348
『鎌倉志料』第十一巻 鎌倉国宝館編	〃	〃	346
『鎌倉の日蓮聖人—中世人の宗教世界—』神奈川県立歴史博物館編	〃	〃	343
『亀ヶ岡式土器成立期の研究　東北地方における縄文時代晩期前葉の土器形式』小林圭一著	小林　克	古代文化	582
『観じる民藝』尾久彰三著	山本真由美	陶　説	688
『鑑真』東野治之著		産　経	2.21
『感性の精神現象学—ヘーゲルと悲の現象論』大橋良介著	大石　昌史	美　学	236
『「漢委奴国王」金印・誕生時空論—金石文学入門Ⅰ　金属印章篇』鈴木勉著	三浦　佑之	東　京	6.27

『完本　ジャコメッティ手帖I』矢内原伊作著、武田昭彦・菅野洋人・澤田直・李美那編	横尾　忠則	朝　日	5.9
『菊とポケモン　グローバル化する日本の文化力』アン・アリスン著、実川元子訳	渡辺　靖	日　経	10.17
『奇蹟の画家』後藤正治著	福島　敏雄	産　経	2.7
『九州の蘭学—越境と交流—』ヴォルフガング・ミヒェル、鳥井裕美子、川嶌眞人編	上野　晶子	地方史研究	344
『旧石器遺跡「捏造事件」』岡村道雄著		読　売	11.10
『京都都市史の研究』山田邦和著	磐下　徹	史学雑誌	119−7
『極北と森林の記憶—イヌイットと北西海岸インディアンの版画』齋藤玲子・大村敬一・岸上伸啓編	(西)	読　売	4.18
『ギョッとする江戸の絵画』辻惟雄著		芸術新潮	723
〃	河野　元昭	美術の窓	319
『近世京都画壇のネットワーク　注文主と絵師』五十嵐公一著	〃	日　経	11.7
『近世の仏教　華ひらく思想と文化』末木文美士著	中島　岳志	朝　日	8.22
『近代建築論講義』鈴木博之・東京大学建築学科編	中谷　礼仁	建築史学	54
『近代国家と能楽堂』奥冨利幸著	波多野　純	〃	〃
『近代書史』石川九楊著		芸術新潮	722
『近代日本彫刻集成第1巻　幕末・明治編』田中修二編	西　正之	朝日夕刊	12.15
『近代の茶杓　数奇者たちの優美な手すさび』池田瓢阿著	森　孝一	陶　説	686
『近代東アジア美術留学生の研究—東京美術学校留学生史料—』吉田千鶴子著	朴　昭炫	美術研究	400
『九相図資料集成　死体の美術と文学』山本聡美・西山美香編	西岡　亜紀	国文学解釈と鑑賞	946
『グラフィックデザイナーの肖像』平野敬子企画・編集		芸術新潮	723
『クリスチャン・ボルタンスキーの可能な人生』クリスチャン・ボルタンスキー、カトリーヌ・グルニエ著、佐藤京子訳	野崎　六助	日経夕刊	8.4
〃	都甲　幸治	読　売	11.7
『久留里の社寺』君津市立久留里城址資料館編	井上　隆男	地方史研究	345
『芸術か人生か！レンブラントの場合』ツヴェタン・トドロフ著、高橋啓訳	横尾　忠則	朝　日	1.10
『芸術闘争論』村上隆著	東　浩紀	〃	12.23
『藝術の国日本　画文交響』芳賀徹著	笹岡　隆甫	産　経	3.7
〃	梅原　猛	東京夕刊	10.4
〃	田中　優子	毎　日	3.21
『劇画暮らし』辰巳ヨシヒロ著	いしかわじゅん	産　経	11.21
『月刊文化財』9月号、文化庁文化財部監修	(味)	毎　日	9.5
『源氏物語の宮廷文化—後宮・雅楽・物語世界』植田恭代著	室田　知香	国語と国文学	1045
『源氏物語の空間表現論』金秀美著	湯浅　幸代	〃	1039
『『源氏物語』の源泉と継承』川島絹江著	植田　恭代	〃	1041
『玄奘三蔵、シルクロードを行く』前田耕作著	張　競	毎　日	5.23
『最新版　現代日本の陶芸家』「陶磁郎」編	森　孝一	陶　説	686
『建築家安藤忠雄』安藤忠雄著	浜田　奈美	朝　日	9.19
『建築家ムッソリーニ　独裁者が見たファシズムの都市』パオロ・ニコローゾ著、桑木野幸司訳	五十嵐太郎	東　京	5.30
〃	飯島　洋一	日　経	5.30
〃	松山　巖	読　売	6.6
『建長寺』大本山建長寺編	井上　隆男	地方史研究	346
『権力と仏教の中世史—文化と政治的状況—』上横手雅敬著	追塩　千尋	史学雑誌	119−6
『広開土王碑墨本の研究』武田幸男著	濱田　耕策	歴史評論	725
『工藝の道』柳宗悦著	柚木沙弥郎	産　経	3.7

『国分寺瓦の研究 考古学からみた律令期生産組織の地方的展開』梶原義実著	大橋　泰夫	古代文化	582
〃	(淳)	東京夕刊	2.18
『国立西洋美術館展覧会総覧　1960—2009』国立西洋美術館編	井上　和	アート・ドキュメンテーション通信	85
『古代都城のかたち』舘野和己編	市　大樹	古文書研究	70
『古代末期・日本の境界—城久遺跡群と石江遺跡群』ヨーゼフ・クライナー、小口雅史、吉成直樹編	永山　修一	法政史学	74
『骨董学校はミステリー』福島薫著	小野　公久	陶　説	682
『古代日本の陵墓と古墳1　古墳文化の成立と社会』今尾文昭著	(孝)	毎　日	1.24
『ゴヤI　スペイン・光と影』堀田善衛著	(飼)	読　売	12.5
『「怖い絵」で人間を読む』中野京子著	磨井　慎吾	産　経	9.18
『埼玉県南部の図像板碑』村田和義著	中西　亨	史迹と美術	806
『サイン・シンボル大図鑑』ミランダ・ブルース=ミットフォード著、小林頼子・望月典子監訳	藤森　照信	毎　日	5.23
『新版茶道大辞典』井口海仙・末宗廣・永島福太郎監修、筒井紘一編	森	陶　説	687
『サヨナラ、民芸。こんにちは、民藝。』(月刊『目の眼』七月号別冊)	小野　公久	〃	692
『サラリーマン漫画の戦後史』真実一郎著	江上　剛	朝日夕刊	10.3
『山岳信仰と考古学II』山の考古学研究会編	茂木　雅博	地方史研究	347
『三角縁神獣鏡研究事典』下垣仁志著	早川　保夫	読　売	9.29
『ジェイ・H・モーガン　アメリカと日本を生きた建築家』水沼淑子著	菅野　裕子	建築史学	54
『紫禁城の西洋人画家—ジュゼッペ・カスティリオーネによる東西美術の融合と展開』王凱著	谷川　渥	国学院雑誌	1234
『「死の舞踏」への旅 踊る骸骨たちをたずねて』小池寿子著	田中　貴子	朝　日	4.4
〃	本郷　和人	読　売	5.23
『写真的思考』飯沢耕太郎著	石井　仁志	産　経	3.14
〃		読　売	2.4
『写真のアルケオロジー』ジェフリー・バッチェン著、前川修・佐藤守弘・岩城覚久訳	今福　龍太	〃	12.5
『写真のこころ』平木収著	石川　直樹	朝　日	10.24
〃		日　経	11.7
『巡礼としての絵画 メディチ宮のマギ礼拝堂とゴッツォリの語りの技法』前川久美子著	山川　志保	歴史と地理	636
『肖像　ポートレイト写真の180年』東京都写真美術館編	(前)	読　売	9.12
『Showa Style　再編・建築写真文庫(商業施設)』都築響一編		芸術新潮	722
『諸国東照宮の史的研究』中野光浩著	曽根原　理	歴史評論	719
『ジョサイア・コンドル』鈴木博之・藤森照信・原徳三監修	永田　晶子	毎日夕刊	2.2
『書は語る　書と語る　武将・文人たちの手紙を読む』増田孝著	森	陶　説	687
『書物の変　グーグルベルグの時代』港千尋著	鴻巣友季子	朝　日	2.28
『ジョン・ラスキンと地の大聖堂』アンドレ・エラール著、秋山康男・大社貞子訳	野家　啓一	読　売	10.10
『白のままでは生きられない　志村ふくみの言葉』志村ふくみ著		産　経	3.14
『秦漢律令研究』廣瀬薫雄著	宮宅　潔	古代文化	581
『人種の表象と社会的リアリティ』竹沢泰子編	千葉　慶	歴史評論	720
『身体の歴史I　16—18世紀ルネサンスから啓蒙時代まで』ジョルジュ・ヴィガレロ編、鷲見洋一監訳	樺山　紘一	日　経	5.9

『杉浦康平のデザイン』臼田捷治著	藤森　照信	毎　　日	4.11
『すぐわかる　イスラームの美術　建築・写本芸術・工芸』桝屋友子著		読　　売	3.19
『聖母像の到来』若桑みどり著	村井　早苗	歴史評論	719
『西洋絵画のひみつ』藤原えりみ著、いとう瞳イラスト	北澤　憲昭	朝　　日	3.21
『西洋中世研究』創刊号、西洋中世学会編		読　　売	3.19
『セゾン文化は何を夢みた』永江朗著	八木　忠栄	東　　京	10.10
〃		日　　経	10.17
〃	椹木　野衣	読　　売	11.7
『セラフィーヌ』フランソワーズ・クロアレク著、山形梓訳	横尾　忠則	朝　　日	8.22
『戦後エロマンガ史』米沢嘉博著	酒井　順子	〃	5.30
『戦国期の石清水と本願寺―都市と交通の視座』鍛代敏雄著	大村　拓生	歴史評論	724
『戦争がつくる女性像　第二次世界大戦下の日本女性動員の視覚的プロパガンダ』若桑みどり著	藤重　典子	美術運動	137
『戦争と広告』馬場マコト著	四ノ原恒憲	朝　　日	10.24
『ゾラ・セレクション9　美術論集』エミール・ゾラ著、三浦篤編・解説、三浦篤・藤原貞朗訳		芸術新潮	729
〃	椹木　野衣	読　　売	9.12
『大本山光明寺と浄土教美術』鎌倉国宝館編	井上　隆男	地方史研究	343
『伊達政宗とみちのく文華』神奈川県立金沢文庫編	〃	〃	〃
『旅する江戸絵画』金子信久著		芸術新潮	732
『ダリ・私の50の秘伝　画家を志す者よ、ただ絵を描きたまえ！』サルヴァドール・ダリ著、音土知花訳	横尾　忠則	朝　　日	2.28
『誰も知らない印象派　娼婦の美術史』山田登世子著	ワシオ・トシヒコ	産　　経	10.31
〃	(モンマルトル)	東京夕刊	10.9
『誰も知らない「名画の見方」』高階秀爾著		産　　経	10.24
〃	三浦　雅士	毎　　日	10.17
『俵屋宗達　琳派の祖の真実』古田亮著	横尾　忠則	朝　　日	6.6
〃	玉蟲　敏子	東　　京	5.9
〃		日　　経	7.4
〃	椹木　野衣	読　　売	6.27
『小さな展示館の記録―金鈴塚遺物の保存館の足跡―』木更津市郷土博物館金のすず著	井上　隆男	地方史研究	345
『小さな森の家　軽井沢山荘物語』吉村順三著	市川　和男	ＡＸＩＳ	147
『千野香織著作集』千野香織著	田中　貴子	朝　　日	9.5
『茶文化史にそった中国茶碗の考古学』水上和則著	小野　公久	陶　　説	682
『中世奥羽のムラとマチ　考古学が描く列島史』飯村均著	五味　文彦	歴史評論	726
『中世王権と王朝儀礼』遠藤基郎著	佐伯　智広	〃	725
『展覧会カタログ案内　EXHIBITION CATALOG NAVI』中嶋大介著	岸　桂子	毎日夕刊	11.30
『東照宮の近代　都市としての陽明門』内田祥士著	青井　哲人	建築史学	54
『都市をつくる風景「場所」と「身体」をつなぐもの』中村良夫著	西村　幸夫	日　　経	7.25
『独歩　辻清明の宇宙』辻清明著	小野　公久	陶　　説	690
『南紀寺社史料』薗田香融編著	根井　　浄	仏教史学研究	53－1
『肉体のアナーキズム　1960年代・日本美術におけるパフォーマンスの地下水脈』黒ダライ児著		芸術新潮	732
〃	西　　正之	朝日夕刊	12.1
〃	建畠　　哲	日　　経	11.14
〃	三田　晴夫	毎日夕刊	11.18
〃	椹木　野衣	読　　売	12.5
『日光東照宮の成立―近世日光山の「荘厳」と祭祀・組織―』山澤学著	山岸　常人	建築史学	54

〃	菅野　洋介	地方史研究	348
『にほんご』安野光雅・大岡信・谷川俊太郎・松居直編	阿部　雅世	ＡＸＩＳ	148
『日本〈工芸〉の近代—美術とデザインの母胎として』森仁史著	北澤　憲昭	美術運動史研究会ニュース	112
『日本古代都市史研究』堀内明博著	藤田　盟児	建築史学	54
『日本古代の王宮と儀礼』西本昌弘著	稲田奈津子	歴史評論	723
『日本中世国家と諸国一宮制』井上寛司著	畠山　聡	〃	〃
『日本中世都市遺跡の見方・歩き方「市」と「館」を手がかりに』鋤柄俊夫著	本郷　和人	読　売	8.29
『寧波古代対外文化交流—歴史文化遺跡を中心に—』劉恒武著	郭　万平	古代文化	580
『ハイデッガーの建築論—建てる・住まう・考える』マルティン・ハイデッガー著、中村貴志訳・編	松本啓二朗	建築史学	54
『BASARA　越境する日本美術論』天明屋尚著	椹木　野衣	読　売	10.3
『バスティード　フランス中世新都市と建築』伊藤毅編	佐藤　達生	建築史学	54
『発見　江戸のモダニズム　古武雄—独創　忽然と現れた華やぎの世界—』東中川忠美編	小野　公久	陶　説	690
『話す写真　見えないものに向かって』畠山直哉著	石川　直樹	朝　日	9.19
『パラーディオの時代のヴェネツィア』渡辺真弓著	飛ヶ谷潤一郎	建築史学	55
『パリのグランド・デザイン　ルイ十四世が創った世界都市』三宅理一著	小倉　孝誠	東　京	5.2
『反アート入門』椹木野衣著		芸術新潮	728
〃	横尾　忠則	朝　日	8.1
〃	塚原　史	東　京	7.18
〃		読　売	7.22
『半透明の美学』岡田温司著	千葉　雅也	日　経	10.3
『美術館をめぐる対話』西沢立衛著	黒沢　綾子	産　経	11.13
『国際／日本　美術市場総観—バブルからデフレへ　1990—2009』瀬木慎一著		新美術新聞	1226
『秀吉の御所参内・聚楽第行幸図屏風』狩野博幸著	(前)	読　売	10.17
『美に生きた細川護立の眼』細川護熙編	小野　公久	陶　説	690
『美の幾何学　天のたくらみ、人のたくみ』伏見康治・安野光雅・中村義作著	竹内　薫	日経夕刊	11.10
『卑弥呼と台与—倭国の女王たち』仁藤敦史著	河内　春人	歴史と地理	635
『69　秘められたエロス—古代から現代愛と欲望のアート』ジャン＝マニュエル・トレモン著、田中雅志訳		芸術新潮	732
『表現者・堀口捨巳—総合芸術の探究—』藤岡洋保著	戸田　穣	建築史学	55
『平等院鳳凰堂』冨島義幸著	前田　耕作	読　売	3.21
『広重の団扇絵　知られざる浮世絵』奥田敦子監修・解説	(前)	〃	12.5
『フェーヴ』磯谷佳江著	(M)	〃	10.24
『フェルメールのカメラ　光と空間の謎を解く』フィリップ・ステッドマン著、鈴木光太郎訳	宮下規久朗	日　経	11.28
『武家の古都　鎌倉』鎌倉市世界遺産登録推進協議会	井上　隆男	地方史研究	346
『武家の都　鎌倉の茶』神奈川県立金沢文庫編	〃	〃	〃
『藤田嗣治　手しごとの家』林洋子著	成実　弘至	瓜生通信	49
〃	渋沢　和彦	産　経	1.9
〃	宮川まどか	東　京	1.24
『藤原為家研究』佐藤恒雄著	浅田　徹	国語と国文学	1034
『フセイン・チャラヤン　ファッションにはじまり、そしてファッションへ戻る旅』長谷川祐子監修	桐山登士樹	ＡＸＩＳ	147

『蕪村へのタイムトンネル　菜の花や月は東に日は西に』司修著	片山　杜秀	読　　売	8.29
『仏教出現の背景』奈良康明・下田正弘編	前田　耕作	〃	10.3
『仏像が来た道』杉山二郎著	〃	〃	11.7
『フランク・ロイド・ライトの現代建築講義』山形浩生訳	松山　巌	〃	3.14
『名画で読み解くブルボン王朝　12の物語』	中野　京子	毎　　日	7.11
『プロジェクト宮殿』イリヤ／エミリア・カバコフ著、鴻野わか菜・古賀義顕訳	都甲　幸治	読　　売	1.17
『平安京とその時代』朧谷壽・山中章編	磐下　　徹	史学雑誌	119−9
『北条高時と金沢貞顕―やさしさがもたらした鎌倉幕府滅亡』永井晋著	森　　幸夫	歴史と地理	637
『菩薩たちの夢』神奈川県立金沢文庫	井上　隆男	地方史研究	344
『ホスピスが美術館になる日　ケアの時代とアートの未来』横川善正著	川上　隆志	東　　京	12.19
『ポルト・リガトの館』横尾忠則著	和合　亮一	日　　経	4.4
〃	椹木　野衣	読　　売	4.25
『幻の名窯　南宋修内司官窯(杭州老虎洞窯址発掘成果展図録)』財団法人大阪市博物館協会編	小野　公久	陶　　説	691
『まんが学特講　目からウロコの戦後まんが史』みなもと太郎・大塚英志著	(ホモホモ7)	東京夕刊	8.5
『マンガ大戦争1945～1980』幸森軍也著	本郷　和人	読　　売	11.28
『漫画力　大学でマンガはじめました』佐川俊彦著	小原　　篤	朝　　日	6.15
『三岸節子仏蘭西日記 カーニュ編(1968～1971)』三岸節子仏蘭西日記刊行委員会編	東　真理子	新美術新聞	1218
『右手と頭脳―エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー〈兵士としての自画像〉』ペーター・シュプリンガー著、前川久美子訳	横尾　忠則	朝　　日	9.26
『三島由紀夫の愛した美術』宮下規久朗・井上隆史著	森村　泰昌	〃	11.21
『随筆集　道は瓦甓に在り』長谷部楽爾著	小野　公久	陶　　説	685
『密教空間史論』冨島義幸著	皿井　　舞	美術研究	401
『水戸の文人　近世日本の学府』秋山高志著	齋藤　　茂	地方史研究	345
『源頼朝―東国を選んだ武家の貴公子』高橋典幸著	上杉　和彦	歴史と地理	640
『宮芳平自伝―森鷗外に愛された画学生M君の生涯』宮芳平著、堀切正人編・注		産　　経	5.30
『無欲越え　熊谷守一評伝』大川公一著		〃	1.10
『室町絵巻の魔力　再生と創造の中世』髙岸輝著	水野　智之	日本歴史	744
『明治版画史』岩切信一郎著	浅野　秀剛	浮世絵芸術	159
『眼の神殿　「美術」受容史ノート』北澤憲昭著		芸術新潮	725
『モダニティの想像力―文学と視覚性―』中川成美著	田口　麻奈	国語と国文学	1041
『物語絵の世界』針本正行編	櫻井　陽子	国学院雑誌	1240
『やきもの百科　鑑定の入り口』中島誠之助著	小野　公久	陶　　説	683
『約束「無言館」への坂をのぼって』窪島誠一郎著	渋沢　和彦	産　　経	10.31
『柳宗悦を支えて　声楽と民藝の母・柳兼子の生涯』小池静子著	横尾　忠則	朝　　日	1.31
『夢みる家具　森谷延雄の世界』本橋浩介・小泉和子・森谷延周・敷田弘子著、住友和子編集室・村松寿満子・INAXギャラリー企画委員会編、雨宮秀也写真	森村　泰昌	〃	10.24
『ヨーロッパの形　螺旋の文化史』篠田知和基著	横尾　忠則	〃	11.28
〃	前田　耕作	読　　売	12.5
『ヨーロッパの中世美術　大聖堂から写本まで』浅野和生著	塚原　直人	歴史と地理	631

『リアリズム絵画入門』野田弘志著	（市）	読　　売	6.6
『流光斎図録　上方役者似顔絵の黎明』アンドリュー・ガーストル、矢野明子編	浅野　秀剛	浮世絵芸術	159
『龍女建立―龍角寺古墳群と龍角寺―』千葉県立房総のむら編	井上　隆男	地方史研究	343
『『歴代名画記』〈気〉の芸術論』宇佐美文理著		芸術新潮	724
『ローマの遺産　〈コンスタンティヌス凱旋門を読む〉』フェデリコ・ゼーリ著、大橋喜之訳	井上　章一	日　　経	3.10
『魯山人　うつわの心』黒田和哉著	小野　公久	陶　　説	691
『露地庵先生のアンポン譚』森村泰昌著		美術の窓	322
〃	橋爪　節也	産　　経	6.27
〃	椹木　野衣	読　　売	6.6

海外刊行書

Robert Brunner, Stewart Emery, Russ Hall, Do you matter? How great design will make people love your company, FT Press, New Jersey, 2008	井上　雅弘	ＡＸＩＳ	145
Vitra Design Museum, THE ESSENCE OF THINGS, Vitra Design Museum, 2010	深澤　直人	〃	146
『懸泉漢簡研究』郝樹聲・張德芳著	片野竜太郎	東洋学報	92－1

時　　評

前年度分

2009年　展覧会入場者数ベスト20　仏像ブーム最高潮“阿修羅”3都市で191万人に功徳		新美術新聞	1206

当年度分

新美術時評　第11回 2010年をふりかえる美術と展覧会のサバイバル	光田　ゆり	〃	1235
2010年後半の主な展覧会の話題から　夏は「オルセー展」秋は「ゴッホ展」が盛況！		〃	〃
特集　2010年年末回顧アンケート　美術界で活躍する人々に聞く		〃	〃
回顧2010　美術　島や街に点在する展示盛況　社会停滞潮目変わるアート	西田　健作	朝　　日	12.25
回顧2010　美術　存在感強める芸術祭	小川　敦生	日　　経	12.3
この１年		毎日夕刊	
写真　回顧展構成工夫し新味　キュレーターの役割より重要に	飯沢耕太郎		12.8
書　魅力発信の好機逃す　ドラマ・映画化生かせず　小松茂美さん、榊莫山さんら逝く	桐山　正寿		12.15
漫画　都青少年条例で衝撃走る　独自の視点、詳細な取材で秀作	いしかわじゅん		12.16
美術　「隙間」への着目で成果　優れた回顧展多く	岸　　桂子		12.20
建築　存在際だった妹島和世　特筆すべき安藤忠雄の文化勲章受章	鈴木　博之		12.22
回顧2010アート		読　　売	12.16
美術　地方発イベント型国際展　美術館は空洞化、学芸員が奮闘	高野　清見		
写真　次代に向け沈思重ねる	前田　恭二		

受賞・美術賞

デザインコンペ「iida AWARD 2010」	遠藤　　健	ＡＸＩＳ	144
コクヨデザインアワード2009	今村　玲子	〃	〃
ワールドスペースクリエイターズアワード2010	石黒　知子	〃	145
特集　第17回を迎えるVOCA展2010 VOCA展2010開催		ギャラリー*	298
ユニーク・コンペティション　ART IN THE OFFICE 2010 アートと金融オフィスの会話、コンテンポラリーアートの現状を知る、松本大の展望		〃	299

平成22年度文化勲章・文化功労者決まる 文化勲章―安藤忠雄氏 建築 三宅一生氏 服飾デザイン 文化功労者―古谷蒼韻氏 書 細江英公氏 写真 水木しげる氏 漫画		新美術新聞	1232
平成二十二年新作名刀展の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことば		刀剣美術	643
INFORMATION AWARD		美術手帖	
若い美術商による公募展始まる 日本画、洋画、現代アートにとらわれない公募展をめざす「ART AWARD NEXT」	編 集 部		932
第1回AAA受賞者決定！ 「アジア・アート・アワード」が韓国で生まれた意味を考える	三潴 末雄		937
INFORMATION COMPETITION TARO賞発表！ パワフルな作品が集まった岡本太郎現代芸術賞	中島 水緒	美術手帖	935
SPECIAL FEATURE コンセプトを知る、楽しむ、買う！ 最新デザイン・キーワード100 COLUMN ニッポン・デザインの牽引者1 グッドデザイン賞	鈴木 里子	〃	946
巻頭特集 美術団体はどうなる!? 実力派125名の作品を一挙紹介 美術団体の底力 美術賞でも活躍する美術団体所属の作家たち 第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展2010		美術の窓	320
手塚治虫文化賞 手塚治虫文化賞贈呈式「あの世で織部公に謝罪」山田さん 「知的なざわめき大切に」市川さん	小原 篤	朝 日	5.29
あすから「第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「今」を表現 新進79作品審査員講評 若い人の台頭著しい	宝木 範義	産 経	3.12
世界文化賞個別懇談会 輝く発想「作り続ける人種」		〃	10.13
美の具現者 祝福包む 世界文化賞カクテルレセプション		〃	10.14
伝統的工芸品チャレンジ大賞 彫金で花器のブローチ 墨田の塩沢製作所など受賞	榎本 哲也	東 京	11.17
第77回毎日広告デザイン賞 ハートまで、一直線		毎 日	3.16
質問なるほドリ 仏の芸術文化勲章ってどんなもの？	福原 直樹	〃	3.29
毎日写真コンテスト 時代や社会鋭く見詰めて 表現の普遍的価値を追求		〃	12.16
第3回「1__WALL」の作品募集来月から開始 新人公募展		毎日夕刊	4.27
岡本太郎賞に三家氏		読 売	2.4
アジアの新進 世界へ跳躍 韓国・現代美術賞 情報共有の枠組み	前田 恭二	〃	4.22

美術市場

ART FAIR REVIEW		ギャラリー*	297
〈北京〉 Fine Art Beijing2009	謝 大仁		
〈北京〉 Beijing Contemporary Art Hotel Fair2009	〃		
〈東京〉 ULTRAとTCAF			
Art Fair Preview		〃	
「今、京都に起こるアートフェア」			300
京都 京都に現代美術で盛り上がる？ アートフェア京都の第一歩			302
レポート 銀座の新・美術動向 Xmasアートフェスタの成果		〃	298
特集 闘え！アートフェア東京2010		〃	299
特集 闘え！アートフェア東京2010		〃	〃
アートフェア東京2010エグゼクティブ・ディレクター辛美沙に聞く！ アートフェア東京の現在	辛 美沙 談		

新世代アートは棘(イバラ)の道？ ソニー・デジタルエンタテインメントの挑戦			
Auction Auction 10回目のオークションを迎えて。 オーガーオークション上田力社長に聞く		〃	〃
Statement 中国の陶芸展を巡回させる上海アートフェアの顧之驊ディレクター		〃	300
それぞれの香港	三瀦 末雄 田畑 幸人 池内 務 山本 裕子	〃	303
Special Exhibition 1 TOKYO PHOTO2010		〃	305
「新しき伝統」を目指して生まれ変わったアートフェア ＋ PLUS Tokyo Contemporary Art Fair		〃	307
春とともに今年も到来、アートフェア東京	山本 豊津、浦上 満、小山登美夫、廣田登支彦 談	芸術新潮	724
わたし一人の美術時評 第1回 現在若手美術家考	藤田 一人	〃	729
美術市場レーダー	瀬木 慎一	新美術新聞	
210 二〇一〇年代の市場の行方			1206
211 回復基調が現れた国際市場			1209
212 まず私たちの位置を再検討しよう			1212
213 絵を見る世界と絵を買う世界			1215
214 注視すべき東アジア市場			1218
215 現世代の可能性と奮起			1221
216 「日本化」する日本の突破口			1224
217 リーマン・ショック後の国際市場			1227
218 美術の秋の緊急提言			1230
219 ひと山越えるかニューヨーク			1233
PARIS発 名画の値段と美術品の価値	安部 雅延	新美術新聞	1221
第18回東美特別展開催にあたって 質の良い美術品を揃える	三谷 忠彦	〃	1229
INFORMATION EVENT アートフェア開催 「つくり手の街」が変化中。京都初、ふたつのアートフェア	沢田眉香子	美術手帖	936
INFORMATION EVENT 「東京フォト2010」報告	タカザワケンジ	〃	945
WORLD NEWS		〃	
バーゼル 入場者数は過去最高！ 世界一のアートマーケットに熱気が戻った？	沢田眉香子		940
バーゼル バーゼル・アートフェアとその周辺 矩形、フレーム、そしてコラージュ	清水 穣		943
ソウル2 韓国・ソウルのアート事情 ASIA TOP GALLERY HOTEL ART FAIR	編集部		945
ベルリン アート・フォーラム・ベルリン 終わり、始まり、再生か？ アートフェアが示すベルリンのこれから	かないみき		946
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術		美術の窓	
G-tokyo実行委員会代表・フェリエ肇子氏に聞く 新しいスタイルのアートフェア「G-tokyo2010」が誕生!!			316
G-tokyo実行委員会代表・フェリエ肇子氏に聞く「今後も規模拡大よりクオリティを追求」—G-tokyo 2010を終えて		〃	319
開幕まであと少し!! 日本最大のアートフェア アートフェア東京2010		〃	318
現代美術at杉本家住宅 超京都：京都の名建築で楽しむアートフェア	太田垣 實	〃	322

アートフェア東京 エグゼクティブ・ディレクター 新たに就任、金島隆弘さんに聞く アジアに力点を置いたフェアを		美術の窓	324
現代美術市場白書 VOL.08～11	瀬木 慎一	美術屋・百兵衛	12～15
アートフェア東京 最多の５万人来場	小川 雪	朝日夕刊	4.7
古美術品が中国へ回帰 富裕層収集 競売にぎわう		東 京	12.29
アートフェアに新潮流 「規模より質」G-tokyo	高野 清見	読 売	1.21
中国美術品市場の拡大 投資熱 競売が盛況 1300億円規模 不況で出品も増加	菅原 教夫	〃	4.10
瀬木慎一さん「美術市場総観」 美術の目で時代を解読 バブルに踊り不況に沈んだ20年	高野 清見	〃	7.15
美術オークション好況 景気回復で高額落札 秀作次々、ピカソ100億円	菅原 教夫	〃	7.17

美術館・博物館・画廊

一 般

万人を知に導くエキシビション 英国のデザイン展、建築展から人々を魅了する展覧会のあり方を探る	中島 恭子	ＡＸＩＳ	147
学校と博物館—アーキテクチャの個人化と領域化	松本 文夫	Ouroboros	39
ヨルダン・サルト市におけるエコミュージアム構想	河端 智	大阪文化財研究	36
小特集 博物館を考える		学習院大学史料館紀要	16
博物館で何をみるか(続)	湯沢 威		
資料公開の可能性—展示協力と出張協力 二つの試み—	生田 享子		
特集 中心市街地の再生とミュージアム Interview01 KOCHI 集積する都市機能を文化でつなぎまちの賑わいを取り戻す	岡崎 誠也、広末 幸彦、田村 千賀 談 高橋 信裕 インタビュー	Cultivate	36
博物館の社会的役割の推移	小川裕見子	関西大学博物館紀要	16
来館者が博物館に期待する潜在因子に関する研究	加藤 信男	岐阜県博物館調査研究報告	31
博物館運営で思うこと	浅野 裕司	ミュージアムひだ研究報告*	H21年度
特集 2010年の美術館動向＆展覧会 2010年の美術館動向キーワードは「東京駅」「専門特化」		ギャラリー*	300
わたし一人の美術時評 第３回 「国立」という看板	藤田 一人	芸術新潮	731
談話室 野外博物館考—郷土博物館としての役割—	落合 知子	国学院雑誌	1237
文化資源としての博物館資料—日本統治時代に収集された台湾原住民族の資料が有する現地社会での意義—	野林 厚志	国立民族学博物館研究報告	34－4
時評４ 今、ミュージアム・ピースとは何か	中谷 伸生	視覚の現場 四季の綻び	4
時評３ 公立美術館の行方	原田 平作	〃	5
時評４ 素人学芸課長の美術館考	遠藤 貢治	〃	〃
時評５ 「美術館」という名称	江川 佳秀	〃	6
画廊とコレクター 実川暢宏氏へのインタビューを通してみる1960～80年代前半の画廊と作品収集の現場	川谷 承子	静岡県立美術館紀要	25
新しいミュージアム構想に関する一提言	中江 圭	常民文化	33
新美術時評	光田 ゆり	新美術新聞	
第２回 貸画廊とG-tokyoのあいだ—言説の場所はありうるか			1208
第３回 「美術館」と「学芸員」 60年の歴史と変転			1211

全国美術館会議　第25回学芸員研修会開かれる　美術館の情報発信―ウェブの新時代をテーマに		〃	1212
「美術館連絡協議会2010年度総会」開かれる		〃	1233
書を知る12のリレー授業　教えて先生！書のきほん　八限目　美術館	笠嶋　忠幸	墨	202
韓国の博物館における教育事情の調査	菅野　和郎 柿澤　亮三	玉川大学教育博物館紀要	7
シンポジウム　基礎的自治体の博物館・資料館の「使命と役割」		地方史研究	345
「基礎的自治体の博物館・資料館の「使命と役割」―地方史研究協議会版評価基準作成へ向けて―」開催にあたって	地方史研究協議会　博物館・資料館問題検討委員会		
博物館評価制度の導入は改善か改悪か	水嶋　英治		
地域における基礎的自治体立博物館・資料館の「使命と役割」	桑原　功一		
教育現場からみた博物館・資料館の可能性	藤野　　敦		
地方史研究協議会主催シンポジウム「基礎的自治体の博物館・資料館の「使命と役割」―地方史研究協議会版評価基準作成へむけて―」参加記	千枝　大志		
高校生・大学生の博物館利用に関する実践とその課題	長谷川　伸	新潟市歴史博物館研究紀要	6
宮沢賢治の博物館・博覧会をめぐる志向―『黄いろのトマト』と『紫紺染について』を中心に―	深見　美希	日本女子大学大学院文学研究科紀要	16
歴史手帖　展覧会のタイトルについて思い悩む	林　　千寿	日本歴史	750
指定管理者制度にみる社会教育施設とNPOの連携についての一考察―(特)大垣市レクリエーション協会の事例を通じて―	横山　幸司	人間文化	27
滋賀県の考古学16　滋賀県下の博物館の現状と課題	市川　秀之	〃	〃
「震災の記憶」の変遷と展示―復興記念館および東京都慰霊堂収蔵・関東大震災関係資料を中心に―	高野　宏康	年報非文字資料研究	6
特集「博物館総合調査」		博物館研究	500
巻頭エッセイ　博物館白書の足跡をたどる	五十嵐耕一		
博物館をめぐる最近の動向―「博物館総合調査」過去３回の時系列比較―	飯田　浩之		
博物館総合調査における「展示公開」の概要と社会教育調査等に見る博物館	杉長　敬治		
博物館にとっての対外連携・協力について―博物館総合調査より	濱田　浄人		
各種調査からみる博物館の現状	佐々木秀彦		
「公立博物館の地方独法化に向けた取組み」―特区提案の結果について―	高井　健司	〃	〃
巻頭エッセイ　アイヌ民族と博物館	スチュアート・ヘンリ	〃	〃
特集「第57回全国博物館大会報告」		〃	〃
博物館のこれから地域と文化の創造	佐々木正峰		
シンポジウムⅠ「地域と文化の創造―アイヌ文化と博物館―」に参加して	名児耶　明		
シンポジウムⅡ「博物館の再生―魅力ある博物館づくり―」に参加して１	植田　育男		
シンポジウムⅡ「博物館の再生―魅力ある博物館づくり―」に参加して２	山本　哲也		
シンポジウムⅢ「博物館を核とした住民の学び―博物館のボランティア活動―」参加して	志賀健二郎		
国際動向		〃	

北京博物館事情	横井　理夫		501
ICOM—ASPAC日本会議2009」開催報告			〃
「ローマのエウル地区の博物館」	南　新平		502
欧州博物館調査(第一回)　ベルリン博物館群とプロイセン文化財団について	遠藤　啓		506
支部情報　近畿支部／博物館における自己点検・評価の取り組みについて	小舘　誓治 田原　直樹 藤本　真里 武田　重昭 北村　俊平	博物館研究	501
巻頭エッセイ　地方分権と博物館基準	中川　志郎	〃	503
博物館倫理規定と専門家集団としての行動規範	水嶋　英治	〃	〃
特集「コレクションの展示—近代・現代美術館の場合」　巻頭エッセイ　「コレクションの展示」について考える	尾野　正晴	〃	504
「コレクションを展示する」常設展の改革を	山田　諭	〃	〃
現代美術と美術館の展示—パーマネント・インスタレーション(恒久設置作品)について	安田　篤生	〃	〃
海外博物館だより		〃	
ストックホルムの博物館	大洞　龍真		〃
ロシアの博物館事情について	行松　泰弘		505
日本によるベトナムの博物館に対する支援	庄司　祐介		506
特集「博物館職員のための行動規範」		〃	505
巻頭エッセイ　博物館の仕事と行動規範	斎藤　靖二		
「博物館関係者の行動規範」の原則案—日本博物館協会による調査研究の成果から	佐々木秀彦		
巻頭エッセイ　地域の課題解決における博物館の存在感—大阪湾における行政・市民・研究者の連携活動に参加して見えてきたこと	山西　良平	〃	506
特集「平成21年度研究協議会報告」		〃	〃
「博物館における広報活動について」西日本会場から	積山　洋		
博物館における広報活動について	尾関謙一郎		
平成21年度研究協議会「博物館における広報活動について」(東日本)に参加して	菅野　昌子		
投稿　リビアの博物館事情	佐藤希美子	〃	〃
研究ノート　コンテンポラリー・アートに関する美術館の新たな取り組み—英国テート・ギャラリーとインカのアーティスト・インタビュー・アーカイブ—	森下　正昭	美術研究	400
平成二十一年度東西合同シンポジウム		美術史	168
大学における学芸員養成の充実と博物館評価について	栗原　祐司		
美術館外部評価検討委員会に参加して	神林　恒道		
欲しい学術的評価と顕彰の場—展覧会企画と研究	平井　章一		
公立美術館における科学研究費の取得	稲庭彩和子		
奈良文化考　長谷川栄のミューゼオロジィー—ミレニアムを超える巨大祝祭に咲く奈良—	長谷川　栄	美術屋・百兵衛	12
ヨーロッパアート事情　学芸員の真摯な姿勢にわくわく	今津　京子	美連協ニュース	107
変化の時代に対応した美術館・博物館活動の充実にむけて—「平成二十一年度美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業」実施状況報告—	松本　純子	文化財*	558
ミュージアム、経済不況下の北米から	三木　美裕	文環研レポート	29
国際化した“装置としてのミュージアム”	吉田　雅之	〃	〃
指定管理者制度下における博物館運営2—野外博物館北海道開拓の村における村人(むらびと)登録制度—	中島　宏一	北海道開拓の村研究紀要	3

カナダ国オンタリオ州訪問各施設調査報告	細川　健裕 山本　剛 井元　大育	〃	〃
博物館学再考のすすめ—老研究者の言い残すこと—	倉田　公裕	MUSEUM STUDY	21
日本の博物館における外国人向けのサービス—現状・問題・理想—	セラ・アン・マントン	〃	〃
《特集・日本の地域博物館シンポジウム7》		MUSE-OLOGIST	25
第7回日本の地域博物館シンポジウムについて	吉田　優		
考古系博物館の戦後から現在までの流れ—文化財保護法と博物館法制定の60年に向けて—	谷口　榮		
歴史系博物館の戦後から現代までの流れ	吉田　優		
アイヌ民族の展示改革への挑戦　共同研究　博物館におけるアイヌ民族とその文化の展示のあり方の再検討	スチュアート・ヘンリ	民博通信	129
展覧会というメディア—その形式と特性	石崎　尚	武蔵野美術大学研究紀要	40
フィリピン、マニラ周辺の博物館	米倉　立子	ムゼイオン	56
英国地方都市の博物館と歴史展示	外山　徹	明治大学博物館研究報告	15
博物館展示計画の演習	山田　磯夫	横浜美術短期大学教育・研究紀要	5
21世紀フランスの博物館—文化政策にみる「われわれ」の構築と植民地支配の過去—	松沼　美穂	歴史学研究	869
観光・エスニシティ・記憶の文化ポリティクス—アメリカ合衆国におけるマイノリティ集団の博物館を中心に—	馬　暁華	歴史研究	47
文化変調　ハコモノ文化岐路　博物館戦後初の減少　乱立の果て眠る館	大西　若人 赤田　康和 竹瑞　直樹 宮代　栄一 宮本　茂頼	朝　日	4.18
文化変調　第1部「ハコもの」の行方		〃	
3　されど地域の頼みの綱　交流や観光活性化に期待	大西　若人		4.26
5　踏み出せ博物館再生　「学芸員の専門性高めよ」矢島國雄・明治大教授(博物館学)	宮代　栄一 聞き手		5.4
5　踏み出せ博物館再生　「省庁横断的な運営理想」栗原祐司・文化庁美術学芸課長	赤田　康和 聞き手		〃
5　踏み出せ博物館再生　社会の記憶を守る場細らせてはいけない	大西　若人		〃
撮って楽しむ美術展カメラOK変わるルール　写真はネットに、口コミ期待	西田　健作	朝日夕刊	4.7
首都玄関にアートの新風　東京駅前に新美術館2012年まで次々	小川　雪	〃	4.14
深層新層　国立美術館・博物館の事業仕分け　理想追えぬむなしさ	赤田　康和	〃	5.21
美術館LEDで変わる細部まではっきり　作品を保護	西田　健作	〃	7.21
アフター5に芸術鑑賞　美術館、進む夜型化　夜遊び消費活気　飲食店、水族館、競馬も‥‥	道丸　摩耶	産　経	4.24
国内は印象派展ラッシュ		〃	7.21
美術館・博物館“舞台裏”を鑑賞　繊細な空間、修復の見学が人気	竹上　順子	東　京	8.31
世界と日本　大図解シリーズNo.959 ゴッホ展のできるまで	山梨　俊夫	〃	9.19
大学博物館が連携「万人に開かれた施設を」　学芸員配置の義務化求める	栗原　淳	東京夕刊	2.22
コンパス		〃	
常設展ノススメ	(典)		4.10
看板作品	〃		10.9
感性くすぐる非日常家族で楽しめる美術館　展示に工夫、芸術身近に		日　経	2.6

世界　いまを刻む「やり繰り限界」悩める米美術館　財布のひも固く、寄付金も減少	蔭山　道子	日　　経	2.21
漫画・アニメのミュージアム構想　大学・自治体が主役　貴重な資料保存に本腰	田村　広済	〃	5.29
所蔵品活用、市民と模索　公立美術館、企画展頼みに限界　リスト公開や資料共同整理　地域への浸透狙う	窪田　直子	〃	8.21
美の照明　照らしてこそ　光ファイバー照明で文化財や美術品を自然に	豊久　将三	〃	9.16
文化往来　民主主義的な美術館像、映画で問う		〃	9.24
広角鋭角　博物館市民が息吹　1～5		日経夕刊	1.4～6、8、12
企業美術館街をにぎわす　人を呼び込め…オフィスや商業施設の核に	田村　広済	〃	4.19
らいふプラス		〃	
美術品の屋外展示、移ろう表情が人気　新緑の庭園に彫刻溶け込む	杉原　　梓		5.8
懐かしのヒーロー・CM資料館賑わう　時代を映す鏡　世代を超える	河野　祥平		12.18
美術作品映像で解説　携帯情報端末　鑑賞の道しるべ	窪田　直子	〃	6.22
more楽　夜の美術館鑑賞　魅力は「ゆったり」特典も	岸　　桂子	毎　　日	9.7
キャンパる　行ってみました大学ミュージアム　東京海洋大学水産資料館　東京理科大学近代科学資料館　東京農業大学「食と農」の博物館　明治大学博物館	五十嵐祐太 瀬川　早紀 五十嵐亮平 草間さゆり 石田　裕子 木村　三波	毎日夕刊	3.5
相次ぐ画廊の閉店　公立美術館の購入減る　手頃な値段の作品売れ筋に	菅原　教夫	読　　売	2.23
1夜限り　アートな六本木　27日夕から街中に作品		〃	3.19
博物館攻めて生き残る　観光拠点で活性化　大学生以下無料に　初の減少　郷土史系苦戦		読売夕刊	8.17

日　　本

(ア行)

Excitement　秋葉原に大型アートセンター　3331 Arts Chiyoda誕生[アーツ千代田3331]		ギャラリー*	299
特集　アートの創造活性装置「3331」誕生　東京・秋葉原に誕生した3331 Arts Chiyoda　いったい今、何が起ころうとしているのか		〃	302
アキバ新名所となるか　3331 Arts Chiyoda　グランドオープン		芸術新潮	728
秋元康流"アートのすすめ"　第22回ゲスト　秋山成勳[アーツ千代田3331]	秋元　　康、 秋山　成勳 談 山内　宏泰 構成	美術手帖	939
視点　グローバルの中のローカル―3331が目指すもの[アーツ千代田3331]	小崎　哲哉	美術の窓	319
広がる廃校のアート拠点　千代田区にも現代美術家ら運営　地域密着目指す[アーツ千代田3331]	小川　　雪	朝日夕刊	7.14
文化往来　東京の廃校、アートの拠点として再生[アーツ千代田3331]		日　　経	7.19
「アーツ千代田」オープン　アキバの廃校舎活用　芸術家と街、つながる場に	中島みゆき	毎　　日	3.24
コレクション　藍住町歴史館藍の館	阿部　利雄	博物館研究	506
ART＋　東京離れた「画廊島」[island]	(清)	読売夕刊	2.22
探訪ミュージアム13　NPO法人アウシュヴィッツ平和博物館(福島県白河市)	衣川　武秀	歴史地理教育	768
青森県立郷土館の小・中学校を対象とした移動博物館についてII	佐藤　　琢	青森県立郷土館研究紀要	34

青森県立郷土館の広報活動	相馬　信吉	〃	〃
高校生の美術鑑賞の推進について—西目高等学校芸術鑑賞の事例から—[秋田県立近代美術館]	小笠原　宏	秋田美術	46
学校団体の博物館利用に関する調査とまとめ[秋田県立博物館]	藤原　尚彦	秋田県立博物館研究報告	35
展覧会・イベントから5　京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAの開館に思うこと	冨田　章	視覚の現場　四季の綻び	5
博物館展示のいま18 旭川市博物館　アイヌの歴史と文化を体感できる新展示	瀬川　拓郎	歴　博	158
2010年ちひろ美術館の活動について[安曇野ちひろ美術館]	松本　猛	安曇野ちひろ美術館　美術館だより	60
ピクチャレスクの観光化—足立美術館の庭園とコレクションをめぐる一考察	村田麻里子	関西大学博物館紀要	16
研究ノート　アチック・ミューゼアムの足半収集の経緯	藤井　裕之	国立民族学博物館研究報告	35−2
美術館の風景16　アミューズミュージアム		ギャラリー*	300
特集　東京・浅草のアミューズミュージアム　誕生物語のふたり　田中忠三郎と大里洋吉		〃	303
BOROとの遭遇in 浅草[アミューズミュージアム]		芸術新潮	724
Change　写真家による、写真家のためのフォトギャラリー「アルティザン」が本駒込にオープン		ギャラリー*	303
博物館展示のいま20 壱岐市立一支国博物館　壱岐の島「まるごと博物館構想」のシンボル拠点誕生	松見　裕二	歴　博	161
美術館の風景18　田園の美術館(いすみ市郷土資料館)		ギャラリー*	302
資料保存利用施設の紹介—いすみ市郷土資料館(田園の美術館)について—	嶺島　英寿	千葉県の文書館	15
新・学芸員の企画術キュレーションの壺 第42回　板橋区立美術館学芸員　松岡希代子	斉藤　博美	ギャラリー*	304
市町村の歴史資料保存利用に関する支援事業—茨城県立歴史館の取り組み—	富田　任	茨城県立歴史館報	37
特集　消えゆく境界？　美術と工芸　イムラアートギャラリー		ギャラリー*	297
新・学芸員の企画術キュレーションの壺 第35回　いわき市立美術館学芸課長　平野明彦	斉藤　博美	〃	〃
美術館図書室SIG 通信　印刷博物館見学会記	藤代　知子	アート・ドキュメンテーション通信	84
視点　開館十周年を迎えて[上原近代美術館]	高見沢こずえ	美術の窓	324
特集「平成21年度研究協議会報告」　学校と宇都宮美術館の連携について	伊藤　伸子	博物館研究	506
Gallerist Interview 29　浦上満[浦上蒼穹堂]		ギャラリー*	299
漆の小箱3　浦添市美術館が開館20周年	四柳　嘉章	漆芸美術館だより	59
蒐集の鬼たち　魅惑するコレクション　特徴あるコレクションの形成で市民の期待に応える[うらわ美術館]	森田　一　談 高橋　信裕　インタビュー	Cultivate	35
特別展「細川家の至宝—珠玉の永青文庫コレクション—」に寄せて	竹内　順一　談	陶　説	686
細川家の至宝　珠玉の永青文庫コレクション		朝　日	2.24
継承700年、美の世界大きな視点で細川護熙・永青文庫理事長に聞く	大西　若人　聞き手		
「武」と「文」「美」が融合	竹内　順一		
私の履歴書28　小次郎は生きていた　数々の記録、史実を伝える[永青文庫]	細川　護熙	日　経	1.29
憂楽帳　永青文庫の試み	江森　敬治	毎日夕刊	3.15

平成21年度新収蔵品の紹介[江戸東京博物館]	高山　慶子 吉田奈緒子 岡本　純子 西村　直子 沓沢　博行	江戸東京博物館NEWS	69
「対話スキル」の向上にむけて①—愛媛県美術館作品ガイドスタッフの活動紹介—	鈴木　有紀	愛媛県美術館年報・研究紀要	9
事業報告　愛媛県歴史文化博物館友の会活動について	亀井　英希	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	15
MOA美術館における地震対策について	河野　泰典	全文連会報	76
「りょうもうの美術館名品展」と大川美術館	染谷　滋	ガス燈	87
美術館の風景20　財団法人大川美術館		ギャラリー*	304
研究ノート　大阪市明治天皇記念館(大阪市立聖徳館)について—戦中期大阪博物館史の一断面—	井上　智勝	大阪歴史博物館研究紀要	8
時評5　大阪市立近代美術館は準備室の呪縛から解放されるか—フォーラム「私たちの近代美術館をつくるために」	橋爪　節也	視覚の現場　四季の綻び	7
展覧会・イベントから2　国際交流特別展「北宋汝窯青磁—考古発掘成果展」を振り返って[大阪市立東洋陶磁美術館]	小林　仁	〃	5
平成二十一年度東西合同シンポジウム　科研費をもらえない大阪市立美術館	石川　知彦	美術史	168
文書館・史料館めぐり　大阪府公文書館	矢切　努	日本歴史	751
時評1　どうなる？大阪府立現代美術センターの移転——石二鳥をねらった「名案」には、意外な落とし穴があった	天野　和夫	視覚の現場　四季の綻び	6
待つ博物館から動く博物館への取り組み—おもしろい、楽しい歴史体験学習出前授業[大阪府立近つ飛鳥博物館]	三又　耕三	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	13
企画展「名所図会の世界—江戸時代のガイドブックを絵解きする—」展示報告[大田区立郷土博物館]	山本たか子 清水　久男	大田区立郷土博物館紀要	18
Gallerist Interview 31　大田秀則[オオタファインアーツ]		ギャラリー*	301
芸術新潮特別企画　原寸大の西洋美術大全集！大塚国際美術館を歩く		芸術新潮	729
徳島文化考　鳴門で楽しむ西洋の名画　大塚国際美術館		美術屋・百兵衛	14
あの名画が日本にも？　陶板が伝える文化遺産[大塚国際美術館]	柳下　朋子	日経	8.19
文化往来　気鋭の現代美術家、大原美術館に集結		〃	11.22
語る　高階秀爾さん　大原美術館80周年　美術館の役割再認識　価値観の多様性を訴える	岸　桂子	毎日	12.9
日本美術にも重点を拡大　西洋美術の殿堂・大原美術館	〃	毎日夕刊	4.28
大宮盆栽美術館オープン　盆栽、生きている“芸術”		芸術新潮	725
さいたま市の盆栽美術館長　開館当日抗議の辞意　「箱もの発想今後を危惧」		東京	3.30
世界と日本　大図解シリーズNo.937　盆栽入門　観賞の手引[大宮盆栽美術館]	大熊　敏之	〃	4.18
どこでも探検隊　大宮盆栽美術館(さいたま市)　1億円超す名品間近で実感		日経	8.3
美術館の風景13　岡本太郎記念館		ギャラリー*	297
どこでも探検隊　岡本太郎記念館(東京・青山)　あえて座り心地悪いイス		日経	11.23
学校と美術館の連携—5年間を振り返って—[岡山県立美術館]	岡本　裕子	岡山県立美術館紀要	2
museum　北から南52　「岡山・美の回廊」へようこそ[岡山県立美術館]	守安　収	新美術新聞	1228
来館者構成からみた博物館の利用状況—小樽市総合博物館における来館者調査—	森　久大	小樽市総合博物館紀要	23

museum　北から南43　開館30周年記念近代日本画の至宝展尾道市立美術館	中濱　昌二	新美術新聞	1211
時評７　地方の小規模美術館の可能性[小山市立車屋美術館]	中尾　英恵	視覚の現場　四季の綻び	6

（カ行）

特集２　ある名物店の30年　骨董の国への小さな扉[甲斐]	小野　公子談	目の眼	406
SPECIAL FEATURE 村上隆　REPORT02 Kaikai Kiki Gallery	山内　宏泰	美術手帖	945
特集　中心市街地の再生とミュージアム Interview05 SHIBAMATA　伝統文化を活かす変えない開発で下町の賑わいを取り戻す[葛飾柴又寅さん記念館]	安井喜一郎、石川　宏太、村上　健二談　高橋　信裕インタビュー	Cultivate	36
Change　岐阜県大垣市のギャラリーゆう新スペース「勝野醫院」をオープン		ギャラリー*	301
アートの地殻変動17　山出保[金沢21世紀美術館]	北川フラム聞き手　永峰　美佳構成	美術手帖	943
Statement　金沢美術工芸大学　街中にアートギャラリー設立[金沢美術工芸大学アートギャラリー]		ギャラリー*	299
製紙記念館　創立史抄[紙の博物館]	河野　徳吉	百万塔	135
紙の博物館が飛鳥山の麓にあったころ	溝口久美子	〃	〃
美術館の風景19　軽井沢現代美術館		ギャラリー*	303
The 対談・岡本太郎第２ラウンド「プロローグII」(前編)　岡本太郎美術館「前衛下着道―鴨居羊子とその時代」展から生誕100年まで[川崎市岡本太郎美術館]	仲野　泰生	〃	302
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第38回　川崎市市民ミュージアム学芸員金澤韻	斉藤　博美	〃	300
秋元康流“アートのすすめ”　第16回ゲスト　藤原ヒロシ[川村記念美術館]	山内　宏泰構成	美術手帖	932
菊池寛実記念智美術館　対談「第三回智美術館大賞展　現代の茶―造形の自由」	林屋　晴三談　森　孝一聞き手	陶説	689
コレクション　木更津市郷土博物館金のすず	稲木　章宏	博物館研究	503
〈特集〉　北区飛鳥山博物館の展示活動―展示を支える５つの手法と26の企画展示	石倉　孝祐　久保埜企美子　鈴木　直人　大塚由利子　中野　守久　山口隆太郎　古屋　紀之　中村　洋子	北区飛鳥山博物館研究報告	12
研究ノート　郷土のクラとしての博物館―郷土博物館としての北区飛鳥山博物館―	平澤佑加子	〃	13
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20　昭和に出会える博物館２　北名古屋市歴史民俗資料館　昭和日常博物館　昭和30年代、あの日の放課後	市橋　芳則	美術の窓	326
美術館の風景14 KID AILACK ART HALL		ギャラリー*	298
Statement Exhibition cycle って何？新しいアートの鑑賞スタイル[gallery art synapse]		〃	305
関西ギャラリー再発見 VOL. 08　Gallery OUT of PLACE		美術屋・百兵衛	14
関西ギャラリー再発見 VOL. 06　ギャラリー AO		〃	12
Gallerist Interview 36　川舩敬[ギャラリー川船]		ギャラリー*	304
Gallerist Interview 27　椿原弘也[ギャラリー椿]		〃	298
Gallerist Interview 38　爲永清嗣[ギャルリーためなが]		〃	305
Gallerist Interview 33　土倉有三[ギャルリー東京ユマニテ]		〃	302
教育普及活動とボランティア―博物館の楽しみ方を知る達人と共に―[九州国立博物館]	古賀　祐子　村田真知子	東風西声	5

博物館の展示の満足度を探る—九州国立博物館文化交流展示の場合—	渡辺　朗子	東風西声	5
京都国際マンガミュージアムにおける来館者調査—ポピュラー文化ミュージアムに関する基礎研究	村田麻里子 山中　千恵 谷川　竜一 伊藤　遊	京都精華大学紀要	37
特集　ポスターで振り返る「茶の湯の展覧会」　対談　展覧会運営者に聞く「茶の湯展」の過去と今 3　考古学の視点を取り入れた希有な茶の湯展、『日本人と茶』展を語る　尾野善裕　京都国立博物館	中村　修也 聞き手	淡　交	795
研究ノート　京都大学総合博物館学術映像博2009とミュージアム・リテラシー	山下　俊介	京都大学総合博物館ニュースレター	24
研究発表〈要約〉　銀座紀伊國屋ギャラリーをめぐって	大谷　省吾	近代画説	19
特集　消えゆく境界？　美術と工芸　銀座黒田陶苑		ギャラリー*	297
Gallerist Interview 34　黒田佳雄[銀座黒田陶苑]		〃	303
「皇室の文庫〔ふみくら〕　書陵部の名品」皇居東御苑　三の丸尚蔵館で、体系的に初公開[宮内庁三の丸尚蔵館]		新美術新聞	1225
平成二十一年度東支部例会発表要旨　宮内庁三の丸尚蔵館の保存事業と公開	太田　彩	美術史	168
支部情報　九州支部熊本県立美術館スクールミュージアム〈美をとどける…〉美術館と学校の連携の取り組み	犬童　昭久	博物館研究	504
探訪ミュージアム 7　倉敷考古館(岡山県倉敷市)	大森　久雄	歴史地理教育	761
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第37回　群馬県立近代美術館学芸員　田中龍也	斉藤　博美	ギャラリー*	299
福島文化考　現代グラフィックアートセンター		美術屋・百兵衛	15
香雪記念資料館での活動をふり返って	仲町　啓子	MUSEOLOGY	29
福島文化考　郡山市立美術館		美術屋・百兵衛	15
博物館展示のいま21　國学院大學伝統文化リサーチセンター資料館「モノと心に学ぶ伝統の知恵と実践」	内川　隆志	歴　博	162
museum　北から南41　絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から[国立国際美術館]	島　敦彦	新美術新聞	1207
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第39回　国立新美術館学芸課長　南雄介	斉藤　博美	ギャラリー*	301
六本木のアートのとびら—国立新美術館教育普及事業の3年間—	吉澤　菜摘	国立新美術館ニュース	13
国立新美術館　展覧会入場者1000万人を達成		新美術新聞	1228
視点　国立新美術館の米軍ヘリ基地隣接問題について	川崎　悟	美術の窓	318
美術館図書室と一過性資料　国立西洋美術館研究資料センターのアーティスト・ファイル公開について	川口　雅子	アート・ドキュメンテーション通信	85
上野の杜の12の物語第三、四章　国立西洋美術館(上・下)	中野　中	美術屋・百兵衛	13、14
国立西洋美術館が解説ソフト　実物と画面見比べ理解	(典)	東京夕刊	4.2
携帯端末を使った鑑賞ガイド　国立西洋美術館で始まる	岸　桂子	毎日夕刊	4.14
museum　北から南55「彫刻家エル・アナツイのアフリカ」展—複数の語りが出会うとき[国立民族学博物館]	川口　幸也	新美術新聞	1232
みんぱく2010『民博通信』の改訂によせて[国立民族学博物館]	須藤　健一	民博通信	129
“何か”「まだはっきりとはつかめないけれど…」　共同研究民族学博物館における表現創出を活用した異文化理解プログラムの開発—多元的な場での“気づきの深化”のデザイン化—[国立民族学博物館]	西　洋子	〃	131

新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第46回 国立歴史民俗博物館准教授 高橋一樹	斉藤 博美	ギャラリー*	308
探訪ミュージアム1 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)	渡辺 明	歴史地理教育	754
日本史のひろば 歴博「現代展示」における歴史叙述の試み[国立歴史民俗博物館]	安田 常雄	歴史と地理	640
歴史への招待状 第6展示室「現代」「大衆文化」の基本的視点[国立歴史民俗博物館]	〃	歴博	159
総合展示の新構築 第4室 正月と盆の調査から[国立歴史民俗博物館]	第4室リニューアル委員会	〃	〃
特集 人の移動—第6展示室「現代」—		〃	162
流動的な時代とは 人びとの移動の顕著な時代[国立歴史民俗博物館]	関沢まゆみ		
「現代展示」における「人の移動」という視点[国立歴史民俗博物館]	安田 常雄		
展示室からTopics 第6展示室開室記念特集展示 「アメリカに渡った日本人と戦争の時代」[国立歴史民俗博物館]	原山 浩介	〃	〃
歴博けんきゅう便 第37回 第6展示室「現代」 主要な四つのテーマ 歴博フォーラムのまとめ[国立歴史民俗博物館]	安田 常雄	〃	163
歴博「集団自決」記述復活へ なぜ…経緯、議論見えず[国立歴史民俗博物館]	岩岡 千景	東京夕刊	9.8
歴博の「昭和史」常設展示 政治色を排し戦時生活に光 議論7年、評価に慎重[国立歴史民俗博物館]	郷原 伸之	日経	3.20
歴博の「現代」 激動の昭和 待望の展示 沖縄戦解説に批判も[国立歴史民俗博物館]	栗原 俊雄	毎日	4.15
美術館の風景21 小杉放菴記念日光美術館		ギャラリー*	305
museum 北から南48 小杉放菴の創造の小径を辿る 小杉放菴記念日光美術館	田中 正史	新美術新聞	1220
渋谷のビルの8階で1周年 「日本一」エジプト美術館 元証券マン癒し求め1000点超収集[古代エジプト美術館]	浅井 晃弘	東京	6.25
文書館・史料館めぐり 後藤新平記念館	千葉 章	日本歴史	745
少しの心がけで、見方が劇的に変わる!? 展覧会をより楽しむ方法 「知らないこと」を恐れない。—茶道具展示の見方[五島美術館]	名児耶 明	淡交	795
画廊の本音 小山登美夫ギャラリー 美術にニーズは無い なぜなら新しいものだから	小山登美夫	新美術新聞	1233

(サ行)

文書館・史料館めぐり 埼玉県立歴史と民俗の博物館	宮 昌之	日本歴史	742
museum 北から南40 平山郁夫氏の玄奘三蔵追体験の旅とその偉業を振り返る追悼展を開催[佐川美術館]	吉川 和孝	新美術新聞	1205
museum 北から南42 開館20周年記念展「芸森の名品」[札幌芸術の森美術館]	今村 信隆	〃	1208
美術館の風景17 佐藤美術館		ギャラリー*	301
少しの心がけで、見方が劇的に変わる!? 展覧会をより楽しむ方法 展覧会の楽しみ方—美術館の舞台裏から[サントリー美術館]	石田 佳也	淡交	795
museum 北から南49 「型染うちわ」展と「ぬくもりのあるかたち」展 静岡市立芹沢銈介美術館	白鳥誠一郎	新美術新聞	1221
文書館・史料館めぐり 史跡足利学校	市橋 一郎	日本歴史	743
Pick-up Museum 信濃デッサン館		ギャラリー*	306
Pick-up 現代美術の発信拠点・信濃橋画廊の歴史に幕 作家と共にあり続けた45年		〃	308

Gallerist Interview25 荒井一章[不忍画廊]		ギャラリー*	297
コレクション　出雲の藍板締め染め用具及び製品[島根県立古代出雲歴史博物館]	浅沼　政誌	博物館研究	504
博物館展示のいま19 島根県立古代出雲歴史博物館　多彩な歴史文化　新たな地域文化	松本　岩雄	歴　　博	160
画廊の本音　Shugo-Arts(シュウゴアーツ)	佐谷　周吾	新美術新聞	1235
Statement イラストレーションの現状って？　アートと似て非なる世界[12G.]		ギャラリー*	301
支部情報　北信越支部／平成の大合併と上越市立総合博物館	花岡　公貴	博物館研究	500
日本史のひろば　昭和館	杉本　隆一	歴史と地理	632
女子美術大学が所蔵する旧カネボウコレクションの学術研究、保存、教育的活用に関する美術館の取り組み[女子美術大学美術館女子美アートミュージアム]	内藤　幸江 澤井　智実 深津　裕子 石井　美恵 岡田　宣世	女子美術大学研究紀要	40
歴史探訪ミュージアム特別展開催報告[白石城歴史探訪ミュージアム]	後藤　三夫	刀剣美術	637
秋元康流“アートのすすめ”　第21回ゲスト　藤井フミヤ[白金アートコンプレックス]	秋元　康、藤井フミヤ談 山内　宏泰構成	美術手帖	937
佐伯祐三記念館　きょう開館　よみがえる夭折の画家[新宿区立佐伯祐三アトリエ記念館]		産　　経	4.28
展示評　隅田川文化の誕生—梅若伝説と幻の町・隅田宿—[すみだ郷土文化資料館]	亀谷　弘明	歴史学研究	871
オルタナティブスペースの軌跡　Space＋の7年	田中由紀子	ＲＥＡＲ	23
museum　北から南45　喜びあふれる石本正の美術館　浜田市立石正美術館	神　　英雄	新美術新聞	1216
コレクション　石洞美術館	林　　克彦	博物館研究	505
museum　北から南47　失われゆく風景を求めて「向井潤吉と民家」展　世田谷美術館分館向井潤吉アトリエ館	矢野　　進	新美術新聞	1219
特別読物　住友春翠の茶会と道具[泉屋博古館分館]	両角かほる	淡　　交	790
青葉縁日シリーズ「ノードの思考」新解[せんだいメディアテーク]	清水　　有	ミルフイユ	2
museum　北から南56　「所蔵作品展」名作群を一堂に西洋画から日本画まで　損保ジャパン東郷青児美術館	中島　啓子	新美術新聞	1234
休館日に鑑賞会　子供ら弾む会話　新宿の美術館気兼ねなく[損保ジャパン東郷青児美術館]	大塚　　晶	朝　　日	2.7

（タ行）

関西ギャラリー再発見 VOL.09　大雅堂		美術屋・百兵衛	15
探訪ミュージアム12 大黒屋光太夫記念館(三重県鈴鹿市)	岩脇　　彰	歴史地理教育	766
山田五郎のワケあり！　ビアトリクス・ポター資料館(埼玉・東松山市)　絵本の世界、忠実に再現[大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館]	山田　五郎	朝　　日	6.12
特集　ポスターで振り返る「茶の湯の展覧会」　対談　展覧会運営者に聞く「茶の湯展」の過去と今4　永青文庫の「秘宝初公開展」が二年続けて百貨店で開催された、旧き良きあの時代　飯塚武夫　高島屋東京店[高島屋(日本橋)]	中村　修也聞き手	淡　　交	795
Change Takuro Someya Contemporary Art　柏と築地　2つの拠点で同時開催		ギャラリー*	297
Change　銀座・たけだ美術が移転　プライマリーにも乗り出す		〃	305
たばこと塩の博物館における広報活動について—日本博物館協会協議会での事例発表をもとに—	袰地由美子	たばこと塩の博物館年報	25

教育博物館の国際学級支援の試み[玉川大学教育博物館]	宇野　慶	玉川大学教育博物館紀要	7
コレクション　茅ヶ崎市文化資料館	須藤　格	博物館研究	501
地中美術館の語られなかった不思議　遥かな音に耳を澄ます	松永　高幸	日　経	4.8
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第41回　千葉市美術館学芸員　伊藤紫織	斉藤　博美	ギャラリー*	303
学生が展覧会企画・運営　千葉大と千葉市美術館連携	高野　清見	読　売	1.26
視点　「三千万人達成に想う。」[彫刻の森美術館]	永井　泰山	美術の窓	322
彫刻の森　来月初旬に3000万人突破へ　彫刻の野外展示先駆け[彫刻の森美術館]		産　経	4.28
街角アート　住宅街のなかの美術館[長泉院附属現代彫刻美術館]	星野　清一	新美術新聞	1231
探訪ミュージアム6　対馬丸記念館(沖縄県那覇市)	山口　剛史	歴史地理教育	760
常田健　土蔵のアトリエ美術館—リンゴ園の小さな美術館—	岡田　文	美術運動	137
Excitement　中ノ島デザインミュージアム「de sign de＞」が来春に誕生　9月から順次プレオープン事業も		ギャラリー*	305
時評3　大阪をデザインでときめかす—中之島デザインミュージアム　de sign de＞構想	大野　裕子	視覚の現場　四季の綻び	6
INFORMATION　アートと建築と自然が一体化した「豊島美術館」誕生！	永峰　美佳	美術手帖	946
「産廃」からアートの島に　香川・豊島　棚田再生の試みも[豊島美術館]	三浦　航	日　経	11.1
香川・豊島美術館　作品と建築　補い合う空間	高野　清見	読　売	11.25
Change　大阪・帝塚山画廊が堀江に移転「TEZUKAYAMA GALLERY」に		ギャラリー*	300
展示評　鉄道博物館	亀谷　弘明	歴史学研究	864
美術館の風景15　TOKYO ART MUSEUM[東京アートミュージアム]		ギャラリー*	299
画廊の本音　東京画廊1、2	山本　豊津	新美術新聞	1227、1228
大波小波　隠れている怪物[東京国立近代美術館フィルムセンター]	(麒六)	東京夕刊	1.28
東京帝室博物館における講演会活動開始についての試論[東京国立博物館]	桐原　直子	芸術学研究(筑波)	14
少しの心がけで、見方が劇的に変わる!?　展覧会をより楽しむ方法　「眼力」のスイッチの入れ方[東京国立博物館]	木下　史青	淡　交	795
平成二十一年度東支部例会発表要旨　東京国立博物館における皇室展の意義	原田　一敏	美術史	168
平成21年度海外展報告　大英博物館における「土偶」展と東京国立博物館における帰国記念展　大英博物館帰国記念「国宝土偶展」を終えて	井上　洋一	文化財*	562
お宝バス快走　国立博物館が「平常展」PR[東京国立博物館]		東京夕刊	3.24
more楽　美術館・博物館の保存・修理　文化財を「健康診断」[東京国立博物館]	岸　桂子	毎　日	4.20
平成24年度　東京都美術館リニューアル後の公募展示室使用問題		新美術新聞	1226
東京都美術館の建築プロセスにおける設計内容の確定過程	西野佐弥香 高松　伸 古阪　秀三 平野　吉信	日本建築学会計画系論文集	654
巻頭特集　美術団体はどうなる!?　実力派125名の作品を一挙紹介　美術団体の底力　2012(平成24)年4月、東京都美術館はこう変わる!!		美術の窓	320
団体展の「聖地」2年間休館　上野の東京都美術館来月から改修	小川　雪	朝日夕刊	3.10
前川國男の設計思想継承　「素材への思い入れ」今回も　都美術館大改修[東京都美術館]	高野　清見	読　売	5.20

話題の人巻頭インタビュー　下條啓一さん(東京美術商協同組合理事長・株式会社東京美術倶楽部代表取締役副社長)	編　集　部	目の眼	409
Change　新天地は東京タワー前　東邦アートが芝公園に移転		ギャラリー*	302
地球ミュージアム紀行　大学博物館の資源は教授陣!?　東北学院大学博物館	加藤　幸治	みんぱく	389
秋元康流"アートのすすめ"　第24回ゲスト　伊藤英明[トーキョーワンダーサイト本郷]	秋元　康、伊藤　英明談　山内　宏泰構成	美術手帖	943
新名称は「TOTOギャラリー・間」25周年記念　建築の新潮流展を開催中	永田　晶子	毎日夕刊	12.6
特集　中心市街地の再生とミュージアム Interview04　TONO博物館を核に地域文化を掘り起こす永遠の日本のふるさとづくり[遠野市立博物館]	本田　敏秋、松田　和子、栗原　祐司談　高橋　信裕インタビュー	Cultivate	36
museum　北から南44　美術品に花開いた牡丹を愛でる　徳川美術館	龍澤　彩	新美術新聞	1213
支部情報　四国支部　徳島県立近代美術館における学校との連携活動—共通するフィールドを広げる	森　芳功	博物館研究	503
徳島文化考　徳島県立近代美術館		美術屋・百兵衛	14
徳島文化考　徳島県立文学書道館		〃	〃
文書館・史料館めぐり　富山県公文書館	嶋本　隆一	日本歴史	747
特集　中心市街地の再生とミュージアム Interview02　TOWADA世界基準の文化によるまちの賑わい再生プログラム[十和田市現代美術館]	小山田　久、高屋　昌幸談　高橋　信裕インタビュー	Cultivate	36
草間彌生もキッズも唄う　祝Arts Towada完成[十和田市現代美術館]		芸術新潮	727

（ナ行）

卒業生による活動報告　中山道広重美術館	福田　訓子	MUSEOLOGY	29
長野版アートゲームの制作について—長野県信濃美術館の鑑賞教育への取り組み—	土屋　宏美	長野県信濃美術館紀要	4
古文書めぐり　長野県立歴史館収蔵の中世文書	村石　正行	古文書研究	69
特集「平成21年度研究協議会報告」　市民と博物館の連携—地域の自然・文化団体と那須野が原博物館の連携	金井　忠夫	博物館研究	506
平城遷都1300年祭特集　まほろばの遺産次代へ　中西進・奈良県立万葉文化館館長に聞く　知識より心で向き合う	竹内　義治聞き手	日　経	10.7
文書館・史料館めぐり　奈良国立博物館	野尻　忠	日本歴史	741
巻頭エッセイ　「平城遷都1300年祭」によせて[奈良国立博物館]	湯山　賢一	博物館研究	502
奈良文化考　奈良国立博物館—古都の文化財を守る博物館—		美術屋・百兵衛	12
コレクション　奈良大学博物館	栗田美由紀	博物館研究	500
《鮭図》に迫る—さかなをえがく　ワークショップの成果と課題[新潟県立近代美術館]	野村　宏毅	新潟県立近代美術館研究紀要	9
新潟文化考　新潟、２つの県立美術館[新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館]		美術屋・百兵衛	13
新潟文化考　むかしのにいがた　みる、きく、まなぶ。新潟県立歴史博物館		〃	〃
新潟市美術館問題その後	笹木　繁男	jaic会報	20
展示品にカビ　新潟市美術館が休館　地域への貢献　葛藤続く	小川　雪	朝　日	6.12
サタデー発言	名古屋　覚	東　京	
新潟市美術館　改革委の公開を			5.29
新潟市美術館　あきれた改革委報告			8.28
ニッポン密着　新潟市美術館　独断運営でほころび　生え抜き学芸員放出	立上　修	毎　日	3.21

記者の目　新潟市美術館の“かび”騒動　作品保存・研究の原点に返れ	〃	〃	4.14
作品管理の基本問い直す　新潟市美術館長解任	前田　恭二 市原　尚士	読　　売	3.25
新潟文化考　百兵衛のはじまり—「百兵衛」創刊のきっかけとなった博物館—[新潟市歴史博物館]		美術屋・百兵衛	13
特集　ノスタルジック昭和を描く　㊙技法講座 VOL. 20　昭和に出会える博物館　1　杉並区立西田小学校郷土資料展示室　僕らの青春、昭和30年代へようこそ		美術の窓	326
画廊の本音　西村画廊1、2　作家とともに生き、成長していく	西村　建治	新美術新聞	1230、1231
箱ギャラリー、個性キラリ　面白い作品に囲まれ10年「創造の現場」これからも[ニヒル牛]	石川　ある	日　　経	11.17
関西ギャラリー再発見 VOL. 07　neutron		美術屋・百兵衛	13
生まれ変わった根津美術館—根津公一館長聞き書き	島尾　　新 聞き手	国華清話会会報	15
museum　北から南 50　青山で満喫できる美術と庭園[根津美術館]	根津美術館・学芸部広報	新美術新聞	1225
特集　ポスターで振り返る「茶の湯の展覧会」　対談　展覧会運営者に聞く「茶の湯展」の過去と今　1　「根津青山の茶」という切り口を生かして　西口宏子　根津美術館	中村　修也 聞き手	淡　　交	795
展示法の現在　新・根津美術館を支える最高水準の技術	山内　佳弘 談	〃	〃
特集＝新創開館記念シンポジウム　美術館をつくる—根津美術館の実践と提言		此　　君*	2
基調講演2　夢と理想の美術館をつくる	西田　宏子		
報告1　新施設整備計画の経緯と収蔵環境づくり	菅野　元衛 太田　昭彦		
報告3　文化財の展示と保存環境　街と人と自然と美術の出会いを支えるゾーニング計画	佐野　千絵		
報告4　展示ケースに求められるもの	山内　佳弘		
報告5　展示作品の光と波長	豊久　将三		
らんどまあく@東京　根津美術館　息づく独立独歩の精神	鈴木　淑子	朝　　日	1.14
特集　ポスターで振り返る「茶の湯の展覧会」　対談　展覧会運営者に聞く「茶の湯展」の過去と今　2　「茶の湯の美術館」としての役割を果たし続ける　谷晃　野村美術館	中村　修也 聞き手	淡　　交	795

（ハ行）

明治村本物の魅力　歴史背負った建物救う使命[博物館明治村]	鈴木　博之	朝日夕刊	8.4
新・学芸員の企画術キュレーションの壺　第43回　箱根ガラスの森美術館館長　岩田正雀	斉藤　博美	ギャラリー*	305
人・模・様　ヨーロッパ貴族の宝に酔う[箱根ガラスの森美術館]	望月　一夫	毎日夕刊	7.17
秋元康流“アートのすすめ”　第26回ゲスト　岩崎夏海[ハラミュージアムアーク]	秋元　康、 岩崎　夏海 談 藤田　千彩 構成	美術手帖	945
SPECIAL FEATURE　村上隆　REPORT02　Hidari Zingaro　當麻篤	山内　宏泰	〃	〃
Change　ヒノギャラリーが中央区・入船に移転[Hino Gallery]		ギャラリー*	299
リニューアル後の展覧会観覧者の動向についてII—アンケート調査をもとに分析する—[兵庫県立歴史博物館]	足立　龍彦	塵　　界	21
新・学芸員の企画術キュレーションの壺　第40回　平塚市美術館館長代理　土方明司	斉藤　博美	ギャラリー*	302

「執着」集めた企画展示 「一人快芸術」展[広島市現代美術館]	小川　敦生	日　　経	1.20
文書館・史料館めぐり　福井県文書館	平野　俊幸	日本歴史	750
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第36回　福井県立美術館学芸員　西村直樹	斉藤　博美	ギャラリー*	298
特集　アジア美術的〈近代〉　第２部〈コラム６〉「近代」を配置する—アジ美コレクション小史[福岡アジア美術館]	黒田　雷児	美術フォーラム21	21
新収蔵作品展[福岡市美術館]		福岡市美術館古美術室解説	195
福島文化考　福島県立美術館		美術屋・百兵衛	15
「藤子・F・不二雄ミュージアム」来年開館　緑の中にドラえもん	小原　　篤	朝　　日	4.3
川崎に藤子・F・不二雄ミュージアム「原稿は彼の生きた時間」	三品　貴志	産　　経	4.5
来秋、川崎にオープン　原画５万点を展示 「藤子・F・不二雄ミュージアム」		東京夕刊	4.7
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第44回　ブリヂストン美術館学芸員　中村節子	斉藤　博美	ギャラリー*	306
歩いて楽しむ京都の歴史　平安博物館	山田　邦和	東　　京	10.23
動向　資料館紹介　房総のむら(風土記の丘資料館)について[房総風土記の丘資料館]	千葉県立房総のむら	地方史研究	345
museum　北から南51　没後100年、秋、ルソーの空　ポーラ美術館	今井　敬子	新美術新聞	1226
特集　2010年の美術館動向＆展覧会　2010年美術館オープン・リニューアル情報　ホキ美術館「写実の殿堂」が千葉県に誕生		ギャラリー*	300
Pick-up Museum　ホキ美術館		〃	307
月刊ギャラリー創刊25周年記念　小川英晴のアート縦横　No.３【企画構成】日本初の写実絵画専門美術館・ホキ美術館　１　ホキ美術館開館記念対談	保木　将夫 小川　英晴	〃	308
いま再び写実　主義から思想へ　若手が台頭[ホキ美術館]	西田　健作	朝日夕刊	10.27
現代日本の写実絵画「ホキ美術館」オープン　森本草介作品などコレクション300点	岸　　桂子	毎日夕刊	11.1
展覧会スポットライト 「BOKUNEN ART MUSEUM」開館	島袋　　浩	版画芸術	149

（マ行）

museum　北から南54　名画・庭園—長野で出会う日本の美[水野美術館]	水野美術館	新美術新聞	1231
短編映画の世界も再現　三鷹の森ジブリ美術館　オリジナル７作品　絵や模型を展示		日　　経	5.25
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第45回　三井記念美術館学芸員　樋口一貴	斉藤　博美	ギャラリー*	307
museum　北から南53 「円山応挙—空間の創造」三井記念美術館	樋口　一貴	新美術新聞	1229
Pick-up 新・銀座三越に現代美術専門画廊がオープン　若手作家も積極的に紹介する意欲的なギャラリーに[三越(銀座)]		ギャラリー*	305
特集　2010年の美術館動向＆展覧会　2010年美術館オープン・リニューアル情報　三菱一号館美術館　東京・丸の内に誕生する都市型美術館		〃	300
ときの人21　時代が求める「都市型美術館」　三菱一号館美術館館長　高橋明也さん		新美術新聞	1231
三菱一号館美術館		美術屋・百兵衛	14
彩・美・風[三菱一号館美術館]	高橋　明也	朝日夕刊	6.9、23

三菱一号館美術館「カンディンスキーと青騎士」展　高橋明也館長に聞く　洋館で輝く抽象画の革新性	三沢　典丈	東京夕刊	12.24
すまい×すまう　脚光浴びる丸の内「三菱一号館美術館」4月6日開館	小菊　豊久	読　　売	3.18
連鎖と潜在力―美濃加茂市民ミュージアムの10年とこれから	可児　光生	美濃加茂市民ミュージアム紀要	9
研究ノート　地域のミュージアムができること―地域再発見プログラム事業から―[美濃加茂市民ミュージアム]	藤村　　俊	〃	〃
報告　みのかも文化の森における学校活用の内容の変化について	西尾　　円	〃	〃
Pick-up Museum ミュゼオ御殿場		ギャラリー*	308
戦後美術を支えた村松画廊、閉じる		芸術新潮	722
現代日本美術の研究に朗報―「村松画廊記録集」の刊行	中島　理寿	新美術新聞	1209
Change　また銀座・新富町に現代美術画廊が移転　MEGUMI OGITA GALLERY		ギャラリー*	298
秋元康流“アートのすすめ”　第18回ゲスト　姿月あさと[メゾンエルメス8階フォーラム]	山内　宏泰 構成	美術手帖	934
もうひとつの美術館	野沢　和弘	毎　　日	8.14
特集　中心市街地の再生とミュージアム　Interview 03　MORIOKA　歴史と文化を今に活かす城下町フィールドミュージアム構想[もりおか歴史文化館]	谷藤　裕明談 高橋　信裕、若月　憲夫インタビュー	Cultivate	36
医学と芸術展　生命と愛の未来を探る　ダ・ヴィンチ、応挙、デミアン・ハースト　身体観体感できる場[森美術館]	平野啓一郎	読売夕刊	1.19
福島文化考　国内唯一のダリ専門館　諸橋近代美術館		美術屋・百兵衛	14

（ヤ行）

コレクション　八千代市立郷土博物館	宮下　聡史	博物館研究	502
探訪ミュージアム11　山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館(山形県高畠町)	伊田　　稔	歴史地理教育	765
山口県立山口博物館所蔵の写本について	伊原慎太郎	山口県立山口博物館研究報告	36
特集　2010年の美術館動向＆展覧会　2010年美術館オープン・リニューアル情報　ヤマザキマザック美術館　18世紀～20世紀のフランス美術を一望		ギャラリー*	300
名古屋に「ヤマザキマザック美術館」ロココ絵画収集充実		読　　売	5.13
つかう　飛び出せ、光琳柄！[大和文華館]		芸術新潮	730
50周年を迎えて3「断想」[大和文華館]	武田　恒夫	美のたより	170
美術の窓113　財団法人大和文華館の古記録「業務概況」	浅野　秀剛	〃	171
美術の窓114　直近一ヶ月の美術鑑賞―開館50周年に向けて―[大和文華館]	〃	〃	172
博物館における青銅鏡作り体験の実際的方法[山梨県立考古博物館]	米田　明訓	山梨県考古博理文センター紀要*	26
参加型教育美術展「新みなび」[山梨県立美術館]	小俣　直喜 市川知都理	山梨県立美術館研究紀要	24
探訪ミュージアム4　山梨平和ミュージアム・石橋湛山記念館(山梨県甲府市)	向山　三樹	歴史地理教育	758
平成二十一年度東西合同シンポジウム　指定管理者制度のいま―横浜美術館が抱える諸問題	雪山　行二	美術史	168
探訪ミュージアム5　吉野作造記念館(宮城県大崎市)	永澤　汪恭	歴史地理教育	759
Change　吉美画廊から新スペース　Yoshimi Arts 誕生		ギャラリー*	304
出雲文化圏と東アジアV　学び舎の風景　山陰歴史館初代館長足立正の視点[米子市立山陰歴史館]	梅林　智美	アジア遊学	135

museum　北から南46　日本美術の開拓者もここから始まった—「萬鉄五郎　初期素描展」萬鉄五郎記念美術館	平澤　広	新美術新聞	1217

（ラ行）

アートの風　8月　李禹煥美術館　美術と建築の魅惑的な一体化	三田　晴夫	毎日夕刊	8.18
特集　消えゆく境界？　美術と工芸　レントゲンヴェルケ		ギャラリー*	297

（ワ行）

事例報告　和歌山県立博物館の音声ガイドシステムについて	竹中　康彦	和歌山県立博物館研究紀要	16
シリーズ　新自由主義時代の博物館と文化財　和歌山大学博物館の雑賀惣国復活プロジェクト—ビデオライブラリー秀吉の太田城水攻めDVDの波紋—	海津　一朗	日本史研究	573
古文書めぐり　早稲田大学大学史資料センターとその所蔵資料	真辺　将之	古文書研究	68
美術館図書室SIG通信　早稲田大学坪内博士記念演劇博物館見学記	山崎　美和	アート・ドキュメンテーション通信	85
探訪ミュージアム2　早稲田大学坪内博士記念演劇博物館(東京都新宿区)	小林　幸雄	歴史地理教育	755

海　外

Gallerist Interview26 Dominique Perrega-ux[Art Statements Gallery]		ギャラリー*	297
教員随想　パルテノン彫刻の調査とアクロポリス美術館の変遷	篠塚千惠子	美史研ジャーナル	7
特集1　欧州最古の博物館　アッシュモレアンと日本美術		目の眼	403
特集1　欧州最古の博物館　アッシュモレアンと日本美術		〃	〃
アッシュモレアンにおけるオリエントと日本美術—オリヴァー・インピーの眼	井谷　善恵		
座談会　文化を超えて、時を超えてオックスフォードで愛される日本美術	クレア・ポラード、ジョイス・シーマン、渡辺　充子　対談　井谷　善惠　司会		
INFORMATION　端正な映像で見る美術館改築騒動の舞台裏[アムステルダム国立美術館]	森本　俊司	美術手帖	940
視点　美術館をめぐる輪舞曲〔ロンド〕[アムステルダム国立美術館]	藤原えりみ	美術の窓	324
「美術館は小宇宙」オランダ　改築騒動が映画に[アムステルダム国立美術館]	小川　雪	朝日夕刊	9.1
ドキュメンタリー映画「ようこそ、アムステルダム国立美術館へ」　改築巡るドタバタ劇　アジア館の「目玉は」？	黒沢　綾子	産　経	9.1
Gallerist Interview28 Geneviève Lévesque[ARTÈRIA ART GALLERY]		ギャラリー*	298
現代美術と地域交流イエルバブエナ・アート・センターによる住民へのアプローチ	ヘゼンテ・アリネ・ララ	芸術学研究(筑波)	15
古都にアヴァンギャルド建築出現！イタリア初の国立現代美術館[イタリア国立21世紀美術館]	高橋　恵理	芸術新潮	728
「ザ・コレクション・ヴィンタートゥール」展　欧州の美大人の彩り[ヴィンタートゥール美術館]	酒井　忠康	読売夕刊	8.5
海外レポート　上海の新美術館開館と北京のR・チャン・コレクション展[ウーレンスセンター]	南條　史生	新美術新聞	1218
チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展　内モンゴル博物院塔拉院長が語る見どころ	原　誠　聞き手	産　経	2.17
求む自画像！ウフィツィの知られざる大コレクション[ウフィツィ美術館]		芸術新潮	730

国家もしくは都市の顕彰装置としての自画像コレクションの歴史文化史的研究—学術調査研究から展覧会に至るまで—[ウフィツィ美術館]	小佐野重利	国立国際美術館ニュース	181
自画像コレクション日本人が調査　ウフィツィ進取の気性	小川　敦生	日経夕刊	10.12
Excitement　オーストリア・ベルヴェデーレ宮殿美術館　エファ・マリーア・シュタットラー氏が来日		ギャラリー*	300
Gallerist Interview 39　ユージーン・タン[オサージ・ギャラリー]		〃	305
保存版大特集　生まれかわるオルセー美術館へ		芸術新潮	727
とっておきの21世紀版オルセー鑑賞ガイド	高橋　明也 案内人		
ドキュメント　オルセーの仕事人たち	編　集　部		
オルセー美術館ポスト印象派特集　近代絵画の粋大移動　殿堂のすべてを満喫	宝玉　正彦	日　　経	2.14
オルセー美術館展2010		〃	5.20
ギ・コジュヴァル館長に聞く　19世紀の文化、総合的に見せたい	ギ・コジュヴァル		
駅舎から近代美術の殿堂へ　オルセー　歴史と進取の融合			
ひと　アフガニスタンの文化復興を担うカブール国立博物館長　オマラ・カーン・マスーディさん	佐々木泰造	毎　　日	3.25
ナポリ・宮廷と美—カポディモンテ美術館展　ルネサンスからバロックまで　豊かな審美眼　王宮の洗練　君主の居館ならではの作品群	マリエッラ・ウティリ 市川佳世子訳	東　　京	6.23
SPECIAL FEATURE パリを沸かせた北野武の展覧会　カルティエ現代美術財団の活動	飯田　高誉	美術手帖	939
Gallerist Interview 30　Carolus Stoop [Galeria Zero]		ギャラリー*	299
国際動向1　ガンジースミリティミュージアム[ガンジースミリティ博物館]	田村　真一	博物館研究	503
展覧会紹介　ギメ東洋美術館＋フランス国立美術館連合主催「タオの道—存在へと至るもうひとつの道程」	カトリーヌ・ドラクール 土屋　昌明訳	アジア遊学	133
今、新たに「日本の美」を発見するために　ジャック・ジェス　ギメ東洋美術館館長	ジャック・ジェス　談 後藤　繁雄 インタビュー	東京美術倶楽部	02
Gallerist Interview 32　シャリーニ・H・ソーニー[The Guild Art Gallery Mumbai]		ギャラリー*	301
上海千変万化　名画の「再会」[故宮博物院(台北)]	鈴木　玲子	毎日夕刊	3.29
文化イベント・レビュー　「信号弾」展と国立現代美術館	チョン・ジェスク	コリアナ	17−1
Musée か Centre か：国立舞台衣装装置センター(CNCS)の意義	八木　雅子	学習院大学文学部研究年報	56
中国・周荘画家村に呉之東美術館オープン		ギャラリー*	306
創造神話　上海に新しい記念館　呉昌碩の「書画一体」実感[呉昌碩記念館]	菅原　教夫	読　　売	7.8
在外研修報告　ブリティッシュ・ミュージアムでの研修を終えて—海外での「工芸」の展示を考える[大英博物館]	北村　仁美	現代の眼	581
平成21年度海外展報告　大英博物館における「土偶」展と東京国立博物館における帰国記念展　英国・大英博物館開催海外展「土偶」展開催報告	原田　昌幸	文 化 財*	562
大英博　100の至宝物語　名物館長、英ラジオで紹介[大英博物館]	橋本　　聡	朝日夕刊	5.27
館員随想　海外調査報告　チェスタービーティーライブラリー	中部　義隆	美のたより	169

Gallerist Interview 37　クリストフ・W・マオ[Chambers Fine Art]		ギャラリー*	304
国際動向２　ベンガルの誇りを伝える独立戦争博物館	大村　浩志	博物館研究	503
第六十三回全国大会研究発表要旨　フォルクヴァング美術館における展示形式の変遷―非西欧へのまなざしと併置的展示の実現―	安永麻里絵	美術史	169
現在通信　From NEWYORK　バイアニュアルとアート・フェア[ホイットニー美術館]	富井　玲子	新美術新聞	1212
展覧会予告　ボストン美術館展　西洋絵画の巨匠たち	後藤結美子	京都市美術館ニュース	199
在外調査報告　マンボ！(ボローニャ近代美術館)	中井　康之	国立国際美術館ニュース	176
パリのポンピドー改革　シャガール展で来日のスパン総裁に聞く　収蔵６万点、海外でも活用[ポンピドゥー・センター]	西田　健作	朝日夕刊	8.10
お蔵入り作品を有効活用　ポンピドゥー・センター別館の評判[ポンピドゥー・センター・メス]	永島　章雄	芸術新潮	727
ジャポニスムの館に幕　館長として17年、展覧会づくりに心血注ぐ[三越エトワール]	山田　裕隆	日　経	11.23
海外レポート　上海の新美術館開館と北京のR・チャン・コレクション展[民生銀行美術館]	南條　史生	新美術新聞	1218
地球ミュージアム紀行　ナイジェリアの新しい風　ラゴス現代美術センター	川口　幸也	みんぱく	388
アメリカアート事情　MOCAに新タイプの館長登場[ロサンゼルス現代美術館]	後藤トキ子	美連協ニュース	106
海外レポート　上海の新美術館開館と北京のR・チャン・コレクション展[ロックバンド美術館]	南條　史生	新美術新聞	1218
紳士の国の名門美術館にアムステルダムの娼婦街が出現[ロンドン・ナショナル・ギャラリー]	内田　さり	芸術新潮	722
英美術館の名画ガイド邦訳　全10巻刊行スタート[ロンドン・ナショナル・ギャラリー]		読売夕刊	3.29
Gallerist Interview 35　エイ・パナシェット[100　Tonson Gallery]		ギャラリー*	303

海　外　展

(ア行)

INFORMATION EXHIBITION「アール・ブリュット・ジャポネ」展　パリで開幕[アル・サン・ピエール美術館、３／24―１／２]	代島　治彦	美術手帖	939
パリの屋根の下でモンマルトルでフジタに続け[アール・ブリュット・ジャポネ展]	山口　昌子	産　経	4.21
WORLD NEWS　ヴェネツィア　妹島和世、総合ディレクション　ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展[第12回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展、ジャルディーニ、アルセナーレ他、８／29―11／21]	平塚　桂	美術手帖	946
第12回ベネチアビエンナーレ国際建築展2010　活躍目立った日本人建築家　妹島和世が全体ディレクター　石上純也に展示部門最高賞　日本館も強い存在感を示す	五十嵐太郎	毎日夕刊	9.15

(カ行)

展覧会・イベントから９　モナコ公国での「京都―東京、サムライからマンガまで」展[グリマルディ・フォーラム・モナコ、７／14―９／12]	小澤　弘	視覚の現場　四季の綻び	6

海外通信　具体美術協会「第１回展」動画記録　ニューヨーク半世紀超え、深まる理解[Gutai Documents: Film and Journal、マッキャフリー・ファイン・アート、２／２―２／23]	富井　玲子	朝日夕刊	2.24
WORLD NEWS　クアンジュ　多種多様なイメージが「生命」を謳い上げる　光州ビエンナーレ：10000　LIVES[第８回光州ビエンナーレ2010、光州市ビエンナーレ展示館・光州市立美術館他、９／３―11／７]	北澤ひろみ	美術手帖	945
韓国アート展のまなざし　上　命の記憶今に刻む　思い歴史世界の作家向き合う[第８回光州ビエンナーレ2010]	西　正之	朝　日	11.1
イメージが乱舞する光州　釜山は歴史を手がかりに　韓国の二つの国際美術展を見て	石川　健次	毎日夕刊	10.21

（サ行）

特別寄稿　ベルギーで日本工芸の８人＋スイス人作家展を終えて[Japan Art　＋１　in Brussels、在ベルギー日本大使館広報文化センター、６／15―６／22]	赤堀　郁彦	新美術新聞	1222
WORLD NEWS　ソウル１　現代社会を映し出す国際展「メディア・シティ・ソウル2010」[第６回ソウル国際メディアアート・ビエンナーレ、ソウル市立美術館ほか、９／７―11／17]	北澤ひろみ	美術手帖	945

（ハ行）

「バングラデシュ・ビエンナーレ」30年若手台頭　海外交流に力[第14回アジアン・アート・ビエンナーレ・バングラデシュ2010、オスマニ記念ホール他、10／８―11／７]	逢坂恵理子	読　売	11.4
韓国アート展のまなざし　下　大胆な起用　日本人監督　地域に根ざし交流広げる[釜山ビエンナーレ2010、釜山市美術館他、９／11―11／20]	西　正之	朝　日	11.2
光州・釜山ビエンナーレ　歴史的奥行きに物足りなさも	藤田　一人	東京夕刊	10.18
イメージが乱舞する光州　釜山は歴史を手がかりに　韓国の二つの国際美術展を見て	石川　健次	毎日夕刊	10.21
創造神話　釜山ビエンナーレ　普及重視物足りなさも	菅原　教夫	読　売	9.30
REVIEWS02 清水穣月批評第27回　コラージュの隆盛　「フリーズ・アートフェア2010」[リージェンツ・パーク、10／14―10／17]	清水　穣	美術手帖	946

（マ行）

海外通信　「魅惑的な破壊　女性のポップ・アーティスト」展　複層的な美術史考える準備[ブルックリン美術館、８／15―１／９]	富井　玲子	朝日夕刊	11.24

（ラ行）

WORLD NEWS　リバプール　リバプール・ビエンナーレ開幕。感覚体験の可能性を探る試み[第６回リバプール・ビエンナーレ、テート・リバプールほか、９／18―11／28]	中原紗代子	美術手帖	946
WORLD NEWS　リヨン　発足20年、10回目という節目を迎えたリヨン・ビエンナーレ開幕[第10回リヨン・ビエンナーレ、ラ・スクリエール、リヨン現代美術館他、９／９―2010／１／３]	三木あき子	〃	932
薩摩焼本来の美の味わい　パリで「歴代沈壽官展」多彩な100点[歴代沈壽官展、三越エトワール、10／５―12／11]	中村　俊介	朝　日	11.20

美術展覧会図録所載文献

企画展

（ア行）

アーキペラゴ／海と島と山を渡る—みるきくあるくフィールドワークショップ—　秋吉台国際芸術村

アーキペラゴ／海と島と山を渡る	伊藤　俊治

アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち—　国立新美術館

福田尚代　回文と美術	南　雄介
石田尚志	西野　華子
桑久保徹の絵画について	平井　章一
アーノウト・ミック　不穏な緩衝地帯	長屋　光枝
概念のゆらぎ—南野馨の作品について	平井　章一
最果てのリアリティ	宮島　綾子
斎藤ちさと	福永　治

アートアワード・ネクスト#1　東京美術倶楽部

“時代の表現”に向って	秋元　雄史
第1回アートアワードネクスト審査にあたって	名児耶　明
審査概評	野地耕一郎
アートアワードネクスト　審査評	山下　裕二

あいちトリエンナーレ2010　都市の祝祭　愛知芸術文化センター／名古屋市美術館／長者町会場／納屋橋会場

アブソリュート・ビギナーズ	建畠　哲
芸術と都市—開かれた問い	ピエル・ルイジ・タッツィ　伊藤　拓真訳
アートの空間、都市の空間—長者町モデル	ヨヘン・フォルツ　奥村　雄樹訳
ポスト・シネマの時代におけるパフォーマンス	エマニュエル・ドゥ・モンガソン　石岡　良治訳
ふたつの中心(センター)の間にある豊かな空隙	拝戸　雅彦
現在〔いま〕を生きるということ	笠木日南子
救済される身体の闇—パフォーミング・アーツの複合性の今日的意義	唐津　絵理
映像の第二世紀に向けて	越後谷卓司
都市のはじまりとトリエンナーレのはじまり	武藤　隆

會津八一コレクションの近世書画　早稲田大学會津八一記念博物館

コラム1　會津八一と蘭亭序	徳泉　さち
コラム2　唐様の書	成澤　勝嗣
コラム3　五十嵐浚明筆「山水図巻」	梅田　真代
コラム4　江戸時代画壇と新潟	成澤　勝嗣
コラム5　細川林谷筆「探梅巻」について	久保佐知恵
コラム6　黄檗諸祖真蹟	梅田　真代
コラム7　會津八一の箱書	大島　幸代

アイヌ—美を求める心　小樽市総合博物館他

財団法人徳川黎明会と徳川林政史研究所	太田　尚宏
アイヌ文化—伝統と現代—	山崎　幸治
徳川義親の熊狩と八雲「熊彫」の誕生	太田　尚宏

愛のヴィクトリアン・ジュエリー展　華麗なる英国のライフスタイル　Bunkamura ザ・ミュージアム他

ヴィクトリア女王とその時代	ダイアナ・スカリスブリック　和仁　りか訳
ヴィクトリアン・ジュエリー	稲葉　昭江
COLUMN　ヴィクトリアン・アフタヌーンティー	ハロルド・ブラウン　和仁　りか訳

青柳芳夫展—失われた時を求めて・少女群像図鑑—　サトエ記念21世紀美術館

絵を描くということ	青柳　芳夫
「虚無感の未来へ」『青柳芳夫展—失われた時を求めて・少女群像図鑑—』鑑賞の手引き	江口　健

こころ揺さぶるモノづくり　秋田公立美術工芸短期大学の美術・工芸・デザイン　秋田県立近代美術館

こころ揺さぶるモノづくり	樋田豊次郎

朝香宮のグランドツアー　東京都庭園美術館

1　朝香宮鳩彦王の渡欧	牟田　行秀
2　自動車事故の発生と允子妃の渡仏	〃
3　「朝伯」夫妻のパリ生活	〃
4　フランス人アーティストたちとの出会い—アール・デコ博覧会	〃
5　朝香宮のグランドツアー	〃

アジアのかざり—Dynamic Decoration in Asia　MIHO MUSEUM

「アジアのかざり」へようこそ	辻　惟雄
「かざり」に相当するアジアの言葉	ラプチェフ・セルゲイ

出品作にみる「聖樹」・「生命の樹」の意匠　桑原　康郎

遊びのなかの色と形展—クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ　目黒区美術館

アントニオ・ヴィターリとクルト・ネフ—日本へ　及部　克人

ネフとヴィターリ玩具をつくる手の喜び　小柳　帝

手の内側の出来事—ネフとヴィターリ　降旗千賀子

「手」によるデザインの時代　〃

新しい美術の系譜　国立国際美術館(大阪)の名作　平成22年度国立美術館巡回展　宮城県美術館他

国立美術館巡回展の開催にあたって　島　敦彦

安土桃山・江戸の美—知られざる日本美術の名品—東山庵グループコレクション　高岡市美術館

東山庵グループコレクションの精華　遠藤　幸一

アントワープ王立美術館コレクション展　ベルギー近代美術の殿堂　アンソールからマグリットへ　茨城県近代美術館他

ベルギー美術　序章　ヘルウィッグ・トッズ

家康と慶喜—徳川家と静岡展　静岡市美術館

大御所家康の他界—永遠なる安らぎをもとめて—　小林　明

徳川慶喜の油絵　山梨絵美子

前将軍の眼差し　齊藤　洋一

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展2010　板橋区立美術館他

タシエス：幸せを彫り出すこと　ダニエル・ゴルディン

生まれ変わった伝統　モンセ・ヒネスタ　テレサ・マニヤ

タシエス、もしくは標的にされた読者　マリア・セシリア・シルバ=ディアス

ぶんぶんバエ　ジュアンチョ・ドゥマル

君の絵には千の言葉より価値がある　アルフォンソ・ルアーノ

打ち込む気持ち　カルメ・ソレ

逸翁が見た海外—海を渡ってきた美術品　逸翁美術館

海外歴訪の軌跡　竹田　梨紗

“茶の湯”と西洋の陶磁器　中川　憲一

逸翁コレクションにみる　中国陶磁の美—悠久の歴史—　逸翁美術館

中国陶磁コレクション　逸翁の新茶道における茶陶と観賞陶器の融合について　宮井　肖佳

小林一三(逸翁)と充美会　中川　憲一

出光美術館名品展　日本の美—平安から昭和まで—　松本市美術館

美への信念—出光絵画コレクションの特徴　黒田　泰三

にしき木—《盆踊》図をみる—　細萱　禮子

白隠と信州　大島　武

小杉放菴—和魂洋才の画家—　稲村　純子

伊藤若冲—アナザーワールド—　静岡県立美術館他

伊藤若冲の多彩な絵画世界　小林　忠

「唐絵」としての伊藤若冲　伊藤　紫織

伊藤若冲をめぐる二、三の問題—印章分析による作品編年の試論を中心に—　福士　雄也

《白象群獣図》の造形的特質について—明度の反転に関する考察　石上　充代

移動する仏像—有田川町の重要文化財を中心に—　和歌山県立博物館

コラム1　移動した童子像—新たな事実の発見—　大河内智之

コラム2　住民が守る胎内仏—寺・人・仏像—　〃

コラム3　歓喜寺仏像の明治時代—国宝指定と修理—　〃

コラム4　修理がつなぐ過去・現在・未来　〃

コラム5　仏像・仏画がつなぐ最勝寺と浄教寺　〃

コラム6　熊野本宮の神仏分離と仏像の移動　〃

イノセンス—いのちに向き合うアート　栃木県立美術館

イノセンス(?)—いのちに向き合うアート　小勝　禮子

ルンビニー園美術班の活動—「生命そのものの輝き」を感じるために　篠崎　孝司

つながるひろがるアート展 Nasu　戸田香代子

もうひとつの活動歴　長　重之

すぎの芽学園と増渕里美の絵画　宮坂　健

もうひとつの美術館の歩み—新しいアートの発信拠点として　梶原　紀子

美術と出会う—イノセンス展関連企画の利用法　島　一嘉

いのちのかがやき—花鳥画の現在〔いま〕　茨城県天心記念五浦美術館

キーワードは「生命〔いのち〕の輝き」—現代花鳥画試論　中田　智則

いのりのかたち—祈願の民具と民間信仰—　和歌山県立紀伊風土記の丘

コラム1　和歌山の石棒・石刀・石剣

コラム2　古代紀伊国の土馬

コラム3　馬から絵馬へ　藤森　寛志

コラム4　舟絵馬と絵馬師　〃

コラム5　苅萱道心の物語　〃

コラム6　戦時下の祈り　千人針　〃

祈りの時代—仏さまの美術—諏訪市の文化財を中心に サンリツ服部美術館

諏訪市の文化財と仏さま	山田　和雄

いみありげなしみ 東京国立近代美術館

いみありげなしみ	蔵屋　美香

伊予の城めぐり—近世城郭の誕生— 愛媛県歴史文化博物館

四国平定直後の伊予の城郭整理—遂行過程における地域性を中心に—	山内　治朋
加藤嘉明時代の松山城砂土手と「大手口」	柚山　俊夫
宇和島城下絵図を読み解く—浜御殿の建設年代を中心に—	井上　淳
大洲城下町における町割の変遷について—中町二丁目を中心に—	白石　尚寛
明治維新と城郭・陣屋—吉田陣屋を例に—	平井　誠

彩—鶴澤派から応挙まで— 兵庫県立歴史博物館

鶴沢派に注目する理由	五十嵐公一

岩手県公会堂アートショウ3回 3rd kokaido art show＋ 岩手県公会堂／旧石井県令私邸

作品解説	根本　亮子
3つのアートショウ	片桐　宏典

いわての漆—縄文から現代まで 岩手に伝わる漆の文化—開館30周年記念 岩手県立博物館

岩手の漆	工藤　紘一
コラム　ウルシかぶれの民間療法	
漆を科学する—漆の科学分析—縄文の漆工芸の多様性と展開	阿部　芳郎
漆を科学する—漆の科学分析—漆と科学のかかわり	宮腰　哲雄
漆を科学する—漆の科学分析—漆の分析法	本多　貴之
漆を科学する—漆の科学分析—豊岡遺跡出土品の分析	神谷　嘉美
漆を科学する—漆の科学分析—漆塗土器・赤彩土器の薄片観察	河西　学
コラム　布を着た白磁の四耳壺	吉田　邦夫
中尊寺金色堂と柳之御所遺跡出土盤からみた奥州藤原氏文化の漆工技術	武田　昭子 赤沼　英男 土谷　信高

石神の丘アートウォーク2010 いわての現代美術と出会う、秋。 石神の丘美術館／沼宮内大町周辺

§作家の言葉§	石川　深雪
〃	伊藤　寛泰
〃	岡田　卓也
〃	久保　友基
〃	しもかわらさとこ
〃	渡邊　淳

陰影礼讃 国立美術館コレクションによる 国立新美術館

陰影礼讃	中西　博之
I　影あるいは陰、そして描写	〃
II　具象描写の影と陰	〃
Column 1　シルエットと表現	大谷　省吾
Column 2　西洋絵画の影と光	宮島　綾子
Column 3　風景画の影と光	〃
Column 4　水に映る影	陳岡めぐみ
Column 5　須田国太郎と影	大谷　省吾
Column 6　影から読み解く北脇昇	〃
Column 7　ムンクの『月映〔つくはえ〕』	中尾　優衣
III　カメラが捉えた影と陰	中西　博之
Column 8　W．ユージン・スミス：光と陰が生み出すドラマ	牧口　千夏
Column 9　セルフ・ポートレイトとしての影	〃
Column10　モダニズムの影、始原の影	増田　玲
IV　影と陰を再考する現代	中西　博之
Column11　高松次郎の影—実在と不在をめぐる探究	大谷　省吾

印象派とエコール・ド・パリ ポーラ美術館コレクション展 横浜美術館他

コレクター鈴木常司とポーラ美術館の西洋絵画コレクションの生成—印象派とエコール・ド・パリ、ピカソの絵画を中心に	岩﨑余帆子
セザンヌと詩人リルケ—ポーラ美術館の印象派絵画、その鑑賞の手引きとして	荒屋鋪　透
ピカソとモディリアーニ—モダニズムとの距離	深谷　克典
ピカソ《海辺の母子像》にそえる瞑想	木島　俊介
正方形断想—モネの「睡蓮」を起点に	坂本　恭子
横浜で初めてのフランス絵画展—85年前の桜木町駅前	八柳　サエ

作家の視展2010 上野の森美術館大賞展受賞者展 上野の森美術館

§作家の言葉§	阿部　哲也
〃	池田　真弓
レモンの木	伊藤阿二子
§作家の言葉§	伊東　順子
切り花と路地花と描かれた花	伊藤　孝
§作家の言葉§	井上　稔
〃	岩波　昭彦
〃	宇野さおり
表現の原動力	梅崎　幸吉
§作家の言葉§	浦上　義昭
〃	大津佳代子
〃	大野　静子
逍遙日記。	川野裕一郎
§作家の言葉§	北村一二三
〃	木村　友彦

§作家の言葉§　小林　努
工場群に魅せられて　齊藤　和志
§作家の言葉§　笹田　敬子
〃　佐藤　武
〃　佐藤　真生
〃　鈴木　民保
〃　関谷　隆志
〃　大道　厚子
〃　高屋　弘
〃　谷口　晴剛
銀河上の羅漢　鶴見　伸
§作家の言葉§　戸田みどり
〃　長友　紀子
〃　中村　豪志
〃　野口　稔
「海の中」制作について　橋本美智子
§作家の言葉§　塙　峰夫
〃　藤原　護
〃　松永　健吾
〃　丸山　敏子
〃　村上　敬子
〃　矢嶋　渉
〃　柳田　晃良
〃　若見　優貴
〃　渡辺　薫
〃　渡辺　美佐
母の幻影　わたなべみわこ

VOCA展2010　現代美術の展望―新しい平面の作家たち　上野の森美術館

選考所感　高階　秀爾
〃　酒井　忠康
描くことの官能性　建畠　晳
表面について　本江　邦夫
選考所感　荒木　夏実
傷(光跡に似た)とゆがみ(持続する痛み)／レイヤー(手法の集積)の絵画―VOCA展2010の選考に参加して―　光田　由里
密やかな口語性について　南嶌　宏

浮世絵☆忠臣蔵―描かれたヒーローたち!?―　神奈川県立歴史博物館

忠臣蔵の浮世絵と神奈川の名所絵　桑山　童奈

浮世絵入門―広重《東海道五拾三次》一挙公開―開館記念特別展V　山種美術館

山種美術館の浮世絵版画コレクションについて　大久保純一

浮世絵の死角―イタリア・ボローニャ秘蔵浮世絵名品展　板橋区立美術館開館30周年記念　板橋区立美術館

浮世絵の死角―二大コレクターと本展の概要―　安村　敏信
浮世絵を見る視線―現代の死角　江戸の死角―　田辺　昌子

写された若狭―古写真の世界―　福井県立若狭歴史民俗資料館

古写真のもつ意味　吉永　壮志
コラム1　家庭における写真保存のイロハ　〃
コラム2　明治の写真師が説く写真を撮られる際のコツI　〃
コラム3　明治の写真師が説く写真を撮られる際のコツII　〃
コラム4　明治の写真師が説く写真を撮られる際のコツIII　〃
コラム5　敗戦直後の昭和天皇行幸　〃
コラム6　相撲の歴史　〃
コラム7　橋の歴史　〃
コラム8　明治の写真師が説く写真を撮られる際のコツIV　〃

ウフィツィ美術館自画像コレクション　巨匠たちの「秘めた素顔」1664―2010　損保ジャパン東郷青児美術館他

ウフィツィ美術館創設400周年(1981年)と自画像コレクション　ルチャーノ・ベルティの思い出に　アントニオ・ナターリ　浦一章訳
ウフィツィ美術館自画像コレクション―光と影に彩られたその歴史―　小佐野重利
自画像の展覧会：ウフィツィ美術館の内外展から選りすぐって　ジョヴァンナ・ジュスティ　小佐野重利訳
現代作家の自画像コレクション：その拡充と展開　田中　正之

馬　アジアを駆けた二千年　九州国立博物館

馬　アジアを駆けた二千年　河野　一隆
コラム1　馬具　奇跡の銜　末崎　真澄
コラム3　古代の馬具　馬具にみる乗馬の風習の伝来　〃
コラム4　装飾古墳と馬具　河野　一隆
コラム5　飾り馬以降の馬事文化　〃
日本の馬文化　人と馬の歴史から　末崎　真澄
五胡十六国から北魏時代の装飾馬　市元　塁
草原を越え、海を渡った騎馬文化　東アジア的視点からみた三燕・朝鮮三国・倭国の馬具　桃崎　祐輔
九州の在来馬　川嶋　舟

海を想う―海に魅せられた画家たち　釧路市立美術館他

海の見える風景　佐藤　友哉
海の風景で巡る北海道　角井千代絵
「太平洋」、そして「紀南の海」　辰巳　充
四国と八幡浜　井上　千秋
ふるさとの海、私の海　松谷由香里

漆のチカラ―漆文化の歴史と漆表現の現在―　福島県立博物館

縄文の赤と黒　森　幸彦

会津の漆・蝋と天下人　高橋　充
会津の木地挽　佐々木長生
会津藩と漆の木　阿部　綾子
会津の漆蝋　佐々木長生
明治期子ども読み物に見える漆器　佐藤　洋一
六角紫水・津田得民とマルニエ工芸　小林めぐみ

ウルトラマンアート！　時代と創造　ウルトラマン＆ウルトラセブン　北海道立旭川美術館他

「ウルトラマン・アート！」展の企画趣旨について　中村　聖司
座談会「ウルトラマンと美術館」　中村　聖司　小泉　淳一　河野　泰久

麗しのうつわ—日本やきもの名品選　出光美術館

麗しのうつわ—五感に響く日本のやきもの　柏木　麻里
装うかたち—「麗しのうつわ」展に寄せて　河合　正朝

絵図でめぐる川崎　失われた景観をさぐる　川崎市市民ミュージアム

[ノート]近世村絵図は誰によって描かれたか　望月　一樹

江戸絵画への視線—岩佐又兵衛《官女観菊図》重要文化財指定記念—　山種美術館

山種コレクション、その江戸絵画への視線　山下　裕二

江戸図の世界　港区立港郷土資料館

コラム　謎の人物？—「江戸図の祖〔おや〕」の生みの親・遠近道印〔おちこちどういん〕　平田　秀勝
発見、江戸地図の歴史的構造—パクス・トクガワーナ、1200種のアイデア競争、124店の激闘—　俵　元昭

江戸の彩—珠玉の浮世絵コレクション—太田記念美術館開館30周年記念　太田記念美術館

五代太田清蔵の浮世絵コレクション　日野原健司

江戸の歌仙絵—絵本にみる王朝美の変容と創意—　国文学研究資料館

光悦三十六歌仙考　鈴木　淳
俳人肖像画集の展開　歌仙絵の変奏　伊藤　善隆
江戸の王朝美　歌仙絵入刊本の展開　神作　研一

恵比寿映像祭２回　歌をさがして　東京都写真美術館／恵比寿ガーデンプレイスセンター広場ほか

第２回総合テーマ歌をさがして　岡村　恵子
声の不在のなかで　鷲田　清一
僕らの時代の歌をさがして—リアルタイムのソング・リサイタル　細野　晴臣　藤幡　正樹

王者の華　牡丹　名古屋開府400年　徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念　徳川美術館

牡丹　点描—牡丹イメージの受容に関する一考察　龍澤　彩
神仏に捧げられた花　四辻　秀紀

御歌所〔おうたどころ〕と近代みやび　成田山書道美術館

御歌所と近代のみやび　髙橋　利郎

大津　国宝への旅　開館20周年記念企画展　大津市歴史博物館

園城寺の秘仏　寺島　典人
円珍関係文書群の伝来について　樋爪　修

大原美術館名品展　モネ、マティスから濱田庄司まで　宇都宮美術館

今を生きる人々にとって意義あること。美術館は生きて成長してゆくもの。文化が汗をかく世紀。　柳沢　秀行

大宮政郎展　呼吸する北異のマグマ　多摩美術大学美術館

人動説と盛岡というアートシーン　仙仁　司
見知らぬものはみな不思議　大宮　政郎
芸術に於ける発明性　〃
地方からの発信—「集団N39」と大宮政郎　平澤　広

岡倉天心と日本彫刻会—日本木彫の「伝統」と「革新」　小平市平櫛田中彫刻美術館(井原市立田中美術館)

置物からの離脱を求めて—日本彫刻会の「日本趣味」再考序説　大熊　敏之
日本木彫の「革新」と「復権」—日本彫刻会における岡倉天心と高村光雲一門の史的意義をめぐって　藤井　明
平櫛田中の日本彫刻会展出品作について(研究ノート)　青木　寛明
日本彫刻会時代の平櫛田中　年譜　青木　寛明編
資料　岡倉天心書簡　〃
【文献再録】《明治百年記念講演》岡倉天心を語る　平櫛　田中

沖縄マンガ　沖縄県立博物館・美術館

マンガ家インタビュー　なかいま強　島袋　直子
マンガ家インタビュー　新里堅進　〃
たかが沖縄マンガ、されど沖縄マンガ—「場所」と「身体」—　本浜　秀彦
マンガ家からの手紙　仲宗根みいこ
作品化された沖縄　わうけいさお

おもちゃ絵の世界　鈴木コレクション　玉川大学教育博物館

組上燈籠盛衰記—日本近世・近代の紙細工錦絵をめぐって　アン・ヘリング
鈴木コレクションにみるおもちゃ絵の世界　柿崎　博孝

おもてなしの美　宴のしつらい　サントリー美術館所蔵品展　サントリー美術館

描かれた鏡餅　瀬山　里志
旧暦の桃の節供の頃　〃

江戸の料理屋　瀬山　里志
描かれた膳と椀　〃
描かれた料理人　〃
描かれた茶の湯　〃
宴のしつらい島台　〃

オランダのアート＆デザイン新言語
東京都現代美術館

オランダのアート＆デザインに生まれてきた新言語　関　昭郎
オランダのアート＆デザイン新言語　ローイゼ・スカウエンベルグ　山本　雅美　訳
未知の美への挑戦　関　昭郎
ウィットの力　〃
日常の疑問に目を向ける　〃
An interview with Martijn Engelbregt　長谷川香苗　インタビュー
レセプション・パーティのクッキング・エピソード　オオニシ恭子　タケトモコ
アイデンティティーの希求　関　昭郎
東京における Piece of Home／HomelessHome　田中　雅子

オルセー美術館展2010　ポスト印象派　国立新美術館

印象派を越えて　ギ・コジュヴァル　福満　葉子　訳
ポスト印象派と決着をつけるために　ステファン・ゲガン　阿部　真弓　訳
1886年頃の印象派　Sylvie Patry　安藤　智子　訳
新印象主義—方法論のユートピア　Stéphane Guégan　安藤　智子　訳
セザンヌの事例　Sylvie Patry　阿部　真弓　訳
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック—上からの眼差し　Stéphane Guégan　山田由佳子　訳
ファン・ゴッホとゴーギャン—ドラクロワの復活の行方　Stéphane Guégan　小泉　順也　訳
ポン＝タヴェン派—後継者の伝説をめぐって　〃
「理想に好意的な雰囲気」—1890年代のパリにおけるナビ派と象徴主義　Sylvie Patry　中島　恵　訳
象徴主義とナビ派の親密さ〔アンティミテ〕　〃
アンリ・ルソー　戦争と平和　Stéphane Guégan　米田　尚輝　訳
ナビ派による「装飾的と呼ばれた大芸術」　Sylvie Patry　米田　尚輝　訳
抽象絵画の創設と1900年前後のフランス絵画—ヴァシリー・カンディンスキーの視点から　長屋　光枝
「ポスト印象派」の用語について　阿部　真弓

尾張徳川家の名宝　里帰りの名品を含めて　徳川美術館

尾張徳川家の名宝—里帰りの名品・優品をめぐって—　四辻　秀紀
尾張徳川家と将軍家の贈答について—献上および拝領の大名道具—　山本　泰一

おん祭と春日信仰の美術　奈良国立博物館

おん祭と春日信仰の美術　清水　健
春日若宮おん祭と大和猿楽　宮本　圭造
春日地蔵の信仰と図像　鈴木　喜博

(カ行)

カイガのカイキ　足利市立美術館

回帰する絵画　篠原　誠司
interview　本田　和博　篠原　誠司　聞き手
〃　上野　慶一　篠原　誠司　聞き手
〃　安井　敏也　篠原　誠司　聞き手
〃　黒須　信雄　篠原　誠司　聞き手
〃　平原　辰夫　篠原　誠司　聞き手
〃　岡田　真宏　篠原　誠司　聞き手
〃　内海　聖史　篠原　誠司　聞き手

絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から　国立国際美術館新築移転5周年記念
国立国際美術館

絵画の時代—ゼロ年代日本の地平から　島　敦彦

画家のかたち、情熱のかたち—桜井浜江　髙島野十郎　田中田鶴子　ラインハルト・サビエ—　三鷹市美術ギャラリー

画家のかたち、情熱のかたち　浅倉祐一朗

日本の新進作家展 vol. 9　かがやきの瞬間　ニュー・スナップショット
東京都写真美術館

中村香織氏(中村ハルコの実姉)によるコメント
スピードスケート　小畑　雄嗣
雪の結晶—W. A. ベントレーへのオマージュ　〃
§作家の言葉§　白井　里実
〃　池田　宏彦
東京スナップの10年　結城　臣雄
ニュー・スナップショット　鈴木　佳子

The Kasama　ルーツと展開　開館10周年記念　茨城県陶芸美術館

笠間焼の歴史　近藤　京嗣
笠間焼のルーツを辿って—新しい笠間焼への挑戦まで　栗田　健史
「The Kasama」　〃

数の美術—数えて楽しむ東アジアの美術—　和泉市久保惣記念美術館

東アジアの美術と数　日本の名数　後藤健一郎

東アジアの美術と数　中国の数の美術　橋詰　文之

東アジアの美術と数　朝鮮美術と数　河田　昌之

型が生みだす、やきものの美―柿右衛門・三田―　兵庫陶芸美術館

型が生みだす、やきものの美―柿右衛門・三田―　仁尾　一人

語りかける風景　ストラスブール美術館所蔵　熊本県立美術館他

ヨーロッパ風景画の歴史　ドミニク・ジャコー　エステル・ピエトルジック

舞台としての「窓」の絵画表現　木島　俊介

I 窓からの風景　開かれた窓から消し去られた風景へ　エステル・ピエトルジック

II 人物のいる風景　自然のなかでの物語　ドミニク・ジャコー

III 都市の風景　風景における都市　フランク・クノリー

IV 水辺の風景　水を描く、あるいは束の間を捕らえる　セリーヌ・マルクル

V 田園の風景　田園の画家たち　カミーユ・ジェルトレール

VI 木のある風景　絵画における木のモチーフ　ティエリー・ラプス

加藤清正と本妙寺の至宝展　鶴屋（熊本）

加藤清正公と本妙寺―清正公信仰の歴史と展望―　池上　正示

加藤清正と肥後　松本寿三郎

金沢文庫の絵画　神奈川県立金沢文庫80年　神奈川県立金沢文庫

総説　向坂　卓也

狩野派と名古屋城四〇〇年　開府四〇〇年記念　名古屋城天守閣

狩野派と名古屋城四〇〇年　朝日美砂子

CAF. ネビュラ展2010　埼玉県立近代美術館

若い作家の可能性　須藤　一郎

神々のすがた　古事記と近代美術

開館五周年記念Ⅰ　島根県立石見美術館

近代美術にみる神々のすがた　風俗考証を中心に　真住　貴子

アステカの暦　山本　匡史

太陽の伝説―創世神話の世界―　〃

賀茂斎院と伊勢斎宮　斎宮歴史博物館

トピック　世界遺産　賀茂神社　星野　利幸

トピック　紫野斎院と斎院司　〃

トピック　葵祭と賀茂祭　〃

トピック　斎王と仏教　〃

賀茂斎院を考える伊勢斎宮との比較を中心に　〃

カラー　やきものと色の密かな関係

岐阜県現代陶芸美術館

柳原睦夫インタビューより　村山　閑　聞き手

やきものと色の関係考　村山　閑

烏山寺町　世田谷区立郷土資料館

烏山寺町の形成　恵津森智行

ガレオン船が運んだ友好の夢　日本メキシコ交流400周年記念　たばこと塩の博物館

日本・メキシコ友好400周年　クリスティーナ・バロン・ソト

東西を結んだ海上の道　ガレオン貿易　榊　玲子

南蛮美術　ロドリゴ・リベロ・レイク

Gallerism 2010　画廊の視点　大阪府立現代美術センター

あたりまえのこと（四角のこと）　堀尾　貞治

§作家の言葉§　城野　愛子

光の鳥・未来へのメッセージ　吉田　重信

§作家の言葉§　もりたたけお

〃　中井　浩史

風　ウエダリクオ

§作家の言葉§　山本　修司

〃　四塚　祐子

〃　渡邉　敬介

〃　北村　章

〃　秋山　菜摘

〃　中村　文治

〃　谷口　晃一

川端康成コレクション展　文豪が愛した美の世界　茨城県近代美術館

川端康成・美との邂逅　平山　三男

川端康成と古賀春江―「末期の眼」の意味するところ　小泉　淳一

池大雅、浦上玉堂と川端康成　井野　功一

韓国モダンアートの波　釜山市立美術館コレクション展　福岡アジア美術館

釜山近現代美術の理解―1930年代から1980年代までの釜山美術略史　イジンチョル　高晟埈 訳

釜山美術の現場―その歩みをたどる　チョウンジョン　高晟埈 訳

所蔵品相互交流展ができるまで―福岡アジア美術館と釜山市立美術館との協働から　五十嵐理奈

元三大師良源―比叡山中興の祖―慈恵大師1025年御遠忌記念企画

大津市歴史博物館

良源像の造像について　寺島　典人

関東大震災を描く―絵巻・漫画・子どもの絵―　神奈川大学常民参考室

東都震災過眼録と「帝都」の震災メディア　北原　糸子

槿の画家、柳瀬正夢の誕生　井出　孫六

子どものみた関東大震災　新井　勝紘

「関東大震災過眼録」と作者萱原白洞について　北原　糸子

画家・漫画家のみた関東大震災　片倉　義夫

「阪神・淡路大震災共同布絵づくり」それは、被災体験者と学生たちとの対話による造形　及部　克人

記憶にのこる・佐賀の美術家たち　佐賀県立美術館コレクションによる　佐賀県立美術館

文団協と博物館・美術館が残すもの　野中　耕介

北の彫刻展2010—次代をになう女性たち—　札幌彫刻美術館

北の彫刻展2010—次代をになう女性たち—　井上みどり

§作家の言葉§　伊藤三千代

「Two over Two」　桂　充子

§作家の言葉§　川上　加奈

夢みるひと　鴻上　宏子

§作家の言葉§　佐々木雅子

〃　佐藤　志帆

〃　椎名　澄子

冬　富原加奈子

§作家の言葉§　渡邊　希

帰ってきた江戸絵画　ニューオーリンズ　ギッター・コレクション展　松坂屋美術館他

お帰りなさい　ギッター・コレクション　小林　忠

宗達の鴨と賀茂　河野　元昭

「戦後遺産」としての禅画—ギッター・コレクションの意味　山下　裕二

水墨画と創られた自己　ユキオ・リピット　庵原理絵子訳

江戸の華—浮世絵　田辺　昌子

京都・安楽寿院と紀州・"あらかわ"—木食応其を支えた僧・覚栄の事績を中心に—　和歌山県立博物館

鳥羽天皇と安楽寿院　伊東　史朗

コラム1　豊臣家による安楽寿院の復興　前田　正明

コラム2　中尊寺経伝来の謎　竹中　康彦

コラム3　覚栄と七条仏師康正　大河内智之

コラム4　本御塔・新御塔と幕末の修陵事業　前田　正明

コラム5　荒川荘の成立と荒川経　竹中　康彦

コラム6　最上廃寺の発掘調査からわかったこと　冨加見泰彦

コラム7　京都と"あらかわ"の美福門院像の謎　安永　拓世

コラム8　"あらかわ"に残る平安時代の仏像　大河内智之

コラム9　"あらかわ"と悪党　坂本　亮太

コラム10　検注帳にみる一五世紀の"あらかわ"　〃

コラム11　黒川・熊野権現社本殿　山本　新平

コラム12　近世における安楽川井とその周辺　前田　正明

コラム13　八幡宮と"あらかわ"　〃

コラム14　安楽川のヨタ　伊藤　信明

コラム15　石造物に刻まれた応其の事績　前田　正明

木食応其を支えた僧・覚栄の事績について　〃

巨大掛軸をめぐる文化交流—祈りと暮らしのかたち—　九州国立博物館

大きな仏画を掛けること—日本仏画の例を中心に—　伊藤　信二

韓国の仏教儀式と掛仏〔クェブル〕　鄭　明熙

屏風のかたちと用法　藤田　励夫

朝鮮時代の屏風絵—その性格と用途を中心に—　孫　明嬉

会所と影供の掛幅—日本中世を飾る作法　畑　靖紀

朝鮮時代肖像画の特性と奉安する空間　朴　本洙

近現代染色の展開と現在　茨城県つくば美術館

染めの日本的造形史観—京都を中心に—　外舘　和子

近代との遭遇—世界を見る・日本を創る—佐賀県立佐賀城本丸歴史館開館5周年記念　佐賀県立美術館

「近代」と遭遇したサムライたちが目指したもの　松田　和子

描くことの近代　野中　耕介

久米桂一郎と父邦武の近代　松本　誠一

お殿様のはじめての洋行—鍋島直大の洋行と父直正—　松田　和子

西洋で学ぶ—近代・佐賀、「画学生」たちの学びの道程—　野中　耕介

近代のまなざし—博覧会・絵葉書・近代日本人—　浦川　和也

近代日本画の至宝展—巨匠画家が描く日本の美—　尾道市立美術館

近代日本画の至宝—ヤマタネコレクションに見る画家たちの思いとメッセージ　岡部　昌幸

近代日本画　美の系譜　水野美術館コレクションの名品より　宮崎県立美術館

近代日本画　美の系譜展によせて　内山　武夫

日本画一四〇年の歩み—水野美術館コレクションから見る—　島田　康寛

近代の洋画家、創作の眼差し　宮内庁三の丸尚蔵館

明治の洋画家と「国家有用の美術」　岡本　隆志

大正・昭和の御慶事を祝った風景画　斉藤　全人

山本芳翠の九州・沖縄連作画について　〃

歴史画の明治二十年代—油彩画を中心に　岡本　隆志

くじらぐもからチックタックまで—小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展— 山梨県立文美術館／山梨県立文学館

挿絵も立派な「読み」の対象	岩永　正史
希望の匂い	石川　文子
教科書の絵を描いて　かすや昌宏	高野早代子聞き手
教科書ができるまで　小井戸雅栄	保坂　雅子聞き手

暗がりのあかり　チェコ写真の現在展 資生堂ギャラリー

チェコ写真の今	ヘレナ・ケーニクスマルコヴァー
認知されながらも、未知の20世紀のチェコ写真	ウラジミール・ビルグス 阿部　賢一訳
闇と光の狭間で—チェコ写真の存在感	飯沢耕太郎

月照寺の至宝—江戸時代の柿本人麿信仰— 明石市立文化博物館

月照寺の歴史と奉納和歌	稲原　昭嘉

国宝　源氏物語絵巻　開館50周年記念 五島美術館

国宝「源氏物語絵巻」について	四辻　秀紀
源氏物語絵巻の書	名児耶　明

現代の茶　造形の自由　智美術館大賞展３回 菊池寛実記念智美術館

展覧会にあたって	林屋　晴三

現代の中国絵画　山岡コレクション 笠岡市立竹喬美術館

現代の中国絵画概観—山岡コレクションについて—	上薗　四郎

建築はどこにあるの？　７つのインスタレーション 東京国立近代美術館

§Q&A§	アトリエ・ワン
〃	中村　竜治
〃	中山　英之
〃	鈴木　了二
〃	内藤　廣
〃	菊地　宏
〃	伊東　豊雄
建築はどこにあるの？	保坂健二朗
建築物とインスタレーションの離接運動	南後　由和

小磯良平大賞展９回 神戸市立小磯記念美術館他

審査所感	石阪　春生
〃	内山　武夫
〃	木村　重信
〃	島田　康寛
〃	富山　秀男
〃	中根　寛
〃	西村規矩夫

皇室の文庫〔ふみくら〕　書陵部の名品 宮内庁三の丸尚蔵館

皇室の文庫—書陵部所蔵の品々	福尾　正彦
仁徳天皇陵と百舌鳥陵墓参考地の出土品	徳田　誠志

香水瓶の世界　きらめく装いの美 東京都庭園美術館他

1-1　ナイル川に沿って—エジプト	マルティーヌ・シャザル
1-2　チグリス・ユーフラテス川の地で—メソポタミア	〃
1-3　陶工の町で—ギリシア	〃
1-4　ベルス川の河口で—シリア	〃
1-5　神聖なものから世俗にいたる—ローマ	〃
1-6　香料の大地—メソポタミア	〃
1-7　手袋製造業兼香水商組合の誕生—中世ヨーロッパ	〃
1-8　ユマニスム—ルネサンス15—16世紀	〃
1-9　偉大なる世紀のアンバーグリスとムスク—17世紀	〃
1-10　啓蒙の世紀の花束とがらくた—18世紀	〃
1-11　工房から産業へ—19世紀	〃
1-12　宝飾職人—19世紀	〃
2-1　1905年から1914年の革命期	〃
2-2　２つの大戦間時代	〃
2-3　狂騒の嵐	〃
2-4　優美さへの回帰	〃
2-5　‘特別’ということの魔力	〃
香水瓶展と香水塔考	高波眞知子

御城下絵図を読み解く 徴古館

知られざる佐賀城下の蒔絵師　芦刈梅吉	野口　朋子
邂逅—祖父梅吉と私	芦刈　信城

古代メキシコ・オルメカ文明展—マヤへの道　日本メキシコ交流400周年記念 京都府京都文化博物館他

古代メソアメリカ地域におけるオルメカ文明の広がり—先古典期の諸相—	伊藤　伸幸
マヤからオルメカに遡る	南　博史
社会と環境	アン・サイファース
神々と権力	フェリペ・ラミーレス
聖なる地—ベラクルス州エル・マナティ遺跡とラ・メルセ遺跡—	ポンシアーノ・オルティス・セバジョ マリア・デル・カルメン・ロドリゲス
ヒスイの道—オルメカ文明の交流と拡散—	〃
マヤへの道	植田　覺
オルメカの遺産—オルメカの伝えるもの—	サラ・ラドロン・デ・ゲバラ

国立人類学博物館のオルメカ・コレクション—200年にわたる調査とコレクションの集大成— ディアナ・マガロニ・ケルベル

日本とメキシコ400年にわたる交流の軌跡 榊 玲子

オルメカ—その自然地理的背景 ロベルト・ルナゴメス・レジェス

ベラクルス州南部での調査を通して 古手川博一

土のピラミッドを調査する難しさと楽しさ 黒崎 充

メキシコでの考古学人生 嘉幡 茂

「悪魔の洞窟」発掘調査体験記 池田和歌子

コドモアサヒの時代 武蔵野美術大学美術資料図書館

忘れられた絵雑誌の再現 佐久間保明

関西の絵雑誌『コドモアサヒ』 上 笙一郎

こどものにわ 東京都現代美術館

こどものにわ 難波 祐子

小林一三の世界展 逸翁美術館の名品を中心に 山梨県立美術館

『大江山絵詞』の伝来—小林一三コレクション展に寄せて 伊井 春樹

小林一三と近代作家たちの交流について 宮井 肖佳

小林一三の生い立ちと、その生涯 向山 建生

実業家小林一三と茶の湯 齋藤 康彦

五百羅漢のお寺—天寧寺の歴史と美術— 彦根城博物館

五百羅漢のお寺—天寧寺の歴史と美術— 高木 文恵

五味康祐の世界—作家の遺品が語るもの—没後30年 練馬区立石神井公園ふるさと文化館

遅筆の現場 川野 黎子

矛盾を生きた作家 縄田 一男

音楽神〔ミューズ〕の宿る名スピーカー 英国の至宝『タンノイ・オートグラフ』の復活 原田 勲

五味康祐—その足跡と、詩歌賛仰 山城千恵子

これは本ではない—ブック・アートの広がり うらわ美術館他

これも本である—「本をめぐるアート」について 森田 一

たぶん「これは本ではない」 白倉 敬彦

これは本かもしれない… 港 千尋

(サ行)

サイコアナリシス：現代オーストリアの眼差し トーキョーワンダーサイト他

都市そして還元への眼差し 今村 有策

サイコアナリシス：現代オーストリアの眼差し ヴァルター・サイデル

精神分析的建築論考—肉体と都市に潜む闇と狂気を見つめて— 家村佳代子

彩色立面図に見る日本の近代建築—銀行・オフィスビルから邸宅まで— 神奈川県立歴史博物館

彩色立面図を描いて 岡 義男

神奈川の近代建築と建築家 吉田 鋼市

日本銀行本店本館と銀行建築 中村 茂樹

日本銀行本店と横浜正金銀行本店の共通点—地下金庫室の内装と建具について— 丹治 雄一

再発見！クレパス画 身近な画材の可能性 うらわ美術館

クレパスについて 森田 一

坂本龍馬の時代 幕末明治の土佐の絵師たち 高知県立美術館

幕末明治の土佐の絵師たち 後藤 雅子

ザ・コレクション・ヴィンタートゥール スイス発—知られざるヨーロピアン・モダンの殿堂 宇都宮美術館他

ヴィンタートゥール美術館、「モダン」の館 ディーター・シュヴァルツ

ナビ派からモダニズムへ 速水 豊

メルヘンの媒質—カンディンスキーの黒 石川 潤

挿絵本の世界 きれい、カワイイ、怖い—本と版画のステキな関係 町田市立国際版画美術館

挿絵本の世界—この展覧会を楽しんでいただくために 佐川美智子

Chaosmos '09 作家はつぶやく 佐倉市立美術館

独白の音符 丹尾 安典

「作家はつぶやく」について 黒川 公二

作家へのインタビュー 宮嶋 葉一

さっぽろ・昭和30年代—美術評論家なかがわ・つかさが見た熱き時代—札幌芸術の森美術館開館20周年記念 札幌芸術の森美術館

なかがわ・つかさと札幌の美術 吉崎 元章

ザ・風景—変貌する現代の眼 名古屋ボストン美術館

チェンジング・ソイル—求める何かを見つけるために エリザベス・マンセル

ボストン美術館—現代芸術の歴史的展望 エドワード・セイウェル

侍と私 ポートレイトが語る初期写真 東京都写真美術館

写真史における「肖像」 金子 隆一

酸化したリアリティー 群馬青年ビエンナーレの作家たち 群馬県立近代美術館

酸化したリアリティー 群馬青年ビエンナーレの作家たち 田中 龍也

§作家の言葉§ 江原 一幸

〃　SATSUKI
〃　大矢加奈子
〃　松岡　圭介
〃　永田　惇哉
「家電と私／ゼロゼロ・ジェネレーションズ」　笹山　直規
§作家の言葉§　椎名　勇仁

Seeing—6人の作家による写真表現—　Fuji Xerox Art Space

文脈をとらえ直す—1960年代末から1970年代初頭の美術と写真について　増田　玲
1970年代の榎倉康二の写真作品　熊谷伊佐子
渚、身ぶりのある風景—吉田克朗のスナップショット—　大日方欣一

獅子舞—ユーラシアから伊那谷へ—　飯田市美術博物館

獅子の信仰とそのかたち　織田　顕行
伊那谷の獅子舞—大型屋台獅子の誕生—　櫻井　弘人
大型屋台獅子は、いつ、なぜ、下伊那に広まったのか　橋都　正

市民の愛したもうひとつのヨーロッパ絵画　バロックから近代まで　福井県立美術館

バロックから近代へ　千足　伸行

「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗 1910年　日韓併合から100年　高麗美術館

写真が記録した100年前の朝鮮を見る。　山本　俊介
日本人は朝鮮の絵はがきに何を見たか　水野　直樹
20世紀、絵葉書の夜明けから落日まで　生田　誠

珠玉の九州陶磁展—やきもの王国九州の魅力を伝える—　佐賀県立九州陶磁文化館

魅力あふれるやきもの王国九州　大橋　康二
九州陶磁の意匠的な影響関係について　鈴田由紀夫
九州陶器の技術的な特徴とその比較—装飾技法を中心に—　家田　淳一
九州における磁器生産の伝播の情況　宇治　章

祝祭と祈りのテキスタイル—江戸の幟旗から現代のアートへ—　熊本市現代美術館

祝祭と祈りのテキスタイル　江戸の幟旗から現代のアートへ　桜井　武
江戸の幟旗とともに　北村　勝史
「落ちる絵」について　手塚　愛子
§作家の言葉§　齋藤　芽生
〃　ひびのこづえ

松花堂昭乗とふるさと八幡の宝物—受けつがれた絵画—　八幡市立松花堂美術館

新出「東山遊楽図屏風について」　狩野　博幸

縄文のエスプリII　先史飛ノ台とアートの10年　縄文国際コンテンポラリーアート展　船橋市飛ノ台史跡公園博物館

縄文国際コンテンポラリーアート展の10年　酒井　清一

縄文の至宝—世界遺産をめざす15遺跡と土偶—　市立函館博物館

国宝中空土偶—土偶造形の到達点—　阿部　千春
国宝合掌土偶—祈りの極み—　小笠原善範

江戸文化シリーズ No. 26　諸国畸人伝　板橋区立美術館

諸国の畸人名乗り出よ!!　安村　敏信
畸人を愛した人たち　佐々木英理子

シルクロードと東アジアの仏教美術—遥かなる時空〔とき〕をこえて　福井県立美術館

仏教及び仏像の東伝について　田邉三郎助

新収蔵品展—歴史系学芸員のオススメ100選—　鳥取県立博物館

考古コラム　県立博物館所蔵の考古資料について　東方　仁史
歴史コラム　中島家旧蔵書の世界　原　豊二
歴史コラム1　西館池田家行列図巻を読む　来見田博基
歴史コラム2　鳥取藩士たちの住宅事情　大嶋　陽一
歴史コラム3　鳥取藩と京都御用達—河瀬家を中心として—　来見田博基
歴史コラム4　二つの凱旋門—歩兵四十連隊と後備歩兵四十連隊—　石田　敏紀
歴史コラム5　鳥取県を駆け抜けた聖火—東京オリンピック—　〃
民俗コラム　磯見漁具(突き具)　福代　宏

信州ゆかりの天才アーティスト—長野県信濃美術館名品展—　長野県信濃美術館

菱田春草と西郷孤月—初期美術院コレクション　渡辺　美保
日本近代洋画の先駆者　川上冬崖　横山　勝彦
信州の風景画　岸田　惠理
水彩画家　不破章　横山　勝彦
未完の画家　島崎鶏二　渡辺　美保
長野が生んだ鬼才河野通勢　足立　圭
郷愁を誘う新版画の世界　川瀬巴水・笠松紫浪　岸田　惠理
マルチアーティスト　池田満寿夫　足立　圭
陶芸家　松井康成　土屋　宏美
楽しむ心を育む美術　足立　圭

新宿中村屋サロンの美術家たち—生命の芸術表現と思潮—　碌山美術館

生命の芸術表現と思潮　武井　敏
相馬良(黒光)と新宿中村屋サロン　幅谷　啓子

スウィンギン・ロンドン　50's—60's—ビートルズたちが輝いていた時代—　郡山市立美術館他

ザ・シックスティーズ	スチュアート・デュラント 門田　牧子訳
これが明日だ—ブリティッシュ・ポップの始まり	前山　裕司
1960年代の思い出	ポール・リーヴス 門田　牧子訳
サブカルチャー・パワー　「スウィンギン・ロンドン」のファッションがもたらしたもの	南目　美輝
50年代の楽器が60年代の音を創った	佐藤　秀彦
ロジャー・メイヤーの若き音楽の日々　「イングランド・ブルース・デルタ」	ロジャー・メイヤー 富岡　進一訳
ビートルズと日本の文化　『サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』における一考察	村松　和明
ジミー・ペイジへのインタビュー	ポール・リーヴス、マイケル・ホワイトウェイ 聞き手 門田　牧子訳

救いのほとけ—観音と地蔵の美術—　町田市立国際版画美術館

救いのほとけ—おもに印仏・摺仏の像内納入について	佐々木守俊
広利寺十一面観音立像と律宗	大河内智之
「中御門逆修」地蔵菩薩像の像内納入印物	藤原　重雄

隅田川—江戸が愛した風景—　江戸東京博物館

江戸市民と隅田川	竹内　誠
描かれた隅田川—西から、東から—	我妻　直美
川端玉章画　尾上柴舟詞書「隅田川」について	岡本　純子

映像をめぐる冒険 vol. 3　3D ヴィジョンズ—新たな表現を求めて—　東京都写真美術館

Field—works をめぐって	藤幡　正樹
3D ヴィジョンズ新たな表現を求めて	山峰　潤也

生存のエシックス　Trouble in Paradise　京都国立近代美術館

［歩行ガイド／Trail Guide］	高橋　悟
発達障害を通じた医療と芸術のクロストーク　対人相互性と重力	十一　元三
芸術・思考・心的空間	立木　康介
「生存のエシックス」のために　「表現論理」の意味を考える	岩城　見一
ヴァーチャルに行く—クリティカル・アート・アンサンブルのポリティクス	内野　儀
「光・音・脳」体験のプロセス	森　公一
Trans—Acting：二重軸回転ステージ／浮遊散策　宇宙滞在・認知症・庭園・発達障害の研究に基づくトポロジカルな時空と記憶形成の実験	高橋　悟 松井　紫朗
宇宙庭	松井　紫朗
「盲目のクライマー」	石原　友明
「ライナスの散歩」	中原　浩大
関係概念としての知覚的自己定位の研究	中原　浩大 井上　明彦
アルトゥール・ジミェフスキの言葉	加須屋明子訳
水のゆくえ…@KCUA Caféから原野へ	井上　明彦
“水のゆくえ”プロジェクト—連鎖する水声—	中ハシ克シゲ

セーヌの流れに沿って　印象派と日本人画家たちの旅　ブリヂストン美術館他

「セーヌの流れに沿って」展によせて	島田　紀夫
コラム　パリの橋	渡辺　純子
コラム　セーヌと暮らし	〃
コラム　モネとアルジャントゥイユ	水木　祥子
コラム　印象派揺籃の地「ラ・グルヌイエール」	〃
コラム　印象派と鉄道とセーヌと	渡辺　純子
コラム　モネの転換期—ヴェトゥイユからジヴェルニーへ	田所　夏子
コラム　ノルマンディーの芸術家村、トゥータン農場	新畑　泰秀
コラム　セーヌの終着点—ル・アーヴル	〃
忘れられた芸術家村ヴェトゥイユ—日本人画家たちのコロニー	田所　夏子

世界中で愛されるリンドグレーンの絵本　ふくやま美術館他

イングリッド・ヴァン・ニイマンからはじまるリンドグレーン絵本の挿絵画家たち	レーナ・テルンクヴィスト オスターグレン晴子訳
『長くつ下のピッピ』の魅力—物語のテーマと桜井誠の挿絵から—	宮内ちづる

戦国大名とナンバー2　直江兼続生誕450年　米沢市上杉博物館

県下に残る桃山時代の城郭御殿障壁画	宮島　新一

戦国の琵琶湖〔うみ〕—近江の城の物語—　滋賀県立安土城考古博物館

「新視点・城がもたらした平和」	中井　均

戦後フランス映画ポスターの世界 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵《新外映コレクション》より 東京国立近代美術館フィルムセンター

ディレッタントの滴—新外映とフランス映画ポスター　岡田　秀則

戦後フランス映画の歩み—SEFと新外映のポスターを通じて　秦　早穂子

フランスの映画ポスター——二つの「黄金時代」の彩りと明暗　橋本　優子

フランス式映画ポスター術　ジャン＝ルイ・キャピテーヌ　古賀　太　訳

千少庵と蒲生氏郷　福島県立博物館

少庵宗淳居士の生涯　筒井　紘一

蒲生氏郷と茶の湯　高橋　充

禅寺広寿山の名宝—小倉にひらいた中国文化の華—　北九州市立いのちのたび博物館

広寿山福聚寺と黄檗禅の美術　錦織　亮介

コラム　黄檗宗が伝えた食文化　上野　晶子

コラム　北九州の文学に表れた広寿山　轟　良子

広寿山に伝わる什物　古谷　優子

小笠原小倉藩の成立　永尾　正剛

MOT アニュアル2010　装飾　東京都現代美術館

ネオ・オーナメンタリズムの兆し「反転」と「反語」の装飾力　鶴岡　真弓

「装飾」：表皮下のエモーション　関　昭郎

（タ行）

大紙芝居展　よみがえる昭和の街頭文化　横浜市歴史博物館

街頭紙芝居と鷲塚隆さん　刈田　均

大遣唐使展　平城遷都1300年記念 奈良国立博物館

遣唐使　その光と影—奈良時代を中心に　稲本　泰生

遣唐使は中国でなにをしていたのか？　古瀬奈津子

吉備大臣入唐絵巻—後白河院政期の遣唐使神話—　谷口　耕生

遣唐使の時代—「空白の三十年」をめぐって—　東野　治之

檀像の請来と木彫の成立—初公開の安祥寺十一面観音像に関連して—　鈴木　喜博

空海の舎利信仰—法門寺から東寺へ—　内藤　栄

大唐皇帝陵展　平城遷都1300年記念　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

山に因りて陵と為す—唐皇帝陵の実態—　卜部　行弘

唐皇帝陵における陵園形式の発展と変遷　張　建林

唐譲皇帝・恵陵の等級に関する考察　張　蘊

中日壁画墓における天文図・四神図・十二支像の源流関係に関する試論—新発見のキトラ古墳壁画内容の研究に関連して—　韓　釗

多賀城・太宰府と古代の都　東北歴史博物館

多賀城・太宰府と古代の都　佐藤　則之

発掘からわかった古代多賀城の姿　三好　秀樹

陸奥国府多賀城の終末　古川　一明

黒川以北十郡における城柵・官衙群—城柵型郡家の創出と防衛ラインの形成—　村田　晃一

大伴家持がみた多賀城と大宰府　佐藤　憲幸

律令国家と多賀城—古代の都と多賀城—　須賀　正美

大宰府　その栄華と軌跡　九州歴史資料館開館記念　九州歴史資料館

九州歴史資料館と大宰府研究　西谷　正

総論　大宰府—その栄華と軌跡—　松川　博一

Column 1　緊張する東アジア情勢　小田　和利

Column 2　古代の築城技術　小嶋　篤

Column 3　朝鮮式山城　小田　和利

Column 4　大宰府政庁Ⅰ期の解明　杉原　敏之

Column 5　大宰府の甍　岡寺　良

Column 6　大宰府式鬼瓦の鬼面　井形　進

Column 7　鴻臚館　杉原　敏之

Column 8　大宰府条坊論　〃

Column 9　蔵司跡の調査　小嶋　篤

Column10　喜界島　杉原　敏之

Column11　沖ノ島祭祀　松川　博一

Column12　大宰府と香椎宮　〃

Column13　論争・般若寺　岡寺　良

Column14　絵解き観世音寺絵図　松川　博一

Column15　入唐僧と大宰府　井形　進

Column16　菅原道真と大宰府　松川　博一

Column17　福岡藩による礎石改め　一瀬　智

Column18　学校教育と史跡　釜瀬進一郎

Column19　大宰府の木簡と保存科学　加藤　和歳

大宰府史跡の発掘調査　杉原　敏之

大宰府の防衛　小田　和利

大宰府・国府・郡衙　小嶋　篤

大宰府の寺院　岡寺　良

大宰府周辺の仏像と造像　井形　進

史跡保存のあゆみ　一瀬　智

九州歴史資料館のあゆみ　大庭　孝夫

『真っ白でいるよりも』　多摩美術大学大学院　日本画・版画展　佐藤美術館

媒体について　本江　邦夫

誕生！中国文明　東京国立博物館他

中国文明と河南省　谷　豊信

河南先史文化―華夏文明の源―　張　文軍　今村佳子訳

十余年来の河南考古の新進展　孫　新民　今村佳子訳

古代中国青銅器の流れ―形態・技術・時代背景の視点から―　川村　佳男

漢時代から唐時代にいたる墓と副葬品　市元　塁

白い器を求めて―河南における白磁の展開―　三笠　景子

日本の美・発見３　茶 Tea―喫茶のたのしみ　出光美術館

コラム　茶を温かく―水注と承盤　柏木　麻里

喫茶の効用　笠嶋　忠幸

茶事をめぐって　現代工芸への視点　東京国立近代美術館工芸館

茶の湯の器にみる現在性　唐澤　昌宏

茶陶の道―天目と呉州赤絵―　出光美術館

福建陶磁と陶磁交易　金沢　陽

茶の湯の文明開化―茶人玄々斎の生涯と奥殿藩松平家―　岡崎市美術博物館

玄々斎の軌跡　橘　倫子

大給松平氏の所領と居所をめぐる諸問題　堀江登志実

中国美術館所蔵　中国の扇面画　渋谷区立松涛美術館

中国扇面画芸術の歴史と発展　戴　増海　蔡　美玲　訳

扇面の歴史　味岡　義人

古陶の譜　中世のやきもの―六古窯とその周辺―　MIHO MUSEUM 他

中世のやきもの―六古窯とその周辺―　井上喜久男

中世陶器の美の賞翫　森　孝一

中世の壺と現代　竹内　順一

茶の湯における焼締め陶の受容　赤沼　多佳

中国の壺・甕―宋から明代の輸出陶磁を中心に―　森　達也

甕器〔オンギ〕と高麗時代の陶器　吉良　文男

つくりかたから見る美術―コレクション徹底解剖！―　群馬県立館林美術館

コラム「小絲源太郎《けしの花》」　松下　由里

コラム「安井曾太郎《足を洗う女》」　染谷　滋

コラム「伊庭靖子《Untitled》」

コラム「ふたつの『フローラの神殿』」　松下　由里

コラム「シャガールとピカソの銅版画」　〃

コラム「南桂子―原画と原版と刷りから見る―」　〃

コラム「群馬県立館林美術館所蔵写真作品について」　中田　宏明

コラム「不思議な立体―トム・シャノンと西村盛雄」　松下　由里

コラム「《版画制作工程見本》と《画材と素材の引き出し博物館》「つくりかたから見る」―展示の試み―」　〃

手探りのドローイング　Drawing in the Dark　東京国立近代美術館

作品解説にかえて　保坂健二朗

デジタル・オイル・ペインティング展―油画描画シミュレータを使って―　東京芸術大学＋東京工業大学　東京芸術大学大学美術館

CREST「デジタルメディアを基盤とした21世紀の芸術創造」プロジェクトについて

「描く」を科学するデジタル・オイル・ペインティング展にあたって　藤幡　正樹

Interview　油絵・油絵具の構造を捉える　「描く」ことで世界が「見える」　佐藤　一郎

《モナ・リザ》の模写　〃

油絵具の優位性「油一／YUICHI」について　植本誠一郎

Interview　デジタルメディアの創造性を探る　新しい油絵具の設計　齋藤　豪

OPS：油画描画シミュレーターについて　〃

天狗推参！　神奈川県立歴史博物館

天狗とはなにか―展覧会趣旨　古川　元也

コラム　兜跋毘沙門天と有翼鬼神　梅沢　恵

コラム　鳥の姿をした仏像―迦楼羅　西川杏太郎

コラム　「天狗」出現―日本最初の天狗は流星だった　古宮　雅明

コラム　鷲にさらわれた良弁　梅沢　恵

コラム　魔をもって魔を制す　〃

コラム　「天狗草紙」と「天狗草紙絵詞」　古川　元也

コラム　外法成就の志―上人　〃

コラム　天狗をはじめて描いた絵師狩野元信！？　梅沢　恵

コラム　山岳信仰のなかに芽生える天狗像　古川　元也

コラム　鎌倉の天狗たち　〃

コラム　伎楽面、舞楽面にみる天狗の源流　西川杏太郎

コラム　鼻高天狗のそっくりさん　古川　元也

コラム　異類異形の鼻高面　〃

コラム　天狗の正体は何か、江戸時代知識人の挑戦　古宮　雅明

コラム　浮世絵の中の天狗　〃

コラム　高尾山と飯縄と天狗　〃

コラム　天狗爪石の正体　〃

コラム　天狗の怪異現象　鈴木　通大

論考１　毘沙門天と有翼鬼神　梅沢　恵

論考２　天狗の記憶と初期足利政権—高氏、直義の文書から—　古川　元也

論考３　天狗観の変遷と江戸時代における天狗の探求　古宮　雅明

論考４　天狗の民俗的世界　鈴木　通大

ShinPA!!!!　東京芸術大学デザイン科描画系　おぶせミュージアム

ご挨拶　中島　千波

§作家の言葉§　阿部　穣

〈最近の制作状況〉　泉　東臣

§作家の言葉§　井上　越道

〃　井上　恵子

〃　浦和志津香

〃　押元　一敏

〃　加藤　ゆわ

〃　金丸　悠児

〃　金木　正子

《作品のストーリー》　川本　淑子

§作家の言葉§　小林　英且

〃　三枝　淳

〃　髙橋　浩規

〃　田宮　話子

〃　堤　岳彦

〃　永井　夏夕

〃　野地美樹子

〃　長谷川彩子

〃　三浦　知子

〃　横尾　奈美

東京サテライト2010　ギャラリーくぼた

—現代美術の状況と東京サテライトの展望—　赤津　侃、齋藤　鐵心、今井　伸治、宮下　泉、田所　一紘司会

"Tokyo satellite" first stage　最終展に寄せて　齋藤　鐵心

東大寺大仏—天平の至宝—光明皇后1250年御遠忌記念　東京国立博物館

東大寺の歴史　板東　俊彦

東大寺大仏と天平彫刻　金子　啓明

コラム　東大寺境内における遺跡探査　金田　明大

コラム　光明皇后　高橋　裕次

コラム　天平古裂は正倉院から配布された「正倉院頒布裂」　沢田むつ代

コラム　正倉院薬物　成瀬　正和

コラム　勧進　浅見　龍介

天平の染織　沢田むつ代

国宝八角燈籠の歴史と評価　伊藤　信二

銅鐸の中の動物たち　荒神谷博物館

加茂岩倉銅鐸の海亀　内田　律雄

等伯をめぐる画家たち　長谷川等伯没後400年記念・開館15周年記念　石川県七尾美術館

等伯（信春）をめぐる画家たち　嶋崎　丞

時の遊園地　名古屋ボストン美術館

§作家の言葉§　櫃田　伸也

〃　大庭　大介

〃　川見　俊

〃　小島　久弥

〃　鈴木　敦子

〃　村上　綾

徳川家康の遺愛品　江戸を開いた天下人　三井記念美術館

徳川家康とその遺愛品にみる文化的側面　清水　実

晩年の家康—天下人の多忙な日々　小林　明

徳川家康の甲冑—歯朶具足と南蛮胴具足を中心に—　池田　宏

徳島県立近代美術館名品ベスト100　徳島県立近代美術館

多くの人の眼が「名品」を育てる　森　芳功

DOMANI・明日展2010　未来を担う美術家たち　文化庁芸術家在外研修の成果　国立新美術館

§作家の言葉§　古郷　秀一

〃　三好　耕三

〃　遠山　香苗

〃　近藤　髙弘

〃　流　麻二果

〃　深井聡一郎

〃　鈴木　涼子

〃　赤崎　みま

〃　神戸　智行

〃　近藤　聡乃

〃　町田　久美

〃　山口　紀子

虎・獅子・ライオン—日本美術に見る勇猛美のイメージ　宮内庁三の丸尚蔵館

猛獣のイメージと日本美術の近代　岡本　隆志

虎は何時から、獅子は何処から—美術の意匠表現を探る　太田　彩

猛獣たちに守られて—守護獣としての獅子狛犬とライオン　岡本　隆志

（ナ行）

ナポリ・宮廷と美　カポディモンテ美術館展　国立西洋美術館他

美術の王宮　カポディモンテ　マリエッラ・ウティリ

ローマにおけるファルネーゼ家の美術パトロネージ　渡辺　晋輔

カポディモンテ美術館のルネサンス・バロック工芸コレクション　リンダ・マルティーノ

カポディモンテ美術館の版画素描室　マリアセレーナ・モルモーネ

バロック期のナポリ絵画　ニコラ・スピノザ

奈良時代の匠たち—大寺建立の考古学—　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

建造物の保存修理と奈良県文化財保存事務所　今西　良男

建築技術史上の古代について—古代に何がかわったか—　渡邊　晶

奈良の古寺と仏像—會津八一のうたにのせて—　新潟県立近代美術館他

會津八一と奈良美術　大橋　一章

展示作品でたどる〈奈良の仏像〉—その変遷と多様性—　清水　眞澄

會津八一と奈良　神林　恒道

會津八一の歌—その方法—　和泉　久子

會津八一の書　野中　吟雪

奈良の美術風土と會津八一　赤川　一博

「獨往」の人　浅田　隆

南宋の青磁　宙〔そら〕をうつすうつわ　根津美術館創立70周年記念　根津美術館

南宋の龍泉窯青磁　西田　宏子

日本における南宋官窯研究と米内山陶片　佐藤サアラ

資料1　博多と鎌倉出土の龍泉窯青磁—12世紀後半—14世紀前半の特殊器形の探索—　森本　朝子

資料2　中国出土龍泉窯出土青磁資料集　下村奈穂子編

21世紀の伝統工芸—世界の眼—東日本伝統工芸展50回記念　MOA美術館

審査講評　ニコル・クーリジ・ルーマニエール

日光×会津　小杉放菴と喜多方美術倶楽部の人びと　小杉放菴記念日光美術館

「喜多方美術倶楽部」という時代　迫内　祐司

20世紀イタリア美術展　ふくやま美術館コレクションによる—未来派、デ・キリコからトランスアヴァングァルディアまで—　高岡市美術館

モダニズムとファシズム—イタリア20世紀美術の特質—　谷藤　史彦

20世紀の人間像　徳島県立近代美術館所蔵名品展　碧南市藤井達吉現代美術館

徳島県立近代美術館のコレクションについて　仲田　耕三

ラムとジャコメッティ—問い続けられるまなざし　浅野　泰子

20世紀美術への招待状—ピカソ、シャガールから横山大観、竹内栖鳳まで—富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵作品による　岐阜県美術館

富山県水墨美術館のコレクションコレクションのあゆみと水墨画の魅力について　浅地　豊

富山県立近代美術館のコレクションコレクションのはじまり—瀧口修造&ミロとともに　杉野　秀樹

JAALA　日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ交流美術展17回　川崎市市民ミュージアム

2010年7月・JAALA　日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ美術家会議

追悼の辞　韓国の進歩的美術人を代表して　金　潤洙

シンポジウム「針生一郎の多面的活動を追う」—要約—　池田　龍雄、大浦　信行、朴　興淳、李　容旭、稲垣　三郎、加藤　義勝、司会

講演—要旨—大国の傲慢、小国の悲劇—カンボジアの教育支援と東南アジア—　金子　敦郎

第17回JAALA交流展を振り返って　稲垣　三郎

日本画と洋画のはざまで　開館1周年記念　山種美術館

「日本画」と「洋画」をめぐる問題　古田　亮

日本画と洋画の交錯—画家たちの視点から—　髙橋美奈子

「日本画」の現在—現代画家9人の競演—　青梅市立美術館

現在の日本画　松平　修文

「日本画」としての現在　石田　治郎

「日本画」の前衛　1938—1949　京都国立近代美術館他

「日本画」の前衛1938—1949　山野　英嗣

歴程美術協会の結成と変容—離脱と再建の二つの流れ　永井　明生

日本近代陶芸のあゆみ　岐阜県現代陶芸美術館所蔵　姫路市立美術館

日本近代陶芸のあゆみ　榎本　徹

日本近代の青春　創作版画の名品　和歌山県立近代美術館他

創作版画に寄せて　雪山　行二

つなぐひと—恩地孝四郎についての覚書—　寺口　淳治

『月映』の周辺　象徴主義をめぐって　井上　芳子

東京美術学校校友会版画部1928—1933　伊藤　伸子

近代日本における版画の紙　坂本　雅美

日本美術のヴィーナス—浮世絵と近代美人画—　出光美術館

日本美術の「ヴィーナス」—聖なる女性のおもかげ　廣海　伸彦

人間国宝と古陶—対峙する眼と手　茨城県陶芸美術館

人間国宝と古陶—対峙する眼と手　花井　久穂

布のこころ—受け継がれる母の想いとくらしの美—　北九州市立いのちのたび博物館

襤褸が語る庶民の心と暮らし　堀切　辰一

布の「こころ」を感じて　上野　晶子

古布雑感—襤褸が伝える庶民のくらし—　税田　昭徳

布と女性と近代社会　日比野利信

能面に見る女性表現—女面の成立と変遷—　国立能楽堂

能面に見る女性表現—女面の成立と変遷—　田邊三郎助

（ハ行）

バウハウス・テイスト　バウハウス・キッチン　パナソニック電工汐留ミュージアム

キッチン作業にはシンプルな器具が似合う　向笠千恵子

20世紀の「ドールキッチン」—「新しい女」マルガレーテ・リホツキーとフランクフルト・キッチンをめぐって　田中　純

バウハウスに、泊って測ってわかったこと　渡辺　雅純

バウハウスがわかる、7つの質問　岩井美恵子解説

初期のヴァイマール・バウハウスにおけるマスダスナン料理

女性から視るバウハウスデザイン　石山　修武

新時代の人間—新時代の人が学ぶ場所としてのバウハウス　トルステン・ブルーメ

バウハウスとキッチン　〃

家事をより完璧に、より簡単に

テオドール・ボーグラーと陶器工房　岩井美恵子

現在形の陶芸　萩大賞展2010　山口県総合芸術文化祭4回参加　山口県立萩美術館・浦上記念館

審査員講評　金子　賢治

〃　榎本　徹

〃　石崎　泰之

白隠禅師禅画墨蹟展　貳　瑞巌寺宝物館

白隠禅師とその禅画・墨蹟について　芳澤　勝弘

博物図譜とデジタルアーカイブ1　武蔵野美術大学美術館・図書館新棟落成記念　武蔵野美術大学美術資料図書館

画像資料のデジタルアーカイヴ化と公開へ向けて　寺山　祐策

博物図譜とデジタルアーカイブ2　武蔵野美術大学美術館・図書館新棟落成記念　武蔵野美術大学美術資料図書館

『博物図譜とデジタルアーカイブ』第1期特別講演　博物画の楽しみ　荒俣　宏

幕末長崎古写真展　龍馬と彦馬　維新のまなざし　長崎歴史文化博物館

「フルベッキと致遠館の学生たち」写真について　倉持　基

幕末・明治の超絶技巧　世界を驚嘆させた金属工芸—清水三年坂美術館コレクションを中心に　泉屋博古館分館他

江戸、明治時代の金工の表現　原田　一敏

対談「世界一の村田コレクション、その来し方行く末」　村田　理如　山下　裕二

コラム1　正阿弥勝義「群鶏図香炉」制作関連資料　佐藤　寛介

コラム2　加納夏雄の下絵集　渡辺　妙子

「超絶技巧」の源を探して　内藤　直子

岡山の名工　正阿弥勝義　佐藤　寛介

近代日本の金工—その諸相と"超絶技巧"の行き先　坪井　則子

婆娑羅—祝宴の器　東アジア現代陶芸作家交流展　「現在形の陶芸　萩大賞展2010」関連行事　山口県立萩美術館・浦上記念館

婆娑羅の視点から—若い陶芸作家への期待　石崎　泰之

はないばら　秘められた美へ　千葉市民ギャラリーいなげ／旧神谷伝兵衛別荘

花は美しいのか　神野　真吾

§作家の言葉§　押江千衣子

〃　坂田　峰夫

〃　丸山　純子

《ゆりのおとすしろいかげのなかで》について　在　知

花とともに—日本美術の500年　室町時代から現代まで—　島根県立石見美術館

花とともに—日本美術と花のこころ—　椋木　賢治

花ひらく個性、作家の時代—大正・昭和初期の美術工芸—　宮内庁三の丸尚蔵館

皇室コレクションにみる「作家の時代」　五味　聖

バルビゾンからの贈りもの—至高なる風景の輝き　府中市美術館開館10周年記念　府中市美術館

バルビゾン　その芸術と遺産　井出洋一郎

バルビゾンの光は、武蔵野に大いなる実りをもたらした　志賀　秀孝

パレットと絵画の展覧会　描くひみつ、画家のすがお　明石市立文化博物館

画材のあゆみと美術のあゆみ—油絵とその周辺　河島　明子

ハンブルク浮世絵コレクション展 日独交流150周年記念 太田記念美術館他

ハンブルク美術工芸博物館の浮世絵の特色—ジークフリート・ビングと林忠正に関連して—	永田　生慈
ハンブルク美術工芸博物館の浮世絵版画コレクションについて	ノラ・フォン・アヘンバッハ　根岸　美佳訳
ゲルハルト・シャック氏について	ノルベルト・グラマッチーニ　根岸　美佳訳

美術コレクション名品選　開館記念 大宮盆栽美術館

中世絵巻物に描かれた盆栽	平野　恵
江戸の鉢植と盆栽	〃
近代の盆栽文化	〃
盆栽・美術・美術館—日本近代美術史のなかの盆栽の位置	大熊　敏之

美術の地上戦　over tone II 神奈川県民ホールギャラリー

ありつつあるものへ：新たなる「オーヴァートーン」に向けて	西村　智弘
§作家の言葉§	岩澤　有徑
〃	池崎　義男
〃	Lens
〃	内山　聡
〃	江川　純太
〃	勝又　豊子
〃	カモール・タサナンチャリー
〃	木原　真男
〃	国島　征二
〃	倉重　光則
〃	クリストフ・ラスト
〃	齋藤　雄介
〃	坂口　登
〃	那須シズノ
津高和一と架空通信	坂上義太郎
§作家の言葉§	千崎千恵夫
〃	高島　芳幸
〃	タッチャイ・ホンペーン
制作することの大義について	中井　康之
§作家の言葉§	中込　靖成、濱崎　幸友
空間芸術と時間芸術の横断　神奈川県民ホールギャラリーにおけるプロジェクト「アート・コンプレックス」	中野　仁詞
§作家の言葉§	中山　正樹
〃	ヒグマ春夫
彫刻の理想郷—いくつかの断想から	藤嶋　俊會
§作家の言葉§	フランク・ファーマン
〃	本田　眞吾
〃	増田　直行、若尾伊佐子
〃	水野　俊介
総論	宮田　徹也
§作家の言葉§	劇団ユニット「山田工務店」
〃	吉岡まさみ
〃	ロバート・ウォーカー

美術の中の動物たち 尼崎市総合文化センター

美術の中の動物たち	植松　篤

備中漆の美—復興と現在— 高梁市成羽美術館

記念講演会「漆の魅力」	室瀬　和美
鼎談「備中漆　ものづくりを考える」	高山　雅之、室瀬　和美、山口　松太郎、澤原　一志進行

ひと／HITO　所蔵作品にみる人間のかたち 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

ひと／HITO　コレクションにみる人間のイメージ	太田　泰人

屏風絵を読む 徳島市立徳島城博物館

狩野永泰筆《洛中洛外図屏風》について	小川　裕久
コラム《帝鑑図屏風》を読む	〃

日本の美・発見4　屏風の世界　その変遷と展開 出光美術館

日本における屏風の受容と展開—「十二ヵ月離合山水図屏風」の創造性	出光佐千子
折れ曲がった絵画の娯しみ—新・屏風鑑賞のすすめ	黒田　泰三

ひろがるアート—現代美術入門編— 三重県立美術館

作品解説、あるいは幕間に潜りこもう！	石崎　勝基

廣島から広島　ドームが見つめ続けた街展 広島県立美術館

都市の象徴としてのドーム	杉本　俊多
ドームと広島	菊楽　忍
気格を高尚にする文学(美術)	水島　裕雅
被爆衣服の復元にあたって	山崎美枝子
原爆ドームと都市復興	大井　健次
広島の戦後復興案—その多くの構想とその意味するもの	石丸　紀興

20世紀検証シリーズ No. 2　福沢一郎絵画研究所　進め！日本のシュルレアリスム 板橋区立美術館

福沢絵画研究所が伝えるもの	弘中　智子
回想　福沢絵画研究所	池田　榮
動坂の家	福沢　一也

武家と玄関　虎の美術 名古屋城天守閣

虎と玄関障壁画	朝日美砂子

武家の都　鎌倉の茶 神奈川県立金沢文庫

総論　武家の都鎌倉の茶　永井　晋

赤岩茶のルーツを求めて―松伏町域における茶の分布と生産・流通の足跡―　佐々木清匡

密教儀礼における茶　高橋　悠介

不在に忍び寄る―イランと向かい合って―　東京画廊＋BTAP

不在に忍び寄る―イランと向かい合って―　シャヒーン・メラリ

富士山縁起の世界―赫夜姫〔かぐやひめ〕・愛鷹〔あしたか〕・犬飼―　富士市立博物館

富士山縁起の世界［考察編］　大高　康正

ふたつの飛鳥の終末期古墳　河内飛鳥と大和飛鳥　大阪府立近つ飛鳥博物館

ふたつの飛鳥の終末期古墳　白石太一郎

コラム　文献にみる合葬・改葬と河内飛鳥の陵墓

コラム　終末期古墳と古代寺院を結ぶ瓦と塼　市本　芳三

コラム　終末期古墳と土器　森本　徹

コラム　終末期古墳と玉　廣瀬　時習

コラム　海獣葡萄鏡　高松　雅文

〈付論〉岩屋山式石室をめぐって　小栗　梓

２つの美術山脈　修猷館と明善に集まった美術家たち　福岡県立美術館

「２つの美術山脈」随想ノート　魚里　洋一

仏像修理100年　奈良国立博物館

仏像の保存修理とその技術―想い出と共に―　西川杏太郎

臼杵磨崖仏　鷲塚　泰光

仏像修理100年―美術院の歴史とともに―　鈴木　喜博

コラム　東大寺法華堂諸仏平成大修理にむけて　藤本　青一

コラム　東大寺不動明王坐像の修理　神田　雅章

プライマリー・フィールドⅡ　絵画の現在―七つの〈場〉との対話　神奈川県立近代美術館（葉山）

プライマリー・フィールド―原初的な場／基本的な場所　是枝　開

インタヴュー　高橋信行　〃

インタヴュー　小西真奈　〃

インタヴュー　保坂毅　〃

インタヴュー　三輪美津子　〃

インタヴュー　東島毅　〃

インタヴュー　伊藤存　〃

インタヴュー　児玉靖枝　〃

ブラティスラヴァ世界絵本原画展―世界の絵本がやってきた　平塚市美術館他

BIB2009審査をめぐって　柴田勢津子

フルジムの人形〔パペット〕劇博物館他　アレナ・エクスナロヴァー

チェコの家庭用劇場と操り人形　富田　智子

フランダースの光　ベルギーの美しき村を描いて　姫路市立美術館

シント・マルテンス・ラーテム―ある芸術家村の歴史　ピート・ボイエンス　小川紀久子訳

光と生　太田喜二郎・児島虎次郎とベルギー　中谷　至宏

シント・マルテンス・ラーテムの現在〔いま〕　岸　桂子

平城京発掘―ここまでわかった奈良の都―　平城遷都1300年記念　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

コラム１　平城京とその周辺から出土した木簡　鶴見　泰寿

コラム２　平城京三条大路沿いの今昔　重見　泰

コラム３　平城京条坊の設計と精度　入倉　徳裕

ベルギー絵本作家展　北海道立帯広美術館他

小さな国の、偉大なイラストレーターたち―クリエイティブな才能にあふれるベルギー―　ミッシェル・ドゥフルニ　Fヴァネッサ・ヨーセン

変革のとき　桃山　名古屋開府400年記念　名古屋市博物館

Column 描かれた伏見城

Column 瓦に見る天下統一

Column 尾張名古屋は正清でもつ？

Column 長押上に伸びる松

城から見る桃山という時代　千田　嘉博

御殿の変遷とその意義　岡村　弘子

探幽縮図にみる聚楽第行幸図　津田　卓子

工芸の変貌　小川　幹生

変容する場　Between Scrap and Build　現代美術と宮島　牡蠣祝

「Between Scrap and Build」について　藤井　匡

ポーランドの至宝　レンブラントと珠玉の王室コレクション　東京富士美術館他

ワルシャワ王宮　アンジェイ・ロッテルムンド　金沢　文緒訳

ヴァヴェル城　ヤン・オストロフスキ　金沢　文緒訳

四人のポーランド女性　関口　時正

19世紀から20世紀初頭におけるポーランド絵画の興隆　加須屋明子

北斎漫画　江戸伝承版木を摺る　生誕250年　岐阜市歴史博物館他

『北斎漫画』と伝承版木による再摺　永田　生慈

江戸伝承版木による　北斎漫画と富嶽三十六景展　天才絵師葛飾北斎250年記念　富山県水墨美術館

富嶽三十六景　永田　生慈

誇り高きデザイン　鍋島　サントリー美術館

鍋島―日本初、最高権力者の食器―　大橋　康二

鍋島デザインのルーツと美―有田磁器の変遷に源流をみる―　鈴田由紀夫

鍋島に関する一問一答　安河内幸絵

ボストン美術館浮世絵名品展　錦絵の黄金時代―清長、歌麿、写楽　神戸市立博物館他

錦絵　黄金時代の一考察　永田　生慈

黄金時代の黄金とは―浮世絵の鑑賞における嗜好の変遷　セーラ・トンプソン　岩切友里子訳

column I　鳥居清長と版元高津屋伊助―大判錦絵の黄金時代へ　田辺　昌子

column II　歌麿の生きた時代と狂歌　鏡味　千佳

column III　影の饗宴―障子に映し出されたもの―　内山　淳一

column IV　浮世絵に描かれたフォロ・ロマーノ　岡　泰正

細川家の至宝―珠玉の永青文庫コレクション―　東京国立博物館他

珠玉の永青文庫コレクション　竹内　順一

細川家伝世絵画に見る規範と伝統　三宅　秀和

古今伝授と細川幽斎―歌道にみる戦国のネットワーク―　冨坂　賢

流転する名物　中山肩衝　伊藤　嘉章

細川護立と日本の近代美術　塩谷　純

宝慶寺から請来された石仏群―細川護立と中国彫刻―　淺湫　毅

北海道立体表現展'10　札幌彫刻美術館他

成功した北海道立体表現展のスケール感　吉田　豪介

北海道立体表現展―道立近代美術館の作家たち　佐藤　友哉

北海道立体表現展'10における札幌芸術の森美術館での展示　吉崎　元章

北方神獣　札幌芸術の森美術館

北方神獣―北に魅せられた動物画家たち　岩崎　直人

北方神獣の世界　出品作とともに、昭和期の日本画表現にふれながら　奥岡　茂雄

油彩画による動物表現の諸相と北海道美術　今村　信隆

本陣被仰付〔おおせつけらる〕―名画が伝える旧家の文化　荒神谷博物館／松江市宍道蒐古館／手錢記念館

本陣彼是　松本美和子

大雅、風外と勝部家―なぜ、斐川に名画が伝来したのか―　平野　芳英

手錢家所蔵絵画とその周辺　並木　誠士

御用宿(本陣)ウラ話　岡　宏三

ポンペイ展　世界遺産古代ローマ文明の奇跡　福岡市博物館他

「ポンペイに生きる」序文　マリア＝ロザリア・ボリエッロ

世界遺産　ポンペイの理解のために　浅香　正

ポンペイの人骨が語る：地下に封印される火山被害の状況　片山　一道

有力者の彫像とローマの政治風土　比佐　篤

剣闘士と社会　〃

ポンペイの女性　井福　剛

ポンペイの壁画と文化　米本　雅一

ローマ人の灯り　ヴィンチェンツァ・イオリオ

ローマ人の食文化　鷲田　陸朗

ポンペイとローマ時代のガラス　東　容子

ローマ世界の中のポンペイ遺跡　坂井　聰

(マ行)

マイ・フェイバリット―とある美術の検索目録／所蔵作品から　京都国立近代美術館

とある美術の検索目録、あるいは【その他】への誘い…京都国立近代美術館・所蔵作品目録VIII　河本　信治

前田寛治大賞8回　写実表現の現在　高島屋(日本橋)他

審査所感―大賞作品を中心に　富山　秀男

前田寛治大賞展に見る現代の写実　瀧　悌三

審査所感　笠井　誠一

〃　入江　観

〃　浅野　徹

MASK　仮面の考古学　大阪府立弥生文化博物館

コラム1　縄文仮面研究略史　永野　仁

コラム2　対の仮面　〃

コラム3　弥生仮面と方相氏　合田　幸美

仮面のない文化　金関　恕

九州における貝製仮面について　山崎　純男

縄文時代の顔表現―土偶の顔・土面の顔―　伊藤　正人

MASKS　仮の面〔おもて〕　千葉市美術館

顔と仮面　小林　忠

世界のなかの日本の仮面　田邊三郎助

アフリカの仮面　小川　弘

所蔵水彩・素描展―松方コレクションとその後　国立西洋美術館

国立西洋美術館所蔵の水彩・素描をめぐって—松方コレクションとその後の展開　陳岡めぐみ

マディソン・アベニューの履歴書—時代をつくった男と女　アド・ミュージアム東京

マディソン・アベニューに生きたクリエーティブたち—1920—1980：マディソン・アベニュー広告史—　楓　セビル

まばゆい、がらんどう　東京芸術大学大学美術館

まばゆい、がらんどう　椎木　静寧

空間化する芸術—現象／物体　梅津　元

複製技術時代のダンス—物語失効後の身体　島津　京

湖の国の名宝展—最澄がつないだ近江と太宰府—　九州国立博物館

滋賀県立琵琶湖文化館開館五〇年の足跡　井上ひろ美

近江の仏教美術—彫刻篇—　土井　通弘

近江の仏教美術—絵画篇—　上野　良信

近江の仏教美術—経典篇—　藤田　励夫

近江の仏教美術—工芸篇—　井上ひろ美

近江と太宰府の仏教美術—京・叡山あたりと九州　天台の系譜—　八尋　和泉

三菱が夢見た美術館　岩崎家と三菱ゆかりのコレクション　三菱一号館美術館

美術コレクションの形成と公開—近代企業と美術　高橋　明也

美術館と劇場　三菱が丸の内に見た夢　阿佐美淑子

ジョサイア・コンドルと岩崎家と絵画と　鈴木　博之

三菱コレクションの洋画にみる近代美術のパトロンとしての岩崎家　山梨絵美子

岩崎彌之助と山本芳翠の《十二支》　高階絵里加

梅原龍三郎と支援者たち　嶋田　華子

静嘉堂—父子二代の収集とその歴史—　小林　優子

静嘉堂文庫のコレクションについて　成澤　麻子

静嘉堂文庫美術館のコレクションについて　長谷川祥子

岩崎久彌と東洋文庫　牧野　元紀

明治から昭和初期にかけてのキリンの広告デザインについて　吉田　麻里

商業美術と日本郵船　海老名熱実

企業によるアート・コレクション生成—今日の概況　井出洋一郎

岩崎小彌太の西洋絵画　宮崎　克己

「丸の内美術館」から三菱一号館美術館へ　阿佐美淑子

美濃の白隠　美濃加茂市民ミュージアム他

白隠を育てた美濃の地　芳澤　勝弘

MIHO GRANDAMA Arte della Luca　MIHO MUSEUM

創立者生誕一〇〇年記念特別展によせて　小山　弘子

MIHO MUSEUMによせて　梅原　猛

特別展 MIHO GRANDAMA ご案内　辻　惟雄

母なる方へ—道の記憶　金子　直樹

美を尊ぶ—海外コレクションに見る新しい価値観　東　容子

M・4・W　宮崎—四つの風　宮崎発のアートシーンを探る　宮崎県立美術館

「宮崎—四つの風」展について　高野　明広

§作家の言葉§　保田井智之

彫刻家保田井智之のこと　園田　博一

インタビュー　保田井智之

とにかく写真行為へ　内倉真一郎

写真家内倉真一郎の挑戦　小林　美紀

インタビュー　内倉真一郎

展覧会に寄せて　上杉　忠弘

イラストレーター上杉忠弘の世界　木村　幸久

インタビュー　上杉　忠弘

作品について　松田　俊哉

無時間への遡行—松田俊哉の世界—　日高　和広

インタビュー　松田　俊哉

京都妙心寺　禅の至宝と九州・琉球開山無相大師650年遠諱記念　九州国立博物館

妙心寺と九州・琉球　竹貫　元勝

中世九州・琉球の禅宗世界　伊藤　幸司

禅僧たちの九州その画期　楠井　隆志

コラム１　国宝の兄弟鐘—妙心寺鐘と観世音寺鐘　伊藤　信二

コラム２　瓢箪のある情景—瓢鮎図の描写について　畑　靖紀

コラム３　九州の禅、古月禅材と乾峯士曇　丸山　猶計

コラム４　白隠と仙厓—「禅画」の巨匠たち　福島　恒徳

コラム５　平戸と朱印船貿易　藤田　励夫

コラム６　大慈寺と対外交流　〃

コラム７　北谷〔ちゃたん〕長老　原田あゆみ

2—305!!　ムサビ助手展　武蔵野美術大学鷹の台キャンパス

シンポジウムという場〔トポス〕を振り返って　森　啓輔

浸透と痙攣〔けいれん〕—感覚の絵画について　〃

潜勢としてのエラー　〃

接触—揺らぐ世界を折り畳むこと　〃

CHAOSのつくりかた　山下　亮

既存の「造形」概念は解体されたか？　佐藤　哲至

「2－305！！ムサビ助手展」展示会場設計について　前崎　紀人

「2－305！！ムサビ助手展」展示会場設計について(その2)　〃

つくりたてのつくりかた　山田　毅

室町最後の将軍—足利義昭と織田信長—　滋賀県立安土城考古博物館

室町最後の将軍—足利義昭と織田信長—　髙木　叙子

旧二条城(義昭御所)　〃

備後国鞆の浦(広島県福山市)　〃

コラム　足利義昭の子孫　宇野日出生

室町三井家の名品　卯花墻と箱根松の茶屋　三井記念美術館

室町三井家の茶道具　赤沼　多佳

概説　室町三井家の歴史—『稿本三井家史料』をもとに—　清水　実

「松の茶屋」の建築　中村　昌生

三井高大・姿子御夫妻の想い出　林屋　晴三

名画パレード展　新たなる感動—美の饗宴　岐阜県美術館コレクション　富山県立近代美術館

岐阜県美術館のコレクションについて　古川　秀昭

岐阜県美術館のルドン・コレクション　山本　敦子

名所江戸百景—追憶の情景—　中山道広重美術館

《名所江戸百景》の視点と構図　大久保純一

《名所江戸百景》　福田　訓子

茶の湯を楽しむ3　名品でたどる室町から桃山の茶　九州国立博物館

Column 1　科学の目が見た唐物茶入への想い　伊藤　嘉章

Column 2　井戸茶碗の見所の意味　〃

Column 3　桃山時代の茶碗と人間工学　〃

(ヤ行)

薬師如来と十二神将—いやしのみほとけたち—　鎌倉国宝館

薬師如来と十二神将—いやしのみほとけたちのかたち—　内藤　浩之

史料にみる鎌倉の薬師信仰　坪内　綾子

鎌倉国宝館十二神将像の保存修理について　明珍　素也

八代城主松井家の名宝—珠玉の松井文庫コレクション—　八代市立博物館未来の森ミュージアム

松井家四六〇年の歴史　林　千寿

松井家は八代城主か城代か？　〃

「御数寄道具帳」から見た松井家の茶　福原　透

松井家三代と連歌　鳥津　亮二

邪馬台国　九州と近畿　大阪府立弥生文化博物館他

エッセー　中平銘鉄刀と卑弥呼の時代　金関　恕

『三国志』東夷伝と天下観　東　潮

東アジアの巨大墳と卑弥呼の「大冢」　菅谷　文則

奴国と倭国　髙倉　洋彰

戦国時代の守護　山名氏の城と戦い　兵庫県立考古博物館

室町・戦国時代の守護所　山上　雅弘

人名墨書土器に記された人々　西口　圭介

陶磁器は語る　岡田　章一

応仁・文明の乱以降の山名氏　多賀　茂治

栄西と中世博多　福岡市博物館開館20周年記念・NHK福岡放送局開局80周年記念　対外交流史05　福岡市博物館

思想テクストとしての栄西著作—真福寺伝来聖教にみる栄西の思想—　阿部　泰郎

真福寺大須文庫蔵『改偏教主決』にみる栄西の九州での活動　米田真理子

コラム　初公開！栄西のサイン　堀本　一繁

コラム　中世博多の景観　本田浩二郎

コラム　今津古墓出土中国陶磁器　池田　祐司

甦る島津の遺宝—かごしまの美とこころ—　鹿児島県歴史資料センター黎明館

「甦る島津の遺宝—かごしまの美とこころ—」展示への招待　栗林　文夫

島津斉興の密教受法について—玉里島津家資料の「御仏間道具」について　〃

(ラ行)

ラヴズ・ボディ—生と性を巡る表現　東京都写真美術館

ラヴズ・ボディ—生と性を巡る表現　笠原美智子

アーティスト・ステートメント　スニル・グプタ

アーティスト・ステートメント　ハスラー・アキラ(張由紀夫)

ウィリアム・ヤン：独白劇スライドショー〈悲しみ〉より《アラン》　テッド・ゴット　横山　文子訳

ジェネラル・アイディア—3人の男たちの共同作業1968—1995　岡村　恵子

37度7分と38度4分のあいだで—エルヴェ・ギベールの写真をめぐって　堀江　敏幸

フェリックス・ゴンザレス=トレス　溝口　彰子

LIFE WITH ART —受け取る、そして渡す—　八巻　真哉

ラファエル前派からウィリアム・モリスへ　いわき市立美術館他

ラファエル前派主義：その再構築の試み　ジョン・クリスチャン　門田　牧子　訳

ラファエル前派の装飾・応用美術　ピーター・コーマック　橋本　啓子　訳

りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった—　群馬県立館林美術館

両毛の美術館　染谷　滋

京都細見美術館　琳派・若冲と雅の世界　富山県水墨美術館他

細見コレクションの歩み—蒐集八十年の軌跡と美術館誕生　細見美術館編

花と鳥の荘厳世界—王朝美から琳派・若冲への道程　岡野　智子

麗子登場!!—名画100年・美の競演　神奈川県立近代美術館×兵庫県立美術館　兵庫県立美術館

日本近代美術はどう見えるか　山梨　俊夫

二つの公立近代美術館—かまきんとひょうきん　吉田　朋子

Column 美術団体と文展　〃

Column 父と娘の最強タッグが生み出した麗子象　〃

Column 裸婦像とモデル　〃

Column あこがれのパリ！　〃

Column《斉唱》と戦争画　服部　正

Column 1960年反安保と美術家　〃

Column 額装の「日本画」について　〃

Column『白樺』とロダンの招来　〃

近代洋画：1930年のパースペクティヴ　速水　豊

1954年の近代洋画　服部　正

ローマ追想…19世紀写真と旅　Rome1840—1870：Travelogues and Photography　京都国立近代美術館

写真家と蒐集家：ローマの場合　マリア・フランチェスカ・ボネッティ　小松　浩之　訳

マッジャ・コレクション：選択基準とその調査　マリア・フランチェスカ・ボネッティ　秦　明子　訳

ローマのイメージ：表象の作者、場所、モデル　マリア・フランチェスカ・ボネッティ　西　崇文　訳

ローマの田園地方：風景と芸術家のための「アトリエ」　マリア・フランチェスカ・ボネッティ　小松　浩之　訳

「ローマの記憶」：出版、市場、写真の普及　キアラ・ダッローリオ　小松　浩之　訳

(ワ行)

和ガラス　粋なうつわ、遊びのかたち　サントリー美術館

和ガラス小史—瑠璃からガラスまで　土屋　良雄

加賀屋の引き札にみる和ガラス　棚橋　淳二

浮世絵の中のびいどろ　岡　泰正

「びいどろ」の諸相—文芸にみる和ガラス　井上　曉子

和ガラスの中のビーズ　土田ルリ子

職人に聞く—江戸風鈴を訪ねて　篠原　正義　碇　雅美子　インタビュー　内海　陽子　文

ワンダーシニア30展　現代日本の画家が描く、それぞれの昭和、平成　横須賀美術館

戦後洋画の半世紀を考える　宝木　範義

作家展

(ア行)

靉嘔　AY—O 1950s—2010展　開館20周年記念　茨城県つくば美術館

靉嘔の人と作品—虹とイメージと行為の間に　外舘　和子

相笠昌義　日常生活　損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞記念　損保ジャパン東郷青児美術館

相笠昌義の画面から　宝木　範義

ふりかえって思う事　相笠　昌義

藍田正雄の江戸小紋　極小美の世界　高崎市タワー美術館

藍田正雄の技と心意気　辻　瑞生

青木敏郎展　2010　高島屋(日本橋)他

§作家の言葉§　青木　敏郎

赤塚不二夫展　ギャグで駆け抜けた72年　天童市美術館他

対談　タモリ×赤塚りえ子

赤堀尚展　高島屋(日本橋)他

赤堀尚—生のエネルギーと対象との接点に像が結ばれる　中村　隆夫

平成21年度収蔵品展3期1部　麻生三郎と世田谷の作家たち　世田谷美術館

第I部　麻生三郎と世田谷の作家たち　石井　幸彦

麻生美智子氏に聞く　麻生美智子、麻生　マユ　石井　幸彦　聞き手

麻生三郎展　東京国立近代美術館他

麻生三郎の絵画　大谷　省吾

麻生三郎のリアリズム絵画　松本　透

麻生三郎—初期作品に関するノート—　牧野研一郎

彫刻家エル・アナツイのアフリカアートと文化をめぐる旅　国立民族学博物館他

エル・アナツイのアフリカ—複数の語りが共存する場への試み　川口　幸也

文化のはざまで考える—エル・アナツイの芸術とグローバリゼーションにおけるアフリカの表象　シルヴェスター・O・オベチエ　渋谷　拓　訳

空隙の戴冠　エル・アナツイのいま　水沢　勉

エル・アナツイと、彼をとりまくいくつかのアートワールド　チャールズ・ゴア　松本　尚之　訳

現代アフリカに生きる—ナイジェリアにおける文化の同時代性　松本　尚之

エル・アナツイ　歴史とアートのはざまで創作すること　竹沢尚一郎

展示、あるいは表象のポリティクス—アフリカの「うち」と「そと」　ビシ・シルヴァ　安永麻里絵　訳

アフリカン・コネクション—大英博物館における現代美術の収集　クリス・スプリング　竹沢尚一郎　訳

網谷義郎の「人」—静かなる素描とともに—　大川美術館

網谷義郎の「人」表現　小此木美代子

荒井良二　スキマの国の美術館　うらわ美術館

スキマの国で、午後のお茶会　荒井　良二　小野　明

絵本編集者の視点から見た、荒井良二作品の魅力　土井　章史

作家の視点から見た、荒井良二作品の魅力　江国　香織

アニメーション作家の視点から見た、荒井良二作品の魅力　和田　敏克

作曲家の視点から見た、荒井良二作品の魅力　野村　誠

死なないための葬送—荒川修作初期作品展　国立国際美術館

荒川修作の初期作品について　平芳　幸治

フェティシュを越えて　建畠　哲

有元利夫展　天空の音楽　没後25年　郡山市立美術館他

有元利夫に思う　千足　伸行

有元利夫のこと　有元　容子

安西大展—'86—花—　おぶせミュージアム

アンザイ　クロニクル　編年史　安西　朗子

アンソール版画展　生誕150年　姫路市立美術館

アンソールと版画　高瀬　晴之

池田龍雄—アヴァンギャルドの軌跡　山梨県立美術館他

わが画業60年　何であったのかアヴァンギャルド　池田　龍雄

池田龍雄と触覚の関係　中原　佑介

1950年代のペン画—大型ペン画まで　太田　智子

池田龍雄と「石炭・炭鉱」をめぐる作品群—ルポルタージュ絵画の展開として　川浪　千鶴

石版画の開拓者　石井鼎湖　知られざる明治美術　城西国際大学水田美術館

石井鼎湖の生涯と画業　山口真理子

警視庁カメラマンが撮った昭和モダンの情景　石川光陽写真展　東京ステーションギャラリー

石川光陽の眼—もうひとつの近代写真　金子　隆一

警視庁カメラマン・石川光陽　新城　敦

伊藤福紫—渡伊30年記念展—　ベイスギャラリー(日本橋)

投影された「仮想風景」:伊藤福紫の新作について　谷藤　史彦

現代能面・狂言面三人展　高津紘一・伊藤通彦・岩崎久人　玉川大学教育博物館

能面の個性　山崎有一郎

稲垣考二展　表面描写からタブローへ　開館35年記念　池田20世紀美術館

凝視する／される稲垣考二　中村　英樹

稲垣考二試論　飛鳥部勝則

稲垣仲静・稔次郎兄弟展—夭折の日本画家、型絵染の人間国宝　京都国立近代美術館他

仲静芸術の魅力　上薗　四郎

稲垣稔次郎の軌跡　松原　龍一

シャモとイバラ—仲静作品の引用と変容をめぐって　野地耕一郎

岩倉壽　笠岡市立竹喬美術館

岩倉壽の画業　上薗　四郎

わたしが選んだ　いわさきちひろ展—こどもたちへのまなざし—　ひろしま美術館

子どもはみんな未来—ちひろ・平和への願い　竹迫　祐子

いわさきちひろ人と絵　松方　路子

現代能面・狂言面三人展　高津紘一・伊藤通彦・岩崎久人　玉川大学教育博物館

上村松園　珠玉の決定版　東京国立近代美術館他

序　内山　武夫

上村松園、その画業に託されたもの　中村　麗子

松園の「序の舞」　小倉　実子

祖母松園を語る(インタビュー)　上村　淳之　中村　麗子

魚住誠一写真展　ブロムオイルの美学　1920's—1930's　渋谷区立松涛美術館

魚住誠一の写真ブロムオイルの美学　光田　由里

ウィリアム　エグルストン：パリ—京都　原美術館

ウィリアム　エグルストン：アメリカ—京都—「パリ—京都」展の余白に　安田　篤生

江見絹子展　姫路市立美術館

天文学者、江見絹子　荻野アンナ

探求の画家—江見絹子　本丸　生野

エル・グレコ《聖母戴冠》特別展示　プラド美術館所蔵　開館5周年記念　長崎県美術館

日本人のエル・グレコ体験　川瀬　佑介

芸術家の家　大沢昌助と父三之助　練馬区立美術館

受けつがれた芸術気質—祖父・三之助から父・昌助へ—　大沢　泰夫

Japanese Art—Architectとしての大澤三之助　清水　重敦

建築家・大沢三之助の残したもの—水彩画を中心に　上山　陽子

追憶　大沢　健吉

大野麥風と大日本魚類画集　姫路市立美術館

「大日本魚類画集」について　平瀬　礼太

見つめる　野田弘志　大野廣子　諏訪敦　川口市立アートギャラリー・アトリア

§インタビュー§　野田　弘志

〃　大野　廣子

〃　諏訪　敦

アートサイト府中2010　いきるちから[大巻伸嗣／木下晋／菱山裕子]　府中市美術館

美術の転換する力—「いきるちから」をはぐくむ　武居　利史

§作家の言葉§　大巻　伸嗣

〃　木下　晋

〃　菱山　裕子

栃木の南画2　大山魯牛　足利市立美術館コレクションによる　小杉放菴記念日光美術館

—思いだすまゝに—　大山　博

大山魯牛と老荘会—小杉放菴との交流から　鈴木　日和

岡崎和郎展　補遺の庭　神奈川県立近代美術館(鎌倉)

脱臼のヴェロニカ—岡崎和郎が仕掛けるもの　水沢　勉

§作家の言葉§　岡崎　和郎

〃　〃

〃　〃

〃　〃

〃　〃

〃　〃

〃　〃

庭をひらく—鎌倉展示についての補遺　三本松倫代

岡田菊惠　画業60年のあゆみ—色彩と空間—　渋谷区立松涛美術館

展覧会によせて　岡田　菊惠

岡田菊惠論　宝木　範義

岡村吉右衛門　蝦夷絵から十二星座まで　多摩美術大学美術館

フィールドワークの視点から—岡村吉右衛門の民族文化へのまなざし—　小島　美子

十二星座から十六星図、五十二星座への構想—駆け巡る表現世界の果てへ—　小林　宏道

岡村吉右衛門さんの染色　山邊　知行

shiseido art egg 4回　岡本純一／曽谷朝絵／村山悟郎　資生堂ギャラリー

第4回shiseido art egg賞　審査実施報告

小川芋銭と珊瑚会の画家たち　愛知県美術館

小川芋銭補論—珊瑚会の前後—　鯨井　秀伸

明治の彫塑　ラグーザと荻原碌山　東京芸術大学大学美術館

ラグーザと碌山の「表現の変革」　北郷　悟

ラグーザと碌山—彫刻における複製の問題を中心に　古田　亮

《女》3Dデータからブロンズ鋳造まで　北郷　悟

三次元デジタルデータから立体出力までの工程　今井　紫緒

真土〔まね〕型鋳造法〈込型法〉　橋本　明夫　谷岡　靖則

安曇鋳造のブロンズ　橋本　明夫

ラグーザの教育とその影響—素材・技法の側面から　吉田　朝子

奥谷博自選展—愛と生命の刻を描く—開館35周年記念　池田20世紀美術館

人と自然をつなぐもの—奥谷博の近作をめぐって　大谷　省吾

奥原晴湖展　奥原晴湖画室繍水草堂移築記念　古河歴史博物館

晴湖と文人たちの世界　永井　路子

奥原晴湖の生涯と作品—「繍水草堂」の時代を中心に—　小川　知二

奥村土牛　生誕120年　山種美術館

「土牛」という生き方　佐藤　道信

土牛先生の思い出　山崎　富治

奥村土牛先生と山種美術館　山崎　妙子

芸術に完成はあり得ない—自己に挑み続けた画家、奥村土牛　髙橋美奈子

小倉遊亀展　とうとう絵かきになってしまった　没後10年　兵庫県立美術館他

没後一〇年　小倉遊亀の画業を振返って　國賀由美子

己を捨てる—小倉遊亀の人物画　濱崎　礼二

見つめ続ける—小倉遊亀の静物画　飯尾由貴子

押井守と映像の魔術師たち　八王子市夢美術館

押井守インタビュー　押井守の造形への愛

樋上晴彦インタビュー

西尾鉄也インタビュー

佐藤敦紀インタビュー

竹内敦志インタビュー

西久保瑞穂インタビュー

編集者からの視点「世界を創る後ろめたさ」　大野　修一

学芸員からの視点「押井守の作品とその人とは」　淺沼　塁

ローズオニール　キューピー展　誕生100年　宇都宮美術館

キューピー　第二世紀へむけて　増淵　宗一

モダン・エイジの真性キャラクター、キューピーの誕生　橋本　優子

100年キャラクター　キューピーのひみつ　北川　和夫

オノデラユキ　写真の迷宮〔ラビリンス〕へ　東京都写真美術館

§作家の言葉§　オノデラユキ

オノデラユキ　写真の迷宮へ—創造する写真20年の軌跡—　岡部　友子

オノデラユキの写真箱　前田　恭二

静止する反写真　フランソワ・シュヴァル　関口　涼子訳

(カ行)

片岡昌展　超次元アートと『ひょうたん島』　池田20世紀美術館

片岡昌の現代人間群　瀬木　慎一

片岡昌メッセージ　片岡　昌

片岡昌　劇人形とアートを越境するモノ作り　熊谷　薫

片岡昌インタビュー　熊谷　薫　聞き手

片岡球子　札幌芸術の森美術館開館20周年記念　札幌芸術の森美術館他

いのちの焔　片岡球子の世界　奥岡　茂雄

片岡球子の写生—風景と向き合う　樋泉　綾子

片岡球子の「面構」　土岐美由紀

堅山南風展　没後30年　茨城県天心記念五浦美術館

鳴龍を描いて　堅山　壽子

入門の日　松尾　敏男

想いをよせて　酒泉　央子

堅山南風の画業—5つの視点から—　稲葉　睦子

加藤泉　日々に問う　彫刻の森美術館

Interview　加藤　泉

加納光於　《鳥影—遮るものの変容》　ギャルリー東京ユマニテ

—né　藤原安紀子

下保昭展　現代山水の美　富山県水墨美術館開館10周年記念　富山県水墨美術館

下保昭の画業　石丸　正運

前衛下着道　鴨居羊子とその時代　川崎市岡本太郎美術館

エッセイ　ヨーコの不機嫌　山本　容子

エッセイ　坐ることを拒否する椅子　牛島　龍介

エッセイ　叔母と鴨居羊子さん　島本　浣

エッセイ　道〔タオ〕、三本　村田慶之輔

エッセイ　花火みたいにぽーんと、革命。　四谷シモン

これはナニ映画なのか？　大島　新

したぎと中世—わたしは驢馬になって下着をうりにゆきたい—　中野　敦之

私と具体　元永　定正

鴨居玲　終わらない旅　没後25年　河口湖美術館他

他者のなかでの自己凝視　山梨　俊夫

Camoy コードの謎　二木伸一郎

エミール・ガレの生きた時代　近代生活のエレガンス　目黒区美術館

思考する形象　エミール・ガレとその時代　鈴木　潔

器と彫刻のはざまで—エミール・ガレの立体デザイン　石崎　尚

河井寛次郎　生誕120年記念　島根県立美術館他

ご挨拶　河井須也子

展覧会によせて　内山　武夫

河井寛次郎—近代陶芸への歩み　藤間　寛

「お師匠様」と呼ばれた河井寛次郎　棟方志功との交流　棟方の疎開時代から　浅地　豊

古今東西をあそぶ　川上澄生：木版画の世界—栃木県立美術館所蔵品による　世田谷美術館他

川上澄生　一途な詩人・版画家のこと—あいさつにかえて　酒井　忠康

川上澄生の青年時代—『主婦之友』誌の表紙案から　木村理恵子

蔵書票と限定非売本—志茂太郎との交流から　野田　尚稔

川上澄生　詩歌と版画の世界—我は今　詩情を絵画に托す—生誕115周年記念特別企画　川上澄生美術館

川上澄生　詩と版画の世界　原田　敏行

黒船・ペリーの世界—黒船館の川上澄生コレクション—川上澄生生誕115周年記念　川上澄生美術館

吉田正太郎の川上澄生コレクション　臼井佐知子

川尻潤作陶展　挑発する日本美　ぎゃらりぃ思文閣

川尻潤さんに期待する　林屋　晴三
このたびの個展にあたり　川尻　潤

川埜龍三展　異形の胎動　笠岡市立竹喬美術館

作家あいさつ　川埜　龍三
川埜龍三の歩み　上薗　四郎
年譜　川埜　龍三

カンディンスキーと青騎士　レンバッハハウス美術館所蔵　三菱一号館美術館他

ヴァシリー・カンディンスキーと「青騎士」　アンネグレート・ホーベルク　斎藤　郁夫訳
芸術をめぐる闘いのなかで—カンディンスキーとフーゴ・フォン・チューディ　斎藤　郁夫
カンディンスキーの抽象絵画—キュビスムをめぐって　大島　徹也

岸澤武雄回顧展　鋳金に明日の美を求めて—川口ゆかりの工芸作家　川口市立アートギャラリー・アトリア

岸澤先生の想い出　永瀬　洋治

画家岸田劉生の軌跡—油彩画・装丁画・水彩画などを中心に—　神戸市立小磯記念美術館

「内なる美」の表現をめざす求道者　富山　秀男
「余技ではない」—劉生の装丁について　森田　一
岸田劉生の水彩、素描について　大下　智一
岸田劉生の『図画教育論—我子への図画教育』に関する一考察　松本　育子

橋本平八と北園克衛展　異色の芸術家兄弟　三重県立美術館他

北園克衛と橋本平八の値しない不透明さ　ジョン・ソルト　田口　哲也訳
北園克衛—詩的純粋の追求　野田　尚稔
橋本平八再考　酒井　忠康
橋本平八—作品と思想　毛利伊知郎
兄と弟　〃

アートサイト府中2010　いきるちから[大巻伸嗣／木下晋／菱山裕子]　府中市美術館

久保晃展　1950—2010　番画廊(大阪)

ヴァルールゆたかな記号世界　木村　重信

近代日本洋画の巨匠　黒田清輝展　岩手県立美術館

序論　黒田清輝の生涯と芸術　田中　淳
黒田清輝の描く「田園の労働と休息」の主題をめぐって　山梨絵美子

静けさのなかから：桑山忠明／村上友晴　名古屋市美術館

桑山忠明の芸術について　山田　諭
村上友晴の芸術について　〃

ジョゼフ・コーネル×高橋睦郎　箱宇宙を讃えて　川村記念美術館

この世あるいは箱の人　ジョゼフ・コーネルを讃えて　高橋　睦郎
豊饒な孤独　J・コーネル私説　〃

リチャード・ゴーマンII—Richard Gorman, Paintings and Prints　三鷹市美術ギャラリー他

絵画と版画　リチャード・ゴーマン
R. ゴーマンの転回　浅倉祐一朗
絵画と消失　エイダン・ダン
色彩が語る光の記憶　篠原　誠司

古賀春江の全貌　新しい神話がはじまる。　石橋美術館他

前衛画家、詩人としての古賀春江　森山　秀子
初期のスケッチブック　橋　秀文
スケッチブックに見る西洋同時代美術への関心　伊藤絵里子
古賀春江とパウル・クレー　長門　佐季
ポスター原画　平井　鉄寛
装幀・表紙・挿絵　〃
イメージの引用　森山　秀子
古賀春江の初期のスケッチブック—北原白秋への憧憬から旅立ちへ—　橋　秀文
古賀春江と中洲風景—福岡初の二科展に際して—　伊藤絵里子
浮遊するイメージ—古賀春江　長門　佐季
絵を読み、詩を見る　森山　秀子

ゴッホ展　没後120年　国立新美術館他

序文—芸術家への道程：ファン・ゴッホの様式と技法の展開について　シラール・ファン・ヒューフテン　深谷　克典訳
アルルのファン・ゴッホ—ユートピアの夢とその挫折　深谷　克典
フィンセント・ファン・ゴッホ、アントン・モーヴの弟子　シラール・ファン・ヒューフテン　深谷　克典訳
着想と解釈—ファン・ゴッホの版画コレクションがその芸術に与えた影響　レンスカ・サウファー
絵画を超えて—オランダ語の手紙でフィンセント・ファン・ゴッホが説明した技法　ヘルウィーズ・ベルハー　工藤　弘二訳
ファン・ゴッホの指紋　エラ・ヘンドリクス　平井　章一訳

小畠鼎子展　青龍社とともに歩んだ女性画家　武蔵野市立吉祥寺美術館

小畠鼎子　青龍社とともに歩んだ女性画家　関　香澄

田園画人　小林巣居人の世界　土とともに、水とともに　茨城県天心記念五浦美術館

父の思い出、展覧会に寄せて　小林　登

枝の上から土の中へ—主題からみた巣居人の絵画世界、戦前期の作品を中心に—　稲葉　睦子

小林孝亘　夏の月　西村画廊

夏の月　小林　孝亘

ミニチュアの世界—小林礫斎と手のひらの宇宙—　兵庫県立歴史博物館

小林礫斎のミニチュアと中田実コレクション—アーチストとコレクターの見果てぬ夢—　岩崎　均史

中世のミニチュア／ミニアチュール—和の“まんだら”たち—　橋村　愛子

小堀四郎と鷗外の娘　ひと筋の道

世田谷美術館

【文献再録】八十路は語る　名声と富を捨てて今日ただいまに生きる　小堀　四郎

紅心　小堀宗慶展　創作と審美眼の世界　目黒区美術館

私の制作原点　小堀　宗慶

真の茶の湯者に捧ぐ　林屋　晴三

眼と、手と、心—紅心　小堀宗慶の創り出す芸術　河合　正朝

紅心　小堀宗慶の現代性　矢内みどり

駒井哲郎作品展—闇と光のあわいに福原コレクション　生誕90周年

資生堂ギャラリー／資生堂アートハウス

いくつも穴が掘られている土地—駒井哲郎をめぐる断章　堀江　敏幸

駒井哲郎のこと　駒井　美子

駒井作品を集める　福原　義春

モノタイプに向けられた「はにかみと感激」：絵画と版画のはざまの駒井哲郎　林　洋子

世田谷美術館と駒井哲郎福原コレクション　清水　真砂

本展について　福原コレクションから見える駒井哲郎　福島　昌子

小室翠雲(1874—1945)展—館林に生まれ近代南画の大家に—　群馬県立館林美術館

小室翠雲に連なる関東南画の系譜　河野　元昭

「南画家」小室翠雲—大正年間後期を中心として　板倉　聖哲

小室翠雲の南画振興とその影響—近代南画から現代水墨画へ—　村田　隆志

翠雲が過ごした館林・翠雲を支えた人々　岡屋　紀子

小室翠雲と群馬美術協会　染谷　滋

小室翠雲用印刻者解説　伊藤　明

(サ行)

齋藤芽生　IMMORALVILLE／密愛村　ギャラリー・アートアンリミテッド

密愛村　齋藤　芽生

斎藤与里—郷土を愛した日本近代洋画の先駆者—没後50周年　新・加須市誕生記念　サトエ記念21世紀美術館

我が師、斎藤与里先生の思い出　斉藤　英一

斎藤与里作品と加須市　加須市教育委員会　生涯学習課

「美の故郷」『斎藤与里展』鑑賞の手引き　江口　健

坂井眞理子1980s／2010　風の呼吸 WIND BREATHING　アートギャラリー環

華やぐ絵画の基で　平井　亮一

佐藤紫煙　幻の花鳥画—新潟・大正時代の豪商別邸に残る板戸絵—　一関市博物館

最たるプロ根性　原田　光

怒った顔—新潟市・旧齋藤家別邸の佐藤紫煙の絵　大倉　宏

ジャポニスムと近代日本美術　ヴェネツィアの佐藤紫煙　石井　元章

新潟市旧齋藤家別邸・断章　今野　誠

紫煙さんのこと　大衡　彩織

ある造形家の足跡：佐藤忠良展　彫刻から素描・絵本原画まで：1940—2009—宮城県美術館所蔵品を中心に　世田谷美術館

あいさつにかえて—佐藤忠良氏の仕事、いま、ここに　酒井　忠康

佐藤忠良の歩み　三上　満良

《群馬の人》の頃—一九五二年の「新制作展」に出品した三点の彫刻をめぐって　〃

彫刻家・佐藤忠良の最初期の絵本—詩人・吉田一穂との共作『ウシヲカフムラ』(一九四二年)を中心として　小金沢　智

島田文雄展—うるわしき彩磁・青白磁—　佐野市立吉澤記念美術館

ごあいさつ　島田　文雄

朝露にかがやく花のように—島田文雄の彩磁・青白磁　末武さとみ

志村博がシルクスクリーンと映像で綴る　遥かなるグランチェスター・メドー　ケンブリッジ大学創立800周年記念　渋谷区立松涛美術館

展覧会に寄せて　志村　博

志村博作品(シルクスクリーンと映像)について　谷　亜紀

ケンブリッジ大学800周年　ピーター・パグナメンタ

ケンブリッジ大学出版局の歴史—世界最古の印刷・出版機関—　ケビン・テイラー

ケンブリッジとグランチェスター—ケンブリッジ市をとり巻く環境とグランチェスター村—　ジェイスン・ジェイムズ

旧牧師館物語—ジ・オールド・ヴィカレッジ、グランチェスター—　メアリー・アーチャー

あるティー・ガーデンの話し“オチャード”、グランチェスター　ロビン・カラン

ベン・シャーン　ライナー・M・リルケ『マルテの手記』より　Fuji Xerox Art Space

『マルテの手記』とベン・シャーン　市川　政憲

シャガール　ロシア・アヴァンギャルドとの出会い　東京芸術大学大学美術館他

シャガールとロシア・アヴァンギャルド—平行と対立　アンゲラ・ランプ　米田　尚輝、三谷　理華、島津　京　訳

ヴィテブスクへの旅—失われたシャガールの原風景を求めて　帯金　章郎

シャガールの作品と身体表現についての一考察　島津　京

シャガールをめぐる日本人の言説の最初期に関する一試論　三谷　理華

庄司達　空間の航行　碧南市藤井達吉現代美術館

新作に寄せて　庄司　達

庄司達　空間造形の展開　土生　和彦

白瀧幾之助展　没後50年　姫路市立美術館

平凡を愛す—白瀧幾之助について　平瀬　礼太

白瀧幾之助　関連文献再録

菅野圭介展　色彩は夢を見よ　横須賀美術館他

菅野圭介の人と芸術　石渡　尚

フランドランの日本への受容と菅野圭介　沓沢　耕介

菅野圭介、中央画壇での台頭と三岸節子との恋　毛受　英彦

菅野圭介の晩年の絵「海」について　梅野　隆

田原の美術　杉浦正美展—幻想と創造の世界—　田原市博物館／田原市渥美郷土資料館

「私の原点」　杉浦　正美

「杉浦正美の芸術心の故郷渥美へ」　村田　眞宏

師・北川民次との出会い（1970年◎瀬戸市立図書館壁画制作のとき）　杉浦　正美

杉本吉武Ｂ２ポスター展　石神の丘美術館

杉本吉武の仕事　中村　光紀

デザインのチカラ—つなぎ手としての杉本吉武のこと　齋藤　桃子

デザインの周辺　杉本　吉武

杉山功個展　神居　SANTUARIO　東京画廊＋BTAP

新しいサンクチュアリ　ジョルジオ・ソアヴィ

流旅転生　鈴木藏の志野　菊池寛実記念智美術館

鈴木藏さんの志野　林屋　晴三

§作家の言葉§　鈴木　藏

鈴木藏の志野、きめ細やかなる堂々　花里　麻理

鈴木清写真展　百の階梯、千の来歴　東京国立近代美術館

写真集への旅　増田　玲

アシンメトリーな蜘蛛の巣　マヒル・ボットマン　小林　美香　訳

ロトチェンコ＋ステパーノワ—ロシア構成主義のまなざし—　東京都庭園美術館他

ロトチェンコとステパーノワ—構成主義の創造主たち　アレクサンドル・ラヴレンチェフ

ロシア・アヴァンギャルドのなかのロトチェンコ　五十殿利治

「でも、私には出口がない」—ウラジミール・マヤコフスキーとロシア・アヴァンギャルドの悲劇　亀山　郁夫

見つめる　野田弘志　大野廣子　諏訪敦　川口市立アートギャラリー・アトリア

仙厓—禅とユーモア　生誕260年　出光美術館

仙厓の禅画にあらわれた「笑い」について　中山喜一朗

仙厓と禅—画賛にあらわれた和尚の厳しくも優しい禅の教え　八波　浩一

shiseido art egg４回　岡本純一／曽谷朝絵／村山悟郎　資生堂ギャラリー

（タ行）

彫刻　高田博厚展—人の内に在るもの—　稲沢市荻須記念美術館

高田博厚のパリ時代　石堂　裕昭

現代能面・狂言面三人展　高津紘一・伊藤通彦・岩崎久人　玉川大学教育博物館

悠久への回帰—高橋秀　岡山県立美術館

§作家の言葉§　高橋　秀

長い友情　瀬戸内寂聴

いのちの探求者—高橋秀　黒住　宗晴

高橋秀—ワレメの美学　鍵岡　正謹

高橋秀　人と作品　妹尾　克己

高橋秀の新作群について—作風の変遷を追って—　齋藤　武郎

高橋秀氏への手紙—鑑賞の踊り　酒井　忠康

「言行一致」、造形のマエストロ、高橋秀さん。　根本長兵衛

遊戯三昧—高橋秀という強者の美学　竹田　博志

高橋真琴の夢とロマン　八王子市夢美術館

作家インタビュー　高橋真琴のアトリエ

§作家の言葉§　高橋　真琴

『真琴画』の世界へようこそ　川俣　高人

挿絵≒日本画　高畠華宵の大正イマジュリィ　小杉放菴記念日光美術館

高畠華宵の個性と大正時代　高畠　澄江

智恵子抄　高村光太郎と智恵子　その愛　菊池寛実記念智美術館

智恵子さんの紙絵に憶ふ	高村　規
光太郎・智恵子が問いかけるもの	北川　太一

高山登展　300本の枕木―呼吸する空間　宮城県美術館

覚え書き	高山　登
事物と歴史	宇野　邦一
高山登―枕木・呼吸する空間―	和田　浩一

田中一幸　佇む木々　東京芸術大学大学美術館陳列館

あとがき　謝辞　御礼の心をこめて	田中　一幸

田中一村　新たなる全貌　千葉市美術館他

特別展に寄せて―奄美と一村―	宮崎　緑
田中一村　精霊との交感	小林　忠
田中一村、奄美へのプロローグ	河野　エリ
田中一村の新たなる全貌を求めて　独歩の画家の画嚢をさぐる	松尾　知子
田中一村　様式形成への模索	山西　健夫
「奄美時代」(一九五八―一九七七)の田中一村について	前村　卓巨

田中真洲回顧展　平塚市美術館

ごあいさつ	馬嶋　治子 内田　慶子
父の思い出	内田　慶子
あとがき	内田　博之

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展　東京都現代美術館

セットづくりに愛をこめて	種田　陽平
日本映画の美術監督の系譜	金澤　誠
「スワロウテイル」と「花とアリス」の頃	岩井　俊二
美術だと気づかれないのが、いちばんの美術	李　相日

多和圭三　鉄を叩く　足利市立美術館他

あてなどなく　ゆっくりと	多和　圭三
始まり、あるいは遠さについて―多和圭三展によせて	市川　政憲
叩く、固めるという労働―多和圭三の寡黙な鉄塊のために	田中　淳
多和さんは、かなぐる	原田　光
「うつ」から「うつろ」へ	江尻　潔
撮影と録音の記	山田　敦雄
ただ「もの」であるために―多和圭三に聞く	神内　有理

張愛紅・シルクロード・亀茲石窟壁画模写展覧会　東京芸術大学と新疆芸術学院との大学間交流協定を記念して　東京芸術大学大学美術館陳列館

はじめに	佐藤　一郎
日本での展覧会に際して	張　愛紅
キジル石窟壁画と模写制作	〃
序一	段　文傑
序二	霍　旭初
序三	謝　成水
キジル石窟壁画の絵画材料、絵画技術に関する調査研究	佐藤　一郎
キジル研究の現在―キジル石窟の現場と日本におけるキジル研究を中心に―	中川原育子
キジル千仏堂の仏教壁画に関する彩色材料と技法調査―ドイツ、ロシア等による先行研究と、本研究における非接触分析法による予備調査法―	谷口　陽子
東京芸術大学と新疆芸術学院との相互交流の経緯	佐藤　一郎

彫刻家　辻晋堂　生誕100年　鳥取県立博物館他

陶彫の創始と触覚性	木村　重信
辻晋堂の仕事―彫刻の彼岸へ	尾崎信一郎
辻晋堂の言葉　アメリカの友人に宛てた手紙の草稿	辻　晋堂
辻晋堂の陶彫	松原　龍一
辻晋堂の残した公案―神奈川県立近代美術館所蔵《詩人(これ我かまた我に非ざるか)》について	籾山　昌夫
辻晋堂の公共的作品をめぐって―調査報告と考察	三浦　努

陶芸家・辻清明の眼―作品とコレクション―愛知県陶磁資料館コレクション　愛知県陶磁資料館他

辻清明の作品とコレクション「明る寂び」の芸術	田村　哲
辻清明の「明る寂び」―古美術から導かれた作品世界―	大長　智広
辻清明コレクションの日本陶磁・金属器・漆器	井上喜久男
辻清明コレクションの外国陶磁	森　達也

津田信夫展　佐倉市立美術館

津田信夫がめざした「日本的なもの」	前川　公秀
銅像建設にみる鋳金家の役割の変遷―津田信夫の依嘱製作との関わりをふまえて	本橋　浩介
津田信夫とバウハウス	島津　京
无型以前―津田信夫、高村豊周、佐々木象堂をめぐって	藤田　裕彦
近代韓国の洋式趣味―石造殿の庭園と津田信夫の噴水彫刻をめぐって	宣　承慧

フェリックス・ティオリエ写真展　いま蘇る19世紀末ピクトリアリズムの写真家　世田谷美術館他

「写真を撮るのに必要なのは、カメラと写真家と、そして何よりも被写体である」—マン・レイ　フィリックス・ティオリエ 1842—1914　マルティンヌ・ダンセ＝ムーレ

写真家、編集者、美術愛好家—フィリックス・ティオリエの郷土愛　賀川　恭子

手塚雄二　一瞬と永遠のはざまで
そごう美術館(横浜)他

モティーフとの対話—手塚雄二が構築する絵の世界　森谷　美保

手塚雄二インタビュー　画業専心　過去の道を振り返って　熊谷　美和

黙示録—デューラー／ルドン　東京芸術大学大学美術館

「黙示録—デューラー／ルドン」展のための覚書　熊澤　弘

中世の黙示録写本—その挿絵の造形原理　越　宏一

デューラーの黙示録木版画—その造形的特色　〃

デューラーの挿絵の芸術—《黙示録》(1498年)の線描の特質をめぐって—　青山　愛香

照応する幻視：オディロン・ルドンの『ヨハネ黙示録』　喜多崎　親

アルブレヒト・デューラー版画・素描展　宗教・肖像・自然—　国立西洋美術館

「宗教・肖像・自然」のための序論　佐藤　直樹

メルボルン国立ヴィクトリア美術館のアルブレヒト・デューラー　キャサリン・レイ　岩谷　秋美訳

「宗教」　デューラーの受難＝情熱〔パッション〕　新藤　淳

「肖像」　名声の流布と永続のためのメディア　秋山　聰

「自然」　写実から潜在的イメージへ　佐藤　直樹

PLATFORM 2010　寺田真由美—不在の部屋　練馬区立美術館

「不在」と「日常」—寺田真由美の作品世界　飯沢耕太郎

ジャンパー・ジョーンズから25年、「写真」的模索の中で　寺田真由美

室内から下界へ—「不在」の行方　小野　寛子

田原の美術　道家珍彦展—シルクロードと渥美—　田原市博物館

開催にあたって　道家　珍彦

ドガ展　横浜美術館

ドガ理解のために　フィリップ・ソニエ　福満　葉子訳

ドガと日本美術—一瞬の中にみる永遠の美を求めて　沼田　英子

エドガー・ドガとポール・デュラン＝リュエル　友人にして印象派の画商　フラヴィ・デュラン＝リュエル　谷川かおる、長谷川光昭訳

ドガと写真　フランソワーズ・エルブラン　福満　葉子訳

ドガ—馬への想い—　末崎　真澄

ルネサンス絵画に憧れさまざまな絵画材料を巧みに操ったドガ　佐藤　一郎

鉄斎と蓮月〔富岡鉄斎〕　鉄斎美術館

鉄斎と蓮月　柏木　知子

鉄斎の富士　鉄斎美術館開館35周年記念　鉄斎美術館

鉄斎の富士　柏木　知子

鉄斎—豊潤の色彩〔いろどり〕—鉄斎美術館開館35周年記念　鉄斎美術館

鉄斎—豊潤の色彩　奥田　素子

鉄斎—用印のすべて—　鉄斎美術館

鉄斎—用印のすべて—　奥田　素子

戸谷成雄展　橋本平八と北園克衛展関連企画　三重県立美術館

戸谷成雄展について　毛利伊知郎

§スケッチ§　戸谷　成雄

豊田豊　"ブラジルの大地と不可視"の世界　作家歴50周年記念　天童市美術館

メッセージ　豊田　豊

(ナ行)

中里斉　モダニズム・ニューヨーク⇔原風景・町田　町田市立国際版画美術館

線外から、単子論、そして黒雨　中里　斉

中里斉の生活と芸術　針生　一郎

中里斉の麗しきポジション　建畠　哲

ヒトシと知り合って　マット・フリードマン　竹田すみ子、クウッイグリー裕子訳

イメージの復権と増幅—中里斉展のための覚書　滝沢　恭司

卒業生のニューヨーク・スタジオを訪ねて　佐藤東洋士

中路融人展　平城遷都1300年記念
奈良県立万葉文化館

開催にあたって　中路　融人

中路融人の作品世界　大矢　鞆音

「あれもユージン　これもユージン」命名の弁—中路融人の画風変遷—　福田　道宏

中島千波の桜屏風展　おぶせミュージアム

桜の肖像　中島　千波

なぜ人は中島千波の桜の世界に引き込まれるのか　宮下　真美

中島千波の桜屏風について　中島　美子

CoBrA を超えた太陽の画家　中島由夫展　明石市立文化博物館

メッセージ　中島　由夫

北欧の太陽の画家　島田　誠

中島由夫を"理解"する？　吉田　洋一

もーやんえっちゃんえほんだいすき 元永定正・中辻悦子絵本原画展 明石市立文化博物館

§作家の言葉§ 元永 定正
〃 中辻 悦子

中野越南展—古今独歩の書家—没後30年 北海道立函館美術館

金子鷗亭と中野越南
越南先生 安達 嶽南
中野越南先生と私—学生時代 古谷 蒼韻
中野越南の書をめぐって 西嶋 慎一
越南の京都—孤高の書作を支えたもの— 中村 史朗
越南の仮名 高橋 利郎

タブロオ・マシン 中村宏の絵画と模型 練馬区立美術館

セーラー服と地形 四方田犬彦
タブロオ・マシン—疾走するリアリズム 野地耕一郎

レトロ・モダン神戸—中山岩太たちが遺した戦前の神戸 兵庫県立美術館

写真家 中山岩太と戦前の神戸 相良 周作
「流氓ユダヤ」—戦時の群像、神戸の記憶 小林 公

仲山計介展 存在するもの達へ 練馬区立美術館

仲山計介略歴 仲山 計介
仲山計介—拡散、連鎖する絵画 野地耕一郎

存在の美学 伊達市噴火湾文化研究所同人展[永山優子/野田弘志/廣戸絵美] 高島屋(日本橋)他

詩に画あり、画に詩あり 田原(ティアン・ユアン)
永山優子 Man is— 南城 守
この階段 谷川俊太郎
階段 廣戸絵美の「階段」を観る 駱英(ルオ・イン) 竹内 新 訳
階段 田原(ティアン・ユアン)
死んだ鳥 廣戸絵美に 駱英(ルオ・イン) 竹内 新 訳
存在の美学 「実」と「術」の狭間で 南城 守

名知聡子展 「告白」 小山登美夫ギャラリー

名知聡子『告白』に寄せて 能勢 陽子

並河万里写真展 神々の座 出雲 島根県立石見美術館

出雲の昧爽 並河 慶子

手のなかの空 奈良原一高 1954—2004 島根県立美術館他

「人間の土地」再考—奈良原一高の1954—1956 蔦谷 典子

アメリカ抽象絵画の巨匠 バーネット・ニューマン 川村記念美術館

「ここにわたしがいる」バーネット・ニューマンの絵画における側向性 イヴ=アラン・ボワ 近藤 学 訳
バーネット・ニューマン 人と作品の対話 近藤 学
《アンナの光》をめぐる対話 前田希世子

額田宣彦—暗順応— ギャルリー東京ユマニテ

覚醒する視覚—額田宣彦の新作について 梅津 元

能島征二の軌跡展 水戸市文化栄誉賞受賞記念 水戸市芸術祭 水戸芸術館現代美術ギャラリー

「能島征二の軌跡展」によせて 浅井 俊裕

能島和明日本画展—水ぬるむ— 高島屋(日本橋)

能島和明 個展によせて 奥田小由女

見つめる 野田弘志 大野廣子 諏訪敦 川口市立アートギャラリー・アトリア

存在の美学 伊達市噴火湾文化研究所同人展[永山優子/野田弘志/廣戸絵美] 高島屋(日本橋)他

もうひとつの場所—野又穫のランドスケープ 群馬県立近代美術館

もうひとつの世界 小池 一子
予兆の画家—野又穫 藤森 照信
エテーリアからマニエラへ—野又穫の気球についての覚書 谷内 克聡
野又穫の作品とその背景にあるもの 定松 晶子

野村和弘/東島毅 みることをかんがえる いわき市立美術館

作家の言葉 野村 和弘
作家の言葉 東島 毅
みることをかんがえる—野村和弘と東島毅の作品を通して 平野 明彦

話の話—ロシア・アニメーションの巨匠ノルシュテイン&ヤールブソワ 神奈川県立近代美術館(葉山)他

とりわけ親愛なる日本の皆さま! ユーリー・ノルシュテイン 児島 宏子 訳
ユーリー・ノルシュテインとフランチェスカ・ヤールブソワについての話 籾山 昌夫

(ハ行)

橋本平八と北園克衛展 異色の芸術家兄弟 三重県立美術館他

パスキンとエコール・ド・パリ展 北海道立近代美術館の所蔵品による 岡山県立美術館

モンパルナスの芸術家村 柴 勤
ジュール・パスキンとエコール・ド・パリのポーランド人芸術家 イエジ・マリノフスキ 橋村 直樹 訳
エコール・ド・パリの小さなサークルをめぐって 石尾乃里子
パスキンと国吉 妹尾 克己

長谷川等伯 没後四〇〇年 東京国立博物館他

長谷川等伯の正体—絵仏師・信春の作品とその造形 松嶋 雅人

信春と等伯の肖像画　田沢　裕賀

長谷川等伯、天下を取る—上洛後の二十年—　山本　英男

水墨にみる等伯の輝き—円熟期から晩年へ—　山下　善也

落款・印章　等伯の使用印について　山本　英男

畠山耕治　青銅の箱　東京国際フォーラム・エキジビション・スペース

「今に生きる—青銅の造形」　諸山　正則

§作家の言葉§　畠山　耕治

浜田知明の世界展　版画と彫刻による哀しみとユーモア　神奈川県立近代美術館（葉山）

§作家の言葉§　浜田　知明

浜田知明の人間凝視の根—展覧会に寄せて　山梨　俊夫

浜田知明　その芸術の秘密　橋　秀文

HAMADA TORU　濱田享　愛媛県美術館

喚起と呼応—石と色彩の生成　遠藤　貢治

濱谷明夫　藍と造形　徳島県立近代美術館

素の形　濱谷　明夫

染めを担当して　村上　千晶

存在と親和　安達　一樹

早川良雄—“顔”と“形状”—　東京国立近代美術館

早川良雄の“顔”と“形状”　諸山　正則

林鼓浪—画業と生活　徳島市立徳島城博物館

林鼓浪のこと　小川　裕久

速水御舟—茅ヶ崎と御舟—　茅ヶ崎市美術館

ごあいさつにかえて「オン・ザ・チェア」　小川　稔

茅ヶ崎と御舟—思いつくまま—　吉田　春彦

キポス・イホス　庭・響　鉄の響きに耳を澄ます　原田和男　横須賀美術館

キポス・イホス　庭・響　原田　和男

母たちの神　比嘉康雄展　沖縄県立博物館・美術館

比嘉康雄展について　今なぜ比嘉康雄か　翁長　直樹

“シジ”を運び、“シジ”を撮る、結界のメディウム　比嘉康雄の〈写魂〉と〈受視〉の思想　仲里　効

母が神になる　安里　英子

古層のバトンを受け取った比嘉康雄　後田多　敦

比嘉康雄　戦後写真・美術の中で　翁長　直樹

神々と人間の根源へ　高良　勉

比嘉康雄年譜　大城　仁美編

野村和弘／東島毅　みることをかんがえる　いわき市立美術館

東山魁夷館開館20周年記念展Ⅰ　白い馬の見える風景　長野県信濃美術館

連作「白い馬の見える風景」をめぐって　横山　勝彦

東山魁夷と信州の山　岸田　惠理

アートサイト府中2010　いきるちから［大巻伸嗣／木下晋／菱山裕子］　府中市美術館

ベルナール・ビュフェ展　『木を植えた男』の著者ジャン・ジオノとの出会い　目黒区美術館

ベルナール・ビュフェの初期作品とジャン・ジオノ　矢内みどり

存在の美学　伊達市噴火湾文化研究所同人展［永山優子／野田弘志／廣戸絵美］　高島屋（日本橋）他

ヤン・ファーブル×舟越桂　Alternative Humanities—新たなる精神のかたち　金沢21世紀美術館

歴史を主題化する現代美術—展覧会に寄せて　秋元　雄史

人間存在とは何か—ヤン・ファーブルと舟越桂の新しい人間像　高階　秀爾

ヤン・ファーブル、変貌の天使　マリー＝ロール・ベルナダック

ヤン・ファーブルへのインタヴュー　マリー＝ロール・ベルナダック

日本展に寄せてのインタヴュー　ヤン・ファーブル　マリー＝ロール・ベルナダック　聞き手　玉村奈緒子　訳

舟越桂、美しき人々　村田　大輔

舟越桂へのインタヴュー　〃

人生と芸術に満ち溢れた世界　バルト・デ・バーレ　木下　哲夫　訳

近代日本美術における宗教性の問題　古田　亮

オルタナティヴ・ヒューマニティーズ—新たなる精神のかたち　不動　美里

銅版画の名手　深沢幸雄の軌跡展　笠岡市立竹喬美術館他

偶感　深沢　幸雄

深沢幸雄の軌跡　上薗　四郎

福島沙由美展　上野の森美術館大賞展26回絵画大賞　上野の森美術館

§作家の言葉§　福島沙由美

藤倉英幸と旅のイメージ　「THE JR Hokkaido」の表紙絵から　北海道立文学館

対談　北海道の旅、風景、芸術を語る　藤倉　英幸　坂本　眞一

息づくミニコミ誌の精神　和田　由美

網走発函館行き特急「おおとり」、疾走す　田中　和夫

北海道のイメージ／旅のイメージ—栗谷川健一の観光ポスターから　鎌田　亨

17年後の初対面—藤倉英幸さんの世界へ—　平原　一良

藤倉英幸のイラストレーション—貼り絵で描く北海道　寺嶋　弘道

車内誌がつむぐ旅のイメージ—その機能と役割　伊藤　大介

燃える職人集団—旅と北海道に魅せられて　北室かず子

藤田修—深遠なるモノローグ　横須賀美術館

言葉にできないことば　藤田　修

版画によるイメージの物質化　塙　萌衣

藤田嗣治展—東京、ニューヨーク、パリ　所蔵作品を中心に　目黒区美術館

藤田嗣治展　東京、ニューヨーク、パリ　矢内みどり

藤森照信展　諏訪の記憶とフジモリ建築　茅野市美術館

信州の山河は、何を？　藤森　照信

浮遊する小宇宙—藤森照信さんの茶室—　熊倉　功夫

「抽象化」のワナに陥らない唯一の建築家　伊東　豊雄

建築のアフリカ的段階　中沢　新一

霊の高さ　中谷　礼仁

「藤森照信展　諏訪の記憶とフジモリ建築」ノート　前田　忠史

神の染み込んだ土地　赤瀬川原平

茅野の人も知らなかった茅野　藤森　照信

物件五件解説　南　伸坊

茅野市は路上物件の宝庫　松田　哲夫

茅野を歩く　林　丈二

路上観察学と路上観察学会　松田　哲夫

路上観察学会座談会 in 茅野　赤瀬川原平、南　伸坊、林　丈二、藤森　照信、松田　哲夫、前田　忠史　司会

講座「諏訪の民家の特徴と謎」　藤森　照信

ヤン・ファーブル×舟越桂　Alternative Humanities—新たなる精神のかたち　金沢21世紀美術館

フランク・ブラングィン展　伝説の英国人画家—松方コレクション誕生の物語　国立西洋美術館開館50周年記念事業　国立西洋美術館

フランク・ブラングィン—潮流に逆らって　リビー・ホーナー

フランク・ブラングィンの英雄的労働　ティム・バリンジャー

ヴェネツィア、ヘント、パリ—共楽美術館設計に向かって　大屋　美那

松方幸次郎と「倫敦」の日本人たち　小熊佐智子

ブリューゲル版画の世界　ベルギー王立図書館所蔵　Bunkamura ザ・ミュージアム他

ベルギー王立図書館のピーテル・ブリューゲル全版画コレクション　ゴットリーヴ・デナーヌ　廣川　暁生　訳

ブリューゲル芸術における版画の意味—主として油彩画との相互関連性について　森　洋子

ピーテル・ブリューゲル(父)と版画出版業者ヒエロニムス・コック　ゴットリーヴ・デナーヌ　廣川　暁生　訳

ピーテル・ブリューゲルの《節制》と「七つの自由学芸」との図像学的な関連性について　森　洋子

シリーズ解説　ゴットリーヴ・デナーヌ　廣川　暁生　訳

七つの罪源シリーズ　森　洋子

七つの徳目シリーズ　〃

シリーズ解説　船　ゴットリーヴ・デナーヌ　今井　澄子　訳

ブリューゲルの版画作品における音楽的モティーフ　カレル・ムーンス　松本　雅隆、石崎　直子　訳

版画芸術における「ブリューゲリアーンス」(1554年—1610年頃)—芸術及び図像上の遺産からブランド名まで—　アン・ディールス　深谷　訓子　訳

ブリューゲルとラブレーの接近遭遇　宮下　志朗

16世紀ネーデルラント版画事情　保井　亜弓

古家新とゆかりの画家たち　神戸市立小磯記念美術館

オリーブの画家・古家新　廣田　生馬

古屋誠一　メモワール.　東京都写真美術館他

僕は答えを求めているわけではない　インタビュー：モニカ・ファーバー　古屋　誠一　モニカ・ファーバー　聞き手

生者と死者の通う道　伊藤　俊治

消滅と生成の庭、時を待つ男　冨澤　治子

展覧会ノート　石田留美子

ピーターラビットの生みの親　ビアトリクス・ポター　島根県立美術館他

ヴィクトリアン・ルネッサンスの潮流のなかに　19世紀末のイギリスとポターの芸術　林　望

自然の大切さと美しさ…　伊藤　元雄

堀研展　〈気〉を描く　日動画廊他

〈気〉に挑む堀研の人と作品　安井　収蔵

堀内貞明　人間のいる風景　武蔵野美術大学教授退任記念　武蔵野美術大学美術資料図書館

堀内さんの人と仕事　入江　観

色そのもののポエジー　米倉　守

ある絵との出会い　堀内　貞明

PROFILE　〃

(マ行)

松井如流—書・学一如の生涯—毎日書道展62回特別展示 国立新美術館

「松井如流　書・学一如の生涯」を巡って	田宮　文平
松井如流—書学とその周辺—	西林　昭一
歌人としての松井如流—高齢の境涯詠を達成—	篠　弘
座談会　生誕110年記念　松井如流—書・学一如の生涯—	小笠原　光、佐田　毅、高島　義彦、西林　昭一、林　蕉園、林　竹聲、柳　碧蘇、田宮　文平司会

松井守男　回顧展 豊橋市美術博物館

回顧展によせて	松井　守男
松井守男の絵画—海、光、祈り	金原　宏行
我々の尺度を捨てよう	ピエール・デックス
日本とヨーロッパにかかる虹	ミシェル・ドーベルヴィル
レクイエム　広島	松浦晃一郎
コルシカの侍	ミッシェル・カステリ
松井守男の内側から生まれる光	ジャック・シモネリ
日出ずる国から来た画家	アンドレ・ラクランプ

松谷武判展—流動— 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

黒の方法	山梨　俊夫
松谷—つかの間の永遠	ジャン＝ミシェル・ブーウール　朝木　由香訳
松谷武判さんのこと	安藤　忠雄
松谷武判インタヴュー	水沢　勉、稲庭彩和子
流動がもたらす磁場—インタヴューを終えて	稲庭彩和子

松本雄治彫刻展　天地をひらく—豊饒の女神の世界— 明石市立文化博物館

天地をひらく—豊饒の女神の世界—	松本　雄治

マネとモダン・パリ　三菱一号館美術館開館記念 三菱一号館美術館

モダニズムの創始者？—多義性の画家マネ	高橋　明也
マネのパリ	カロリーヌ・マチュー　福満　葉子訳
アトリエのエドゥアール・マネ	ジュリエット・ウィルソン＝パロー　杉山菜穂子訳
マネと版画のモデルニテ(現代性)	ミシェル・ムロ　中島　恵　訳
日本におけるエドゥアール・マネ	杉山菜穂子

円山応挙—空間の創造　三井記念美術館開館5周年記念 三井記念美術館

空間の画家　円山応挙	樋口　一貴

マン・レイ　知られざる創作の秘密 国立新美術館他

マン・レイ作品の運命	福　のり子、ジョン・ジェイコブ　小林　明子訳
無頓着、しかし無関心ではなく	ジョン・ジェイコブ　加藤　絢　訳
マン・レイとマルセル・デュシャン—出品作品についてのノート	南　雄介

日本近代洋画と三岸好太郎 Part 2 北海道立三岸好太郎美術館

二人の道産子の情熱—匠秀夫、三岸好太郎を書く	苫名　直子

三岸節子展：心の旅路—満開の桜のもとに　没後10年記念 高島屋(大阪)他

三岸節子の絵画世界	土方　明司
三岸節子とふたりのコウタロウ	鍵岡　正謹
三岸節子さんとの出会い	佐野　ぬい
三岸節子の日記にみる、夫・好太郎と息子・黄太郎との関係	東　真理子

三沢厚彦　アニマルズ　in TOCHIGI 栃木県立美術館

三沢厚彦—魅惑のアニマルズ	島　一嘉

水木しげる・妖怪図鑑 兵庫県立美術館

水木妖怪画こそ妖怪そのものであるということ	京極　夏彦
コラム一　里の妖怪	岡本　弘毅
コラム二　山の妖怪	〃
コラム三　水の妖怪	〃
コラム四　鬼太郎	〃
コラム五　絵巻の妖怪	飯尾由貴子
コラム六　錦絵の妖怪	西田　桐子
最後の妖怪絵師・水木しげる	岡本　弘毅

挿絵画家　宮川春汀展 田原市博物館

渥美半島の生んだ挿絵画家　宮川春汀の生涯—その活躍期を中心として—	清田　治

アルフォンス・ミュシャ展　生誕150年記念 岩手県立美術館他

ミュシャの魅力	島田　紀夫
アルフォンス・ミュシャ　世界的なチェコ人アーティスト	ヤナ・オルリコヴァ・ブラプツォヴァー
芸術家の転機、あるいはプラハにおけるミュシャ	阿部　賢一
「スラヴ叙事詩」をめぐって	加藤　俊明
ミュシャの女性像—辺境の女神としてのファム・ファタル	柴田　純江

挿絵画家としてのミュシャ—堺市のミュシャ・コレクションから— 花澤 志

民芸のこころ・新たなる創造へ 型絵染 三代澤本寿 生誕101年展 松本市美術館他

遠い歌近い光 辻井 喬

父のこと 三代澤友寿

ルーツがにじむ懐かしい作品 森 英恵

三代澤さんのこと 柚木沙弥郎

民芸のこころと一歩先の創造 武藤 美紀

ミロ展 版画の全貌 北海道立帯広美術館

ジョアン・ミロの版画—詩との架橋を可能にするもの 大森 達次

ジョアン・ミロ版画の技法 河野 泰久

龍人伝説への道 三輪休雪展 山口県立萩美術館・浦上記念館

十二代三輪休雪〈龍人伝説〉を読む 乾 由明

「魂」のやきものへ—作家デビュー前夜の休雪について 石崎 泰之

ヘンリー・ムア—生命のかたち ブリヂストン美術館

ヘンリー・ムア—人間像の再生、形態・空間、生命 髙橋 幸次

ヘンリー・ムアの素描 中村 節子

ブルーノ・ムナーリ展 アートの楽しい見つけ方 横須賀美術館

すべてはバディア・ポレジネではじまった 岩崎 清

ムナーリ、…語り尽せぬ人 ジョルジョ・ルチーニ

ブルーノ・ムナーリ・メソッドⓇ：一生の仕事 ベバ・レステッリ

静けさのなかから：桑山忠明／村上友晴 名古屋市美術館

村瀬恭子 Fluttering far away／遠くの羽音 豊田市美術館

浸透する空間—2010・村瀬恭子 天野 一夫

§作家の言葉§ 村瀬 恭子

「空はキメが細かいと。」村瀬恭子の絵画について 平野千枝子

村瀬恭子の絵画、あるいは絵画の中で目を閉じること 鈴木 俊晴

shiseido art egg 4回 岡本純一／曽谷朝絵／村山悟郎 資生堂ギャラリー

毛利武彦の軌跡 練馬区立美術館

震撼させるもの 野地耕一郎

本池秀夫 革の世界 島根県立石見美術館

展覧会開催にあたって 本池 秀夫

「本物らしさ」を求めて—全体を支える豊かな細部— 廣田 理紗

もーやんえっちゃんえほんだいすき 元永定正・中辻悦子絵本原画展 明石市立文化博物館

モネとジヴェルニーの画家たち アメリカ印象派の始まり 北九州市立美術館他

印象主義の村ジヴェルニー、芸術家のコロニー キャサリン・ブルギニオン 宮澤 政男 訳

リーラ・キャボット・ペリーとモネ、そして日本 木島 俊介

序章 ジヴェルニーのモネ キャサリン・ブルギニオン 廣川 暁生 訳

第1章 周辺の風景(1886—90年) 〃

第2章 村の暮らし(1890—95年) 〃

第3章 家族と友人(1895—1905年) 〃

第4章 ジヴェルニー・グループ(1905—15年) 〃

ジヴェルニーの丘から 南川三治郎

森迫暁夫 中庭住宅(分譲中) 札幌芸術の森美術館

Essay 岩崎 直人

森村泰昌 なにものかへのレクイエム 戦場の頂上の芸術 東京都写真美術館他

「わからないもの」の世界へ 平野啓一郎

森村泰昌「三島」経由「硫黄島」への旅 都筑 正敏

二〇世紀の「歴史画」？—森村泰昌の「社会的な」作品 江上 ゆか

「私」から「歴史」へ：森村泰昌の20世紀神話 石田 哲朗

なさけない男たちのための鎮魂歌 笠原美智子

森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史 高松市美術館他

「まねぶ」こころ 森村 泰昌

第1章 匂いの記憶／1960年代初め 〃

第2章 太陽とテレビンと青春／1960年代中頃 〃

第3章 すべてを追いかけ、追いつけず／1960年代後半 〃

第4章 絵画、絵画、絵画！／1970年代 〃

第5章 あの頃、芸術は光っていた／1960年代後半～1970年代 〃

第6章 アングラでサイケな闇の光／1960年代後半～1970年代 〃

第7章 「アンチ」クショーとの長いおつきあい／1960年代～現代まで 〃

第8章 おとなが哲学する芸術の話／1970年代 〃

第9章 ハンガ・ストライク／1983年 〃

第10章 めまい、やまい、やばい／1980年前後 〃

第11章 アメリカンフィーリング／1980年代 〃

第12章 なんでも似てやろう／1990年代 〃

終章 「私」美術史／アッちゃんの電気服 〃

モリムラさんの青春　佐々木幹郎
あとがき　森村　泰昌

（ヤ行）

話の話―ロシア・アニメーションの巨匠ノルシュテイン＆ヤールブソワ
神奈川県立近代美術館（葉山）他

八木明・八木正　垂跡⇆痕跡　中長小西

ふたりの制作について　藁科　英也

矢崎千代二の人物と風景　所蔵品展特集展示　横須賀美術館

矢崎千代二の画業　塙　萌衣

保田春彦展　《白い風景》シリーズとクロッキー　神奈川県立近代美術館（鎌倉別館）

風景とまなざし―保田春彦の近作と新作を包むもの　水沢　勉

安田靫彦展　ニューオータニ美術館／川崎市市民ミュージアム

靫彦が愛でた花木などのこと　安田　建一
靫彦がいる　執行　草舟
安田靫彦筆《神農》について　家田　奈穂

彫刻家　藪内佐斗司展―動き出す彫刻たち―　新潟県立万代島美術館

展覧会によせて　藪内佐斗司
動き出す彫刻たち　桐原　浩

円融の書　山崎大抱展　独立書展58回企画　国立新美術館

「永遠の相」をみつめ続けた人　桐山　正寿

山中現展　夢の領域　福島県立美術館

夢の領域―山中現の世界　酒井　哲朗
作家のことば　山中　現
山中現―夢の原点―　吉村　有子

横山裕一　ネオ漫画の全記録：「わたしは時間を描いている」　川崎市市民ミュージアム

横山裕一　年譜　横山　裕一、金澤　韻　編
私たちの身辺を満たす時を描く―横山裕一の漫画　金澤　韻

萬鉄五郎初期素描―初学入門の人達に―　萬鉄五郎記念美術館

萬鉄五郎、踏み出す―初期素描群にみる、せめぎあうまなざしの方位　水沢　勉
確かなものから不思議なものへ―萬鉄五郎の素描技術と表現技術のありか　平澤　広
構想画への挑戦と挫折―萬鉄五郎の「女学生」制作をめぐる一考察　根本　亮子

（ラ行）

明治の彫塑　ラグーザと荻原碌山
東京芸術大学大学美術館

李元淑　版画展　シロタ画廊

§作家の言葉§　李　元淑
§作家紹介§　李　銀美

ルーシー・リー　ウィーン・ロンドン・都市に生きた陶芸家　国立新美術館他

ルーシー・リー論―伝説の解剖と工芸的造形　金子　賢治
釉薬ノート　北村　仁美
バーナード・リーチとルーシー・リー　金子　賢治
ルーシー・リーのボタン―1940年代のイギリスを背景に　菅野ももこ
ハンス・コパーとの共作　唐澤　昌宏
ウェッジウッド　石崎　泰之
ルーシー・リーの現代性　出川　哲朗
ウィーンからロンドンへ―ルーシー・リー、連鎖する創造　北村　仁美
ルーシー・リーの制作技法について　小山　耕一

ルオー財団秘蔵　ユビュ　知られざるルオーの素顔　パナソニック電工汐留ミュージアム

ビビ狩りから黒いヴィーナスへ―ルオーの《植民者ユビュ》をめぐって―　後藤　新治
アンブロワーズ・ヴォラールとジョルジュ・ルオー「密林の只中で惑う孤独な男２人」　ジャン＝ポール・モレル　石川　裕美　訳
ユビュの風刺から伝説の再生まで　マリア・ゴンザレス・メネンデス　石川　裕美　訳
文明と野性―ユビュおやじが「再生」するまで　増子　美穂
アンブロワーズ・ヴォラール著『ユビュおやじの再生』「植民地政策」　石川　裕美　訳
ドキュメント『ユビュおやじの再生』―1910年代後半―1920年代再考―　萩原　敦子
〈ユビュとミセレーレの新科学　その０〉―パタフィジックの為の３つの試み　宮内真理子

ル・コルビュジェ展　「輝く都市」から「健康都市」を展望する　愛媛県美術館

輝く都市　鈴木　博之
健康をめざしてル・コルビュジエとスポーツ　林　美佐
チャンディガール：はたして「作品」としての都市は可能か　千代章一郎

アンリ・ルソー　パリの空の下でルソーとその仲間たち　ポーラ美術館

アンリ・ルソーとポール・ゴーガン　岡谷　公二
アンリ・ルソーの空　今井　敬子
第１章　ルソーのパリ　世紀末都市のパノラマ　〃

飛行機、飛行船、気球、雲—パリの空に浮かぶもの　今井　敬子

第2章　ゴーガンとルソー　熱帯への憧憬　〃

第3章　ルソーの夜会とモンマルトルの画家たち　〃

ルソーとピカソ　〃

第4章　ボーシャンとボテロ　絵画における素朴　〃

第5章　岡鹿之助　日本とルソー　〃

ルノワール—伝統と革新　国立新美術館

画家ルノワールの芸術的資質—ボヘミアン主義、ファンテジー、東方趣味、ロココ復興、田園牧歌と印象主義について　荒屋鋪　透

伝統と革新のはざまに—光学調査で探るルノワールの絵画技法　内呂　博之

ルノワールと日本人画家たち　言葉でたどる巨匠の面影　安來　正博

ルノワールの装飾画をめぐって　西野　華子

ルノワールの少女たち《野原で花を摘む娘たち》を中心に　岩崎余帆子

美しき挑発　レンピッカ展—本能に生きた伝説の画家　Bunkamura ザ・ミュージアム他

タマラ・ド・レンピッカとその時代　エマニュエル・ブレオン　榊山　裕子　訳

永遠になった"かりそめ":タマラ・ド・レンピッカ　アラン・ブロンデル　榊山　裕子　訳

Eiko meets Tamara—タマラとの5日間を振り返る—　石岡　瑛子　羽関チエコ　聞き手

ニューヨークのフランス人芸術家　エマニュエル・ブレオン　花岡　敬造　訳

レンピッカ最後の親友　ビクトール・マニュエル・コントレラス　〃

レンピッカの素描　アラン・ブロンデル　花岡　敬造　訳

レンピッカと写真家たち　エマニュエル・ブレオン　榊山　裕子　訳

タマラマニア—ヴァーチャル・イメージ(複製)の物語　エマニュエル・ブレオン　花岡　敬造　訳

《自画像》—伝説の誕生　〃

レンピッカとファッション　〃

レンピッカの自宅　〃

豪華客船とレンピッカ　〃

マリー・ローランサンの扇　川村記念美術館

マリー・ローランサンの恋愛力　辛酸なめ子

マリー・ローランサン像の形成　横山由紀子

ロトチェンコ＋ステパーノワ—ロシア構成主義のまなざし—　東京都庭園美術館他

(ワ行)

アンドリュー・ワイエス展　オルソン・ハウスの物語　丸沼芸術の森所蔵　埼玉県立近代美術館他

三枚の絵—ワイエスはどんな画家か—　海野　泰男

オルソン・ハウスの物語と観察者ワイエス　前山　裕司

メメント・モリ(死を想え)あるいはヴァニタス(無常)の風景—オルソン・ハウスの物語を読む—　三上　満良

丸沼芸術の森とワイエスコレクションの原点　中村　音代

若林奮　Dog Field DRAWING 1980—1992　多摩美術大学美術館

若林奮　思索する犬と彫刻家、私的に　鍵岡　正謹

見ることの昇華—「所有・雰囲気・振動」の風景　北谷　正雄

PLATFORM 2010　若林砂絵子—平面の空間　練馬区立美術館

若林砂絵子、あるいはカンバスの旅人　岩崎　清

時のプリズムの中で—若林砂絵子　ドミニック・チノ　森　功次　訳

閉ざされた空間　小野　寛子

渡辺豊重　鬼と遊ぶ　神奈川県立近代美術館(鎌倉)

鬼はどこから来て、どこへ行くのか。　山梨　俊夫

作家と語る　渡辺　豊重　山梨　俊夫、奥野　美香　聞き手

かたちの生まれかた　奥野　美香

王舒野個展『時空裸視　実験　2010』　東京画廊＋BTAP

2010個展のことば—変化の高速時代に"夢想"しつづける「絶対と永遠」の世界観—　王　舒野

王舒野—相克し共鳴する線と筆　峯村　敏明

団体展

(カ行)

現代童画展36回　上野の森美術館

「ナイーブ・アートの表現は自由」　植村鷹千代

「ナイーブ・アート」　リュボミル・シモヴィッチ

現代童画会セルビア展を終えて　小松　修

現童の道　安井　収蔵

行動展65回　国立新美術館他

辻親造さんのご逝去を悼む　田中　茂生

辻好子さん追悼文　野尻　弘

伊藤友七さんを偲んで　渥美　尚周

イメージ豊かな「内なる神話」[西川寿美]　守谷　史男

石部幽香子さんを偲んで　山口　実

「わが心の本郷さんへ」[本郷宣彦]　藤本　貴洋

八柳尚樹さんを偲んで　石井　厚生

伊藤勝美さんを偲んで　馬場　美文

（サ行）

春陽展87回　国立新美術館他

真の画家、清宮質文さんのこと　幸田美枝子

新制作展74回　国立新美術館他

追悼　赤穴宏さんその出発点を想う　渡辺　恂三

追悼　愛[荻太郎]　荒井　茂雄

追悼　まじめで思いやりは人一倍に持ち合わせた君であった。[加藤聡]　石田　琴次

追悼　静かに消えていった人[神谷幸子]　丹羽　和子

追悼　田淵安一さん　新制作の国際作家　渡辺　恂三

追悼　故成田真澄氏追悼文　丹羽　和子

追悼　吉田大象さんを悼む　大国　丈夫

第74回新制作展新作家賞　賞牌　細谷　泰茲

全日本水墨画秀作展35回[全国水墨画美術協会]　国立新美術館

水墨画の世界4　線に宿る作家の人格—色を離れ精神へ向かう　豊島　宗天

（ナ行）

日洋展24回　国立新美術館他

デッサン再考　日野耕之祐

審査所感　塗師祥一郎

（ハ行）

美術文化展70回　東京都美術館他

前衛精神で独創性を鍛えよう—美術文化協会70周年の「温故知新」—　赤津　侃

从展36回　東京都美術館

从展・从会に　中村　正義

田上さんの目黒の頃[田上允克]　郡司　宏

背中を押してくれた人[大熊雅博]　古茂田杏子

物　故　者

索　　引（50音順）

赤塚行雄(評	5月19日	83歳)	榧野八束の筆名でデザイン批評。著作に『近代日本のデザイン文化史1868－1926』。	
赤羽恒男(洋	6月22日	85歳)	大阪市立美術研究所で洋画を学び、二科会で活躍。同会名誉理事。	
阿部真理子(その他	3月29日	51歳)	イラストレーター。著書に絵本『むしゃむしゃマンモス』『ボクがこんなにふとった理由』。	
雨宮　淳(彫	2月8日	72歳)	日本芸術院会員。ブロンズによる人物裸体像を制作、端正な作風を示す。	……428
荒川修作(美	5月19日	73歳)	ニューヨークを拠点に活動。野外施設としての作品「養老天命反転地」を設計。	……435
有馬　侃(洋	1月8日	81歳)	1973年日展で特選。2009年より日展参与。東光会理事長。	
飯田馬之介(その他	11月26日	49歳)	アニメーション作家。映画「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」を手がける。	
伊砂利彦(工	3月15日	85歳)	染色作家、沖縄県立芸術大学名誉教授。音楽や海をテーマに作品を制作。	……430
石田　武(日	12月24日	88歳)	児童書や動物図鑑等の挿絵画家を経て転身。1973年「林」で山種美術館賞大賞。	……454
一原有徳(版	10月1日	100歳)	モノタイプや金属凹版の手法による版画やオブジェ作品を制作。	……449
伊藤鄭爾(学	1月31日	88歳)	建築史家、工学院大学名誉教授。1959年『日本の民家』で毎日出版文化賞。	……428
稲垣菘圃(書	12月17日	85歳)	日展参与。「篆書の菘圃」として知られ、日展を中心に活躍。1988年中日文化賞。	
稲葉治夫(洋	6月29日	79歳)	東京造形大学名誉教授。1957年にグループ「新表現主義」を結成。	
今泉省彦(美	7月13日	78歳)	「美学校」の開校に参加。『作品・批評』『形象』等で評論活動を行う。	……439
井村　彰(学	9月13日	54歳)	美学研究者、東京藝術大学美術学部准教授。	……446
岩崎巴人(日	5月9日	92歳)	小林古径に師事。1958年日本表現派を結成。1977年に出家し、宗教的作風を強めた。	……435
大角　勲(工	4月4日	69歳)	金工家、日展理事。2003年に「天地守道(生)」で日本芸術院賞。	
大高正人(建	8月20日	86歳)	1960年代に川添登らと前衛的な建築を目指すメタボリズム・グループで活動。	……443
大塚恵香(書	1月10日	89歳)	毎日書道展参与会員。	
大野一雄(美	6月1日	103歳)	舞踏家。日本人の内面性を扱う「舞踏(BUTOH)」として知られる身体表現を展開。	……438
岡畏三郎(学	9月17日	96歳)	大正期の洋画と浮世絵・木版画を研究。群馬県立近代美術館館長を務める。	……448
小川博史(洋	6月10日	96歳)	日展参与、光風会名誉会員。1967年中日文化賞。89年日展文部大臣賞。	

物故者（平成22年）

陰里鉄郎	（学	8月7日	79歳）	美術史研究者、美術評論家。江戸洋風画から近代美術まで広範囲にわたり研究。	……442
門倉武夫	（学	12月26日	76歳）	東京文化財研究所名誉研究員。屋外の文化財の保存環境の研究に取り組む。	……454
金澤魯水	（書	3月24日	85歳）	毎日書道展参与会員。	
河合誓徳	（工	3月7日	82歳）	陶芸家、日本芸術院会員。6代清水六兵衛に師事。日展を中心に活動。	……429
河瀬断魚	（書	10月25日	81歳）	毎日書道展審査会員、島根書道協会会長。	
川本喜八郎	（その他	8月23日	85歳）	人形美術家。NHKの人形劇「三国志」、人形アニメーション映画「死者の書」を手がける。	
工藤欣弥	（美関	5月8日	88歳）	北海道立美術館をはじめ道内3美術館の初代館長を務め、文筆家としても知られる。	
熊谷元一	（写	11月6日	101歳）	写真家、童画家。郷里伊那谷の暮らしと文化を、写真と童画で記録し続ける。	……451
倉沢栄一	（写	7月21日	49歳）	自然写真家。知床羅臼町を拠点に活動。	
栗原蘆水	（書	6月30日	79歳）	日展常務理事、日本書芸院名誉顧問。村上三島に師事。1994年日本芸術院賞。	
桑田三舟	（書	8月14日	82歳）	日展参事。父は書家の桑田笹舟。自作の料紙を用いてかなを追求。2002年日本芸術院賞。	
源藤隆一	（美関	10月10日	53歳）	夕張市立美術館学芸員を務め、館蔵の炭鉱に因んだ作品を整理。	
小島敬三郎	（洋	10月9日	76歳）	示現会に出品。熊本大学教授、北九州市立美術館館長を務める。	
小林章男	（建	3月27日	88歳）	屋根瓦製作の選定文化財保存技術保持者。鬼瓦を中心に瓦製作研究に取り組む。	……432
小林治雄	（漫	1月26日	84歳）	『毎日新聞』の風刺一コマ漫画「ヒトクチ漫画」等で1973年文芸春秋漫画賞。	
小林抱牛	（書	8月18日	85歳）	毎日書道会最高顧問。手島右卿に師事。2000年毎日書道展文部大臣賞。	
小松茂美	（学	5月21日	85歳）	書道史、歴史学、国文学、絵画史を超越する古筆学を樹立。1966年日本学士院賞。	……436
五味秀夫	（洋	7月14日	87歳）	春陽会会員。1956年第1回シェル賞。	
今　敏	（その他	8月24日	46歳）	アニメーション映画監督。2002年「千年女優」で文化庁メディア芸術祭大賞。	
坂井八空	（書	6月9日	78歳）	毎日書道展審査会員。	
榊　健	（美	1月20日	73歳）	京都市立美術大学在学中よりケラ美術協会に参加。「こどもアトリエ」を主宰。	
榊　莫山	（書	10月3日	84歳）	辻本史邑に師事。書壇に疑問を抱き、無所属で独自の路線を模索。	……450
坂田泥華	（工	2月24日	94歳）	萩焼作家、山口県指定無形文化財萩焼保持者。	
作田英嗣	（書	8月17日	67歳）	毎日書道会評議員、創玄書道会理事。	
桜井琴風	（書	11月13日	96歳）	毎日書道展名誉会員。	
笹野舟橋	（書	1月16日	87歳）	毎日書道展名誉会員。	
佐藤史生	（漫	4月4日	59歳）	SF少女漫画の分野で活躍。代表作は「夢みる惑星」「ワン・ゼロ」。	
佐野洋子	（その他	11月5日	72歳）	絵本作家。代表作に『100万回生きたねこ』。晩年にはエッセイも刊行。	
沢田としき	（その他	4月27日	51歳）	絵本作家、イラストレーター。1996年『アフリカの音』で日本絵本賞。	

芝田　耕	（洋	4月30日	91歳）	須田国太郎に師事。郷里である京都で制作を続け、内省的で静謐な画風を築く。	……434
清水　誠一	（美	12月6日	64歳）	「マーク・ペインティング」から「クランク・ペインティング」の連作を展開。	……453
勝呂　忠	（洋	3月15日	83歳）	モダンアート協会結成に参加。早川書房のポケット・ミステリー表紙原画を担当。	……430
鈴木　成文	（学	3月7日	82歳）	東京大学名誉教授、元神戸芸術工科大学学長。建築計画学、住居学を専攻。	
鈴木　重三	（学	9月1日	91歳）	近世国文学・浮世絵研究者。江戸時代の絵入版本と、関連する浮世絵の考察を行う。	……444
鈴木　幹夫	（洋	7月11日	79歳）	元二科会評議員。北九州における芸術活動の振興に大きく寄与。	
鈴木　慶則	（美	11月21日	74歳）	1960年代、静岡県を拠点に活動した前衛美術グループ「幻触」の中心メンバー。	……452
瀬川　康男	（その他	10月18日	77歳）	絵本画家。代表作に『いないいないばあ』『ふしぎなたけのこ』『ぼうし』。	
関　龍夫	（学	10月6日	86歳）	千葉工業大学名誉教授。建築史・建築計画・建築設計を専攻。谷口吉郎に師事。	
関岡　扇令	（版	11月6日	86歳）	伝統木版画すり師。千社札の研究家で、現代歌舞伎役者の錦絵制作も手がける。	
大道　あや	（日	9月14日	101歳）	丸木位里の妹。院展や女流画家協会展で入選を重ねる。絵本作家としても活躍。	
高田　誠三	（写	10月2日	81歳）	元大阪芸術大学教授。風景写真の第一人者として日本の自然の美を撮影。	……450
高橋　秀岳	（書	12月14日	93歳）	毎日書道展名誉会員。	
高橋　松延	（書	8月23日	85歳）	毎日書道展参与会員。	
田口　雅巳	（日	7月19日	74歳）	個展を中心に日本画、洋画、立体造形、版画等を発表。	
田中　春弥	（洋	8月18日	96歳）	日展参与。1990年第5回小山敬三美術賞を受賞。	
田中　文男	（建	8月9日	78歳）	大工棟梁として活躍。寺社や古民家等、文化財建造物の保存修理工事に功績を残す。	……443
佃　公彦	（漫	6月28日	80歳）	『東京新聞』に「ほのぼの君」を連載。2004年日本漫画家協会賞大賞。	
堂本　元次	（日	1月4日	86歳）	日展参事。中国の風景に取材した詩情豊かな作品を発表。1987年日本芸術院賞。	……425
戸部　けいこ	（漫	1月28日	52歳）	自閉症の子と母の奮闘を描いた「光とともに…」で2004年文化庁メディア芸術祭優秀賞。	
内藤　定昭	（洋	8月20日	83歳）	埼玉大学名誉教授。奈良の風景や仏像を描く。	
中里　斉	（美	7月18日	74歳）	1960年代からニューヨークを拠点に活動、一貫して平面における抽象性を表現。	……441
中野　政樹	（学	6月4日	80歳）	東京芸術大学名誉教授、前ふくやま美術館館長。日本の金属工芸史を研究。	……439
永山　光幹	（工	3月22日	90歳）	刀剣研磨の重要無形文化財保持者。秘伝とされた技術を開示し、後進の育成に尽力。	……431
楢崎　彰一	（学	1月10日	84歳）	名古屋大学名誉教授。日本陶磁史を研究、窯跡の発掘調査から陶器生産の実態解明。	……426
西岡　義一	（洋	1月12日	87歳）	日展参与、光風会名誉会員。	
野崎　嶽南	（書	4月11日	84歳）	毎日書道展名誉会員、奎星会顧問。上田桑鳩、宇野雪村に師事。	

物故者（平成22年）

蓮田修吾郎（工	1月6日	94歳）	日本芸術院会員。従来の彫金から金属造型の新分野を開拓。1991年文化勲章受章。	……425
長谷川牧風（書	10月29日	70歳）	毎日書道会参事、創玄書道会常務理事。	
濱田台兒（日	9月1日	93歳）	日本芸術院会員。伊東深水、橋本明治に師事。1980年「女辯護士」で日本芸術院賞。	……444
林　義雄（その他	12月9日	104歳）	童画家。『コドモノクニ』『キンダーブック』等の児童雑誌や教科書の挿絵を手がける。	
針生一郎（評	5月26日	84歳）	戦後の前衛美術評論の草分けとして活躍。国際美術展の企画にも携わる。	……437
藤井秀樹（写	5月3日	75歳）	秋山庄太郎に師事。広告写真や女優のポートレートを手がける。	……435
藤本　強（学	9月10日	74歳）	東京大学名誉教授。先史考古学を専攻。キトラ古墳の壁画保存にも関わる。	……445
前川誠郎（学	1月15日	89歳）	西洋美術史家、元国立西洋美術館館長。デューラー研究の第一人者。	……427
町田裕碩（書	1月23日	98歳）	毎日書道展参与会員。	
松木重雄（洋	6月18日	92歳）	日展参与、筑波大学名誉教授。外国の古城や遺跡を描いた作品で知られる。	
松本奉山（日	1月5日	84歳）	欧米で個展を数多く開催、水墨画の海外普及に努める。	
三栖右嗣（洋	4月18日	82歳）	陰影の深い写実表現を追求。1976年「老いる」で安井賞。	……434
みやわき心太郎（漫	10月9日	67歳）	著作に「ハートコレクション」シリーズや「牌の音STORIES」。	
向井良吉（彫	9月4日	92歳）	武蔵野美術大学名誉教授。抽象表現を追究し、1961年「蟻の城」で高村光太郎賞。	……445
武者小路　穣（学	11月11日	89歳）	和光大学名誉教授、日本古代・中世文化史の研究者。	……452
村越英明（学	5月7日	78歳）	前鉄斎美術館館長。富岡鉄斎や森琴石ら関西の近世・近代の日本画家の発掘や評価に尽力。	
村田研堂（書	10月11日	89歳）	毎日書道展参与会員。	
毛利武彦（日	4月13日	89歳）	創画会会員、武蔵野美術大学名誉教授。重厚かつ精神性を秘めた作風を築く。	……433
森本妙子（書	2月25日	87歳）	毎日書道展名誉会員。	
両角かほる（学	7月16日	39歳）	泉屋博古館分館学芸員。日本染織史を専攻。	……440
安井　清（建	10月30日	84歳）	桂離宮の大修理や茶室如庵の移築を手がけ、海外への紹介にも尽力。	
八柳尚樹（彫	2月24日	62歳）	行動美術協会会員。水を素材にした作品を発表。	
山口太一（漫	6月18日	74歳）	子供向け学習漫画を中心に活躍。代表作に「名探偵荒馬宗介」。	
山口侊子（美関	1月15日	67歳）	ギャラリー山口オーナー。野見山暁治、篠原有司男、堀浩哉らの個展を開催。	……427
山口安次郎（工	2月7日	105歳）	西陣織織師。江戸時代の能装束復元に取り組み、1982年「現代の名工」に選ばれる。	
山崎一雄（学	4月10日	99歳）	学士院会員、名古屋大学名誉教授。日本における文化財科学の成立と発展に貢献。	……432
山下皓映（書	12月27日	83歳）	毎日書道会参事。	
山田正亮（洋	7月18日	81歳）	ストライプによる「Work」シリーズで、ミニマルアート以後の絵画表現として注目。	……440

吉　田　清　志(洋	2月3日	81歳)	東京藝術大学で梅原龍三郎に師事。「山の画家」として知られる。	
吉　田　成　堂(書	3月22日	79歳)	日展評議員、毎日書道会理事。金子鷗亭と出会い、近代詩文書の創作を続ける。	
ヨシダ　ミノル(美	10月23日	75歳)	元具体美術協会会員。ステンレスやプラスチックを使った作品で注目を集める。	
吉　田　義　男(美関	9月21日	82歳)	雑誌『新建築』の刊行・編集を通して日本の建築界発展に貢献。	
若　槻　菊　枝(洋	3月2日	94歳)	新宿のバー「ノアノア」を経営する傍ら画筆に親しむ。水俣病救援活動でも知られる。	
鷲　塚　泰　光(学	9月16日	72歳)	前奈良国立博物館長。専門は日本彫刻史。博物館のあり方についても積極的に発言。	……447
藁　谷　耕　人(日	9月1日	83歳)	日本美術院特待。	

物故者(平成22年)

凡例：

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成22年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. (　)内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。
3. 職種は、下記のように略記した。
   日：日本画家、洋：洋画家、版：版画家、彫：彫刻家、工：工芸家、デ：デザイナー、映C：映像・CG作家、漫：漫画家、書：書家、写：写真家、建：建築家、学：美術史研究者、評：美術評論家、美関：美術関係者、その他：絵本作家・イラストレーター等、美：美術家(前記の範疇に属さず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者)
4. 記事が掲載されている物故者については、索引の氏名の横に掲載ページを示した。記事は死亡月日順に掲載した。
5. 各記事末尾の〈　〉内は、その記事の執筆者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。

江村—江村　知子　東京文化財研究所文化遺産国際協力センター
河合—河合　大介　東京文化財研究所企画情報部
木川—木川　りか　東京文化財研究所保存修復科学センター
菊池—菊池　理予　東京文化財研究所無形文化遺産部
橘川—橘川　英規　東京文化財研究所企画情報部
齊藤—齊藤　孝正　文化庁
皿井—皿井　舞　東京文化財研究所企画情報部
塩谷—塩谷　純　東京文化財研究所企画情報部
島谷—島谷　弘幸　東京国立博物館
白井—白井　克也　東京国立博物館
田中—田中　淳　東京文化財研究所企画情報部
津田—津田　徹英　東京文化財研究所企画情報部
友田—友田　正彦　東京文化財研究所文化遺産国際協力センター
中村—中村　明子　東京文化財研究所企画情報部
林　—林　良彦　奈良文化財研究所
原田—原田　一敏　東京藝術大学大学美術館(東京文化財研究所無形文化遺産部客員研究員)
増田—増田　玲　東京国立近代美術館
三浦—三浦　定俊　文化財虫害研究所(東京文化財研究所保存修復科学センター客員研究員)
三上—三上　豊　和光大学(東京文化財研究所企画情報部客員研究員)
山崎—山崎　剛　金沢美術工芸大学(東京文化財研究所無形文化遺産部客員研究員)
山梨—山梨絵美子　東京文化財研究所企画情報部

「物故者」ページ（425～455 ページ）

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.425-455)

Cut for protection of the personal information

印　刷　平成25年３月11日
発　行　平成25年３月25日

日　本　美　術　年　鑑　©

平成23年版

編集者　東京文化財研究所企画情報部

発行者　独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所
東京都台東区上野公園13—43
電話(03) 3823—2241

製　作　中央公論美術出版
東京都中央区京橋２—８—７
電話(03) 3561—5993

出版助成　株式会社 東京美術倶楽部
東京美術商協同組合